いきいき安心プランⅦまつど

（第９期松戸市高齢者保健福祉計画・第８期松戸市介護保険事業計画）

策定のためのアンケート調査

報　告　書

（市民アンケート調査　単純集計編）

本報告書の対象調査

若年者調査
一般高齢者調査
事業対象者・要支援認定者調査
「軽度」要介護認定者調査
「重度」要介護認定者調査

＜目　次＞

第１章　調査の概要 1

１．調査の目的 3

２．調査実施の概要 3

３．調査結果の表示方法 6

４．標本誤差について 6

第２章　アンケート調査　設問一覧表 9

１．市民アンケート調査　設問一覧表 11

第３章　調査の結果 21

１．ご自身について 23

２．ご家族や生活状況について 30

３．身体状況について 42

４．食事・飲酒・喫煙について 52

５．からだを動かすことについて 59

６．毎日の生活について 66

７．地域での活動について 86

８．たすけあいについて 94

９．住んでいる地域について 105

10．認知症に関することについて 116

11．介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて 124

12．権利擁護・成年後見人制度について 146

13．市の高齢者施策について 153

14．介護に関することについて 164

15．近親者（家族）に対する介護の実施状況について 168
16．ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況について 180

巻末資料　アンケート調査票 211

若年者調査　調査票 213
一般高齢者調査　調査票 223
事業対象者・要支援認定者調査　調査票 235
「軽度」要介護認定者調査　調査票 249
「重度」要介護認定者調査　調査票 263

第 1 章 調査の概要

１．調査の目的

本調査は、令和３年度から５年度までの３年間を計画期間とした「いきいき安心プランⅧまつど（第９期松戸市高齢者保健福祉計画・第８期松戸市介護保険事業計画）」策定に向けて、市民の介護に対する考え方、保健、医療及び福祉サービスの利用実態や課題を分析・整理し、地域における高齢者施策の総合的な推進を図るための基礎資料として活用することを目的に実施しました。

２．調査実施の概要

本調査の調査対象者、調査方法、実施期間及び回収状況は以下の通りです。

	若年者調査	一般高齢者調査	事業対象者・要支援認定者調査	「軽度」要介護認定者調査	「重度」要介護認定者調査
対　象	介護保険の要支援・要介護認定を受けていない市民	介護予防・日常生活支援総合事業対象の特定を受けていない市民及び介護保険の要支援・要介護認定を受けていない市民	介護予防・日常生活支援総合事業対象の特定を受けている市民及び介護保険の要支援の認定受けている市民	介護保険の要介護認定 1・2 を受けている市民（施設入所者除く）	介護保険の要介護認定 3・4・5 を受けている市民（施設入所者除く）
年齢区分	40 歳～64 歳	65 歳～	40 歳～	40 歳～	40 歳～
基準日	令和元年 11 月 1 日				
母集団	164,600 人	101,449 人	6,180 人	6,117 人	3,528 人
標本数	3,000 人	10,500 人	3,000 人	3,900 人	2,100 人
標本割合	1.8%	10.4%	48.5%	63.8%	59.5%
抽出方法	住民基本台帳から 15 圏域による層化無作為抽出			住民基本台帳から無作為抽出	
1 圏域あたり抽出数	200 人	700 人	200 人	―	
調査期間	令和元年 12 月 20 日～令和２年１月 17 日 （調査票回収については 2/28 まで有効。若年者調査については礼状兼督促状１回送付）				
調査方法	郵送配布・郵送回収				
配布数	2,996 通	10,486 通	3,001 通	3,889 通	2,072 通
回収数	1,007 通	5,555 通	1,618 通	1,587 通	768 通
有効回収数	1,004 通	5,546 通	1,614 通	1,584 通	768 通
有効回収率	33.5%	52.9%	53.8%	40.7%	37.1%

調査にあたり、日常生活圏域を下記の通り 15 地域に分類し、調査票の配布・回収及び集計を行いました。

地　区	地　域
①　明第１	根本・吉井町・小根本・緑ケ丘１～２丁目・松戸新田・仲井町１～３丁目・稔台・稔台１～８丁目・岩瀬・野菊野・胡録台
②　明第２西	栄町１～８丁目・栄町西１～５丁目・樋野口・古ケ崎・古ケ崎１～４丁目
③　明第２東	上本郷・北松戸１～３丁目・竹ケ花・竹ケ花西町・南花島・南花島１～４丁目・南花島中町・南花島向町
④　本庁	本町・松戸・小山・二十世紀が丘美野里町
⑤　矢切	上矢切・中矢切・下矢切・三矢小台１～５丁目・二十世紀が丘柿の木町・二十世紀が丘萩町・大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）西側〕・栗山
⑥　東部	河原塚・田中新田・紙敷・紙敷１～３丁目・東松戸１～４丁目・秋山・秋山１～３丁目・高塚新田・和名ケ谷・大橋〔旧有料道路（県道松戸・原木線）東側〕・二十世紀が丘丸山町・二十世紀が丘中松町・二十世紀が丘戸山町・二十世紀が丘梨元町
⑦　常盤平	金ケ作・千駄堀・常盤平１～７丁目〔常盤平団地の担当地域を除く〕・常盤平双葉町・常盤平西窪町・常盤平陣屋前・常盤平柳町・牧の原・牧の原１～２丁目・日暮・日暮１～８丁目・常盤平松葉町
⑧　常盤平団地	常盤平１丁目のうち駅上市街地住宅・常盤平２丁目のうち１街区・常盤平３丁目のうち３街区・中央市街地住宅・駅前市街地住宅・セントラルハイツ・常盤平４丁目のうちＥ街区・常盤平７丁目のうち２街区・けやき通り住宅
⑨　五香松飛台	串崎南町・串崎新田・松飛台・五香１～８丁目・五香西１～６丁目・五香南１～３丁目・五香六実
⑩　六実六高台	高柳・高柳新田・六実１～７丁目・六高台西・六高台１～９丁目
⑪　小金	幸田・幸田１～５丁目・中金杉１～５丁目・平賀・東平賀・ 殿平賀・久保平賀・大金平１～５丁目・大谷口・小金・小金きよしケ丘１～５丁目・小金上総町・小金清志町１～３丁目・二ツ木・二ツ木二葉町・根木内（国道６号西側）
⑫　小金原	根木内（国道６号東側）・小金原１～９丁目・栗ケ沢・八ケ崎１丁目・小金 1700 番台
⑬　新松戸	横須賀１～２丁目･新松戸１～７丁目･新松戸東･新松戸北１～２丁目･小金 1100～1300 番台
⑭　馬橋西	旭町１～４丁目・外河原・七右衛門新田・主水新田・新松戸南１～３丁目・西馬橋１～５丁目・西馬橋相川町・西馬橋蔵元町・西馬橋幸町・西馬橋広手町・馬橋（JR 線西側）
⑮　馬橋	馬橋（JR 線東側）・三ケ月・幸谷・八ケ崎・八ケ崎緑町・八ケ崎２～８丁目・中根・新作・中根長津町・中和倉

調査ごとの圏域別配布数及び回収状況は以下の通りです。

■　若年者調査

圏　域	本庁	明第１	明第２東	明第２西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	200	200	199	198	200	200	199	200	200	200	200	200	200	200	200
回答数	64	57	64	68	58	61	72	81	68	72	56	76	70	70	67
回答率	32.0%	28.5%	32.2%	34.3%	29.0%	30.5%	36.2%	40.5%	34.0%	36.0%	28.0%	38.0%	35.0%	35.0%	33.5%

※　圏域情報を伏せて回答：０人

■　一般高齢者調査

圏　域	本庁	明第１	明第２東	明第２西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	700	700	700	699	700	700	699	698	700	697	700	697	700	699	697
回答数	367	397	384	362	352	342	387	383	383	391	309	393	356	386	352
回答率	52.4%	56.7%	54.9%	51.8%	50.3%	48.9%	55.4%	54.9%	54.7%	56.1%	44.1%	56.4%	50.9%	55.2%	50.5%

※　圏域情報を伏せて回答：２人

■　事業対象者・要支援認定者調査

圏　域	本庁	明第１	明第２東	明第２西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200
回答数	111	119	115	95	113	102	114	111	102	115	98	98	108	102	110
回答率	55.5%	59.5%	57.5%	47.5%	56.5%	51.0%	57.0%	55.5%	51.0%	57.5%	49.0%	49.0%	54.0%	51.0%	55.0%

※　圏域情報を伏せて回答：１人

■　「軽度」要介護認定者調査

圏　域	本庁	明第１	明第２東	明第２西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	165	413	176	255	186	276	295	456	289	187	96	358	311	258	179
回答数	64	169	77	101	74	102	119	194	134	68	30	147	131	98	74
回答率	38.8%	40.9%	43.8%	39.6%	39.8%	37.0%	40.3%	42.5%	46.4%	36.4%	31.3%	41.1%	42.1%	38.0%	41.3%

※　圏域情報を伏せて回答：２人

■　「重度」要介護認定者調査

圏　域	本庁	明第１	明第２東	明第２西	矢切	東部	馬橋	常盤平	五香松飛台	六実六高台	常盤平団地	小金	小金原	新松戸	馬橋西
配布数	87	215	103	136	105	176	164	246	164	109	44	182	167	119	83
回答数	31	74	33	51	32	52	55	103	64	43	11	64	71	48	36
回答率	35.6%	34.4%	32.0%	37.5%	30.5%	29.5%	33.5%	41.9%	39.0%	39.4%	25.0%	35.2%	42.5%	40.3%	43.4%

※　圏域情報を伏せて回答：０人

３．調査結果の表示方法

○　集計は、小数点以下第２位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が 100.0%にならない場合があります。

○　回答の比率（%）は、その質問の回答者数（n 値）を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。

○　無回答のもの、単一回答の設問において複数回答したもの、選択の判別がつかないものについてはいずれも「無回答」として集計しています。

○　本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。

○　選択肢「その他」の回答割合が 10%を超えているものについては、代表的な意見や内容を記しています。ただし、調査票で記入欄を設けていない場合や、回答者数が少数のため分類が困難な場合は記載していません。

４．標本誤差について

調査結果の比率から母集団（各調査属性を備えた対象者全体）の傾向を推測する際には、統計上の誤差（標本誤差）を考慮する必要があります。各回答比率での標本誤差は次の早見表の通りとなります。

例えば有効回答数が 5,555 人である一般高齢者調査の場合、ある質問の回答が 50%となったとき、松戸市内の一般高齢者のこの質問に対する回答は、48.7%～51.3%の間にあると考えてよいこととなります。一方、一般高齢者調査のうち、ある圏域での有効回答数が 300 人である場合は、ある圏域にお住まいの一般高齢者のこの質問に対する回答は 44.4%～55.6%の間にあると考えてよいこととなり、対象となる有効回答数が少なくなるほど標本誤差が大きくなります。

・標本誤差の算出式（ただし、信頼度を 95%とする。）

$$標本誤差＝\pm 1.96\times\sqrt{\frac{N-n}{N-1}\times\frac{P(1-P)}{n}}$$

Ｎ＝母集団数
ｎ＝有効回答数
Ｐ＝回答比率

各回答比率における標本誤差早見表

回答比率（P）／有効回答数（n）	10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
7,500	±0.7%	±0.9%	±1.0%	±1.1%	±1.1%
5,555	±0.8%	±1.0%	±1.2%	±1.3%	±1.3%
5,000	±0.8%	±1.1%	±1.2%	±1.3%	±1.4%
3,000	±1.1%	±1.4%	±1.6%	±1.7%	±1.8%
2,000	±1.3%	±1.7%	±2.0%	±2.1%	±2.2%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
750	±2.1%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.3%	±4.4%
300	±3.4%	±4.5%	±5.2%	±5.5%	±5.6%
200	±4.2%	±5.5%	±6.3%	±6.8%	±6.9%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%
50	±8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.9%

第2章　アンケート調査　設問一覧表

１．市民アンケート調査　設問一覧表

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
この調査票を記入されたのはどなたですか。					
この調査票を記入されるのはどなたですか。	○	○	○	○	○
あなた（宛名のかた）ご自身についてうかがいます。					
令和元年 11 月１日現在のあなたの年齢を記入してください。	○	○	○	○	○
あなたの性別をお答えください。	○	○	○	○	○
あなたの職業をお答えください。	○	○			
あなたの要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれですか。			○	○	○
一年前の要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれでしたか。			○	○	○
あなたのご家族や生活状況についてうかがいます。					
家族構成を教えてください。	○	○	○	○	○
あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。	○	○	○	○	○
└その期間は下記のうちどれですか。	○	○	○	○	○
└その方の年齢はいくつですか。	○	○	○	○	○
世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成 30 年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。	○	○	○	○	○
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	○	○	○	○	○
あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。	○	○	○	○	○
あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。		○	○	○	○
└介護が必要になった主な原因は何ですか。		○	○	○	○
└主にどなたの介護を受けていますか。		○	○	○	○
ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代のひきこもりの子を 80 代の親が面倒見るケースが増えているという社会問題が 8050 問題と呼ばれています。ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。	○	○	○	○	○
あなたの身体状況についてうかがいます。					
あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）	○	○	○	○	○
この６ヶ月間で２～３ｋｇ以上の体重減少がありましたか。	○	○	○	○	○
現在のあなたの健康状態はいかがですか。	○	○	○	○	○

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。	○	○	○	○	○
あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドッグを受けましたか。	○	○	○	○	○
あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。	○	○	○	○	○
歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）。	○	○	○	○	○
└毎日入れ歯の手入れをしていますか。	○	○	○	○	○
噛み合わせは良いですか。	○	○	○	○	○
食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。					
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	○	○	○	○	○
お茶や汁物などでむせることがありますか。	○	○	○	○	○
口の渇きが気になりますか。	○	○	○	○	○
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。	○	○	○	○	○
お酒は飲みますか。	○	○	○	○	○
タバコは吸っていますか。	○	○	○	○	○
どなたかと食事をともにする機会はありますか。	○	○	○	○	○
からだを動かすことについてうかがいます。					
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。		○	○	○	○
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。		○	○	○	○
15 分位続けて歩いていますか。		○	○	○	
過去１年間に転んだ経験がありますか。		○	○	○	○
転倒に対する不安は大きいですか。		○	○	○	○
週に１回以上は外出していますか。		○	○	○	○
昨年と比べて外出の回数が減っていますか。		○	○	○	○
外出を控えていますか。		○	○	○	
└外出を控えている理由は何ですか。		○	○	○	
└どのような支援があれば外出できますか。		○	○	○	
外出する際の移動手段は何ですか。		○	○	○	○

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
毎日の生活についてうかがいます。					
物忘れが多いと感じますか。		○	○	○	
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。		○	○	○	
今日が何月何日かわからない時がありますか。		○	○	○	
バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）		○	○	○	
自動車と運転免許について、あてはまるものはどれですか。		○	○	○	
自分で食品・日用品の買い物をしていますか。		○	○	○	
自分で食事の用意をしていますか。		○	○	○	
自分で請求書の支払いをしていますか。		○	○	○	
自分で預貯金の出し入れをしていますか。		○	○	○	
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。		○	○	○	
新聞を読んでいますか。		○	○	○	
本や雑誌を読んでいますか。		○	○	○	
健康についての記事や番組に関心がありますか。		○	○	○	
友人の家を訪ねていますか。		○	○	○	
家族や友人の相談にのっていますか。		○	○	○	
病人を見舞うことができますか。		○	○	○	
若い人に自分から話しかけることがありますか。		○	○	○	
趣味はありますか。		○	○	○	○
┗趣味は何ですか。		○	○	○	○
ペットを飼っていますか。		○	○	○	○
┗ペットを飼っていて困ることはありますか。		○	○	○	○
生きがいはありますか。	○	○	○	○	○
┗「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。	○	○	○	○	○
あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を０点、「とても幸せ」を 10 点として、点数をつけてください）。	○	○	○	○	○
この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	○	○	○	○	○

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	○	○	○	○	○
普段の生活に困っていることはありますか。		○	○	○	
あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。		○	○	○	○
フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。	○	○	○	○	
地域での活動についてうかがいます。					
あなたは、町会または自治会に加入していますか。	○	○	○	○	○
以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ①　ボランティアのグループ	○	○	○	○	
②　スポーツ関係のグループやクラブ	○	○	○	○	
③　趣味関係のグループ	○	○	○	○	
④　学習・教養サークル	○	○	○	○	
⑤　元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場		○	○	○	
⑥　はつらつクラブ（老人クラブ）		○	○	○	
⑦　町会・自治会		○	○	○	○
⑧　収入のある仕事		○	○	○	
会・グループに１つでも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。		○	○	○	
地域住民の有志によって､健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	
地域住民の有志によって､健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	
└活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。	○	○	○	○	
たすけあいについてうかがいます。					
あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。	○	○	○	○	
反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。	○	○	○	○	
あなたが病気で数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人はいますか。	○	○	○	○	
反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。	○	○	○	○	
家族や友人知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えて下さい。	○	○	○	○	○

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。		○	○	○	
この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても１人と数えてください。		○	○	○	
よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。		○	○	○	
あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合い活動として、自分ができる範囲で何か協力することはできますか。	○	○	○		
あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力することができることはどんなことですか。	○	○	○		
あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。	○	○	○		
┗協力できない理由は何ですか。	○	○	○		
「地域共生社会」という言葉・内容を知っていますか。	○	○	○	○	
┗地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。	○	○	○	○	
住んでいる地域についてうかがいます。					
あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。	○	○	○	○	○
あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。	○	○	○	○	○
あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。	○	○	○	○	○
避難するにあたり不安はありますか。	○	○	○	○	○
最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。	○	○	○	○	○
┗市外の医療機関にかかる理由はなんですか。	○	○	○	○	○
┗医療機関は以下のどれにあたりますか。	○	○	○	○	○
最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。	○	○	○	○	○
かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。	○	○	○	○	○
それは何か所くらいですか。	○	○	○	○	○
その際、お薬手帳は持参していますか。	○	○	○	○	○
高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますか。		○			
認知症に関することについてうかがいます。					
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	○	○	○		
認知症に関する相談窓口を知っていますか。	○	○	○		
認知症は誰でもなる可能性がある病気と知っていますか。	○	○			

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。	○	○	○		
認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場)がどこにあれば参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○
松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。	○	○	○		
松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。	○	○	○	○	○
介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。					
介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（２５項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていましたか。		○	○		
以下のサービスについて利用したことがありますか。また、名称や内容を知っていましたか。 ①　訪問型元気応援サービス（生活支援コース）		○	○	○	
②　訪問型元気応援サービス（困りごとコース）		○	○	○	
③　短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）		○	○	○	
あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。			○	○	○
└次のような在宅サービスを利用していますか。			○	○	○
└介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。			○	○	○
└あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。			○	○	○
以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また（※介護が必要になった場合）、利用してみたいと思いますか。（※若年者、一般高齢者のみ表記） ①　小規模多機能型居宅介護	○	○	○	○	○
②　看護小規模多機能型居宅介護	○	○	○	○	○
③　定期巡回型訪問介護・看護	○	○	○	○	○
あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に（あなたは今後）どこでどのような介護を受けたいと思いますか。	○	○	○	○	○
└あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。	○	○	○	○	○
└その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。	○	○	○	○	○
└あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。	○	○	○	○	○
今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。	○	○	○	○	○

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
権利擁護・成年後見人制度についてうかがいます。					
あなたは、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○
あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。	○	○	○	○	○
あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。	○	○	○	○	○
あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○
虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。	○	○	○	○	○
成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていましたか。また、必要になったときに利用したいですか。	○	○			
「市民後見協力員」（専門協力員（弁護士、司法書士、社会福祉士など）とペアを組んで、法人後見をボランティアで活動いただく方）について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。この制度について、知っていましたか。また講座に参加してみたいと思いますか。	○	○			
市の高齢者施策についてうかがいます。					
福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また利用してみたいと思いますか。	○	○	○	○	○
高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○
松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。	○	○	○	○	○
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。		○	○	○	○
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。		○	○	○	○
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。	○	○			
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。	○	○	○	○	○
介護に関することについてうかがいます。					
以下の名称について知っていましたか。 ①　ケアラー	○	○	○	○	○
②　ヤングケア	○	○	○	○	○
③　ダブルケア	○	○	○	○	○
男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。	○	○	○	○	○
介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。	○	○			

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
近親者（家族）に対する介護の実施状況についてうかがいます。					
あなたは今（過去に）介護をしていますか。	○	○			
┗現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。 その方（要介護者）はどなたですか。	○	○			
┗その方（要介護者）はどこで生活していますか（生活していましたか）。	○	○			
┗介護の期間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
┗１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
┗１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
┗介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。	○	○			
┗その方の（要介護者）介護にあたり協力者はいますか（いましたか）。 あなたから見た続柄でお答えください。	○	○			
あなたは、お答えいただいた以外の方を同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。	○	○			
あなたは介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。	○	○			
┗どうしてそのように対応したのですか。	○	○			
┗仕事を続けていられた理由は何ですか。	○	○			
┗今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	○	○			
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。	○	○			
今後の介護の方法はどのように考えていますか。	○	○			
可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。	○	○			
┗既に申込みをしている施設はありますか。	○	○			
┗最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。	○	○			
┗施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。	○	○			

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況についてうかがいます。					
ご本人（あて名の方）を主に介護している方（以下「主な介護者」といいます。）は、ご本人から見てどなたですか。			○	○	○
令和元年 11 月１日現在のあなた（主な介護者）の年齢を記入してください。			○	○	○
あなた（主な介護者）の性別をお答えください。			○	○	○
あなた（主な介護者）の職業をお答えください。			○	○	○
現在、あなた（主な介護者）が行っている介護等についてお答えください。			○	○	○
ご本人（あて名の方）はどちらにいらっしゃいますか。			○	○	○
介護の期間はどの程度ですか。			○	○	○
１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか。			○	○	○
１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか。			○	○	○
介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか。			○	○	○
ご本人（あて名の方）の介護にあたり協力者はいますか。あなた（主介護者）から見た続柄でお答えください。			○	○	○
あなた（主介護者）は、ご本人（あて名の方）以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。			○	○	○
あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。			○	○	○
└仕事を辞めることになった理由は何ですか。			○	○	○
└仕事を続けていられた理由は何ですか。			○	○	○
└今後も働きながら介護を続けていけそうですか。			○	○	○
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。			○	○	○
今後の介護の方法はどのように考えていますか。			○	○	○
└可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。			○	○	○
└既に申込みをしている施設はありますか。			○	○	○
└最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。			○	○	○
└施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。			○	○	○
あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。			○	○	○
在宅医療を利用してみたいと思いますか。			○	○	○
└在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。			○	○	○

質　問	若年者	一般高	事要支	軽要介	重要介
┗在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか。			○	○	○
あなた（主な介護者）は、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。			○	○	○
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。			○	○	○
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。			○	○	○
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。			○	○	○
「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。			○	○	○
「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。			○	○	○
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。			○	○	○

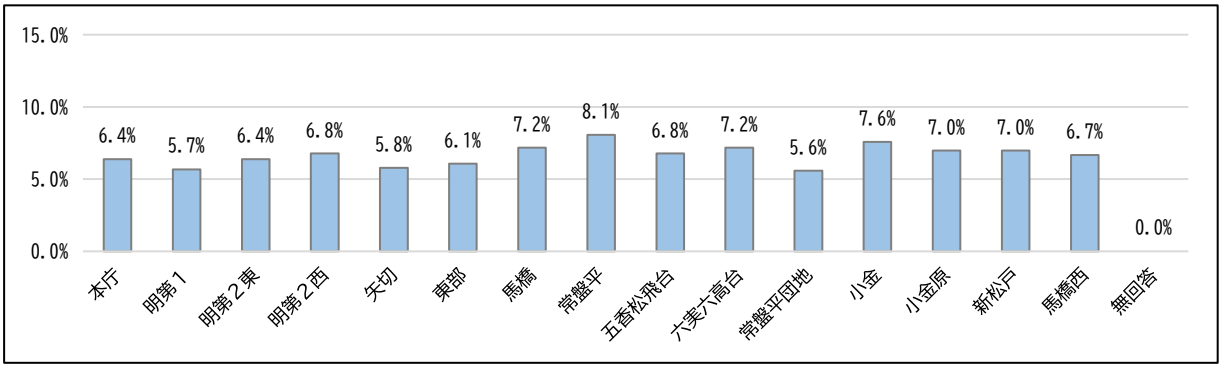
第 3 章 調査の結果

１．ご自身について

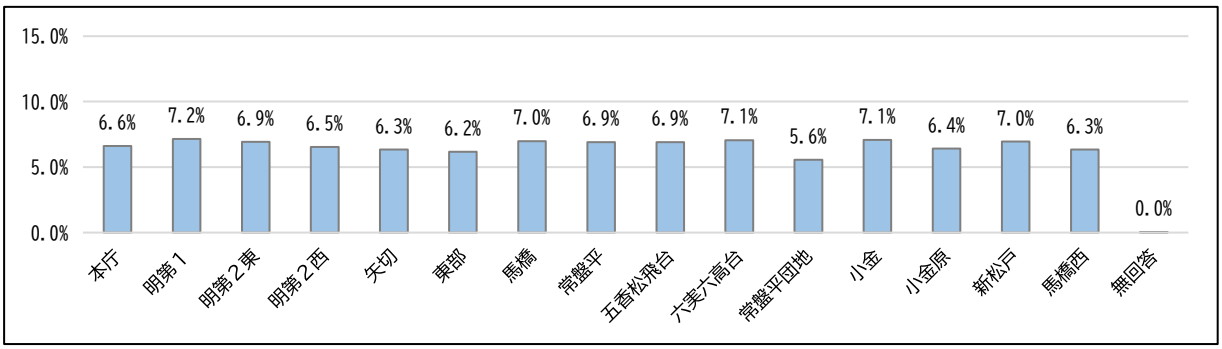
（１）日常生活圏域

各調査における日常生活圏域ごとの回答者数割合は次の通りとなっています。なお、日常生活圏域については予め調査票に付した記号にて集計しています。

■　若年者調査（n＝1,004）

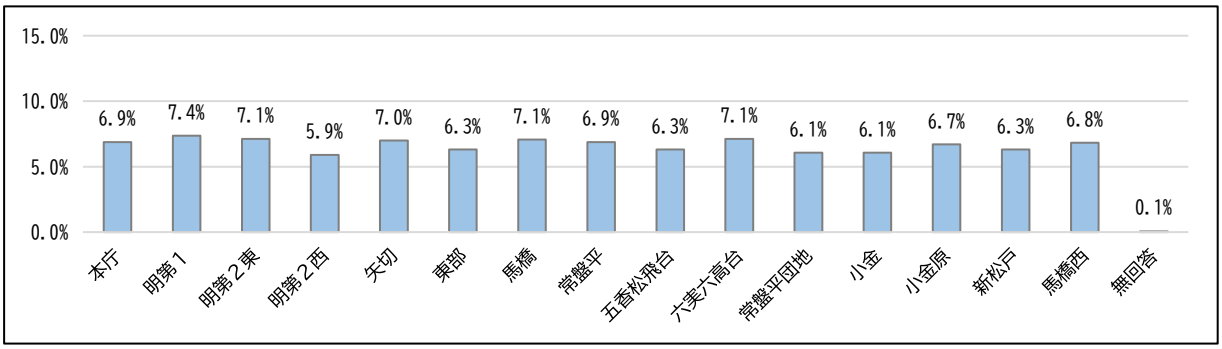


■　一般高齢者調査（n＝5,546）



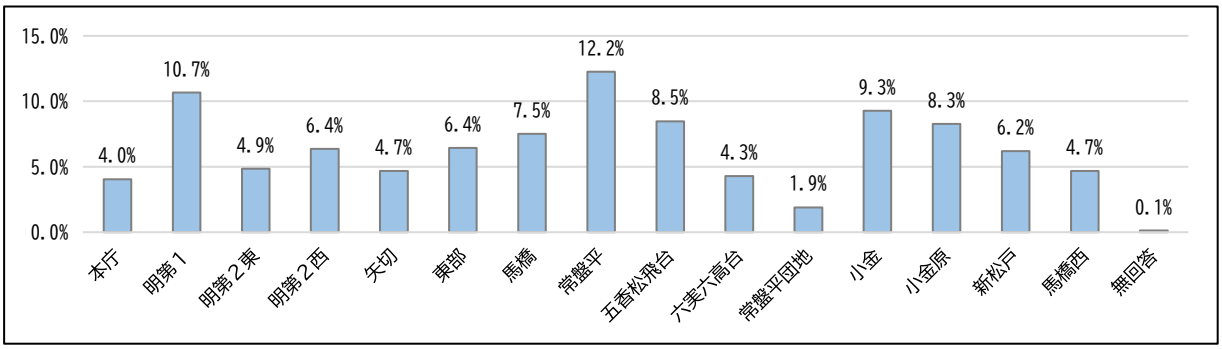
※　圏域情報を伏せて回答：２人

■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

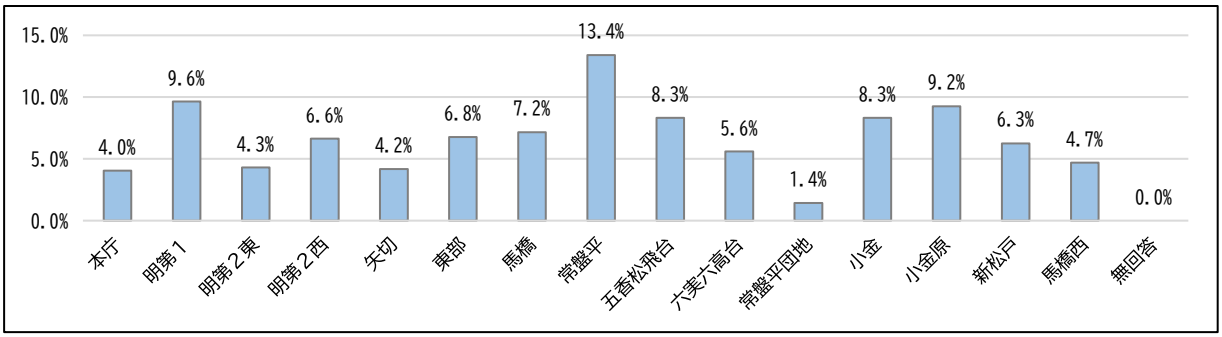


※　圏域情報を伏せて回答：１人

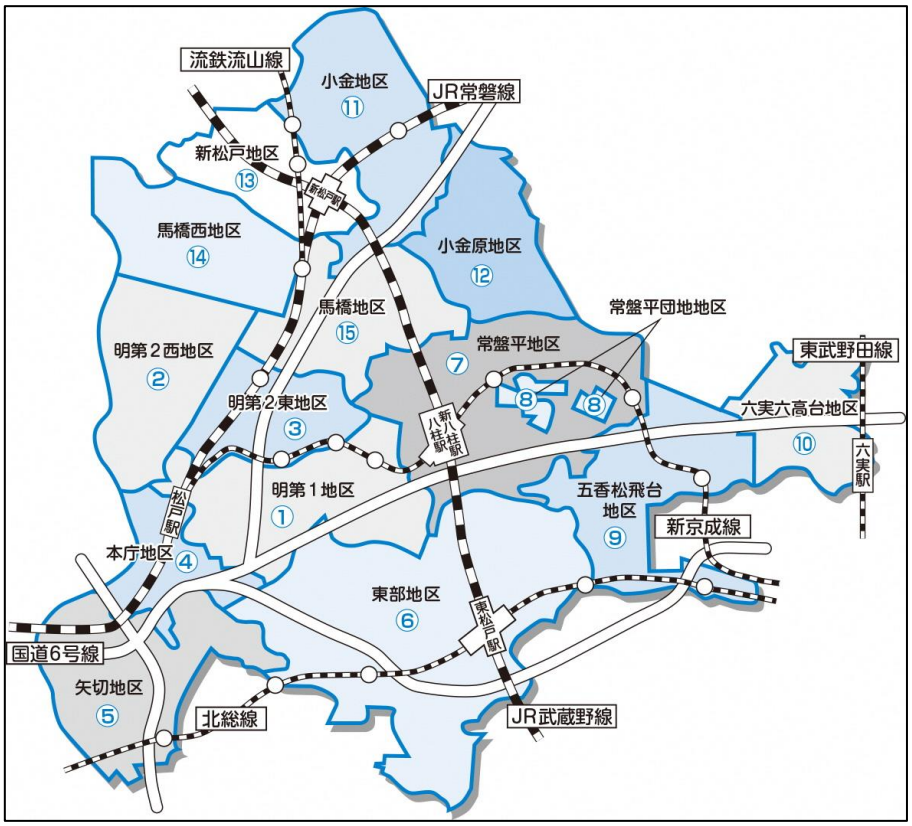
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



松戸市の日常生活圏域

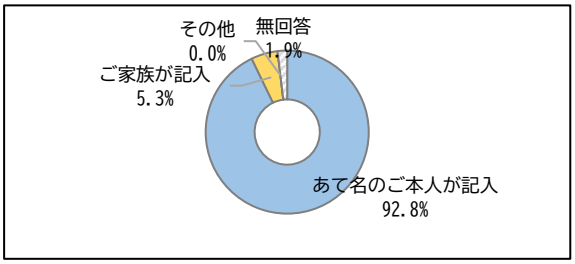


（２）調査票記入者

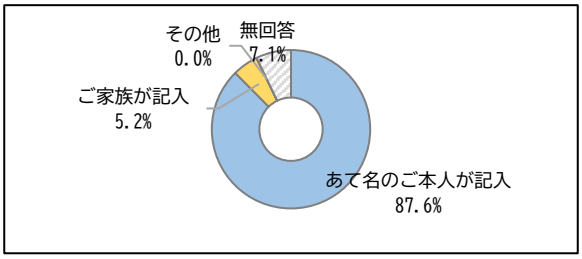
この調査票を記入されるのはどなたですか。（１つの番号に○）

各調査における調査票記入者は次の通りとなっています。

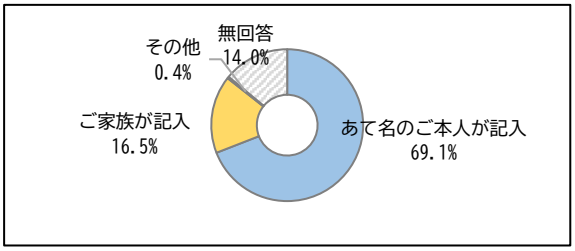
■　若年者調査（n＝1,004）



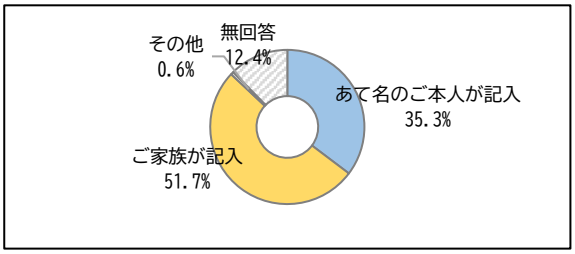
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



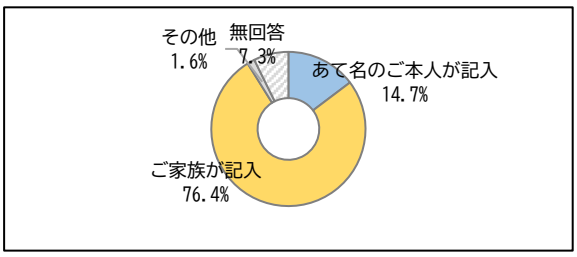
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

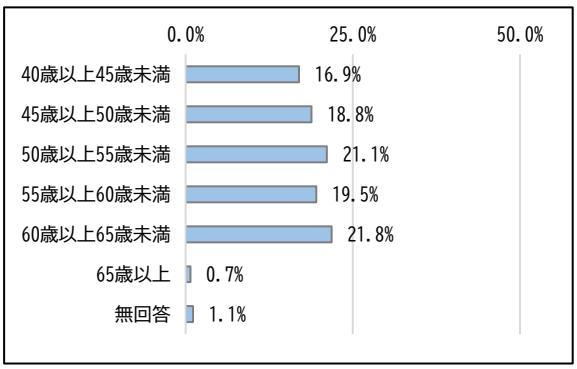


（３）年齢

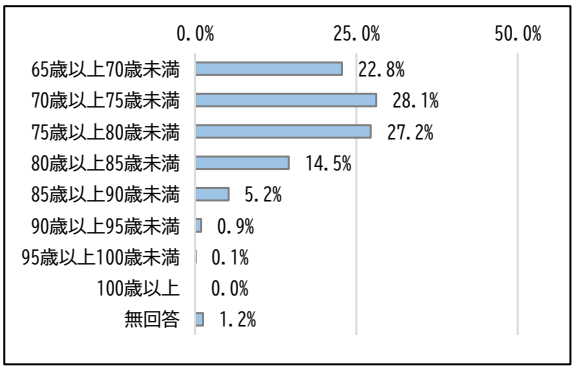
令和元年 11 月１日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

各調査における回答者の年齢割合は次の通りとなっています。

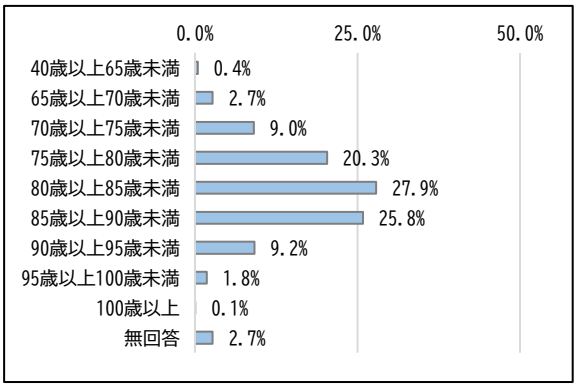
■　若年者調査（n＝1,004）



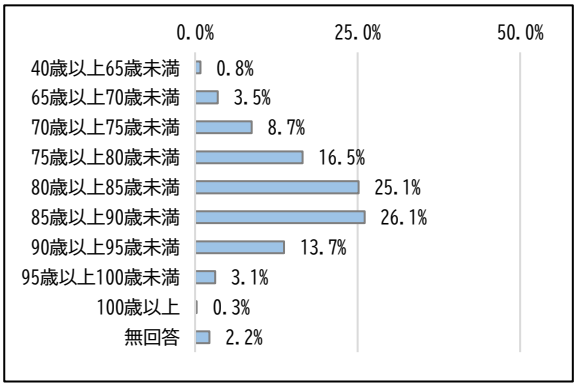
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



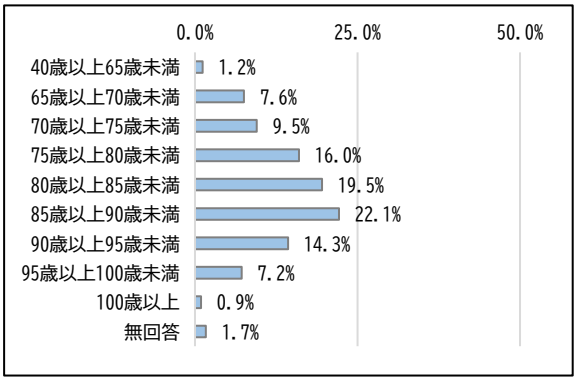
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

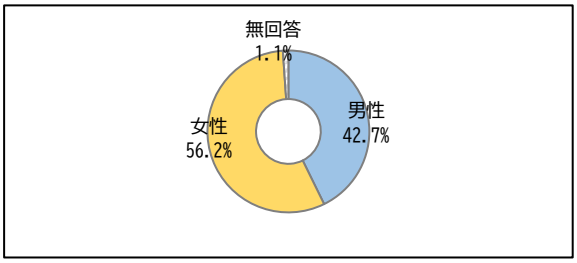


（４）性別

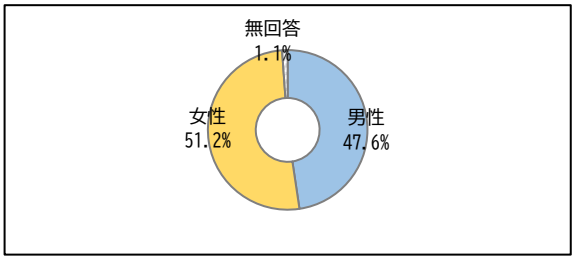
あなたの性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

各調査における回答者の性別割合は次の通りとなっています。

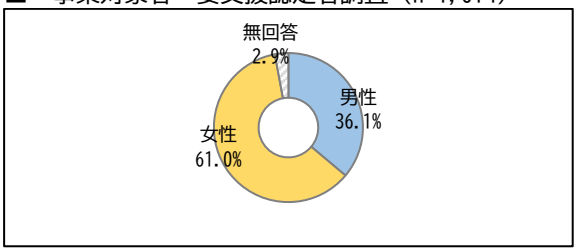
■　若年者調査（n＝1,004）



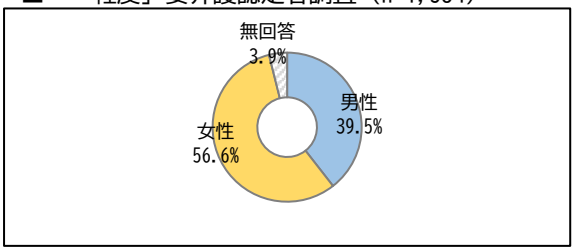
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



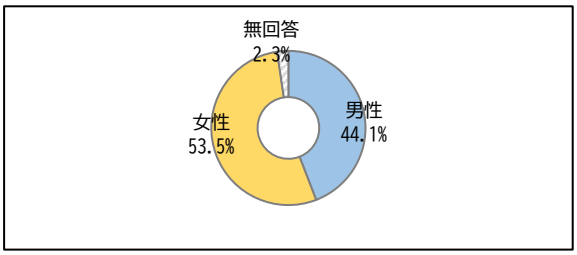
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

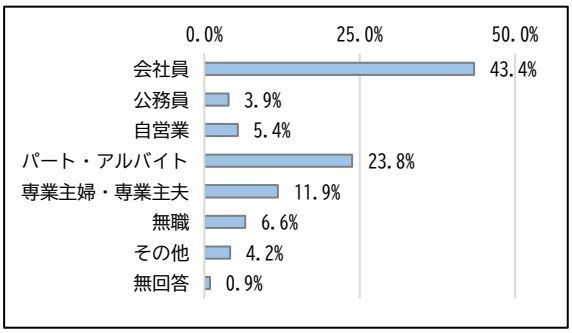


（５）職業

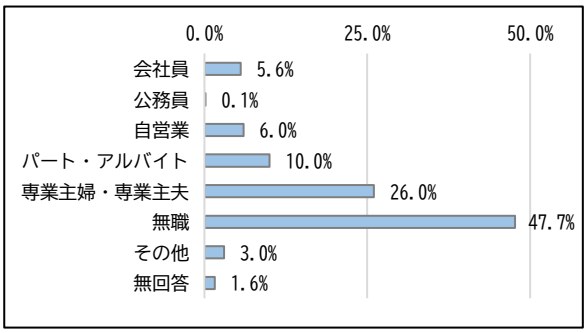
あなたの職業をお答えください。（１つの番号に○）

若年者、一般高齢者における回答者の職業種別割合は次の通りとなっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）

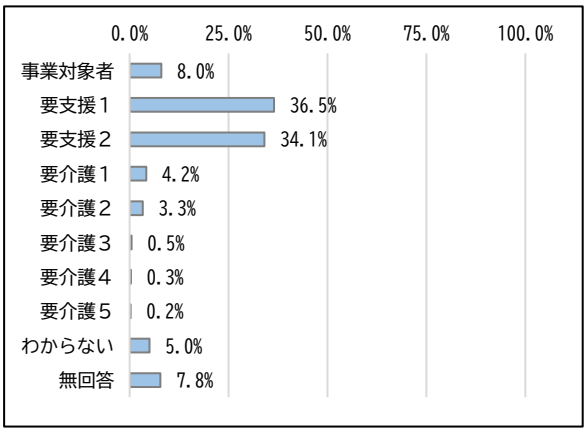


（６）現在の要介護（支援）等状態区分

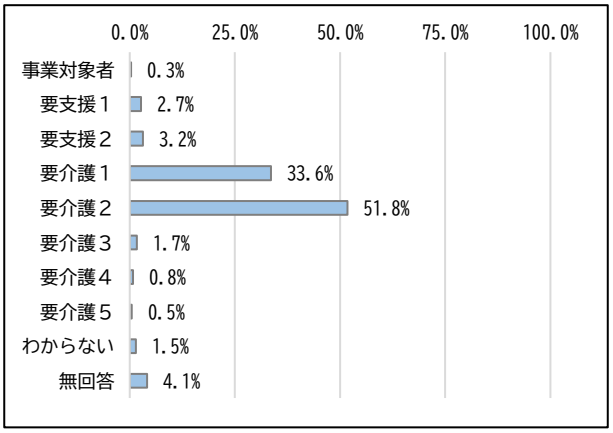
あなたの要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれですか。（１つの番号に○）

事業対象者・要支援認定者及び「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者における、回答者の要介護（支援）等状態区分は次の通りとなっています。

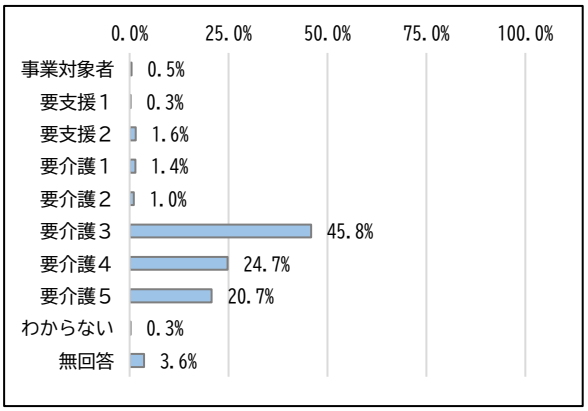
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

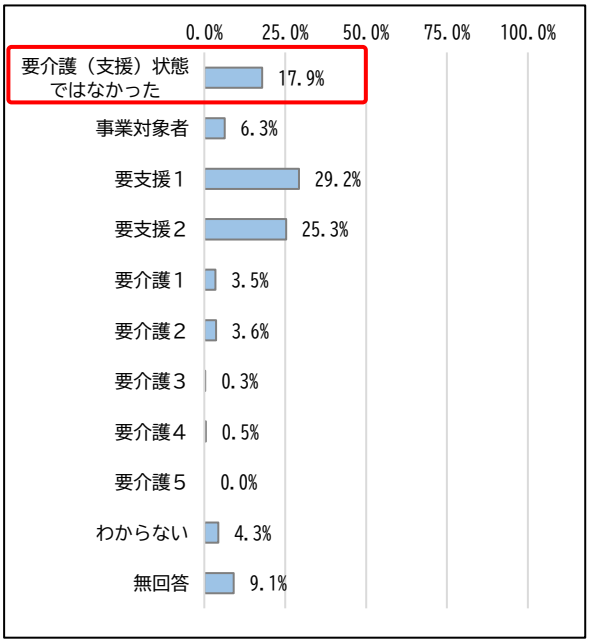


（７）一年前の要介護（支援）等状態区分

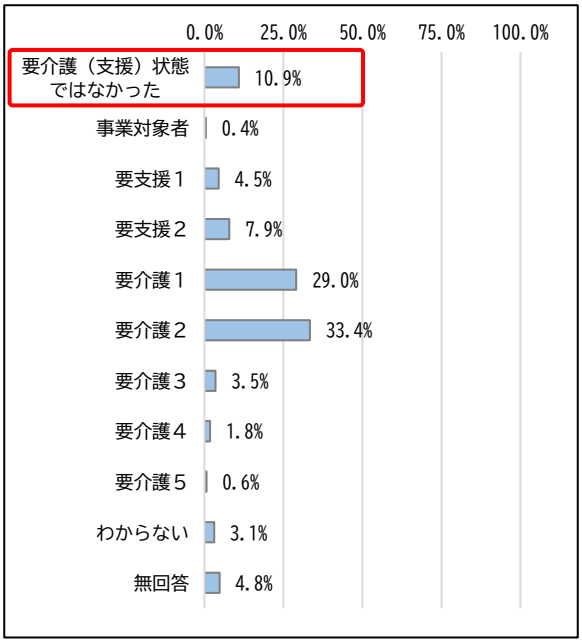
一年前の要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれでしたか。（１つの番号に○）

事業対象者・要支援認定者及び「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者における、回答者の一年前の要介護（支援）等状態区分について、「要介護（支援）状態ではなかった」と回答した割合は、事業対象者・要支援認定者では 17.9%、「軽度」要介護認定者では 10.9%、「重度」要介護認定者では 9.2%となっています。

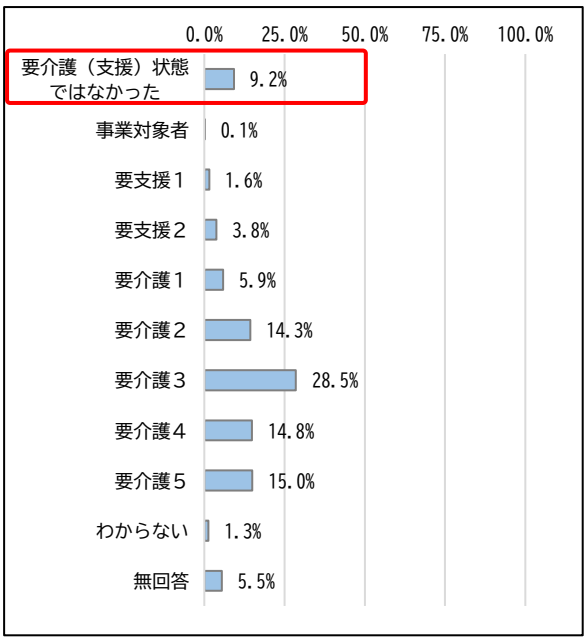
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



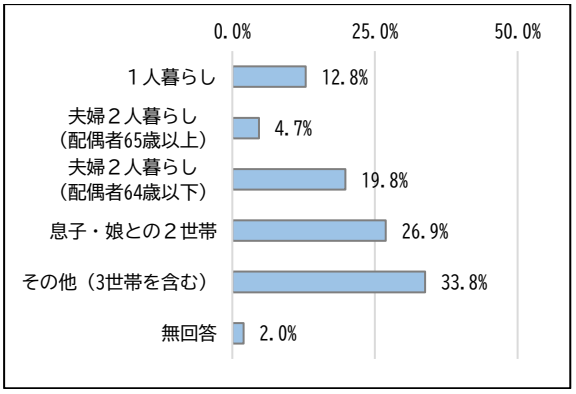
２．ご家族や生活状況について

（１）家族構成

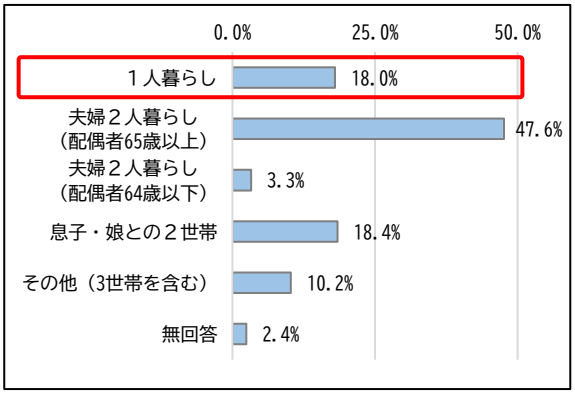
家族構成をお教えください。（１つの番号に○）

各調査における回答者の家族構成について、「１人暮らし」と回答した割合は、一般高齢者では 18.0%、事業対象者・要支援認定者では 32.9%、「軽度」要介護認定者では 23.4%、「重度」要介護認定者 13.2%となっています。

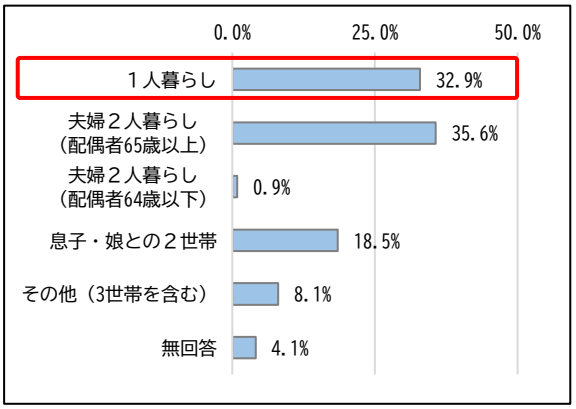
■　若年者調査（n＝1,004）



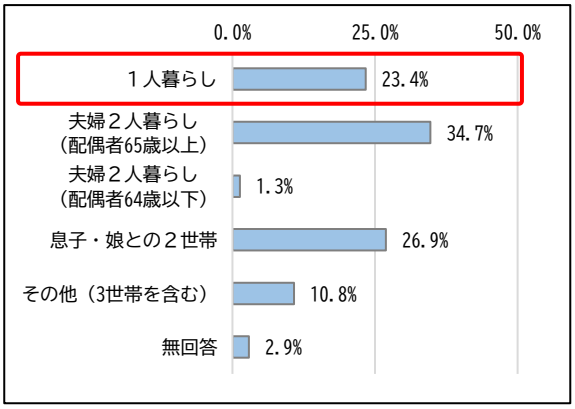
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



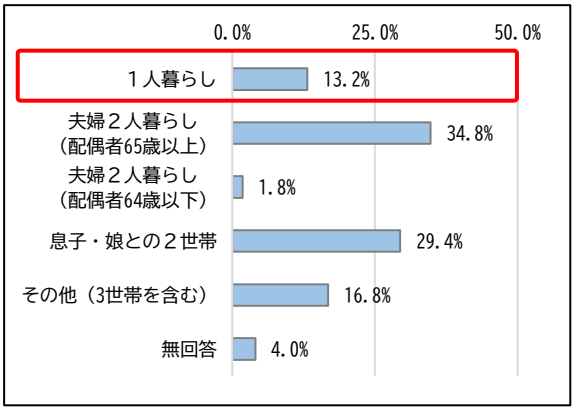
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

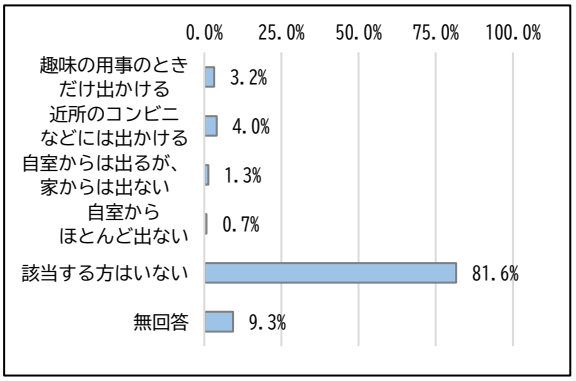


（２）家族の中での引きこもり

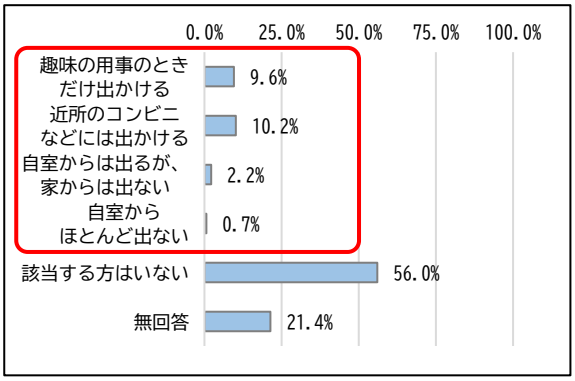
あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（１つの番号に○）

家族の中に「家や自室からあまり出ない方がいる」と回答した割合について、要介護（要支援）認定者を含む高齢者の家族にている割合が高くなっています。

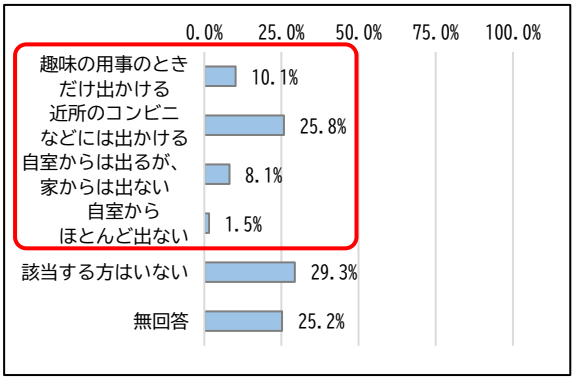
■　若年者調査（n＝1,004）



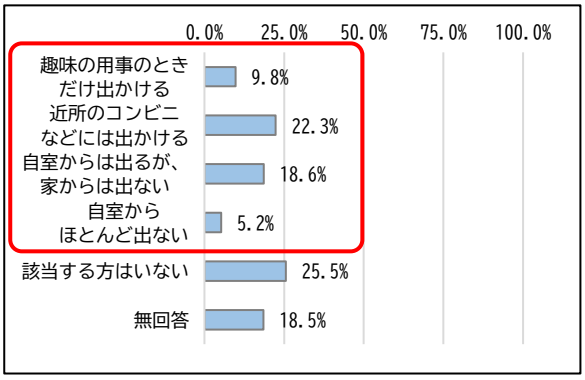
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



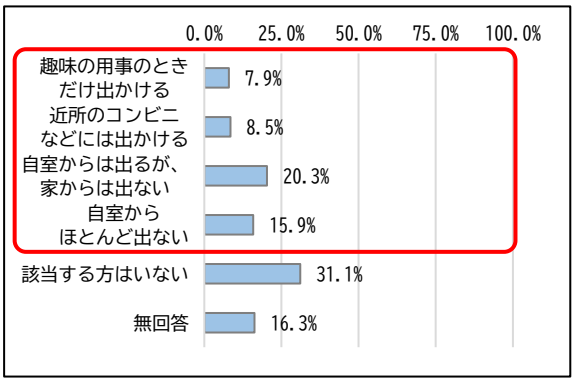
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



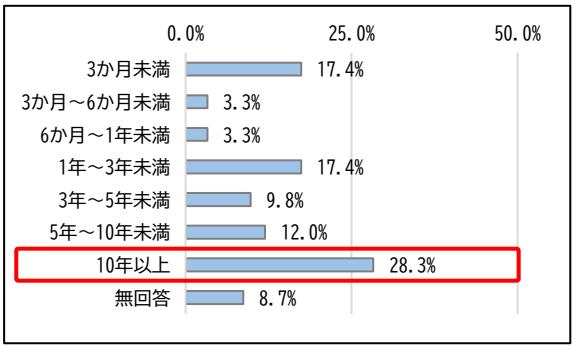
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



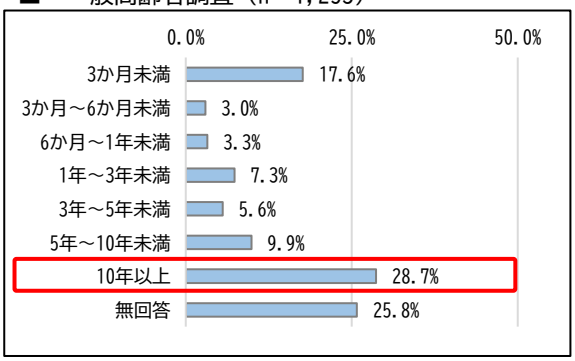
家族の中に家や自室からあまり出ない方がいる、と回答した方のみ
その期間は下記のうちどれですか（あてはまる番号すべてに○）

家や自室からあまり出ない方におけるその期間について、若年者並びに一般高齢者では「10 年以上」と回答した方の割合が高くなっており、約 28%となっています。

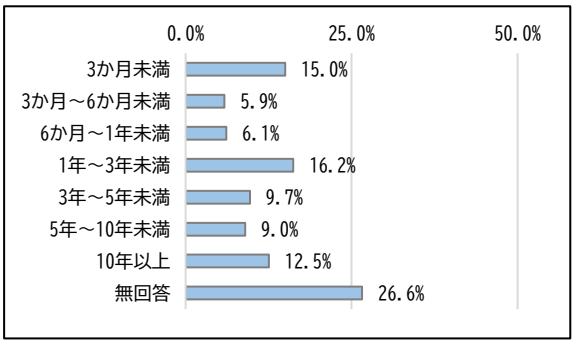
■　若年者調査（n＝92）



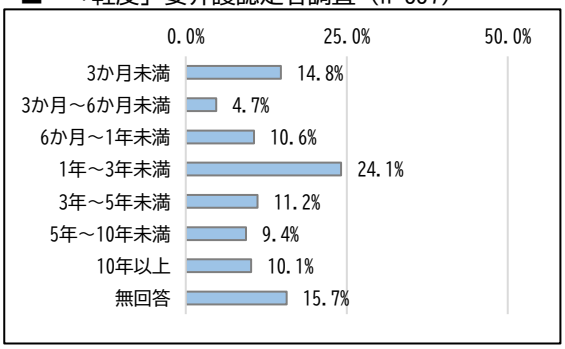
■　一般高齢者調査（n＝1,253）



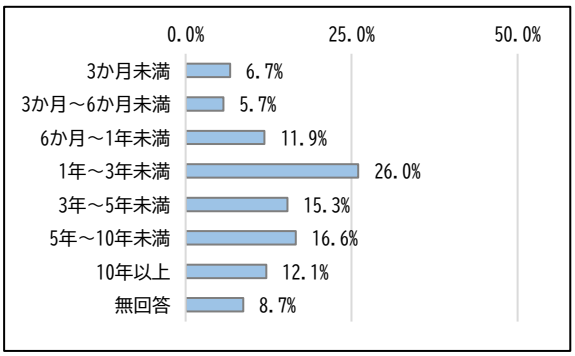
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=734）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=887）



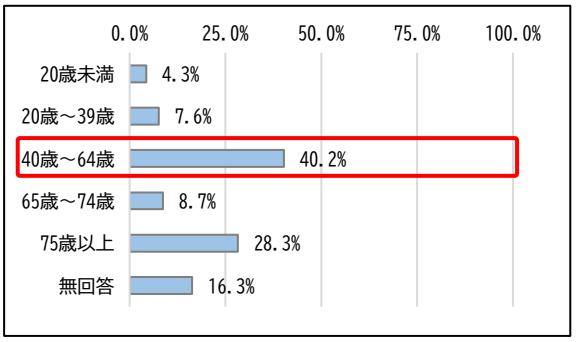
■　「重度」要介護認定者調査（n=404）



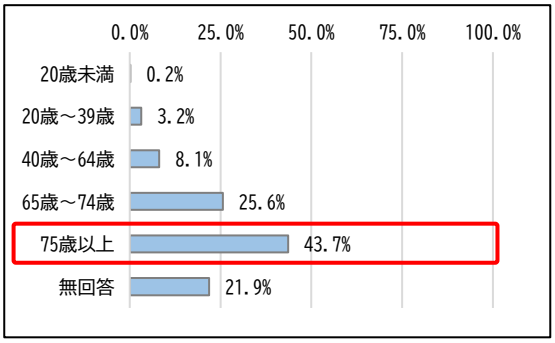
家族の中に家や自室からあまり出ない方がいると回答した方のみ
その方の年齢はいくつですか（あてはまる番号すべてに○）

家や自室からあまり出ない方の年齢について、若年者では「40 歳～64 歳」の割合が高く、要介護（要支援）認定者を含む高齢者では「75 歳以上」の割合が高くなっています。

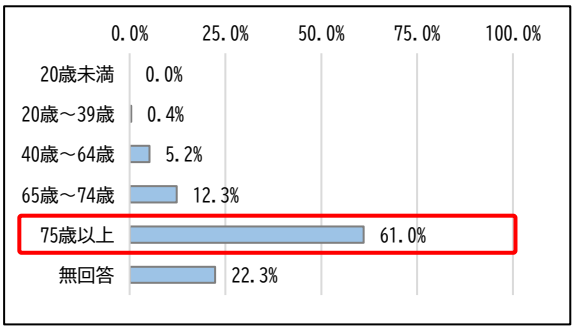
■　若年者調査（n＝92）



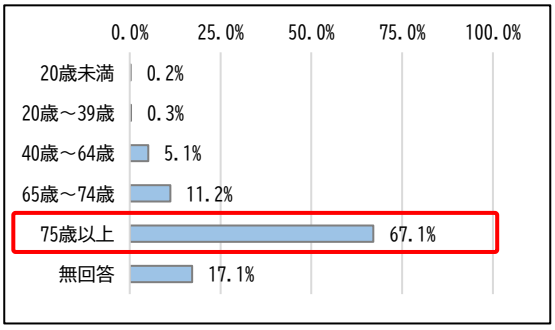
■　一般高齢者調査（n＝1,253）



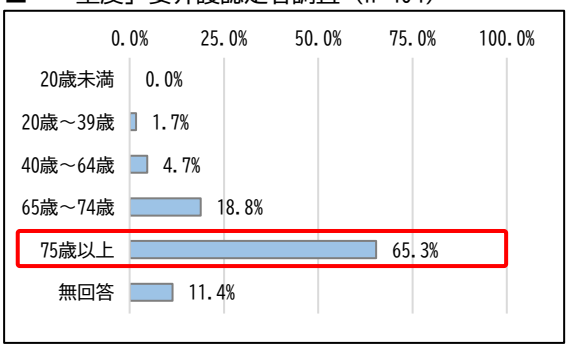
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=734）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=887）



■　「重度」要介護認定者調査（n=404）

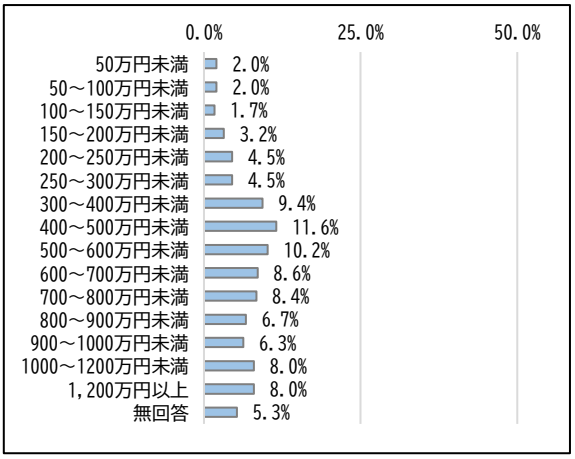


（３）世帯収入

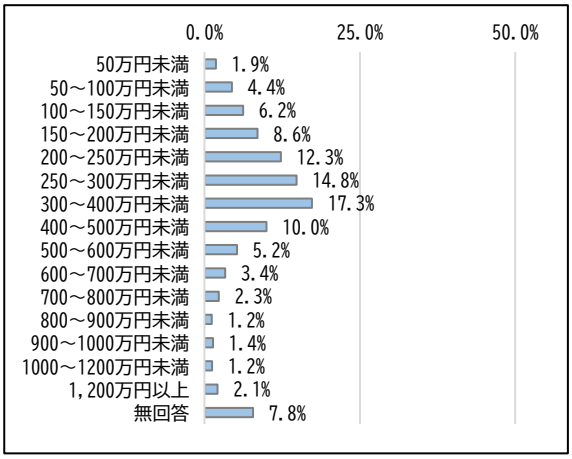
世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成 30 年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

各調査における回答者の世帯全体の収入額割合は次の通りとなっています。

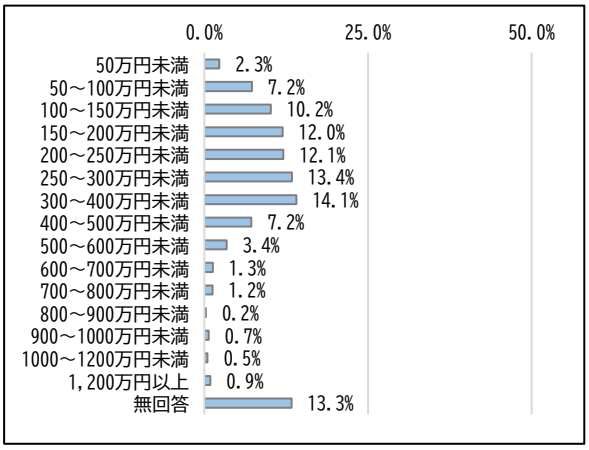
■　若年者調査（n＝1,004）



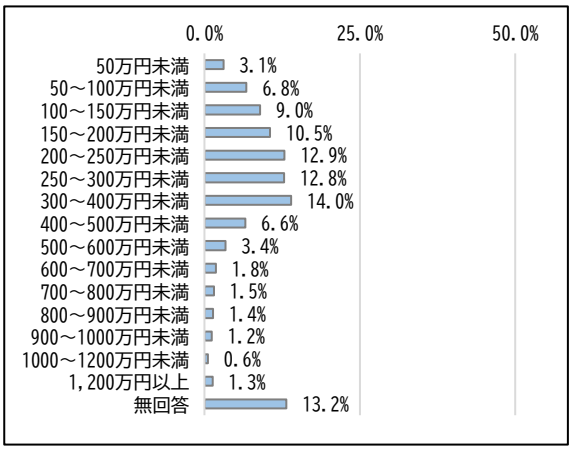
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



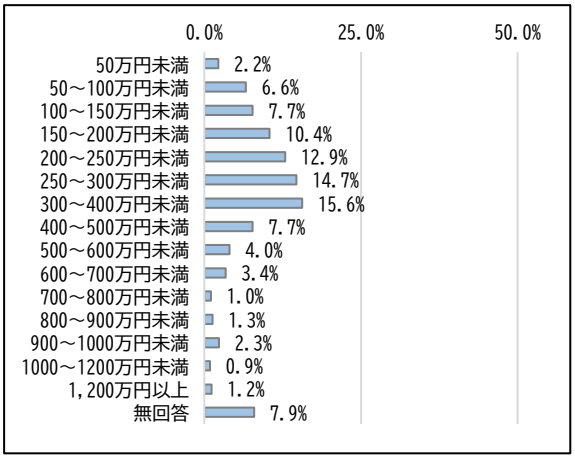
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

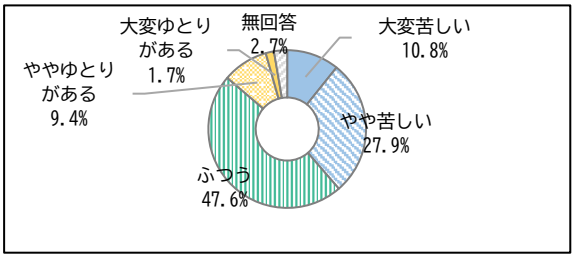


（４）経済的に見た暮らしの状況

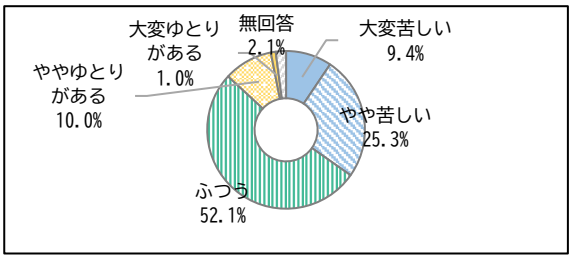
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つの番号に○）

現在の暮らしの状況を経済的にみた感じとして、「重度」要介護認定者では「大変苦しい」「やや苦しい」と回答した割合が 48.9%と高くなっています。

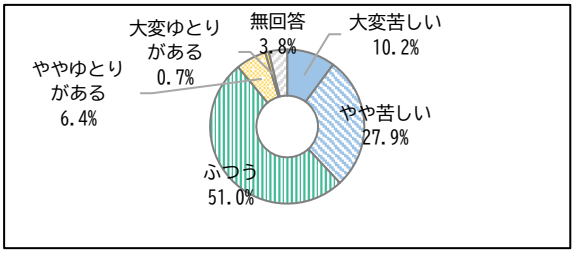
■　若年者調査（n＝1,004）



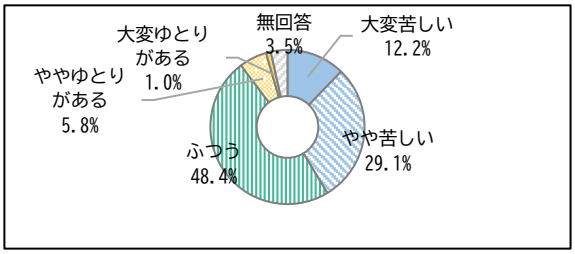
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



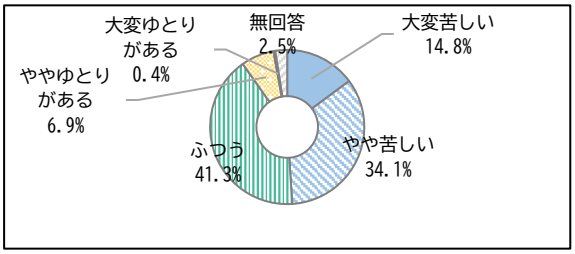
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

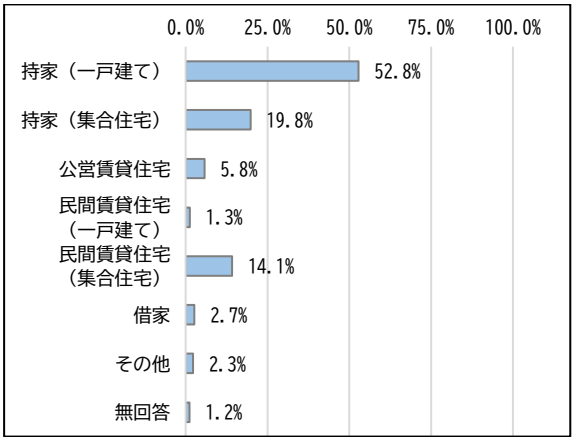


（５）住宅の種類

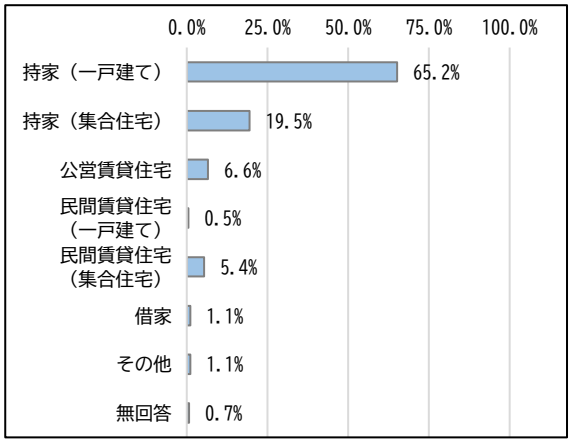
あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（１つの番号に○）

住んでいる住宅の種類について、持家（一戸建て）の方の割合が最も多く、若年者では52.8%、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では約65%となっています。

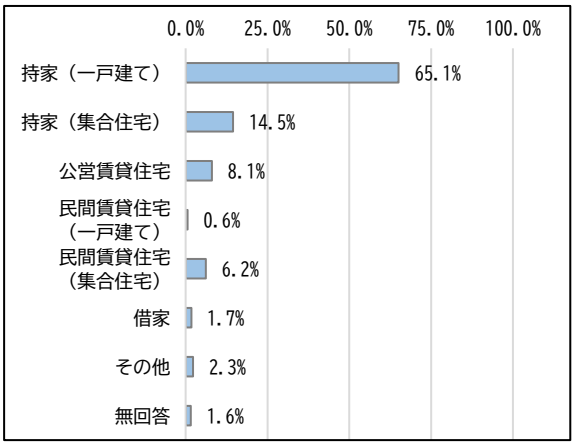
■　若年者調査（n＝1,004）



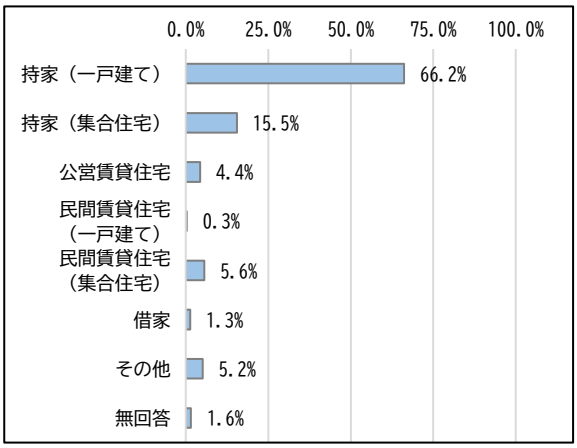
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



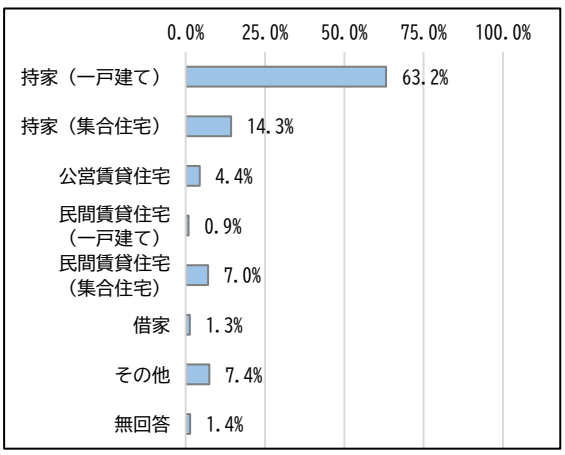
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

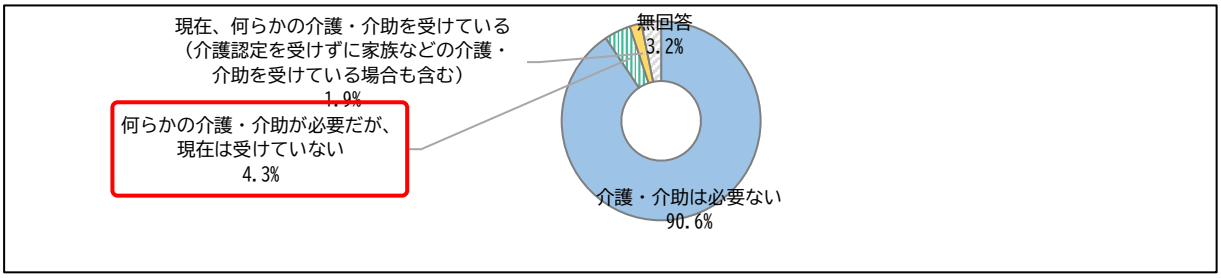


（６）介護・介助必要状況

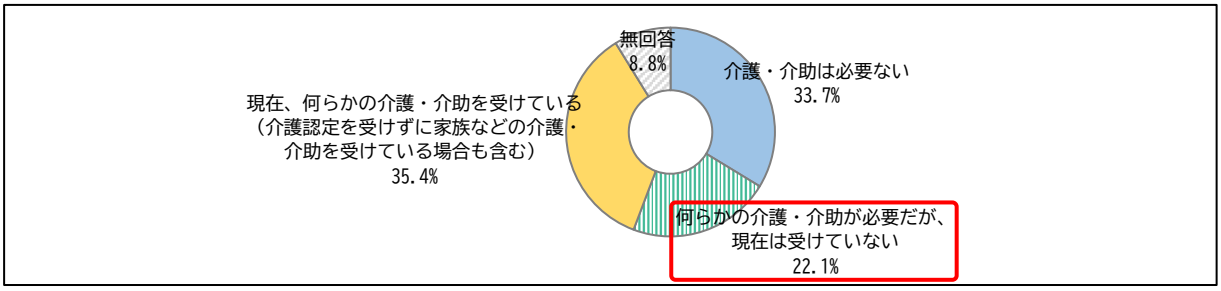
あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つの番号に○）

普段の生活でどなたかの介護・介助を必要とする割合について、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」と回答した割合は一般高齢者では 4.3%、事業対象者・要支援認定者では 22.1%、「軽度」要介護認定者では 11.0%、「重度」要介護認定者では 4.7%となっています。

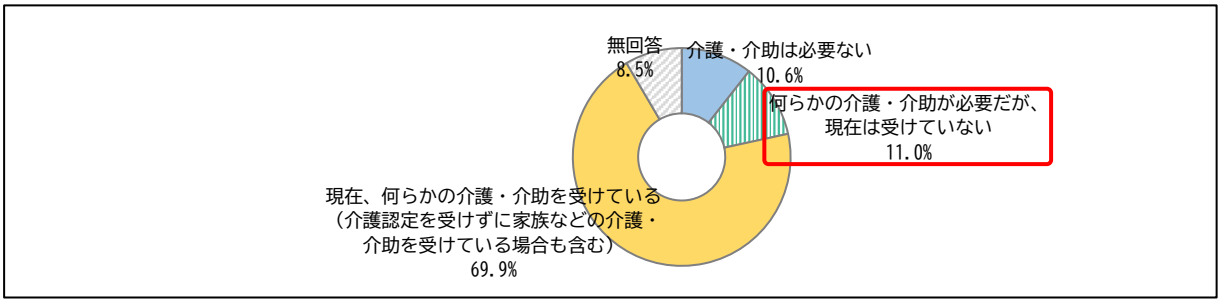
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



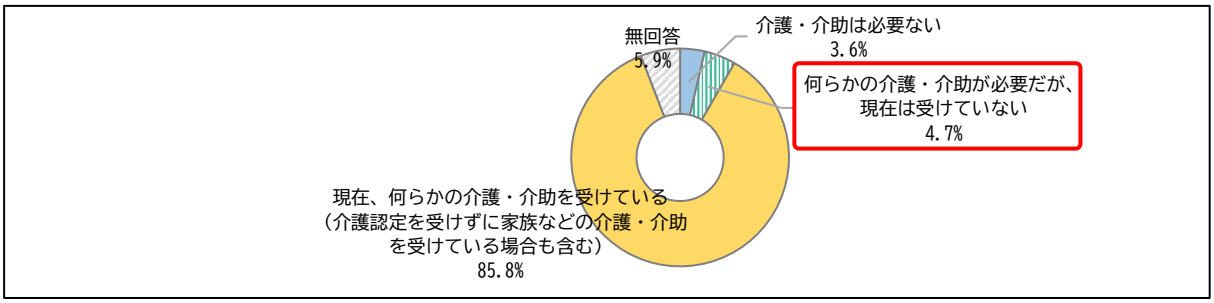
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

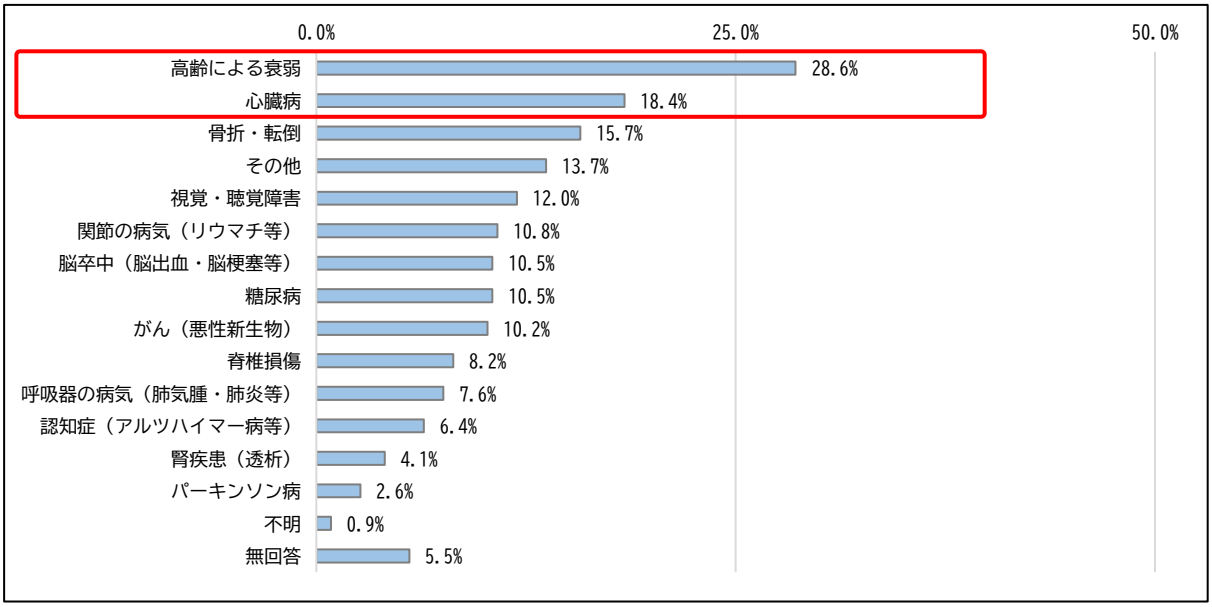


介護・介助が必要と回答した方のみ、お答えください。

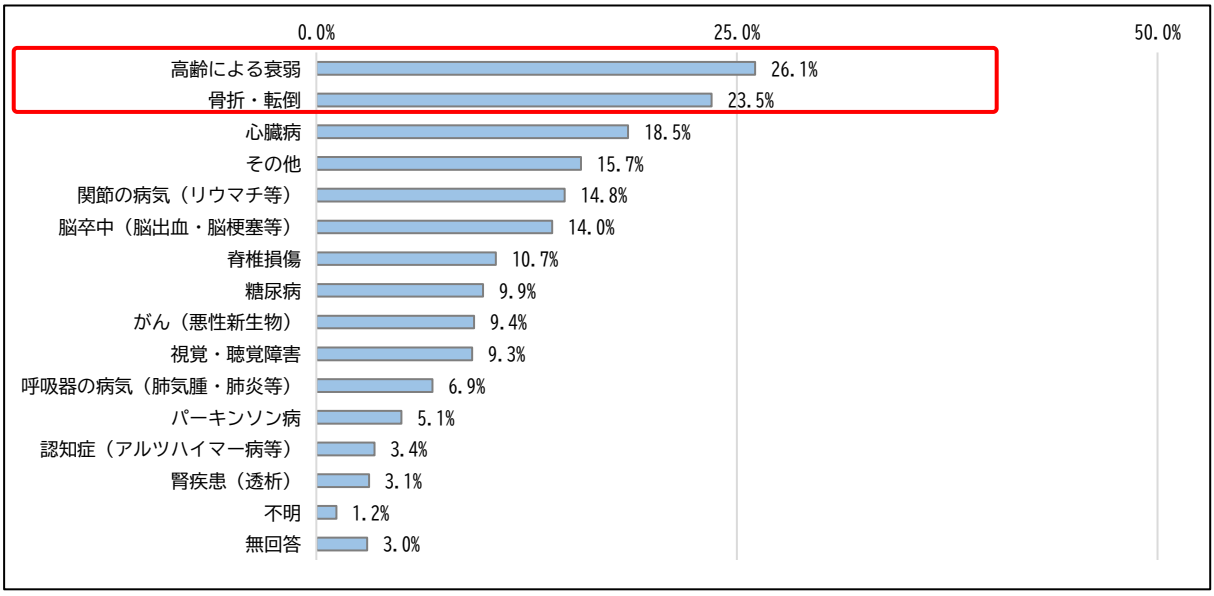
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護・介助が必要になった主な原因として、一般高齢者では「高齢による衰弱」が最も多く、次いで「心臓病」となっています。事業対象者・要支援認定者では「高齢による衰弱」が最も多く、次いで「骨折・転倒」となっています。「軽度」要介護認定者では「認知症（アルツハイマー病等）」が最も多く、次いで「高齢による衰弱」となっています。「重度」要介護認定者では、「認知症（アルツハイマー病等）」が最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」となっています。要介護となる要因として、初期段階では「骨折・転倒」が多く、重度化になるにつれ「認知症」が多くなっています。

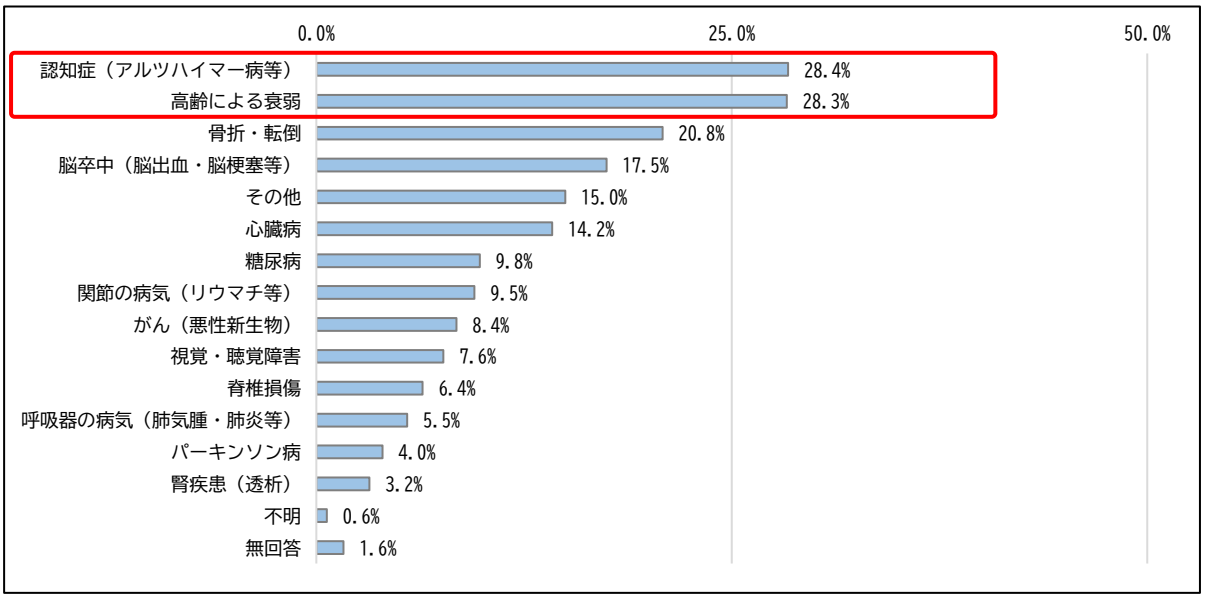
■　一般高齢者調査（n＝343）



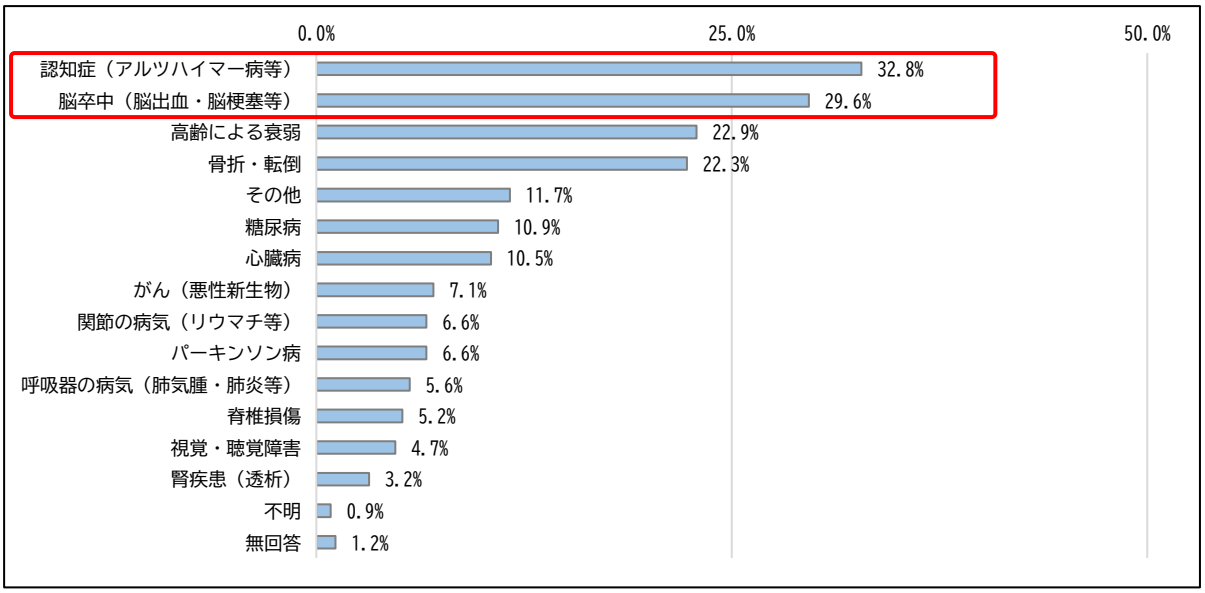
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=928）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,282）



■　「重度」要介護認定者調査（n=695）

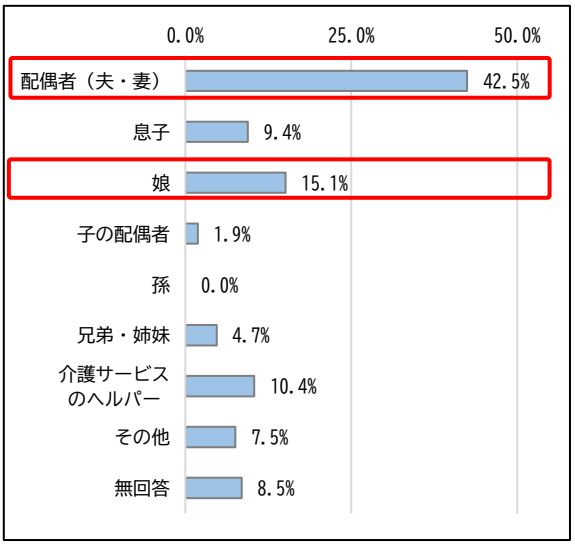


介護・介助を受けていると回答した方のみ、お答えください。

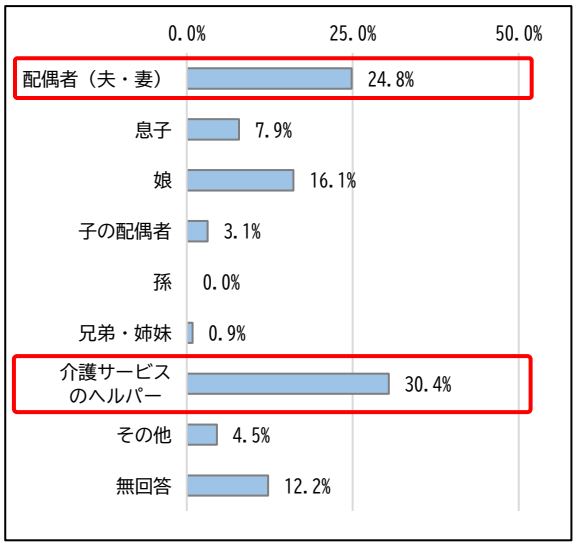
主にどなたの介護・介助を受けていますか。（１つの番号に○）

介護・介助を行っている方として、一般高齢者では「配偶者（夫・妻）」が最も多く、次いで「娘」となっています。事業対象者・要支援認定者では「介護サービスのヘルパー」が最も多く、次いで「配偶者」となっています。「軽度」要介護認定者・「重度」要介護認定者では、「配偶者」が最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」となっています。

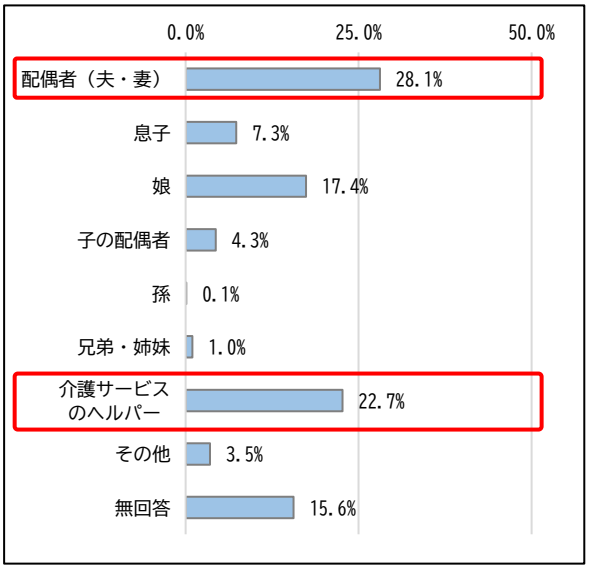
■　一般高齢者調査（n＝106）



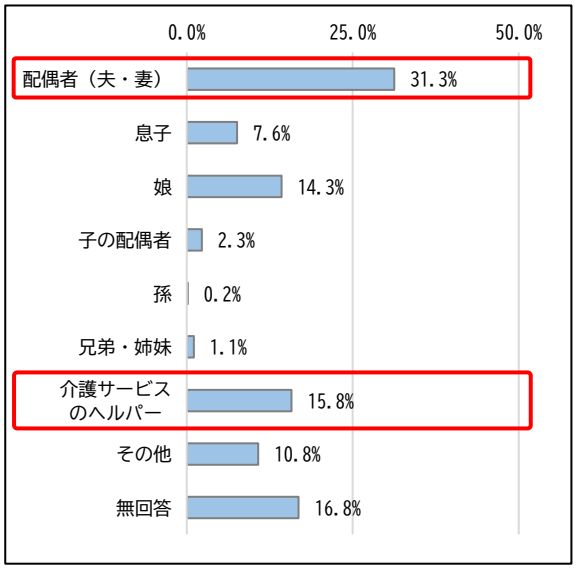
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=572）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,108）



■　「重度」要介護認定者調査（n=659）

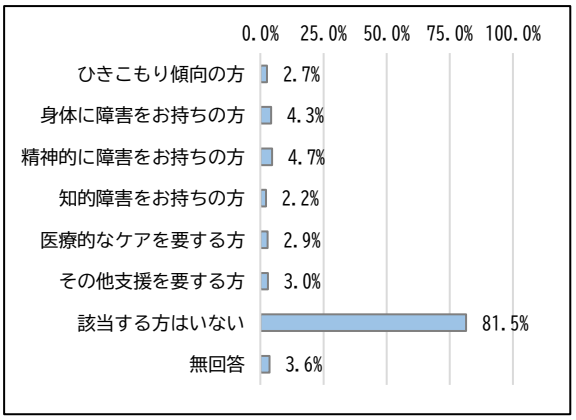


（７）支援を必要とする家族の有無

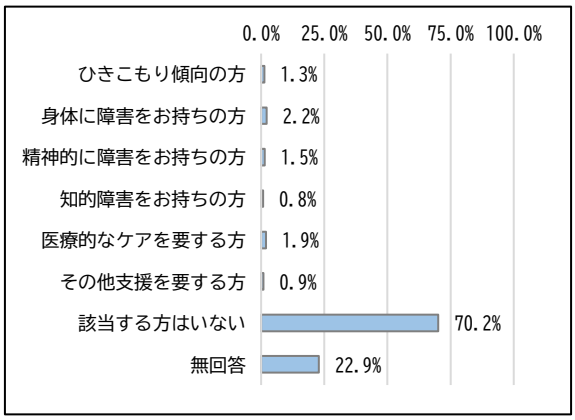
ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。（あてはまる番号すべてに○）

ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する方について、それぞれいると回答した割合は次の通りとなっています。

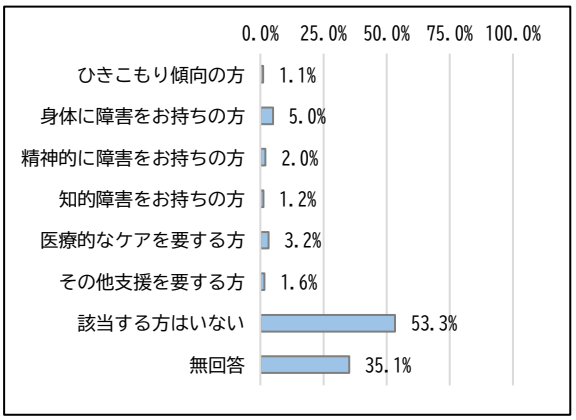
■　若年者調査（n＝1,004）



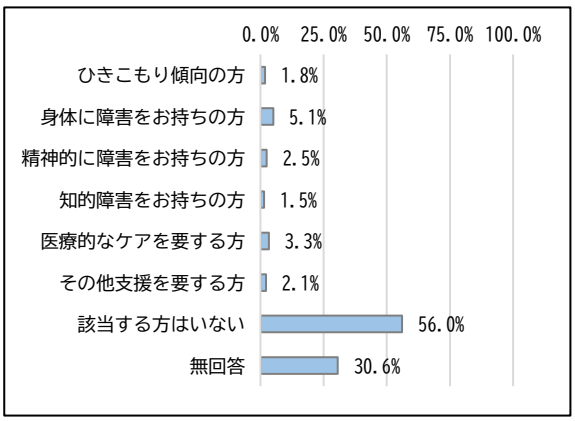
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



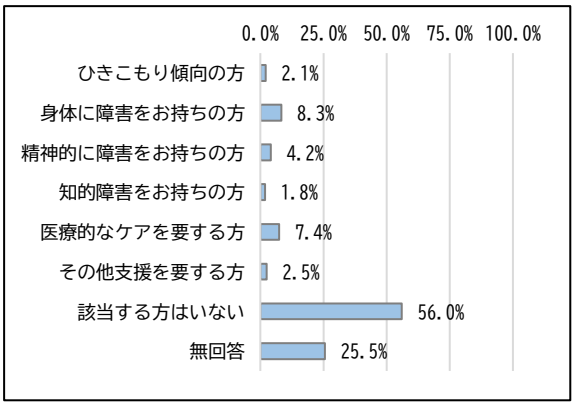
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



３．身体状況について

（１）BMI

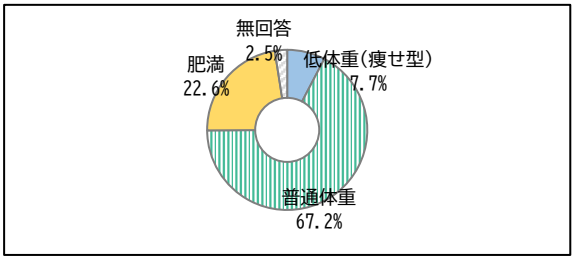
あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）

BMI 値に関する割合は次の通りとなっています。

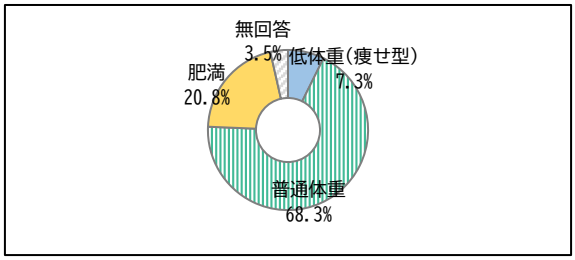
※　BMI（Body Mass Index）とは、身長と体重から肥満体型ややせ体型等を表す指標です。
【計算式】BMI ＝ 体重（kg） ÷ 身長（m） ÷ 身長（m）

BMI 値	18.5 未満	18.5 以上 25.0 未満	25.0 以上
判　定	低体重(痩せ型)	普通体重	肥満

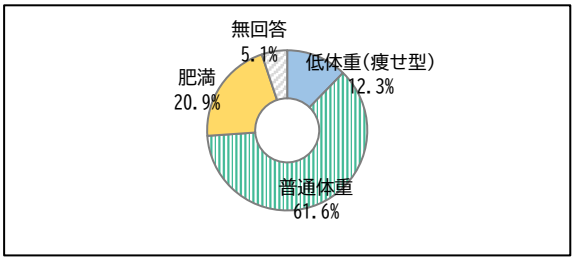
■　若年者調査（n＝1,004）



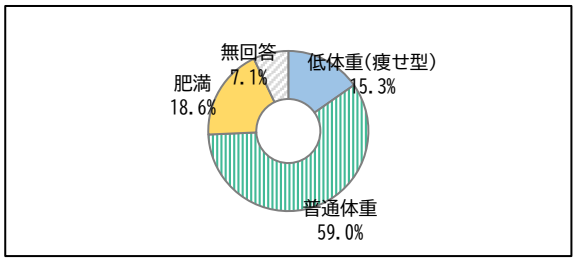
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



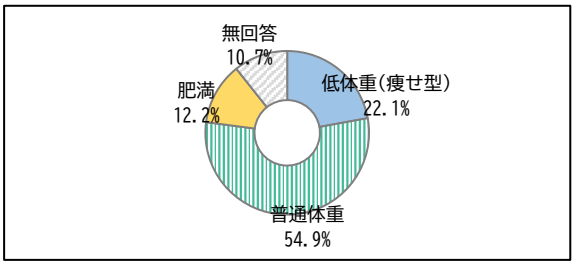
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

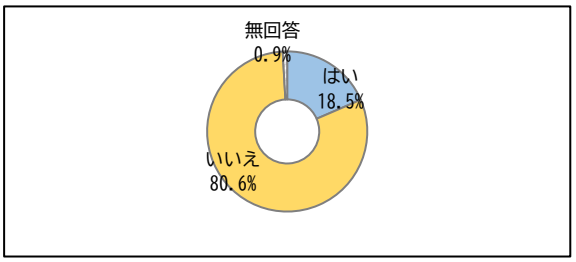


（２）体重の減少

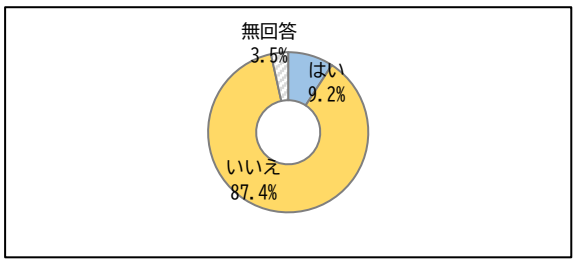
この６ヶ月間で２～３ｋｇ以上の体重減少がありましたか。（どちらかの番号に○）

この６ヶ月間での体重２～３ｋｇ以上減少があったと回答した割合について、一般高齢者では 9.2%となる一方、事業対象者・要支援認定者並びに「軽度」要介護認定者では 20%近くとなり、「重度」要介護認定者は 30.5%となっています。

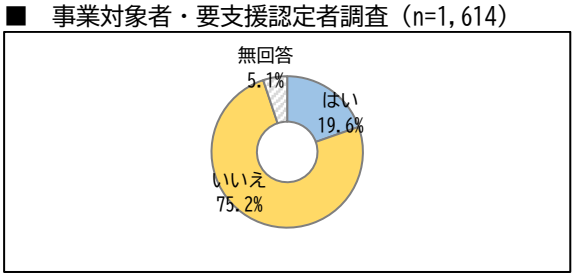
■　若年者調査（n＝1,004）



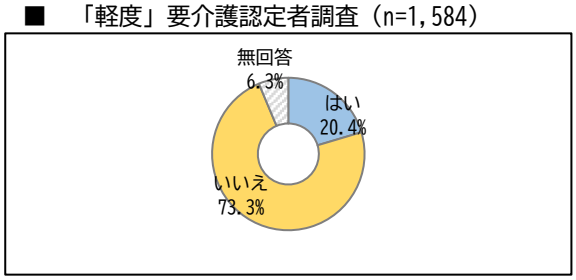
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



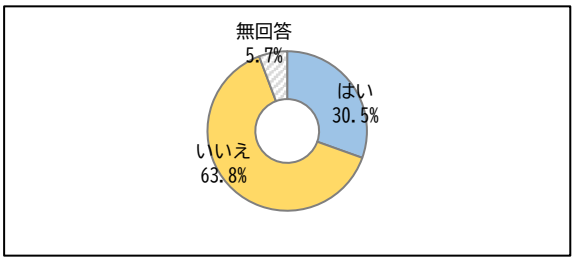
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

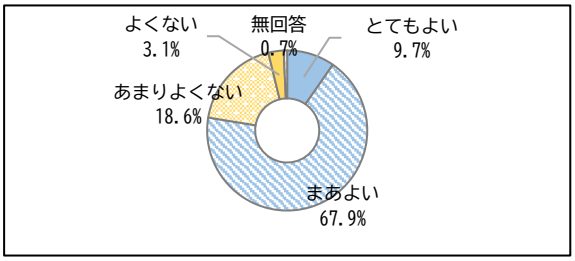


（３）主観的健康状態

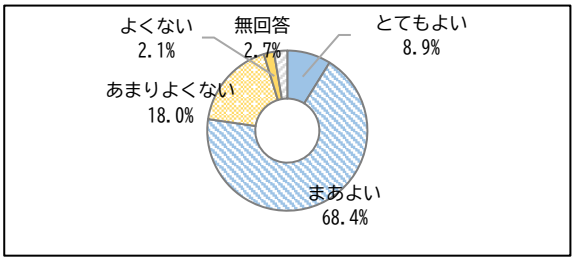
現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つの番号に○）

現在の健康状態が「あまりよくない」「よくない」と回答した割合について、一般高齢者では 20.1%となっていますが、事業対象者・要支援認定者並びに「軽度」要介護認定者では 50%近くとなり、「重度」要介護認定者では 53.1%となっています。事業対象者や要支援・要介護認定者では半数が健康状態について「よくない」「あまりよくない」と感じています。

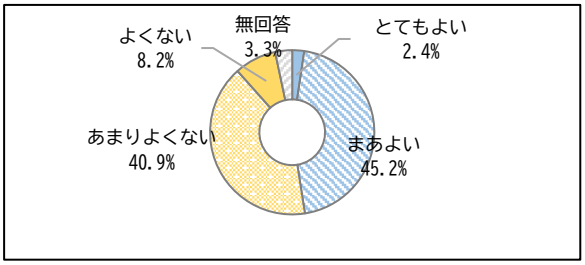
■　若年者調査（n＝1,004）



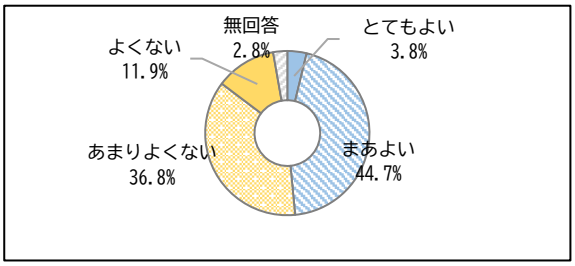
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



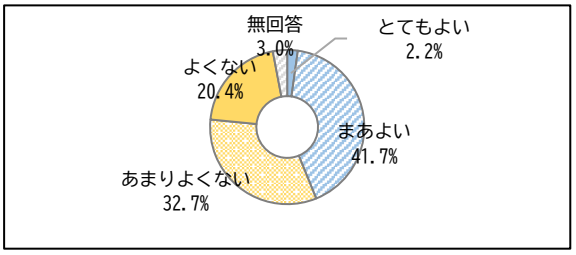
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

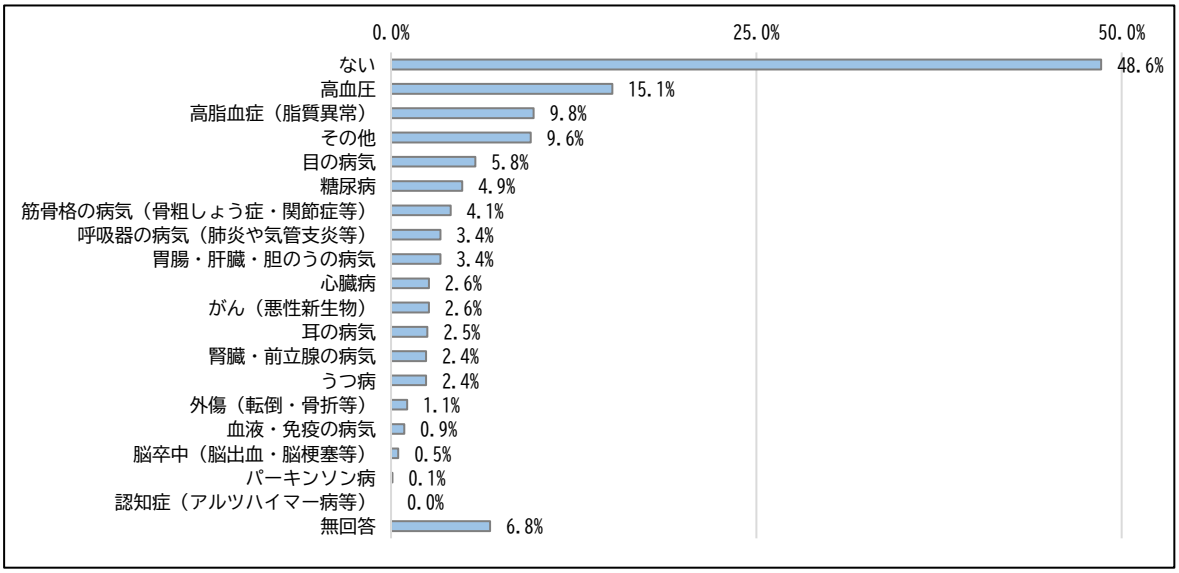


（４）現在治療中または後遺症のある病気の有無

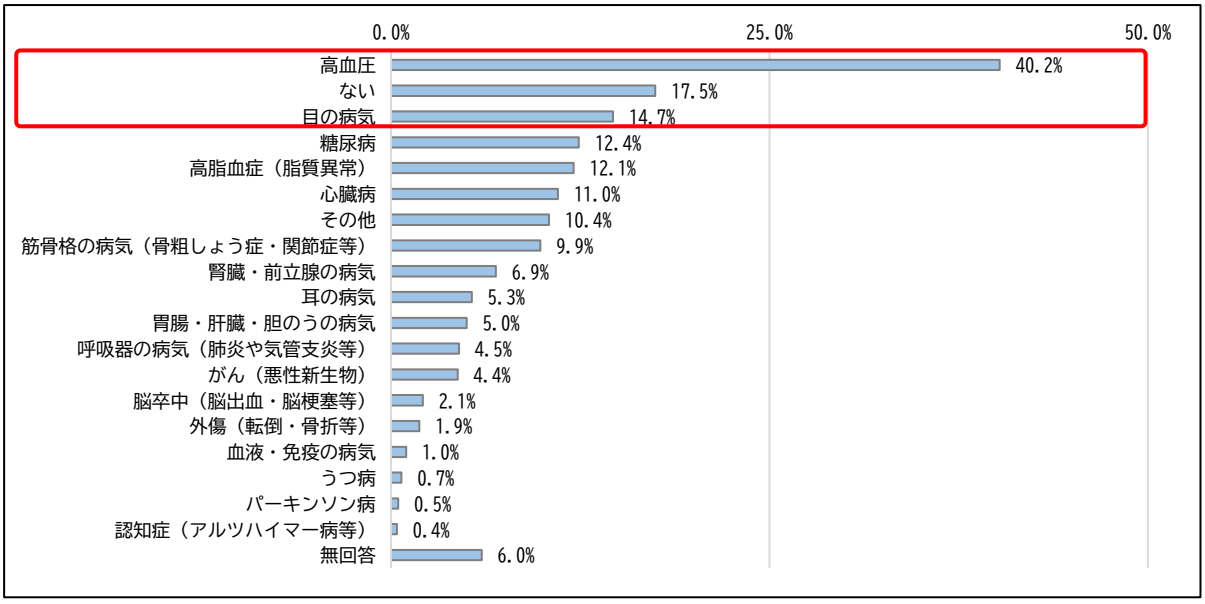
現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

現在治療中、または後遺症のある病気について、一般高齢者は「高血圧」が最も多く 40.2%、次いで「病気はない」が 17.5%、「目の病気」が 14.7%となっています。事業対象者・要支援認定者では「高血圧」が最も多く、次いで「筋骨格の病気」となり、「軽度」要介護認定者では「高血圧」が最も多く、次いで「認知症」となっています。「重度」要介護認定者では「高血圧」と「認知症」がほぼ同じ 32%近くとなっています。要介護の重度化と「認知症」について相関性が高いと言えます。

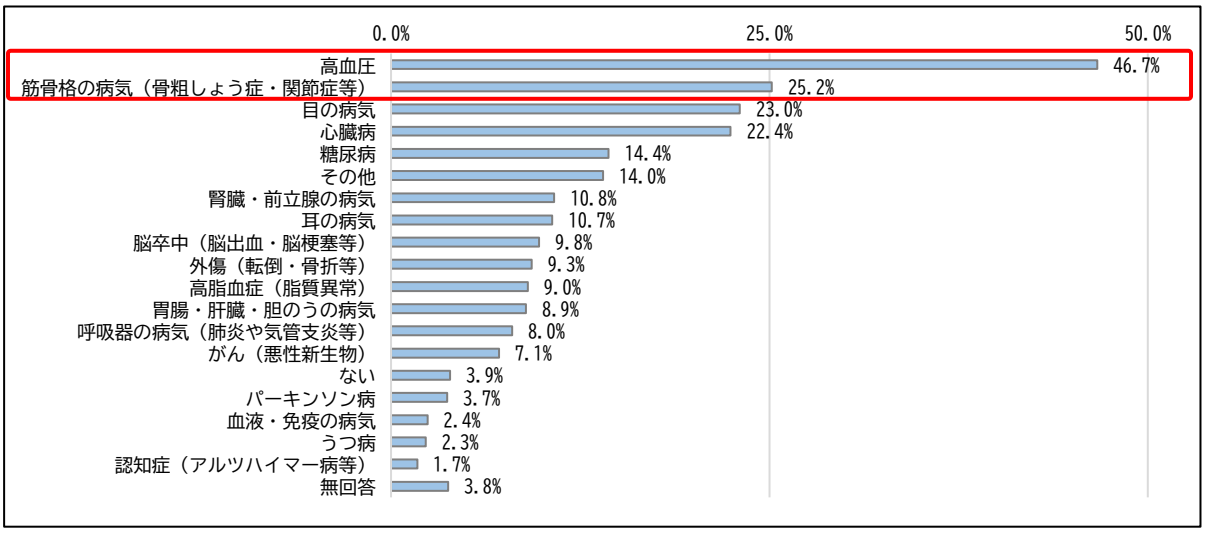
■　若年者調査（n＝1,004）



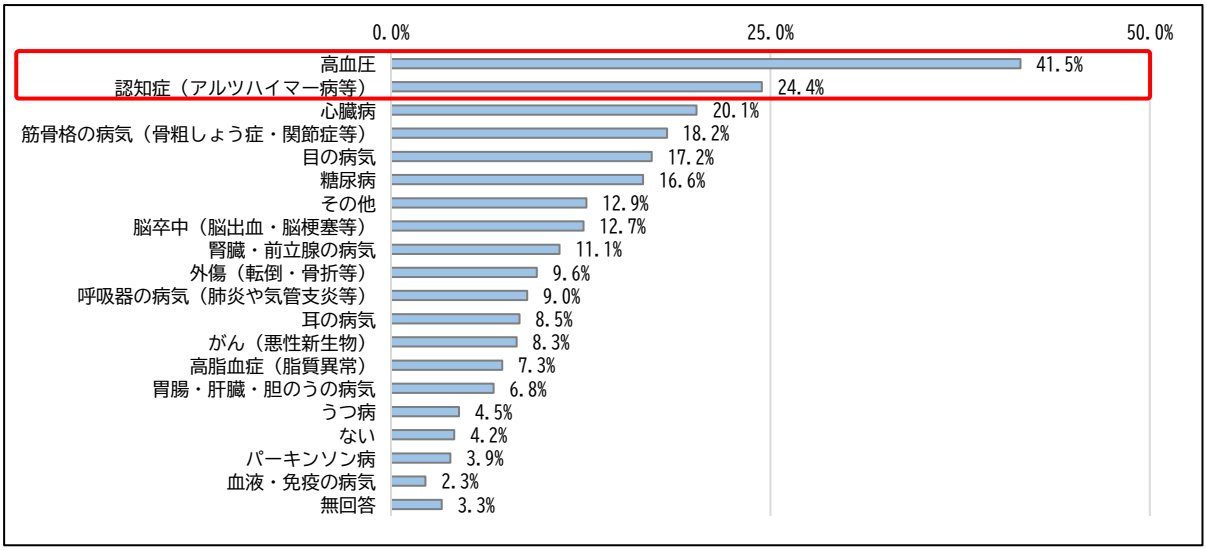
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



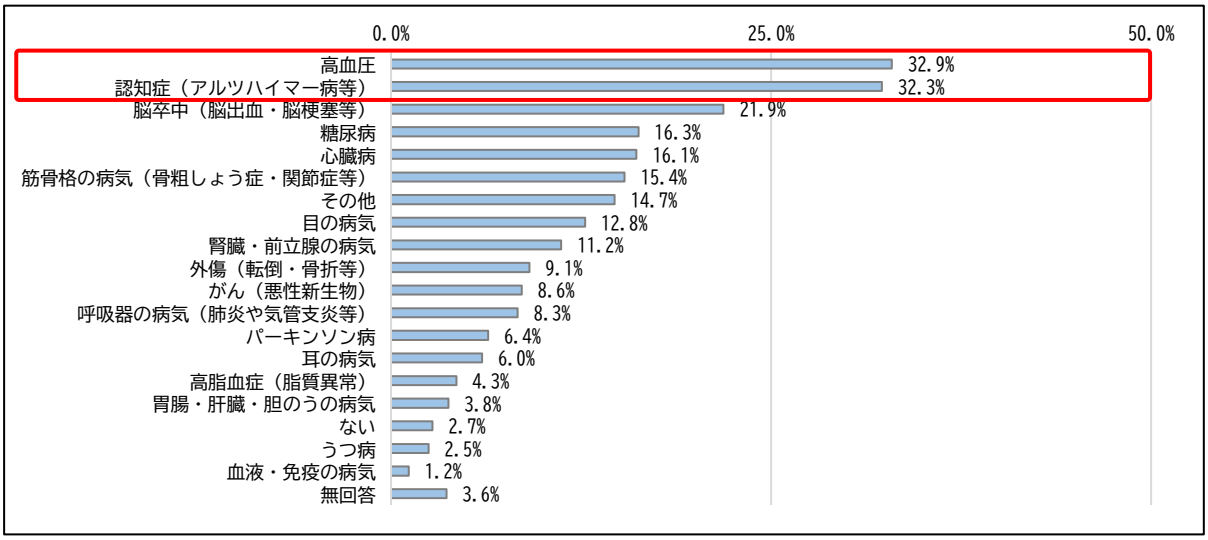
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

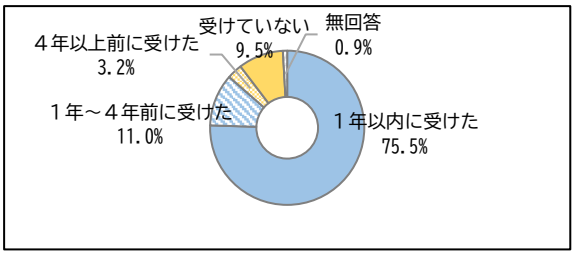


（５）健診・人間ドッグ、歯科の治療・歯科検診受診状況

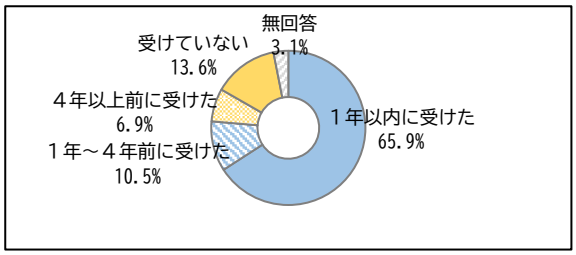
あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドッグを受けましたか。（１つの番号に○）

健診や人間ドッグを「受けていない」と回答した割合について、一般高齢者では 13.6%、事業対象者・要支援認定者では 24.0%、「軽度」要介護認定者は 29.7%となっており、「重度」要介護認定者は 34.9%となっています。事業対象者・要支援認定者、要介護認定者の健診や人間ドッグの未受診率は、一般高齢者の約２倍となっています。

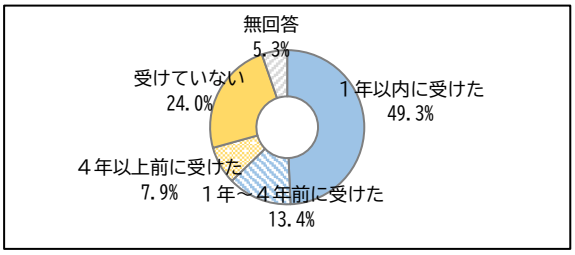
■　若年者調査（n＝1,004）



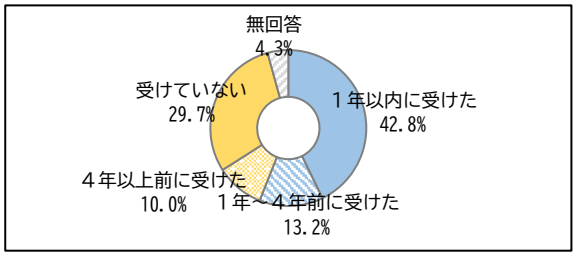
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



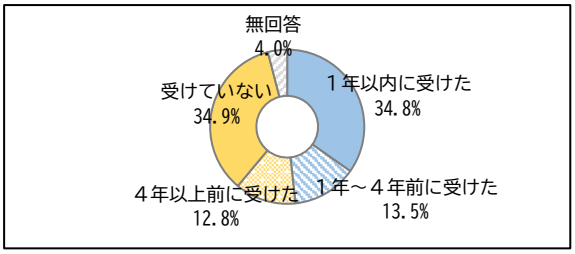
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



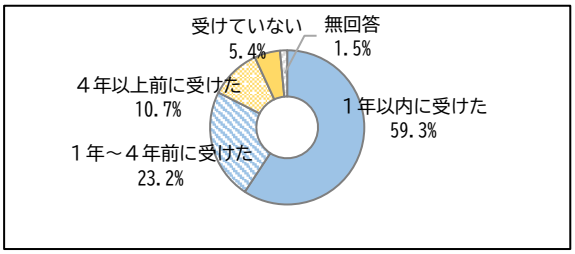
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



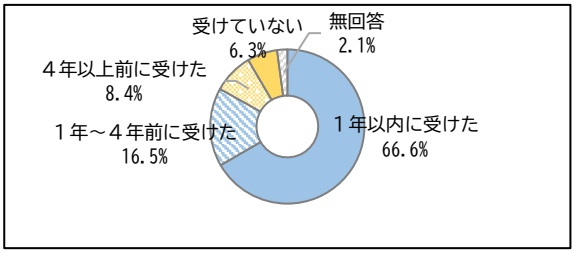
あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。（１つの番号に○）

歯科の治療、または歯科健診を「受けていない」と回答した割合について、一般高齢者では 6.3%、事業対象者・要支援認定者では 8.4%、「軽度」要介護認定者は 13.8%となっており、「重度」要介護認定者は 14.5%となっています。事業対象者・要支援認定者、要介護認定者の歯科の未受診率は、一般高齢者の約２倍となっています。

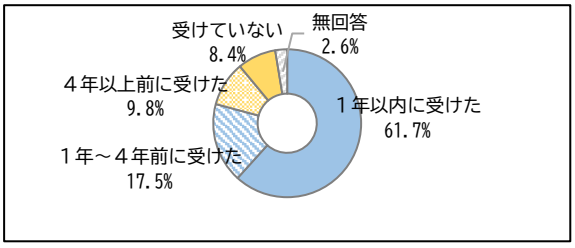
■　若年者調査（n＝1,004）



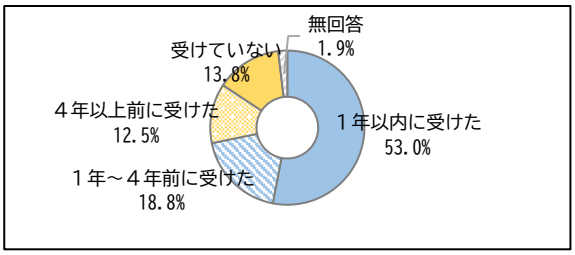
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



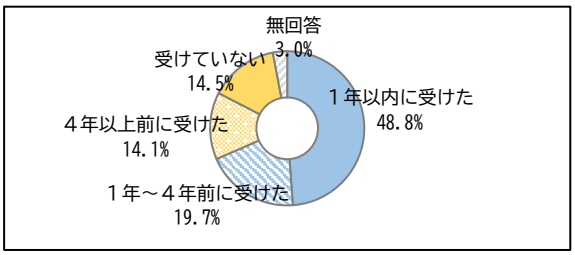
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

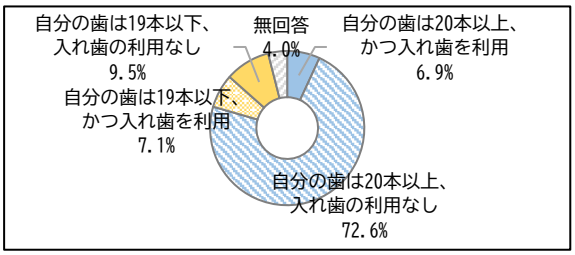


（６）歯の状況

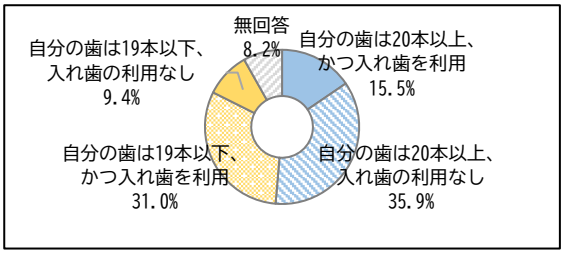
歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（１つの番号に○）

「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」と「自分の歯は 20 本以上」と回答した割合について、一般高齢者では 51.4%と半数を超えていますが、事業対象者・要支援認定者では 37.4%、「軽度」要介護認定者は 31.1%となっており、「重度」要介護認定者は 29.0%となっています。

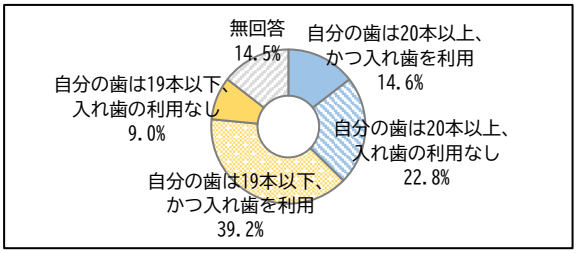
■　若年者調査（n＝1,004）



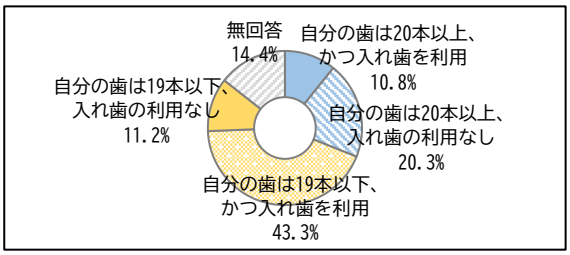
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



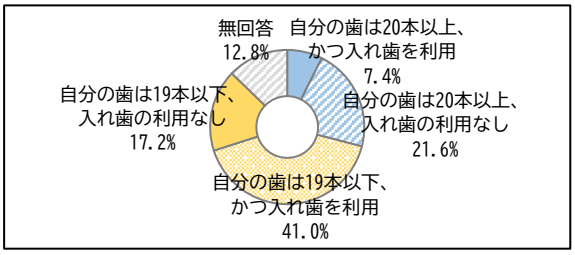
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

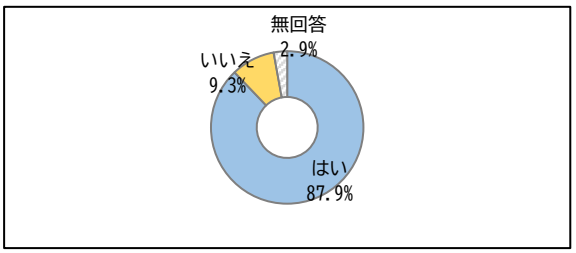


入れ歯を利用と回答した方のみ、お答えください。

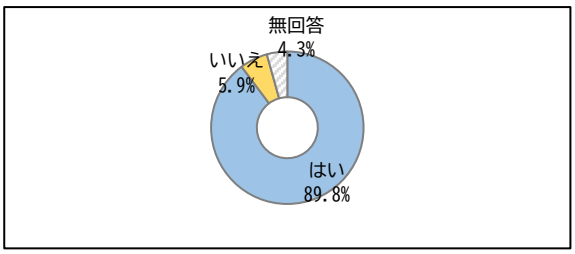
毎日入れ歯の手入れをしていますか。（どちらかの番号に○）

「入れ歯を利用している」方で、「入れ歯の手入れを毎日している」と回答した割合について、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者で約 90%となる一方、「軽度」要介護認定者並びに「重度」要介護認定者では約 80%にとどまっています。

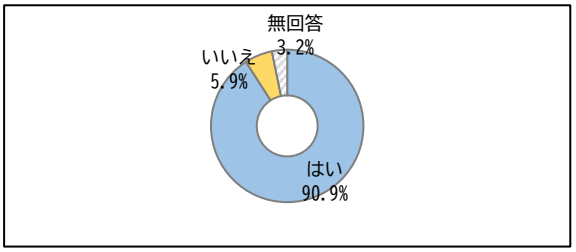
■　若年者調査（n＝140）



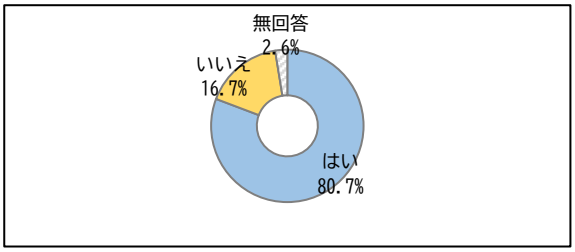
■　一般高齢者調査（n＝2,580）



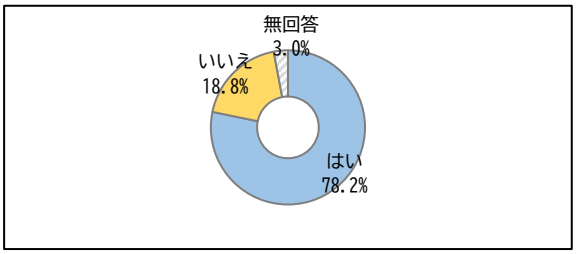
■　事業対象者・要支援認定者調査（n＝867）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=857）



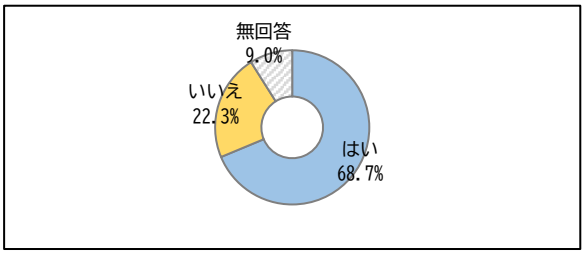
■　「重度」要介護認定者調査（n=372）



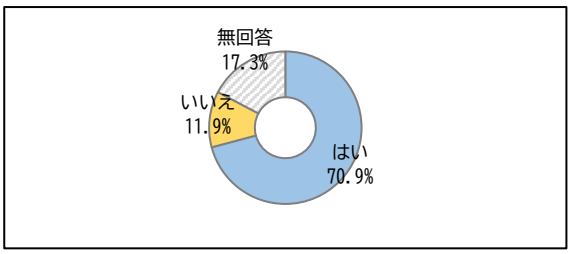
噛み合わせは良いですか。（どちらかの番号に○）

噛み合わせを「良い」と回答した割合について、一般高齢者では約 70%となる一方、事業対象者・要支援認定者並びに「軽度」要介護認定者では約 60%となり、「重度」要介護認定者は約 50%にとどまっています。

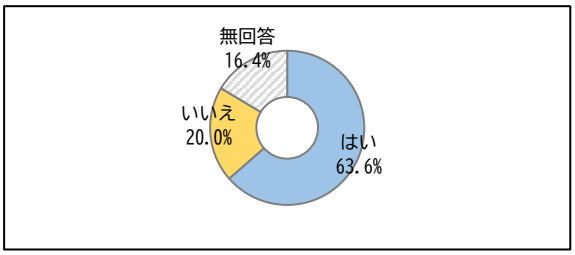
■　若年者調査（n＝1,004）



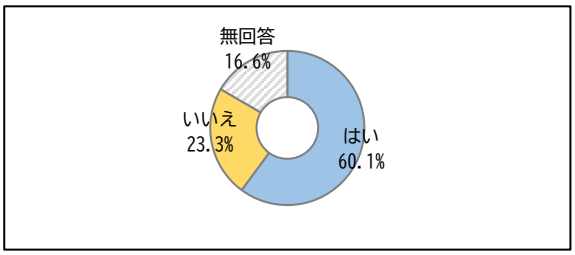
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



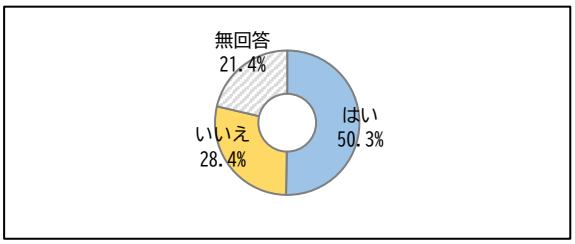
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



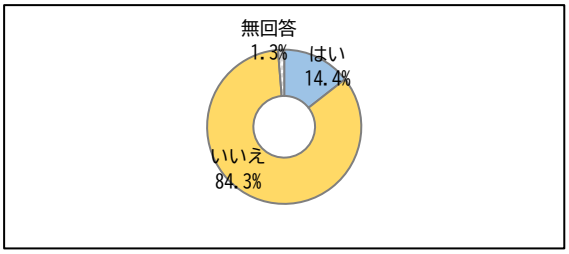
４．食事・飲酒・喫煙について

（１）嚥下の状態

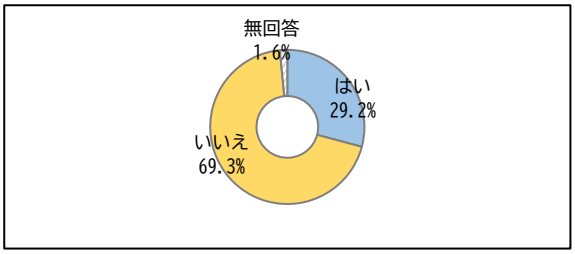
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（どちらかの番号に○）

「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」と回答した割合について、一般高齢者では約 30%となる一方、事業対象者・要支援認定者並びに「軽度」要介護認定者では約 48%、「重度」要介護認定者は 58.7%と、一般高齢者の約２倍となっています。

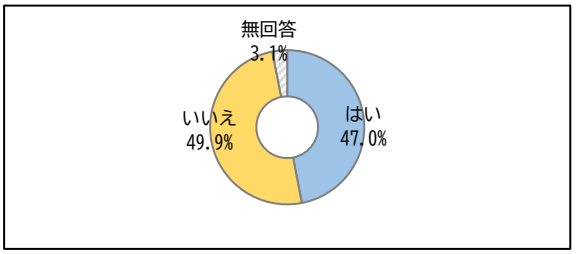
■　若年者調査（n＝1,004）



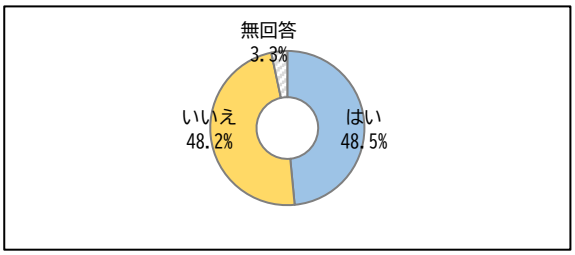
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



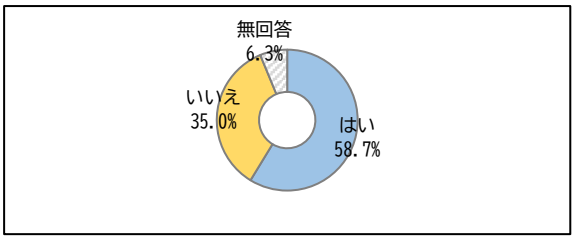
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

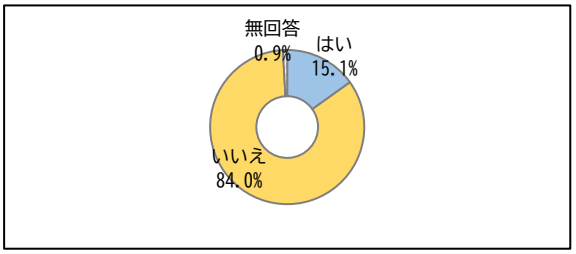


（２）お茶や汁物等でのむせこみの有無

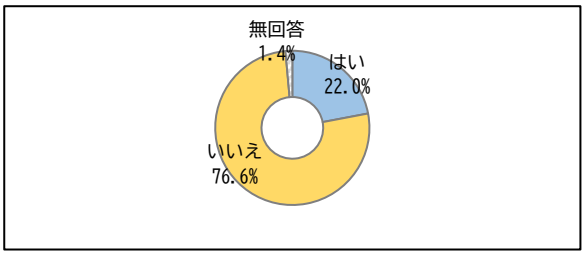
お茶や汁物等でむせることがありますか。（どちらかの番号に○）

お茶や汁物等でむせこみが「ある」と回答した割合について、一般高齢者では約 20%となる一方、事業対象者・要支援認定者並びに「軽度」要介護認定者では約 40%、「重度」要介護認定者は 52.7%と、一般高齢者の約 2.5 倍となっています。

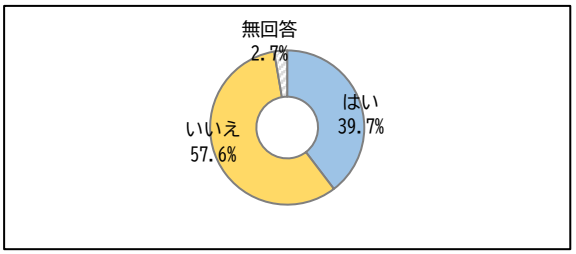
■　若年者調査（n＝1,004）



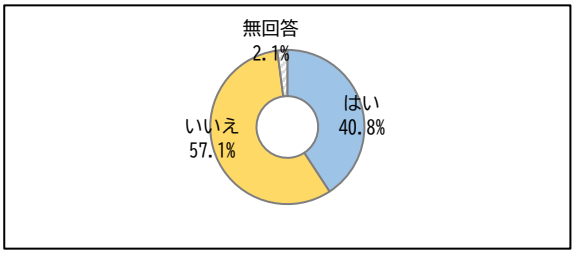
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



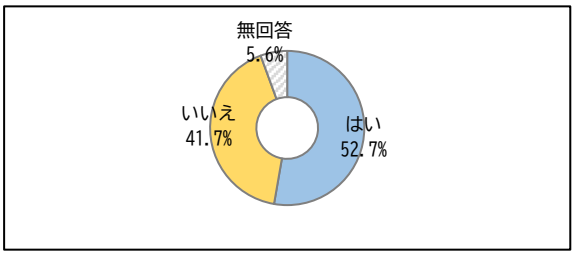
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

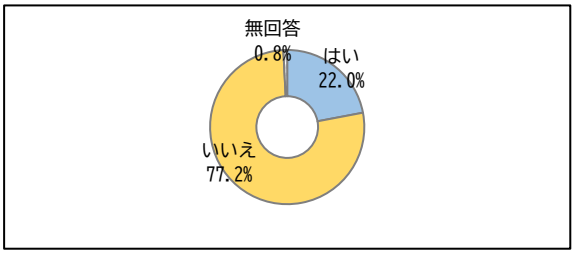


（３）口の渇き

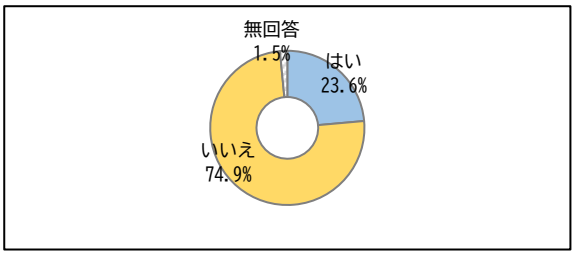
口の渇きが気になりますか。（どちらかの番号に○）

口の渇きが「気になる」と回答した割合について、一般高齢者では 23.6%となる一方、事業対象者・要支援認定者並びに「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では約 40%となっています。

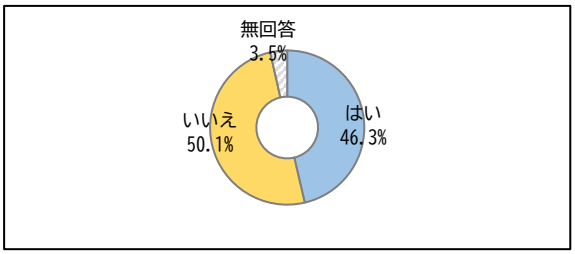
■　若年者調査（n＝1,004）



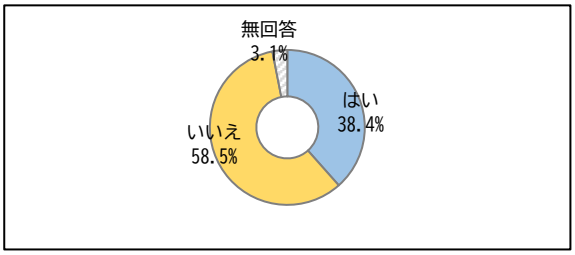
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



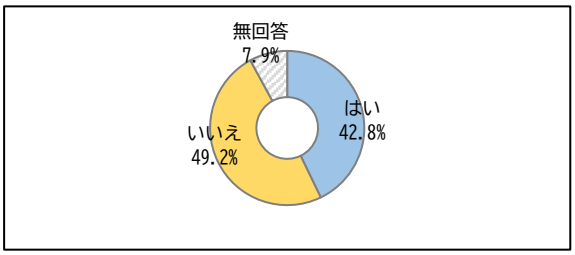
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

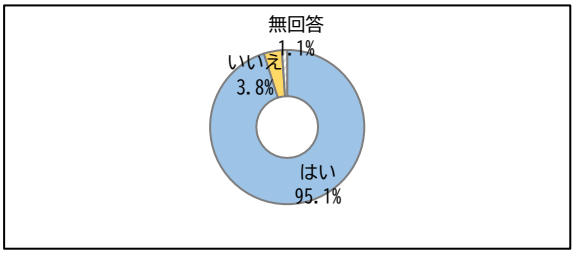


（４）毎日の歯磨き

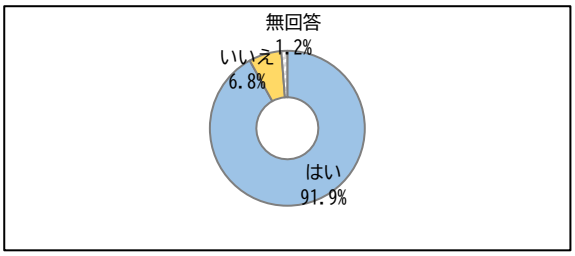
歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（どちらかの番号に○）

歯磨きを「毎日している」と回答した割合について、一般高齢者では 91.9%、事業対象者・要支援認定者では 88.3%となる一方、「軽度」要介護認定者では約 80%、「重度」要介護認定者では 75.5%にとどまっています。

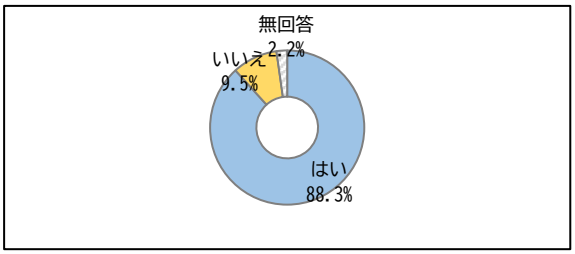
■　若年者調査（n＝1,004）



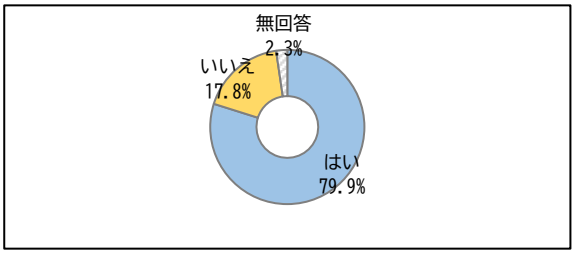
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



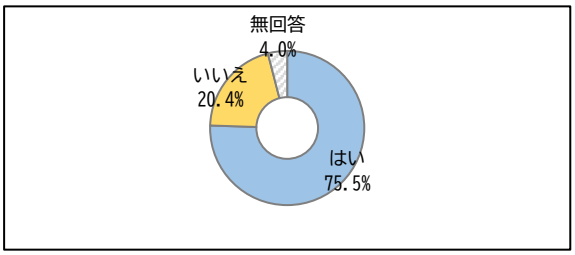
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

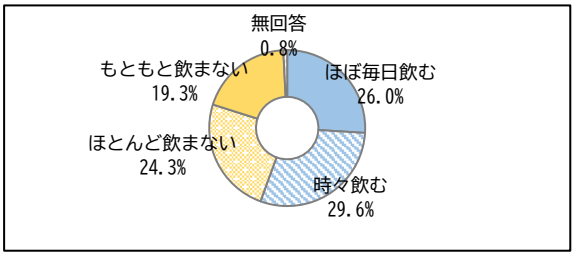


（５）飲酒

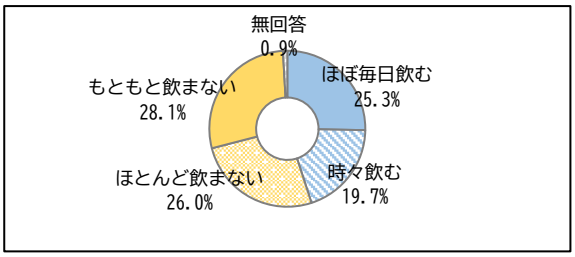
お酒は飲みますか。（１つの番号に○）

お酒を「毎日飲む」「時々飲む」と回答した割合について、一般高齢者では 45.0%、事業対象者・要支援認定者では 25.7%となり、「軽度」要介護認定者は 19.5%、「重度」要介護認定者は 7.1%となっています。

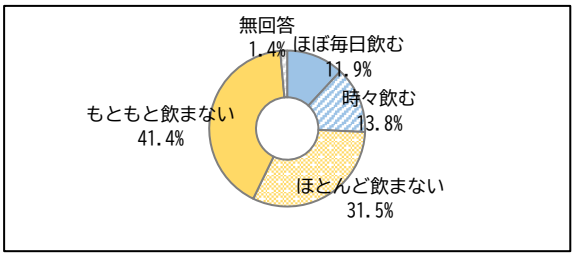
■　若年者調査（n＝1,004）



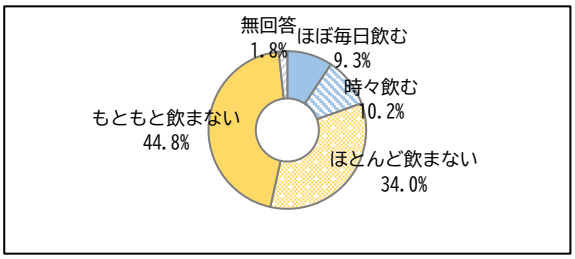
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



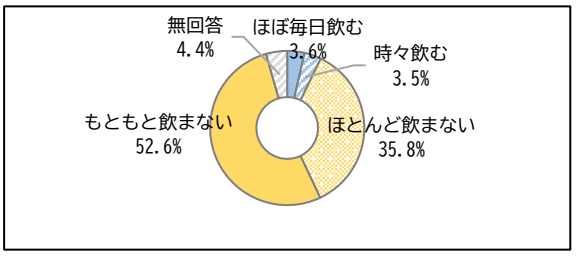
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

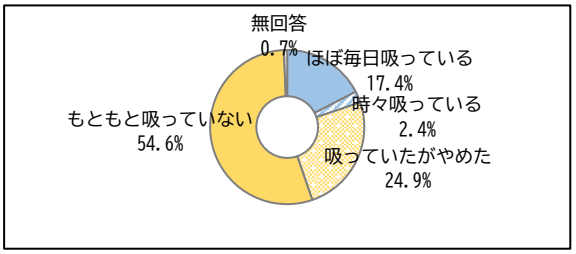


（６）喫煙

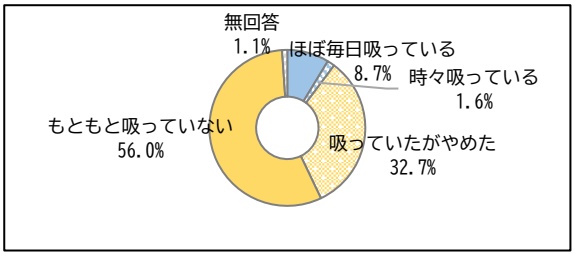
タバコは吸っていますか。（１つの番号に○）

タバコを「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」と回答した割合について、一般高齢者では 10.3%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 3.9%、「軽度」要介護認定者は 3.8%、「重度」要介護認定者は 3.0%となっています。

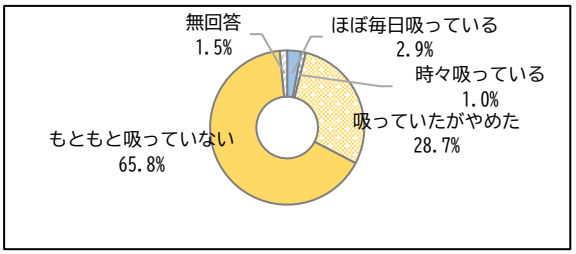
■　若年者調査（n＝1,004）



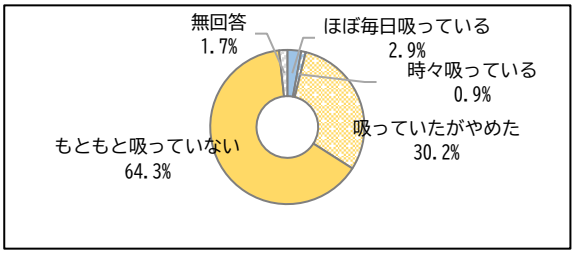
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



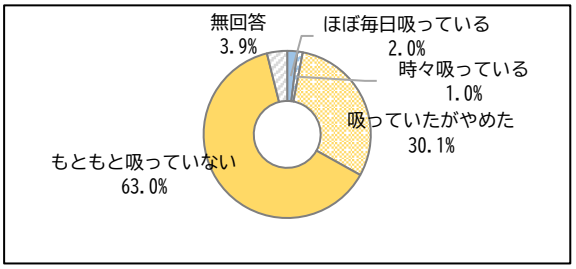
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

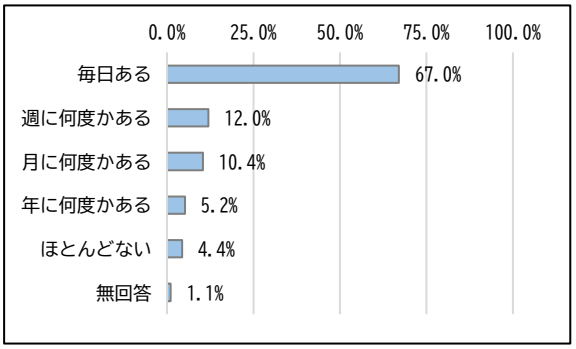


（７）だれかと食事をする機会の有無

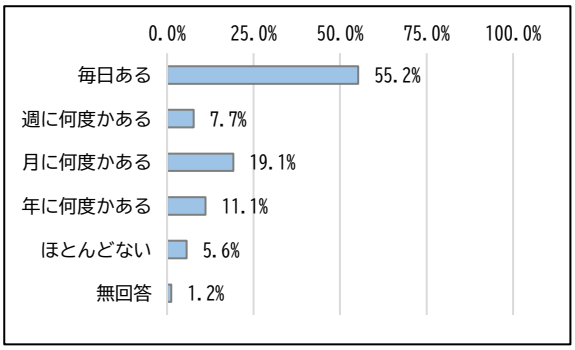
どなたかと食事をともにする機会はありますか。（１つの番号に○）

だれかと食事をする機会が「毎日ある」と回答した割合について、一般高齢者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者で大きな差はみられず、約 55%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 39.9%に留まっています。

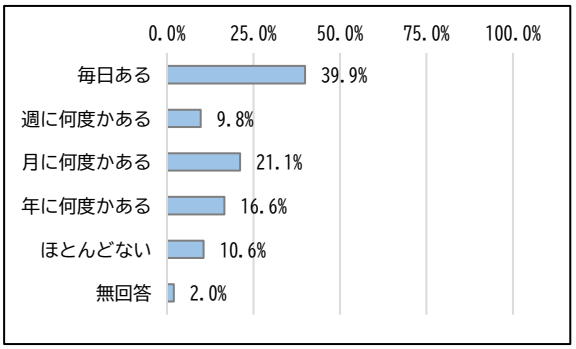
■　若年者調査（n＝1,004）



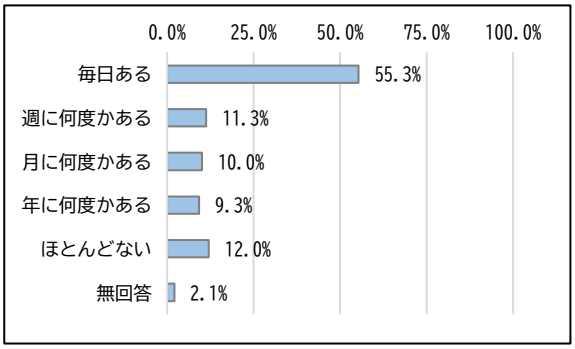
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



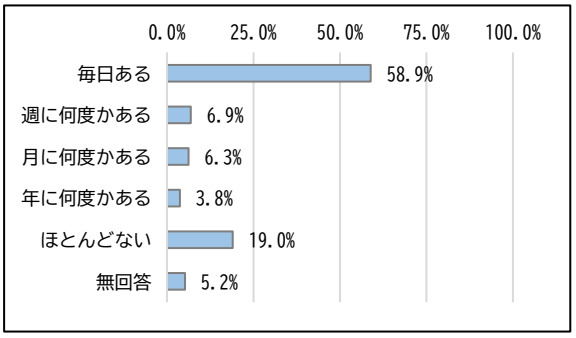
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



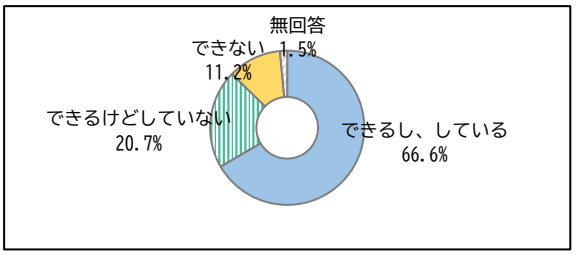
５．からだを動かすことについて

（１）階段の昇り

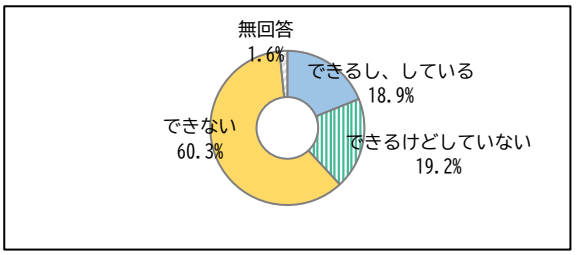
階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（１つの番号に○）

階段を手すりや壁をつたわらずに「昇ることはできるがしていない」「昇ることができない」と回答した割合について、一般高齢者では 31.9%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 79.5%と 2 倍以上になり、「軽度」要介護認定者は 82.3%、「重度」要介護認定者は 91.6%となっています。

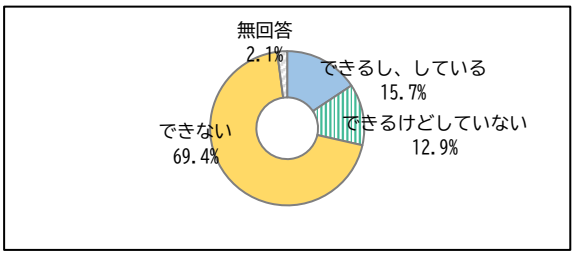
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



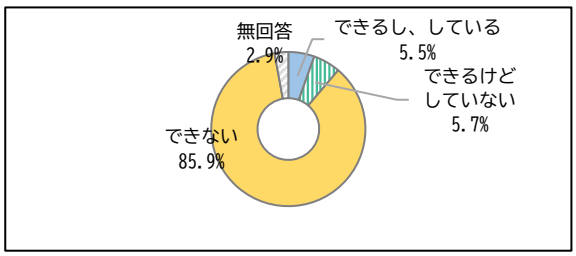
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

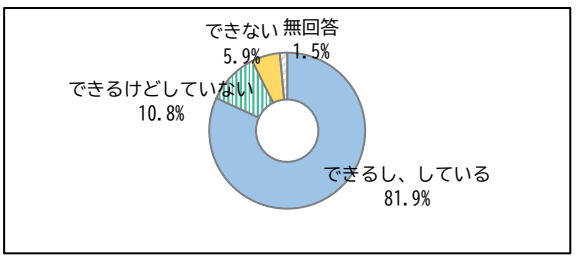


（２）椅子からの立ち上がり

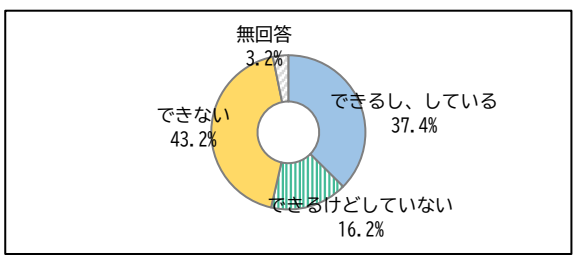
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（１つの番号に○）

椅子から何もつかまらずに「立ち上がることはできるがしていない」「立ち上がることができない」と回答した割合について、一般高齢者では 16.7%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 59.4%と３倍以上となり、「軽度」要介護認定者では 71.8%、「重度」要介護認定者は 87.6%となっています。

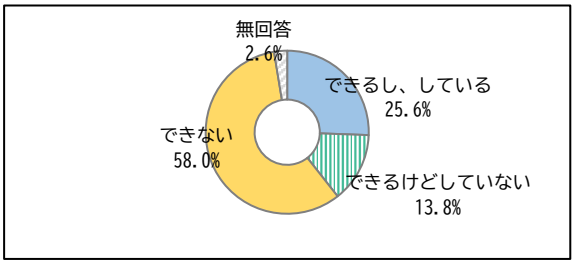
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



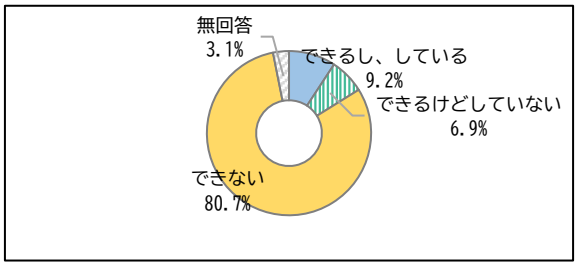
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

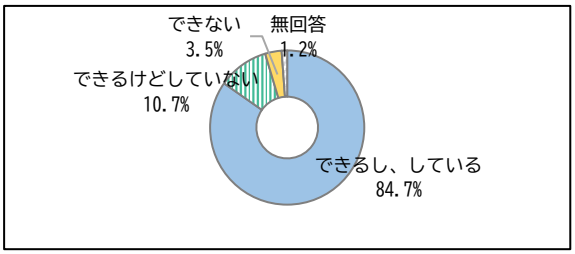


（３）歩行

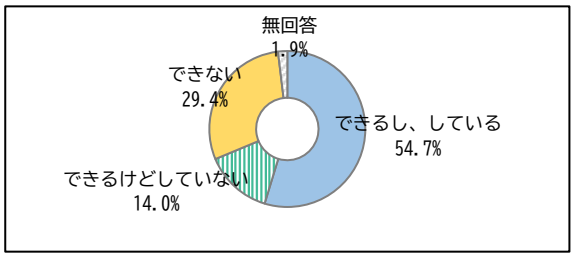
15 分位続けて歩いていますか。（１つの番号に○）

15 分位続けて「歩くことはできるがしていない」、「歩くことができない」と回答した割合について、一般高齢者では 14.2%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 43.4%と約３倍となり、「軽度」要介護認定者では 65.7%となっています。

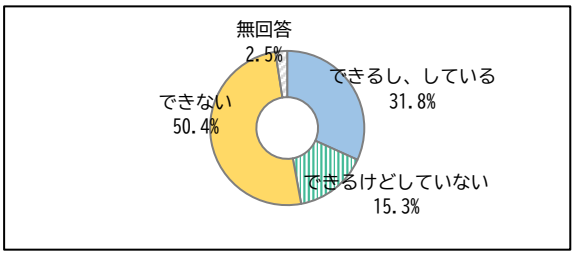
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

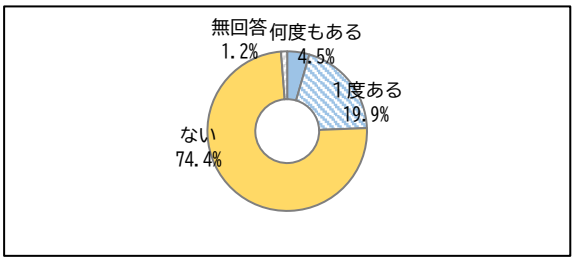


（４）転倒

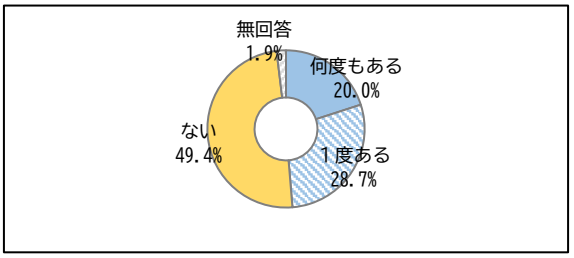
過去１年間に転んだ経験がありますか。（１つの番号に○）

過去１年間に転んだ経験が「何度もある」「一度ある」と回答した割合について、一般高齢者では 24.4%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 48.7%と約２倍となり、「軽度」要介護認定者では 59.3%、「重度」要介護認定者は 56.3%となっています。

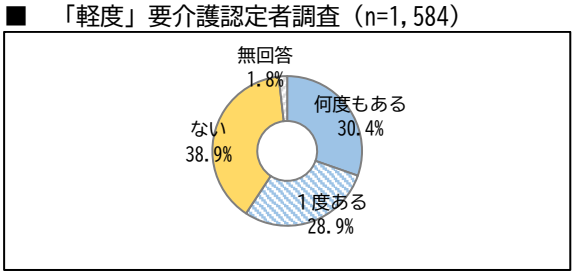
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



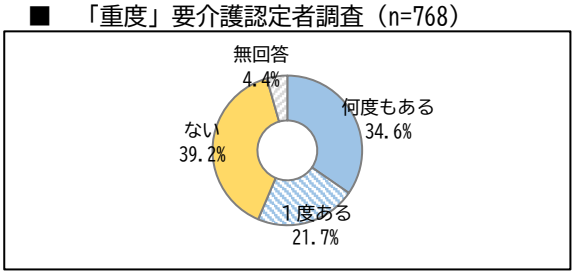
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



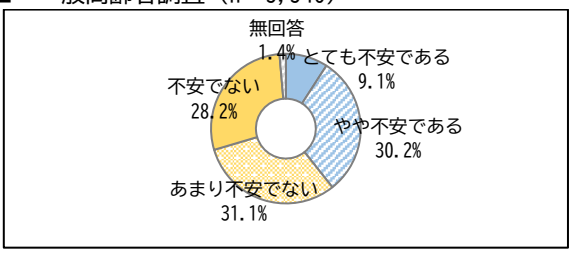
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



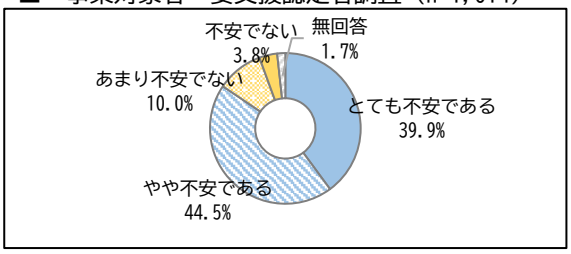
転倒に対する不安は大きいですか。（１つの番号に○）

転倒に対して「とても不安である」「やや不安である」と回答した割合について、一般高齢者では 39.3%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 84.4%と２倍以上となり、「軽度」要介護認定者では 84.0%、「重度」要介護認定者は 85.9%となっています。

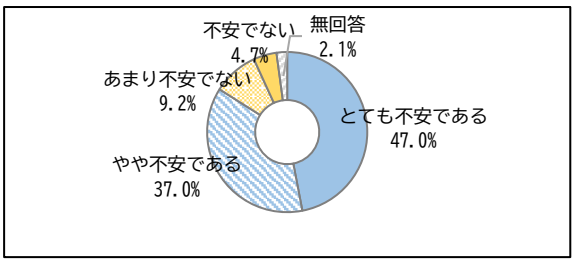
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



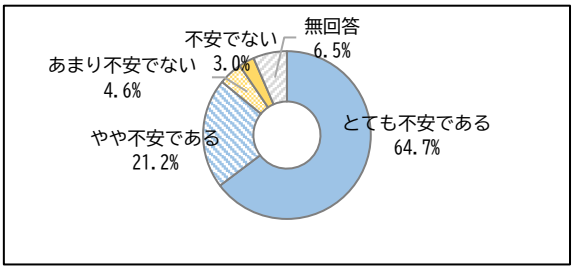
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

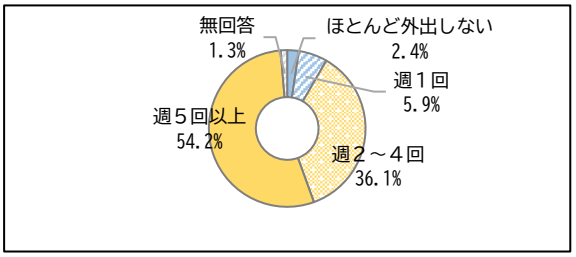


（５）外出頻度

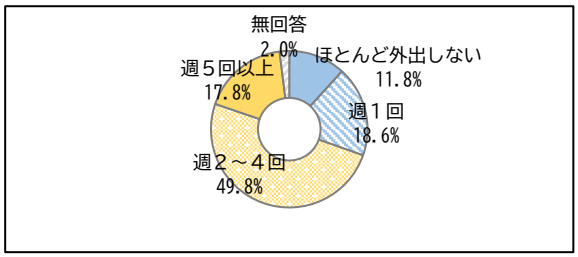
週に１回以上は外出していますか。（１つの番号に○）

外出は「ほとんどしない」「週１回」と回答した割合について、一般高齢者では 8.3%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 30.4%と３倍以上となり、「軽度」要介護認定者では 37.3%、「重度」要介護認定者は 52.9%となっています。

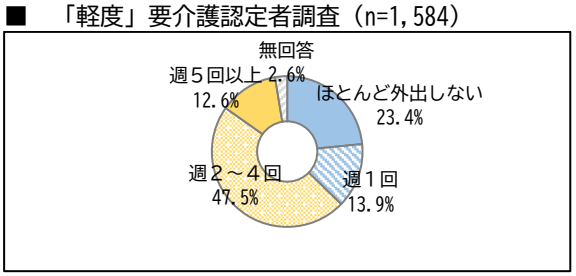
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



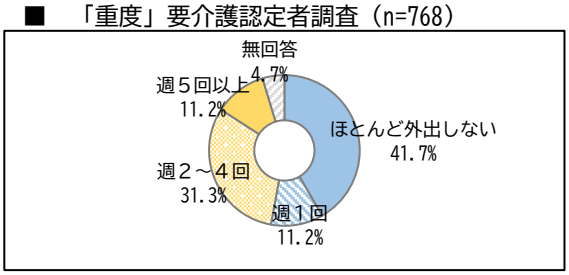
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



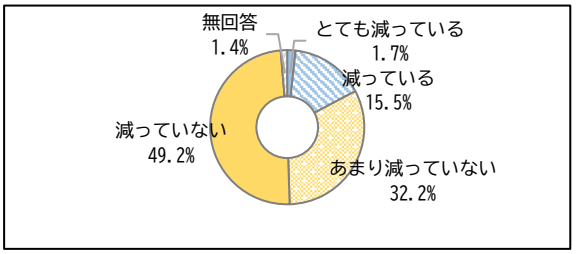
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



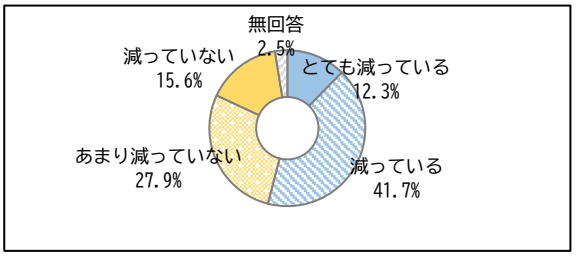
昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（１つの番号に○）

昨年と比べ、外出の頻度が「とても減っている」「減っている」と回答した割合について、一般高齢者は 17.2%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 54.0%と３倍以上となり、「軽度」要介護認定者では 54.9%「重度」要介護認定者は 53.4%となっています。

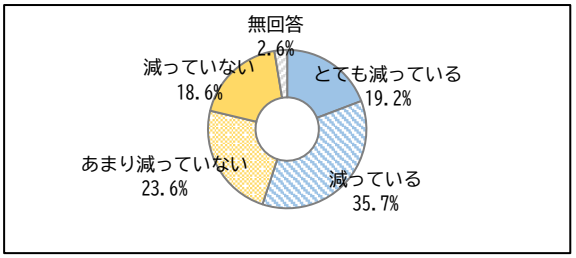
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



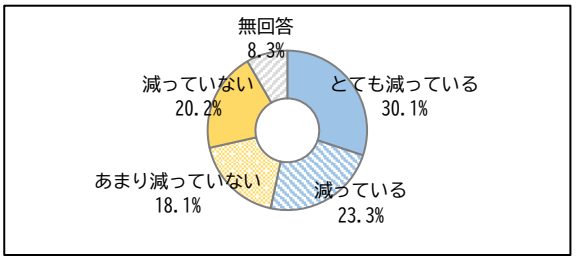
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



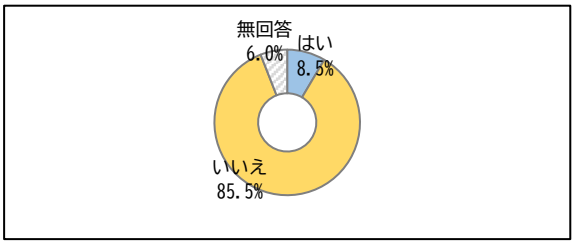
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



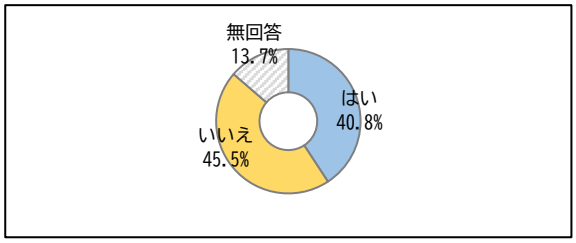
外出を控えていますか。（どちらかの番号に○）

外出を「控えている」と回答した割合について、一般高齢者では 8.5%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 40.8%、「軽度」要介護認定者は 50.4%となっています。

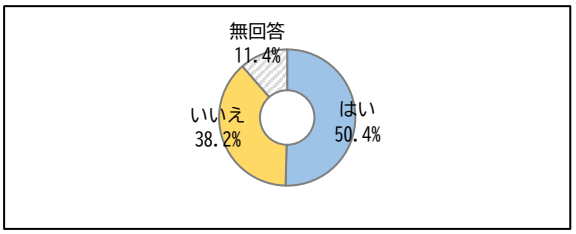
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

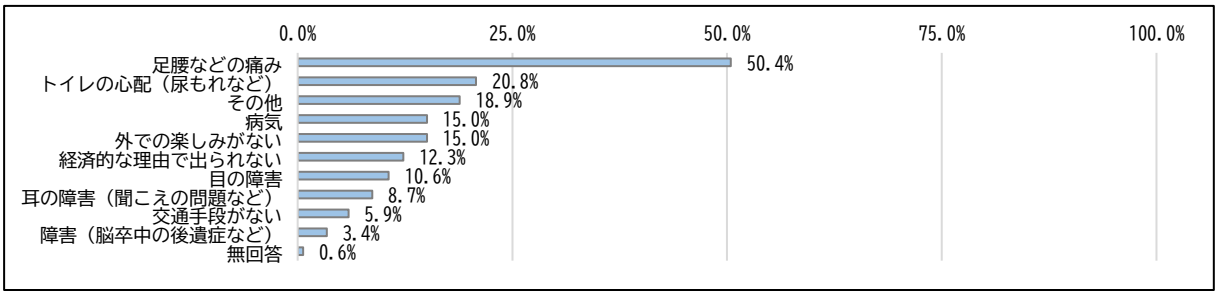


外出を控えていると回答した方のみ、お答えください。

外出を控えている理由は次のどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

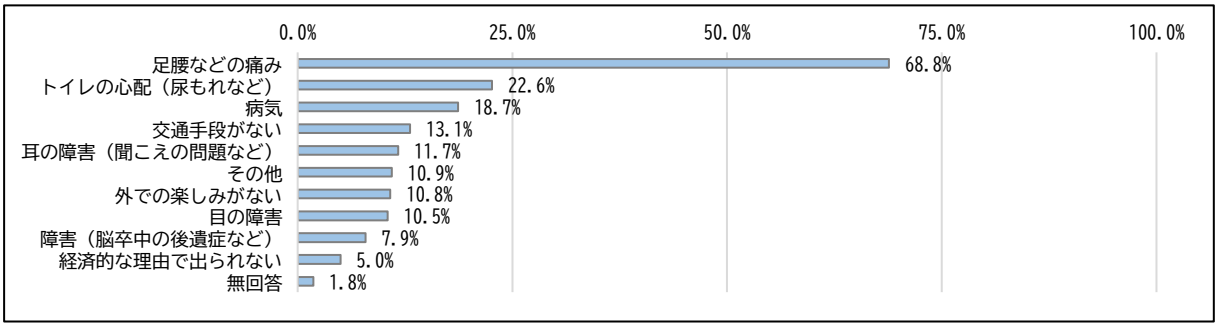
外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」がいずれも一番多く、次いで「トイレの心配」となっています。

■　一般高齢者調査（n＝472）



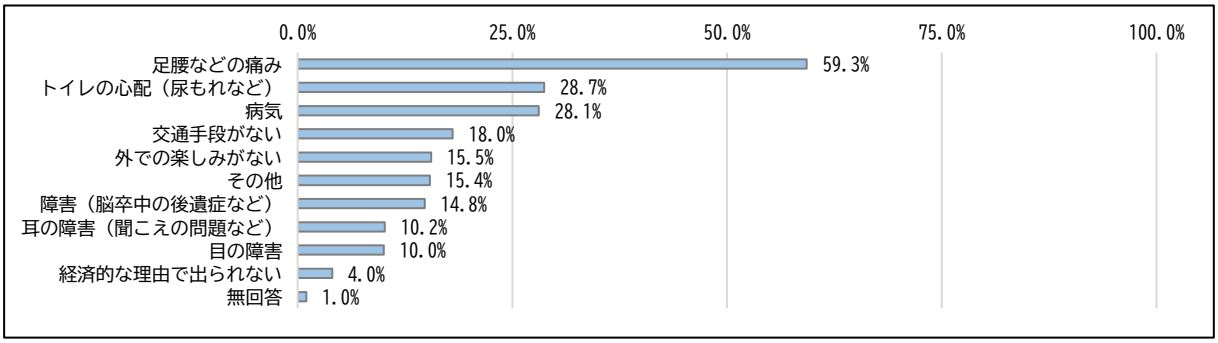
その他・・・家族の介護等

■　事業対象者・要支援認定者調査（n=658）



その他・・・家族の介護、歩行にふらつき等

■　「軽度」要介護認定者調査（n=798）



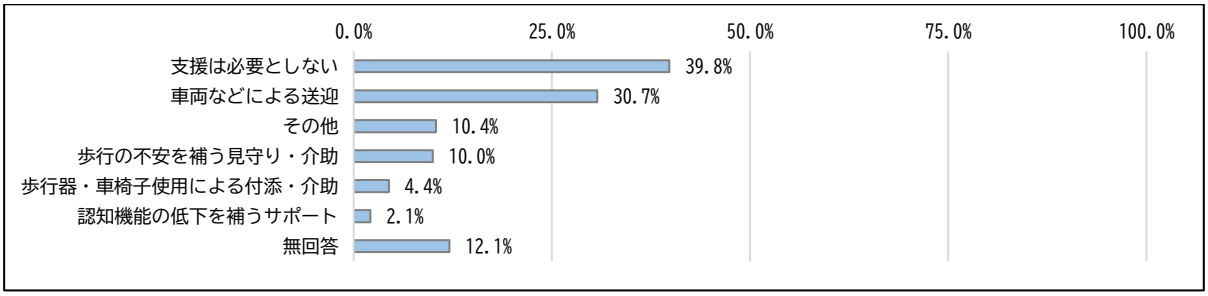
その他・・・一人で外出できない等

外出を控えていると回答した方のみ、お答えください。

どのような支援があれば外出できますか。（あてはまるすべての番号に○）

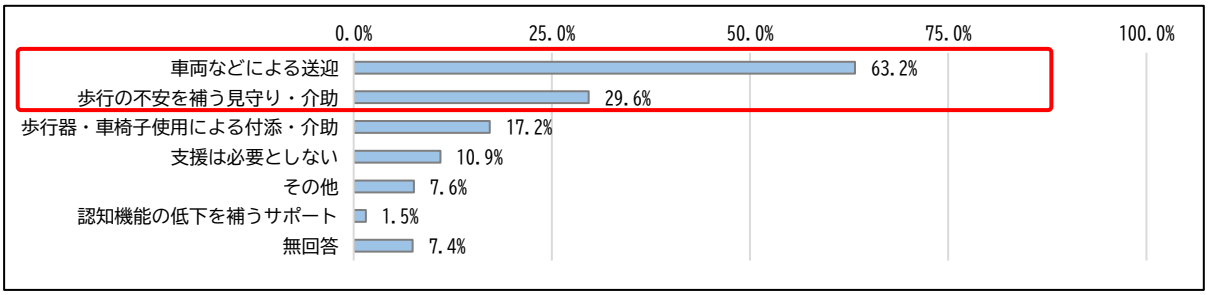
外出を控えている方が外出するようになるための支援について、「車両などによる送迎」を希望する割合が高く、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「歩行の不安を補う見守り・介助」を希望する割合が高くなっています。

■　一般高齢者調査（n＝472）

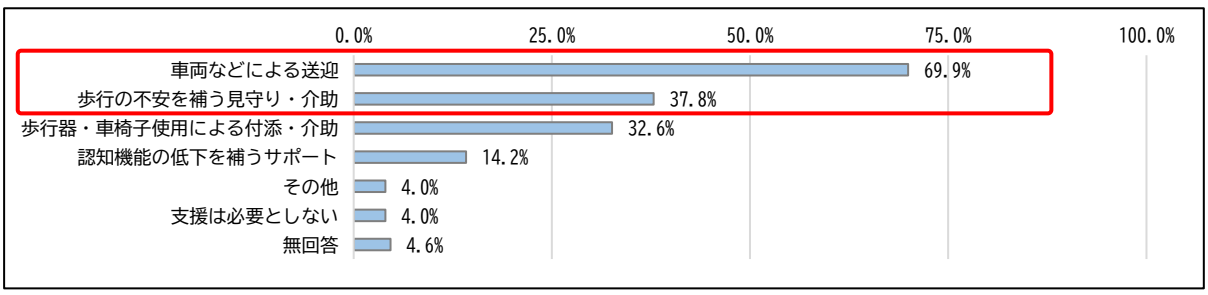


その他・・・経済的支援等

■　事業対象者・要支援認定者調査（n=658）



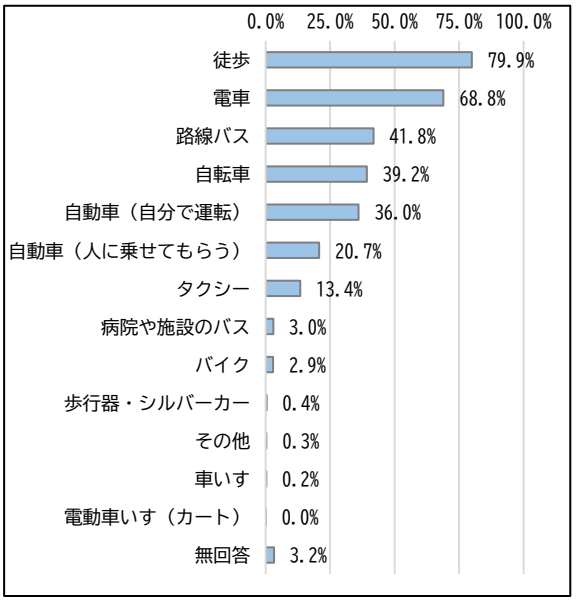
■　「軽度」要介護認定者調査（n=798）



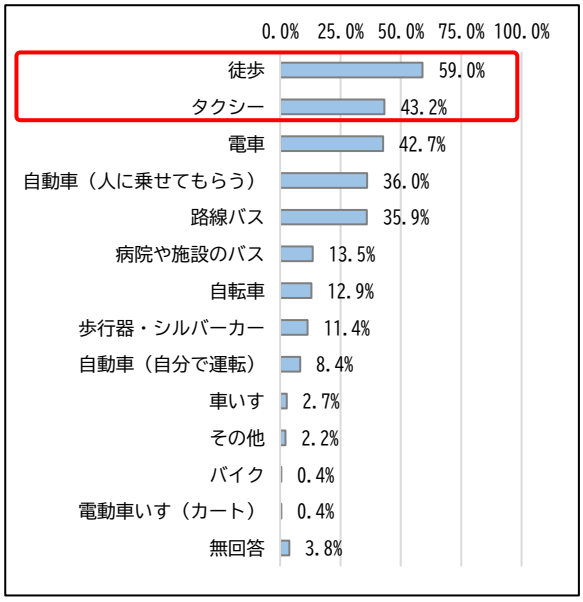
外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

外出する際の移動手段として、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者では「徒歩」が最も多く、事業対象者・要支援認定者では次いで「タクシー」となっています。また、「軽度」要介護認定者では「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多く、次いで「徒歩」となっており、「重度」要介護認定者では「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多く、次いで「車いす」となっています。

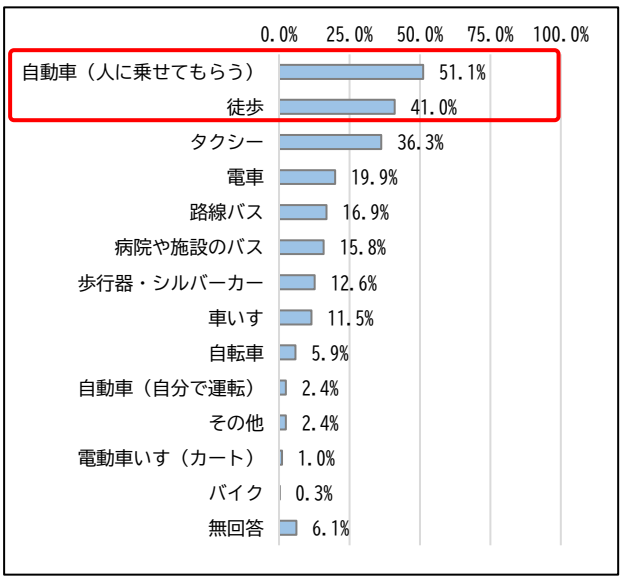
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



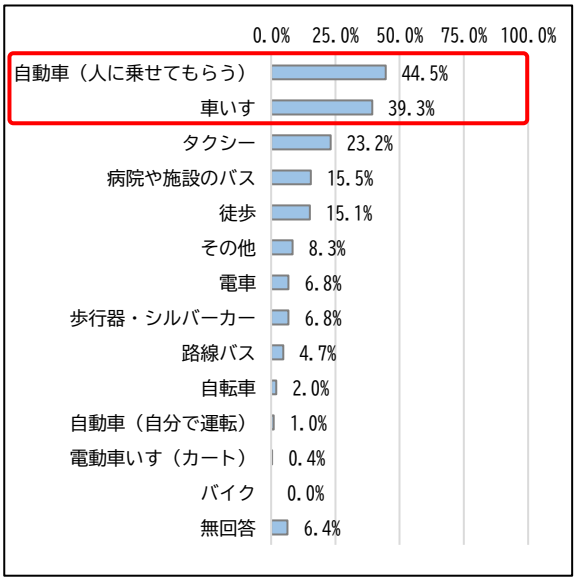
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



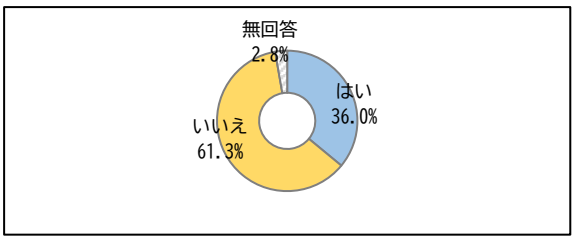
６．毎日の生活について

（１）物忘れ等

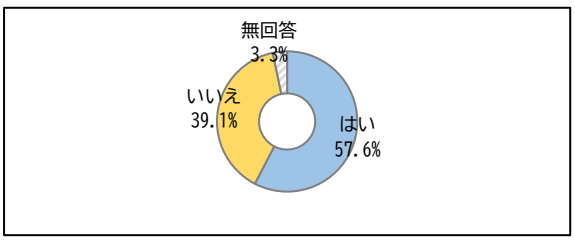
物忘れが多いと感じますか。

物忘れが多いと「感じる」と回答した割合について、一般高齢者では 36.0%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 57.6%、「軽度」要介護認定者では 73.2%となっています。

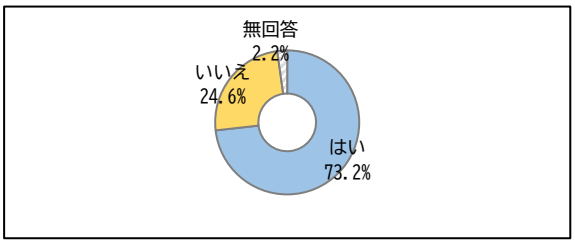
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



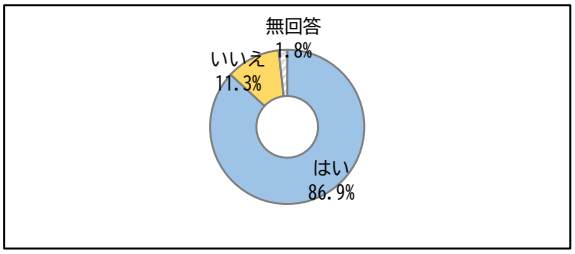
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



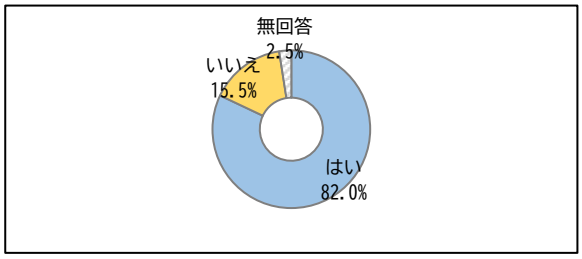
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（どちらかの番号に○）

自分で電話番号を調べて電話を「している」と回答した割合について、一般高齢者では 86.9%、事業対象者・要支援認定者では 82.0%となる一方、「軽度」要介護者では 48.9%となっています。

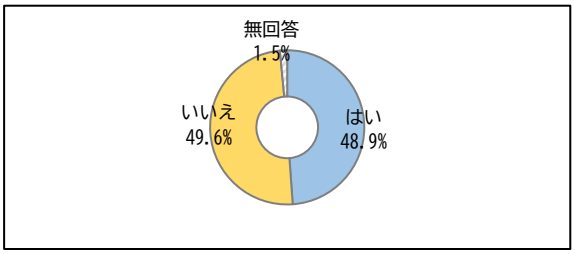
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



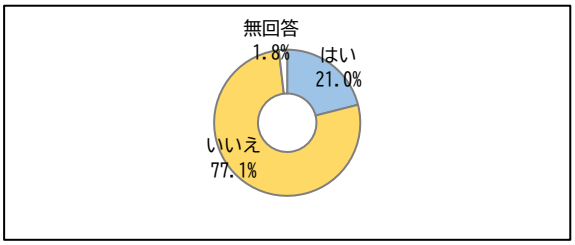
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



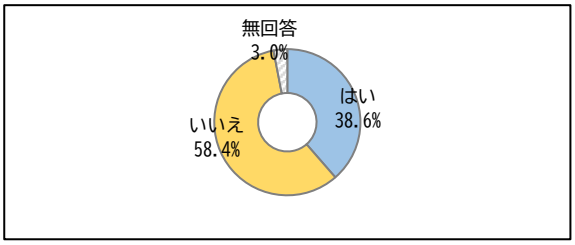
今日が何月何日かわからない時がありますか。（どちらかの番号に○）

今日が何月何日かわからない時が「ある」と回答した割合について、一般高齢者では 21.0%、事業対象者・要支援認定者では 38.6%となる一方、「軽度」要介護者では 63.9%となり、一般高齢者の約 3 倍となっています。

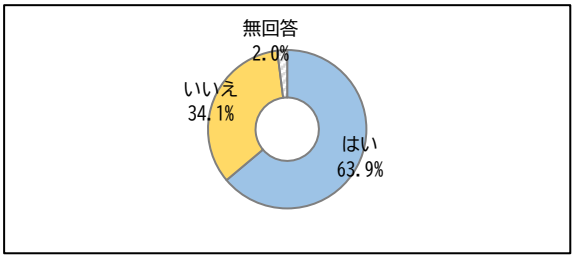
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

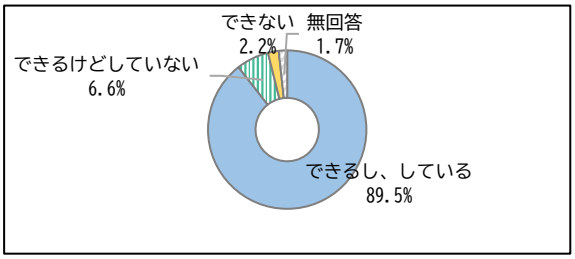


（２）公共交通機関での移動

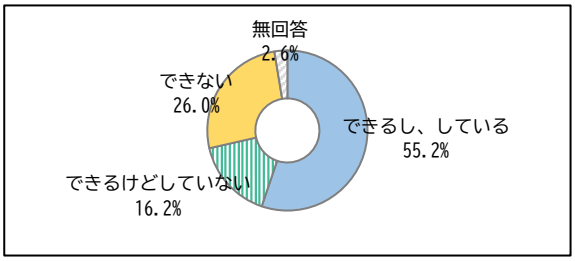
バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）（どちらかの番号に○）

１人でバスや電車を使って外出することが「できるけどしていない」「できない」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 42.2%、「軽度」要介護認定者は 81.0%となっています。

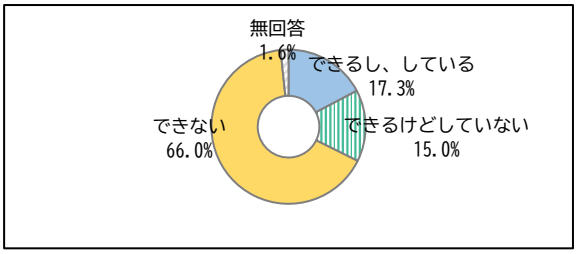
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

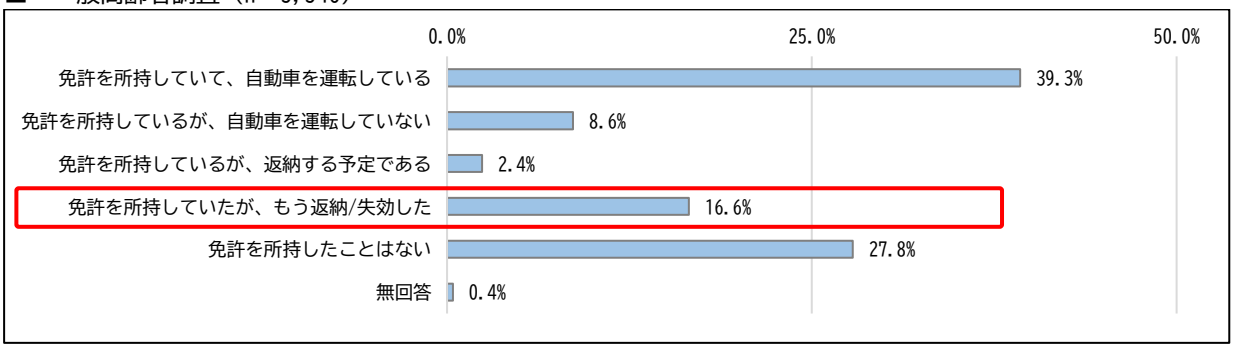


（３）自動車運転と免許

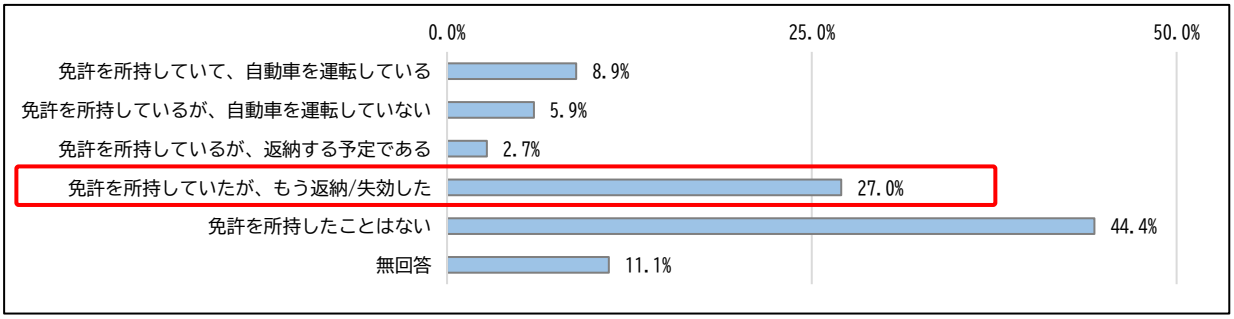
自動車と運転免許について、あてはまるものはどれですか。（１つの番号に○）

「免許を所持していたが、もう返納/失効した」と回答した割合について、一般高齢者では 16.6%、要支援認定者は 27.0%、「軽度」要介護認定者は 37.2%となっています。

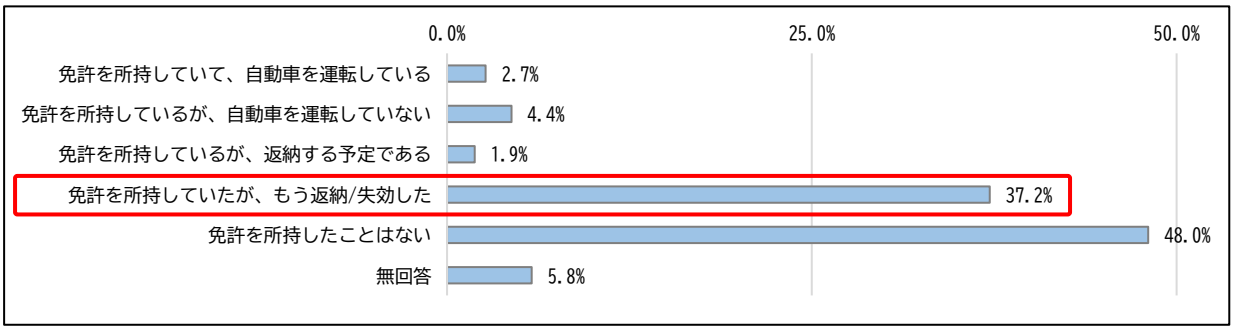
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

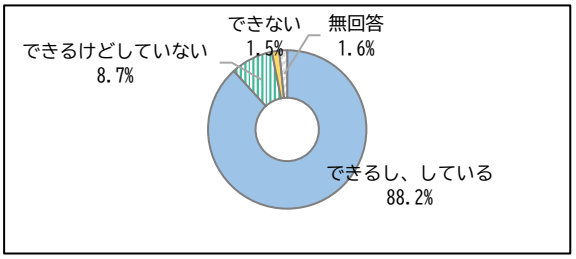


（４）買い物・食事の準備

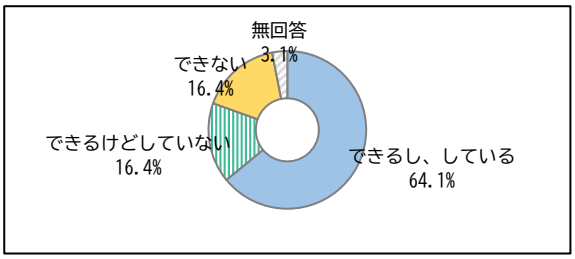
自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（１つの番号に○）

食品・日用品の買い物を自分で「できない」「できるけどしていない」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 32.8%、「軽度」要介護認定者では 72.1%となっています。

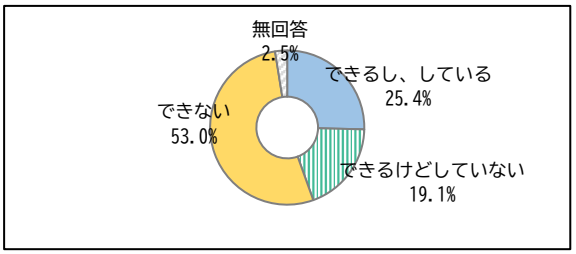
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



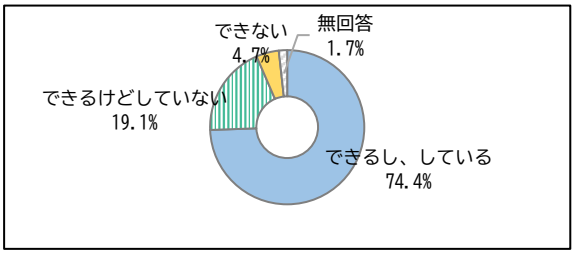
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



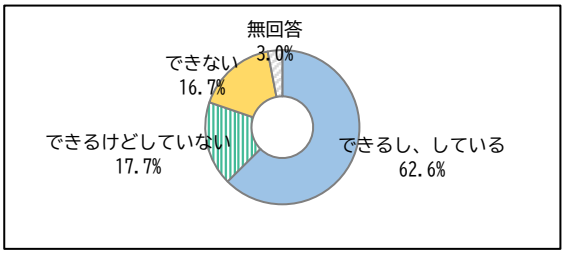
自分で食事の用意をしていますか。（１つの番号に○）

食事の準備を自分で「できない」「できるけどしていない」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 34.4%、「軽度」要介護認定者では 70.6%となっています。

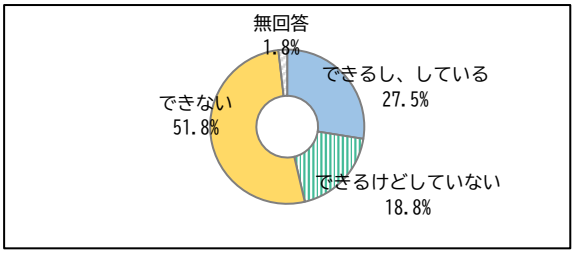
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

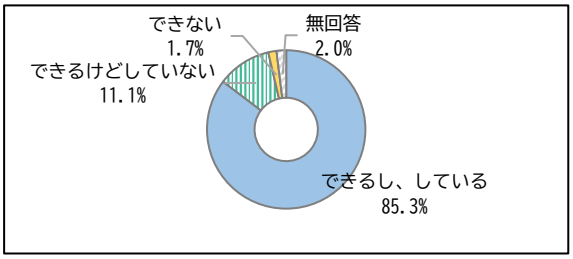


（５）金銭管理

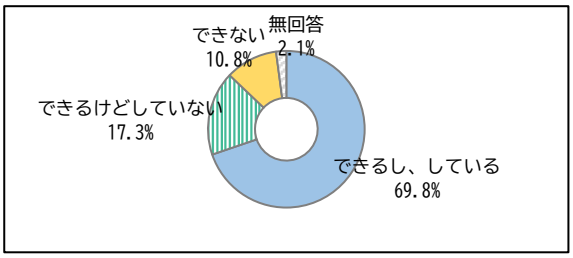
自分で請求書の支払いをしていますか。（１つの番号に○）

請求書の支払いを自分で「できない」「できるけどしていない」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 28.1%、「軽度」要介護認定者では 69.9%となっています。

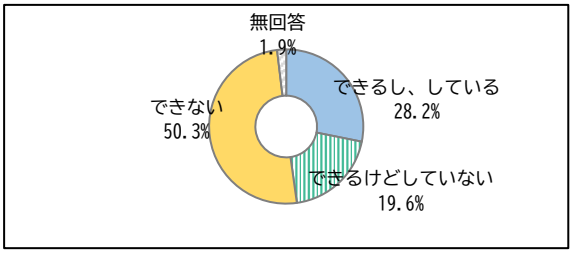
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



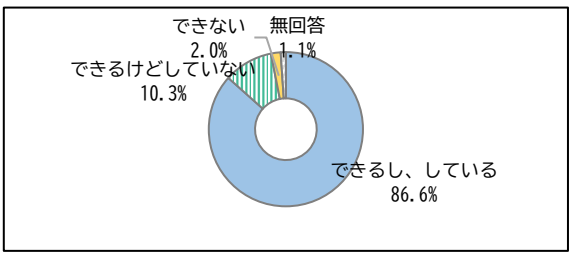
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



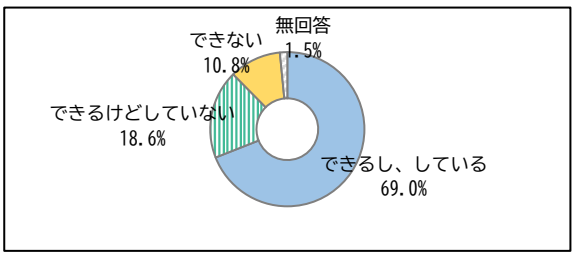
自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つの番号に○）

預貯金の出し入れを自分で「できない」「できるけどしていない」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 29.4%、「軽度」要介護認定者では 72.1%となっています。

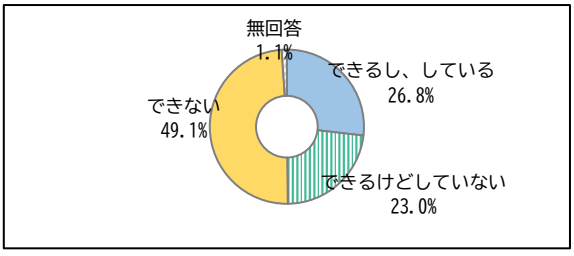
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

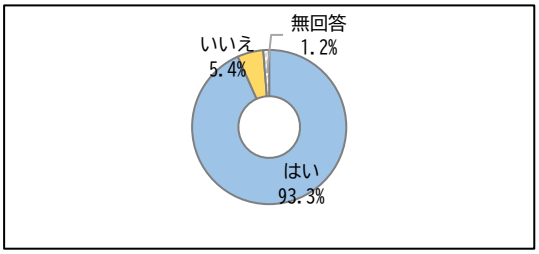


（６）書類記載

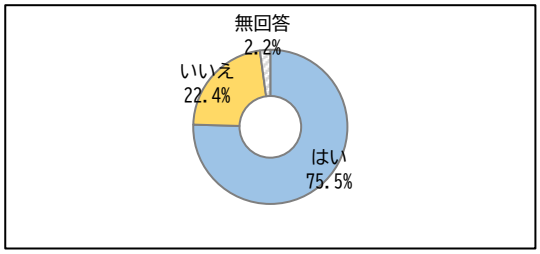
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（どちらかの番号に○）

年金などの書類を「書けない」と回答者した割合について、事業対象者・要支援認定者では 22.4%、「軽度」要介護認定者では 61.3%となっています。

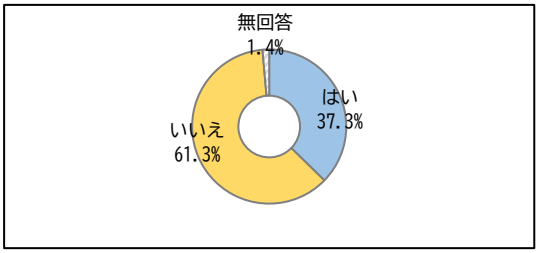
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

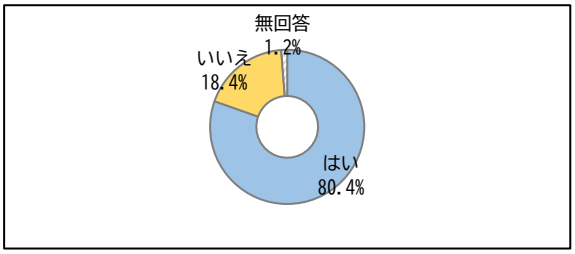


（７）新聞や雑誌を読むこと

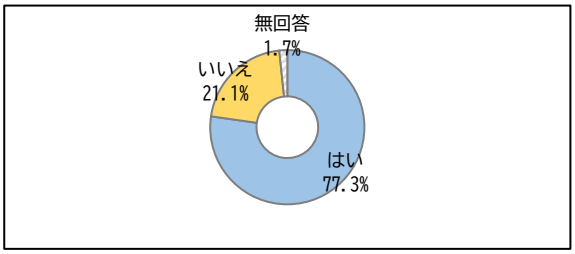
新聞を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

新聞を「読んでいる」と回答した割合については次の通りとなっています。

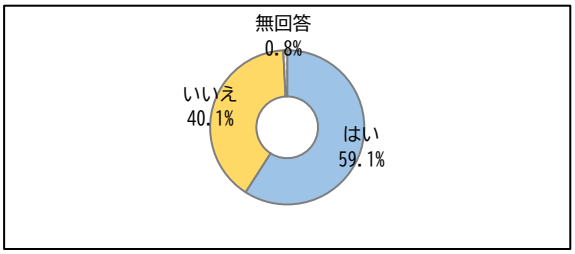
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



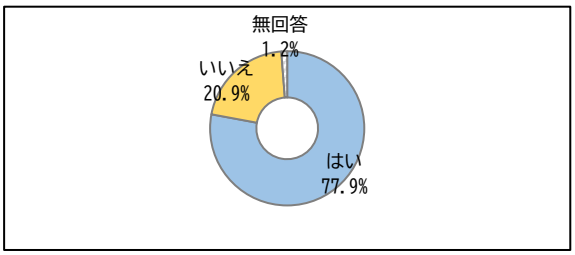
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



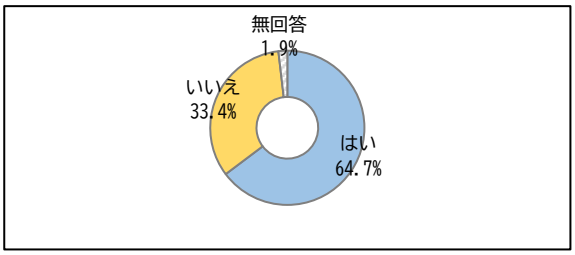
本や雑誌を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

本や雑誌を「読んでいる」と回答した割合については次の通りとなっています。

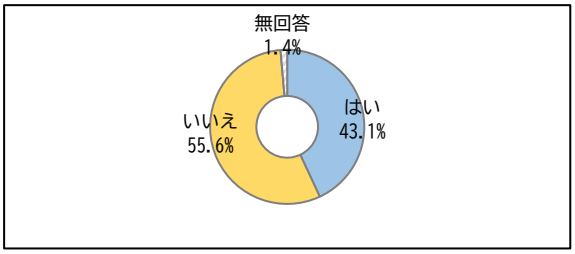
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

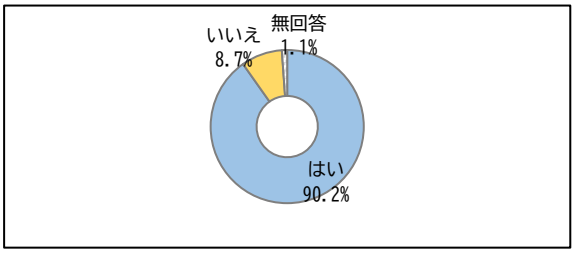


（８）健康への関心

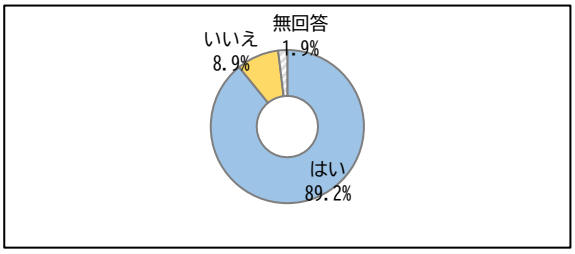
健康についての記事や番組に関心がありますか。（どちらかの番号に○）

健康についての記事や番組への「関心がある」と回答した割合について、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者では約 90%となる一方、「軽度」要介護認定者では 66.6%となっています。

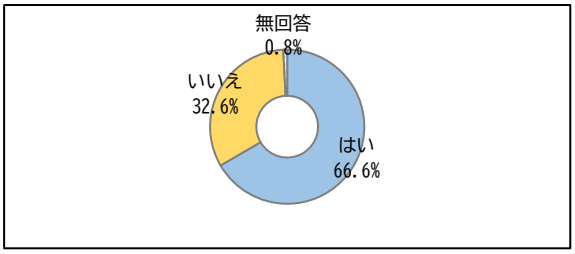
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

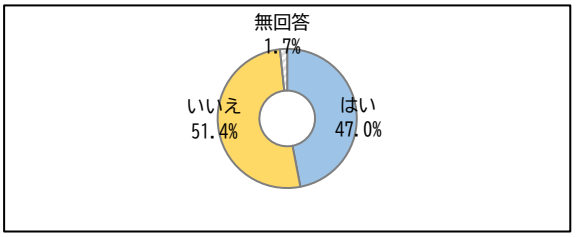


（９）家族や友人、周囲との付き合い

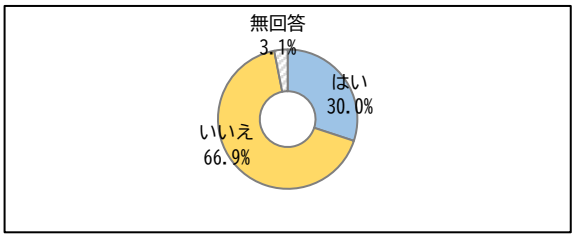
友人の家を訪ねていますか。（どちらかの番号に○）

友人の家を「訪ねている」と回答した割合について、一般高齢者では 47.0%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 30.0%となっており、「軽度」要介護認定者では 11.4%と、一般高齢者の１／４となっています。

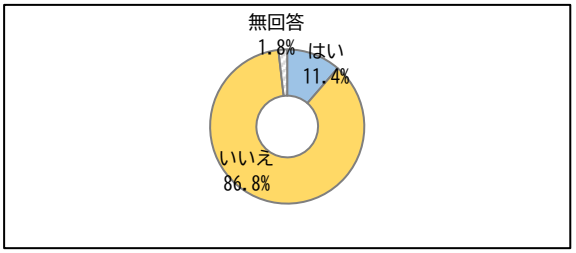
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



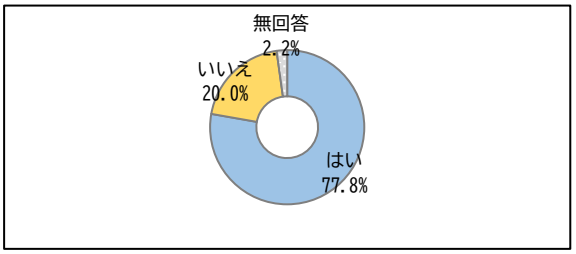
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



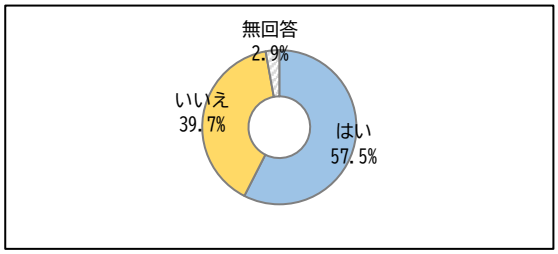
家族や友人の相談にのっていますか。（どちらかの番号に○）

家族や友人の相談に「のっている」と回答した割合について、一般高齢者では 77.8%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 57.5%となっており、「軽度」要介護認定者では 31.0%と一般高齢者の１／２となっています。

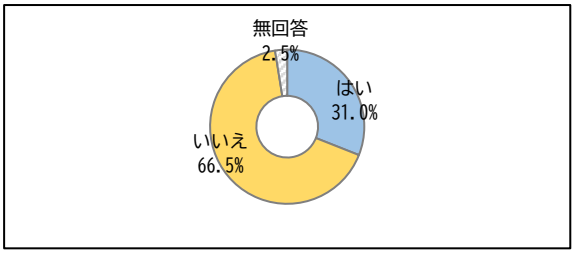
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



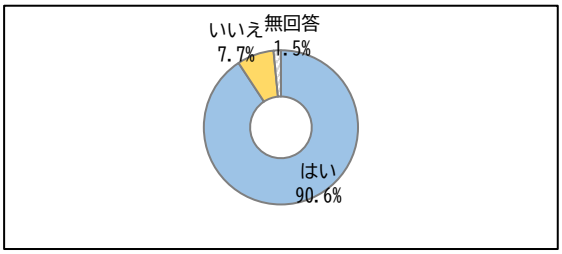
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



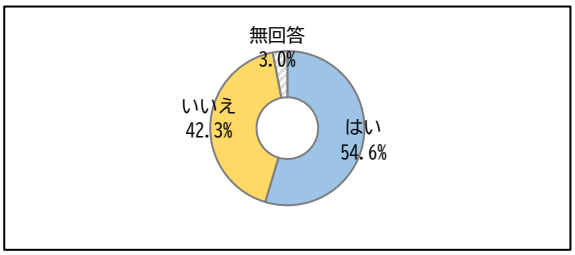
病人を見舞うことができますか。（どちらかの番号に○）

病人を「見舞うことができる」と回答した割合について、一般高齢者では 90.6%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 54.6%、「軽度」要介護認定者では 26.5%となっています。

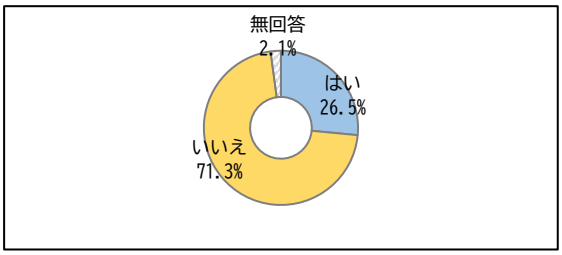
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



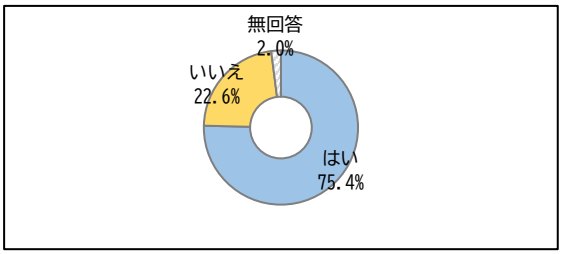
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



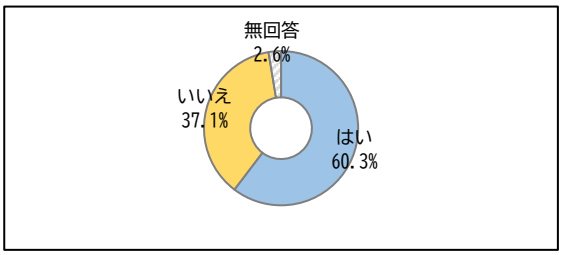
若い人に自分から話しかけることがありますか。（どちらかの番号に○）

若い人に自分から「話しかけることがある」と回答した割合について、一般高齢者では 75.4%、事業対象者・要支援認定者では 60.3%となる一方、「軽度」要介護認定者では 46.1%となっています。

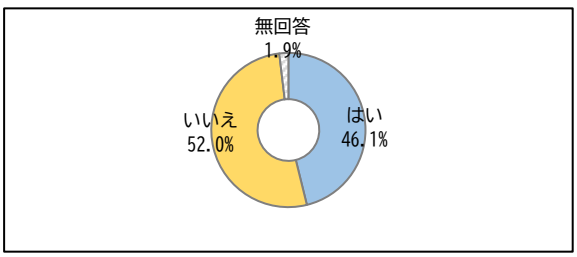
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

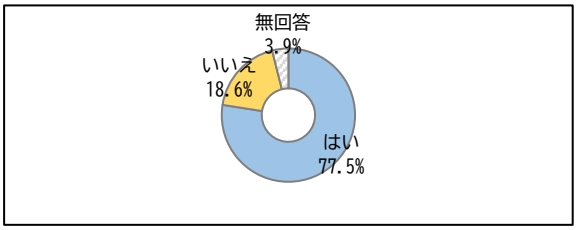


（10）趣味

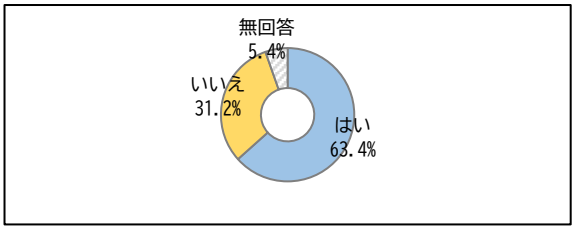
趣味はありますか。（どちらかの番号に○）

趣味が「ある」と回答した割合について、一般高齢者では 77.5%、事業対象者・要支援認定者では 63.4%となる一方、「軽度」要介護認定者では 40.1%と一般高齢者の１／２となっており、「重度」要介護認定者では 25.4%と一般高齢者の１／３となっています。

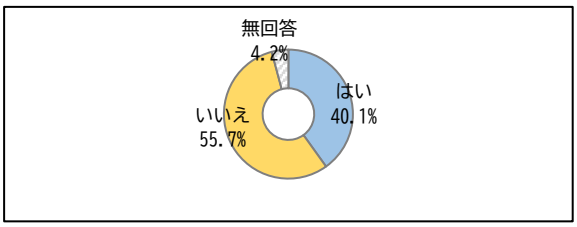
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



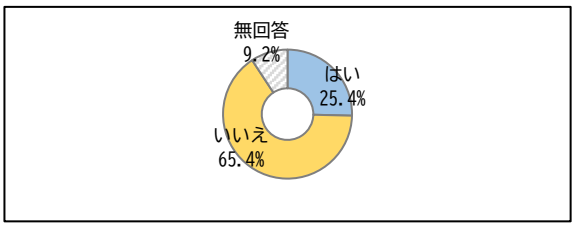
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

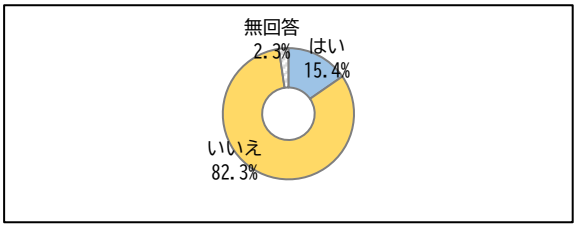


（11）ペット

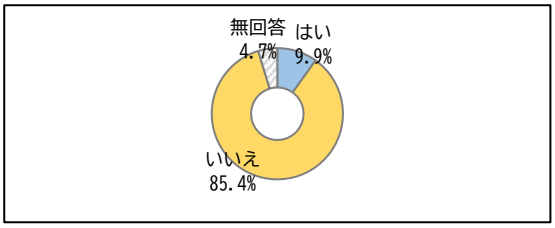
ペットを飼っていますか。（どちらかの番号に○）

ペットを「飼っている」と回答者した割合について、一般高齢者では 15.4%、事業対象者・要支援認定者では 9.9%、「軽度」要介護認定者では 10.6%、「重度」要介護認定者では 11.1%と約１割程度となっています。

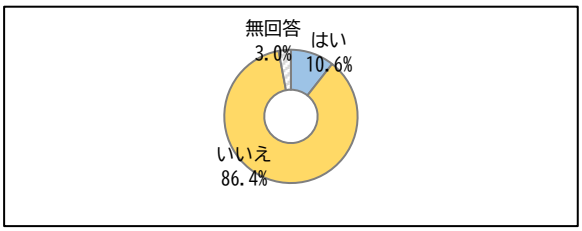
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



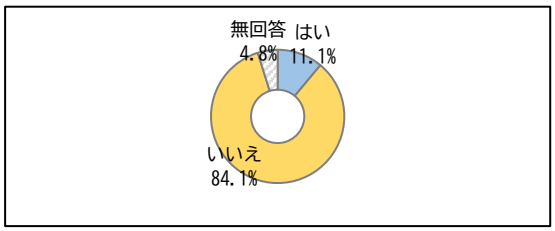
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

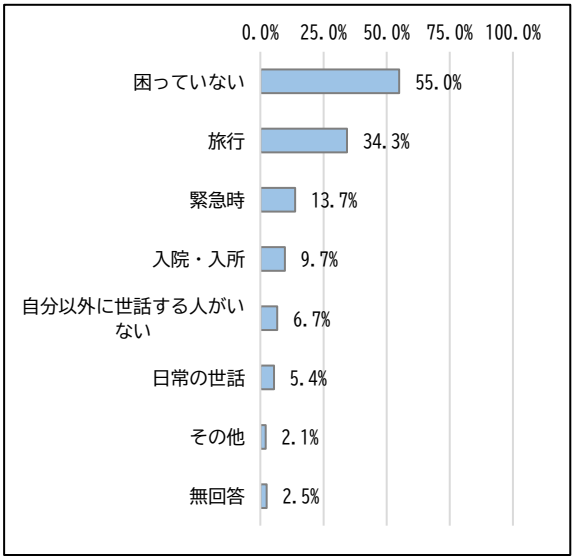


ペットを飼っていると回答した方のみ、お答えください。

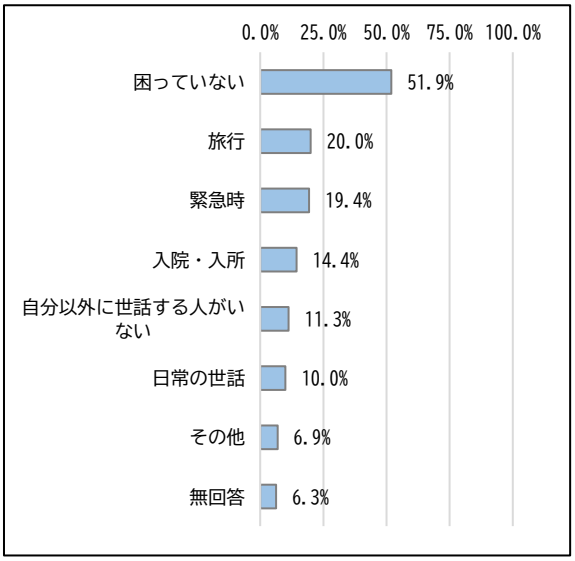
ペットを飼っていて困ることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

ペットを飼っていて困ることについて、いずれも「困っていない」と回答した割合が最も高く、次いで「旅行」「緊急時」となっています。

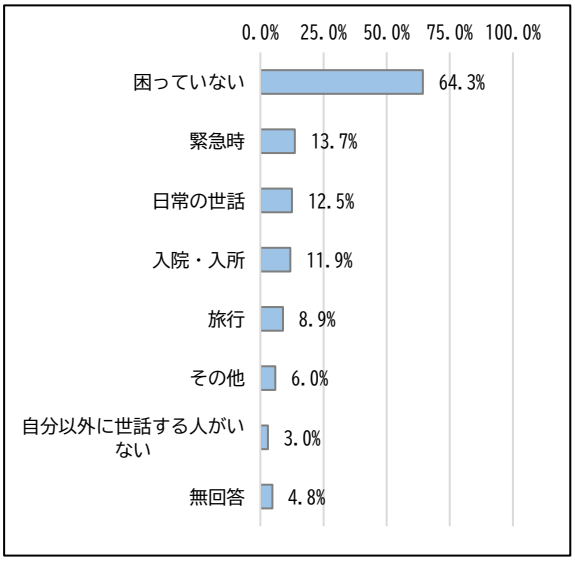
■　一般高齢者調査（n＝853）



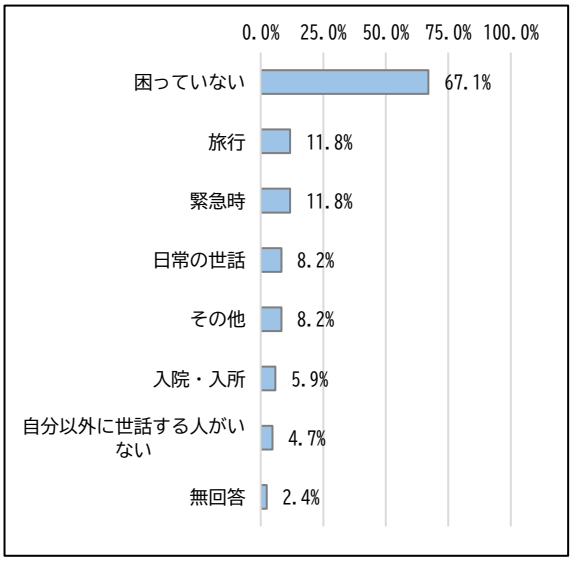
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=160）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=168）



■　「重度」要介護認定者調査（n=85）

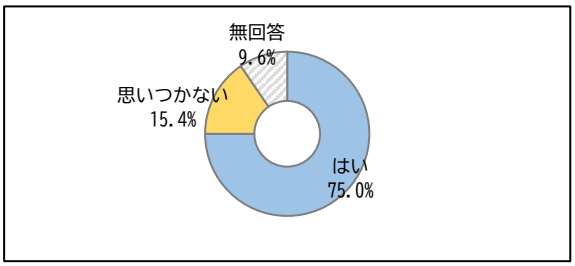


（12）生きがい

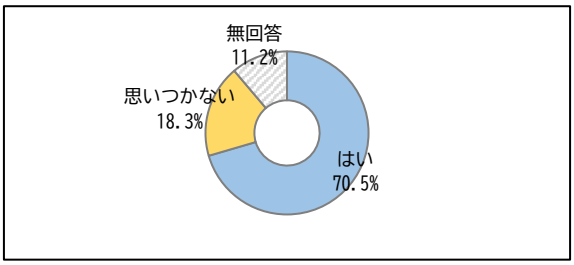
生きがいはありますか。（どちらかの番号に○）

生きがいが「ある」と回答した割合について、若年者では 75.0%、一般高齢者では 70.5%と２／３以上となる一方、事業対象者・要支援認定者では 48.5%と半数以下となり、「軽度」要介護認定者では 33.3%、「重度」要介護認定者では 25.3%と１／３以下となっています。

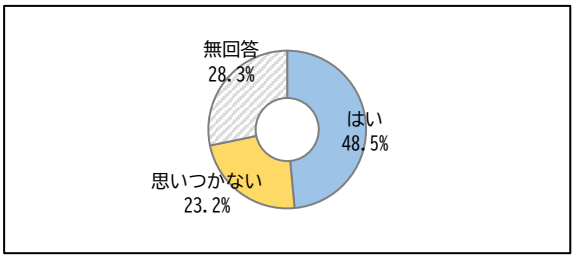
■　若年者調査（n＝1,004）



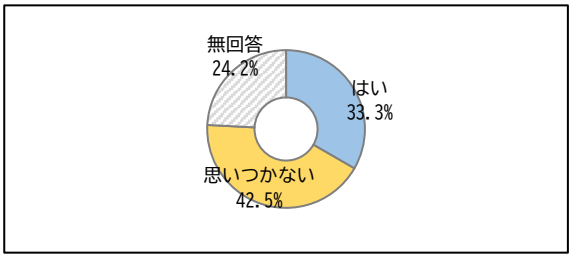
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



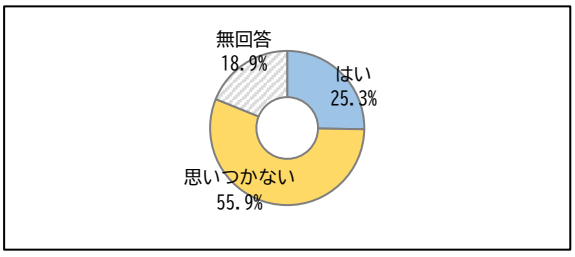
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

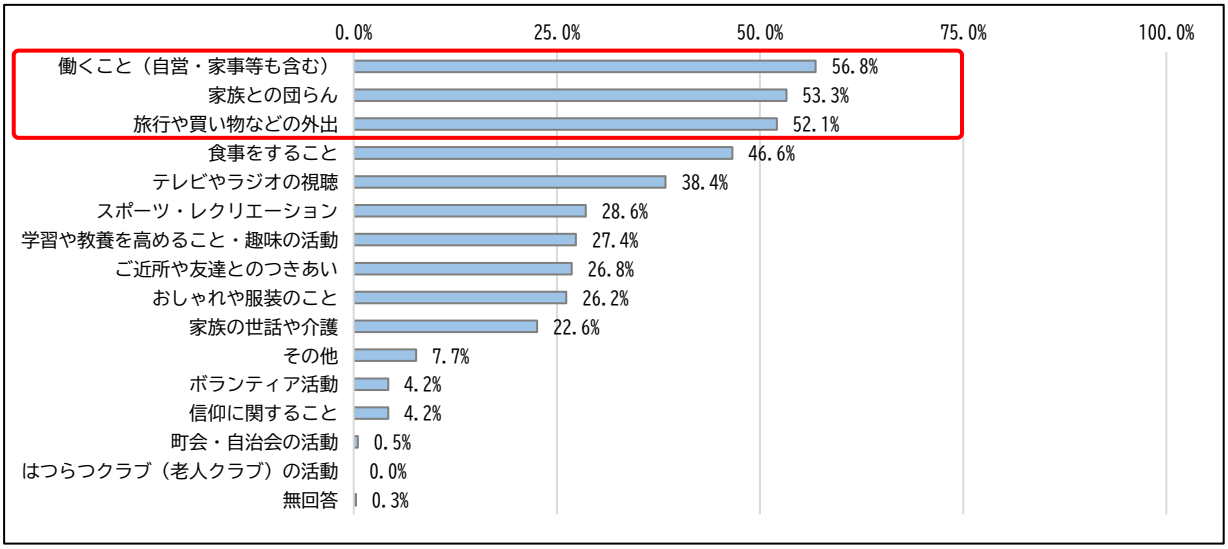


生きがいがあると回答した方のみ、お答えください。

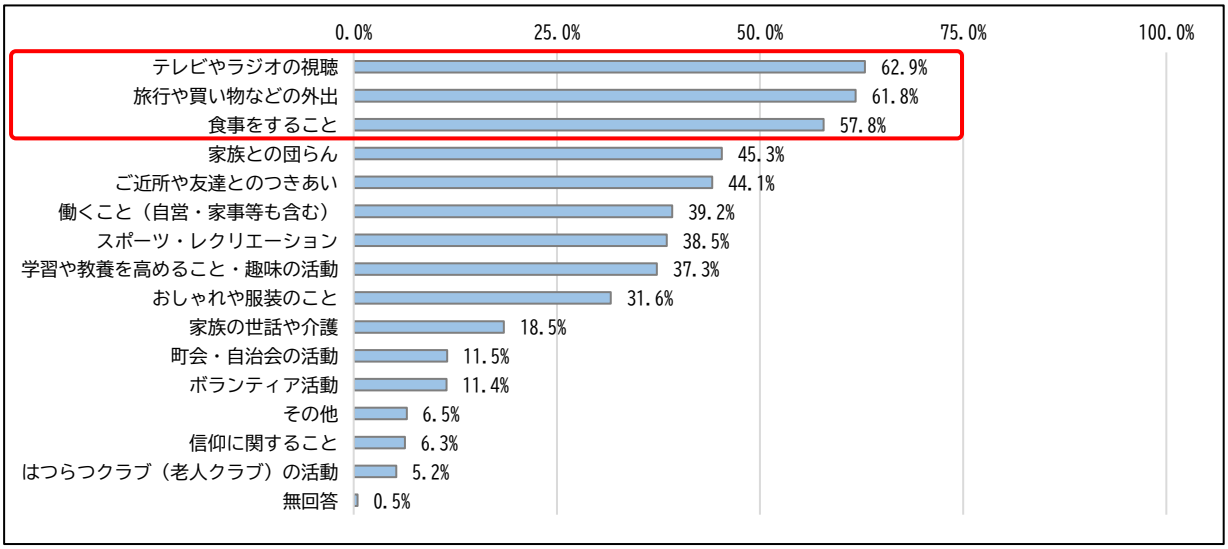
生きがいを感じていることは、どんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

生きがいとして若年者では「働くこと」が一番多く、次いで「家族の団らん」、「旅行や買い物などの外出」となり、一般高齢者では「テレビやラジオの視聴」が一番多く、次いで「旅行や買い物などの外出」「食事をすること」となっています。事業対象者・要支援認定者並びに「軽度」介護認定者、「重度」要介護認定者では「テレビやラジオの視聴」が一番多く、次いで「家族の団らん」「食事をすること」となっています。

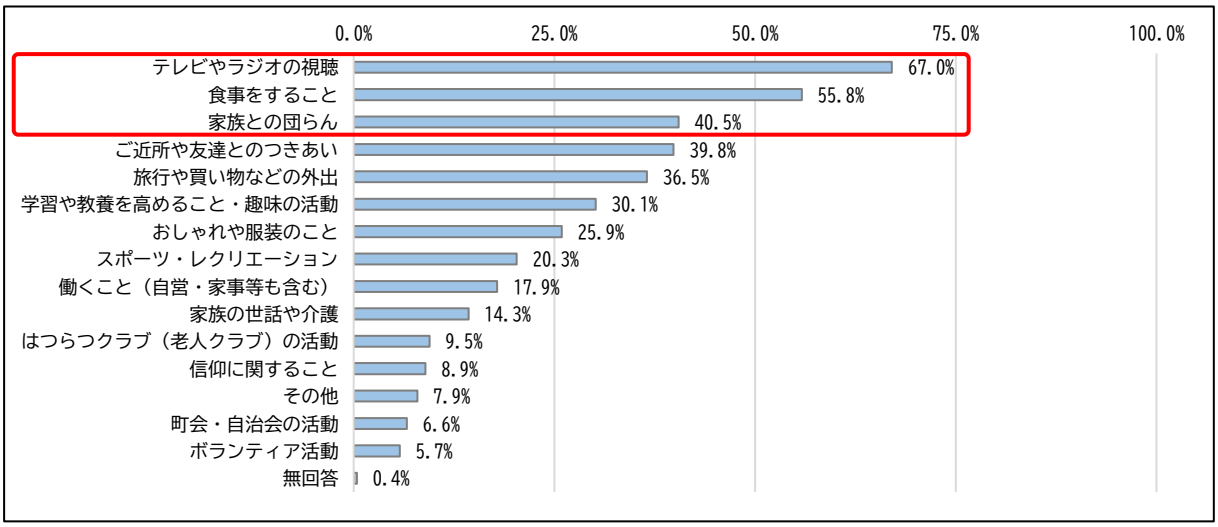
■　若年者調査（n＝753）



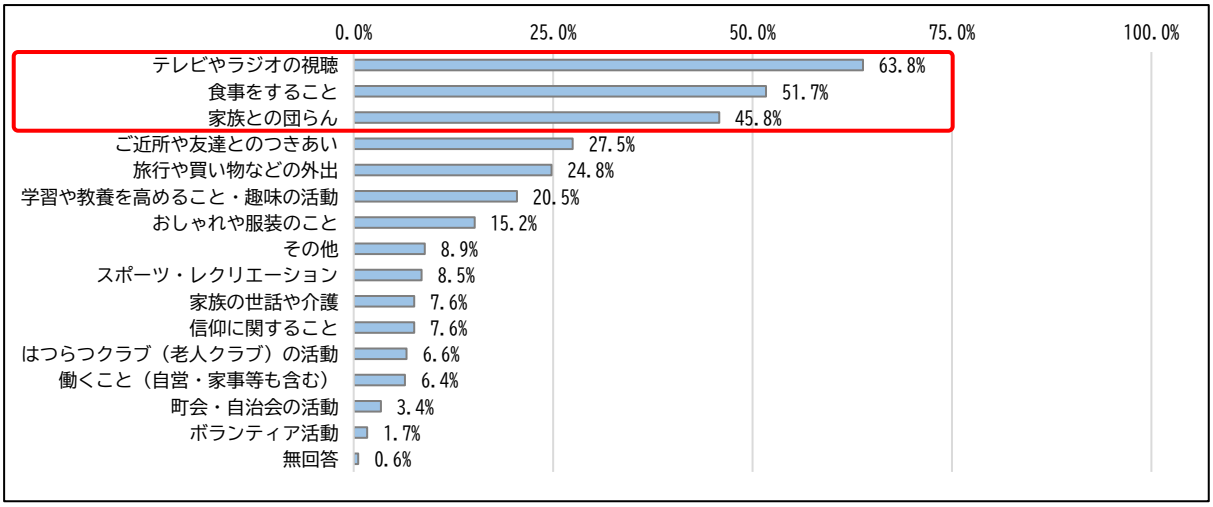
■　一般高齢者調査（n＝3,909）



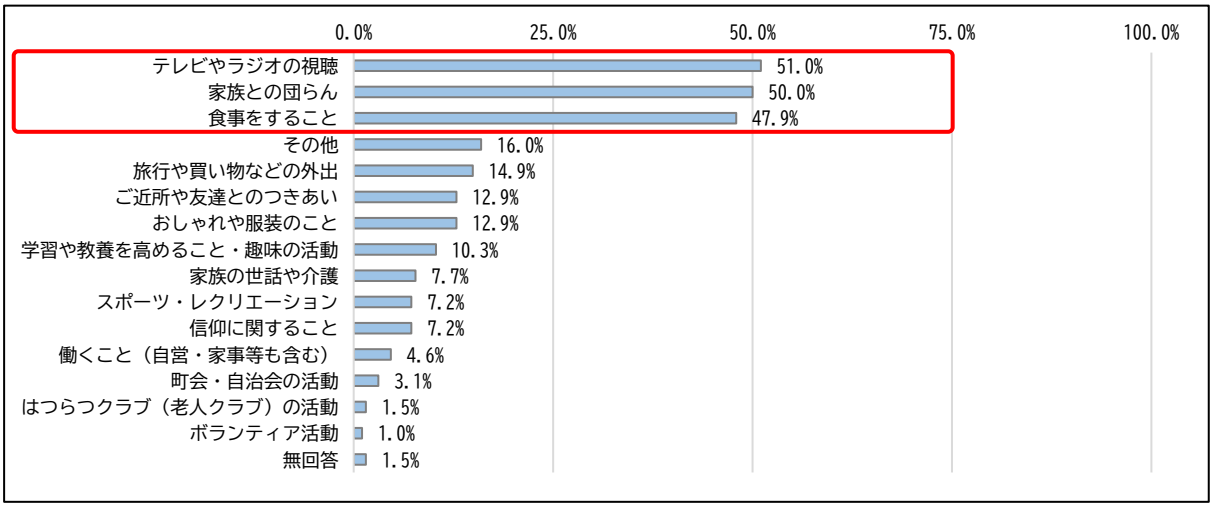
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=783）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=528）



■　「重度」要介護認定者調査（n=194）



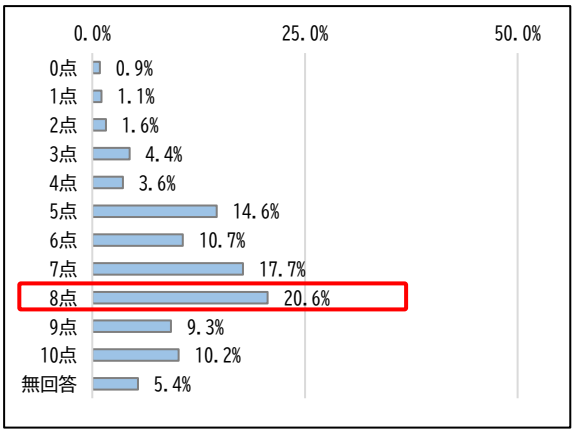
その他・・・デイサービスに行くこと、孫の成長等

（13）主観的幸福感

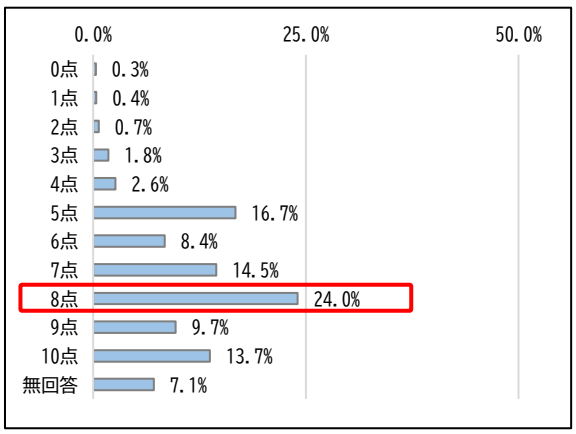
あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、点数をつけてください）。（１つの点数に○）

幸せの程度について若年者、一般高齢者では「８点」と回答した方が最も多く、「10 点」も 10%を超えている一方、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「５点」が最も多く、「10 点」は 10%未満となっています。

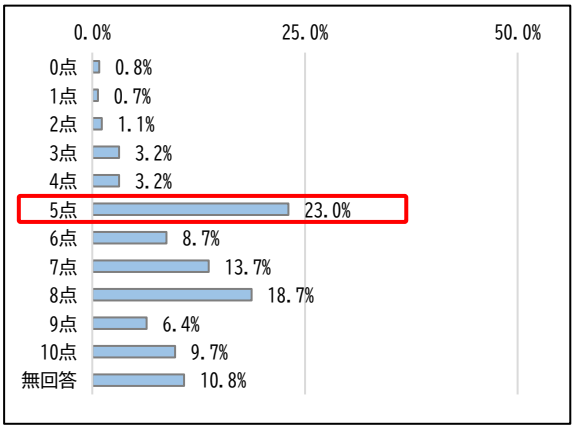
■　若年者調査（n＝1,004）



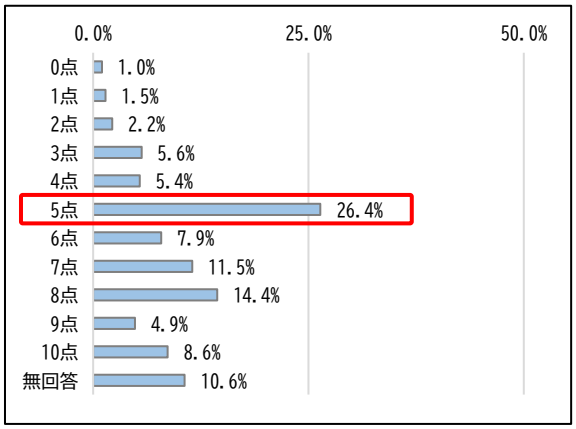
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



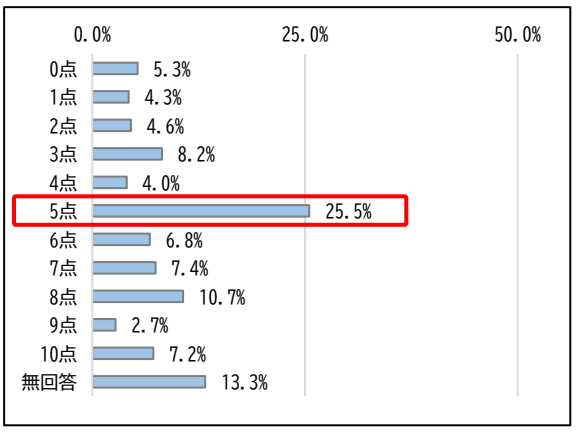
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

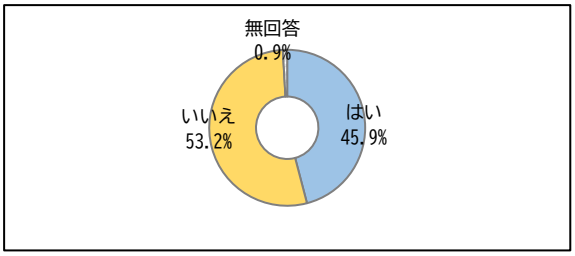


（14）ゆううつ感

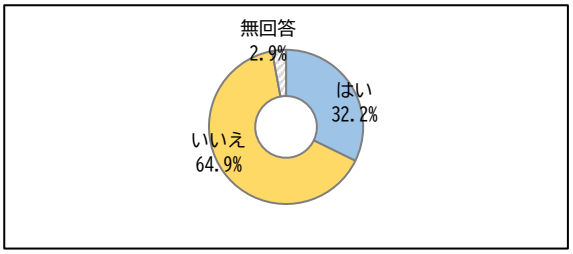
この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（どちらかの番号に○）

この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることが「あった」と回答した割合について、一般高齢者では 32.2%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 49.8%、「軽度」要介護認定者では 53.5%、「重度」要介護認定者では 53.4%となっています。

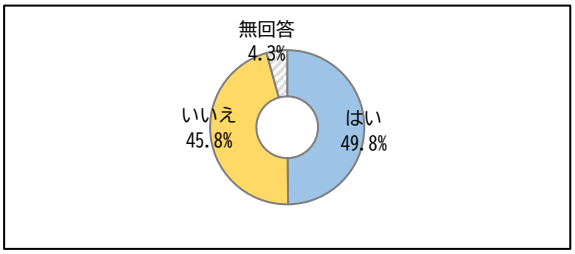
■　若年者調査（n＝1,004）



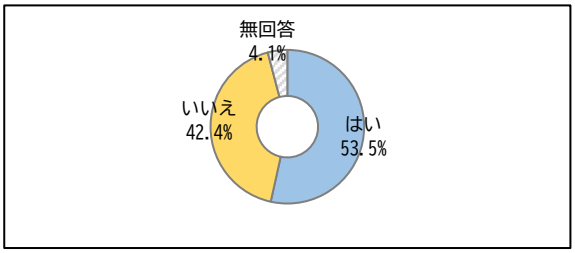
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



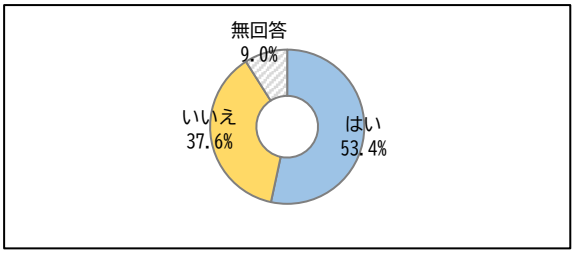
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



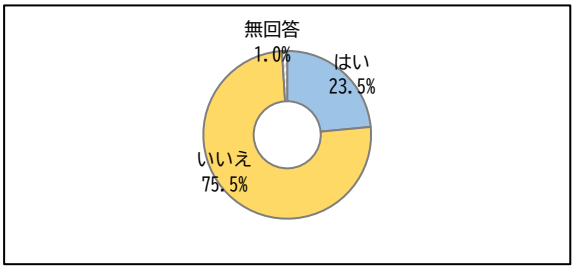
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



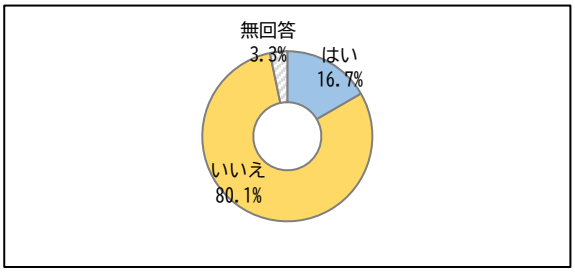
この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（どちらかの番号に○）

この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくが「あった」と回答した割合について、一般高齢者では 16.7%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 39.2%と一般高齢者の２倍以上となり、「軽度」要介護認定者では 50.4%、「重度」要介護認定者では 52.5%と一般高齢者の３倍以上となっています。

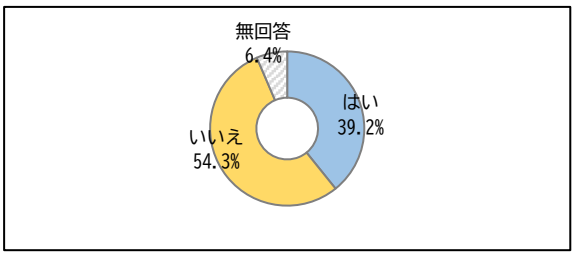
■　若年者調査（n＝1,004）



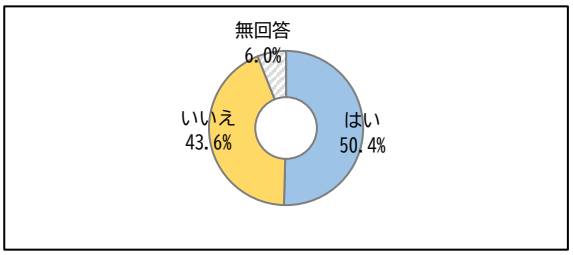
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



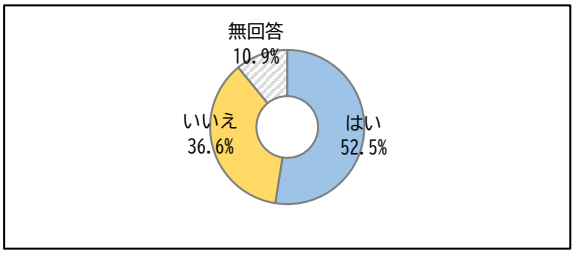
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

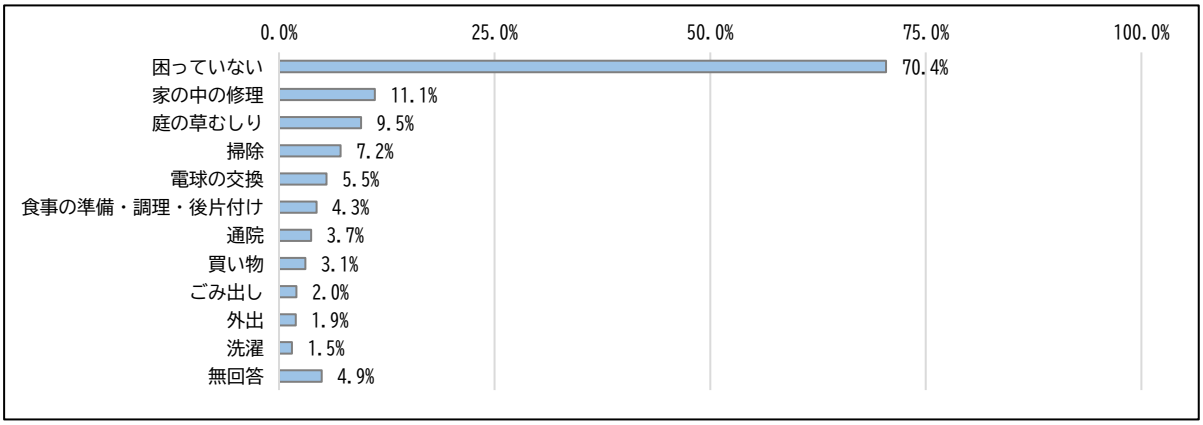


（15）普段の生活での困りごと

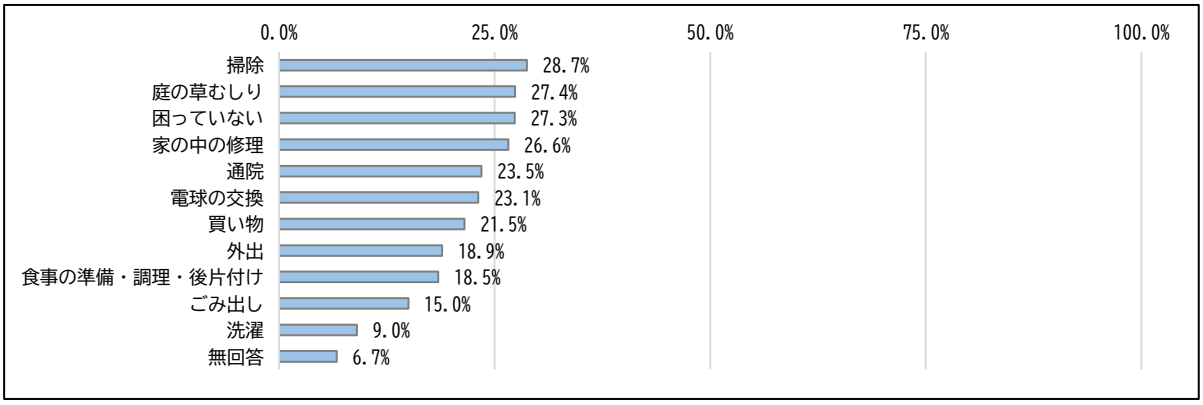
普段の生活に困っていることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

普段の生活で困っていることについて、一般高齢者では「困っていない」が 70.4%となる一方、事業対象者・要支援認定者では「掃除」が一番多く、次いで「庭の草むしり」となり、「軽度」要介護認定者では「掃除」が一番多く、次いで「通院」となっています。

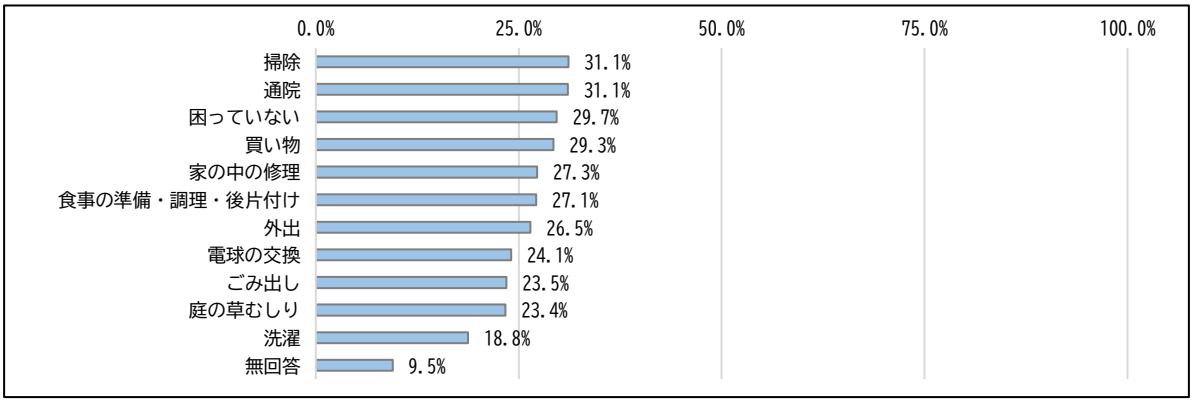
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

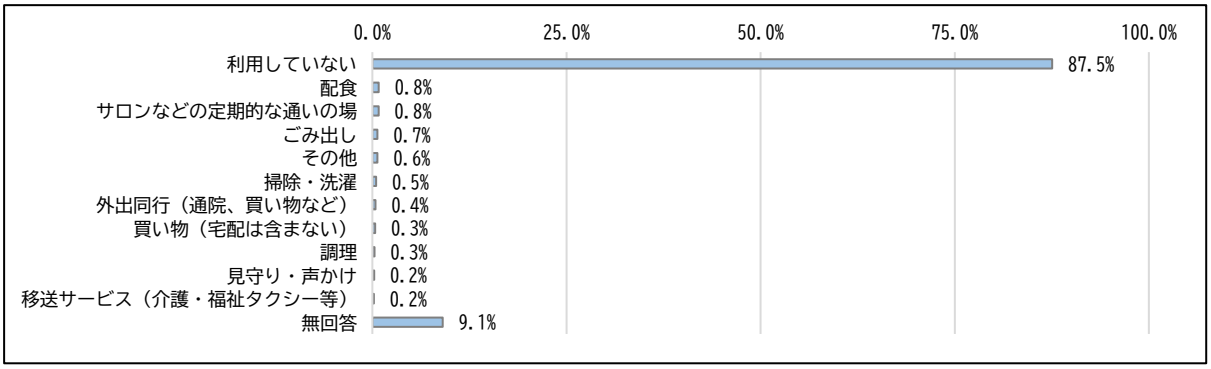


（16）介護保険以外のサービス利用状況

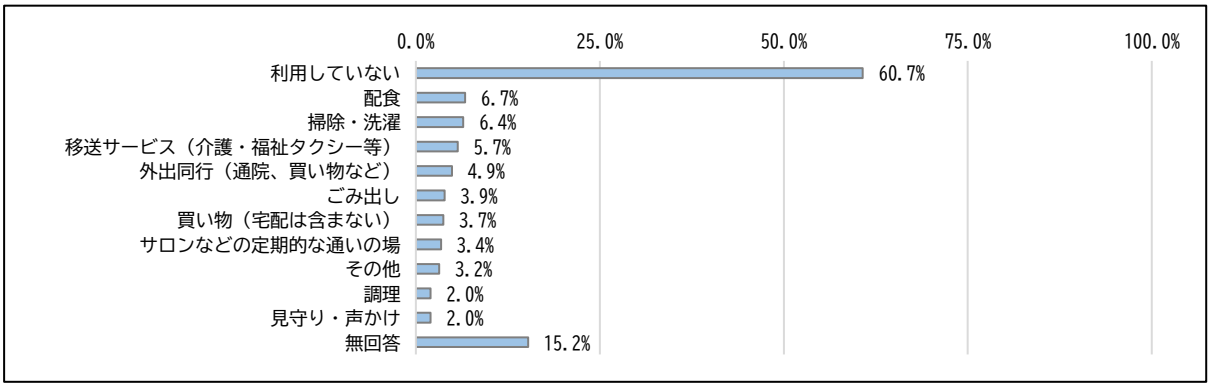
あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

普段の生活での介護保険以外のサービス利用状況について、一般高齢者では「使用していない」が 87.5%となる一方、事業対象者・要支援認定者では「利用していない」が 60.7%となるとともに「配食」を利用している割合が 6.7%となっており、「軽度」要介護認定者並びに「重度」要介護認定者では「利用していない」が約 55%となるとともに、「移送サービス」を利用している割合が「軽度」要介護認定者では 9.3%、「重度」要介護認定者では 15.5%となっています。

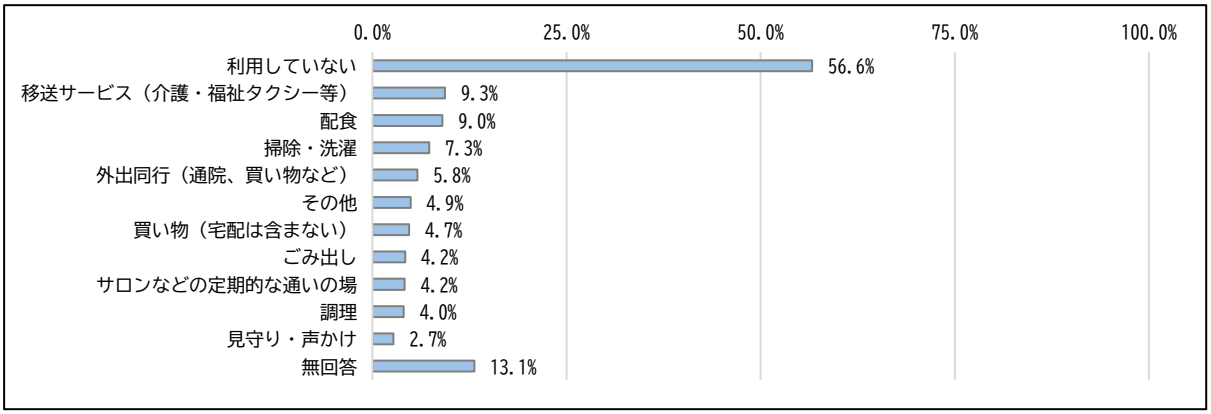
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



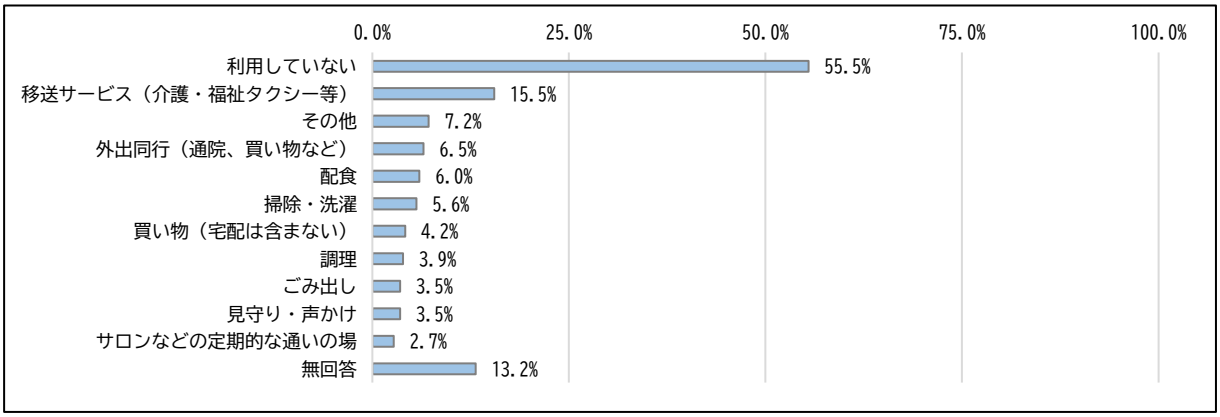
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

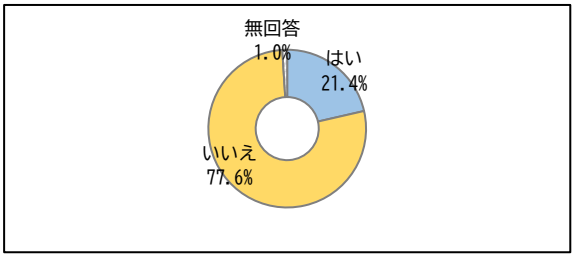


（17）フレイルの認知度

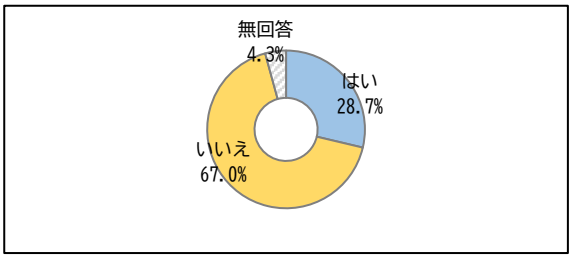
フレイルについて知っていますか。（どちらかの番号に○）

フレイルを「知っている」と回答した割合について、一般高齢者では 28.7%、事業対象者・要支援認定者では 34.3%、「軽度」要介護認定者は 26.7%となり、約３割が知っていると回答しています。

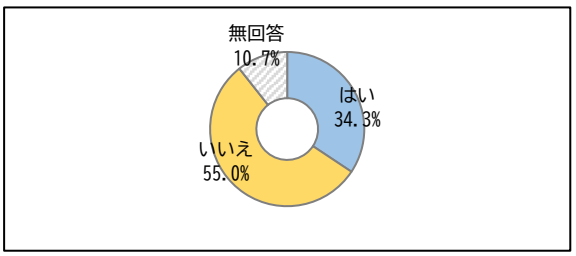
■　若年者調査（n＝1,004）



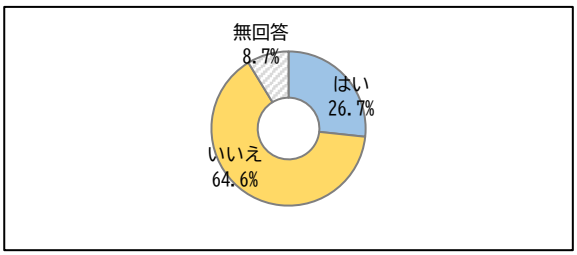
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



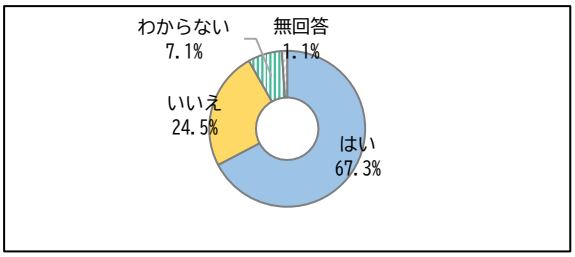
７．地域での活動について

（１）町会・自治会加入状況

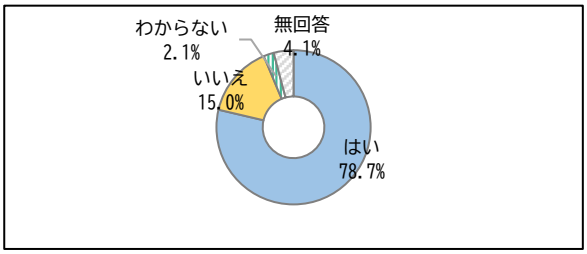
あなたは、町会または自治会に加入していますか。（１つの番号に○）

町会または自治会に「加入している」と回答した割合について、一般高齢者では 78.7%、事業対象者・要支援認定者では 72.8%と７割以上となり、「軽度」要介護認定者では 63.6%、「重度」要介護認定者では 64.7%と６割以上となっています。

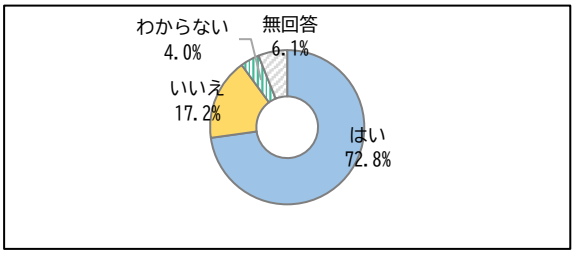
■　若年者調査（n＝1,004）



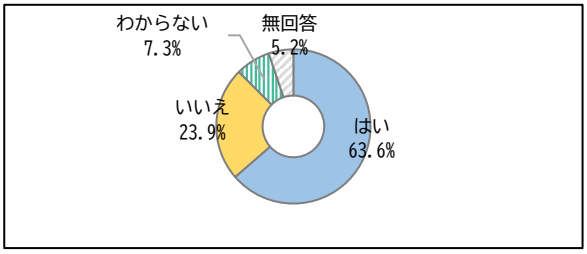
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



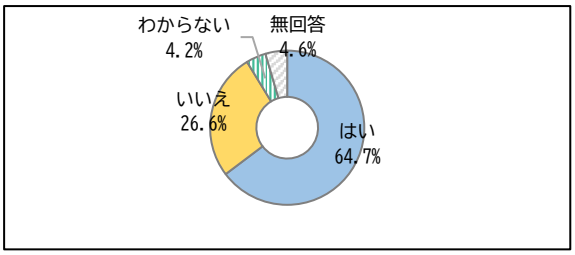
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



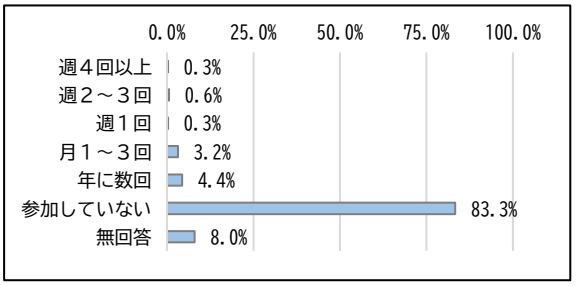
（２）会・グループ等の参加頻度

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。（１つの番号に○）

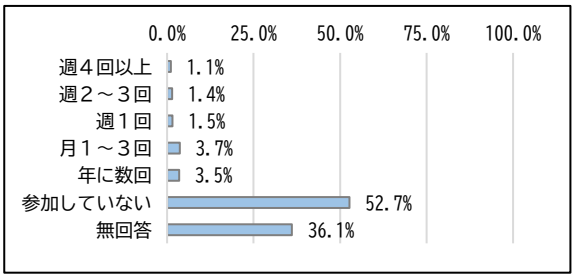
一般高齢者並びに事業対象者・要支援認定者では、スポーツ関係あるいは趣味関係のグループの参加割合が高くなっています。また、元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場については一般高齢者では 3.0%、事業対象者・要支援認定者では 13.3%となっています。

①　ボランティアのグループ

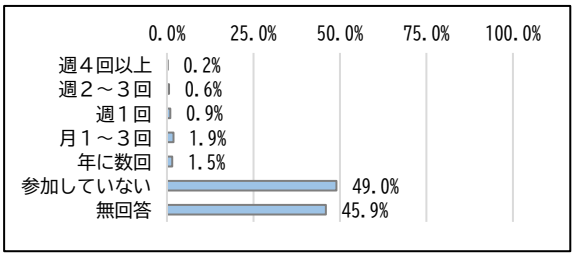
■　若年者調査（n＝1,004）



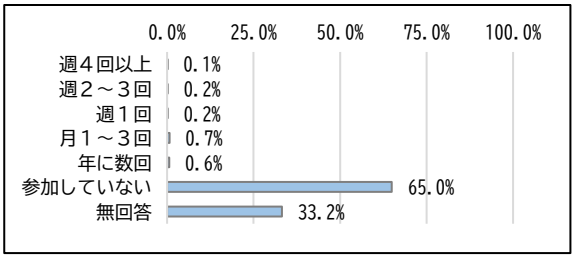
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

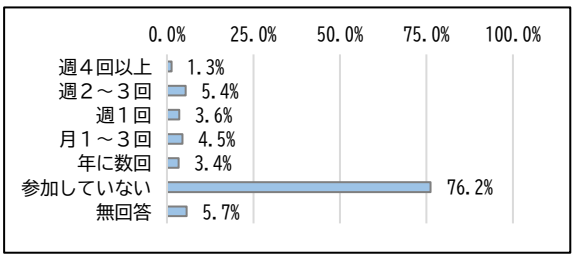


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

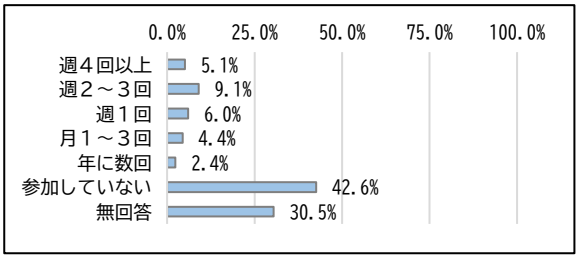


②　スポーツ関係のグループやクラブ

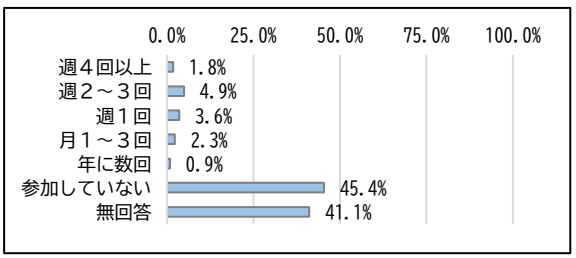
■　若年者調査（n＝1,004）



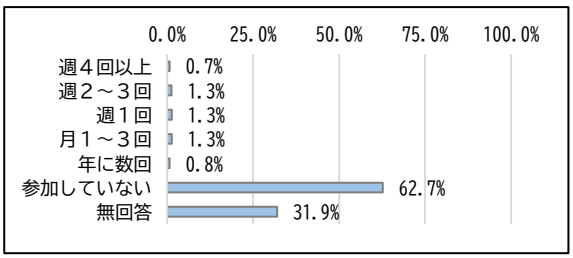
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

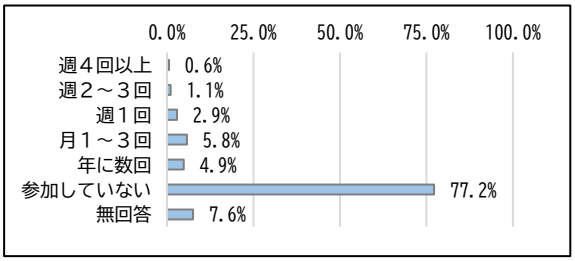


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

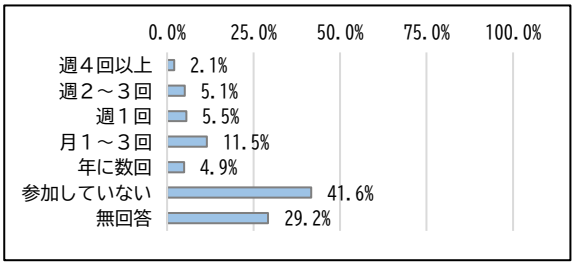


③　趣味関係のグループ

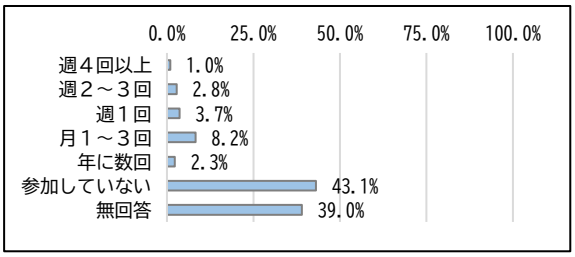
■　若年者調査（n＝1,004）



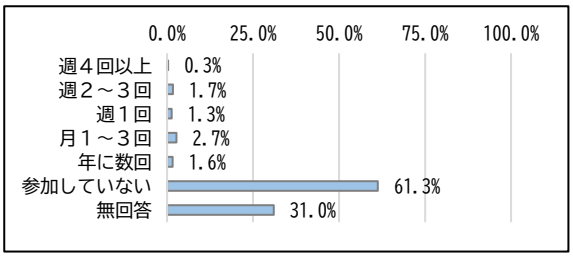
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

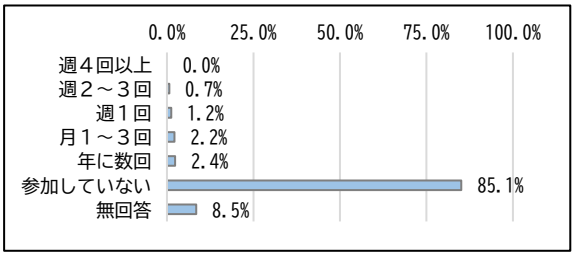


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

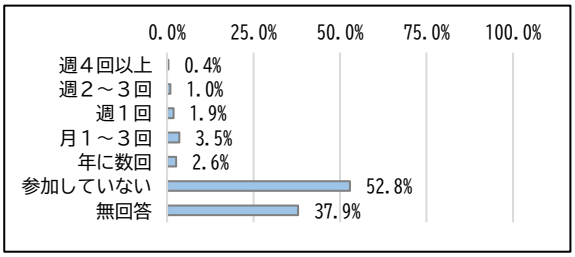


④　学習・教養サークル

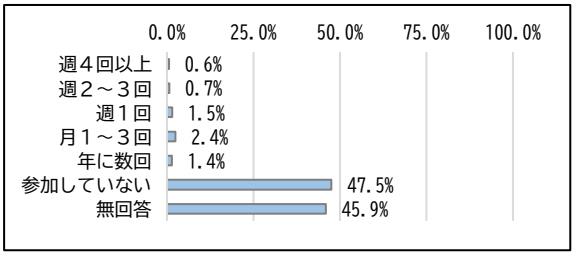
■　若年者調査（n＝1,004）



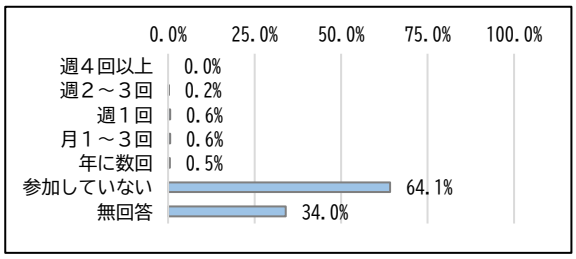
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

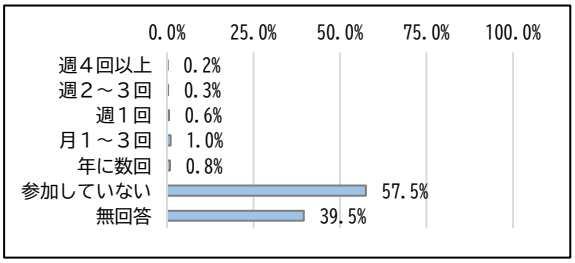


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

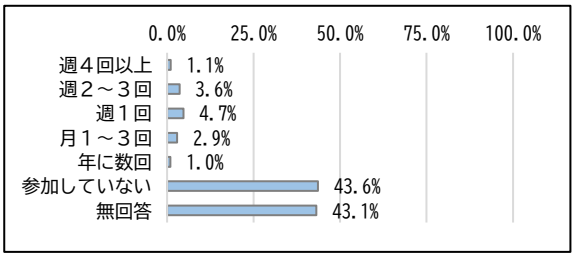


⑤　元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場

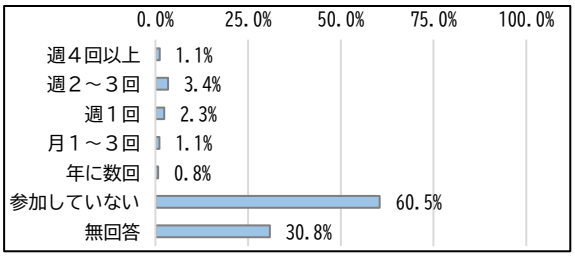
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

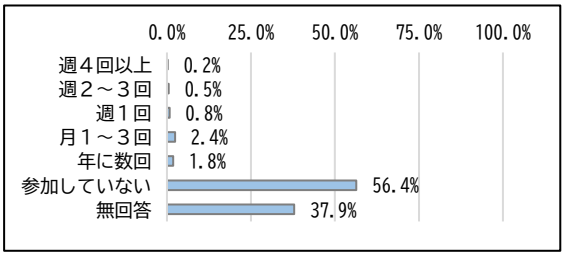


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

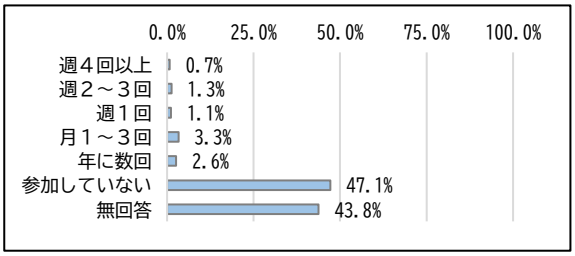


⑥　はつらつクラブ（老人クラブ）

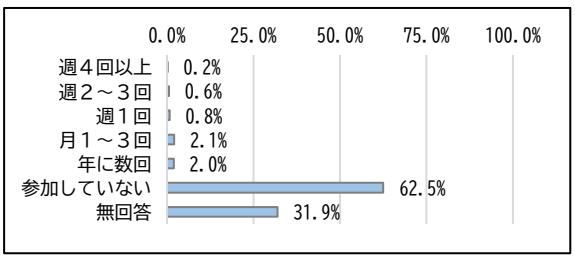
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

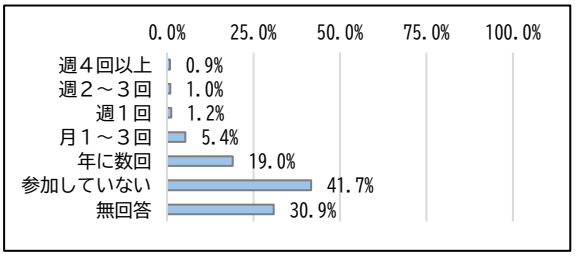


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

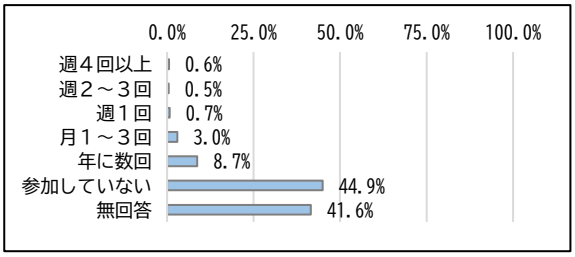


⑦　町会・自治会

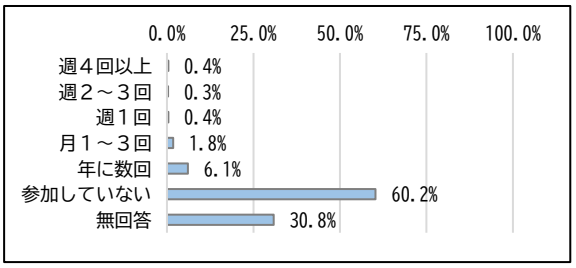
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



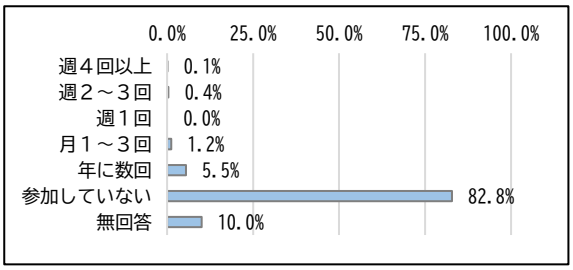
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

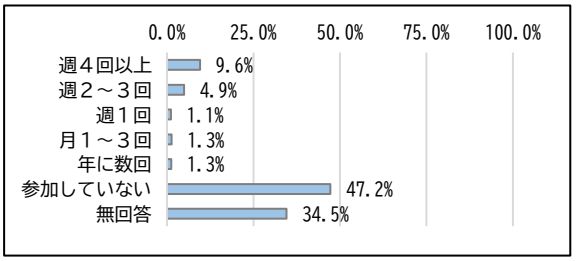


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

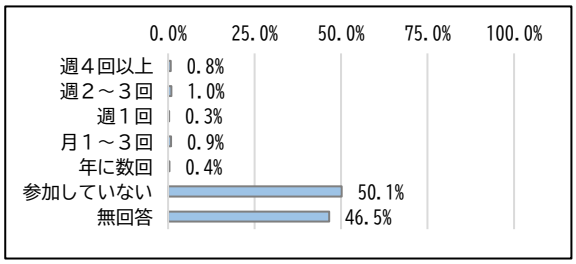


⑧　収入のある仕事

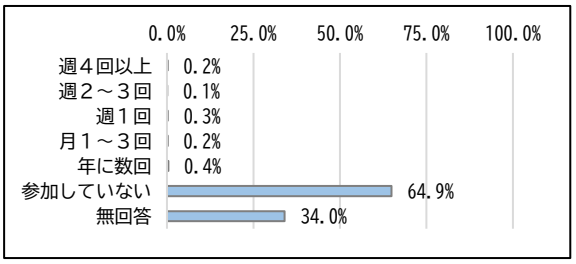
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

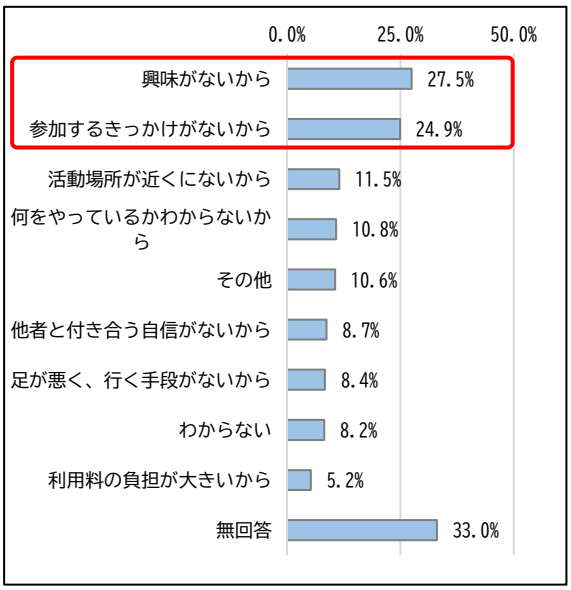


（３）会・グループ等に参加しない理由

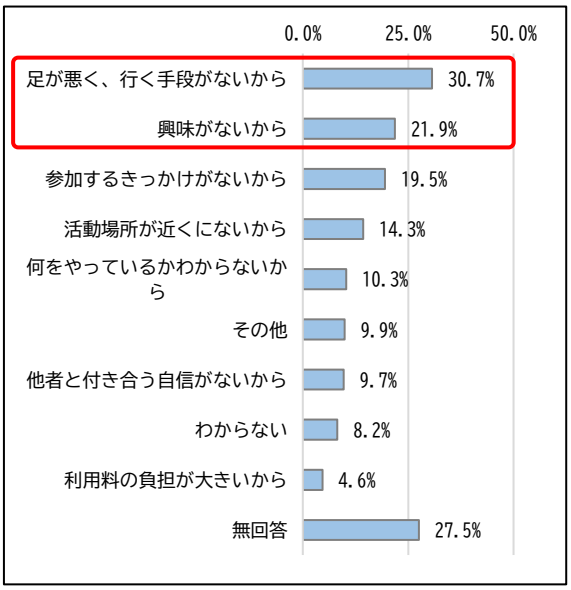
会・グループに１つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

会・グループ等に参加しない理由について、一般高齢者では「興味がないから」と回答した割合が最も高く、次いで「参加するきっかけがないから」となっています。一方、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では、「足が悪く、行く手段がないから」と回答した割合が最も高く、次いで「興味がないから」となっています。

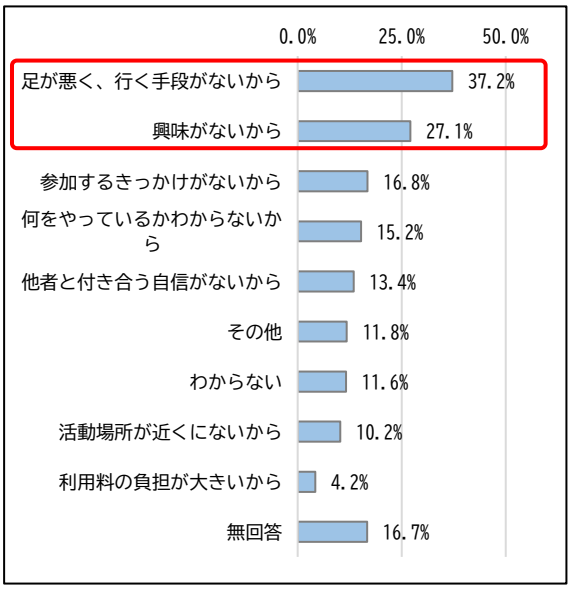
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

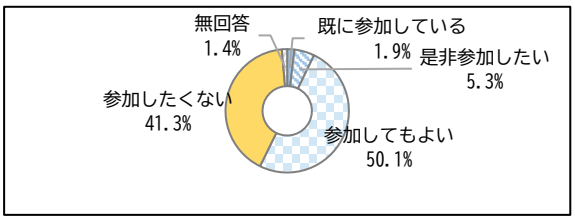


（４）地域住民の有志によるグループ活動の参加意向

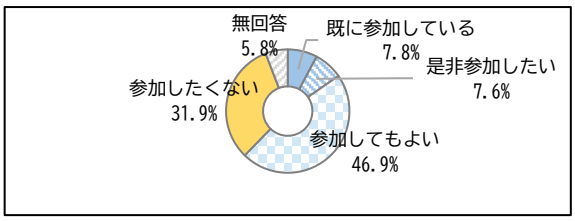
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加者としての参加意向について、一般高齢者では 62.3%、事業対象者・要支援認定者では 50.8%と半数を超えており、「軽度」要介護認定者では 31.5%となっています。

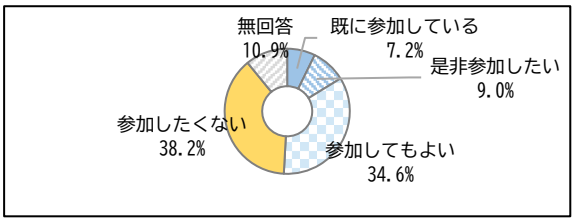
■　若年者調査（n＝1,004）



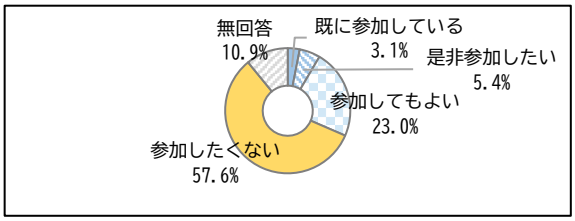
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



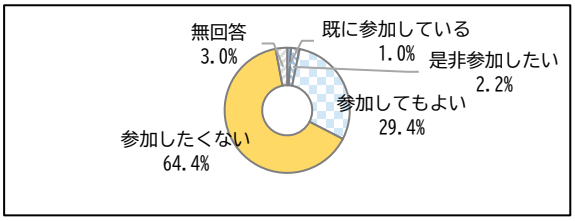
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



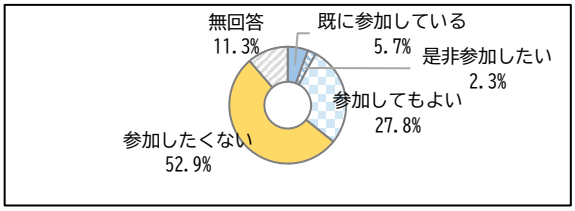
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向について、一般高齢者では 35.8%、事業対象者・要支援認定者では 23.9%、「軽度」要介護認定者では 14.3%となっています。

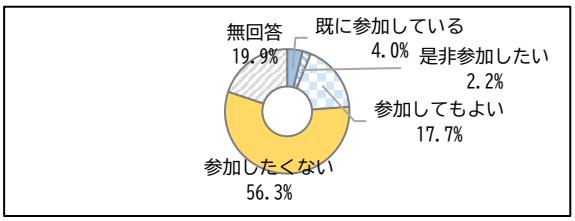
■　若年者調査（n＝1,004）



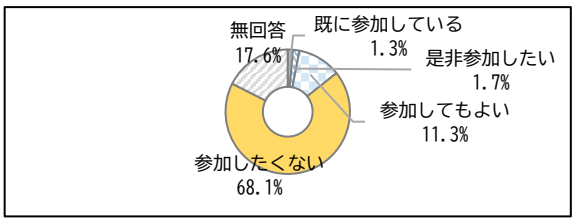
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

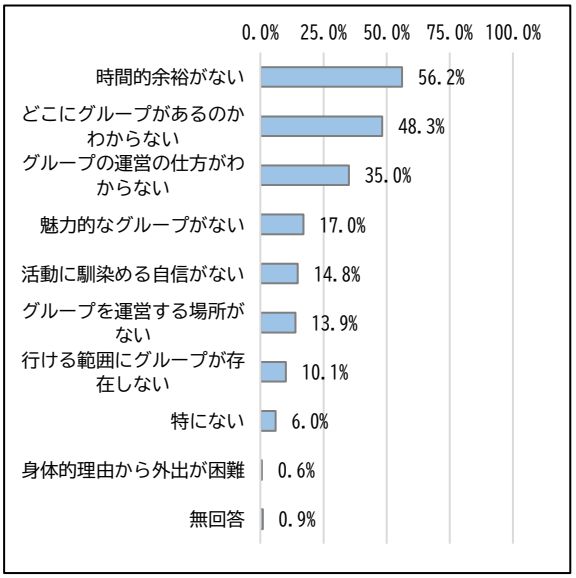


是非参加したい、参加してもよいと回答した方のみ、お答えください。

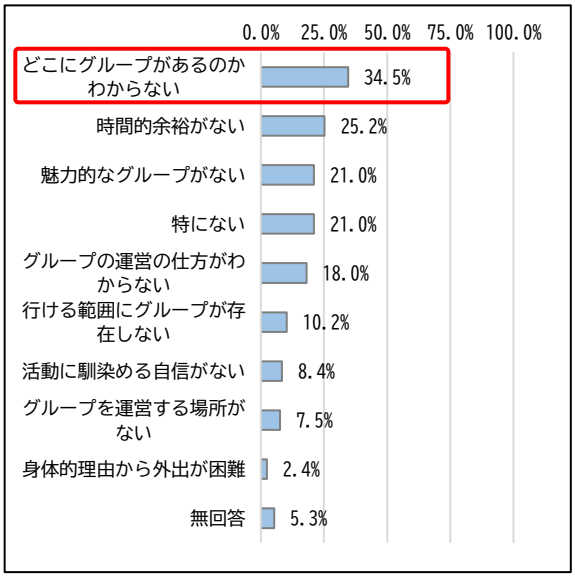
活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことについて、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「どこにグループがあるかわからない」が最も多く、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では次いで「身体的理由から外出が困難」となっています。

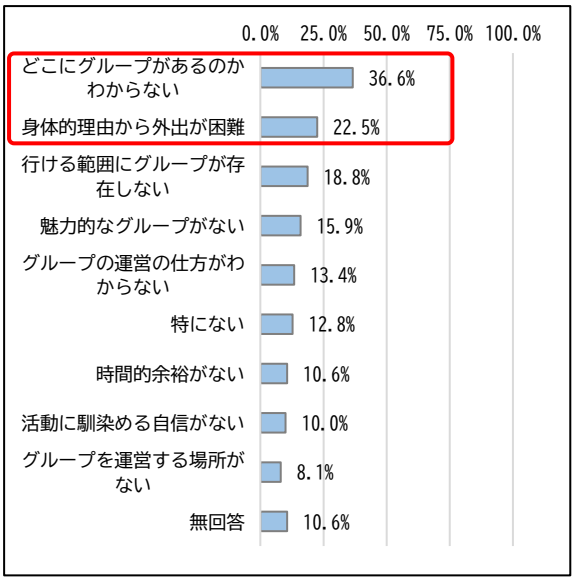
■　若年者調査（n＝317）



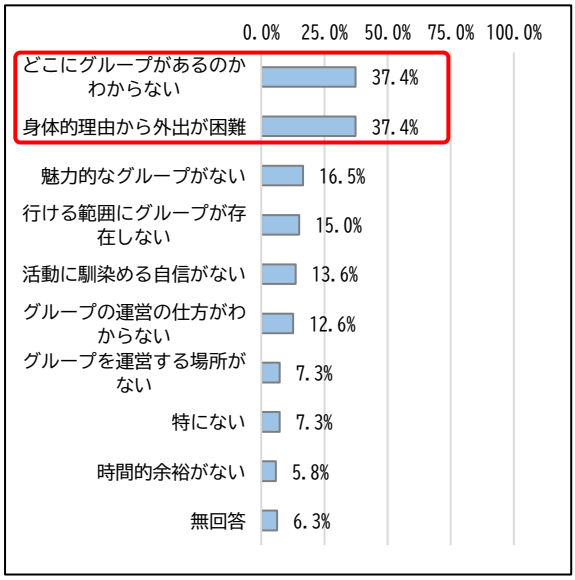
■　一般高齢者調査（n＝1,669）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=320）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=206）



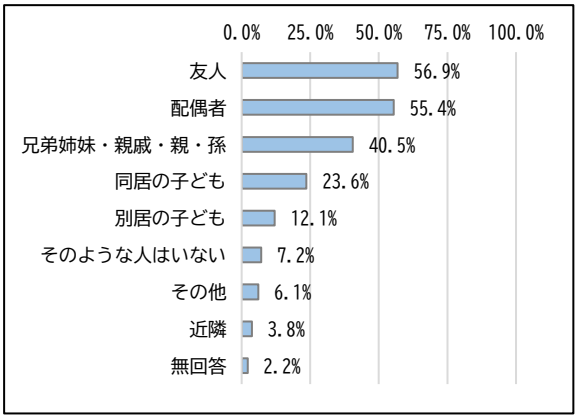
８．たすけあいについて

（１）愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人

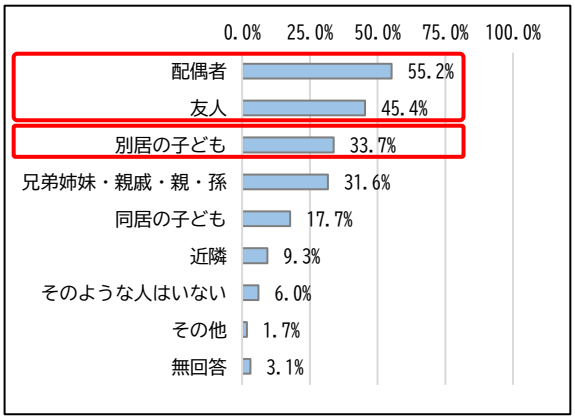
あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人について、一般高齢者では「配偶者」が最も多く、次いで「友人」となっている一方、事業対象者・要支援認定者では「別居の子ども」が最も多く、「軽度」要介護認定者でも「配偶者」に次いで多くなっています。また、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「同居の子ども」より「別居の子ども」のほうが多くなっています。

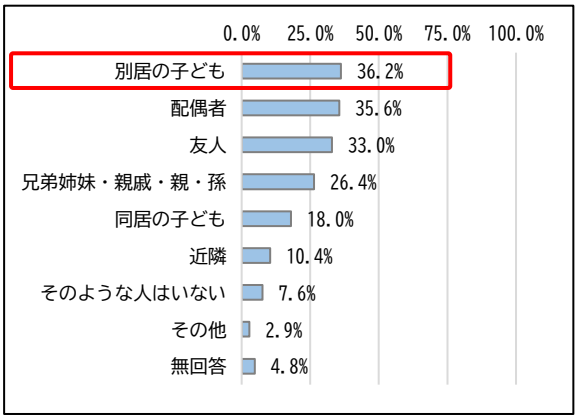
■　若年者調査（n＝1,004）



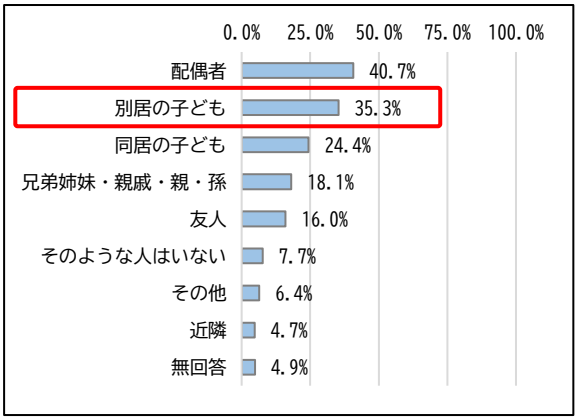
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



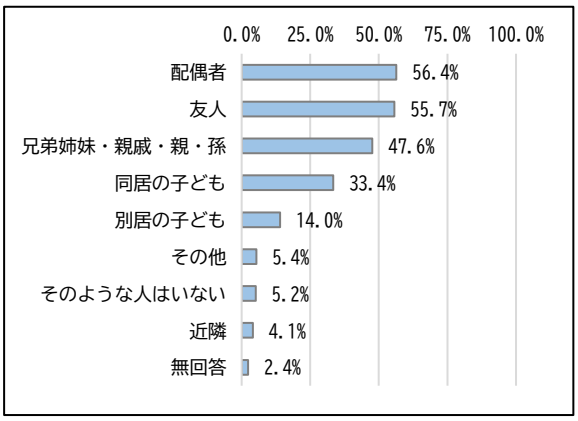
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



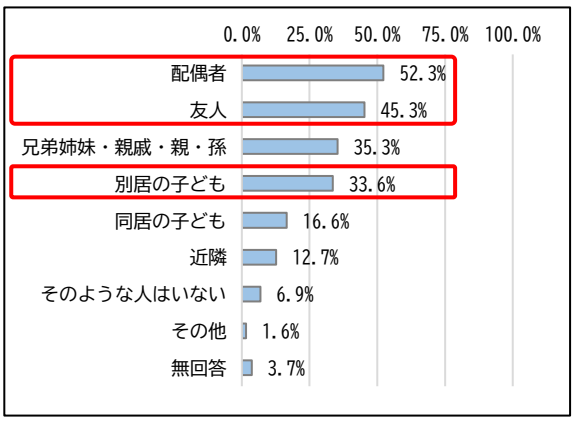
反対にあなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人について、一般高齢者では「配偶者」が最も多く、次いで「友人」となっている一方、事業対象者・要支援認定者では「友人」が最も多く、「軽度」要介護認定者では「配偶者」に次いで「そのような人はいない」と回答した割合が高くなっています。また、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「同居の子ども」より「別居の子ども」のほうが多くなっています。

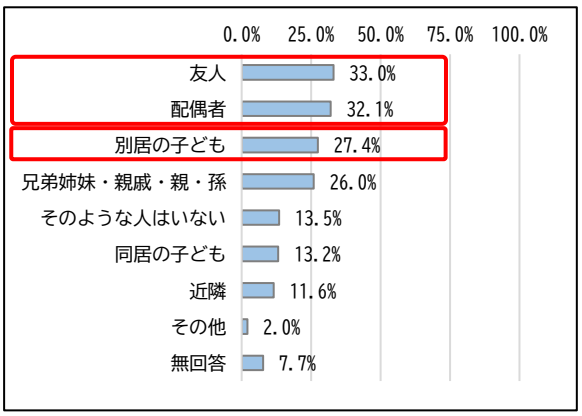
■　若年者調査（n＝1,004）



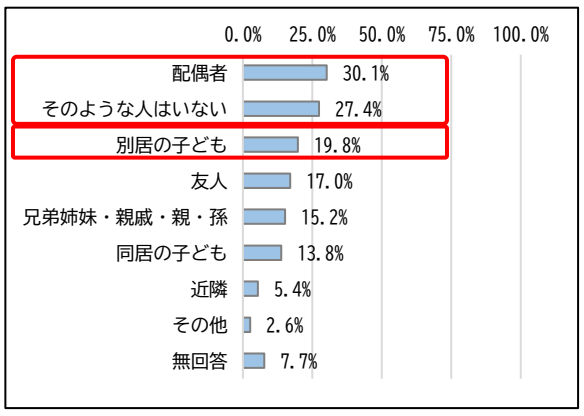
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

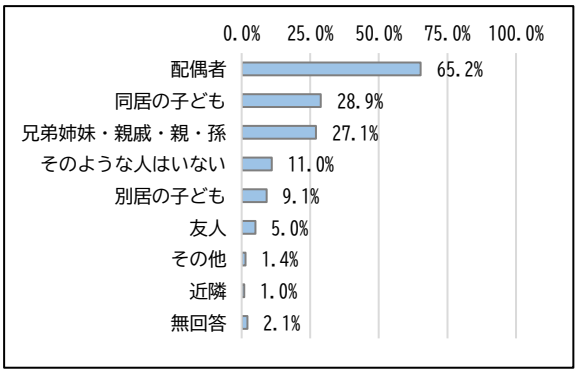


（２）病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人・してあげる人

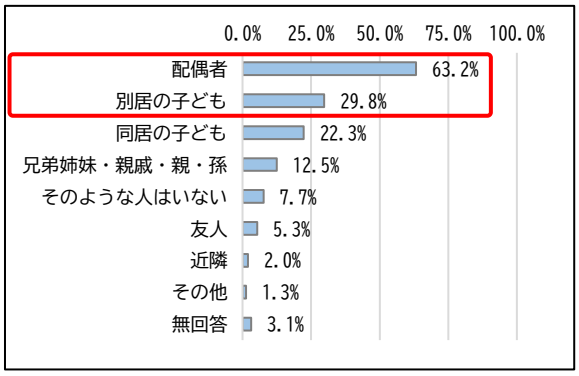
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「配偶者」が最も多く、次いで「別居の子ども」となっています。また、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「同居の子ども」より「別居の子ども」のほうが多くなっています。

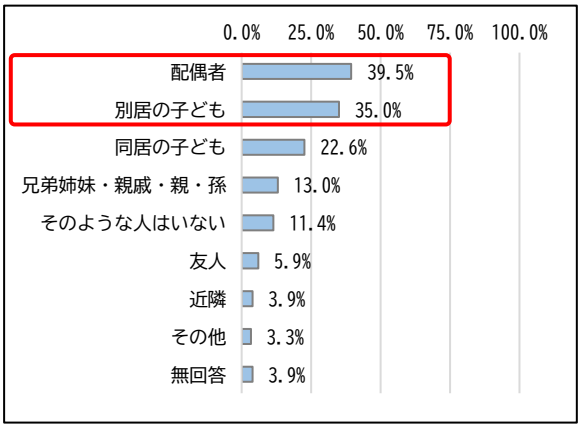
■　若年者調査（n＝1,004）



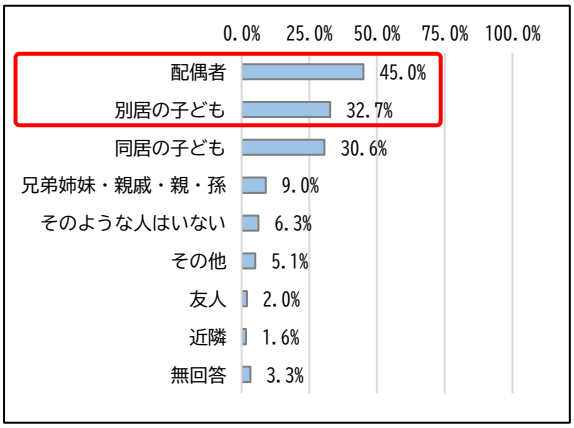
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



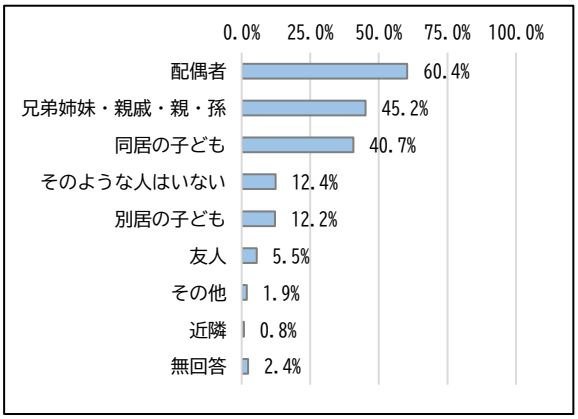
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



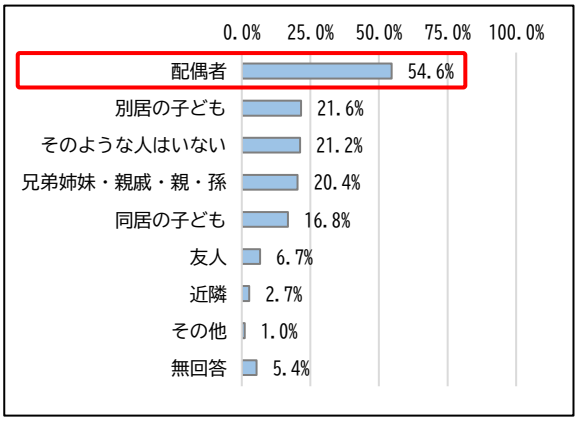
反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてあげる人について、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者では「配偶者」が最も多く、「軽度」要介護認定者では「そのような人はいない」と回答した割合が高くなっています。

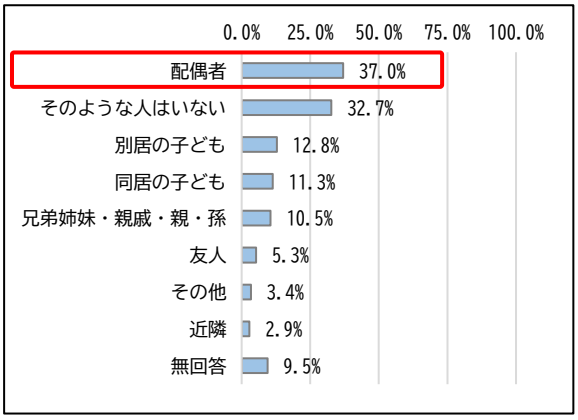
■　若年者調査（n＝1,004）



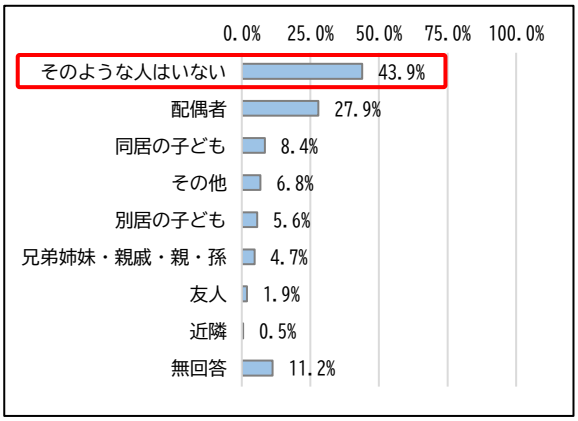
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

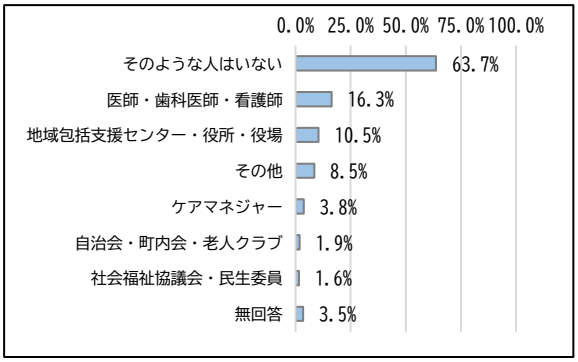


（３）家族や友人･知人以外の相談相手

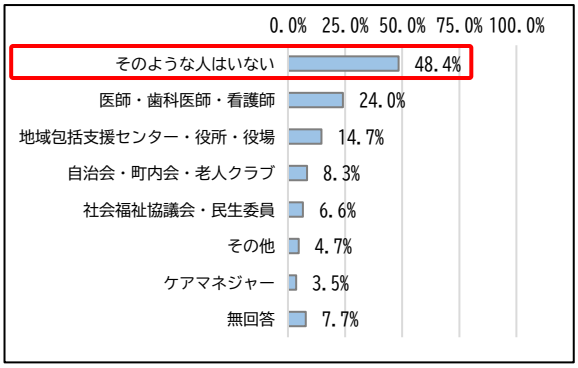
家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手について一般高齢者では「そのような人はいない」と回答した割合が最も高くなる一方、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では、「ケアマネジャー」が最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」となっています。

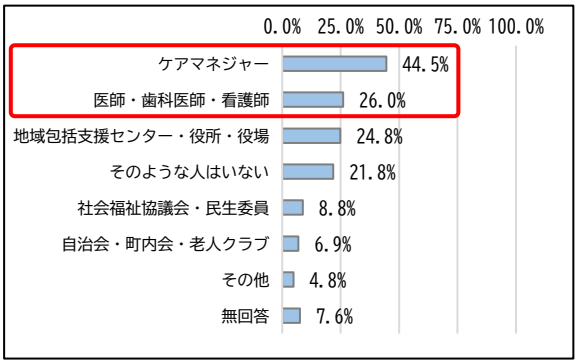
■　若年者調査（n＝1,004）



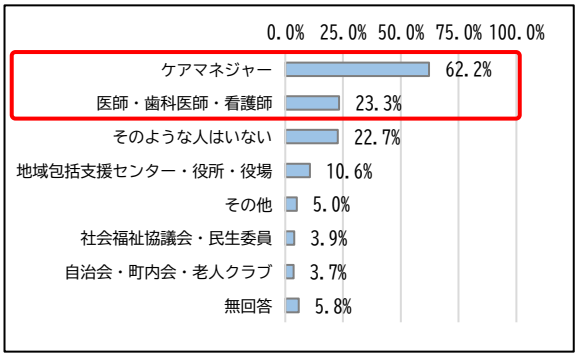
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



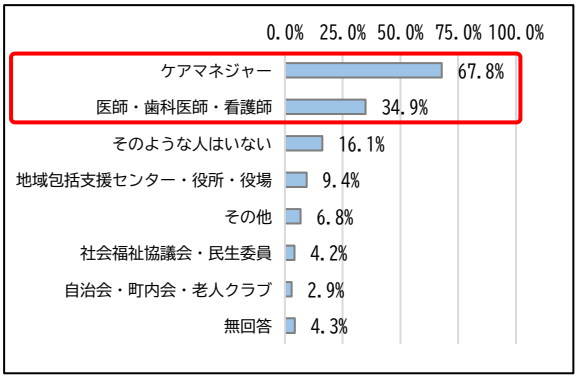
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

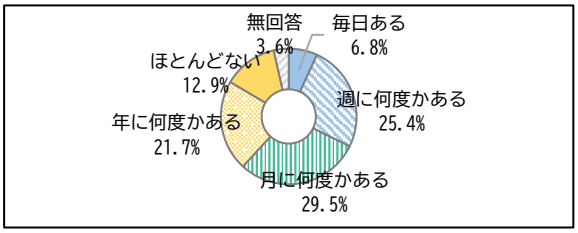


（４）友人・知人と会う機会

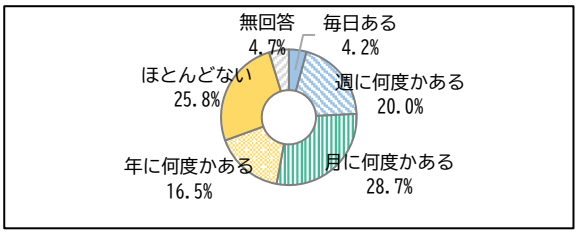
友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（１つの番号に○）

友人・知人と会う頻度について一般高齢者では「ほとんどない」と回答した割合が 12.9%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 25.8%と、一般高齢者の２倍、「軽度」要介護認定者では 46.1%と、一般高齢者の３倍となっています。

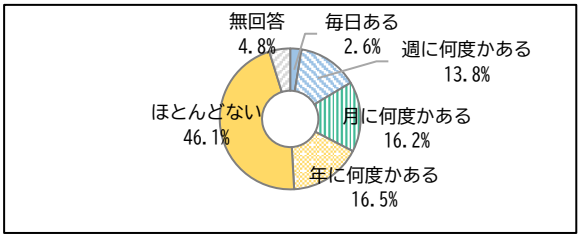
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



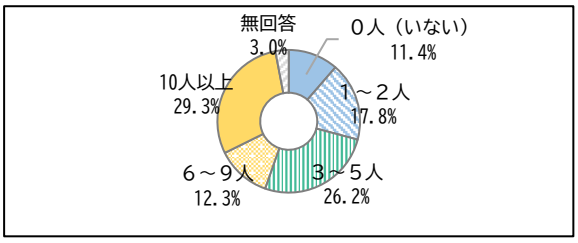
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



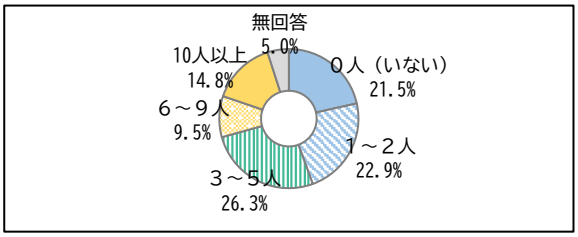
この１か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても１人と数えてください。（１つの番号に○）

友人・知人と会った人数について一般高齢者では「０人」と回答した割合が 11.4%となる一方、事業対象者・要支援認定者では 21.5%と、一般高齢者の２倍、「軽度」要介護認定者では 36.6%と、一般高齢者の３倍となっています。

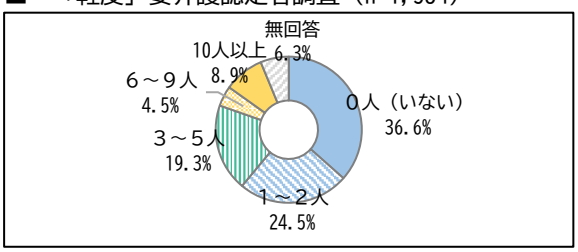
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



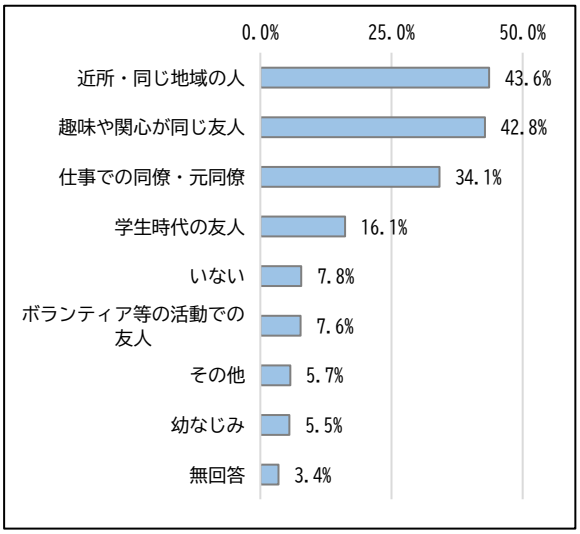
■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



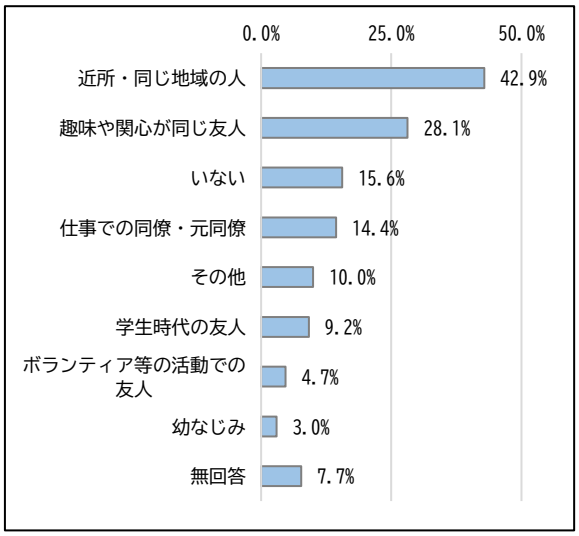
よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（あてはまるすべての番号に○）

よく会う友人・知人について一般高齢者、事業対象者・要支援認定者では「近所・同じ地域の人」と回答した割合が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」となっています。また、「軽度」要介護認定者では「その他」としてデイサービスの知人やリハビリの仲間などが多くなっています。

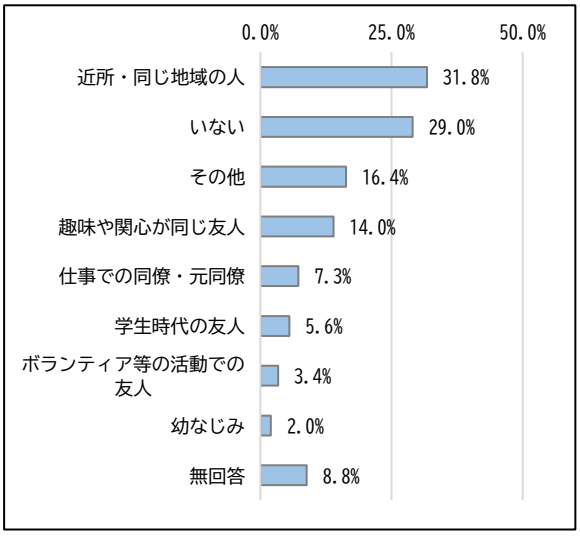
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



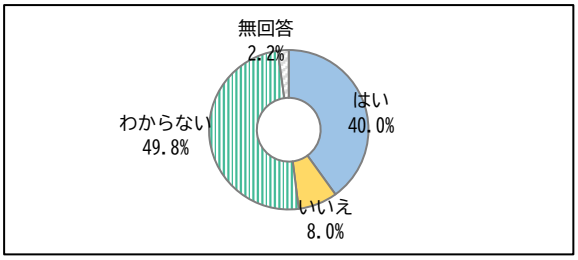
その他・・・デイサービスの知人、リハビリ仲間

（５）地域の支え合い活動

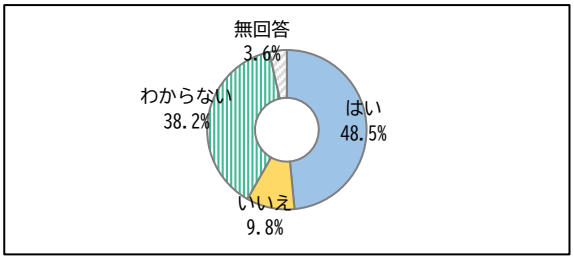
あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合い活動として、自分ができる範囲で何か協力することはできますか。（１つの番号に○）

近隣で困っている高齢者がいた場合、できる範囲で協力することが「できる」と回答した割合について、若年者では 40.0%となる一方、一般高齢者では 48.5%となっています。

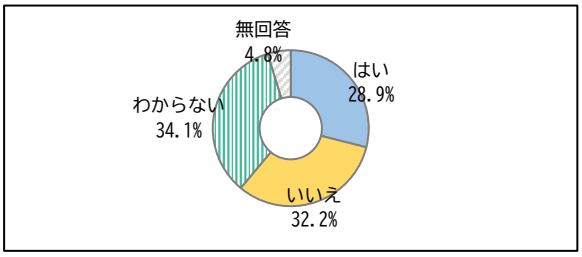
■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



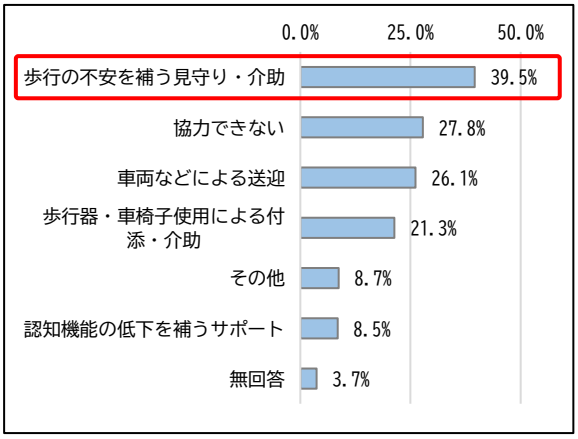
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



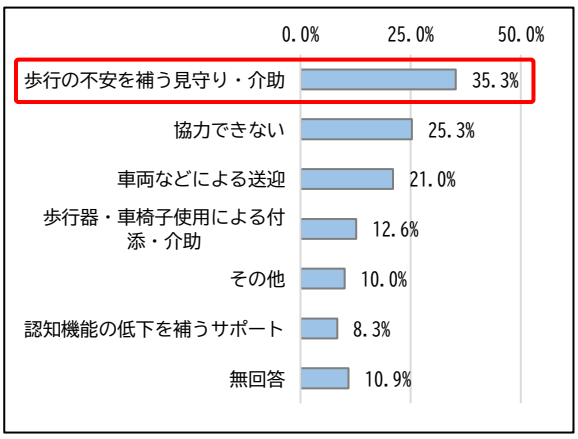
あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力することができることはどんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合に、協力できることついて、若年者、一般高齢者では「歩行の不安を補う見守り・介助」が最も多くなっています。

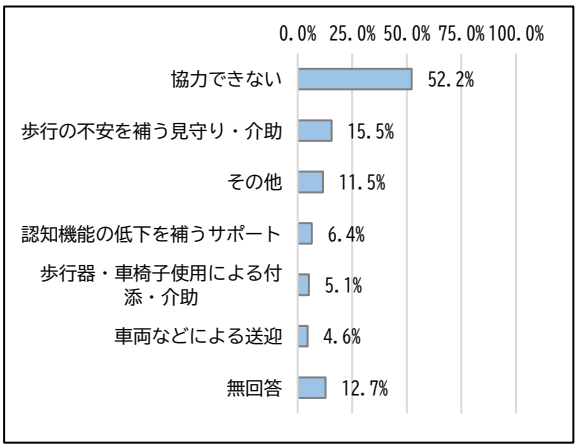
■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



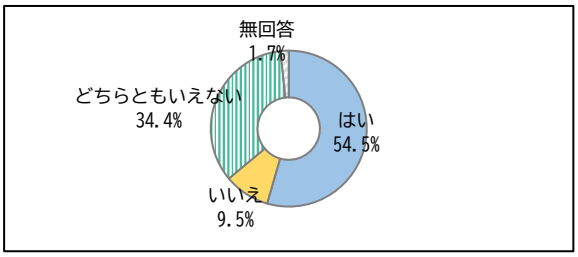
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



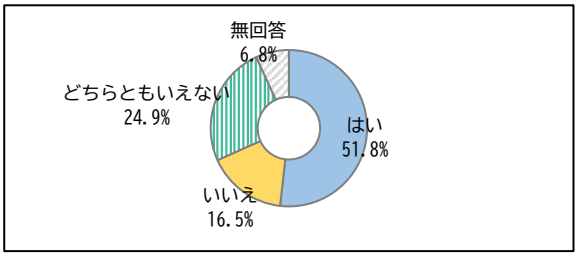
あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。（１つの番号に○）

災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力することが「できる」と回答した割合について、若年者では 54.5%、一般高齢者では 51.8%と半数以上となっています。

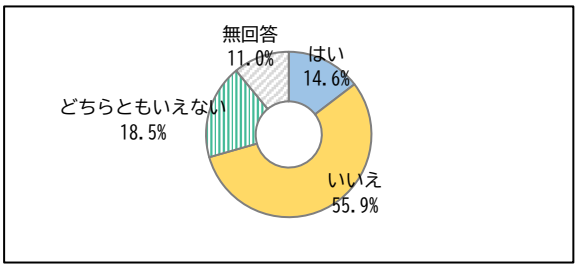
■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



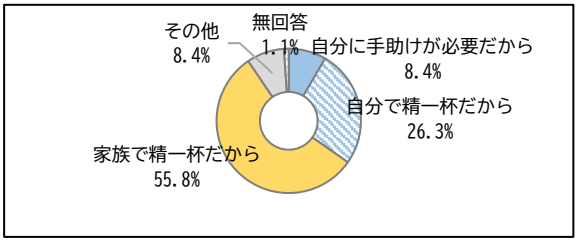
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



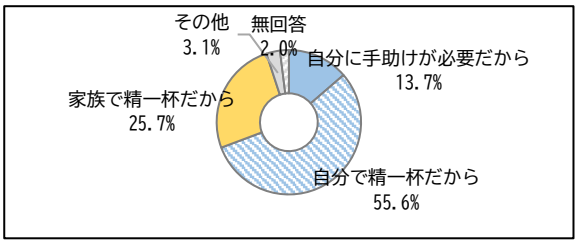
手助けがないと避難ができない方への支援協力はできないと回答した方のみ
協力できない理由は何ですか。（１つの番号に○）

災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力することができないと回答した理由について、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者では「自分で精一杯だから」が最も多くなっています。

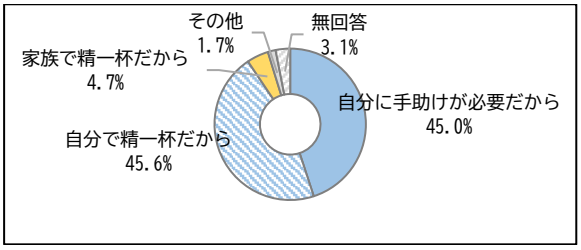
■　若年者調査（n＝95）



■　一般高齢者調査（n＝915）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=903）

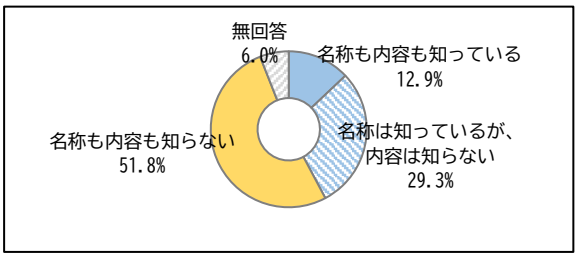


（６）地域共生社会

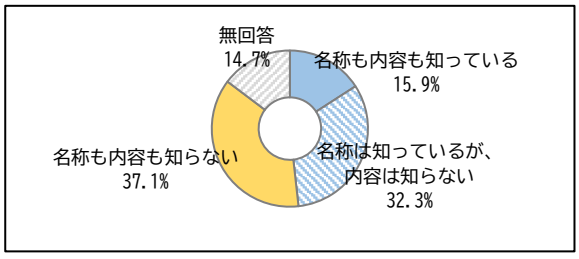
「地域共生社会」という言葉・内容を知っていますか。（１つの番号に○）

「地域共生社会」という言葉・内容について、「名称も内容も知っている」と回答した割合は、若年者では 12.9%、一般高齢者では 15.9%となっています。

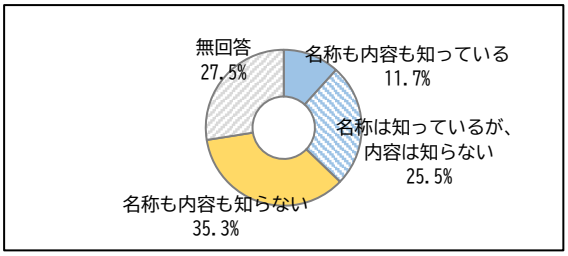
■　若年者調査（n＝1,004）



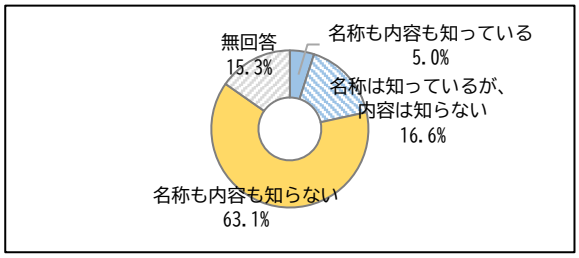
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

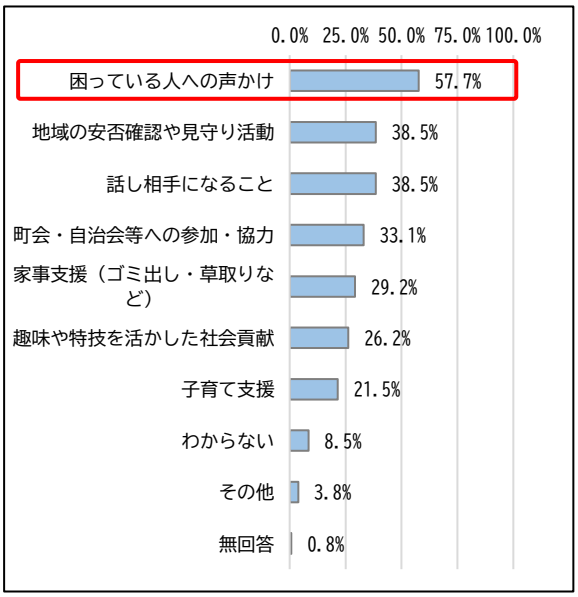


名称も内容も知っていると回答した方のみ

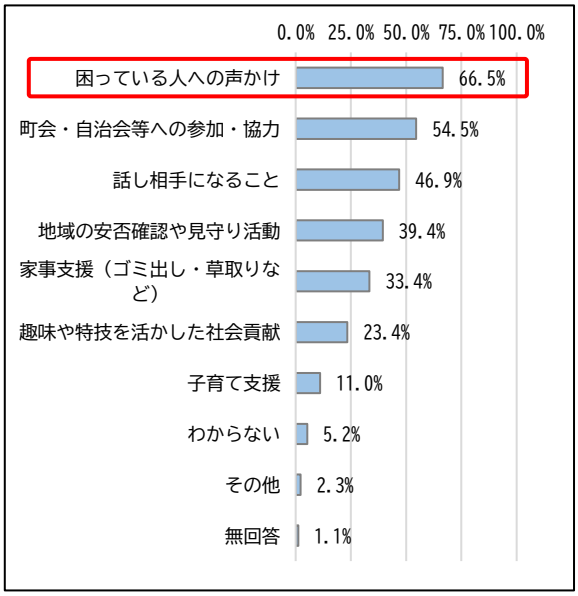
地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。（あてはまるすべての番号に○）

地域共生社会の構築に向け、自分自身で行う事ができることについて、「困っている人への声かけ」が多くなっています。

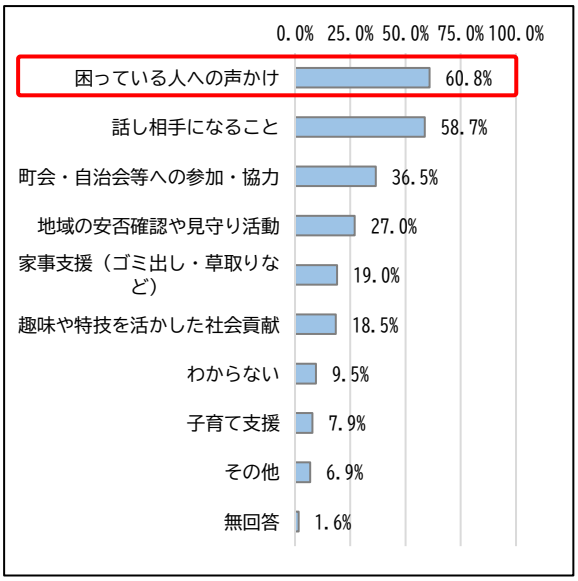
■　若年者調査（n＝130）



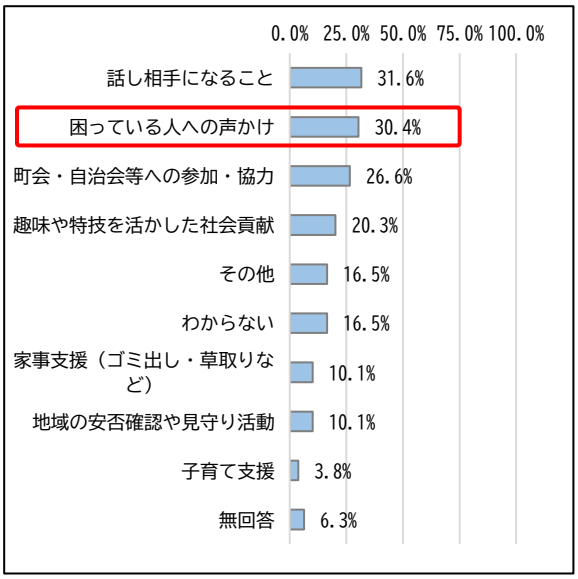
■　一般高齢者調査（n＝881）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=189）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=79）



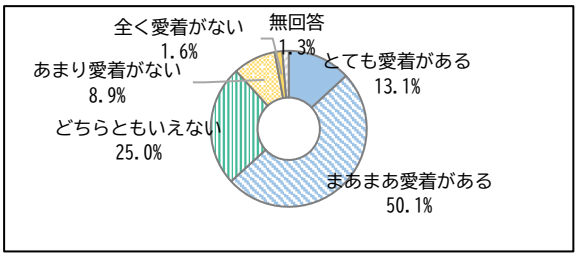
９．住んでいる地域について

（１）住んでいる地域の愛着度

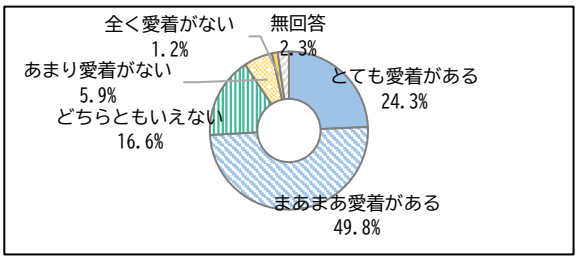
あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（１つの番号に○）

住んでいる地域に「とても愛着がある」「まあまあ愛着がある」と回答した割合について、若年者では 63.2%、一般高齢者では 74.1%、事業対象者・要支援認定者では 71.2%、「軽度」要介護認定者では 65.5%、「重度」要介護認定者では 61.7%と、愛着があると回答した割合が６割以上となっています。

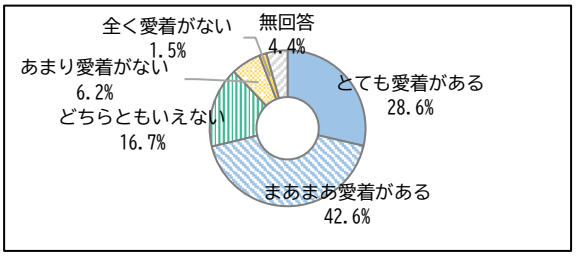
■　若年者調査（n＝1,004）



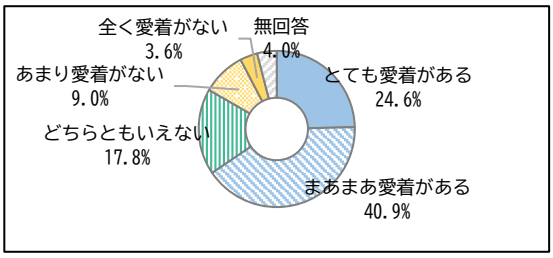
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



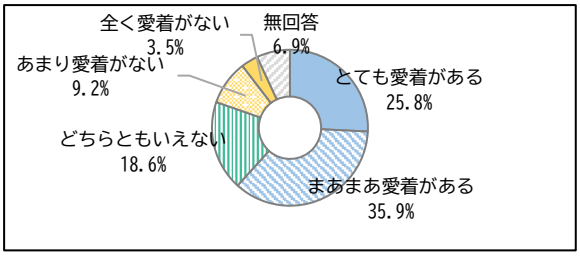
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

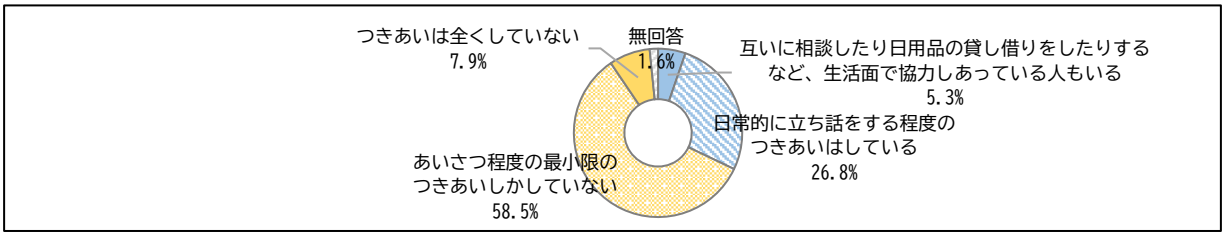


（２）近所とのつきあい

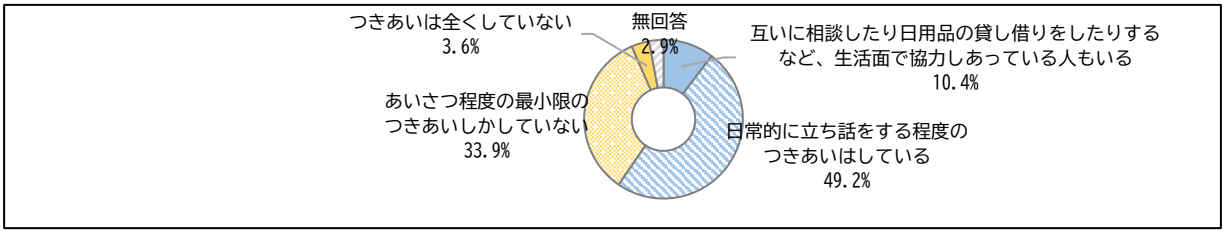
あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。（１つの番号に○）

近所とのつきあいで「つきあいは全くしていない」と回答した割合について、若年者では7.9%、一般高齢者では3.6%、事業対象者・要支援認定者では5.2%にとどまる一方、「軽度」要介護認定者では16.1%、「重度」要介護認定者では24.6%となっています。

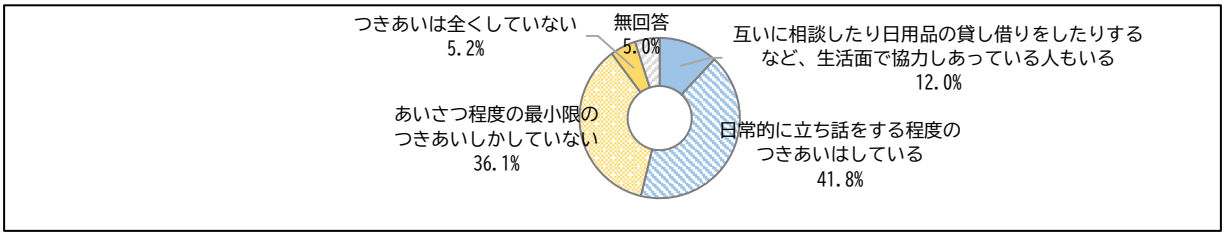
■　若年者調査（n＝1,004）



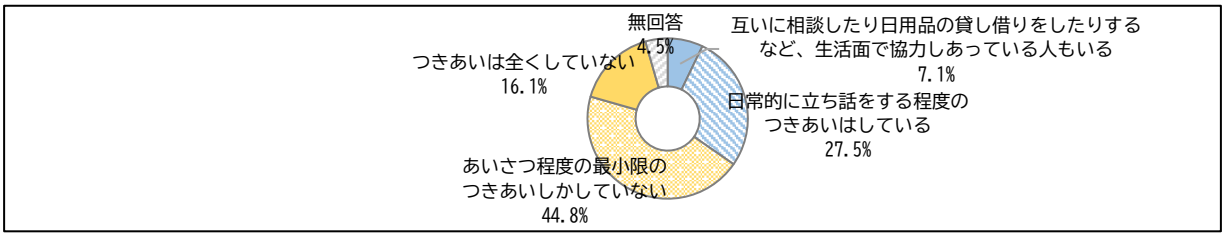
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



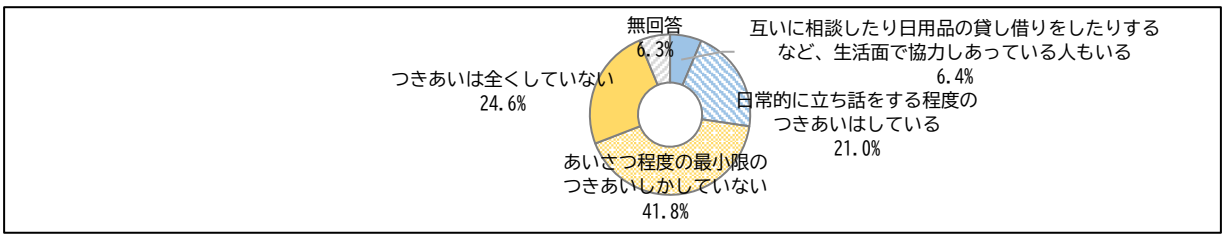
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

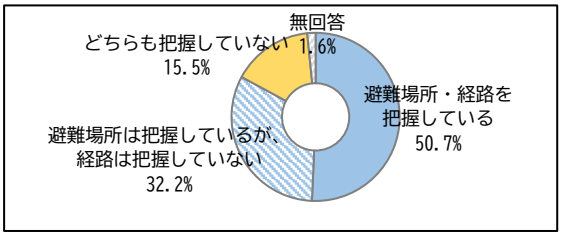


（３）地域での避難行動

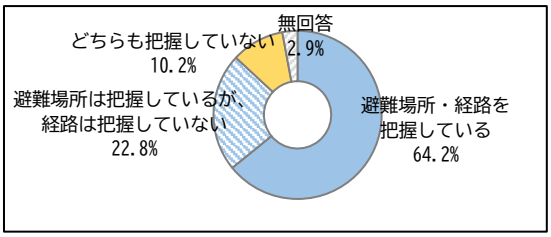
あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。（１つの番号に○）

地域の避難場所・経路を「把握している」と回答した割合について、若年者では 50.7%、一般高齢者では 64.2%、事業対象者・要支援認定者では 50.9%と半数以上となる一方、「軽度」要介護認定者では 36.2%、「重度」要介護認定者では 30.1%にとどまっています。

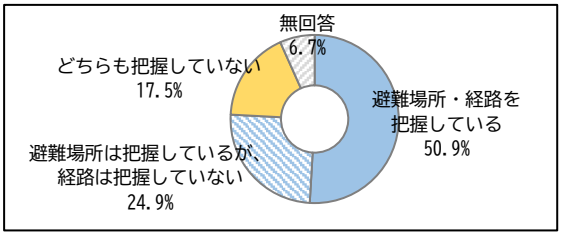
■　若年者調査（n＝1,004）



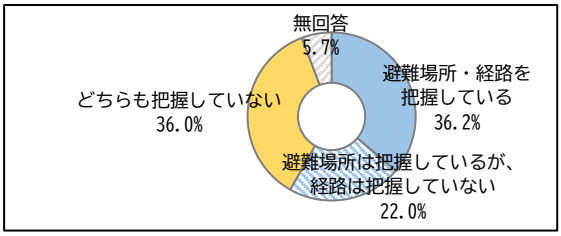
■一般高齢者調査（n＝5,546）



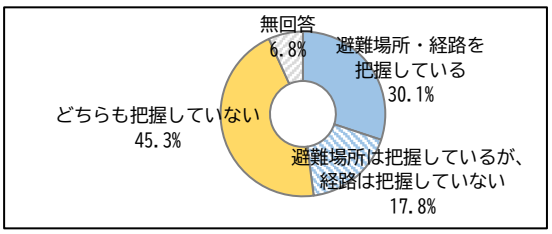
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



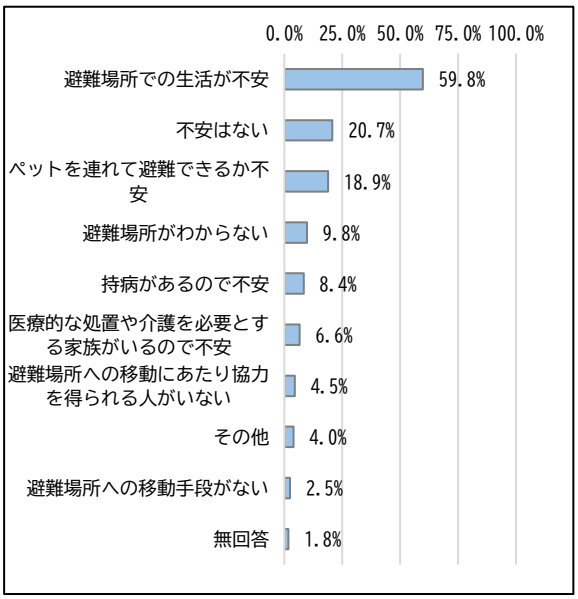
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



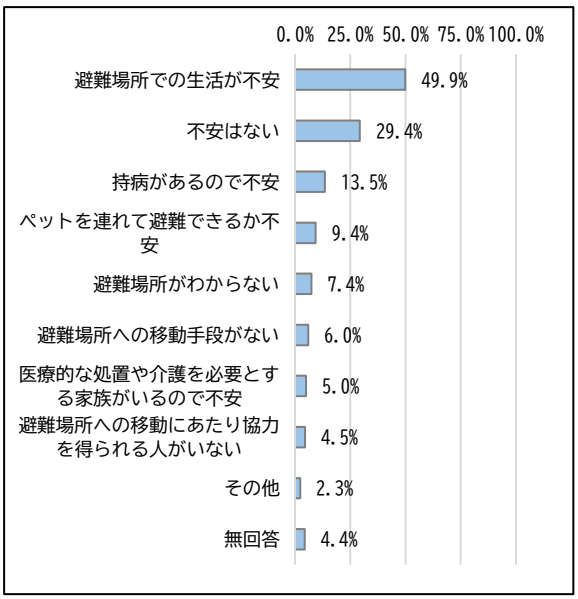
避難するにあたり不安はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

避難するにあたり不安なこととして、「避難場所での生活が不安」と回答した割合が最も高くなる一方、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「持病があるので不安」「避難場所への移動手段がない」が次いで高くなっています。

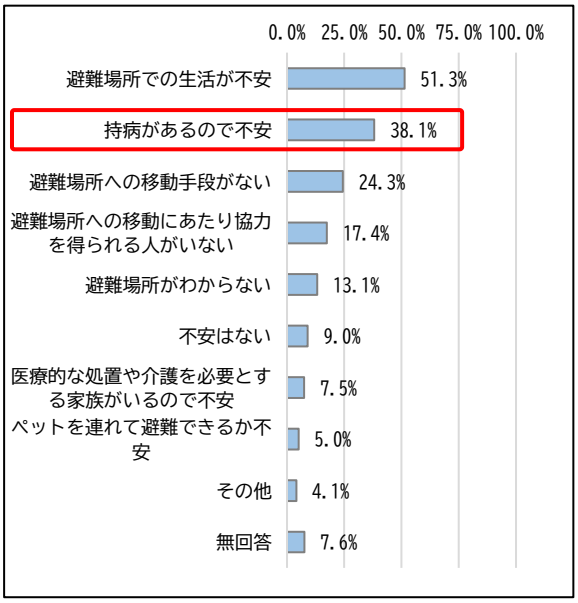
■　若年者調査（n＝1,004）



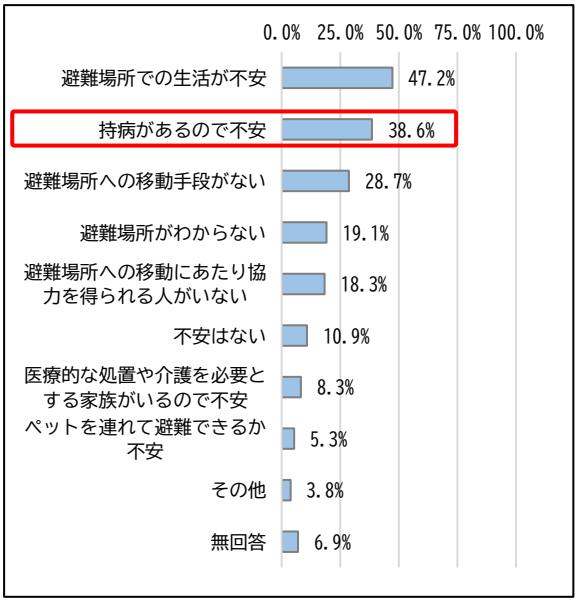
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



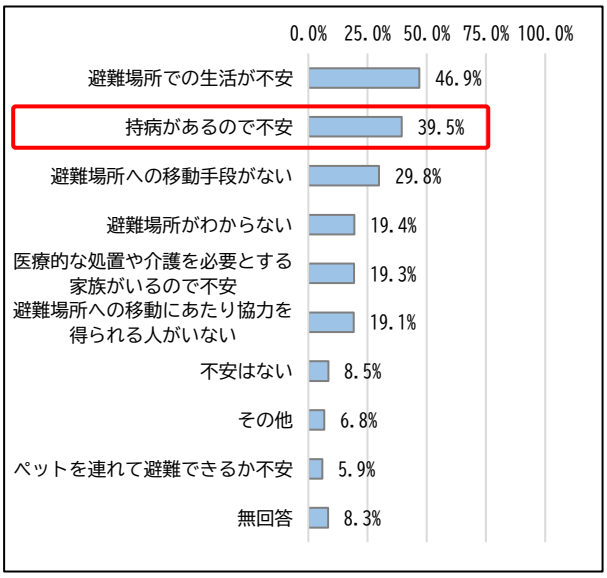
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

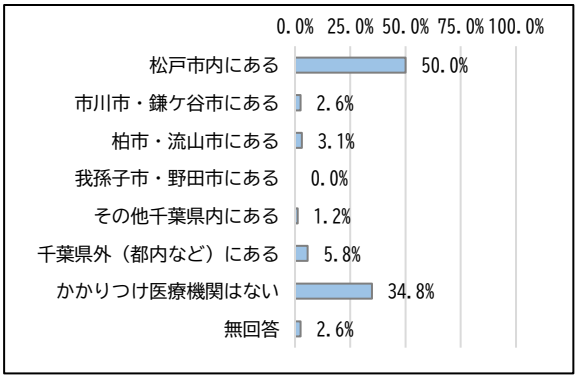


（４）かかりつけ医療機関

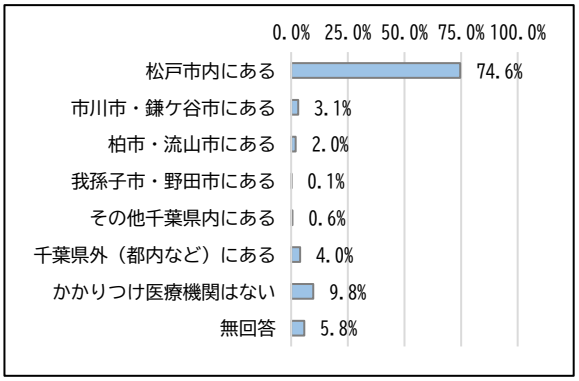
最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。（１つの番号に○）

最も頼りにしているかかりつけ医療機関について、若年者では松戸市内にあると回答した割合が 50.0%となる一方、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では約 75%となっています。

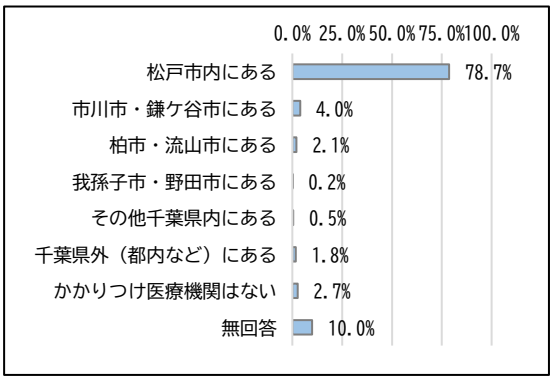
■　若年者調査（n＝1,004）



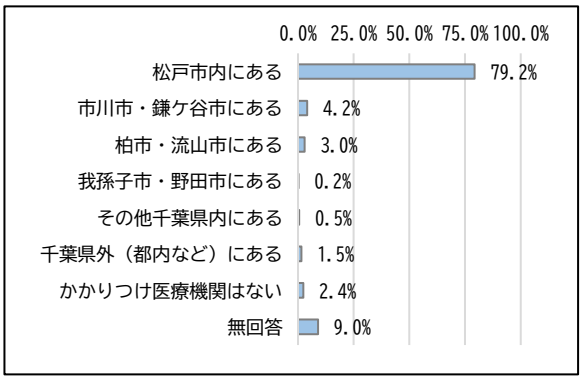
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



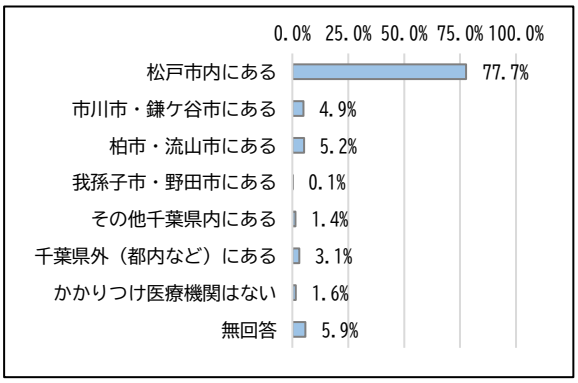
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

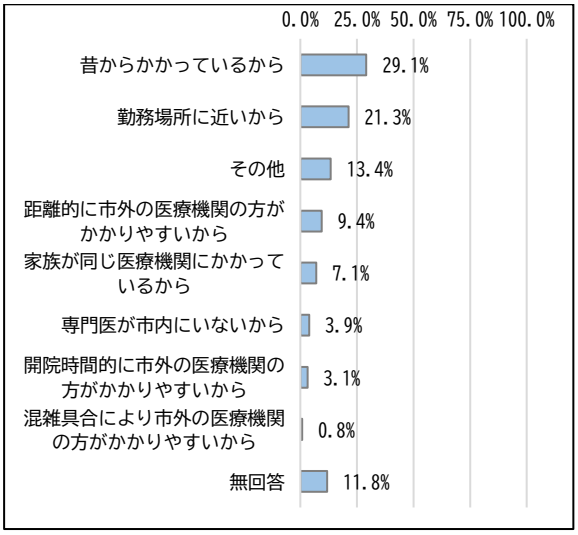


松戸市外にあると回答した方のみ、お答えください。

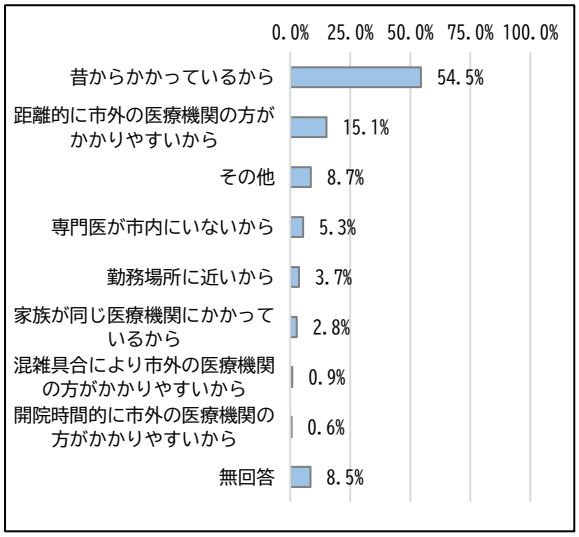
市外の医療機関にかかる理由はなんですか。（１つの番号に○）

かかりつけ医療機関が松戸市外にある理由として「昔からかかっているから」が最も多くなっています。

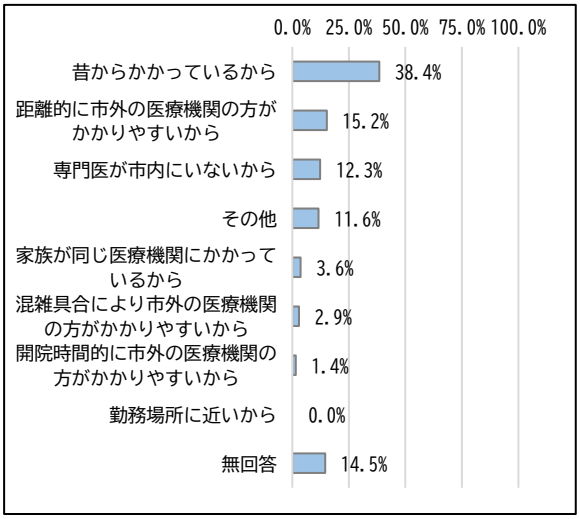
■　若年者調査（n＝127）



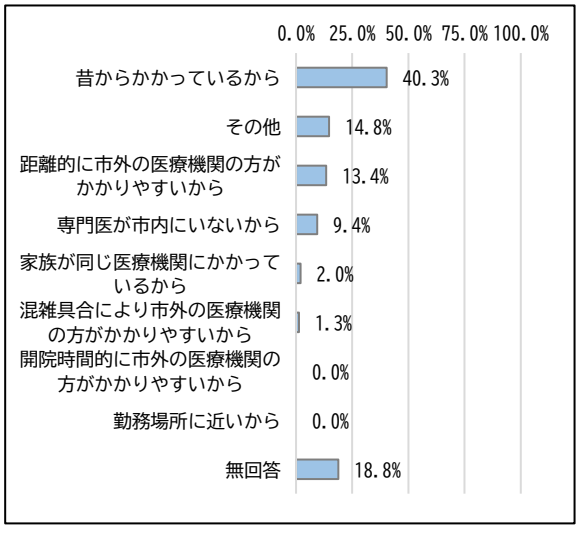
■　一般高齢者調査（n＝543）



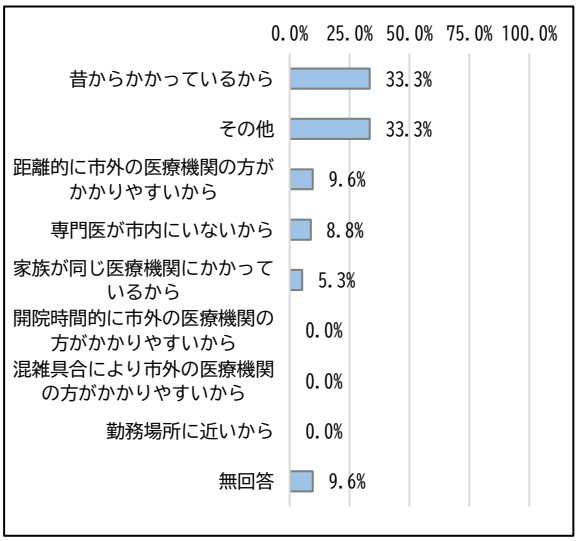
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=138）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=149）



■　「重度」要介護認定者調査（n=114）

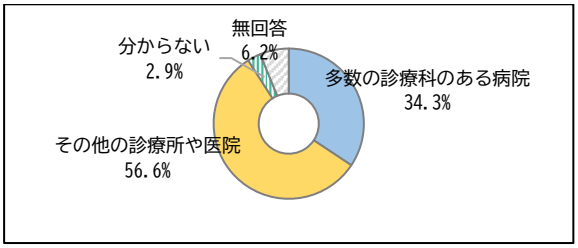


その他・・・介護施設と連携しているから、訪問診療を利用しているから等

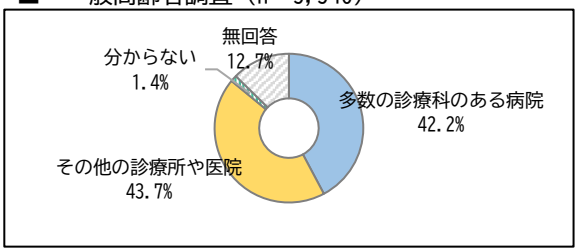
医療機関は以下のどれにあたりますか。（１つの番号に○）

かかりつけ医療機関の診療科の状況については以下の通りとなっています。

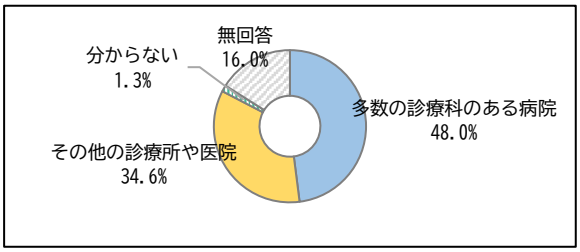
■　若年者調査（n＝1,004）



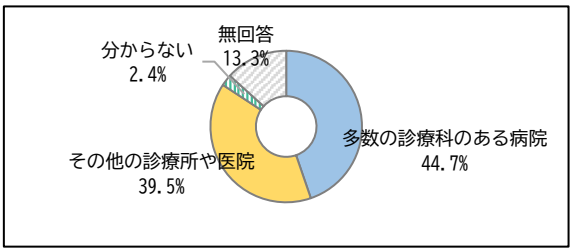
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



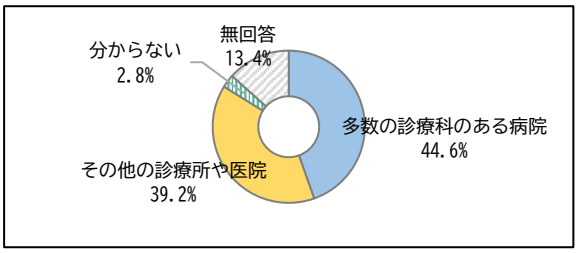
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

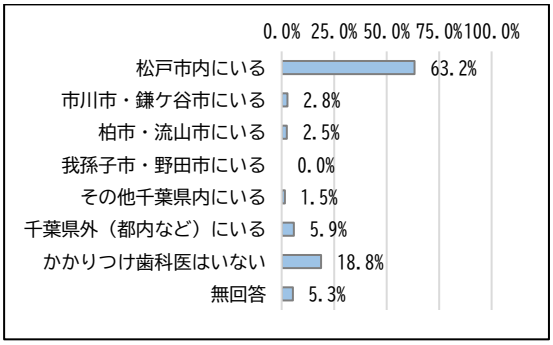


（５）かかりつけ歯科医

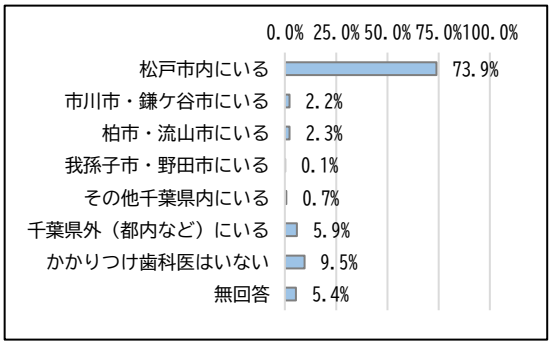
最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。（１つの番号に○）

最も頼りにしているかかりつけ歯科医について、松戸市内にいると回答した割合は、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では 70%を超えていますが、若年者では 63.2%、「重度」要介護認定者では 62.2%となっています。

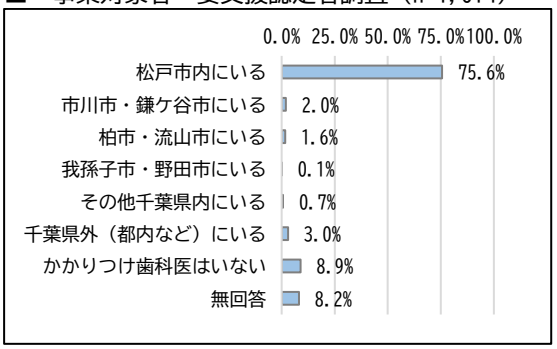
■　若年者調査（n＝1,004）



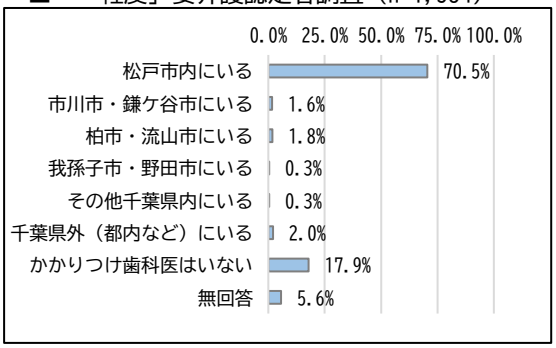
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



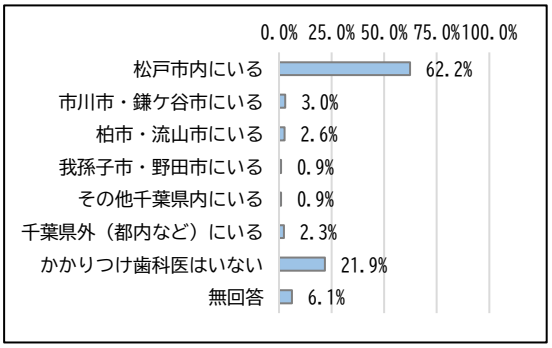
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

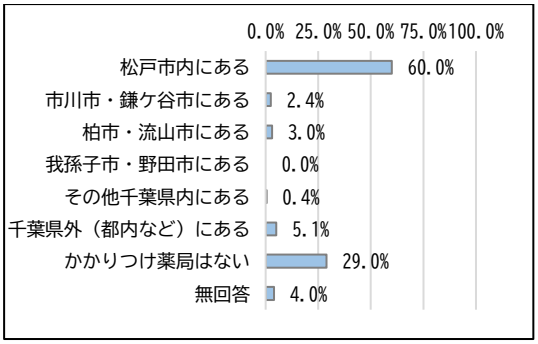


（６）かかりつけ薬局（調剤薬局）

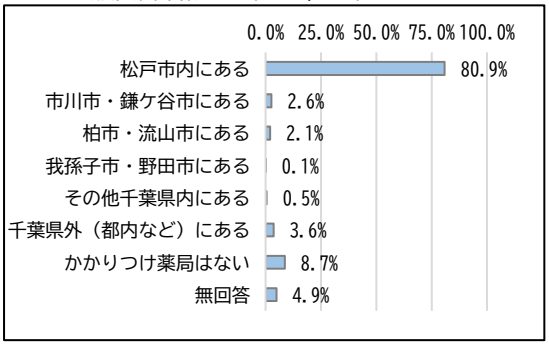
かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。（あてはまるすべての番号に○）

かかりつけ薬局（調剤薬局）について、松戸市内にあると回答した割合は、若年者では60.0%となる一方、一般高齢者、要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では80%を超えています。

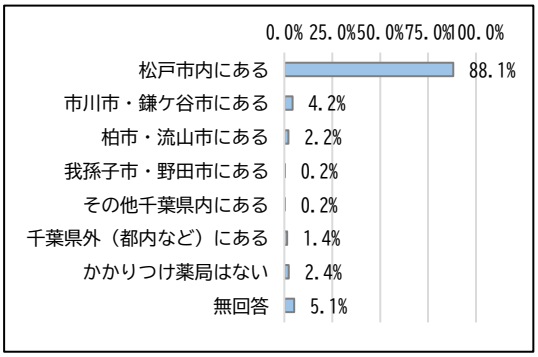
■　若年者調査（n＝1,004）



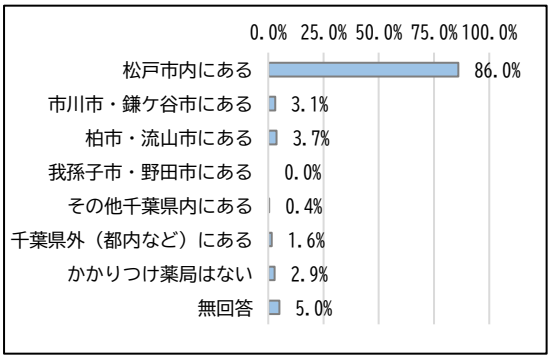
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



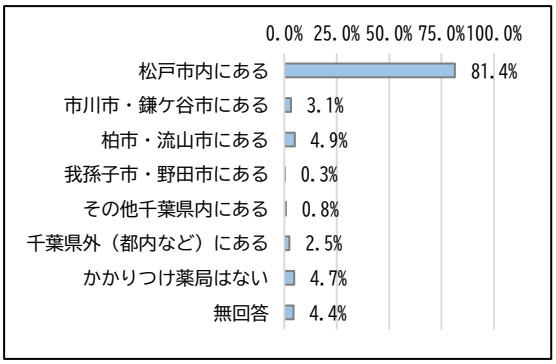
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



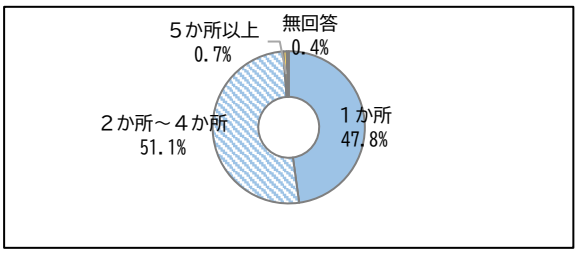
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



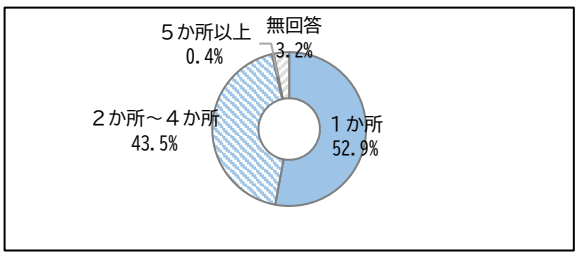
かかりつけ薬局（調剤薬局）があると回答した方のみ、お答えください。
それは何か所くらいですか。（１つの番号に○）

かかりつけ薬局（調剤薬局）の個所数について、若年者では「1 か所」より「2 か所～4 か所と回答した割合のほうが多くなる一方、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「1 か所」と回答した方が半数以上となっています。

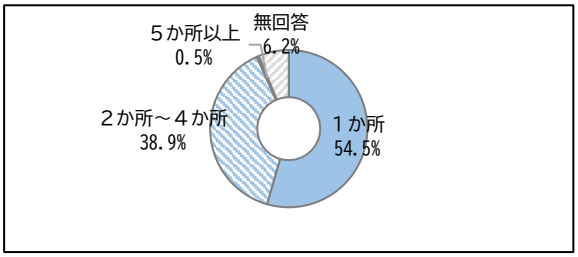
■　若年者調査（n＝711）



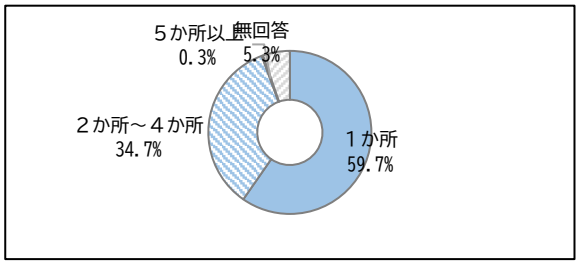
■　一般高齢者調査（n＝4,972）



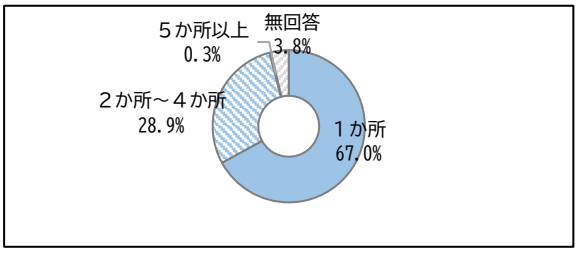
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,550）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,498）



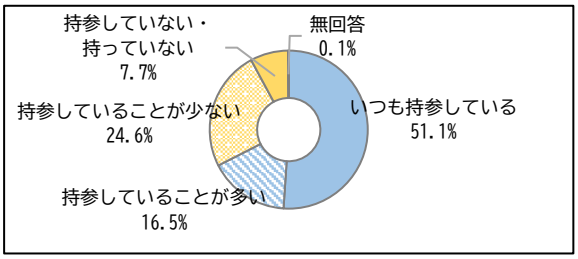
■　「重度」要介護認定者調査（n=713）



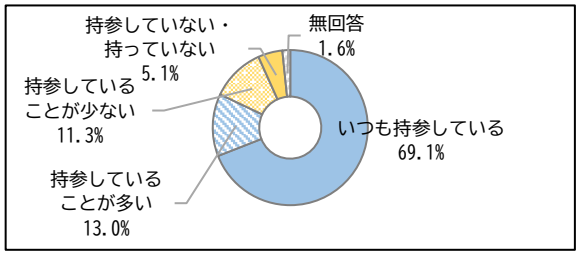
かかりつけ薬局（調剤薬局）があると回答した方のみ、お答えください。
その際、お薬手帳は持参していますか。（１つの番号に○）

お薬手帳の持参状況については次の通りとなっています。

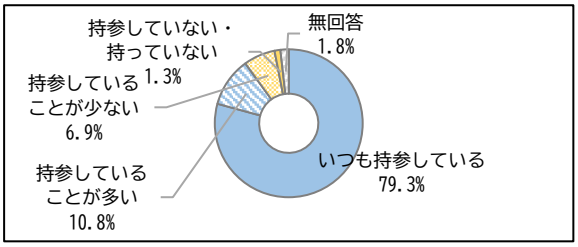
■　若年者調査（n＝711）



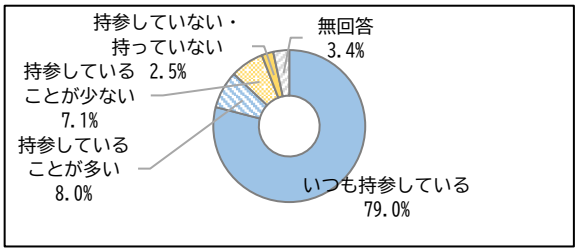
■　一般高齢者調査（n＝4,976）



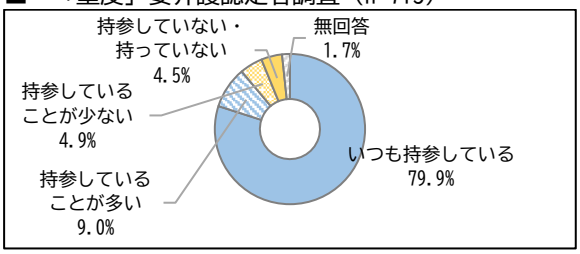
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,552）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,502）



■　「重度」要介護認定者調査（n=713）

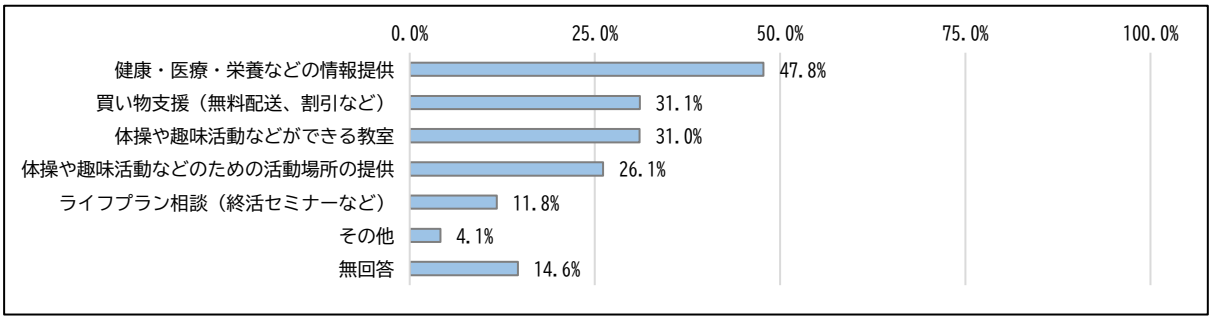


（７）高齢者が元気に暮らしていくための企業やお店などによるサービス

高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

高齢者が元気に暮らしていくための企業やお店などによるサービスとして「健康・医療・栄養などの情報提供」が最も多くなっています。

■　一般高齢者調査（n＝5,546）



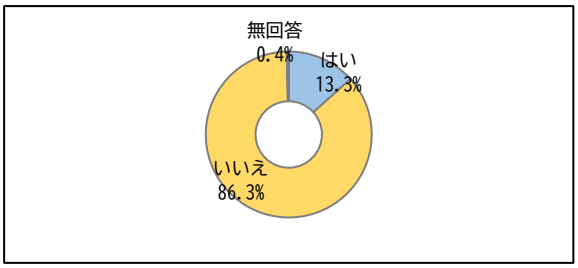
10．認知症に関することについて

（１）認知症に関する認識

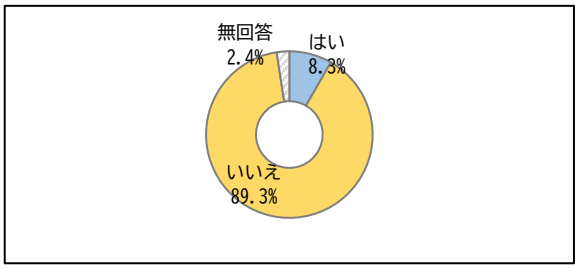
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（どちらかの番号に○）

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいると回答した割合について、若年者では 13.3%と 1 割を超えており、一般高齢者では 8.3%となっています。

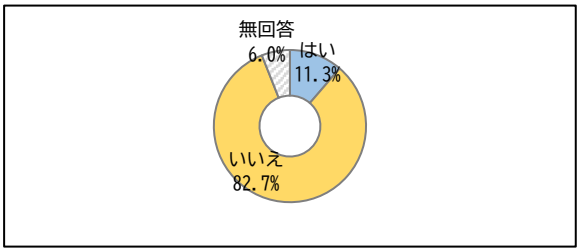
■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



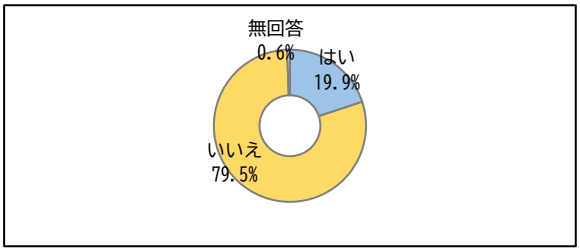
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



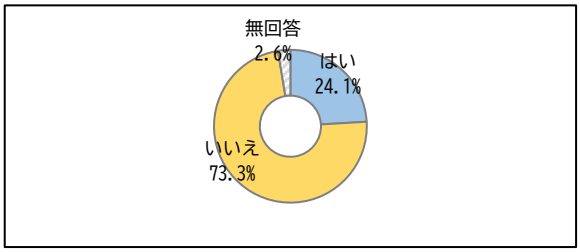
認知症に関する相談窓口を知っていますか。（どちらかの番号に○）

認知症に関する相談窓口の認知度は約 20%となっています。

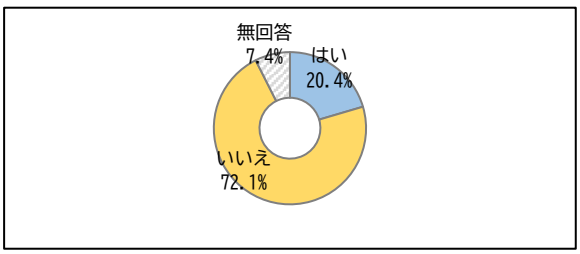
■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



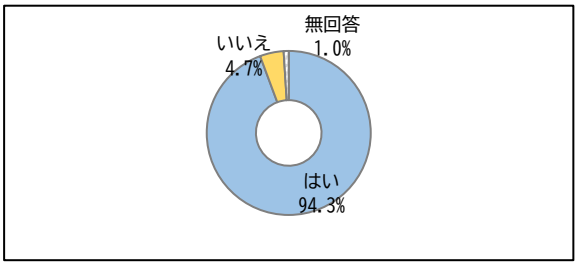
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



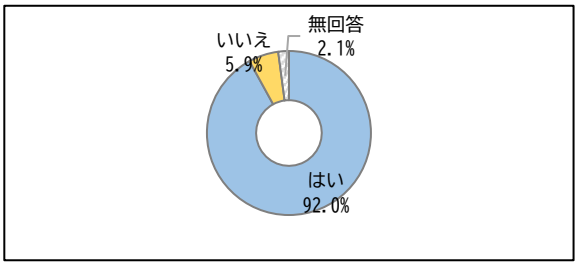
認知症は誰でもなる可能性がある病気と知っていますか。（どちらかの番号に○）

認知症は誰でもなる可能性がある病気であることについて、90%以上が知っていると回答しています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



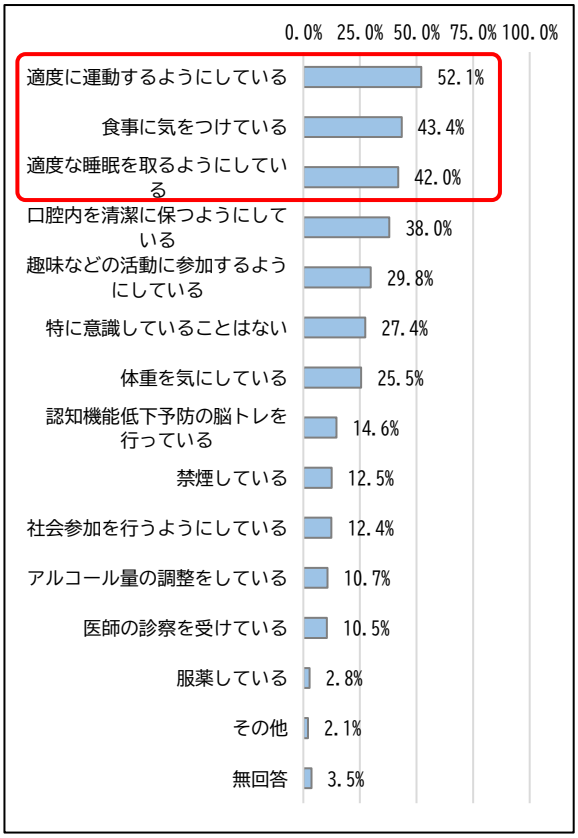
認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

認知症発症遅延（予防）として意識していることについて、若年者では「特に意識していることはない」が最も多く 51.1%となる一方、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者では、「適度に運動するようにしている」「食事に気をつけている」「適度な睡眠を取るようにしている」等、意識している方が多くなっています。

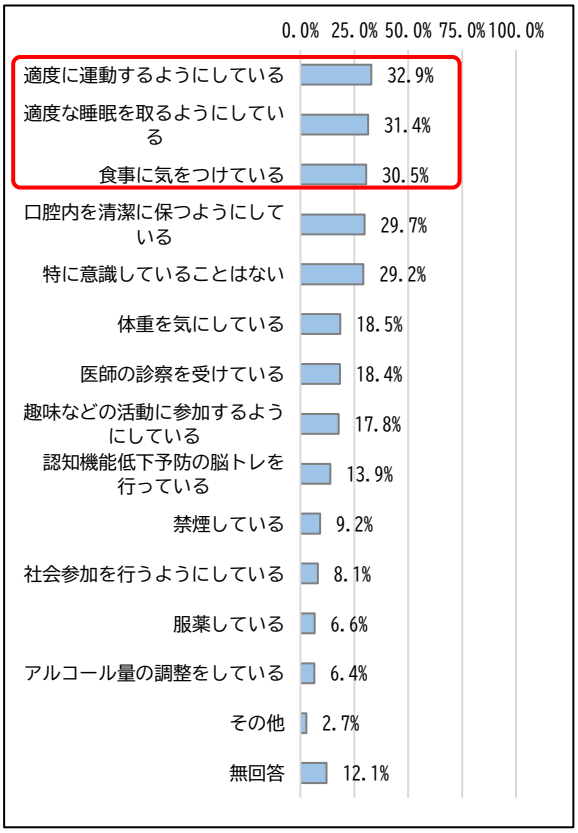
■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

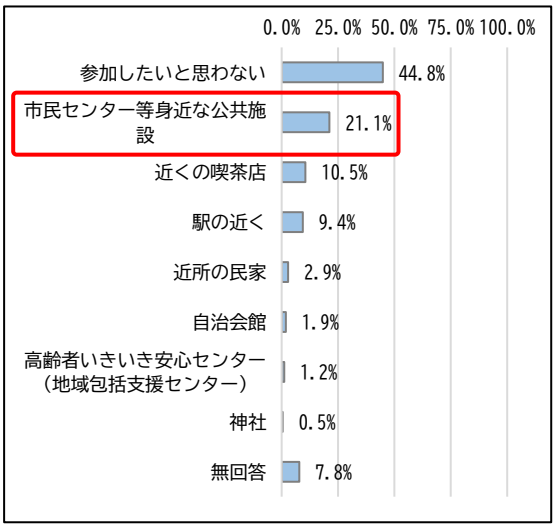


（２）認知症カフェ設置希望場所

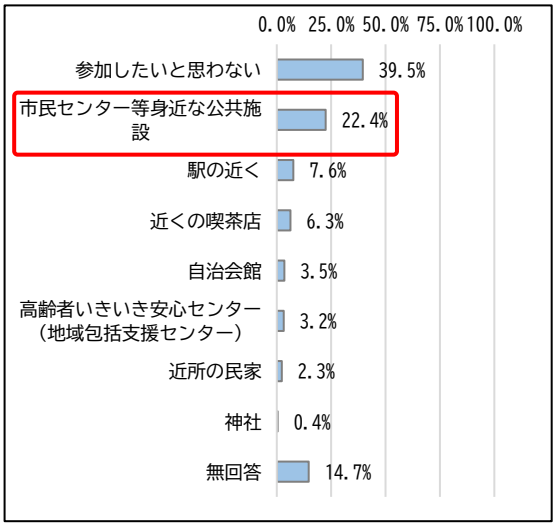
認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

認知症カフェ設置希望場所について「参加したいと思わない」が最も多くなる一方、「市民センター等身近な公共施設」が次いで多くなっています。

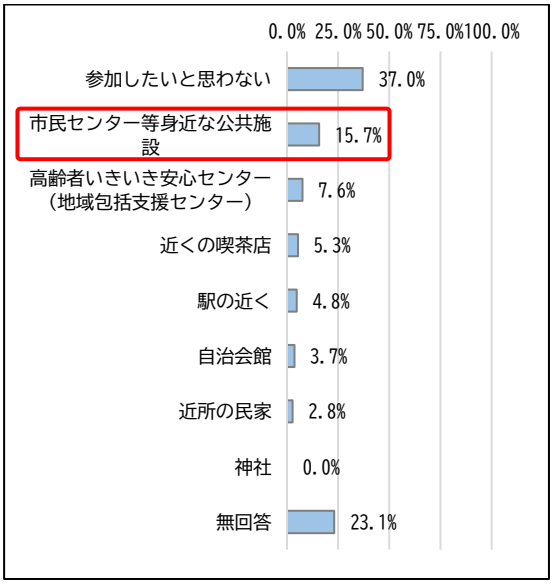
■　若年者調査（n＝1,004）



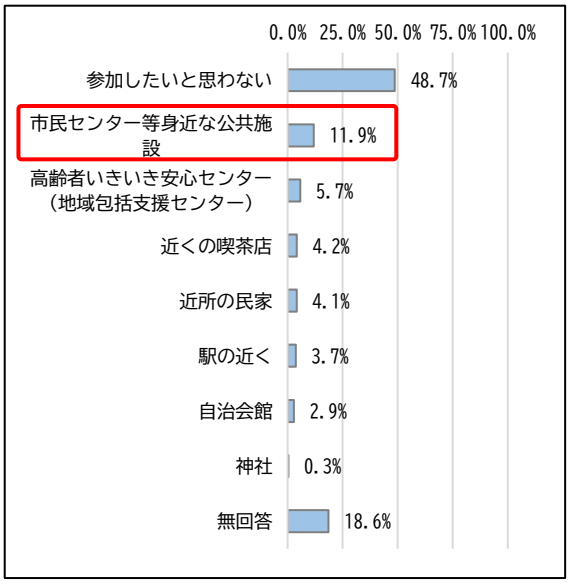
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



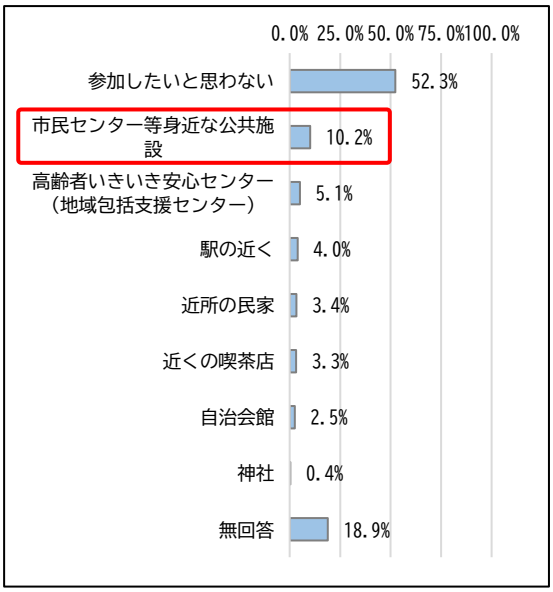
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

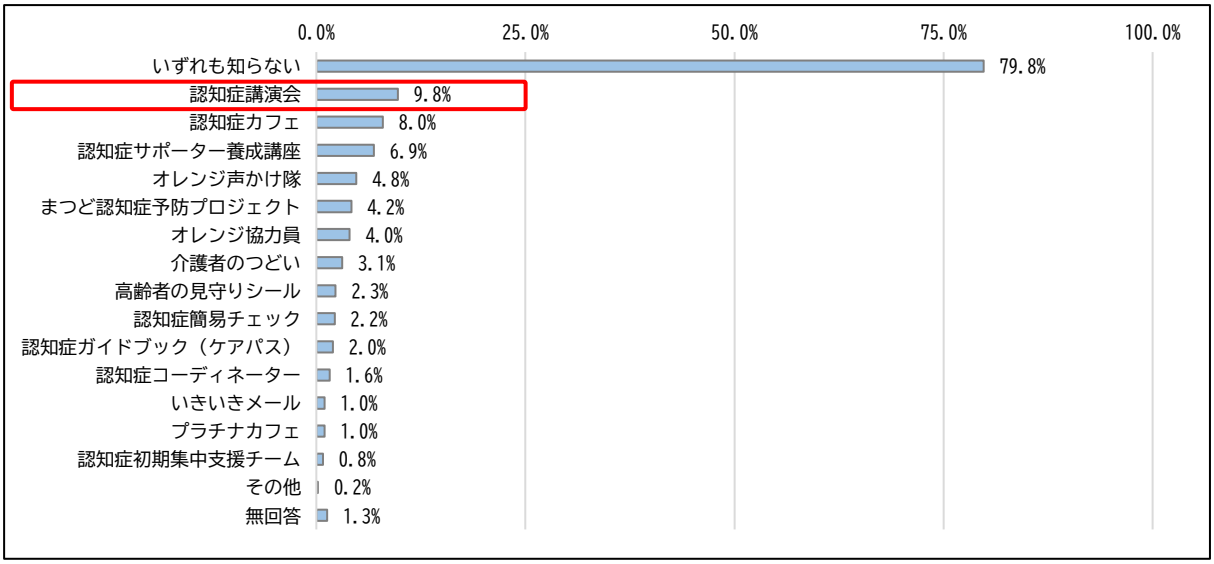


（３）市が行っている認知症対策

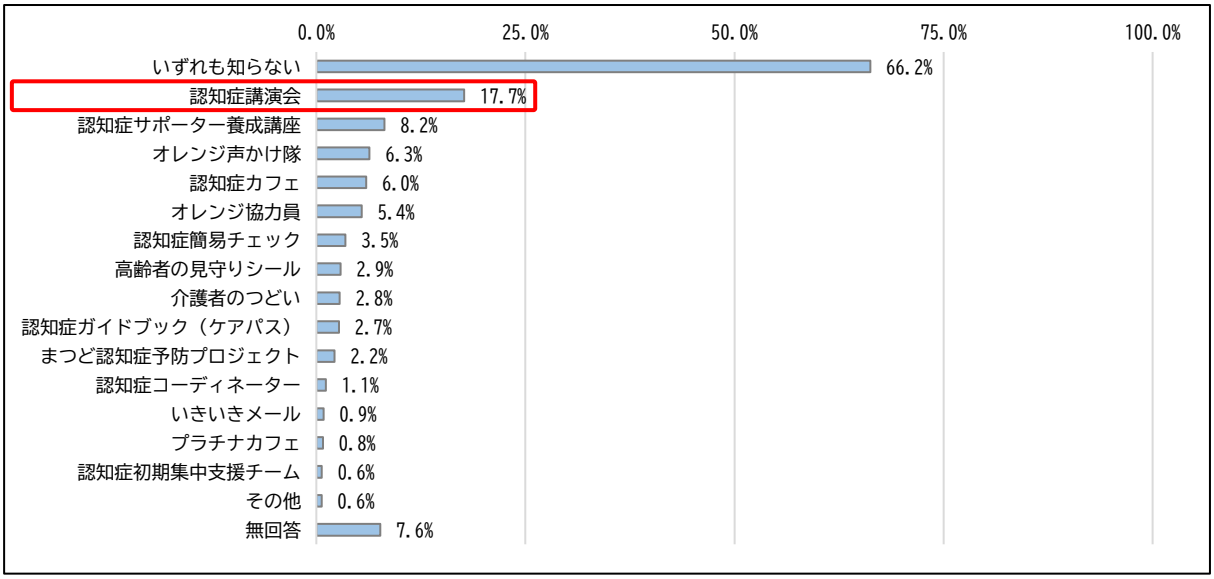
松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

松戸市が行っている認知症対策について、「いずれも知らない」が最も多くなる一方、「認知症講演会」が次いで多くなっており、若年者では 9.8%、一般高齢者では 17.7%、事業対象者・要支援認定者では 13.1%となっています。

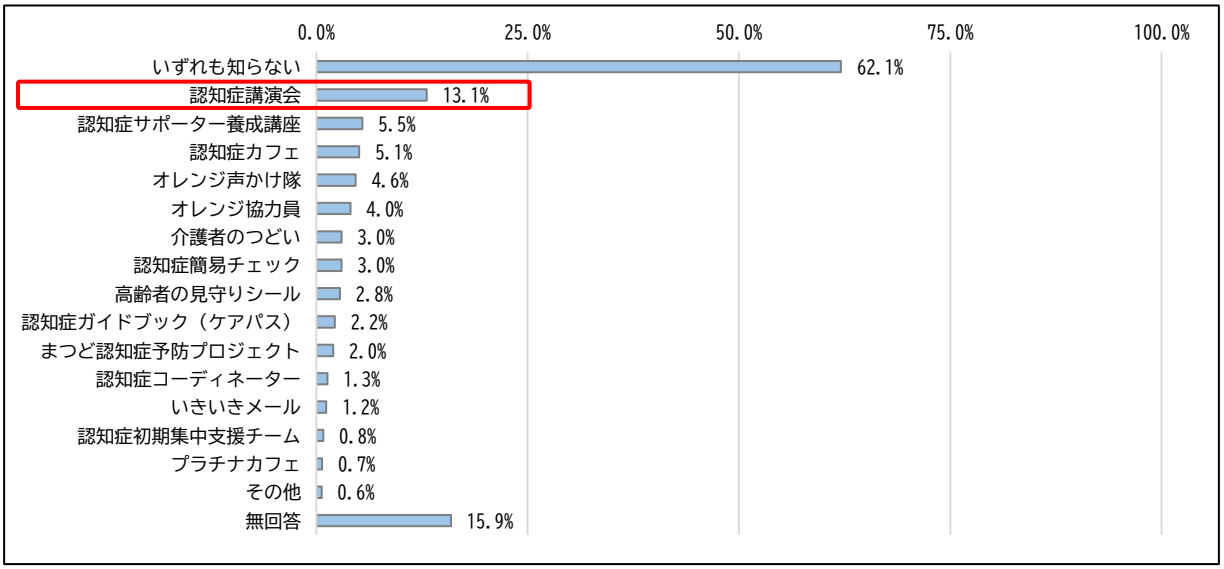
■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



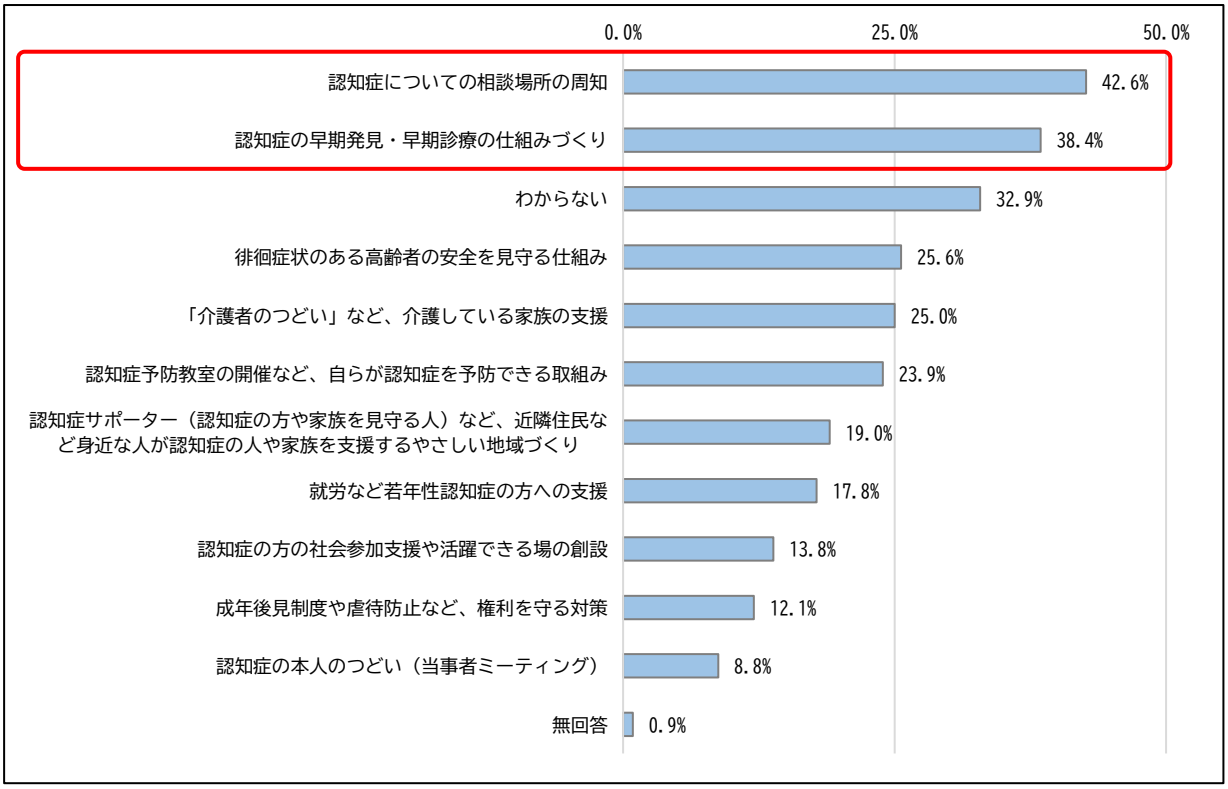
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



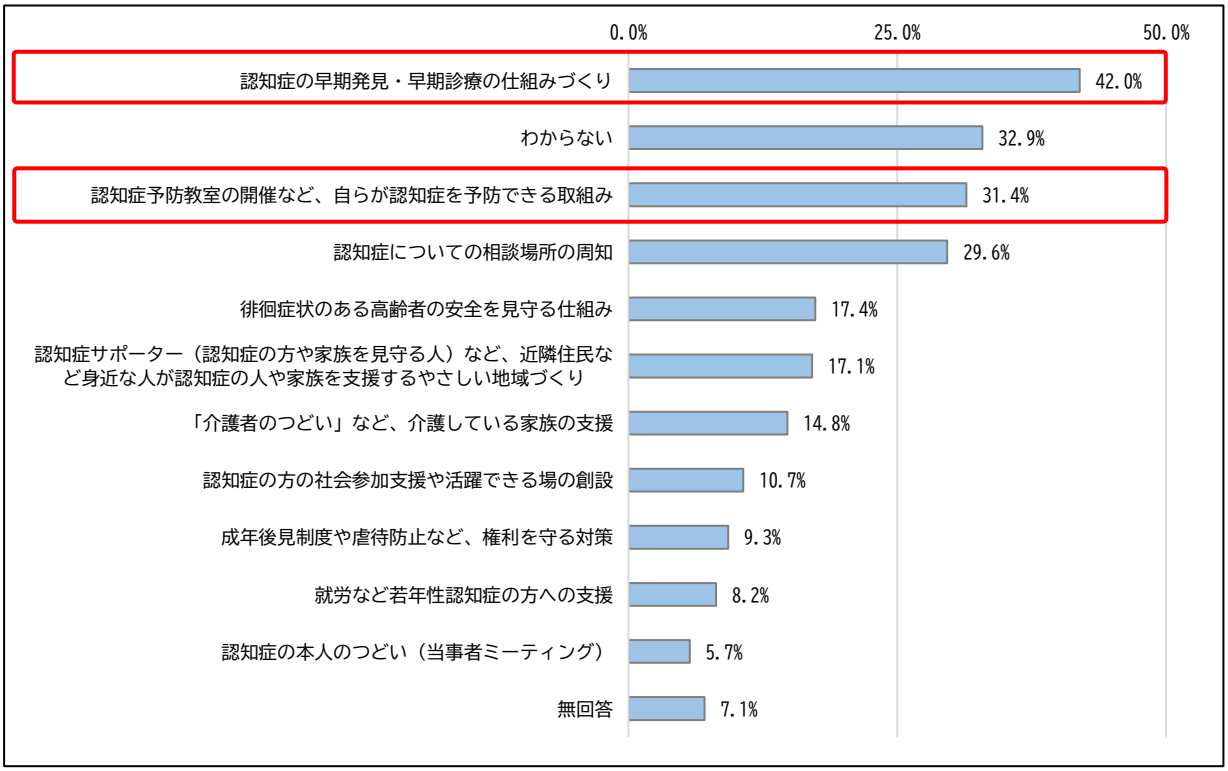
松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

松戸市が行っている認知症対策の中で、より充実させたほうがいいと思うものについて、若年者では「認知症についての相談場所の周知」と回答した割合が最も高く、次いで「認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり」となっています。一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり」と回答した割合が最も高くなっています。

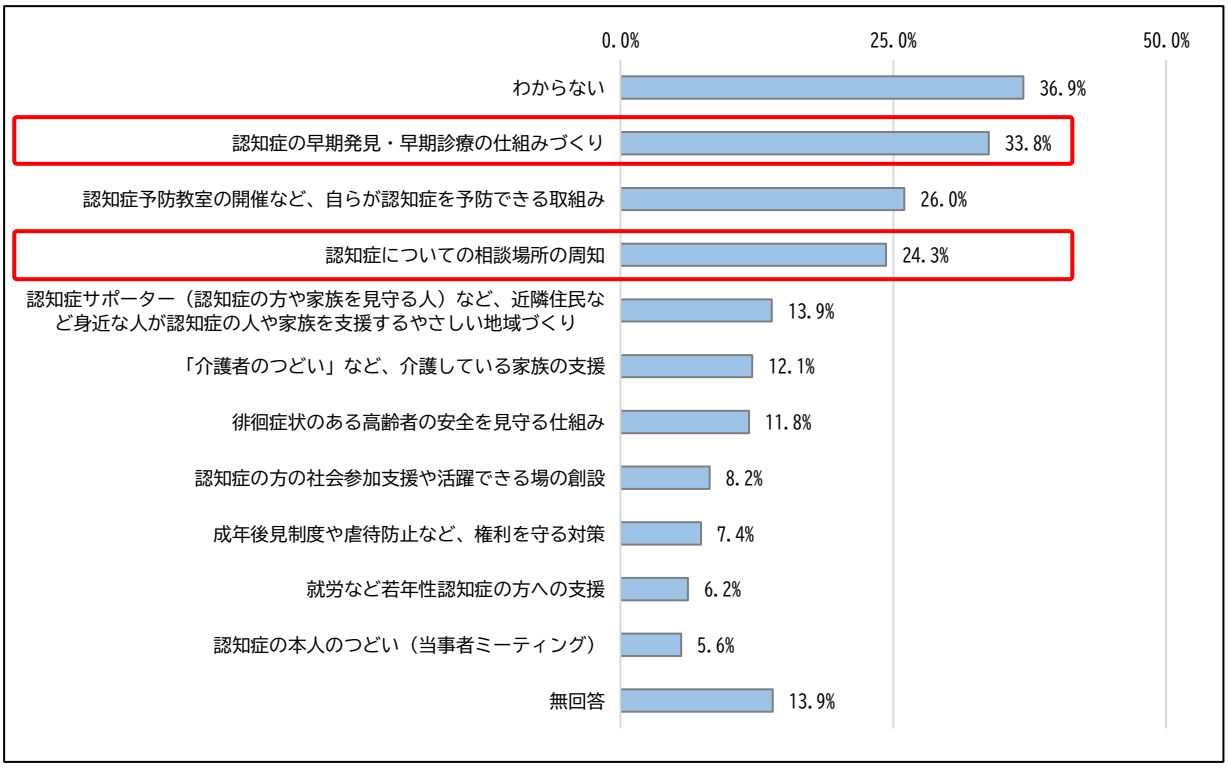
■　若年者調査（n＝1,004）



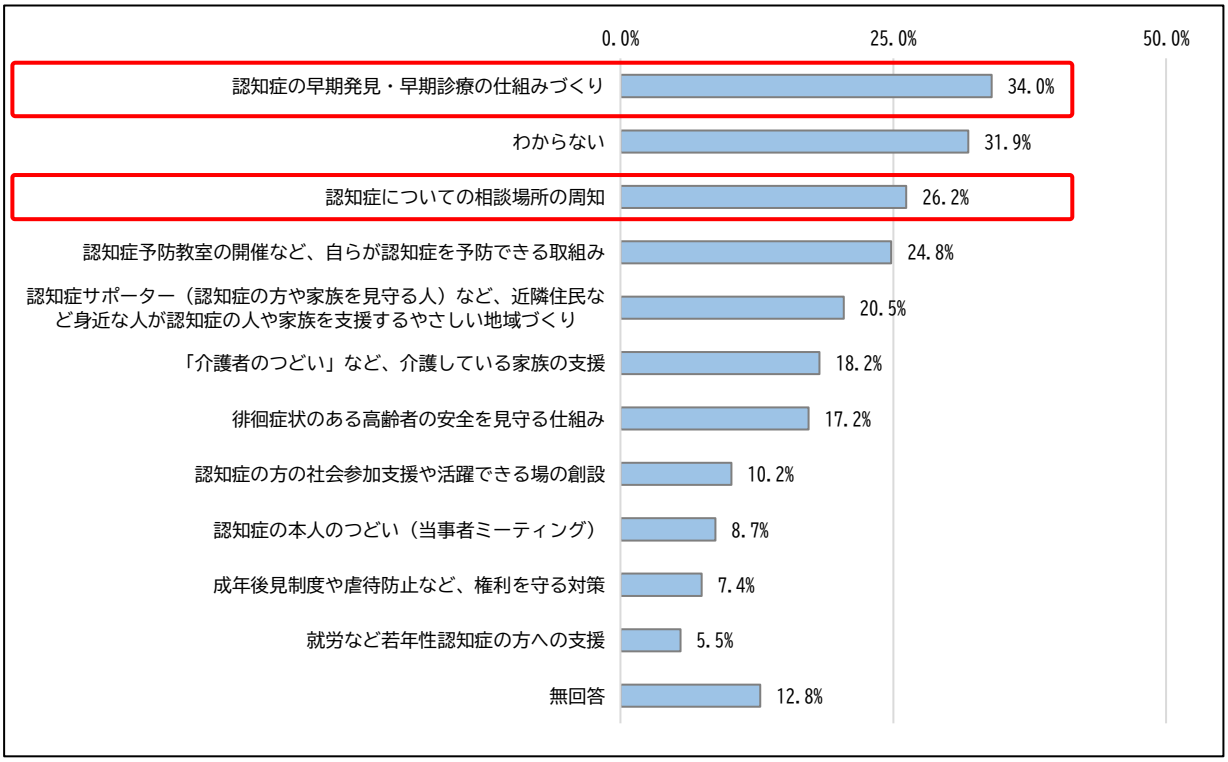
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



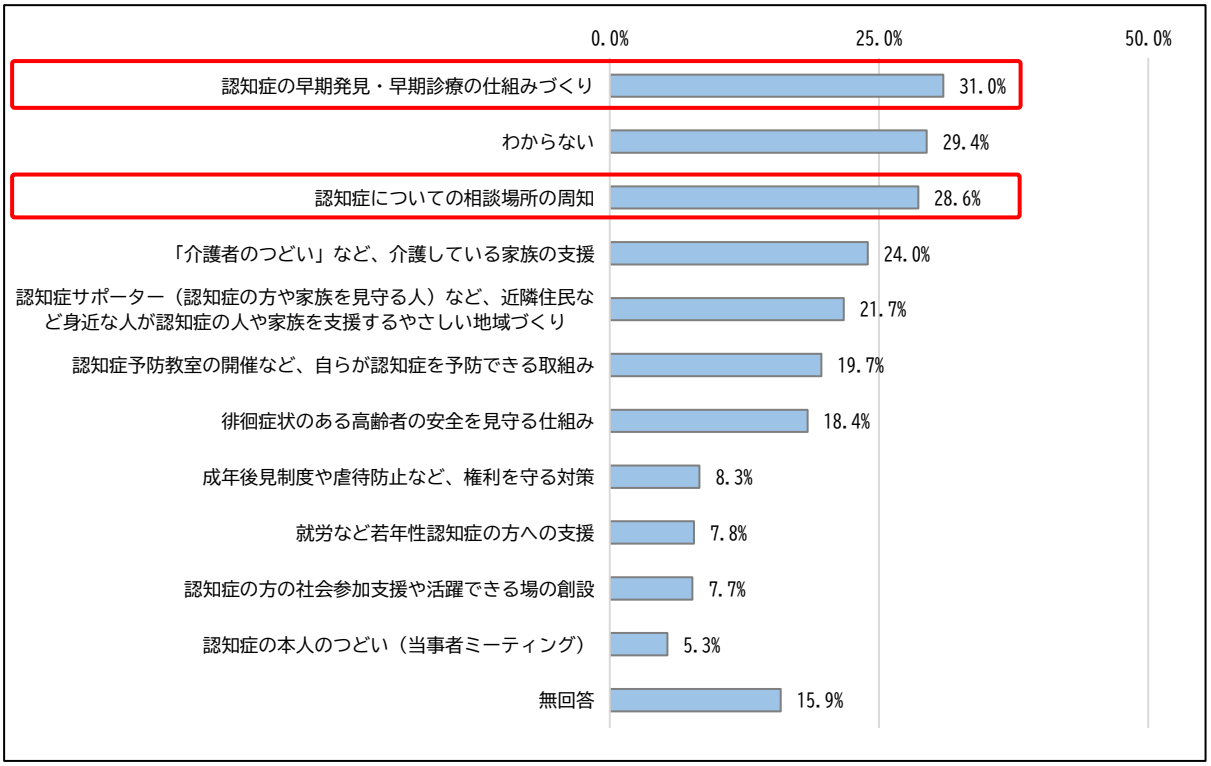
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



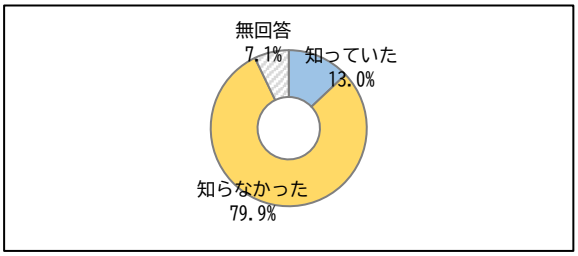
11．介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについて

（１）日常生活支援総合事業の認知度・利用状況

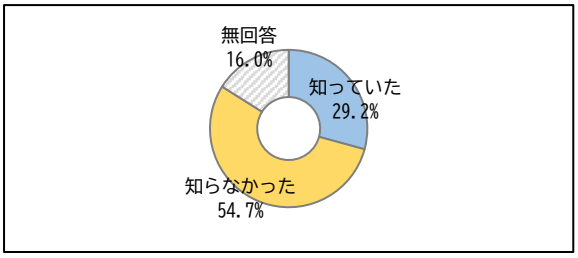
介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（２５項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていましたか。（どちらかの番号に○）

事業対象者として特定された場合、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを「知っている」と回答した割合について、一般高齢者では 13.0%、事業対象者・要支援認定者では 29.2%にとどまっています。

■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



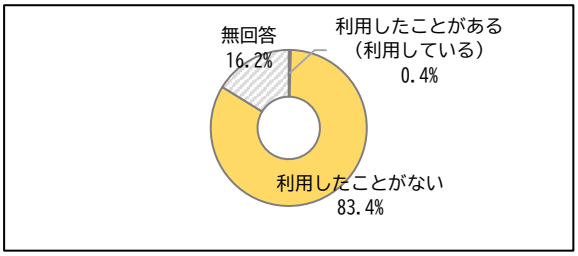
以下のサービスについて利用したことがありますか。また、名称や内容を知っていましたか。

①　訪問型元気応援サービス（生活支援コース）

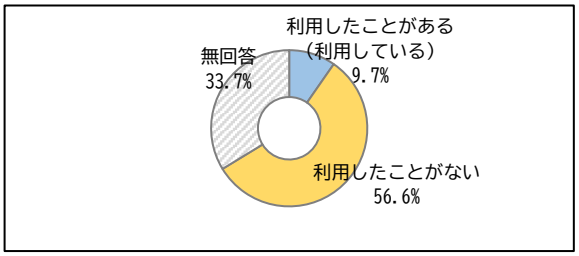
訪問型元気応援サービス（生活支援コース）を「利用したことがある」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 10%、「内容を知っていた」と回答した割合は約 12%となっています。

●利用したことがありますか

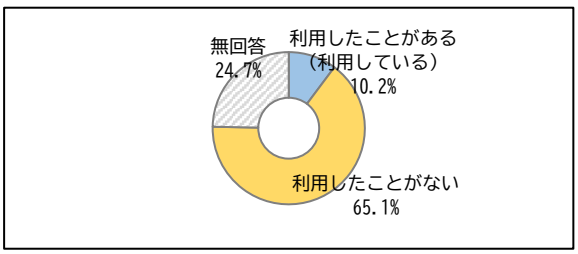
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

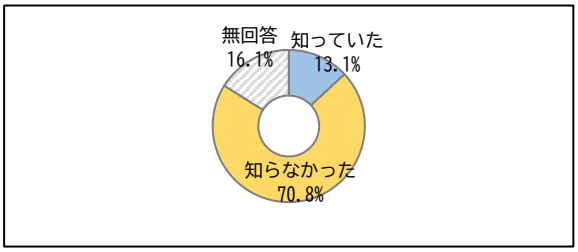


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

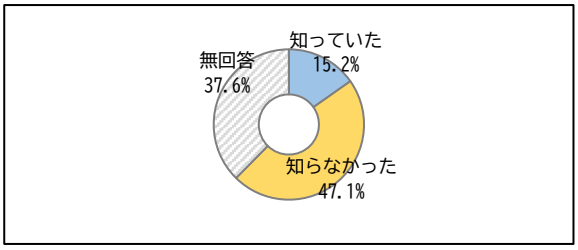


●名称を知っていましたか

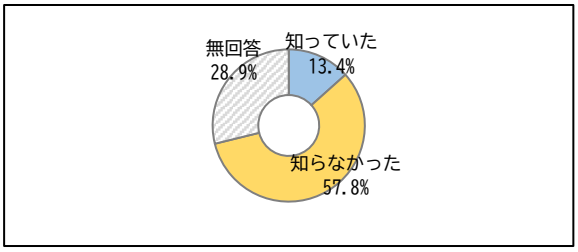
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

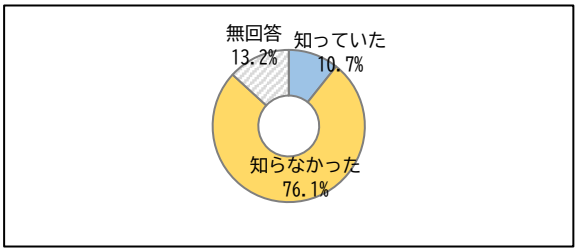


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

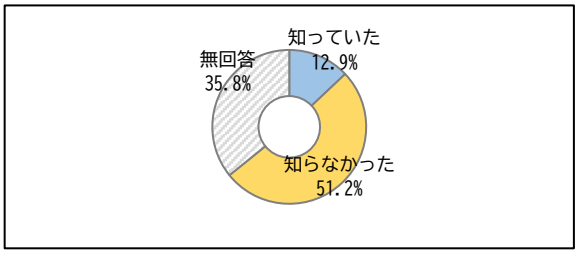


●内容を知っていましたか

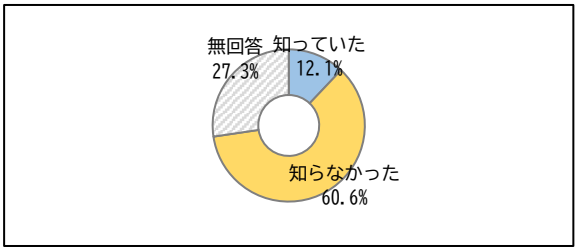
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

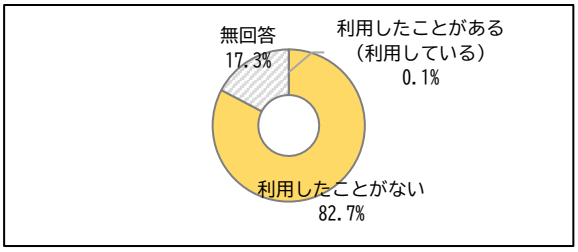


②　訪問型元気応援サービス(困りごとコース)

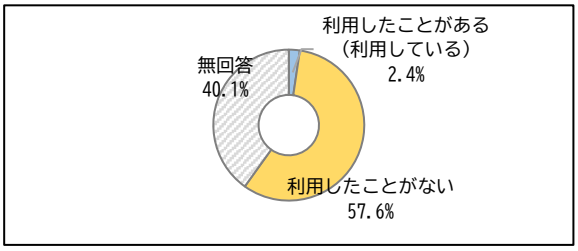
訪問型元気応援サービス(困りごとコース)を「利用したことがある」と回答した割合について、要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約２%、「内容を知っていた」と回答した割合は約７%となっています。

●利用したことがありますか

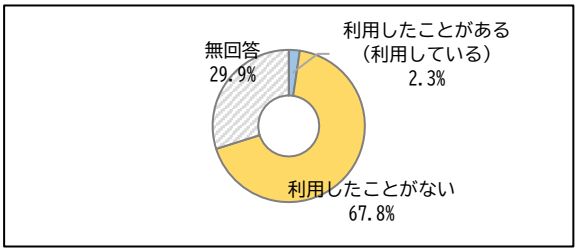
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

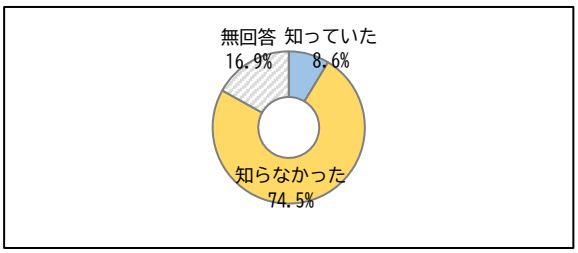


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

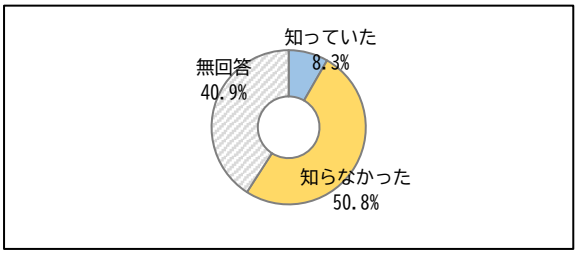


●名称を知っていましたか

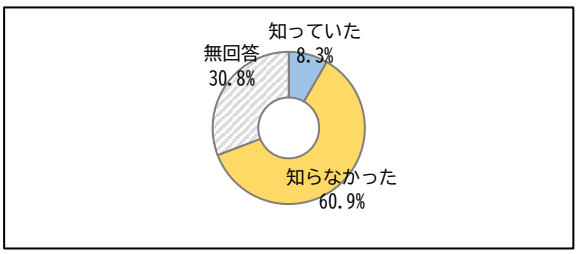
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

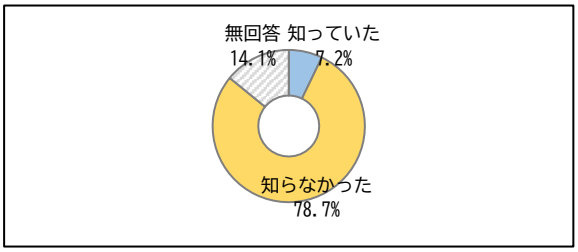


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

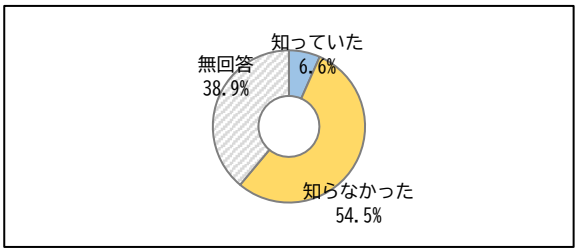


●内容を知っていましたか

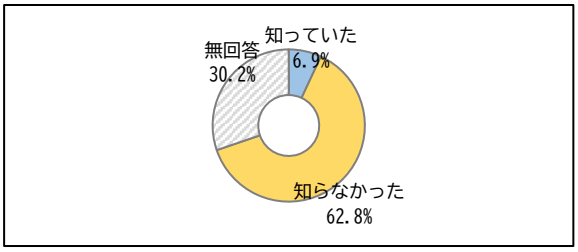
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

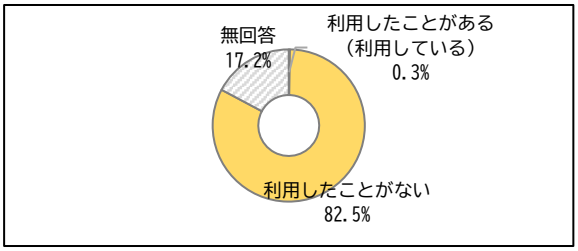


③　短期集中予防サービス(いきいきトレーニング)

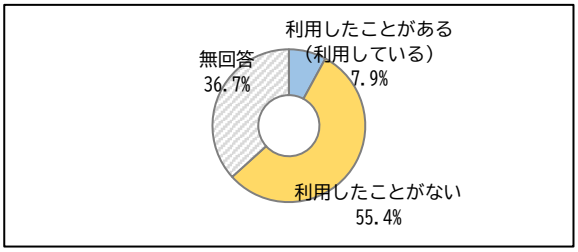
短期集中予防サービス(いきいきトレーニング)を「利用したことがある」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では、約８%、「軽度」要介護認定者では 4.3%となっており、内容を知っていたと回答した割合は約８%となっています。

●利用したことがありますか

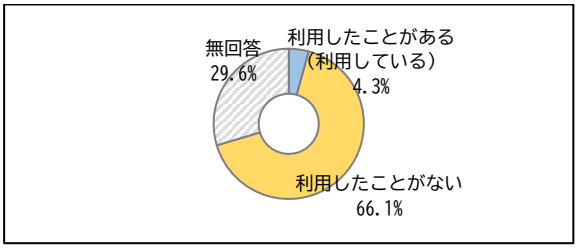
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

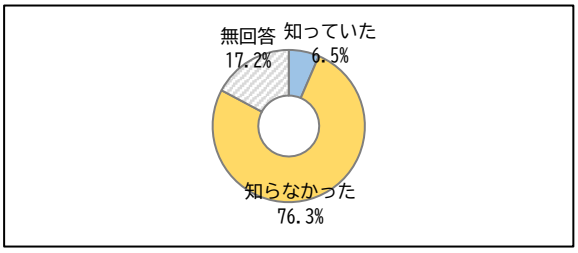


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

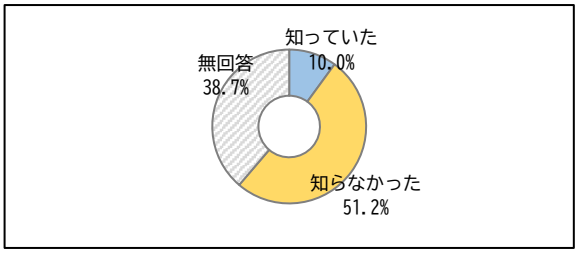


●名称を知っていましたか

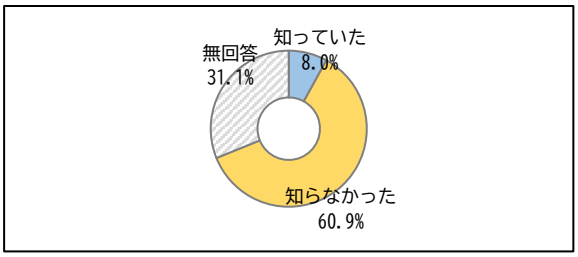
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）

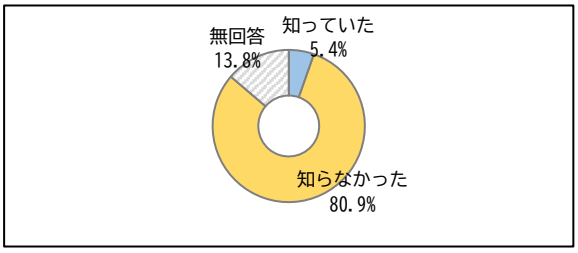


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

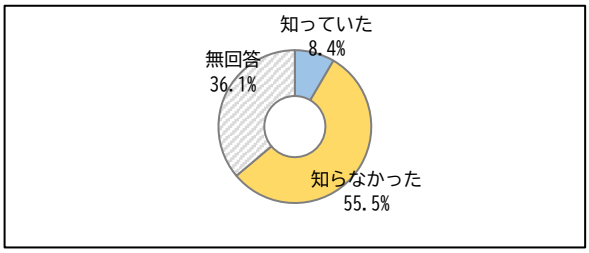


●内容を知っていましたか

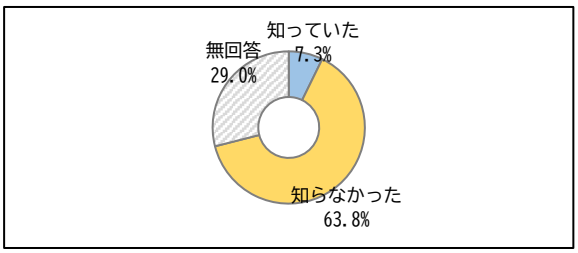
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

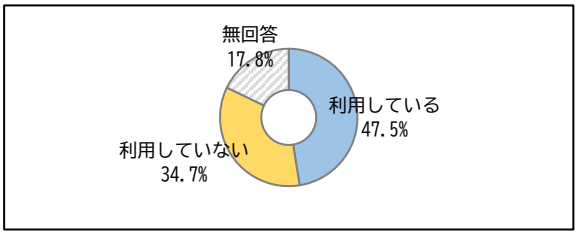


（２）介護保険サービスの認知度・利用状況

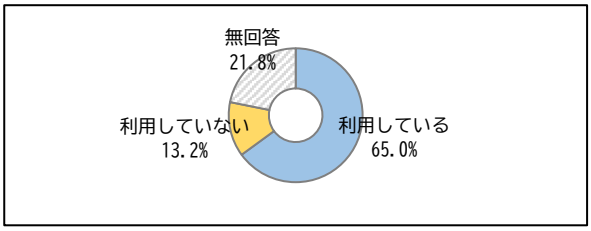
あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。（どちらかの番号に○）

介護保険サービス等を「利用している」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 47.5%、「軽度」要介護認定者では 65.0%、「重度」要介護認定者では 76.6%となっています。

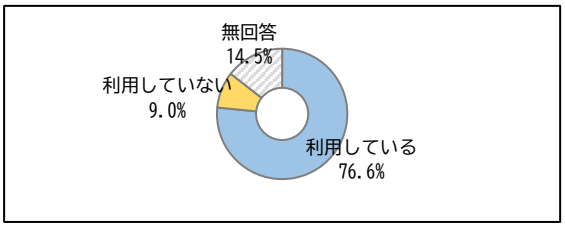
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



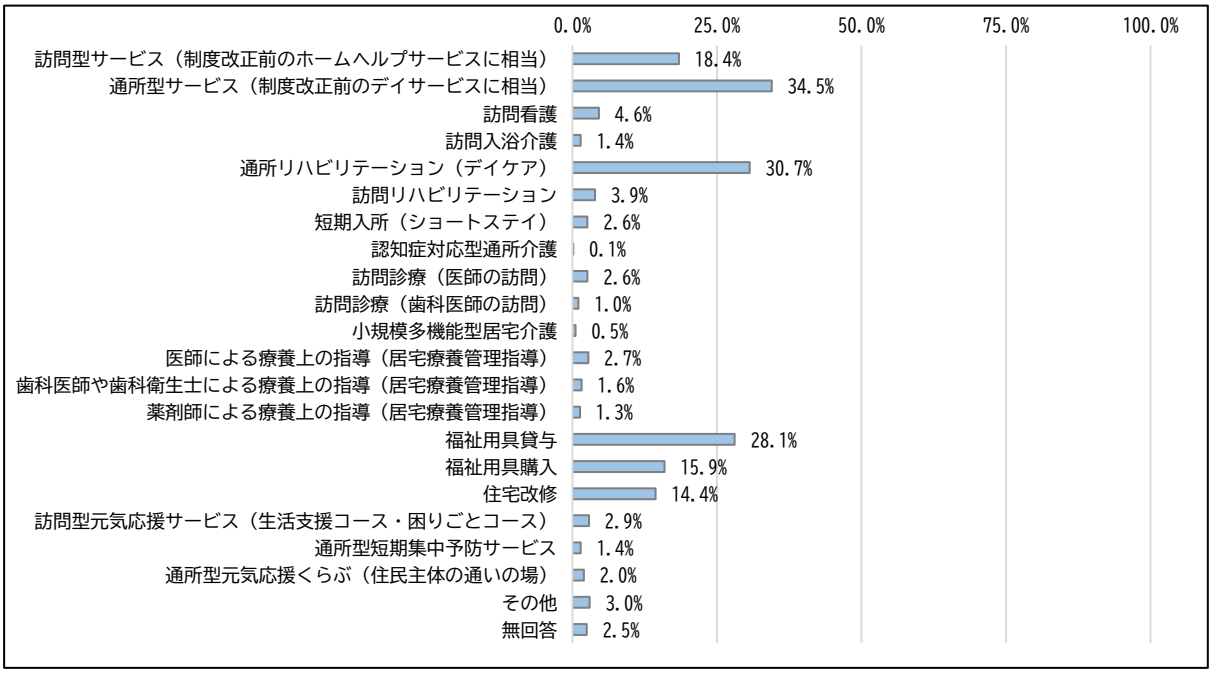
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



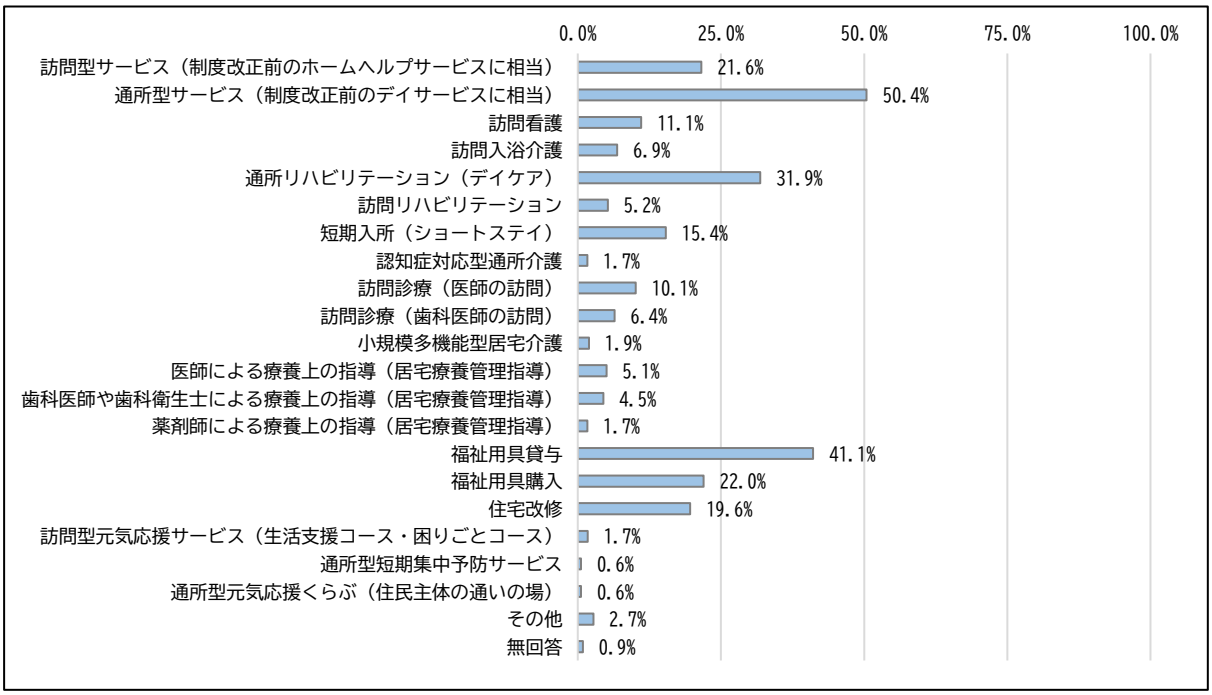
介護保険サービス等を利用していると回答した方のみ、お答えください。
次のような在宅サービスを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

介護保険サービス等を「利用している」と回答した方のうち、在宅サービスの利用状況については次の通りとなっています。

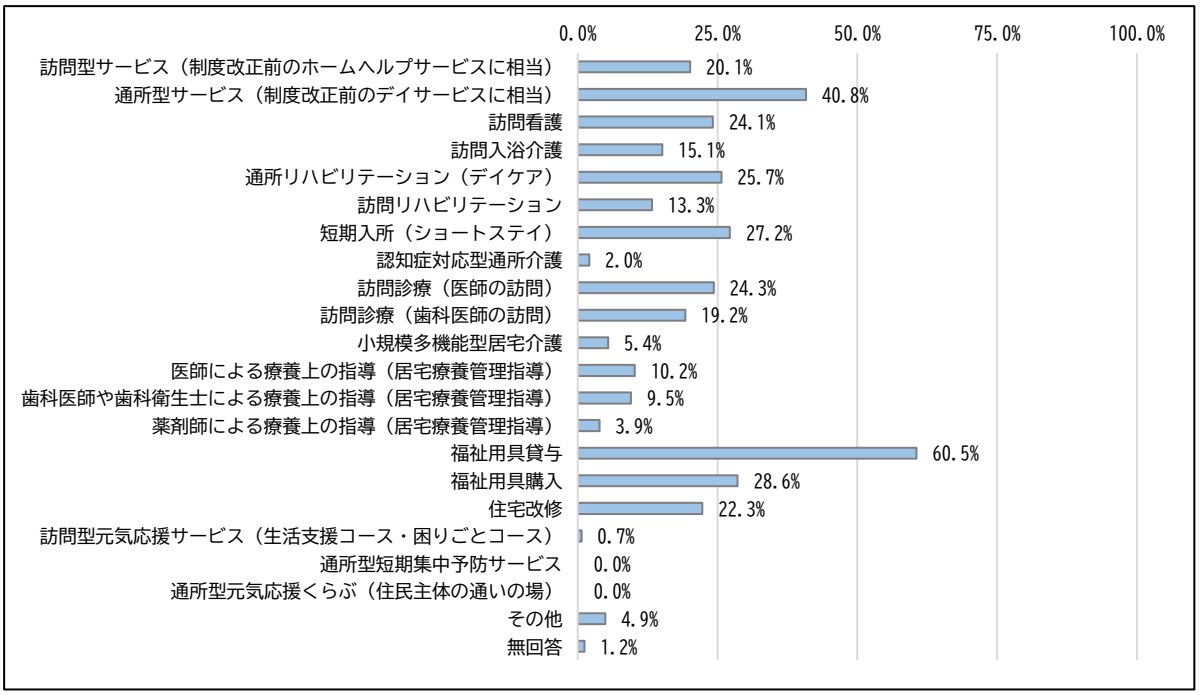
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=766）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,029）



■　「重度」要介護認定者調査（n=588）

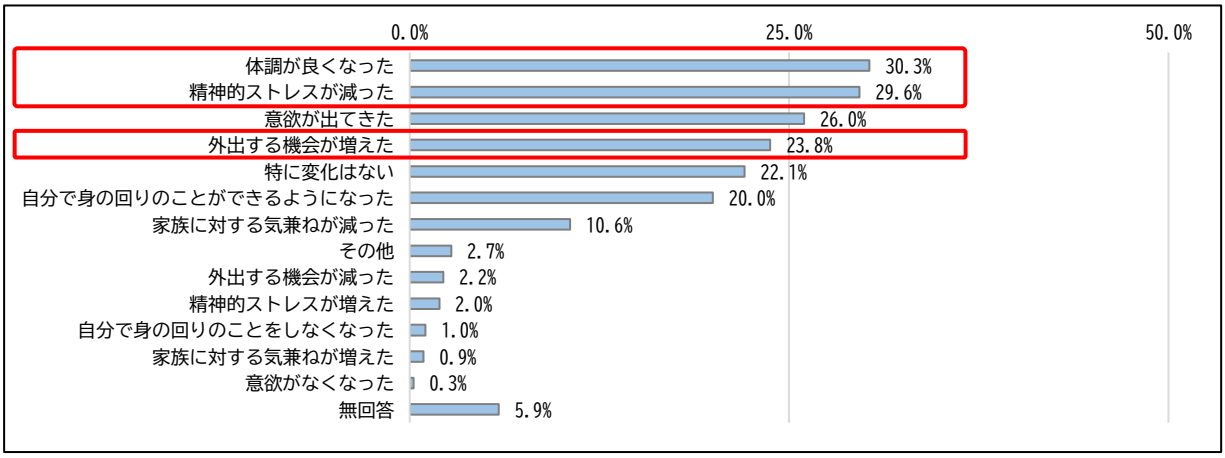


介護保険サービス等を利用していると回答した方のみ、お答えください。

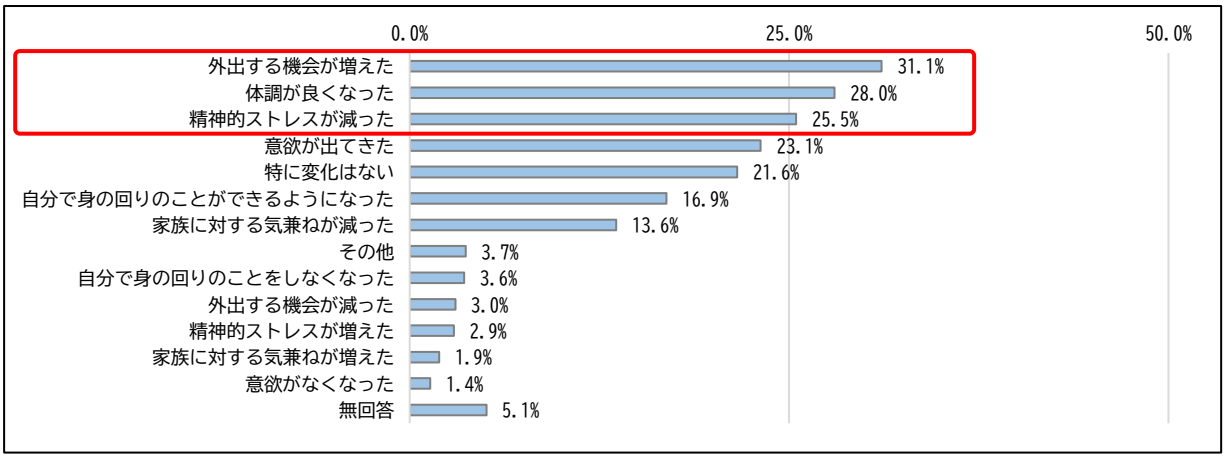
介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。（あてはまるすべての番号に○）

介護保険サービス等を利用したことによりもたらされた変化として、「体調が良くなった」「精神的ストレスが減った」「外出する機会が増えた」が多く挙げられています。

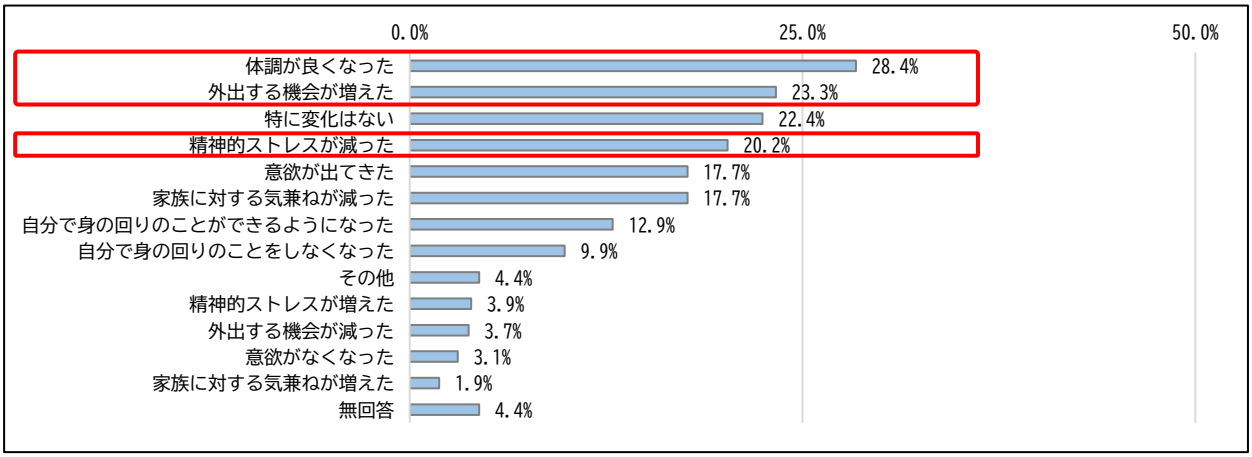
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=766）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,029）



■　「重度」要介護認定者調査（n=588）

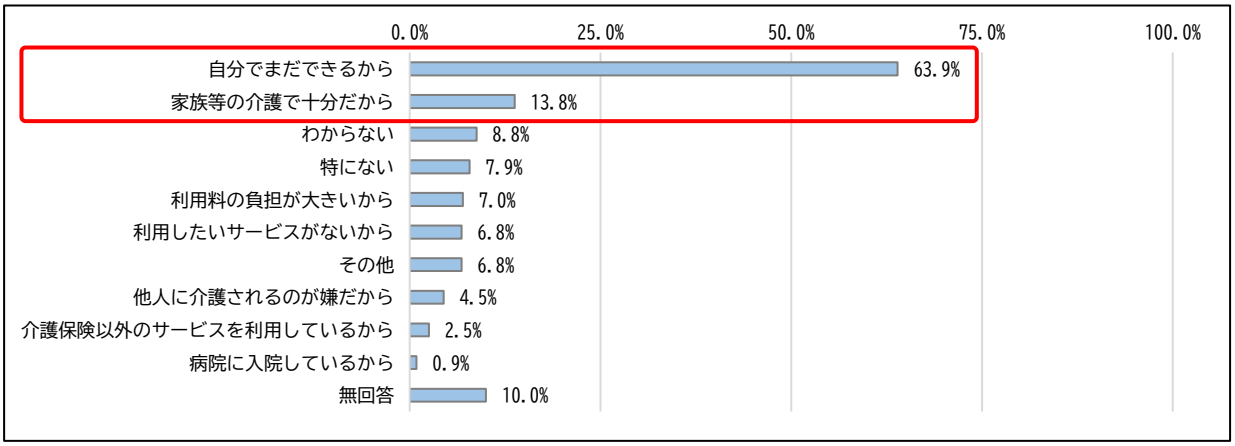


介護保険サービス等を利用していないと回答した方のみ、お答えください。

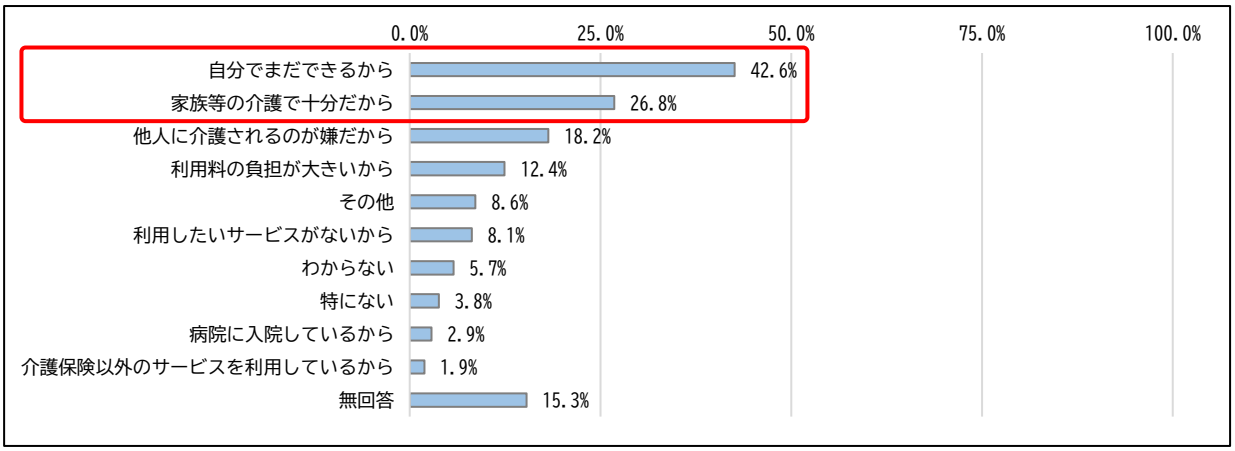
あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

介護保険サービス等を利用していない理由として、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「自分でまだできるから」が最も多く、次いで「家族等の介護で十分だから」となっています。

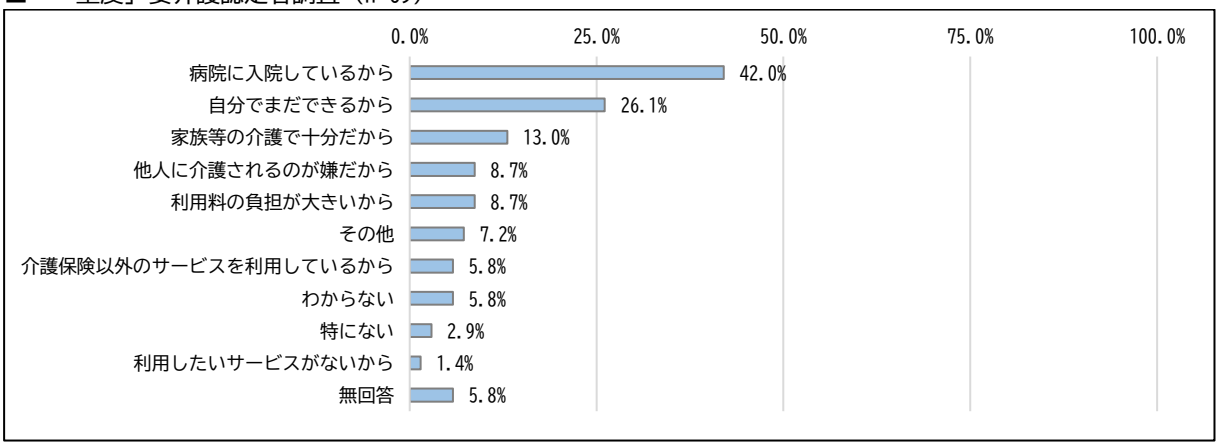
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=560）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=209）



■　「重度」要介護認定者調査（n=69）



（３）地域密着型サービスの認知度・利用希望状況

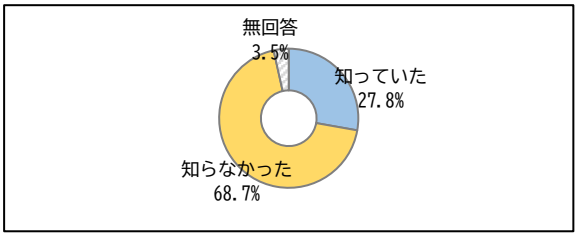
以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか。

①　小規模多機能型居宅介護

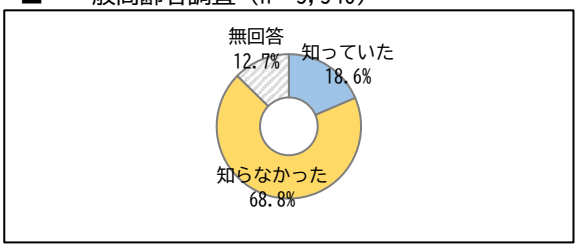
小規模多機能型居宅介護について、若年者では 27.8%が「知っていた」と回答しており、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 20%となっています。また、「利用してみたい」と回答した割合について、若年者では 70.3%と高く、一般高齢者では 56.8%となっており、「利用している」と回答した割合を含めると、事業対象者・要支援認定者では 19.2%、「軽度」要介護認定者では 24.8%、「重度」要介護認定者では 26.2%となっています。

●名称や内容について知っていましたか

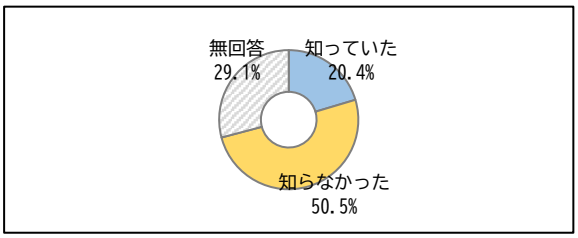
■　若年者調査（n＝1,004）



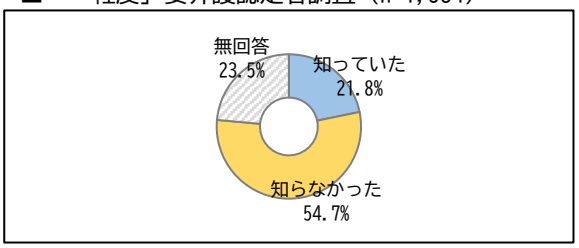
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



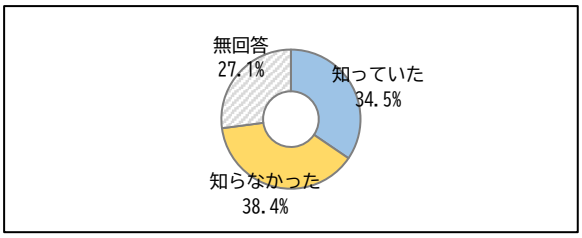
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

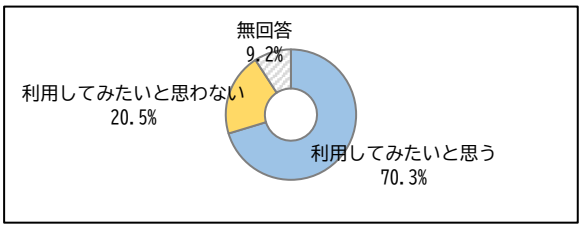


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

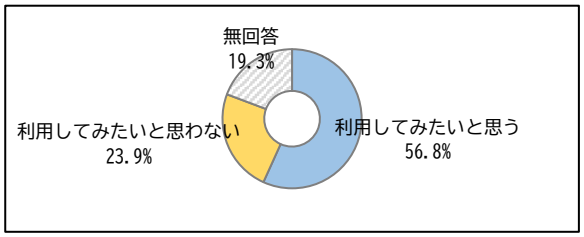


●介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか

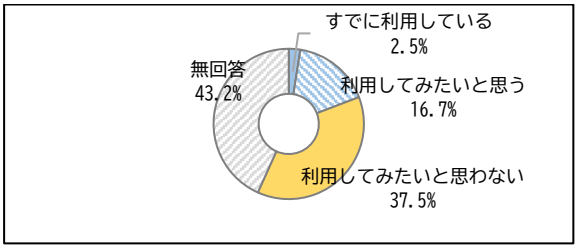
■　若年者調査（n＝1,004）



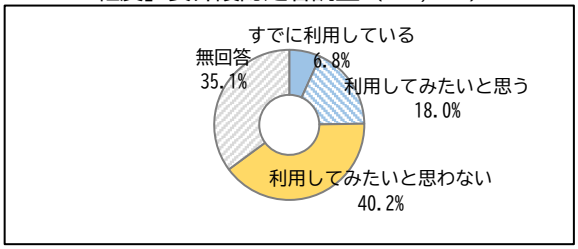
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



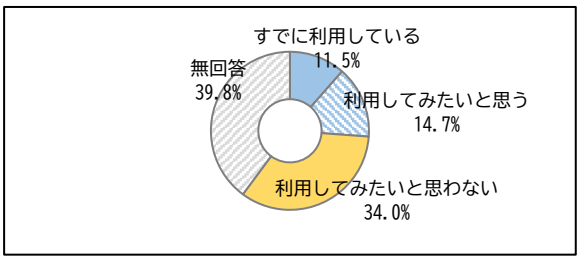
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

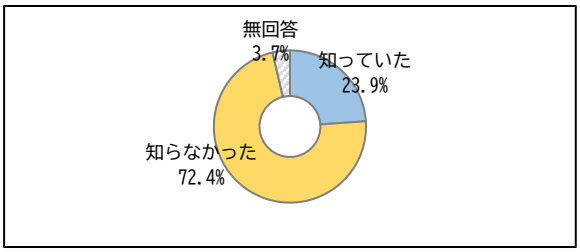


②　看護小規模多機能型居宅介護

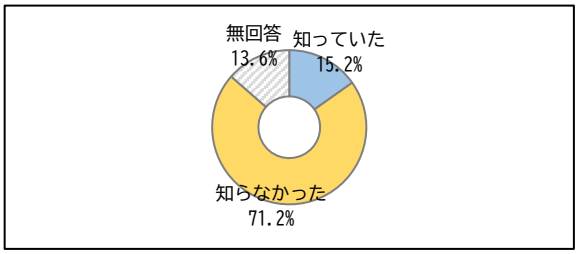
看護小規模多機能型居宅介護について、若年者では、23.9%が「知っていた」と回答しており、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 15%となっています。また、「利用してみたい」と回答した割合について、若年者では 72.1%と高く、一般高齢者では 56.1%、事業対象者・要支援認定者では 16.7%となっており、「利用している」と回答した割合を含めると、「軽度」要介護認定者では 20.1%、「重度」要介護認定者では 27.2%となっています。

●名称や内容について知っていましたか

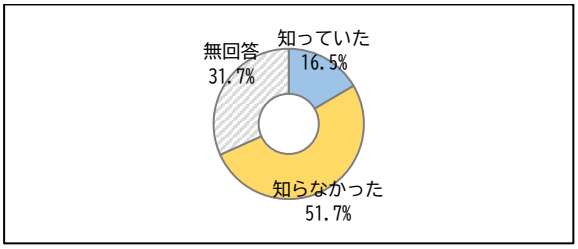
■　若年者調査（n＝1,004）



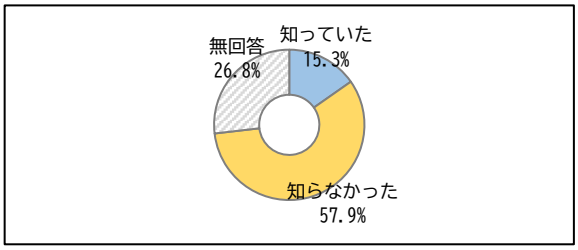
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



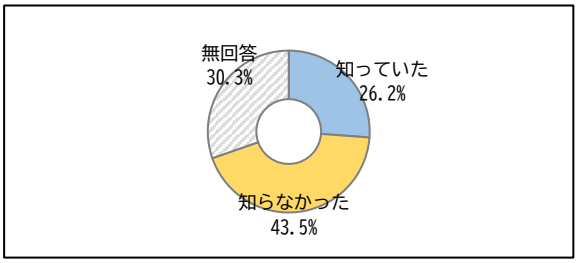
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

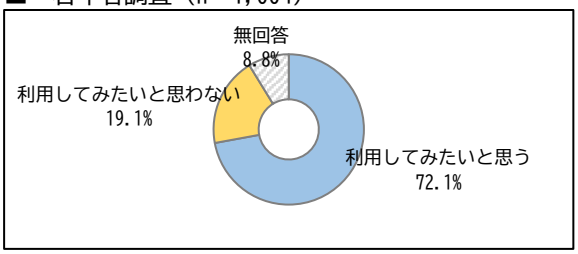


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

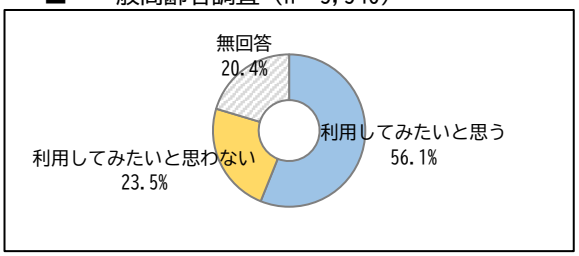


●介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか

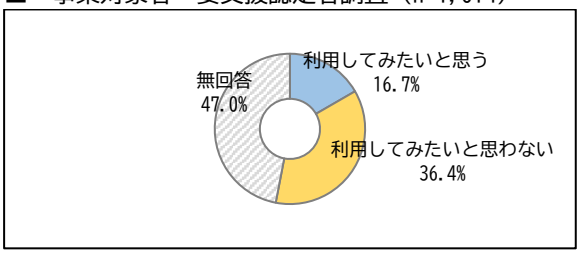
■　若年者調査（n＝1,004）



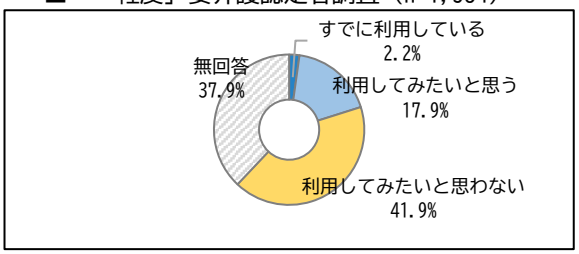
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



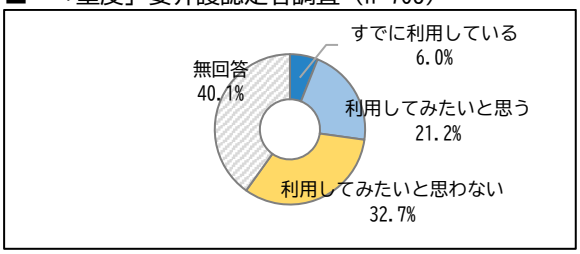
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

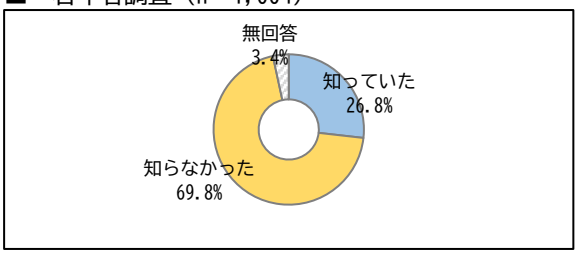


③　定期巡回・随時対応型訪問介護・看護

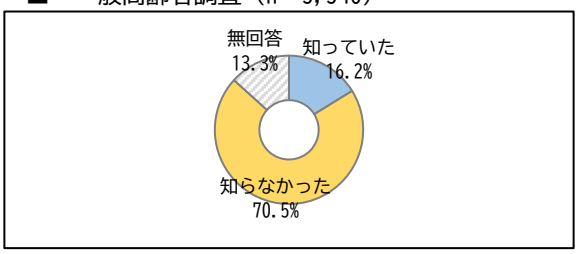
定期巡回・随時対応型訪問介護・看護について、若年者では、26.8%が「知っていた」と回答しており、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 18%となっています。また、「利用してみたい」と回答した割合について、若年者では 78.4%と高く、一般高齢者では 60.9%となっており、「利用している」と回答した割合を含めると、事業対象者・要支援認定者では 21.9%、「軽度」要介護認定者では 26.1%、「重度」要介護認定者では 37.1%となっています。

●名称や内容について知っていましたか

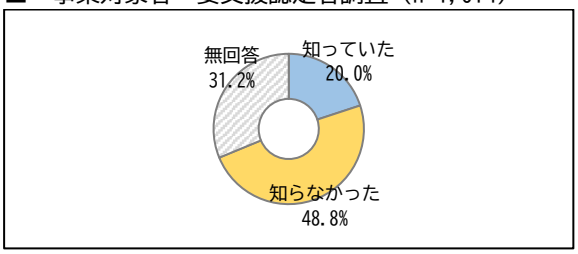
■　若年者調査（n＝1,004）



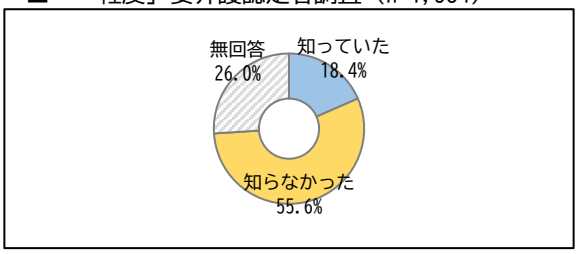
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



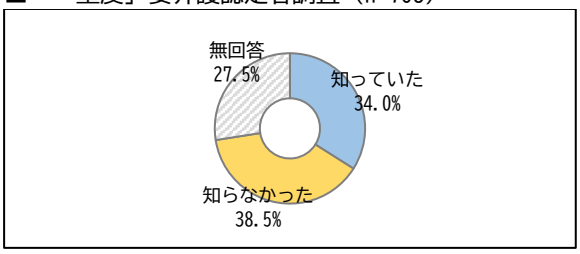
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

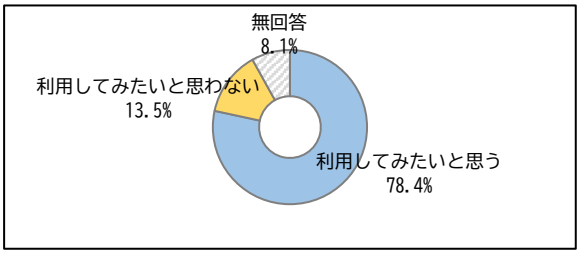


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

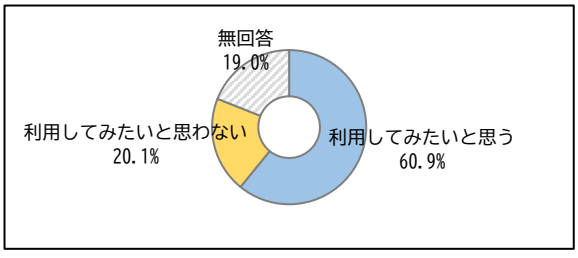


●介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか

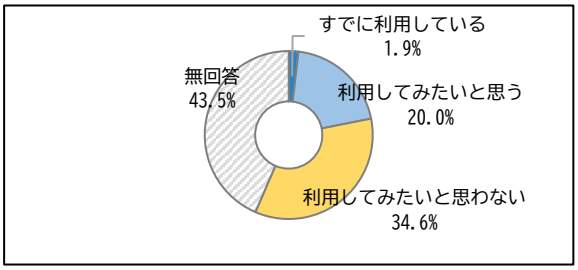
■　若年者調査（n＝1,004）



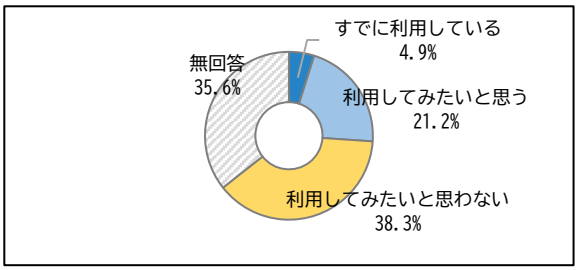
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



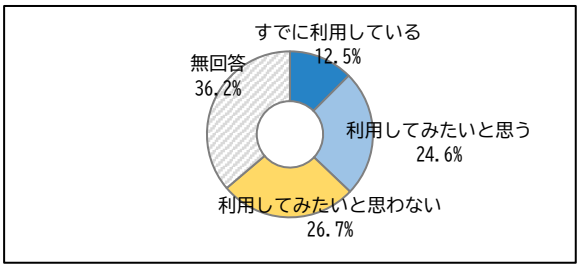
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

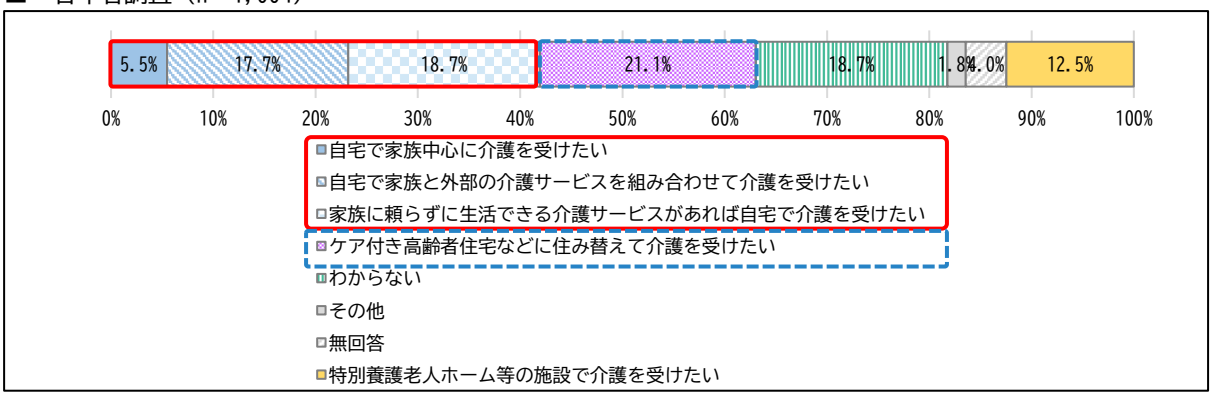


（４）介護が必要になった場合に希望する介護と場所

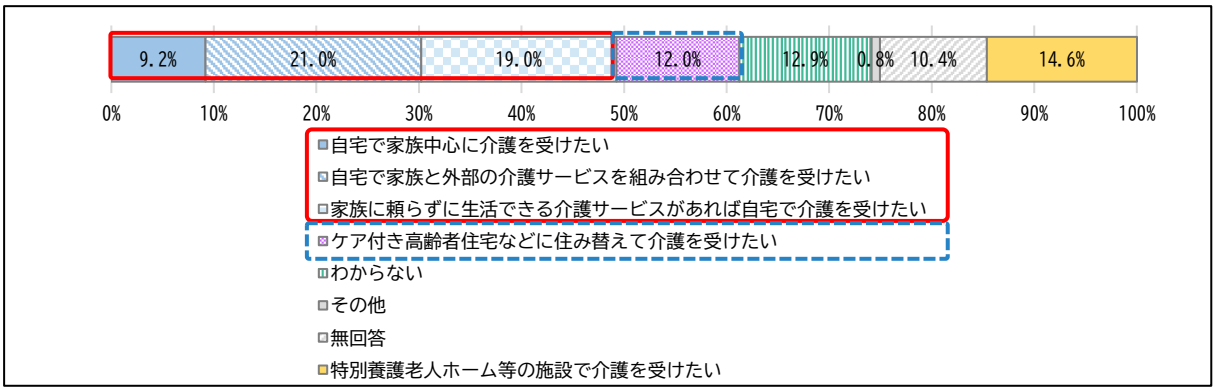
あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（１つの番号に○）

介護が必要になった場合にどこでどのような介護を受けたいかについて、若年者では「自宅で」と回答した割合が 41.9%、一般高齢者では 49.2%、事業対象者・要支援認定者では 46.0%、「軽度」要介護認定者では 51.2%、「重度」要介護認定者では 52.3%となっています。また、若年者において「ケア付き高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい」と回答した割合が高くなっており、21.1%となっています。

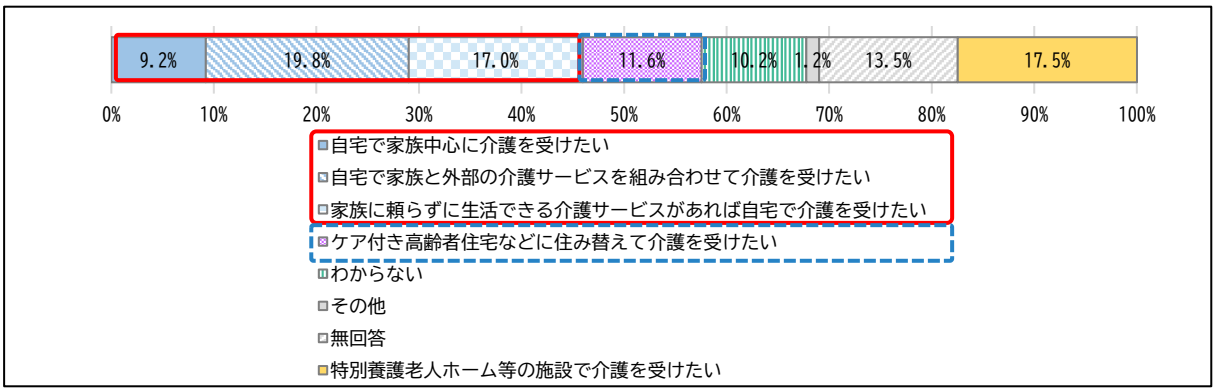
■　若年者調査（n＝1,004）



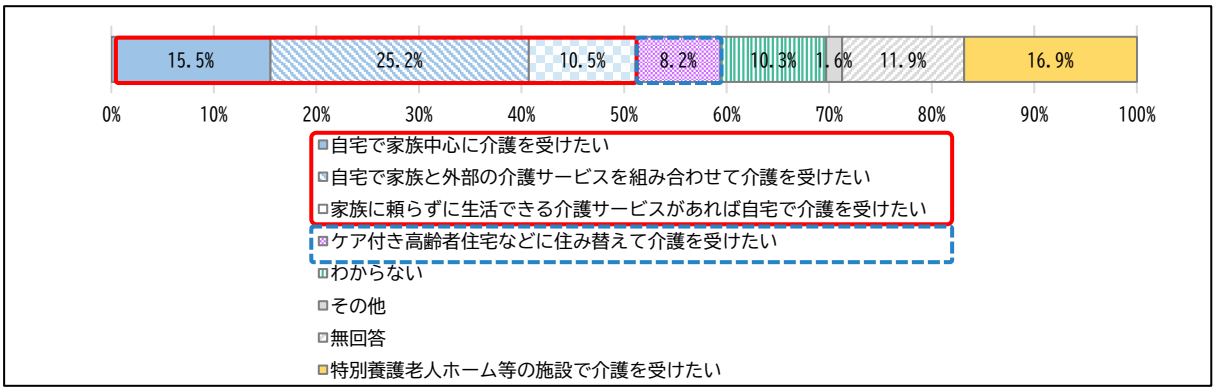
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



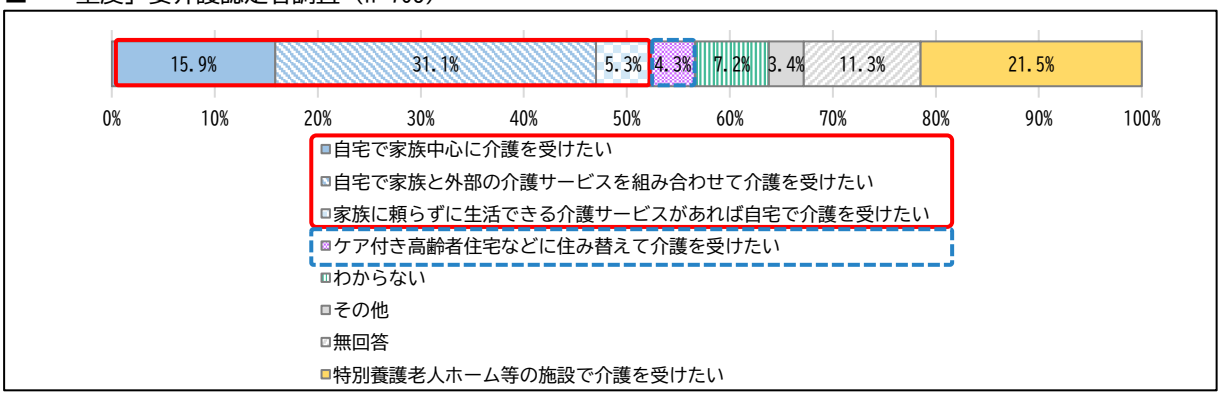
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

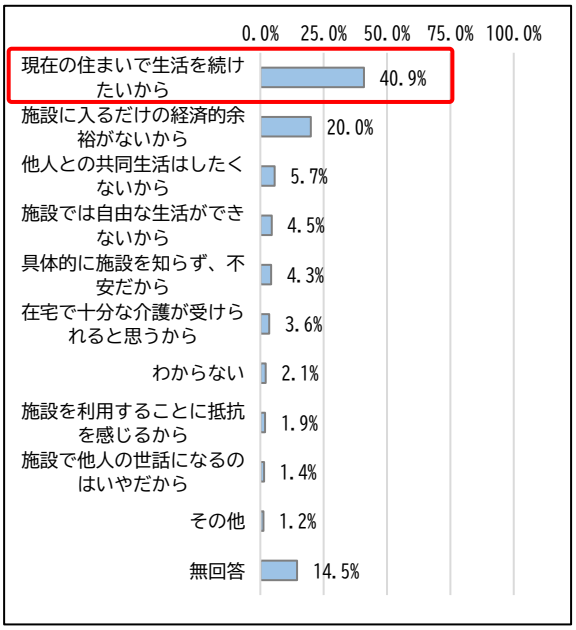


自宅で介護と回答した方のみ、お答えください。

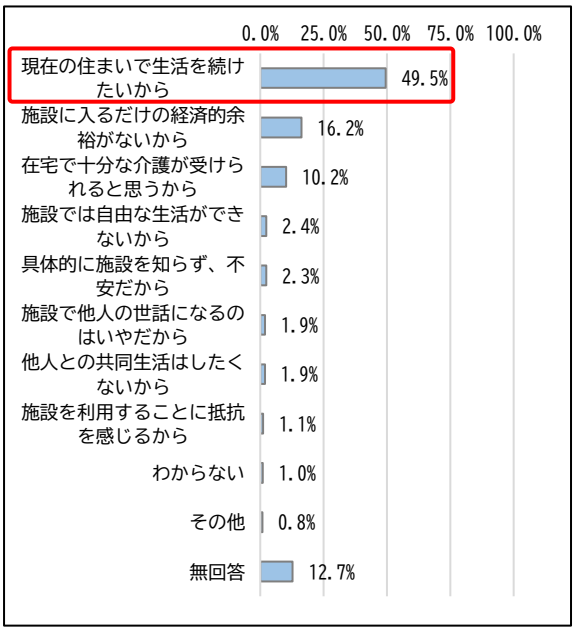
あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

在宅での介護を選択する理由について、いずれも「現在の住まいで生活を続けたいから」が多く、約 50%となっています。

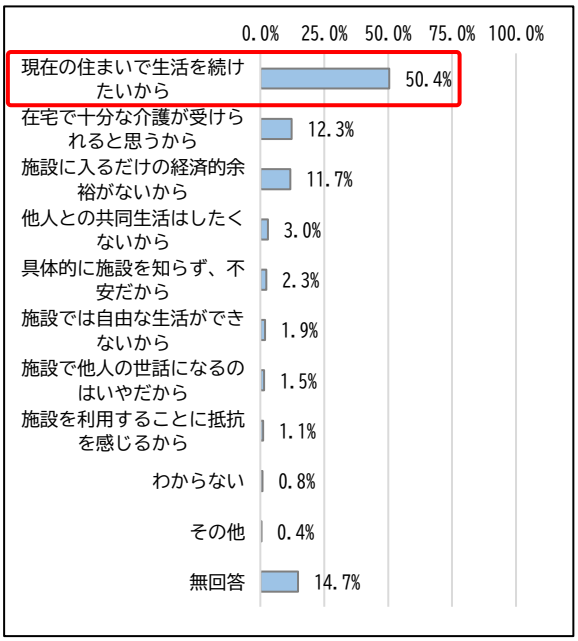
■　若年者調査（n＝421）



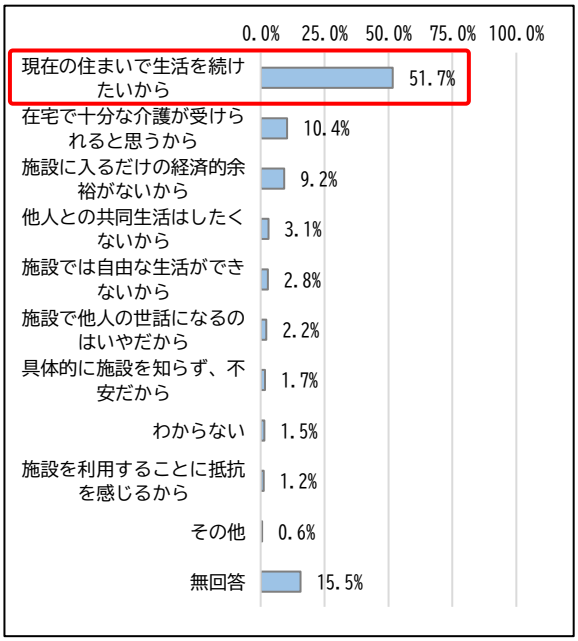
■　一般高齢者調査（n＝2,732）



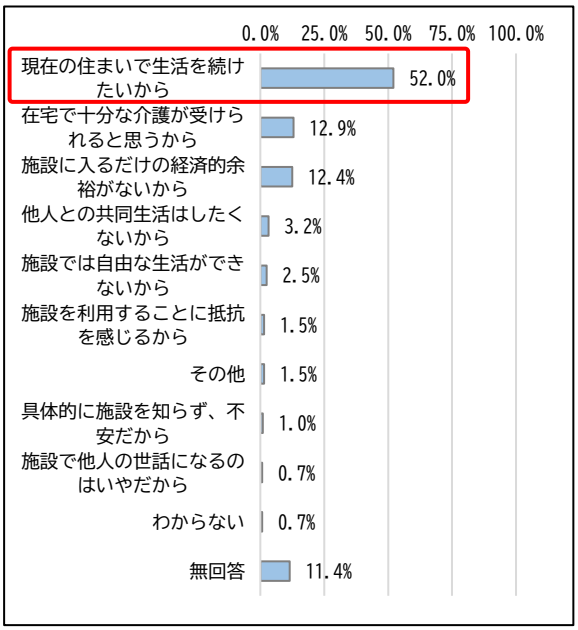
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=742）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=811）



■　「重度」要介護認定者調査（n=402）

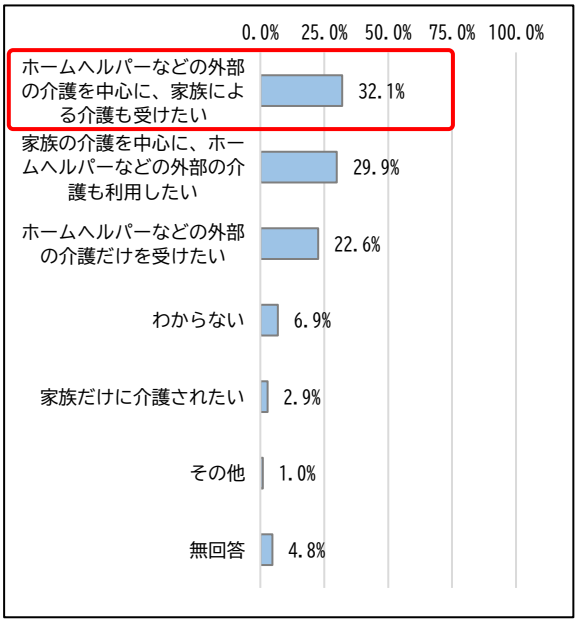


自宅で介護と回答した方のみ、お答えください。

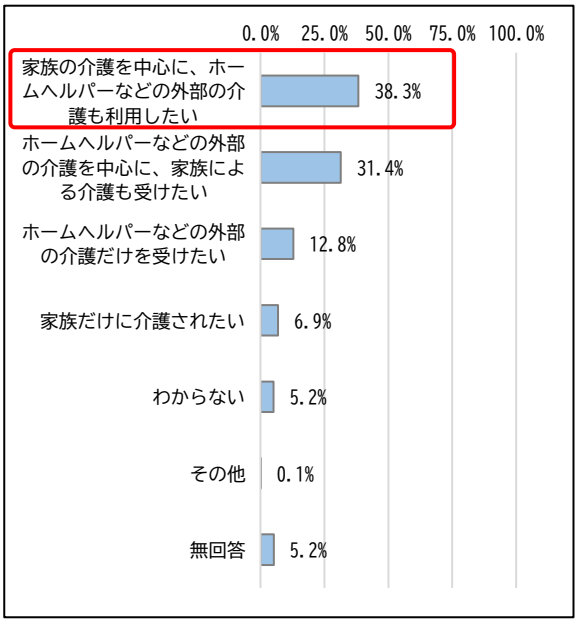
その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（１つの番号に○）

在宅での介護について、若年者では「ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい」が最も多く、一般高齢者、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい」が最も多くなっています。

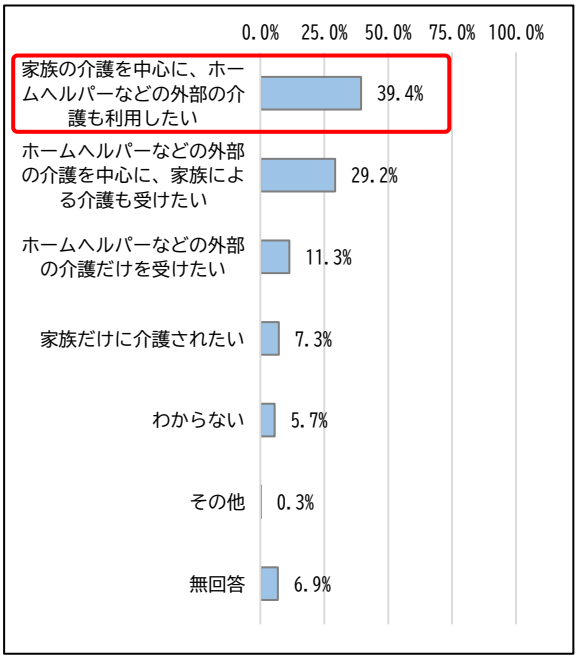
■　若年者調査（n＝421）



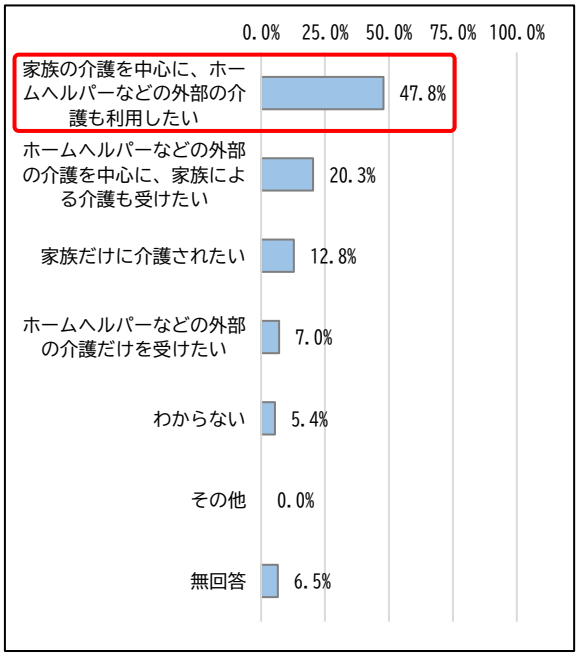
■　一般高齢者調査（n＝2,732）



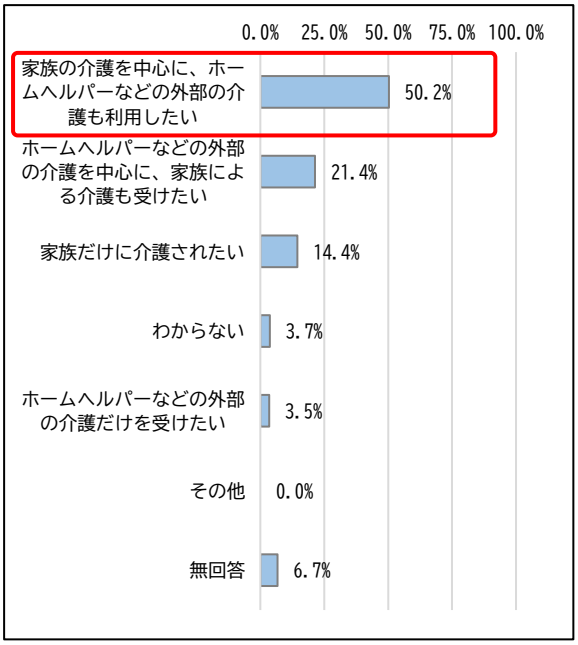
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=742）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=811）



■　「重度」要介護認定者調査（n=402）

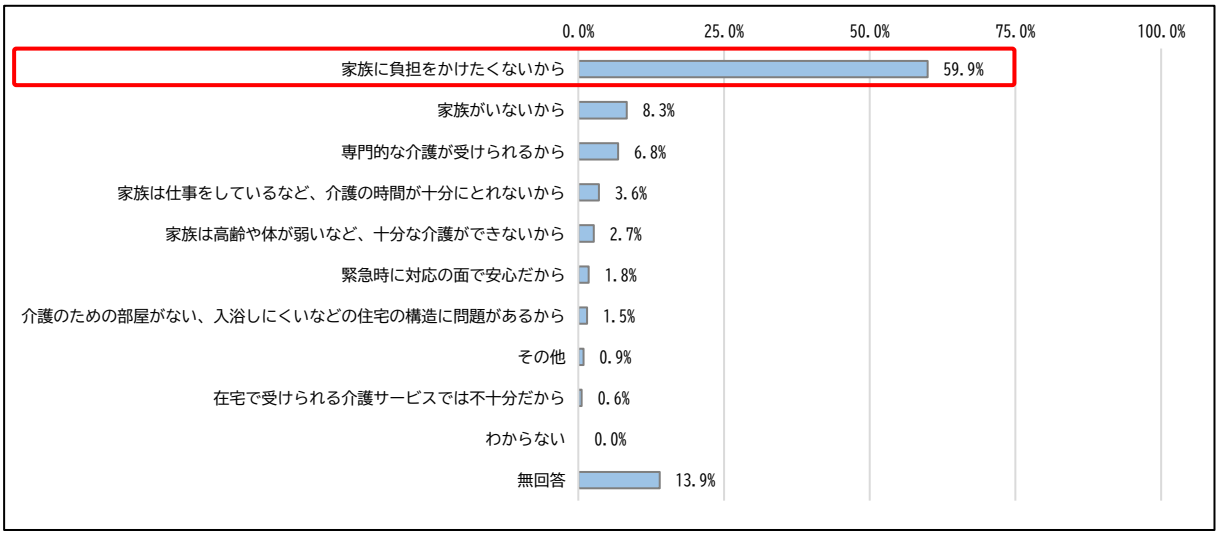


外部の介護を受けたいと回答した方のみ、お答えください。

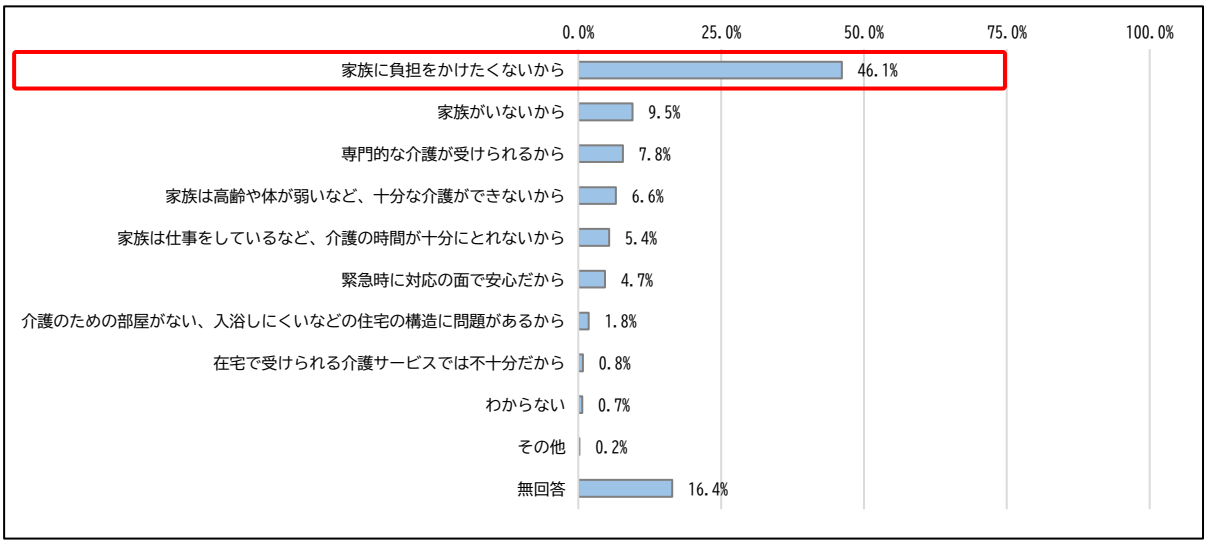
あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

施設入所を選択する理由について、「家族に負担をかけたくないから」と回答した割合が最も高く、若年者では約６割となっています。

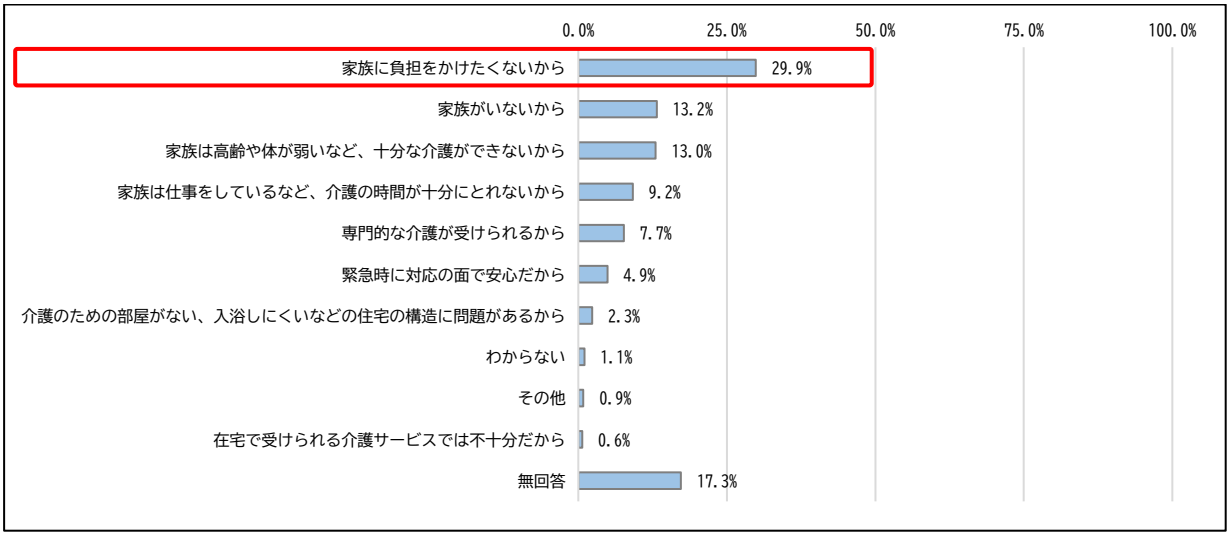
■　若年者調査（n＝337）



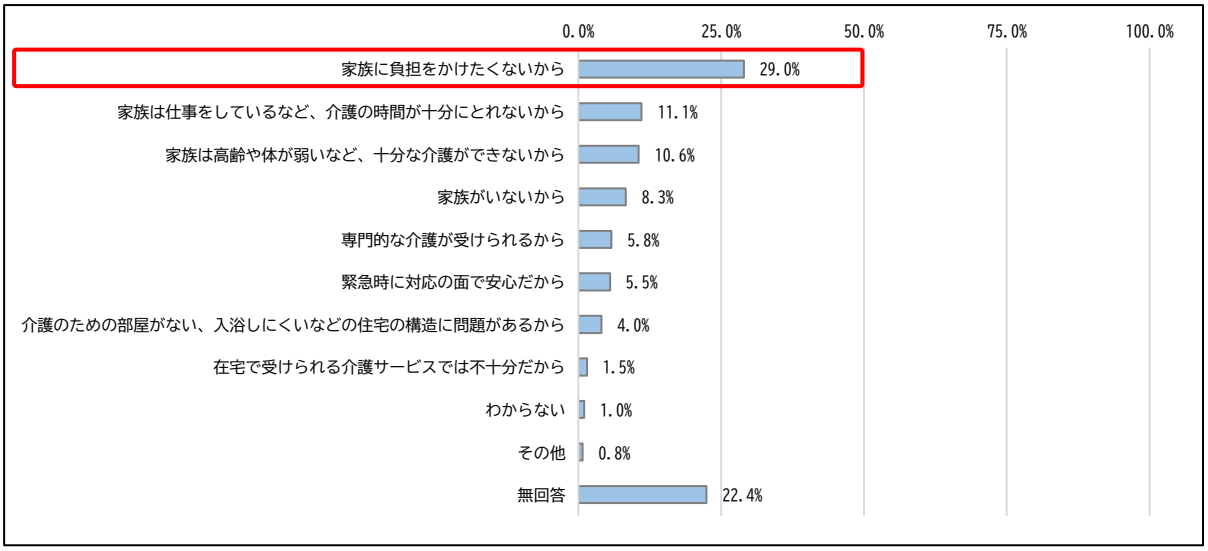
■　一般高齢者調査（n＝1,475）



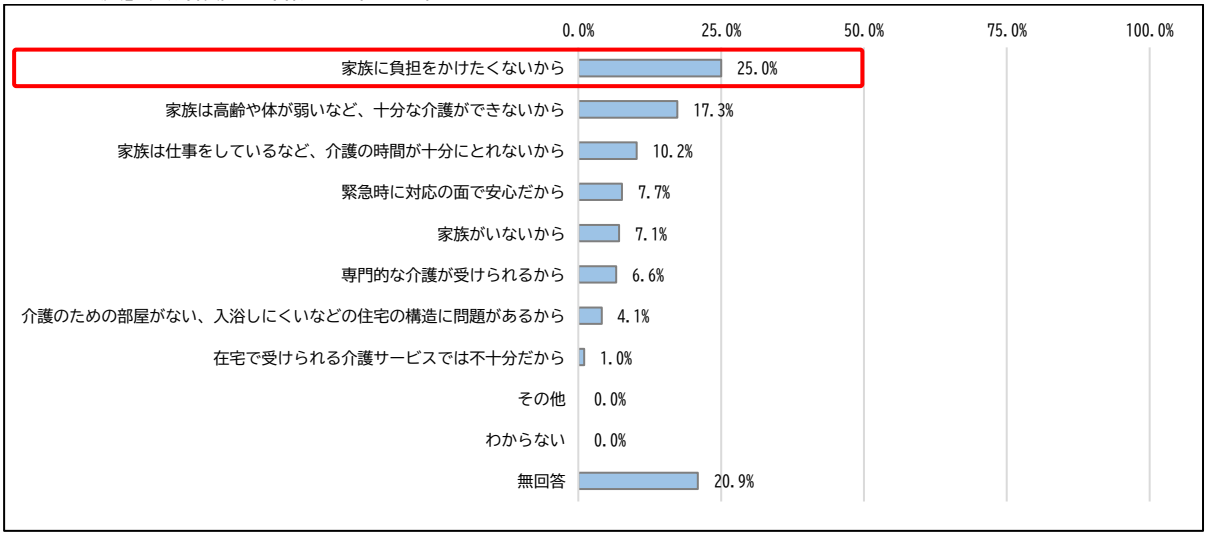
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=469）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=397）



■　「重度」要介護認定者調査（n=196）

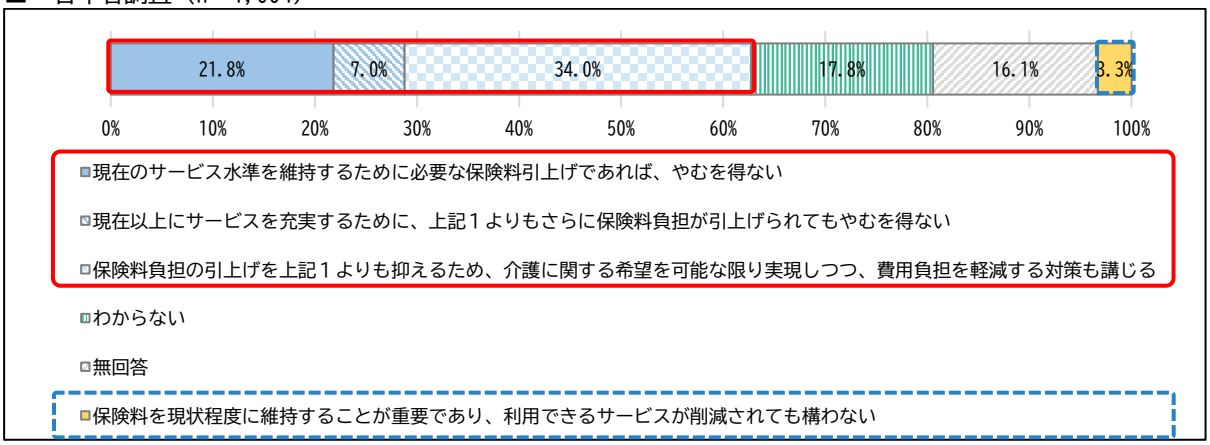


（５）介護サービスと保険料負担

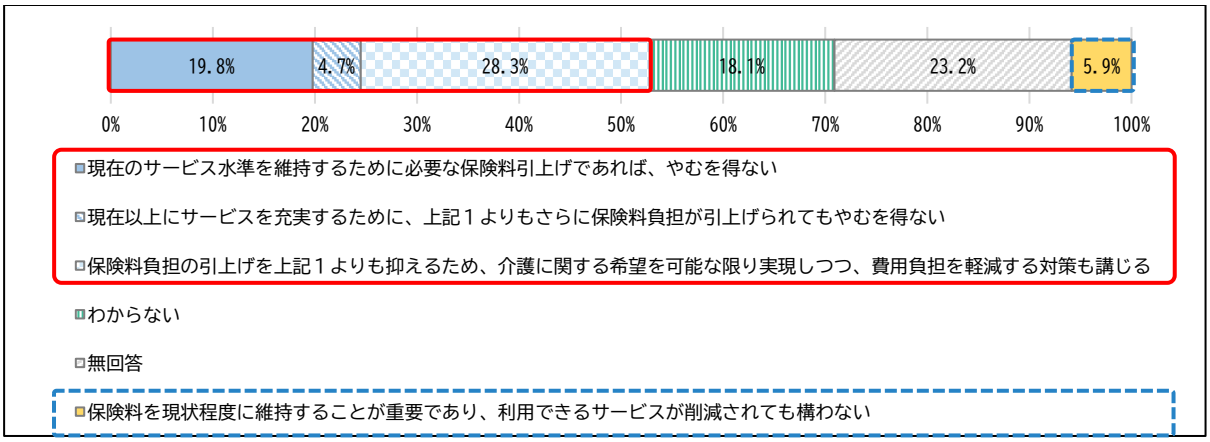
今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

サービス水準を維持していくための保険料負担について「引上げについてやむを得ない」と回答した割合について、若年者では 62.8%、一般高齢者では 52.8%、事業対象者・要支援認定者では 54.2%、「軽度」要介護認定者では 52.5%、「重度」要介護認定者では 58.9%となっています。

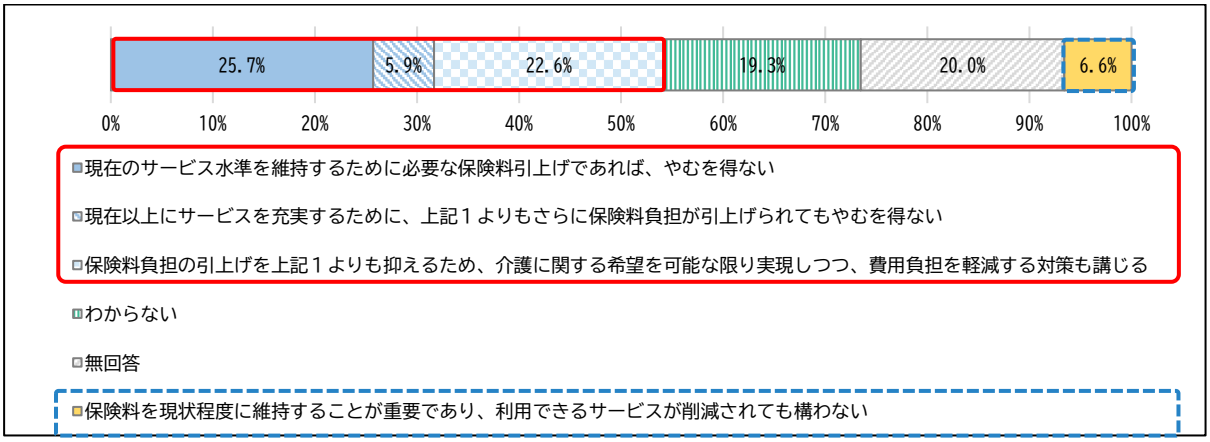
■　若年者調査（n＝1,004）



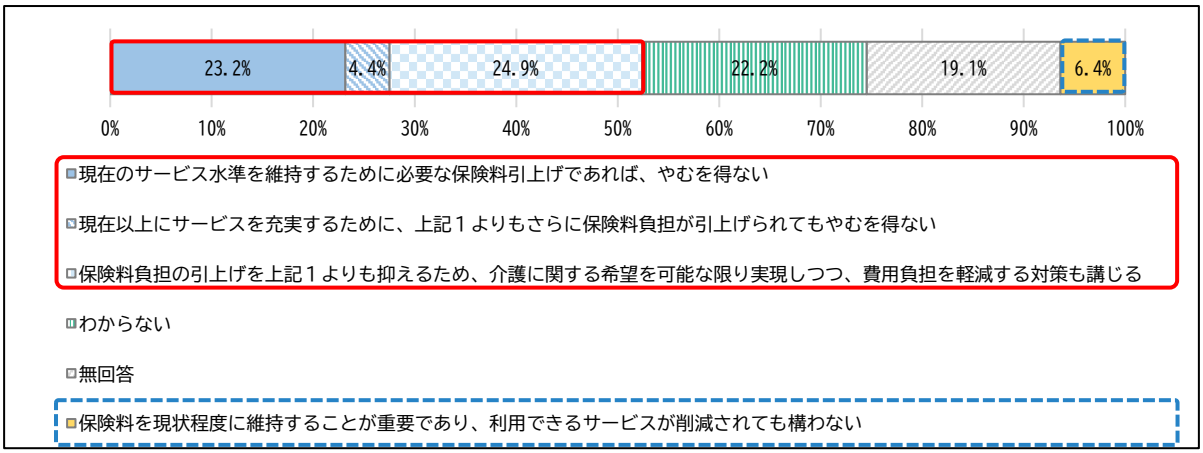
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



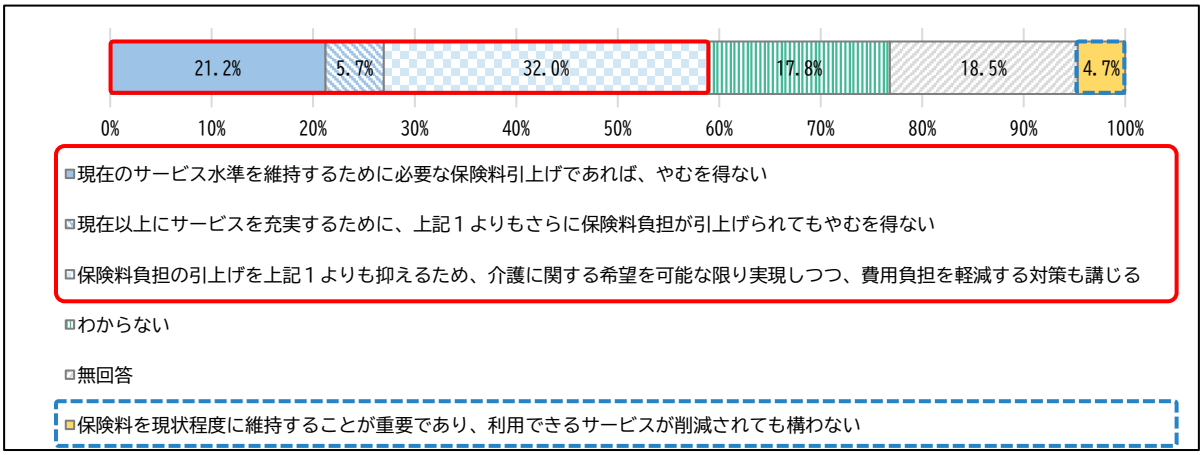
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1，614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



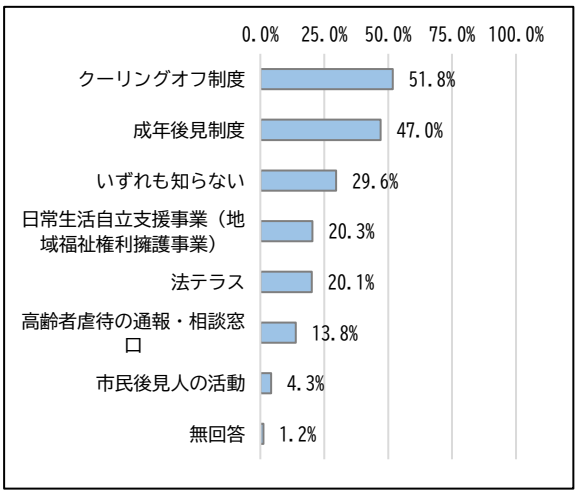
12．権利擁護・成年後見人制度について

（１）権利擁護

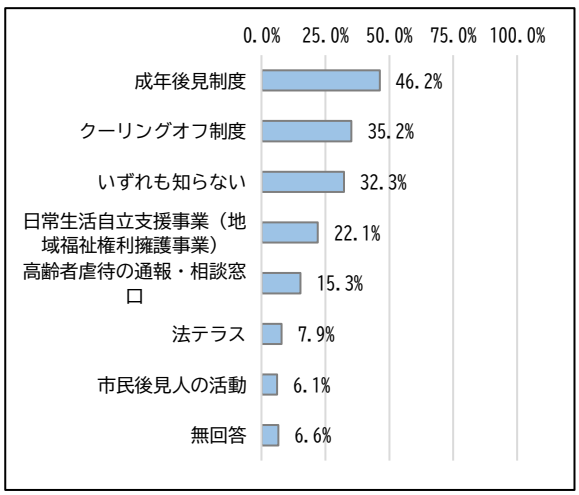
あなたが、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて、若年者並びに一般高齢者では、「クーリングオフ制度」「成年後見制度」の認知度が高くなっていますが、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「いずれも知らない」が最も多くなっています。

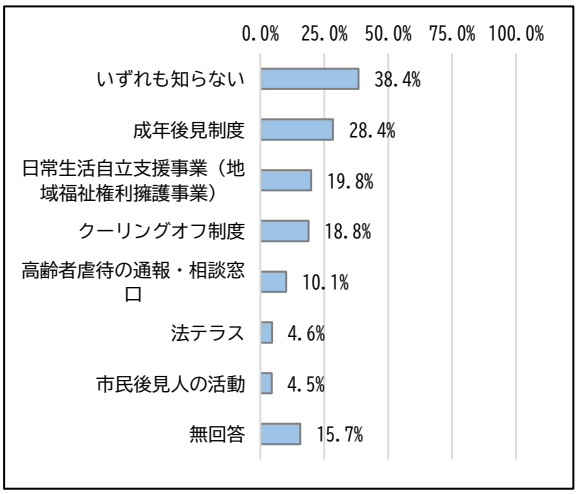
■　若年者調査（n＝1,004）



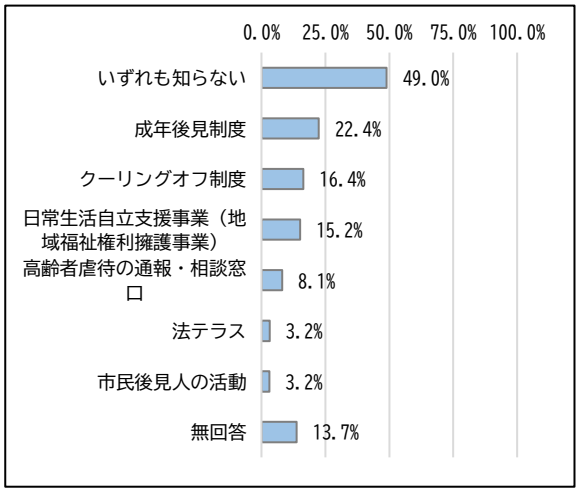
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



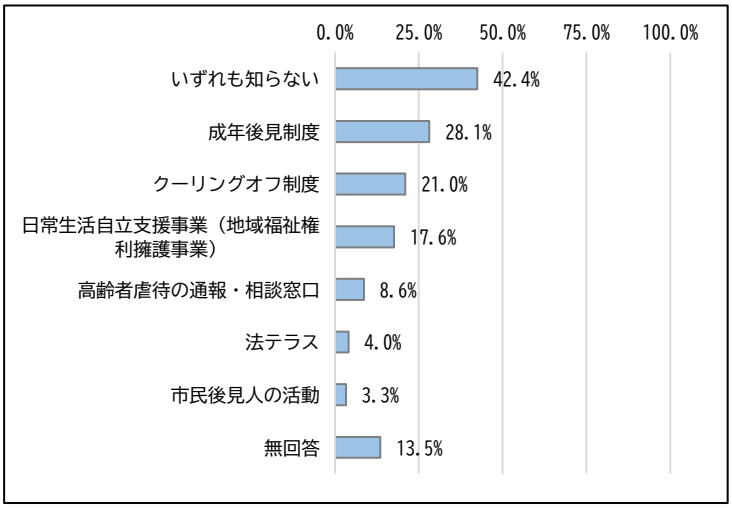
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

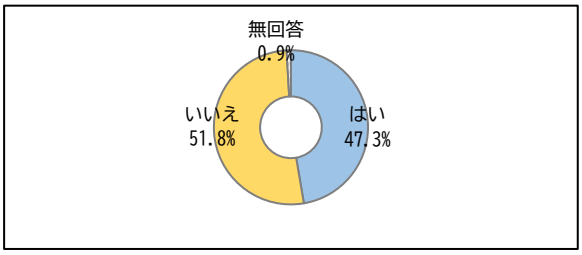


（２）高齢者虐待の防止

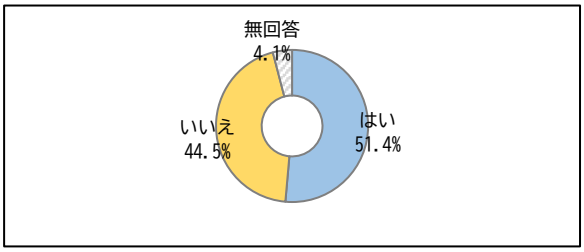
あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（どちらかの番号に○）

高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることについて、「知っている」と回答した割合は約 50%となっています。

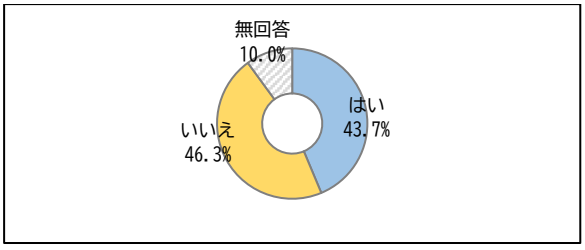
■　若年者調査（n＝1,004）



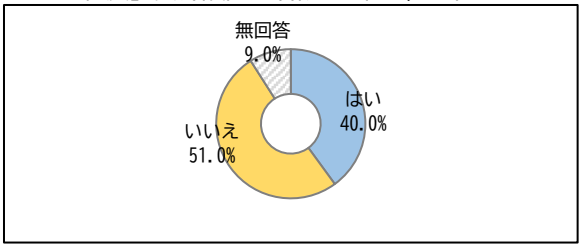
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



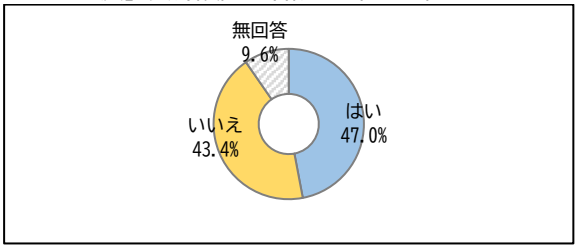
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



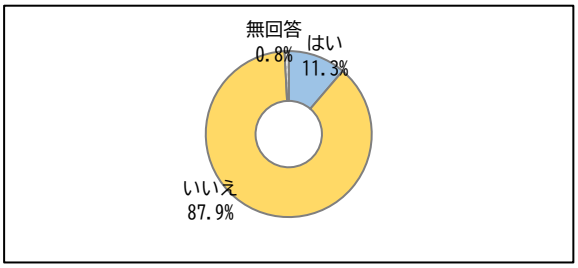
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



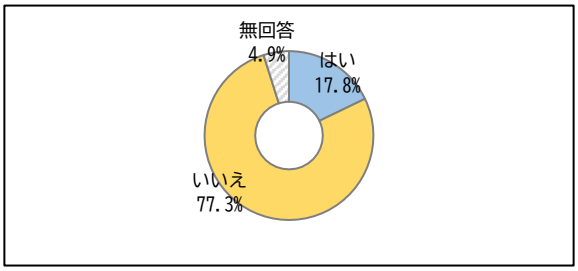
あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（どちらかの番号に○）

高齢者虐待を発見した場合の通報先について、「知っている」と回答した割合は約 15%となっています。

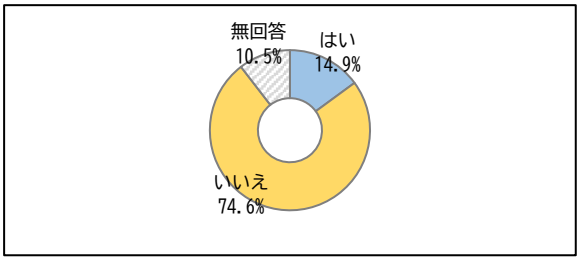
■　若年者調査（n＝1,004）



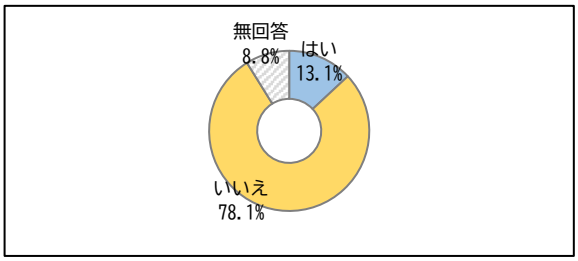
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



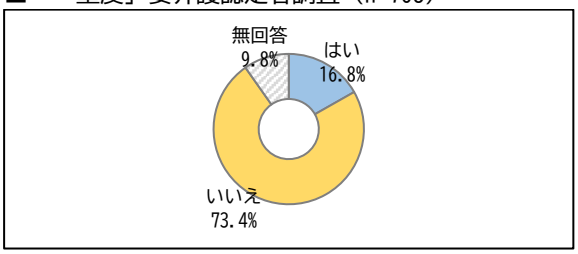
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



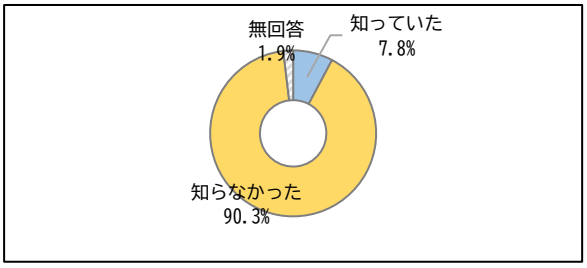
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



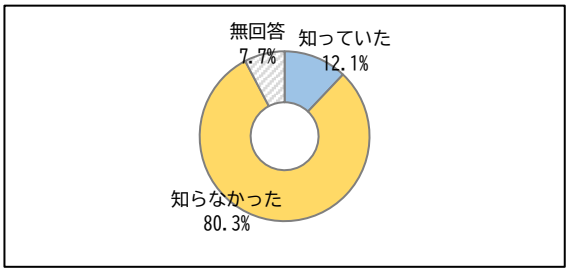
あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。

高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることについて、「知っている」と回答した割合は約 10%となっています。

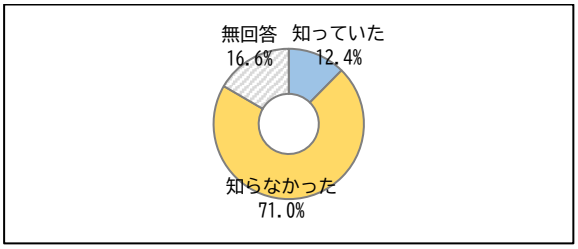
■　若年者調査（n＝1,004）



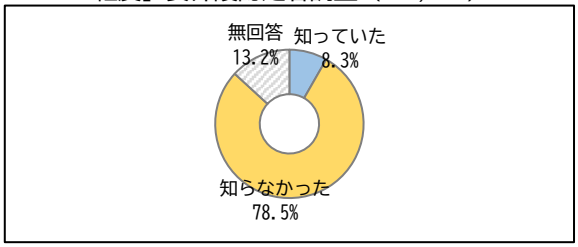
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



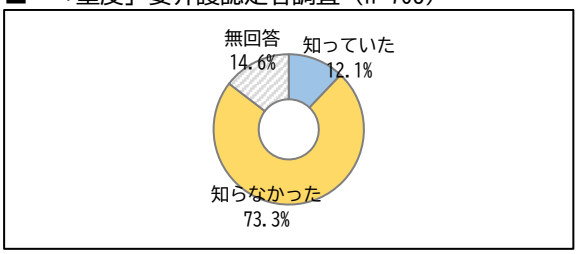
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



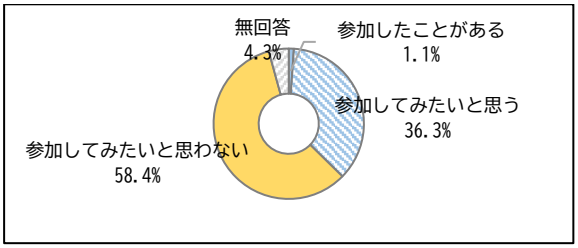
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



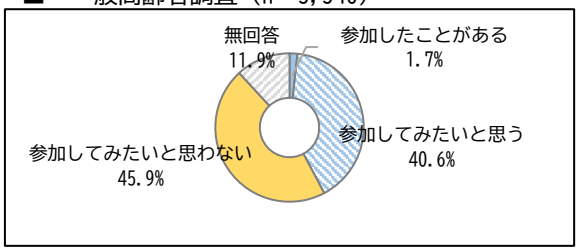
あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会に参加してみたいと思いますか（１つに○）

高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会に「参加したことがある」「参加してみたい」と回答した割合について、若年者では 37.4%、一般高齢者では 42.3%と高くなっています。

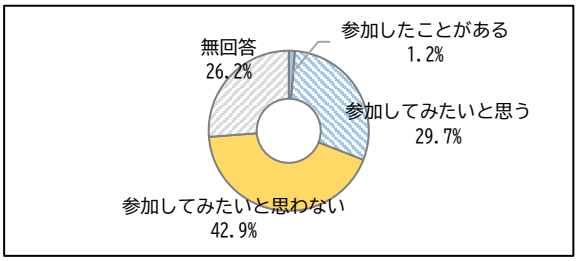
■　若年者調査（n＝1,004）



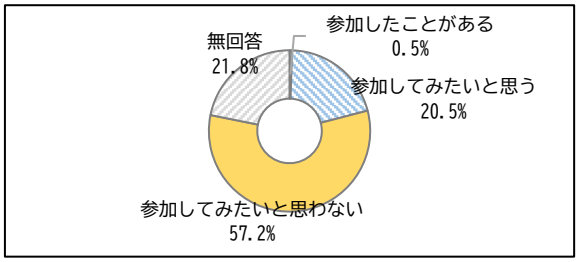
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



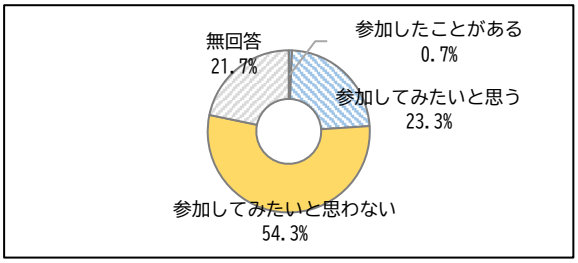
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



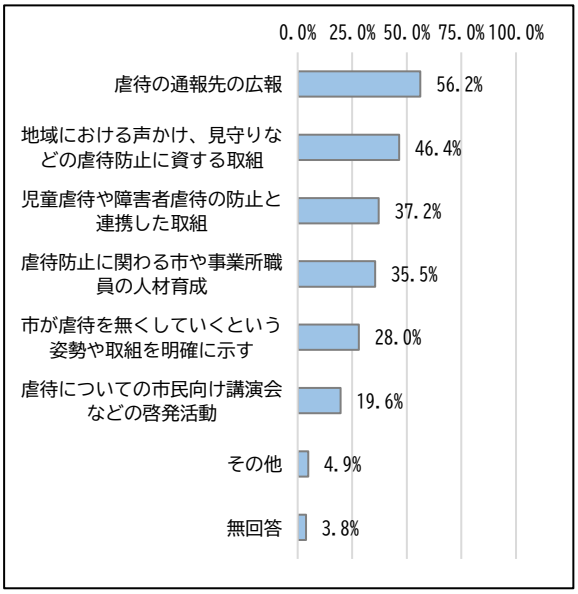
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



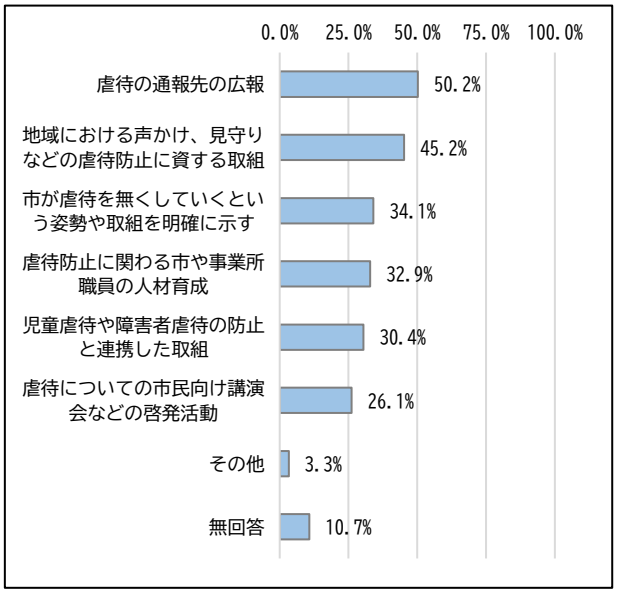
虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

虐待の防止を推進するための取り組みとして「虐待の通報先の広報」「地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組」が必要であると回答した割合が高くなっています。

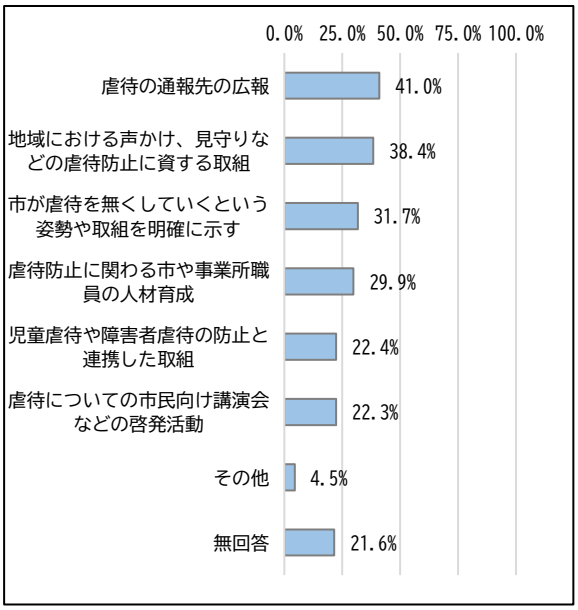
■　若年者調査（n＝1,004）



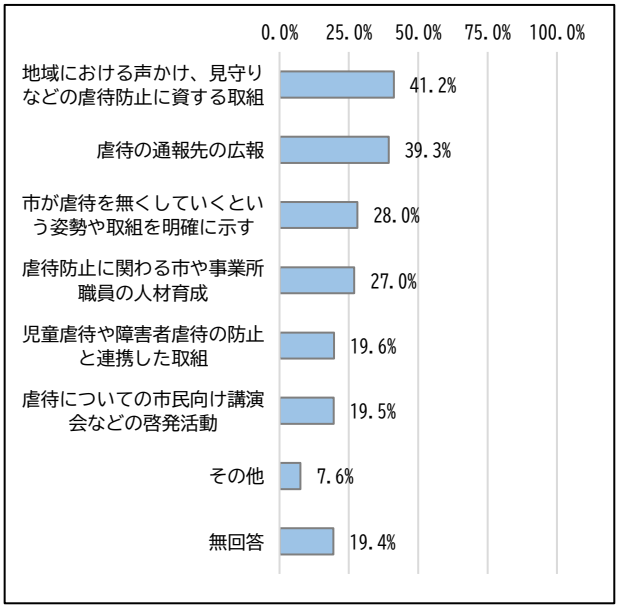
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



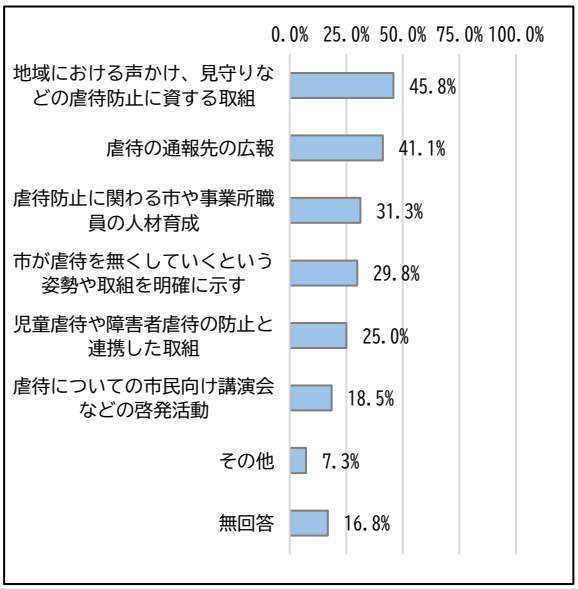
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

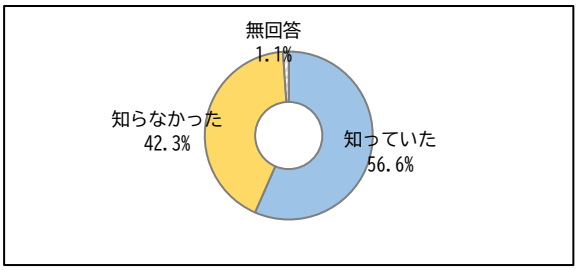


（３）成年後見制度の認知度

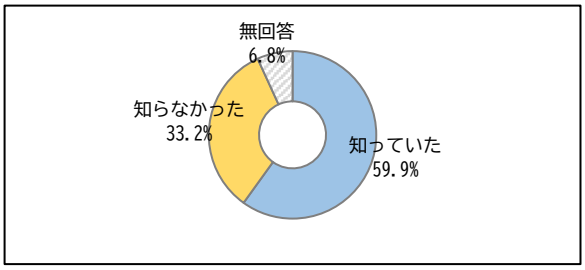
成年後見制度を知っていましたか。（どちらかに○）

成年後見制度を「知っている」と回答した割合について、若年者並びに一般高齢者ともに約６割となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



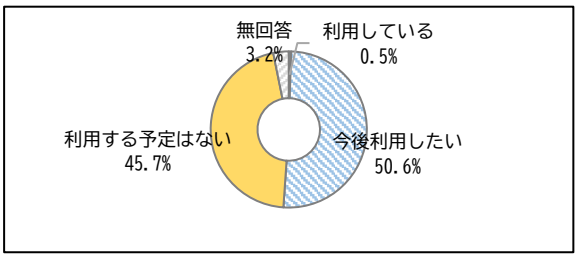
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



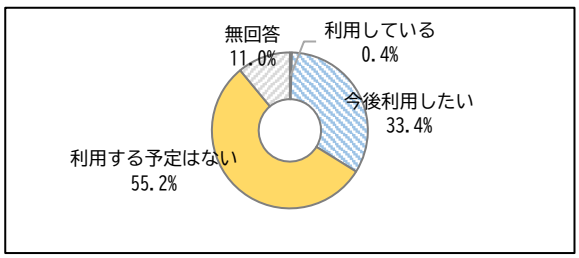
必要になったときに成年後見制度を利用したいですか（１つに○）

必要になったとき、成年後見制度を「利用したい」と回答した割合について、若年者では50.6%、一般高齢者では33.4%となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）

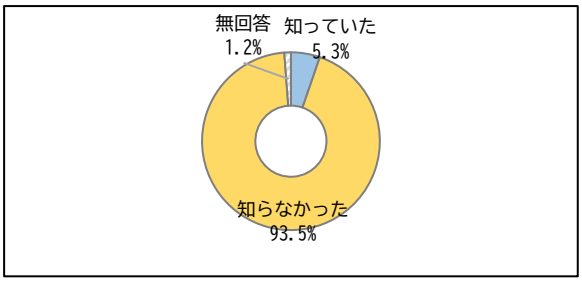


（４）市民後見協力員の認知度

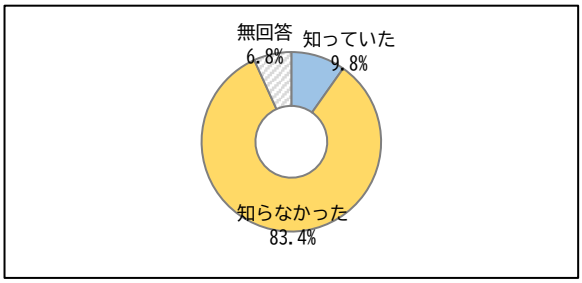
「市民後見協力員」について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。この制度について、知っていましたか。（どちらかに○）

市民後見協力員制度を「知っている」と回答した割合について、若年者では 5.3%、一般高齢者では 9.8%にとどまっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



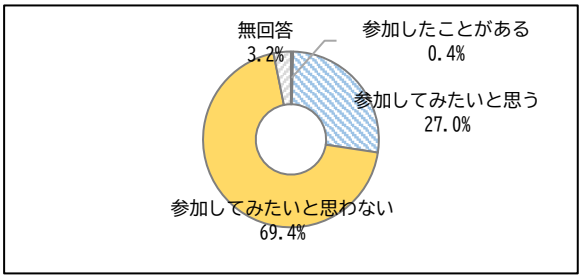
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



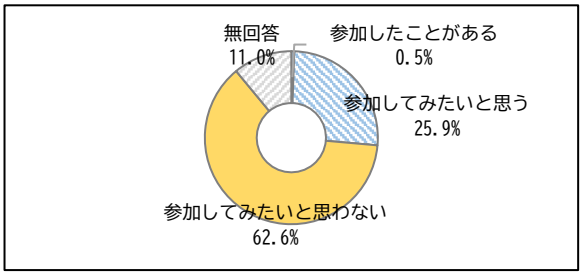
「市民後見協力員」について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。講座に参加してみたいと思いますか（１つに○）

市民後見協力員養成講座について「講座に参加してみたいと思う」と回答した割合は、若年者では 27.0%、一般高齢者では 25.9%となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



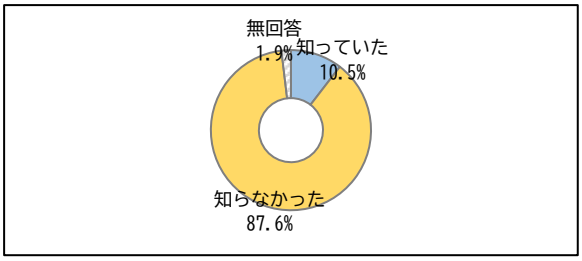
13．市の高齢者施策について

（１）福祉まるごと相談窓口

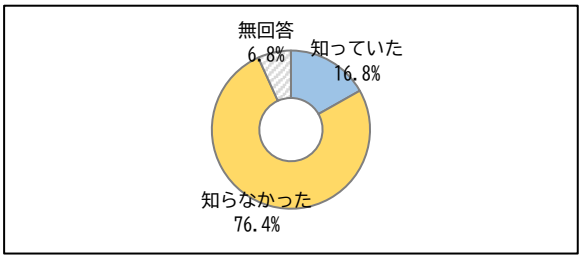
福祉まるごと相談窓口について名称や内容を知っていましたか（どちらかに○）

福祉まるごと相談窓口の名称や内容について知っていると回答した割合は、若年者では10.5%、一般高齢者では16.8%となっています。

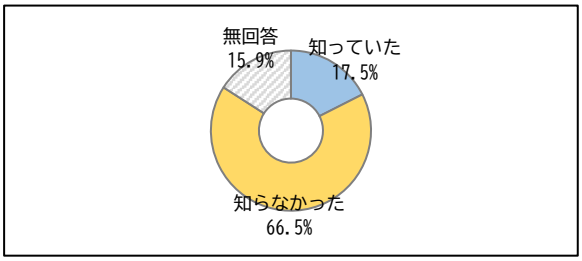
■　若年者調査（n＝1,004）



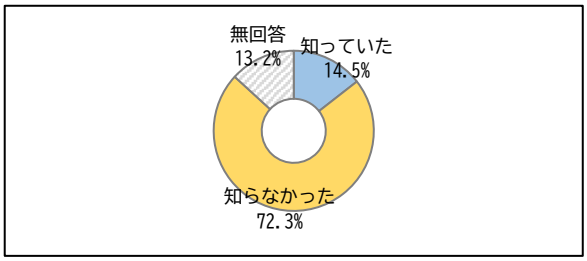
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



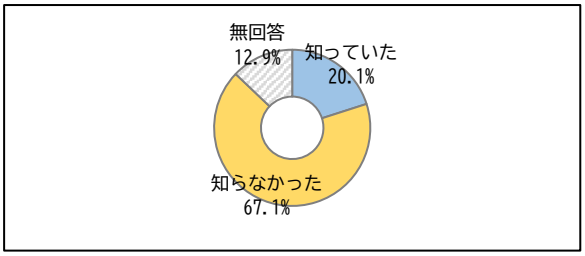
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



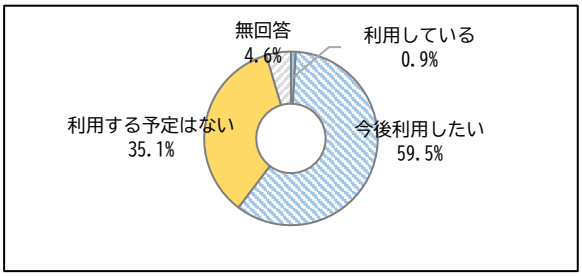
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



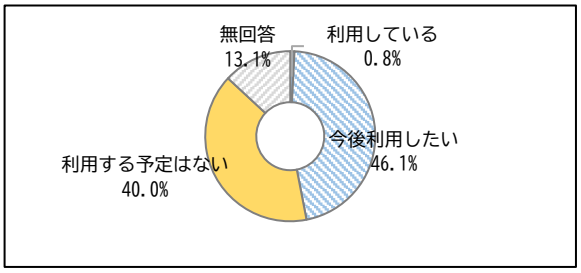
福祉まるごと相談窓口について利用してみたいと思いますか（１つに○）

福祉まるごと相談窓口を「今後利用したい」と回答した割合について、若年者では 59.5%と高くなっており、一般高齢者では 46.1%となっています。

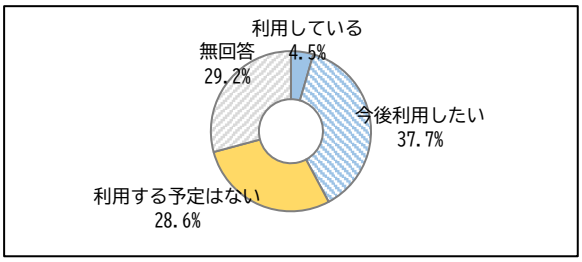
■　若年者調査（n＝1,004）



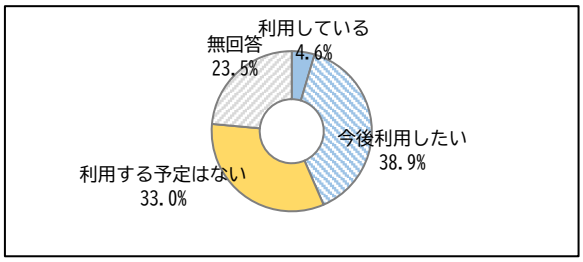
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



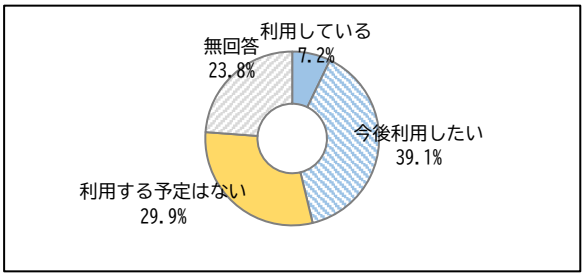
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



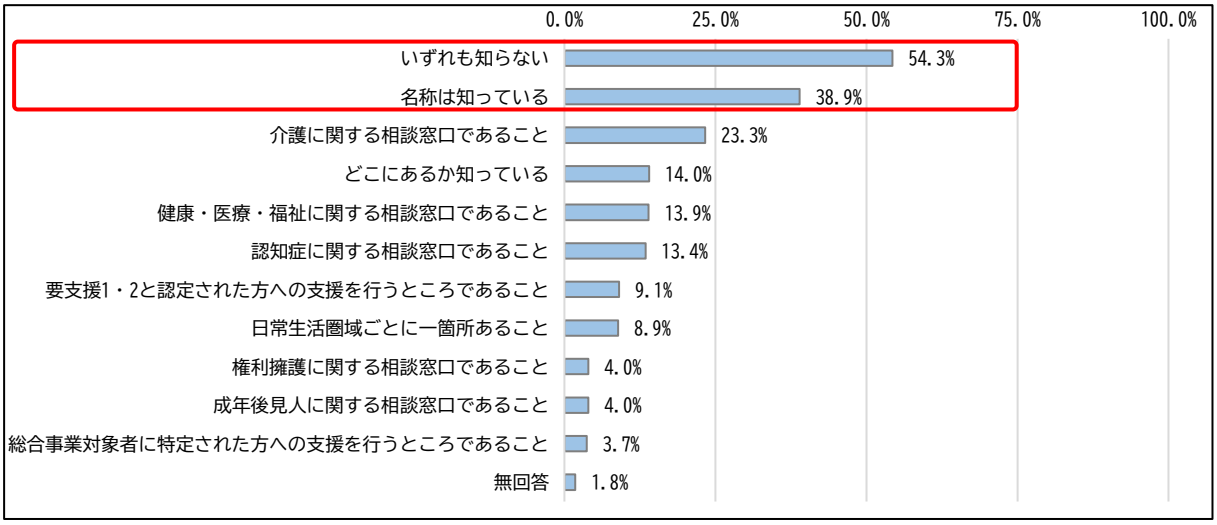
（２）高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）

高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

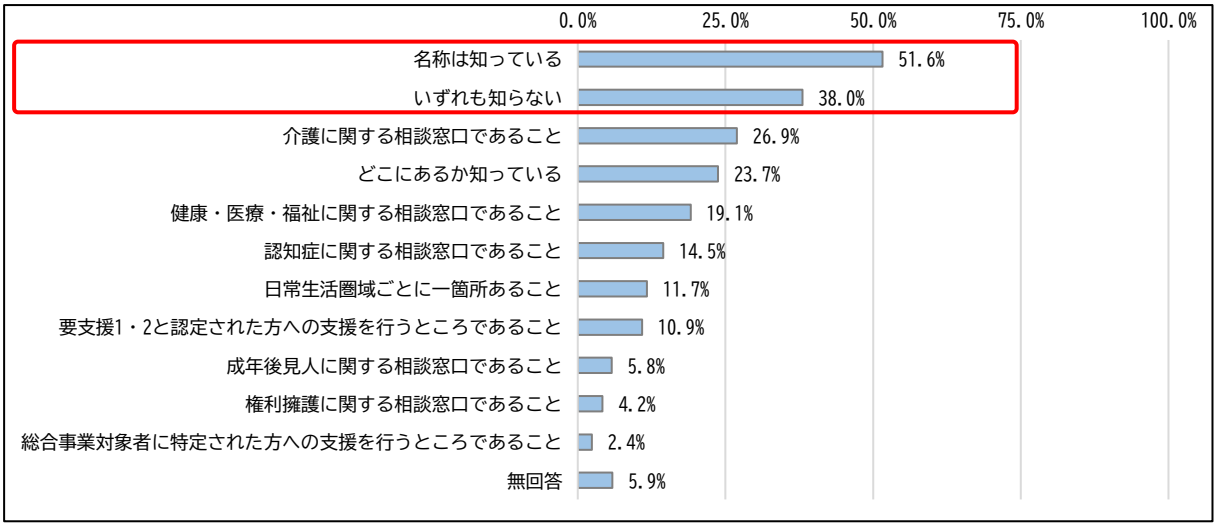
高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について、若年者では「いずれも知らない」と回答した割合が最も高く 54.3%となっており、一般高齢者では「名称は知っている」が最も高く 51.6%となっている一方、「いずれも知らない」と回答した割合も 38.0%と高くなっています。事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者においては「名称は知っている」と回答した割合が高くなるとともに「介護に関する相談窓口であること」と回答した割合も高くなっています。

事業対象者

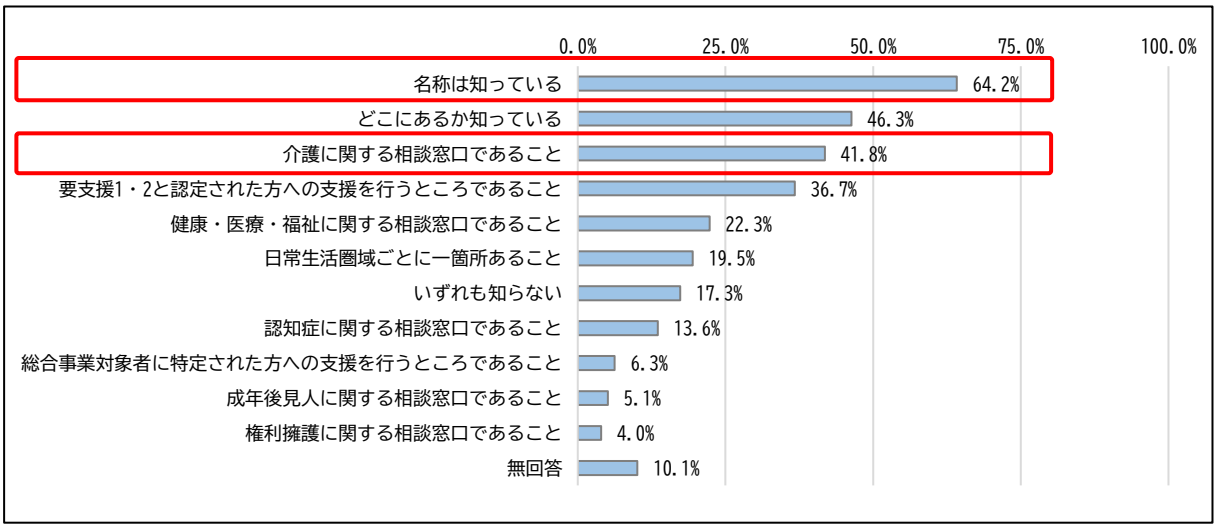
■　若年者調査（n＝1,004）



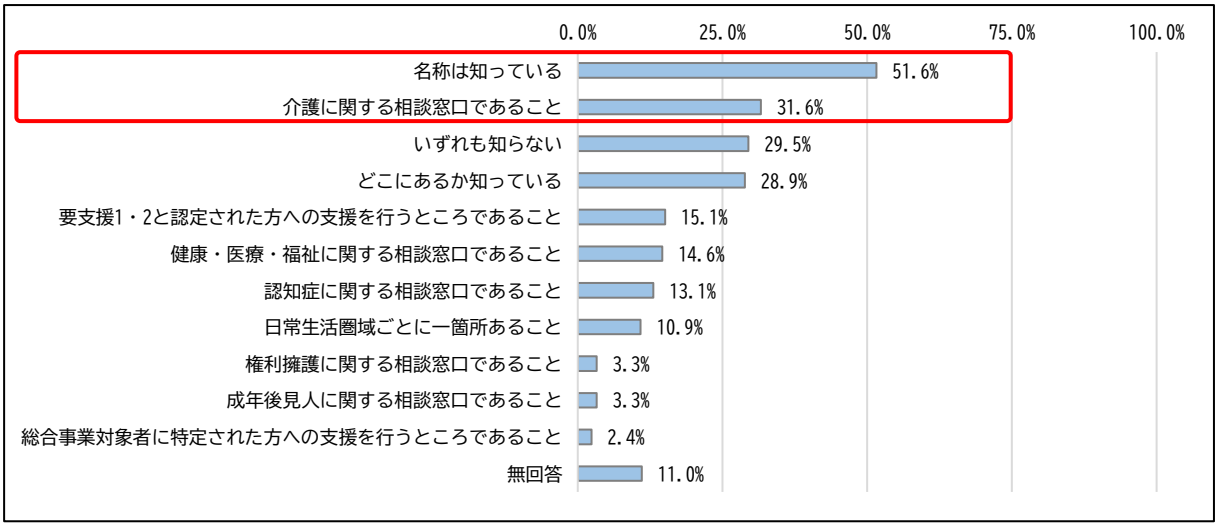
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



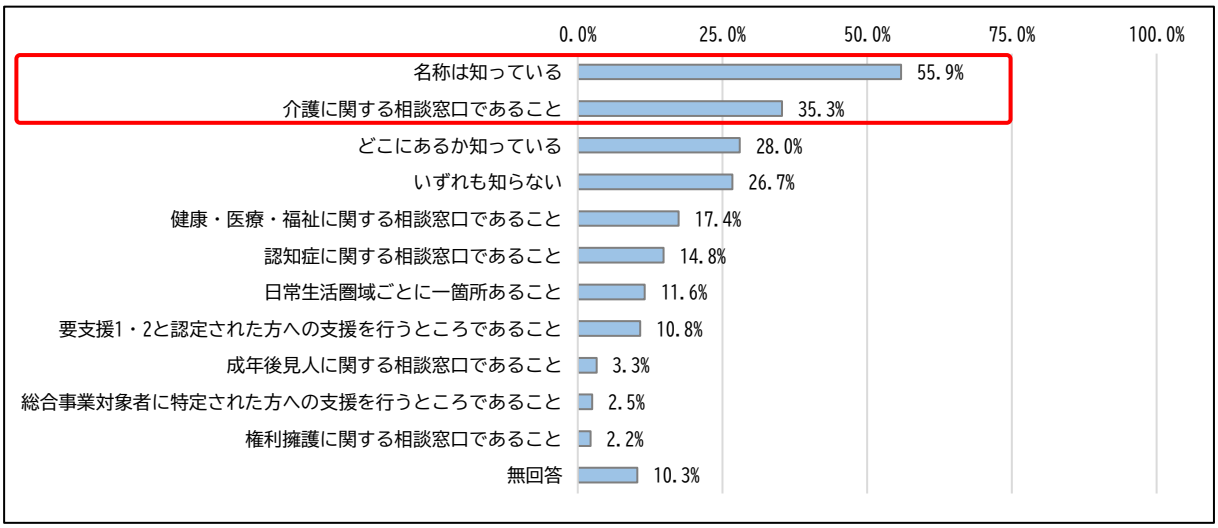
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

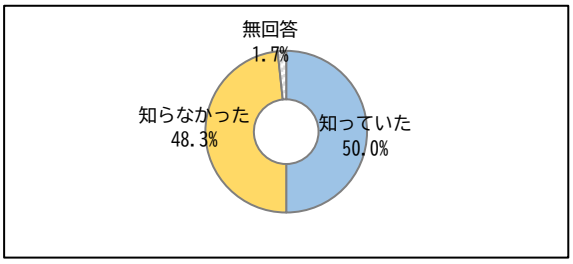


（３）在宅医療

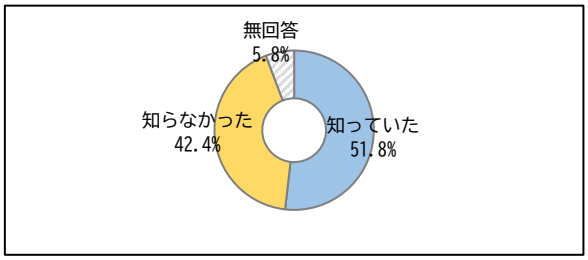
松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。（どちらかの番号に○）

在宅医療について「知っていた」と回答した割合は、若年者、一般高齢者では約５割となっており、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では約 45%となっています。

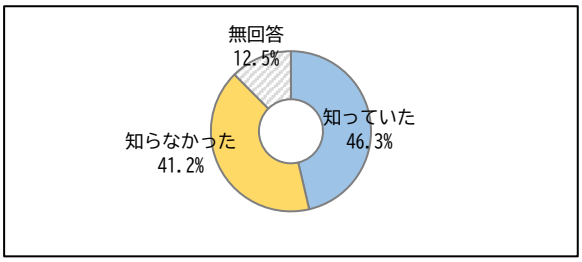
■　若年者調査（n＝1,004）



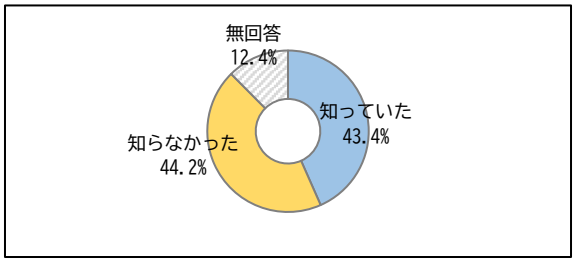
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



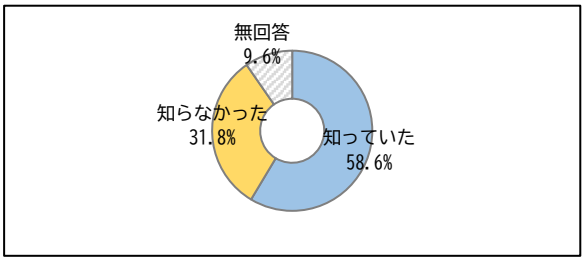
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

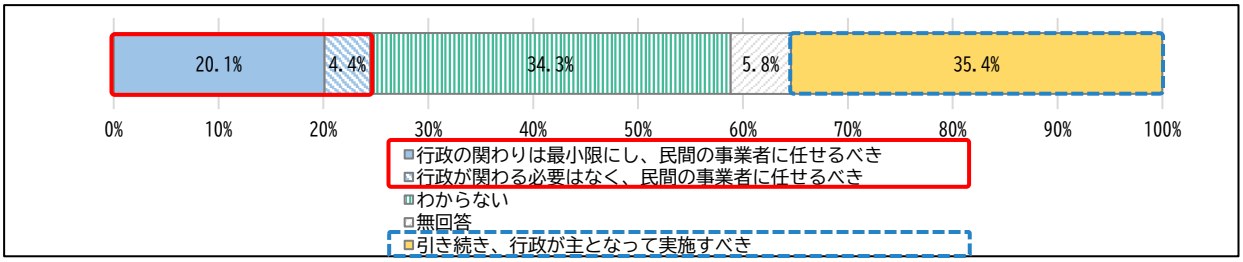


（４）配食サービス

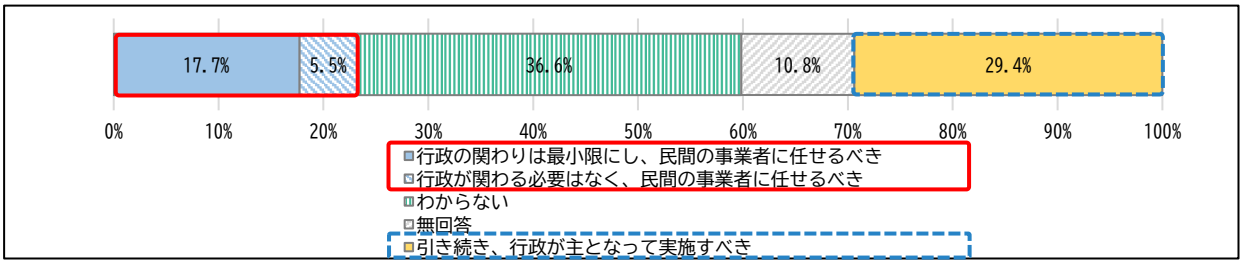
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

配食サービスについて、「民間の事業者に任せるべき」と回答した割合と、「引き続き、行政が主となって実施すべき」と回答した割合について拮抗しています。

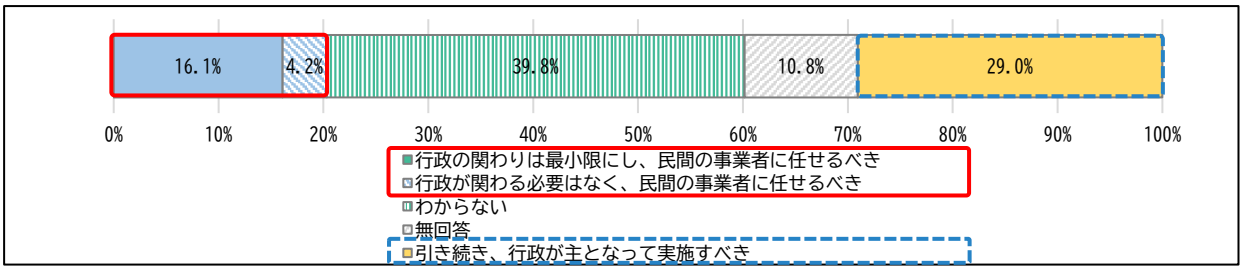
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



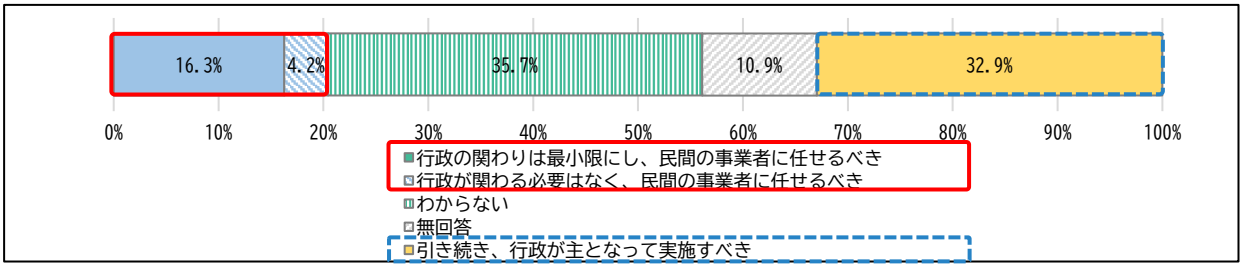
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

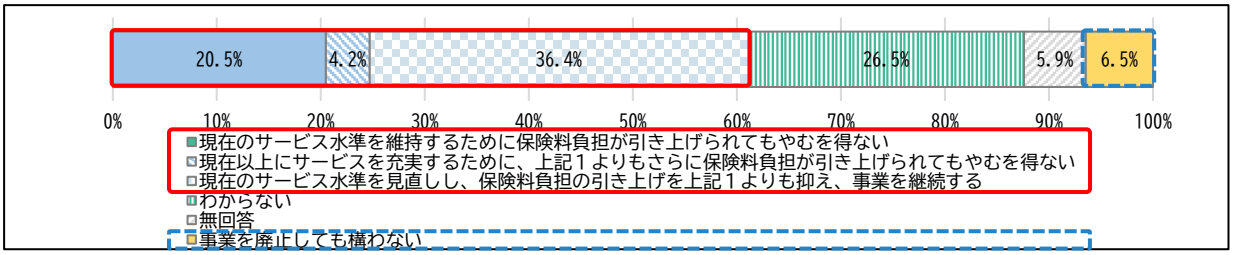


（５）紙おむつ支給事業

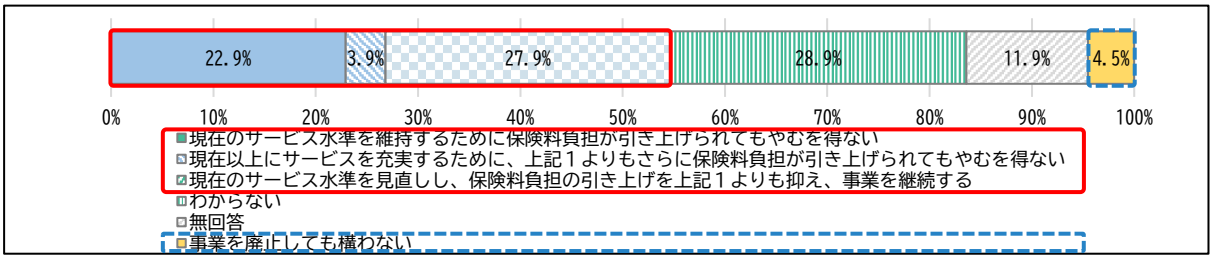
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

紙おむつを支給する事業について、「現在のサービス水準を見直し事業を継続する」と回答した割合が最も高く、次いで「現在のサービス水準を維持するため保険料が引き上げられてもやむを得ない」となっており、事業の継続を要望する割合が高くなっています。

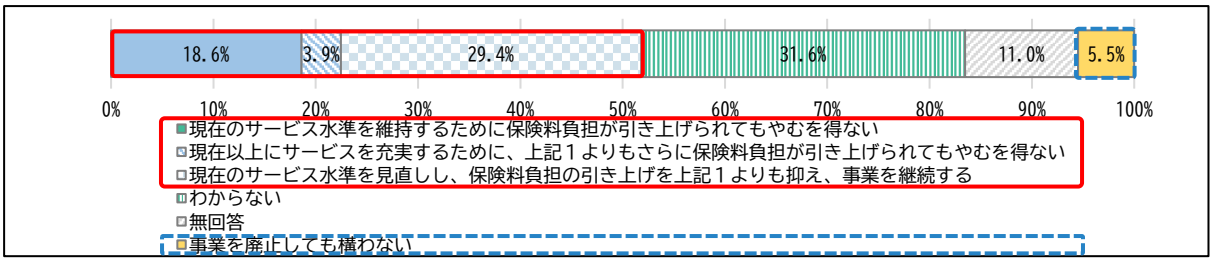
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



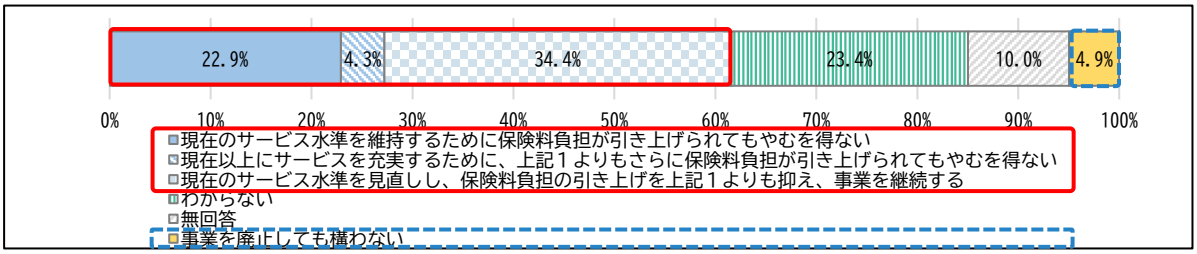
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

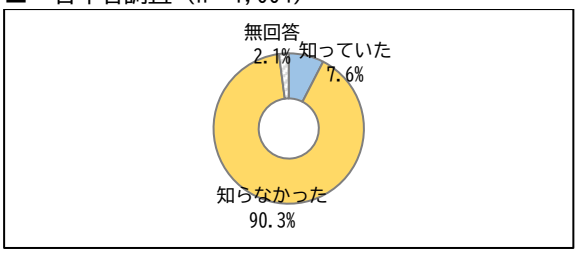


（６）家族介護に関する講座

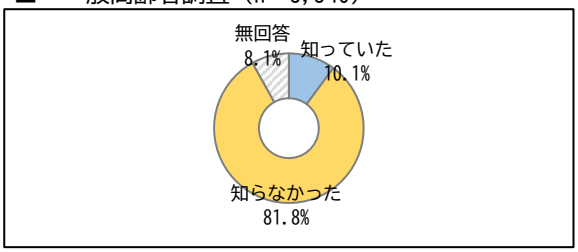
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。（どちらかに○）

「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座について「知っている」と回答した割合は、若年者では 7.6%、一般高齢者では 10.1%に留まっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



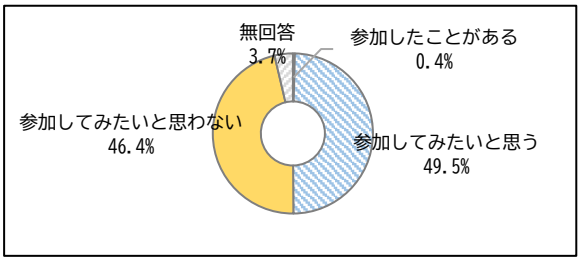
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



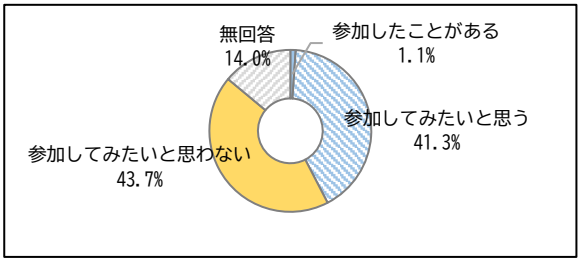
家族介護に関する講座について参加してみたいと思いますか。（どちらかに○）

「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座について「参加してみたい」と回答した割合は、若年者では 49.5%、一般高齢者では 41.3%と高くなっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）

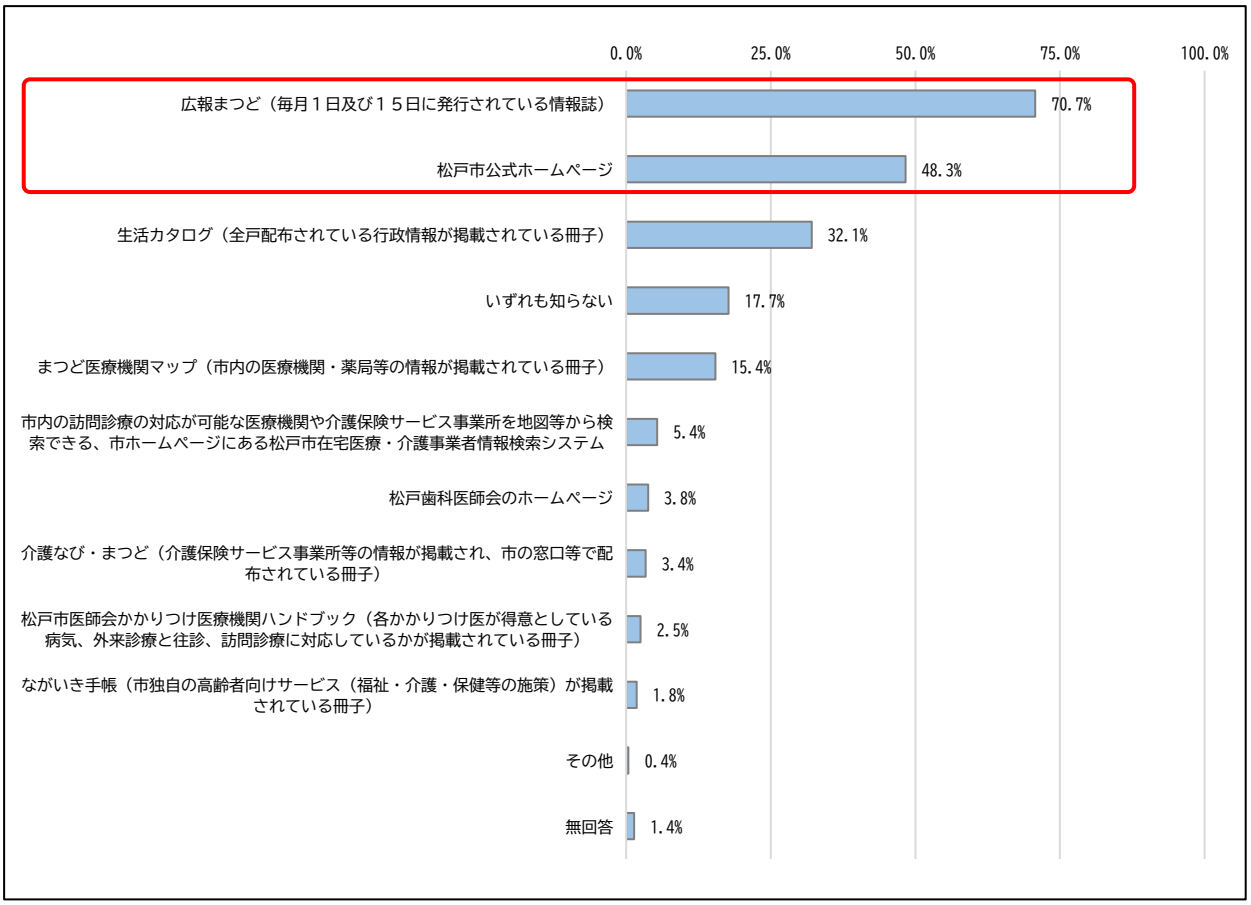


（７）高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段

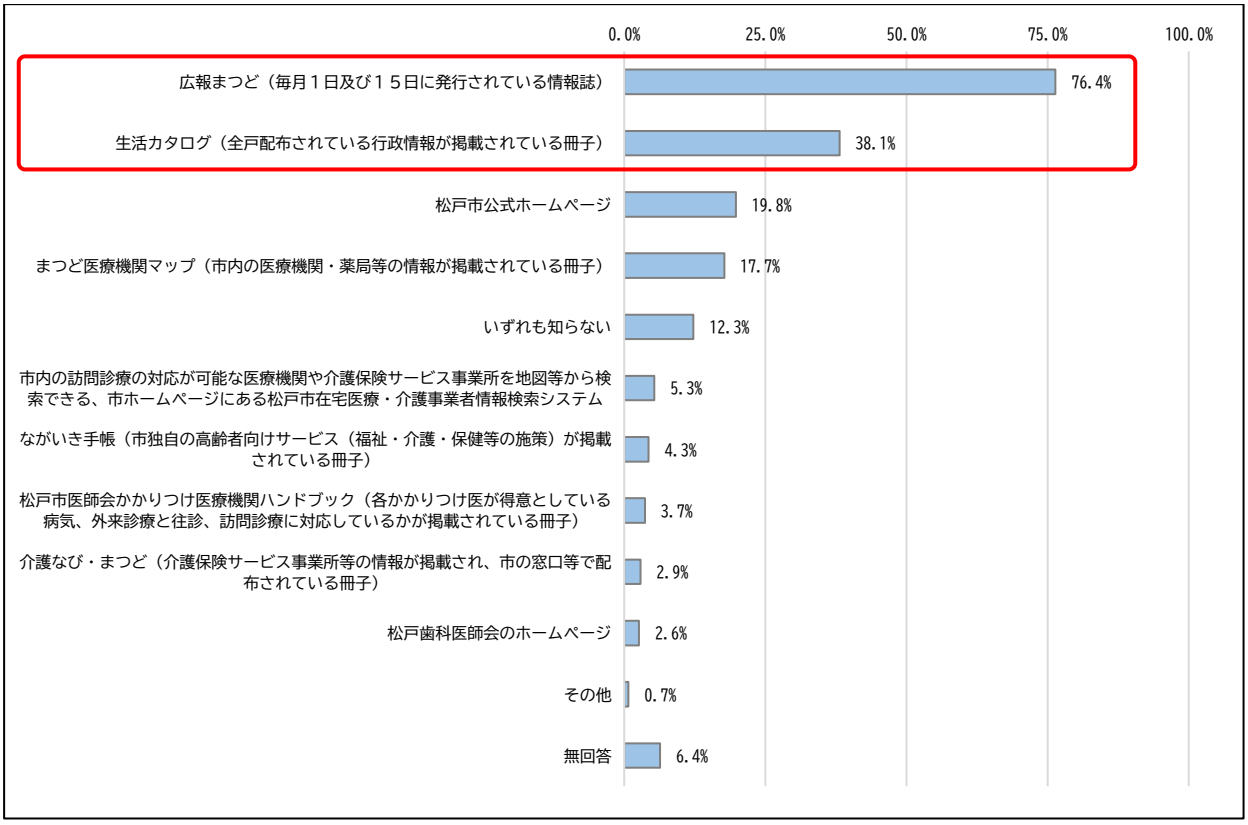
松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として知っているものについて、「広報まつど」が最も多く、若年者では 70.7%、一般高齢者では 76.4%となっています。次いで若年者では松戸市公式ホームページとなっており、一般高齢者、要支援認定者、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「生活カタログ」となっています。

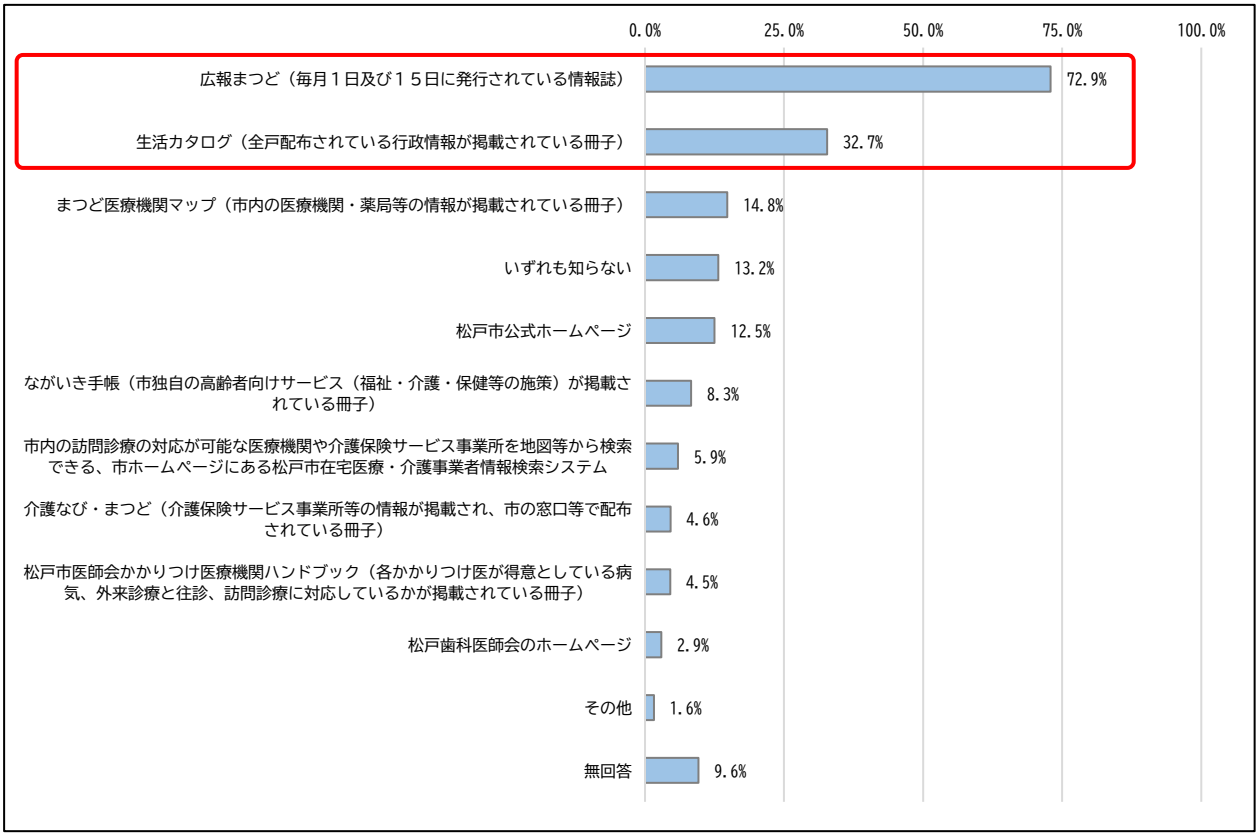
■　若年者調査（n＝1,004）



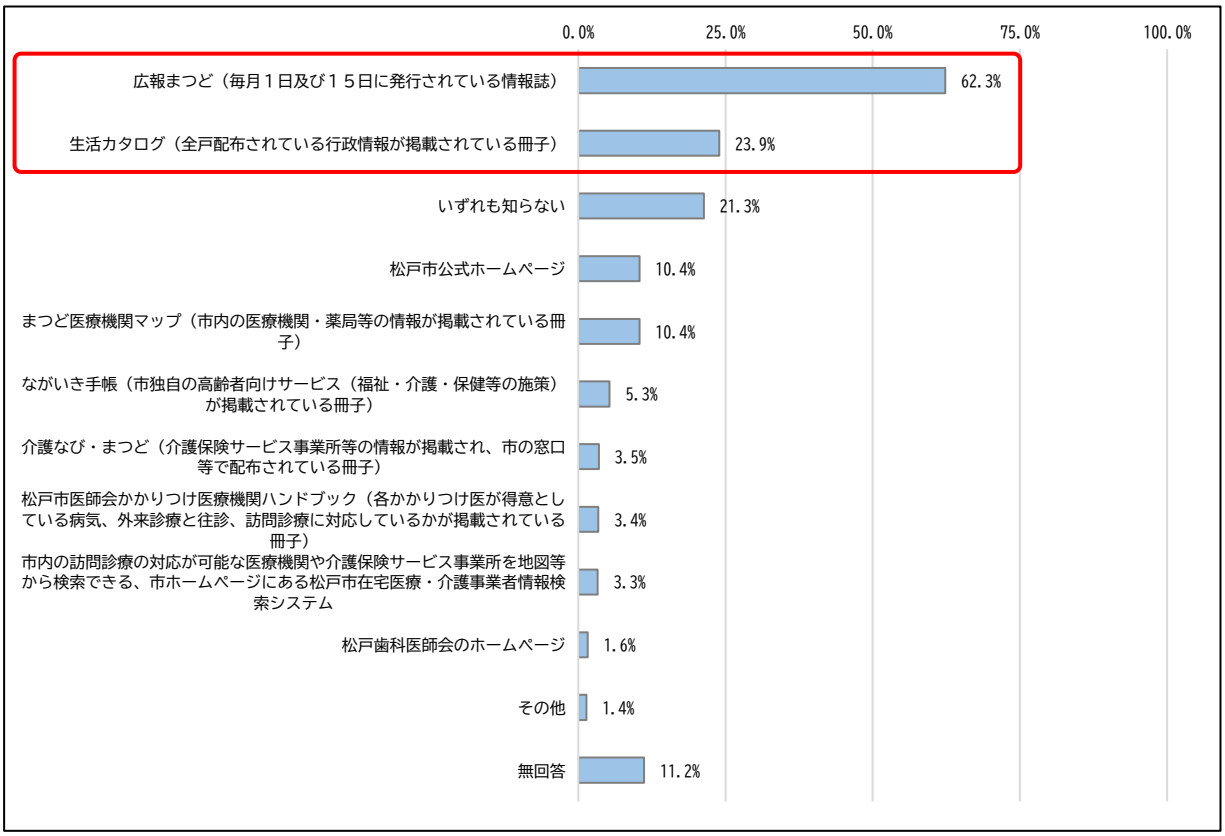
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



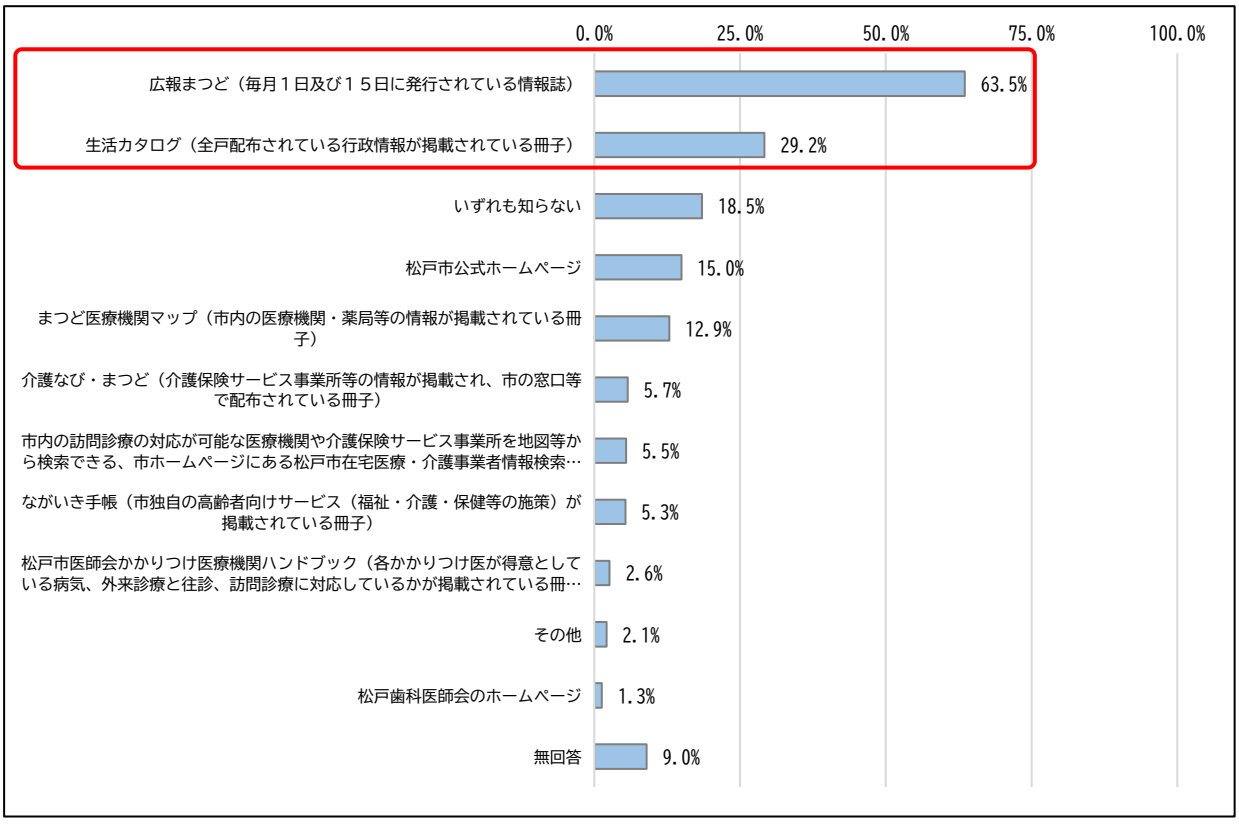
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1，584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



14．介護に関することについて

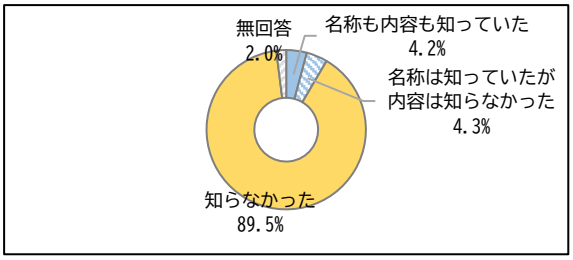
（１）介護に関する名称

以下の名称について知っていましたか。

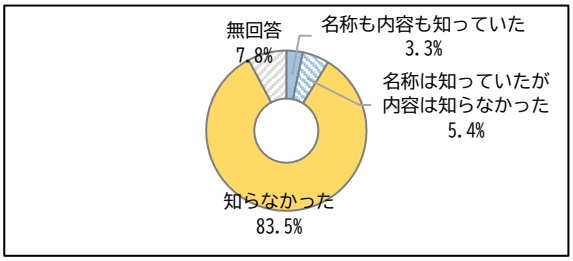
ケアラー、ヤングケア、ダブルケアについての認知度は以下の通りとなっています。

①　ケアラー

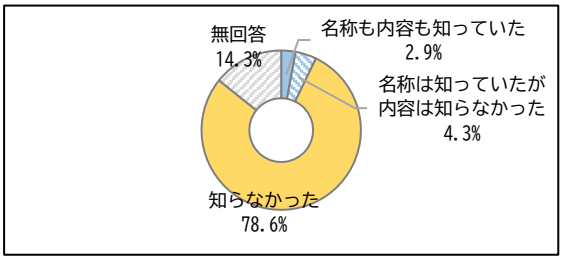
■　若年者調査（n＝1,004）



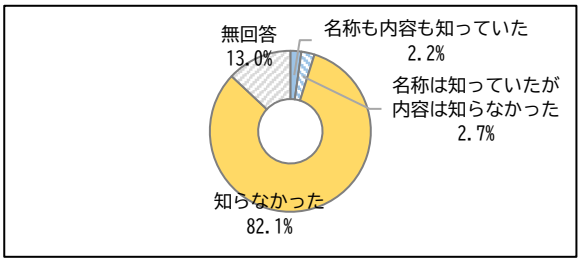
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



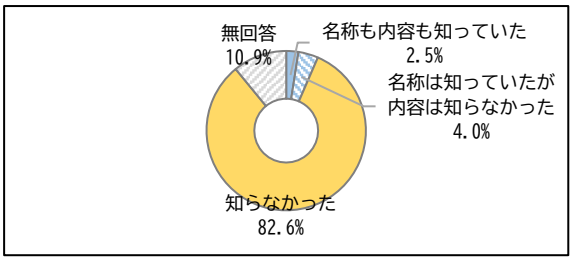
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

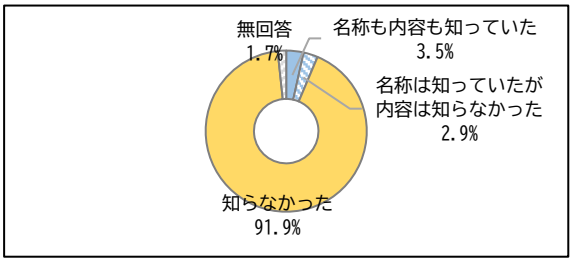


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

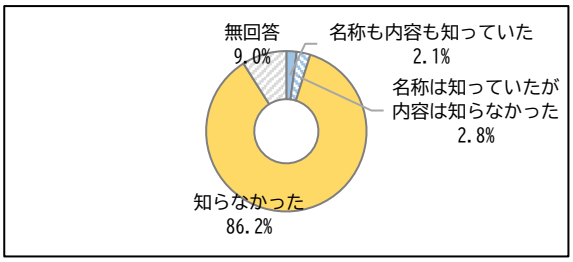


②　ヤングケア

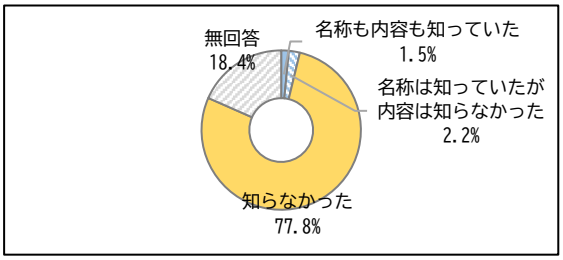
■　若年者調査（n＝1,004）



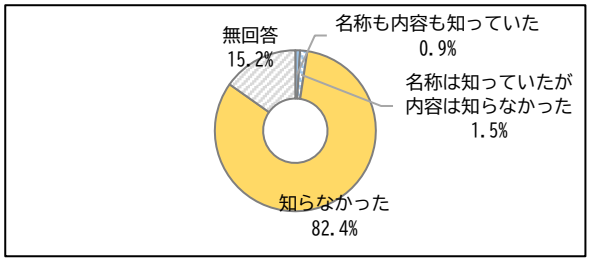
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



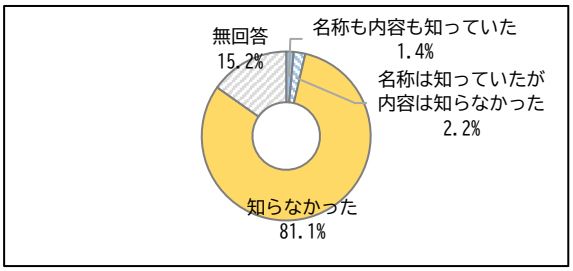
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）

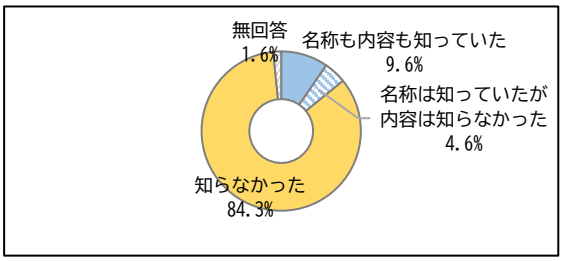


■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

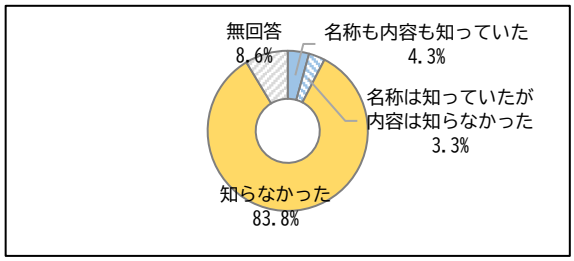


③　ダブルケア

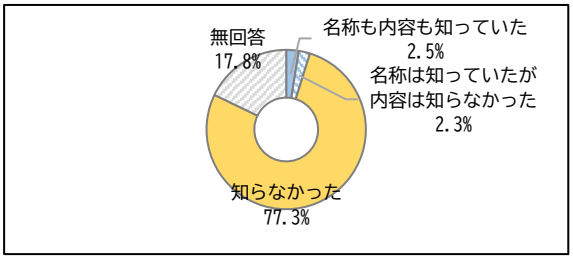
■　若年者調査（n＝1,004）



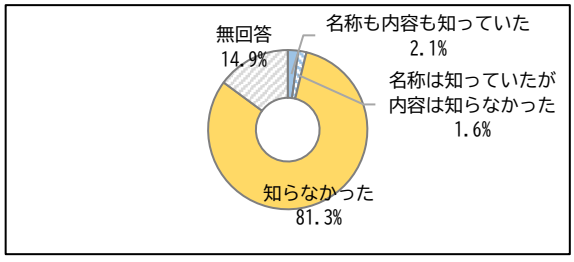
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



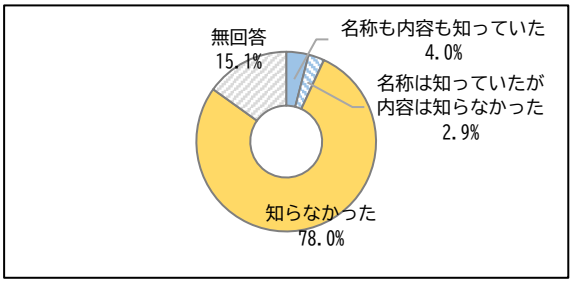
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

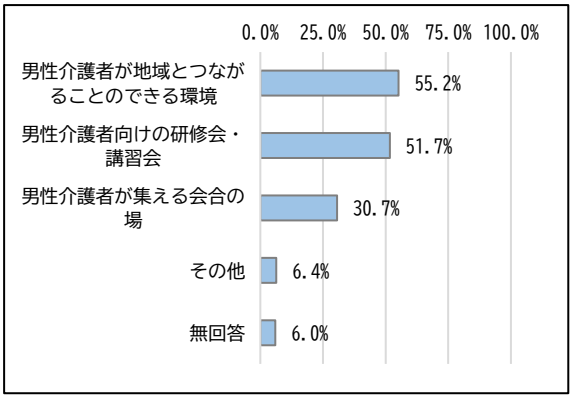


（２）男性介護者の支援

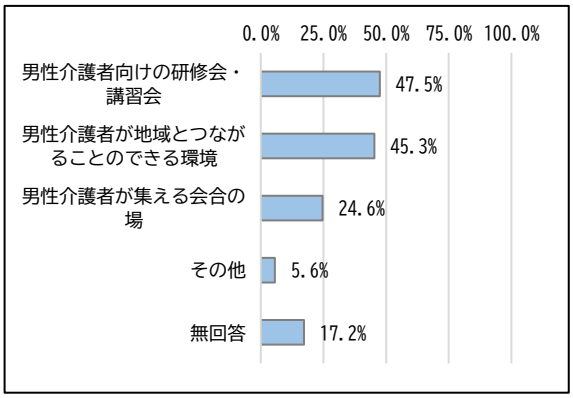
男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

男性介護者の支援を充実させるための取り組みについて「男性介護者が地域とつながることのできる環境」が必要と回答した割合が高くなっています。

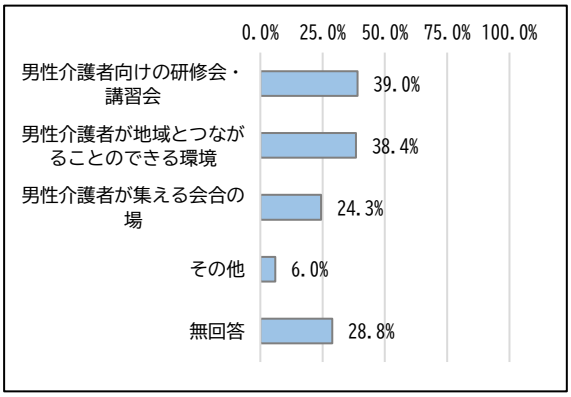
■　若年者調査（n＝1,004）



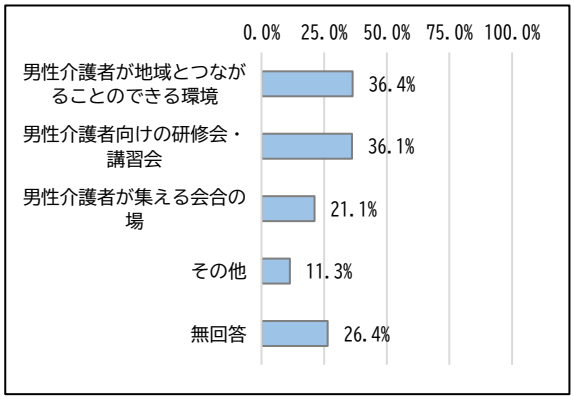
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



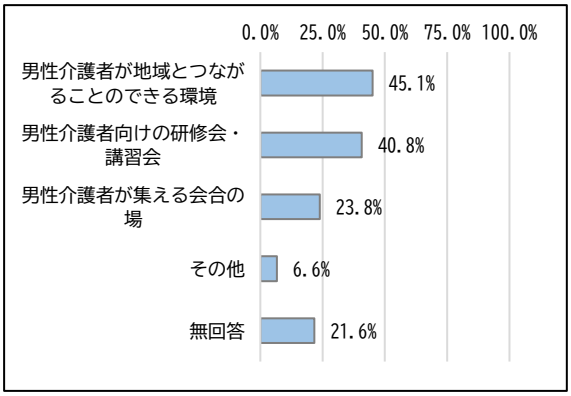
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

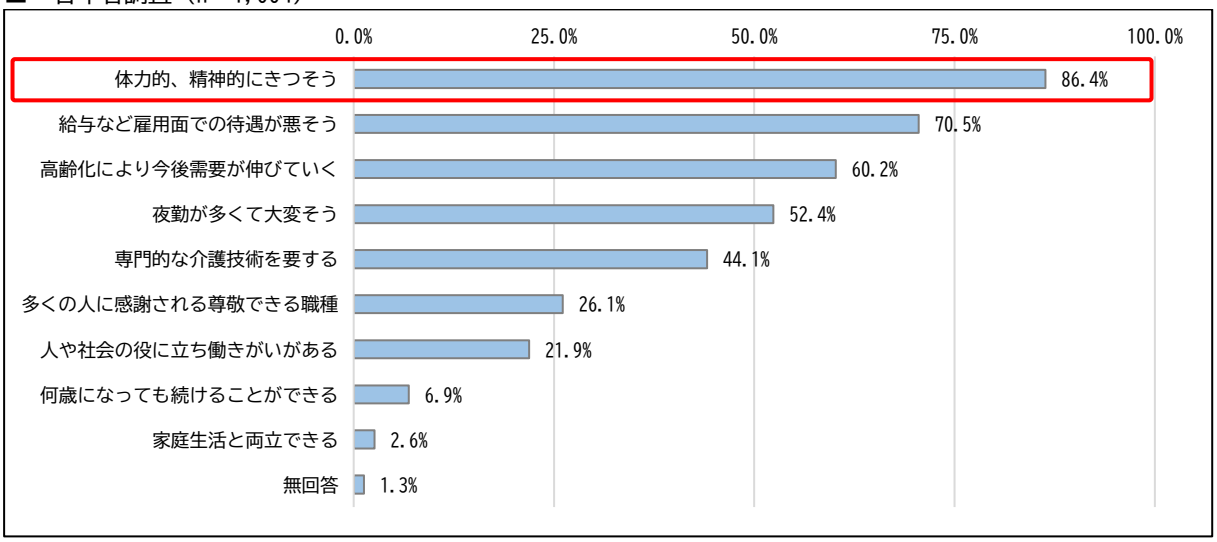


（３）介護職のイメージ

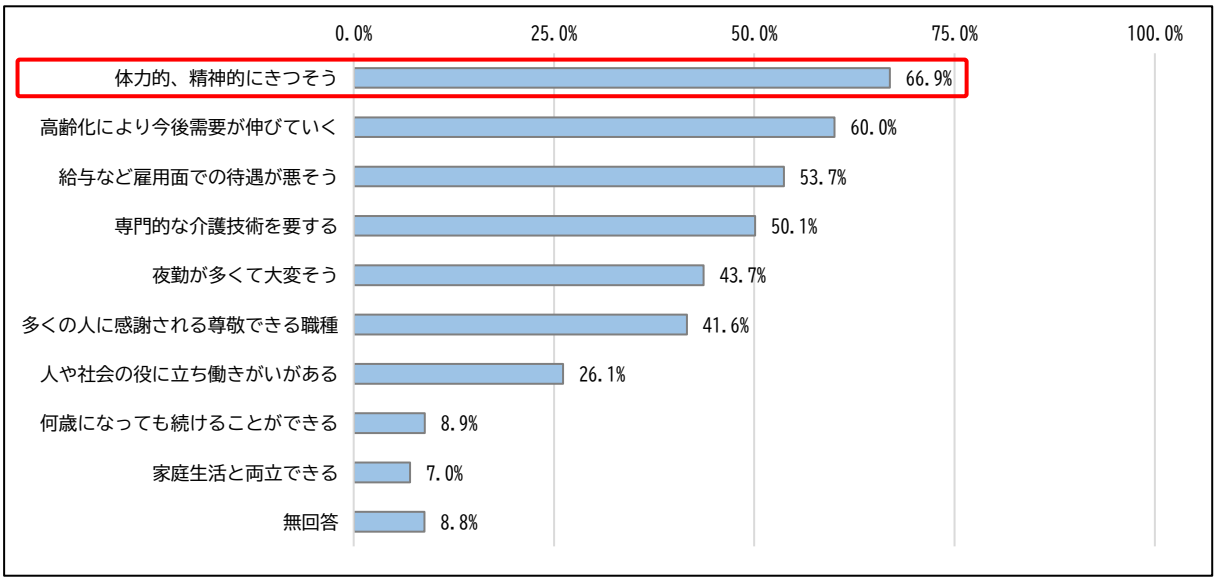
介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護職のイメージとして「体力的、精神的にきつそう」と回答した割合が最も高く、若年者では 86.4%、一般高齢者では 66.9%となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



■　一般高齢者調査（n＝5,546）



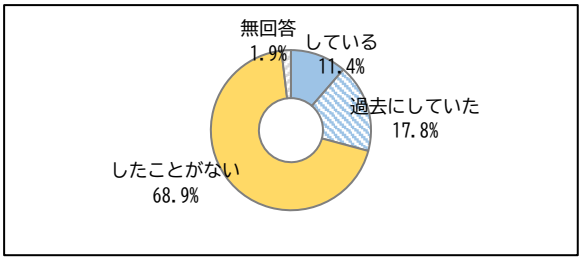
15．近親者（家族）に対する介護の実施状況について

（１）介護の状況

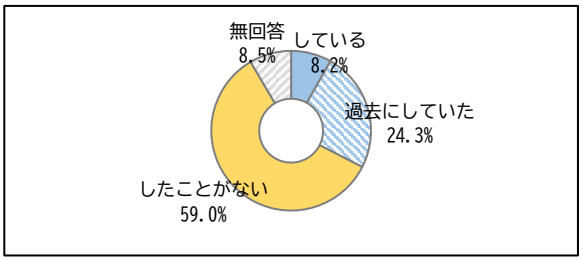
あなたは今（過去に）介護をしていますか。（１つの番号に○）

近親者（家族）に対する介護について、「している」と回答した割合は若年者では 11.4%、一般高齢者では 8.2%となっており、約１割となっています。

■　若年者調査（n＝1,004）



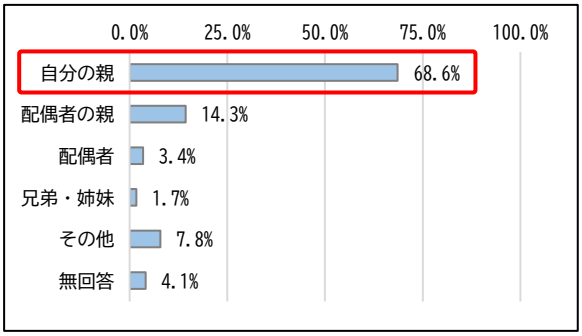
■　一般高齢者調査（n＝5,546）



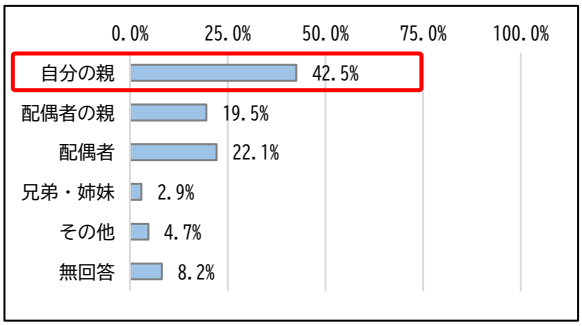
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
その方（要介護者）はどなたですか。（１つの番号に○）

現在、介護を「している」、あるいは「していた」人について、「自分の親」最も多く、若年者では 68.6%、一般高齢者では 42.5%となっており、次いで配偶者の親となっています。

■　若年者調査（n＝293）



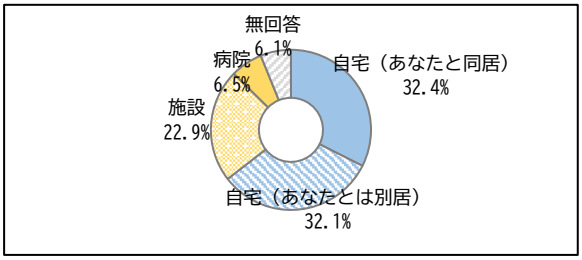
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



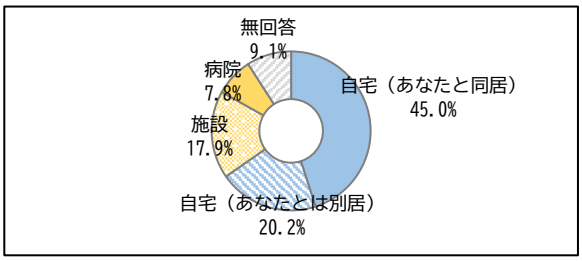
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
その方（要介護者）はどこで生活していますか（生活していましたか）。（１つの番号に○）

介護をしている、あるいは介護をしていた要介護者が生活している場所として「自宅で同居している」と回答した割合がもっとも高く、若年者では 32.4%、一般高齢者では 45.0%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



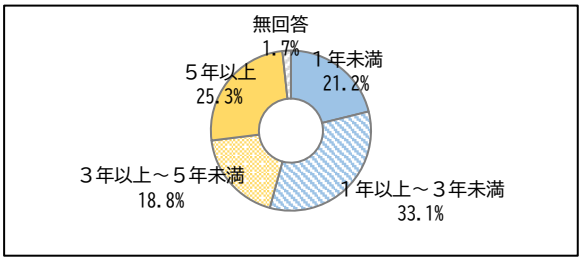
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



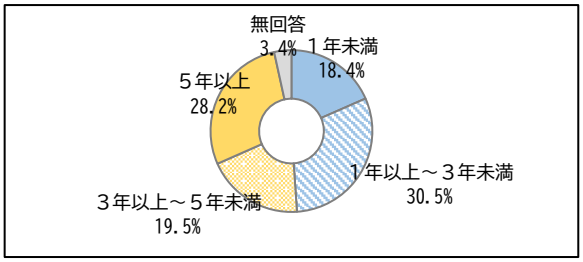
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
介護の期間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

介護の期間について、「１年～３年」と回答した割合がもっとも多く、若年者では 33.1%、一般高齢者では 30.5%と３割程度となり、「５年以上」と回答した方についても若年者では 25.3%、一般高齢者では 28.2%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



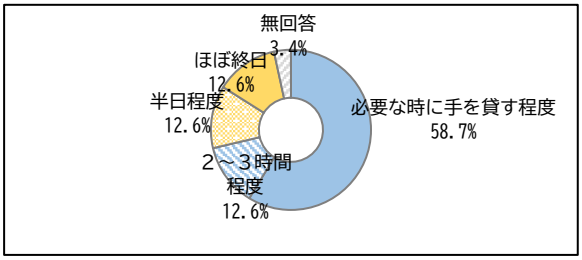
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



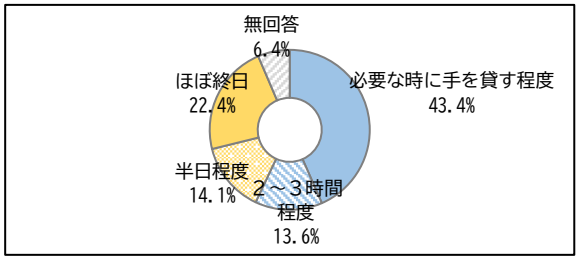
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１日あたりの介護の頻度について、「必要な時に手を貸す程度」が最も多く、若年者では58.7%、一般高齢者では43.4%となる一方、「ほぼ毎日」と回答した割合について若年者では12.6%、一般高齢者では22.4%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



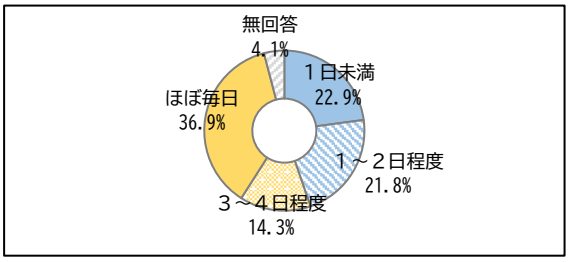
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



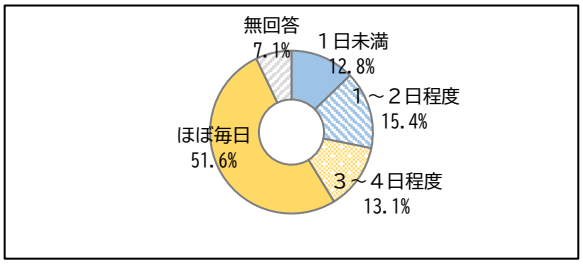
現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。
１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１週間あたりの介護の頻度について、「ほぼ毎日」が最も多く、若年者では36.9%、一般高齢者では51.6%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）

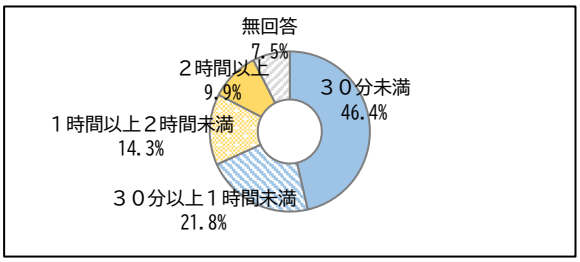


現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。

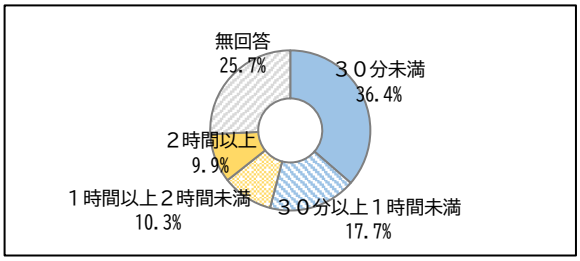
介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

介護のために要する片道の移動時間について、「30 分未満」が最も多く、若年者では 46.4%%、一般高齢者では 36.4%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）

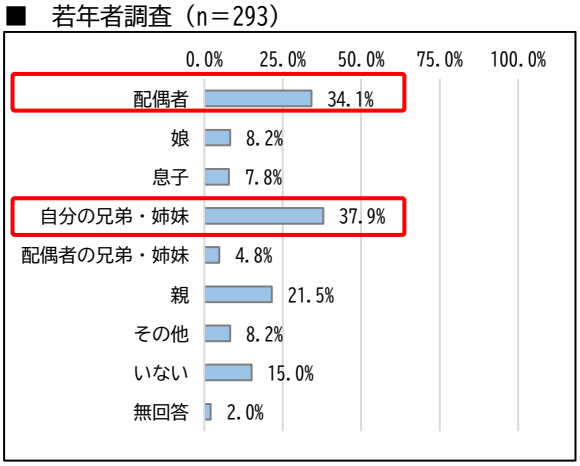


現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。

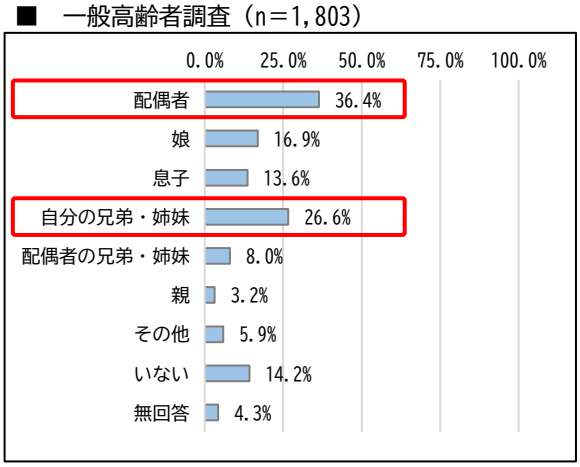
その方の（要介護者）介護にあたり協力者はいますか（いましたか）。あなたから見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

介護にあたっての協力者について、「配偶者」や「自分の兄弟・姉妹」が多くなっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）



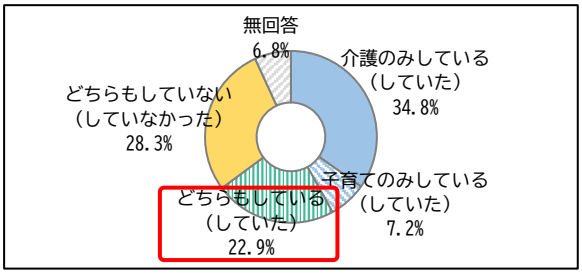
（２）ダブルケアの状況

現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人はお答えください。

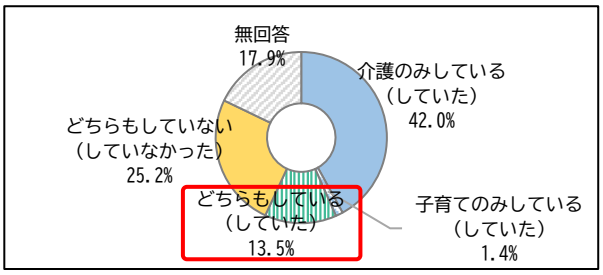
あなたは、お答えいただいた以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（１つの番号に○）

介護と同時に子育てを行うダブルケアを行っている、あるいは行っていた割合について、若年者では 22.9%、一般高齢者では 13.5%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）



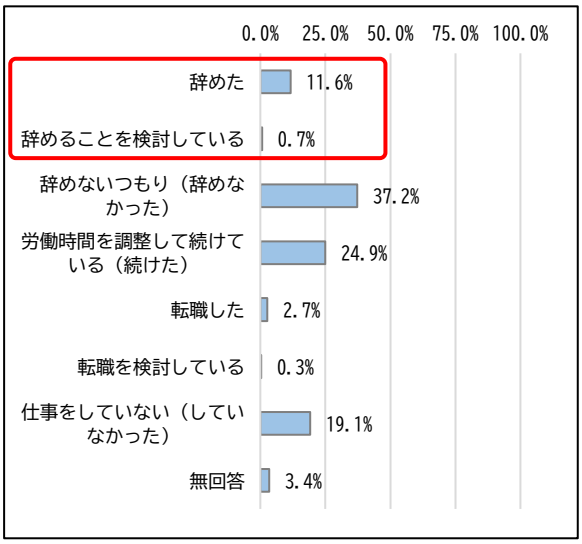
（３）介護離職の状況

現在介護をしている人、もしくは直近に介護をしている人はお答えください。

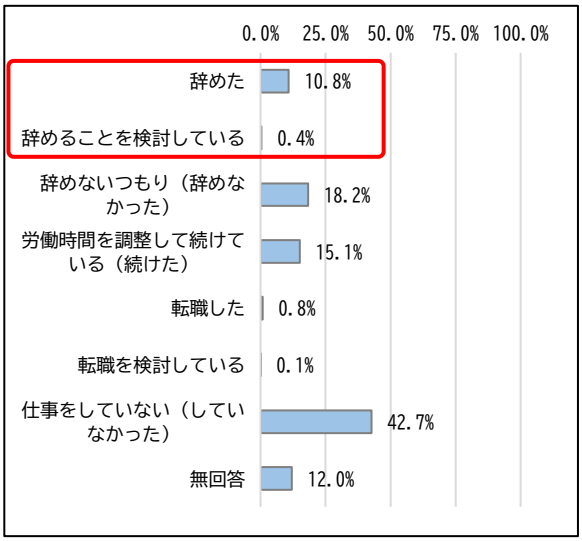
あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（１つの番号に○）

介護のために（当時していた）仕事をどのように対応したかについて、「辞めた」あるいは「辞めることを検討している」と回答した割合は、若年者では 12.3%、一般高齢者では 11.2%と、介護離職が１割となっています。

■　若年者調査（n＝293）



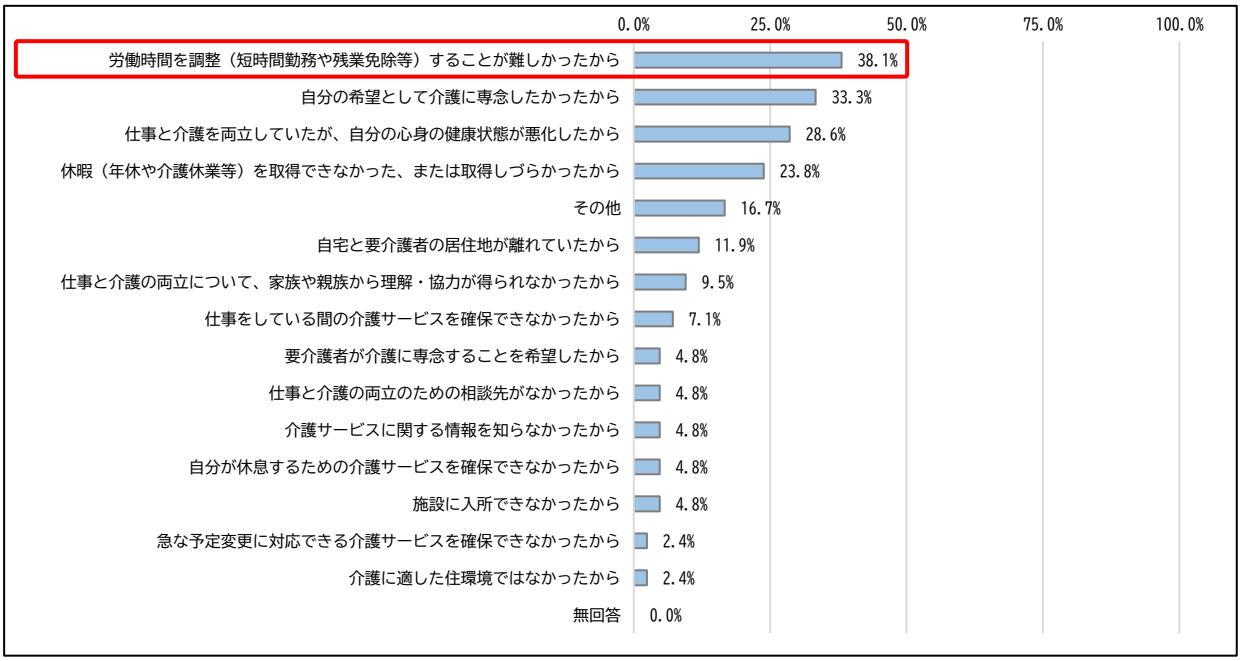
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



介護のために仕事を辞めた、転職したと回答した方のみ、お答えください。
仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために（当時していた）仕事を「辞めた」あるいは「転職した」理由について、若年者では「労働時間を調整することが難しかったから」が最も多く 38.1%となっており、一般高齢者では「介護に専念したかった」が最も多く 40.4%となっています。

■　若年者調査（n＝42）



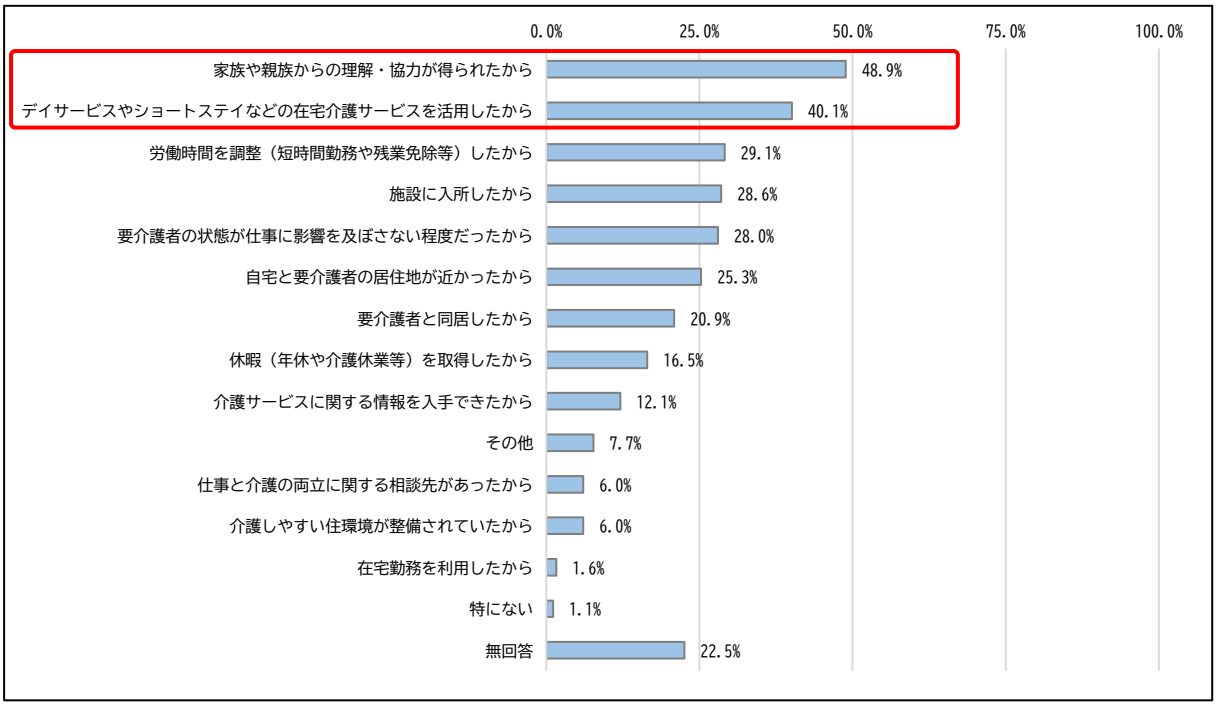
■　一般高齢者調査（n＝208）



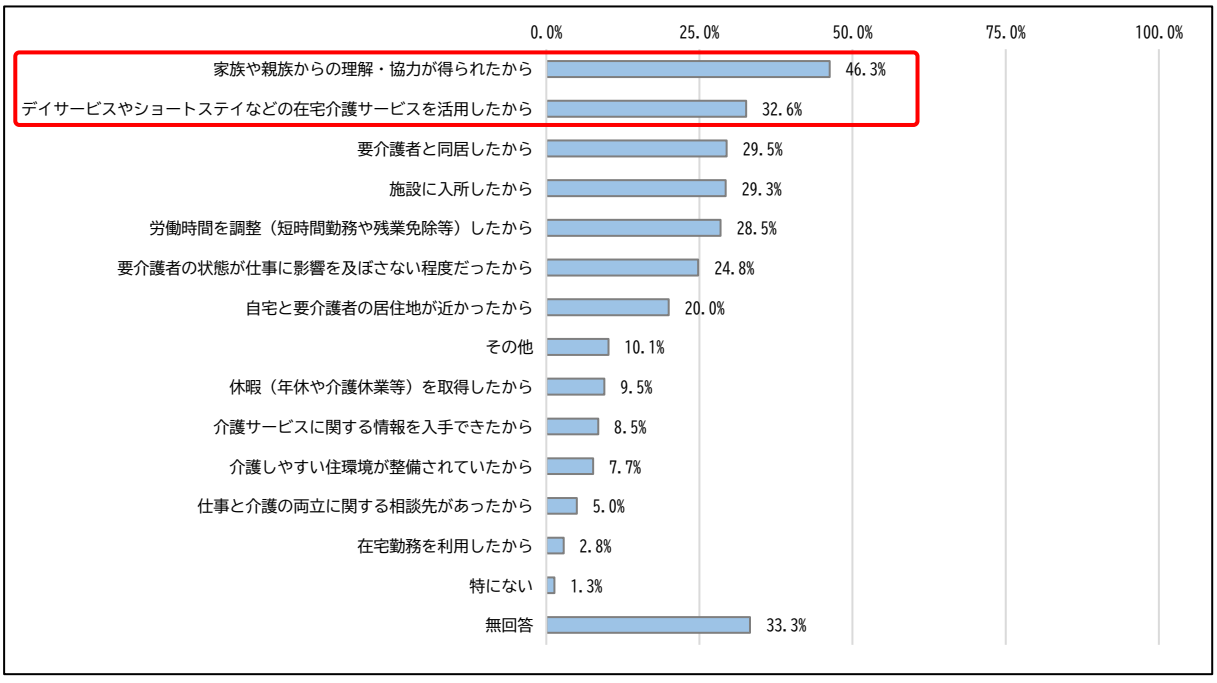
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために（当時していた）仕事を「辞めないで続けられている」理由について、「家族や親族からの理解・協力が得られたから」が最も多く、次いで「デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから」となっています。

■　若年者調査（n＝182）



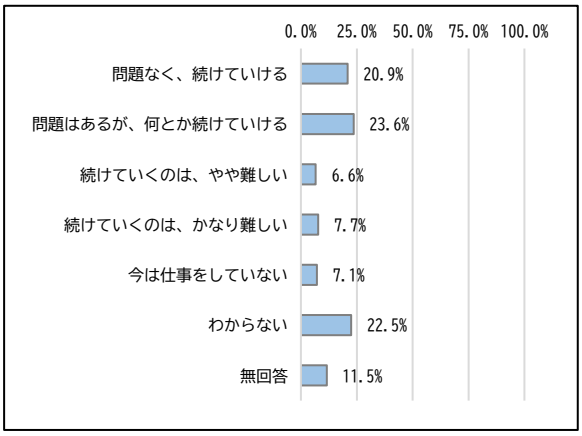
■　一般高齢者調査（n＝601）



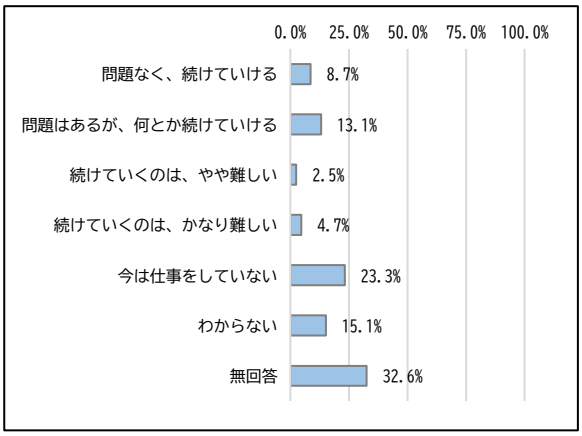
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つの番号に○）

介護のために、今後も仕事を辞めないで続けられるかについて、「続けていける」と回答した割合は若年者では 44.5%、一般高齢者では 21.8%となっています。

■　若年者調査（n＝293）



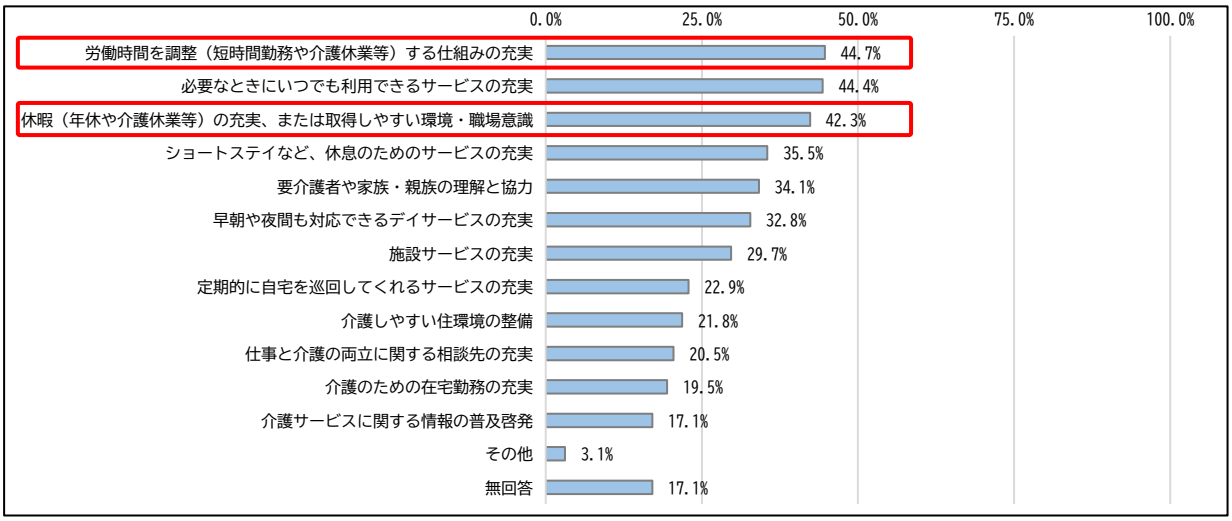
■　一般高齢者調査（n＝1,803）



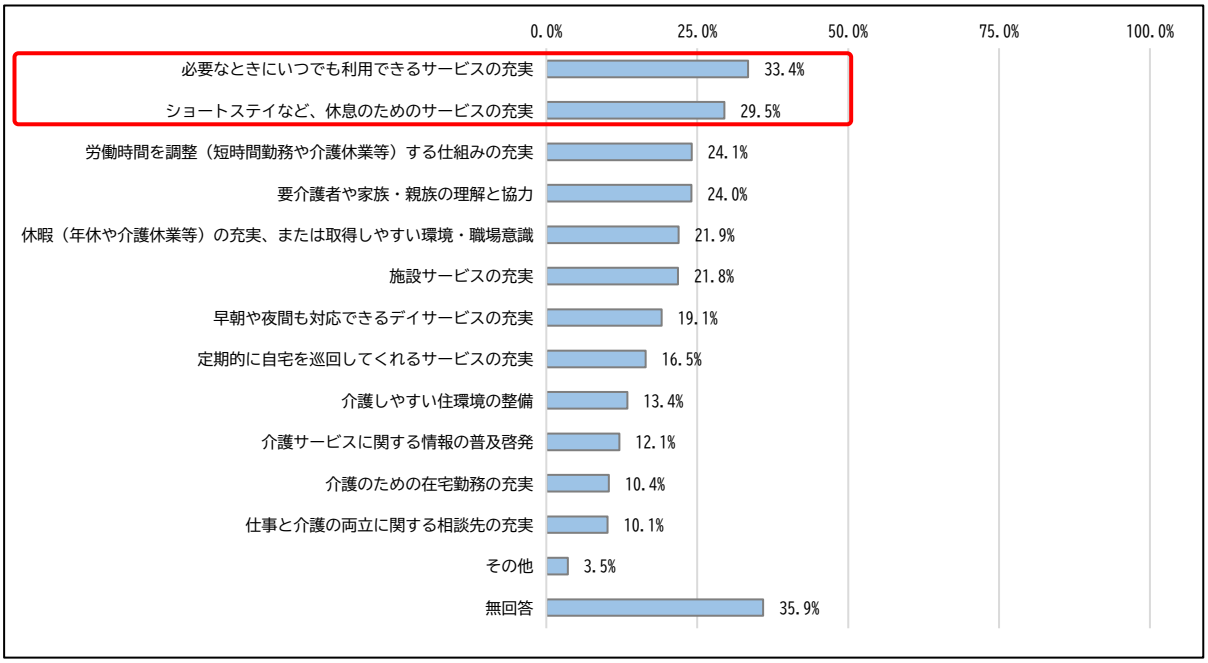
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために、今後も仕事を辞めないで続けられるための支援について、若年者では「労働時間を調整する仕組みの充実」が最も多く 44.7%、また、「休暇の充実、または取得しやすい環境・職場意識」も高くなっており、職場環境改善を求める意見が多くなっています。一方、一般高齢者では「必要な時にいつでも利用できるサービスの充実」「ショートステイなど、休息のためのサービスの充実」が高くなっており、介護サービスの充実、レスパイトサービスの充実を求める意見が多くなっています。

■　若年者調査（n＝293）



■　一般高齢者調査（n＝1,803）

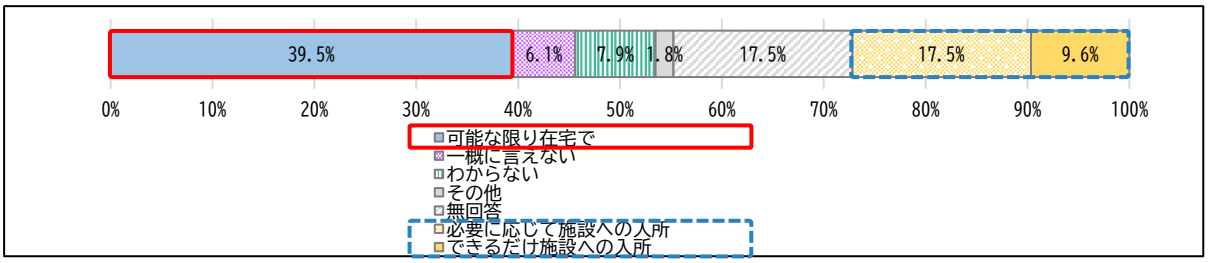


（４）今後の介護の方法

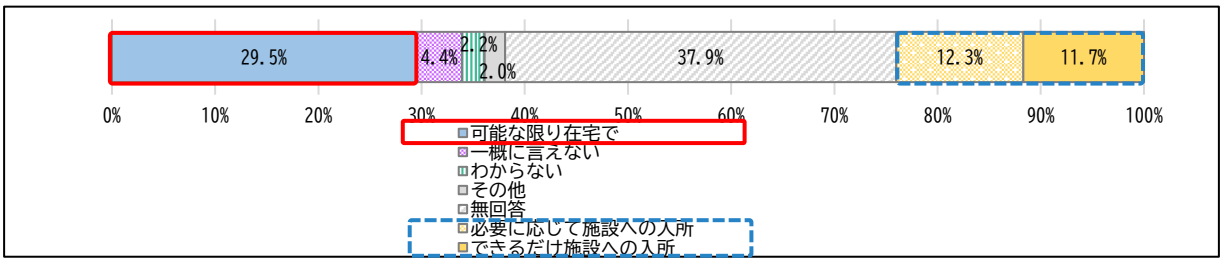
現在介護をしている方のみ、お答えください。
今後の介護の方法はどのように考えていますか。（１つの番号に○）

今後の介護の方法をどのように考えているかについて、若年者では「できる限り在宅で」が最も多く 39.5%となっており、施設への入所については 27.1%となっています。一般高齢者では「できる限り在宅で」が最も多く 29.5%となっており、施設への入所については 24.0%となっています。

■　若年者調査（n＝114）



■　一般高齢者調査（n＝454）

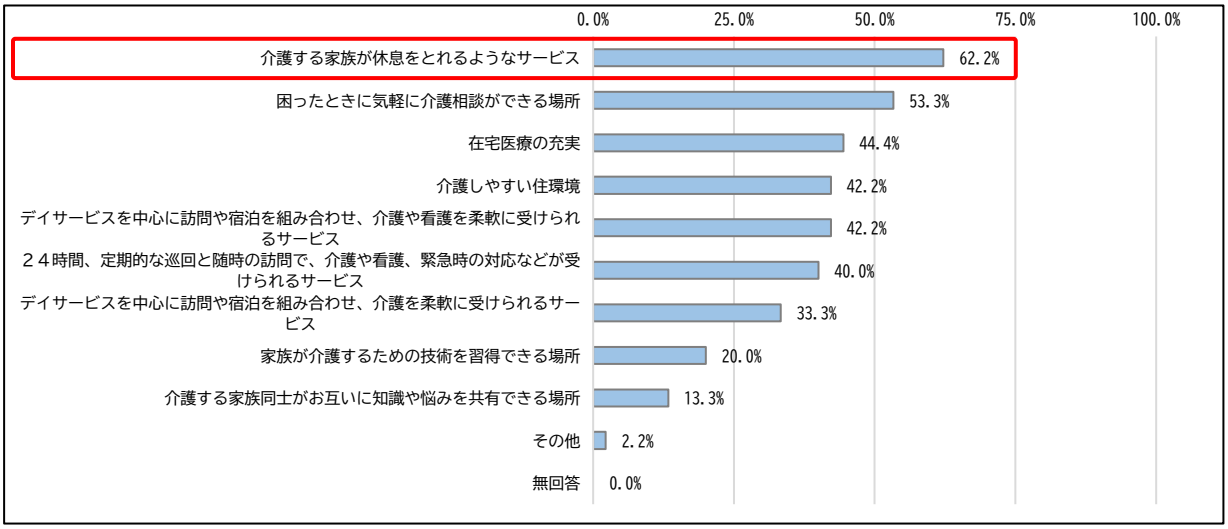


今後も可能な限り在宅で介護をしていくと回答した方のみ、お答えください。

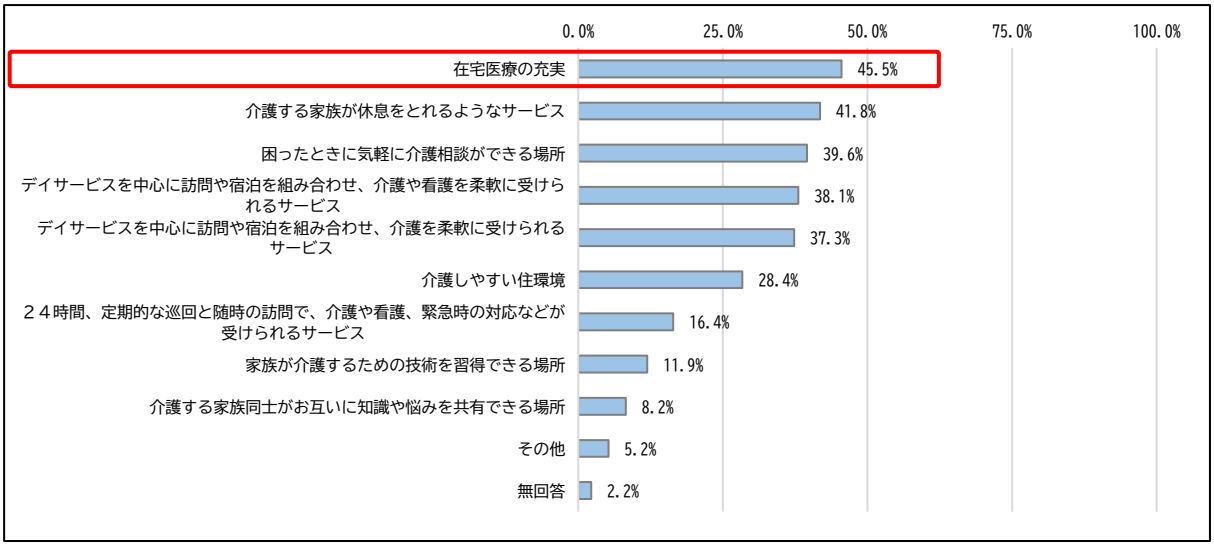
可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後も可能な限り在宅で介護を続けていくために必要なこととして、若年者では「介護する家族が休息をとれるようなサービス」が最も多く 62.2%となっており、一般高齢者では「在宅医療の充実」が最も多く 45.5%となっています。

■　若年者調査（n＝45）



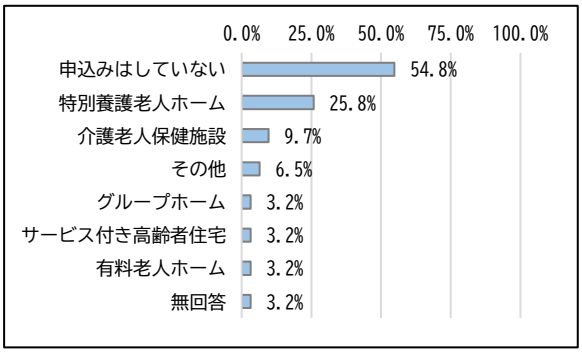
■　一般高齢者調査（n＝134）



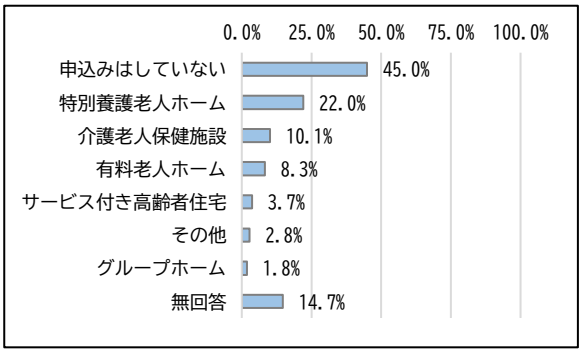
今後の介護について施設の入所を考えていると回答した方のみ、お答えください。
既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後の介護について施設の入所を考えている方が、施設への申込みを行っている状況については以下の通りとなっています。

■　若年者調査（n＝31）



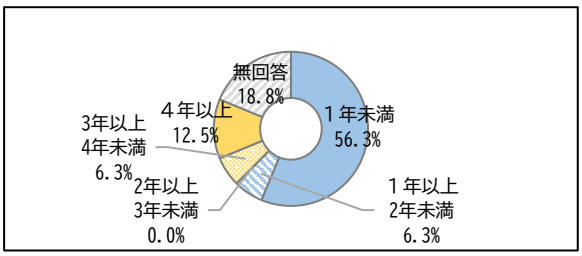
■　一般高齢者調査（n＝109）



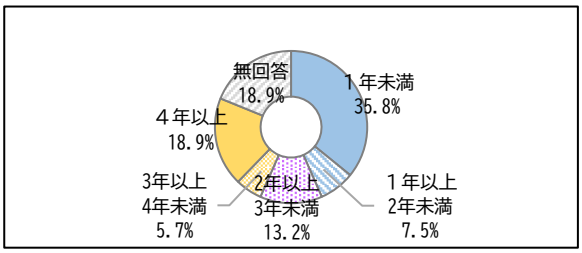
既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください
最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。

施設への申込みを行ってからの経過期間は若年者では１年未満が 56.3%、一般高齢者では１年未満が 35.8%となっています。

■　若年者調査（n＝16）



■　一般高齢者調査（n＝53）

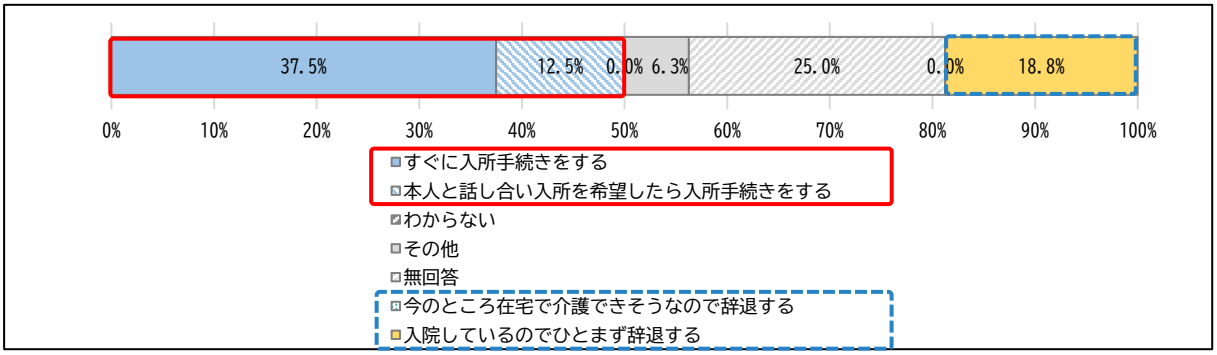


既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください

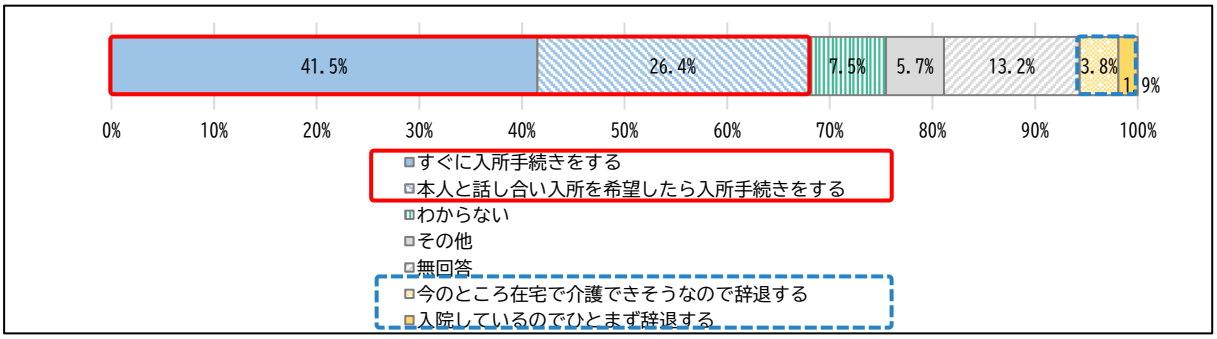
施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（１つの番号に○）

申込んでいる施設より入所許可の連絡があった場合、「すぐに入所手続きを行う」「本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする」と回答した割合は、若年者では 50.0%、一般高齢者では 67.9%となっています。

■　若年者調査（n＝16）



■　一般高齢者調査（n＝53）



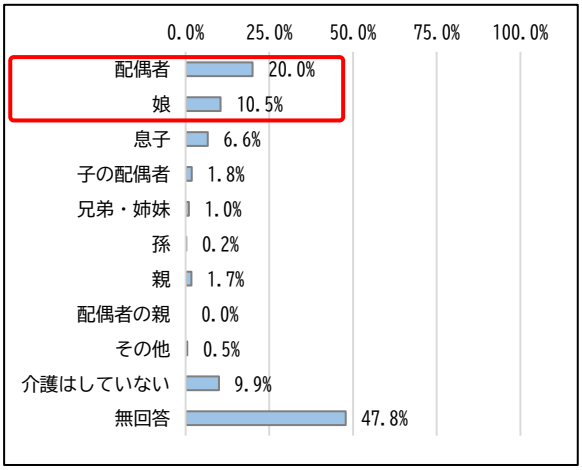
16．ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況について

（１）介護の状況

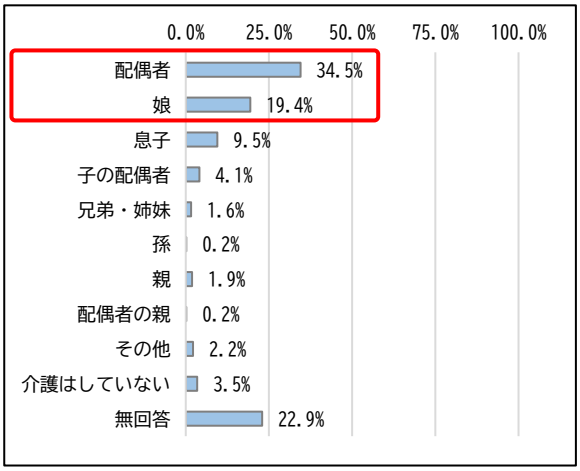
ご本人（あて名の方）を主に介護している方（以下「主な介護者」といいます。）は、ご本人から見てどなたですか。（１つに○）

主な介護者について、「配偶者」が最も多く、事業対象者・要支援認定者では 20.0%、「軽度」要介護認定者では 34．5%、「重度」要介護認定者では 40.1%となっており、次いで「娘」となっています。

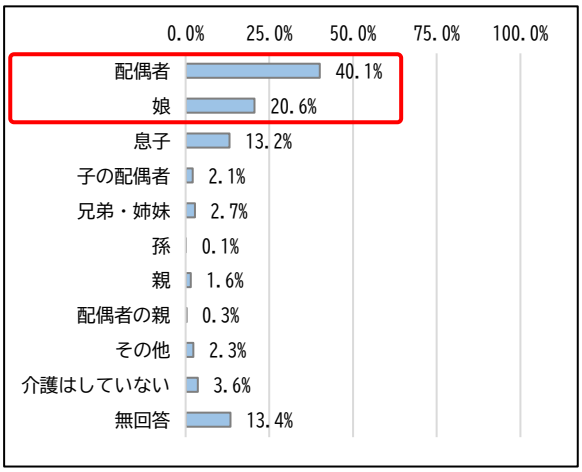
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



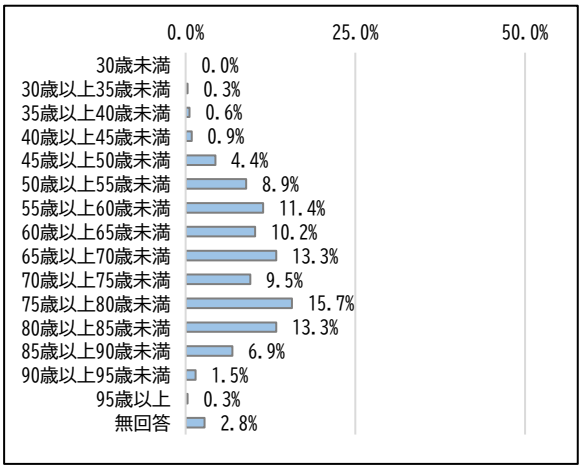
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



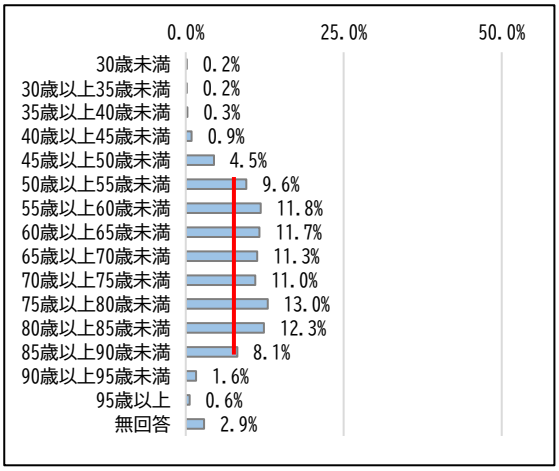
令和元年 11 月１日現在のあなた（主な介護者）の年齢を記入してください。（数字を記入）

主な介護者の年齢について、「軽度」要介護認定者では 50 歳から 85 歳まで、ほぼ均等となっていますが、「重度」要介護認定者では 70 歳から 75 歳が最も多く、その年代を中心として介護を行っている状況が伺えます。

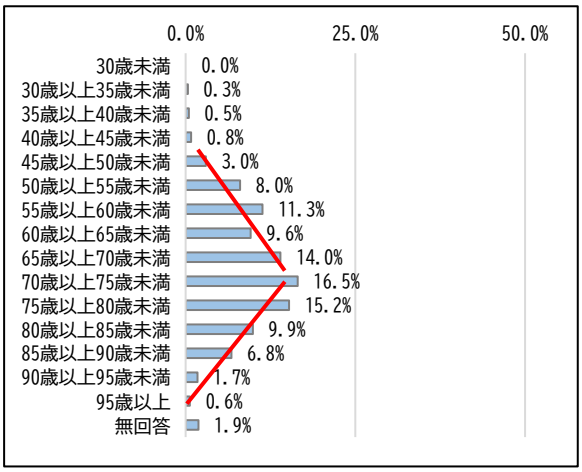
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=1,614）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,584）



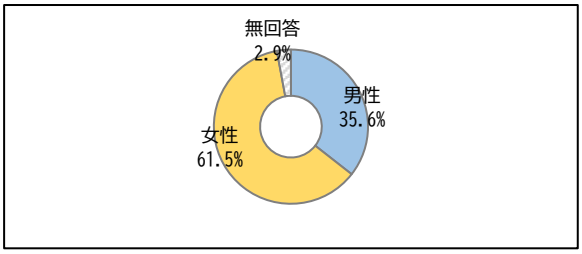
■　「重度」要介護認定者調査（n=768）



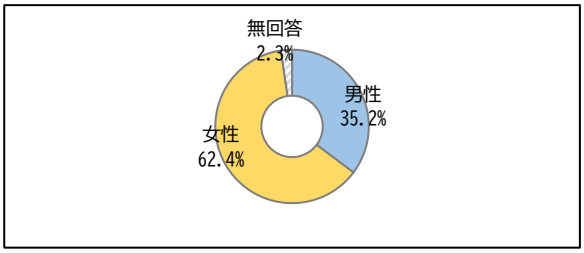
あなた（主な介護者）の性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

主な介護者の性別について、いずれも「男性」より「女性」の割合が高く６割を超えています。

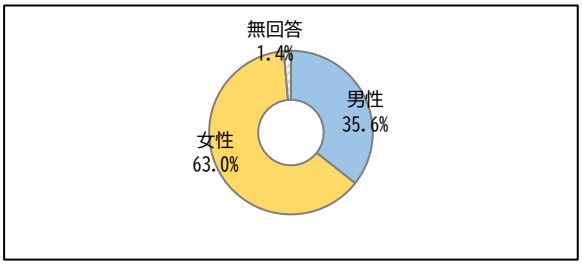
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



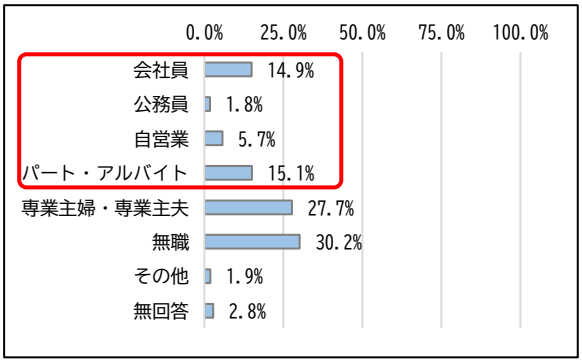
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



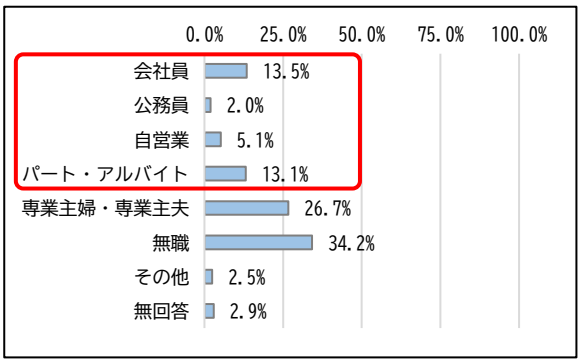
あなた（主な介護者）の職業をお答えください。（１つの番号に○）

主な介護者の職業について、「無職」の割合が最も高く３割以上となっており、次いで「専業主婦・専業主夫」となっている一方、「会社員」「公務員」「自営業」「パート・アルバイト」など、就業しながらという方についても３割を超えています。

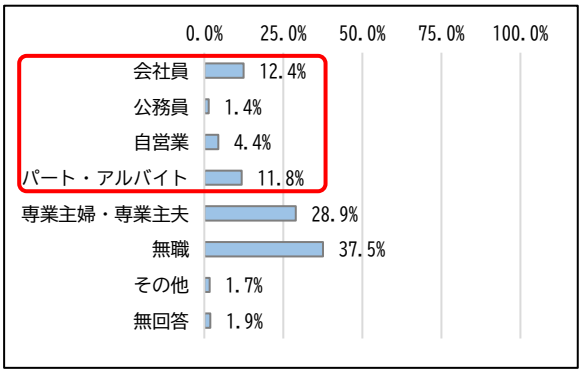
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



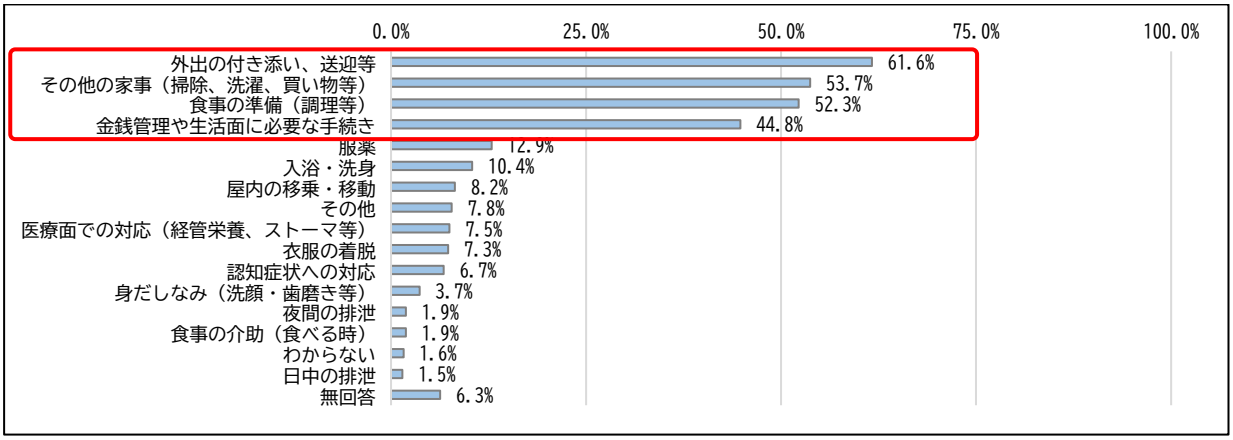
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



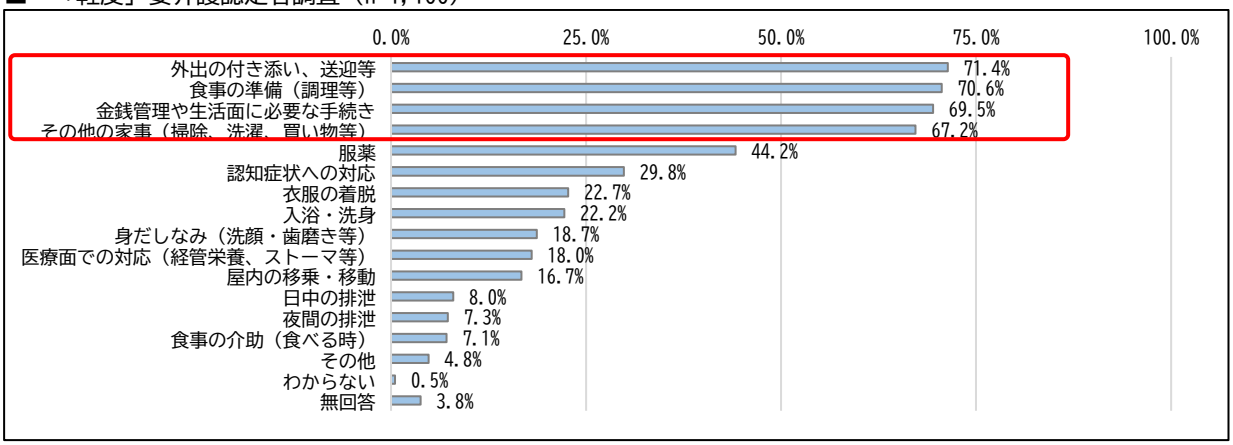
現在、あなた（主な介護者）が行っている介護等についてお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

主な介護者が行っている介護について、要支援認定者及び「軽度」要介護認定者では「外出の付き添い・送迎」「掃除・選択などの家事」「食事の準備」「金銭管理」が主なものとなっています。「重度」要介護認定者ではこれらの介護に加えて「服薬」「衣服の着脱」となっています。

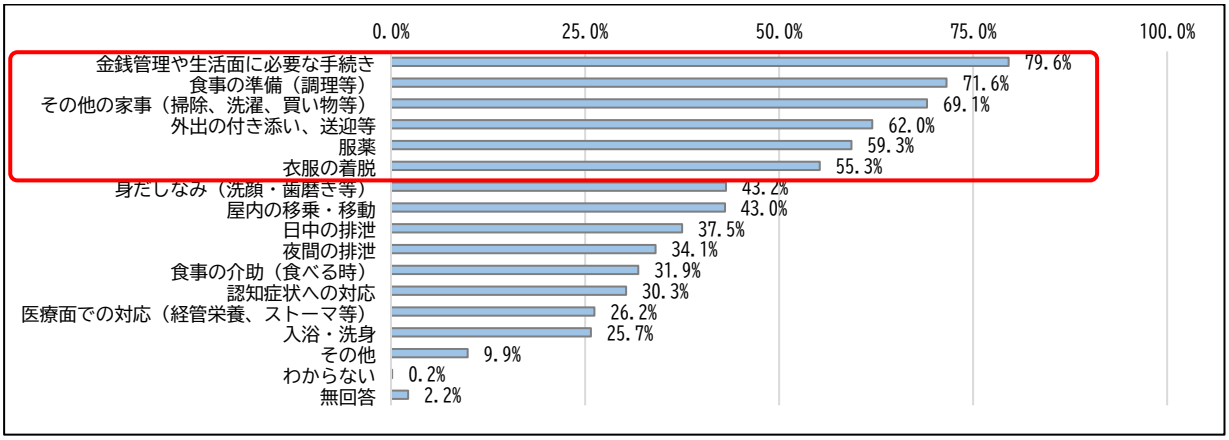
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



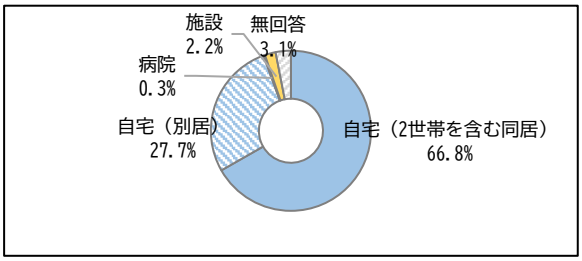
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



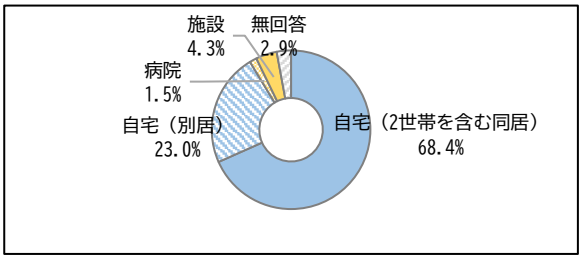
ご本人（あて名の方）はどちらにいらっしゃいますか。（１つの番号に○）

介護を受けるご本人の居住について、自宅で同居の割合が最も高く、約 67%となっています。

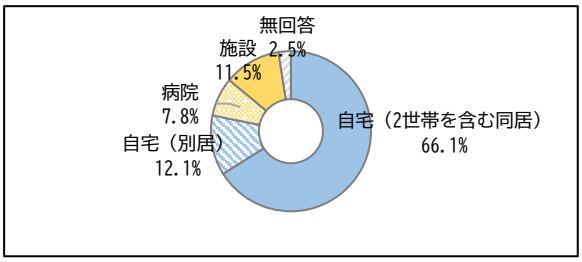
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



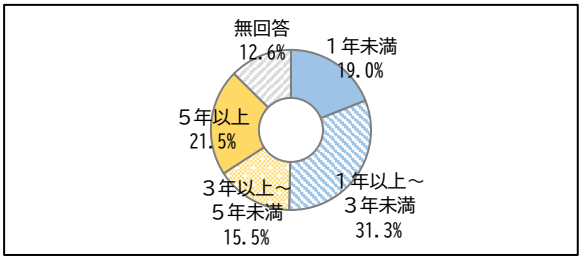
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



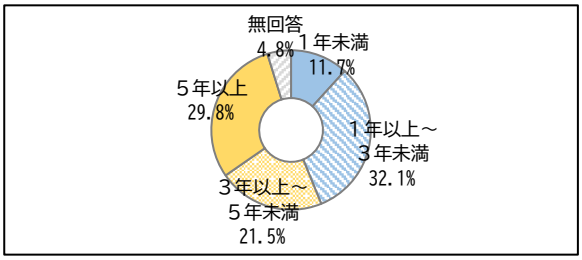
介護の期間はどの程度ですか。（１つの番号に○）

介護を行っている期間が「５年以上」と回答した方の割合について、事業対象者・要支援認定者では 21.5%、「軽度」要介護認定者では 29.8%、「重度」要介護認定者では 41.0%となっています。

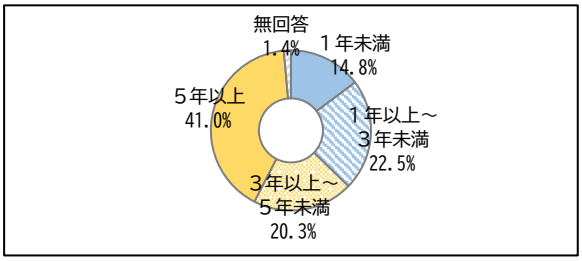
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



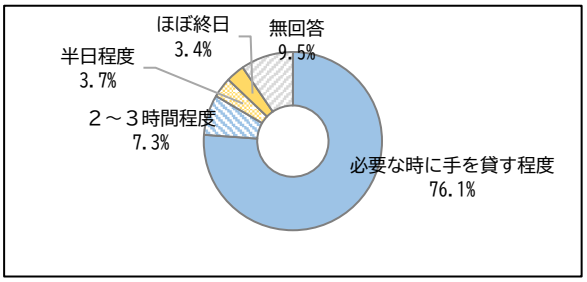
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



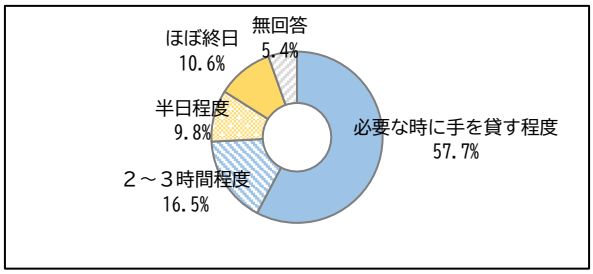
１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１日あたりの介護の頻度について、「必要な時に手を貸す程度」が最も多く、事業対象者・要支援認定者では 76.1%、「軽度」要介護認定者では 57.7%となる一方、「重度」要介護認定者では「必要な時に手を貸す程度」と回答した割合が 36.4%となるとともに、「ほぼ毎日」と回答した割合について 33.6%となっています。

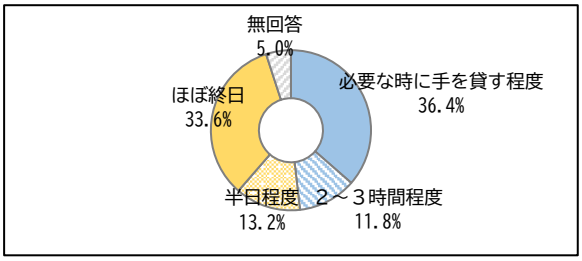
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



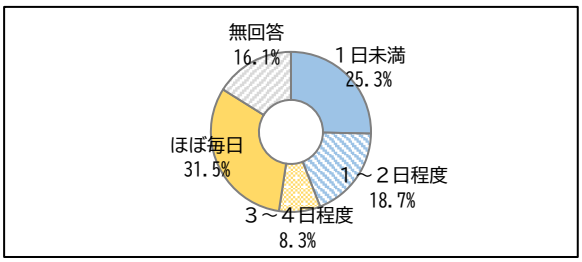
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



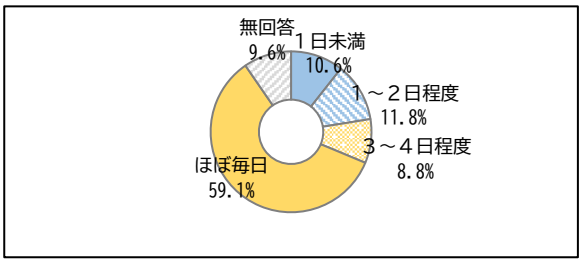
１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（１つの番号に○）

１週間あたりの介護の頻度について、「ほぼ毎日」と回答した割合が最も高く、「重度」要介護認定者では 69.5%となっています。

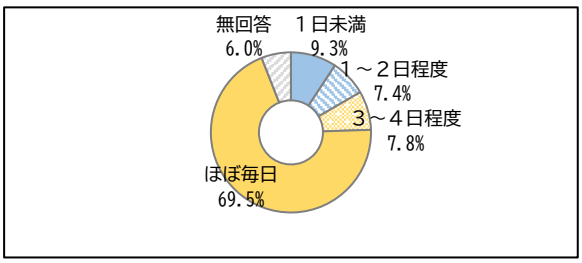
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



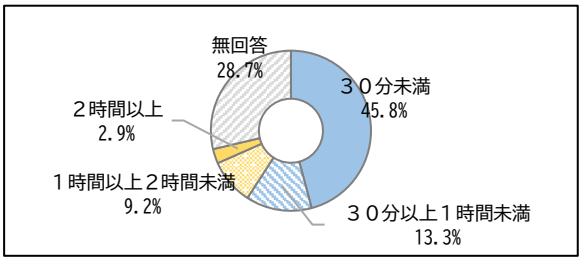
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



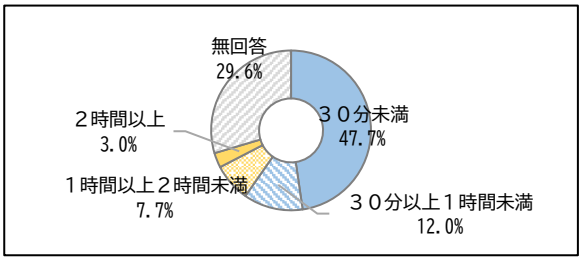
介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか。（１つの番号に○）

介護のために要する片道の移動時間について、「30 分未満」と回答した割合が最も多く、約 45%程度となっています。

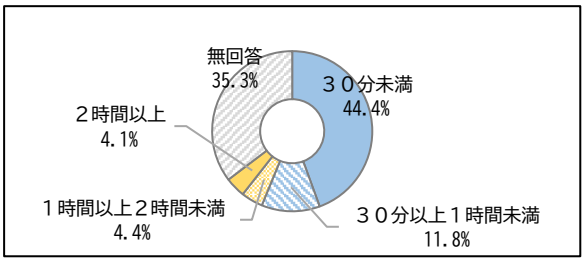
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



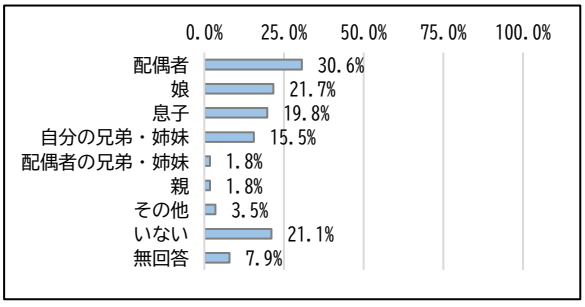
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



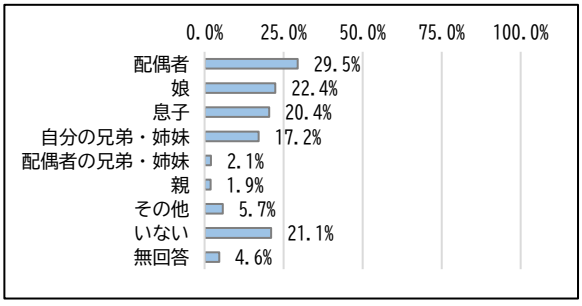
ご本人（あて名の方）の介護にあたり協力者はいますか。あなた（主介護者）から見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

介護にあたっての協力者について、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では「配偶者」が最も多く、「重度」要介護認定者では「娘」が最も多くなっています。

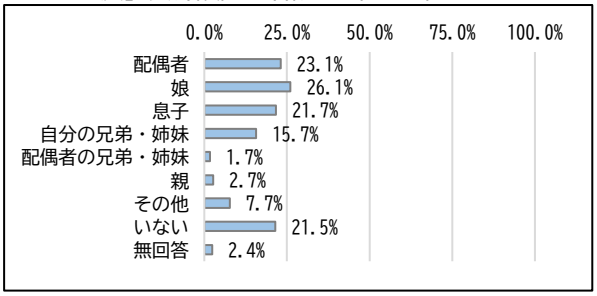
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

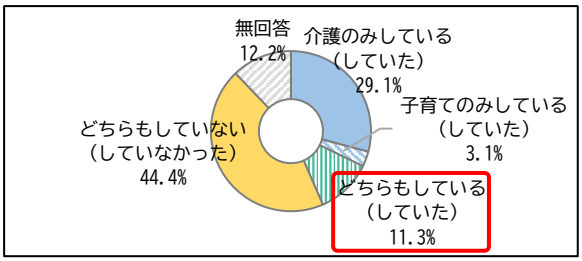


（２）ダブルケアの状況

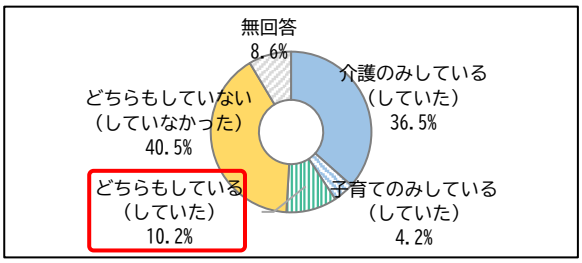
あなた（主介護者）は、ご本人（あて名の方）以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（１つの番号に○）

介護と同時に子育てを行うダブルケアを行っている、あるいは行っていた割合について、事業対象者・要支援認定者では 11.3%、「軽度」要介護認定者では 10.2%、「重度」要介護認定者では 11.5%となっています。

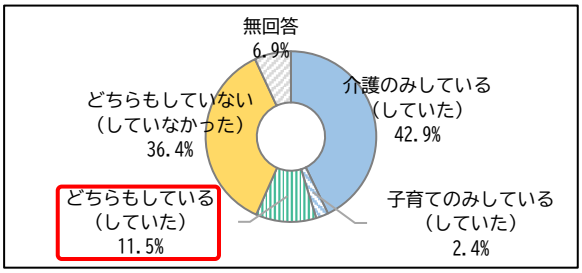
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

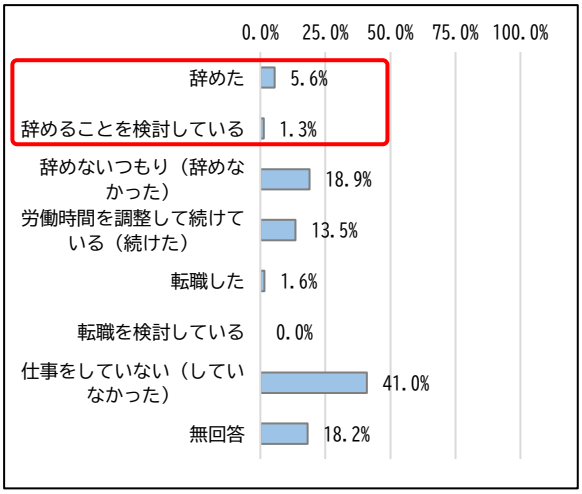


（３）介護離職の状況

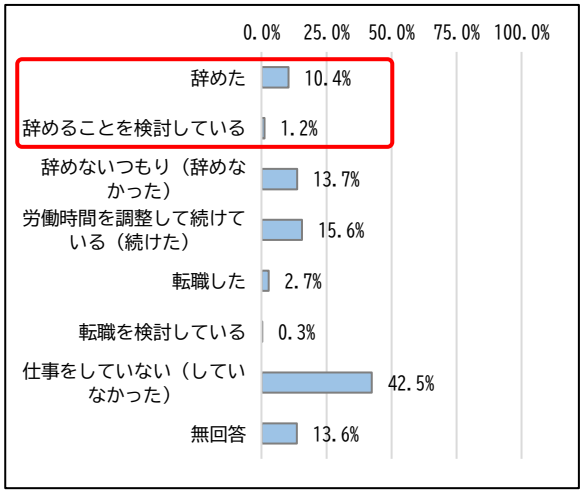
あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（１つの番号に○）

介護のために仕事をどのように対応したかについて、「辞めた」あるいは「辞めることを検討している」と回答した割合は、事業対象者・要支援認定者では 6.9%、「軽度」要介護認定者では 11.6%、「重度」要介護認定者では 18.0%となっており、要介護状態が重度化になるほど離職の意向が高まっています。

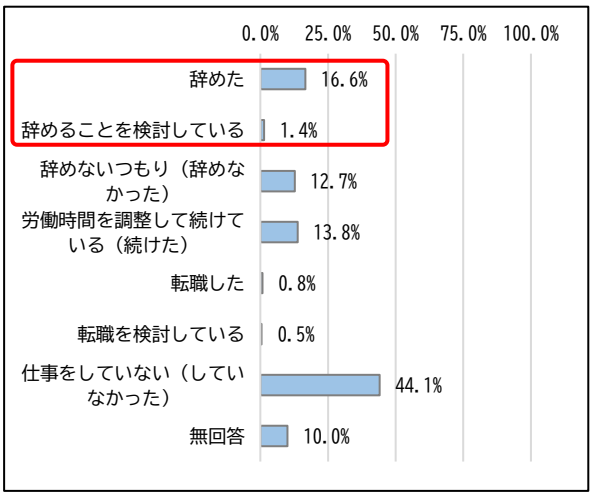
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



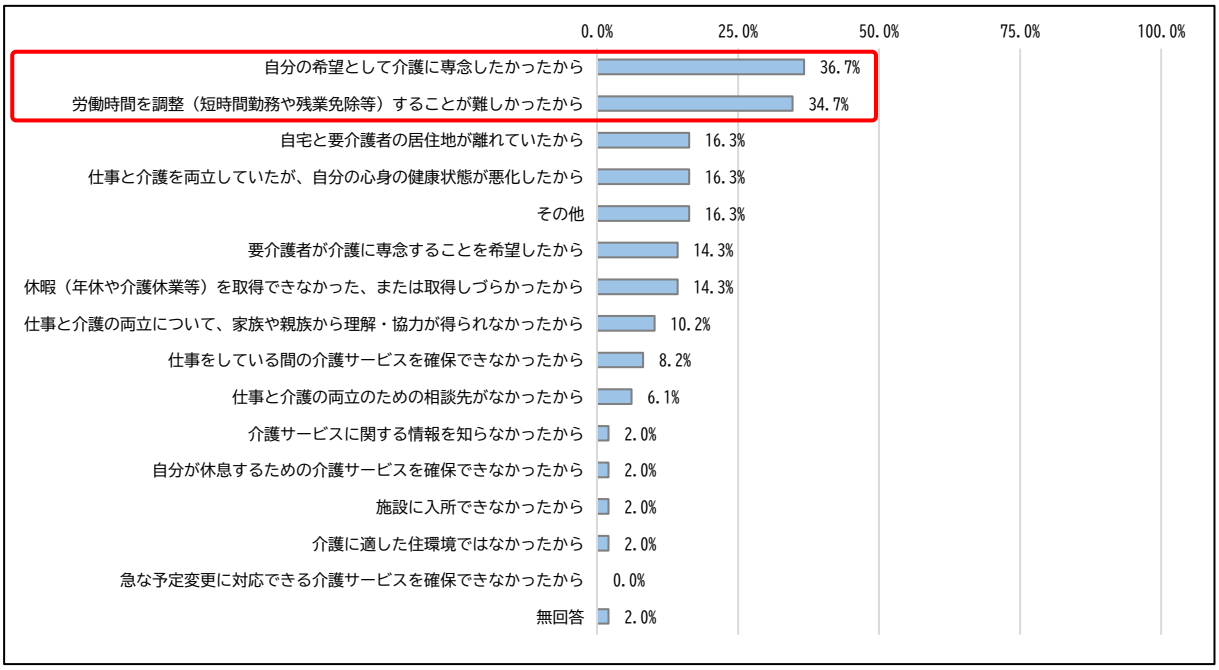
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



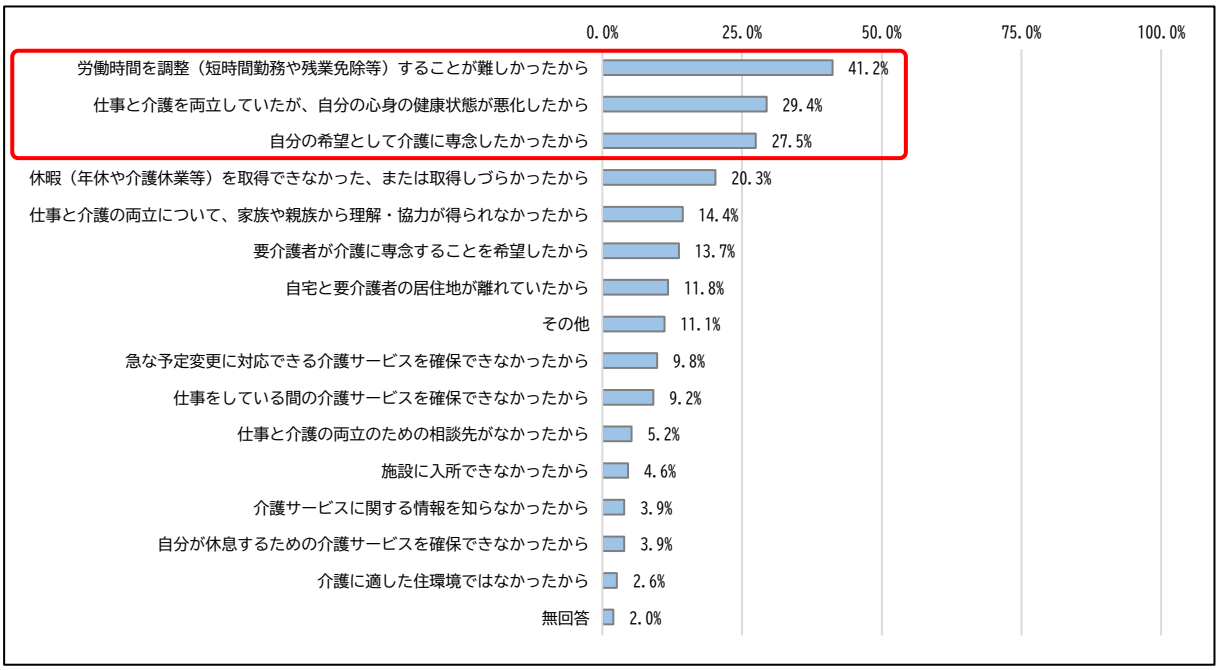
介護のために仕事を辞めた、転職したと回答した方のみ、お答えください。
仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために（当時していた）仕事を「辞めた」あるいは「転職した」理由について、事業対象者・要支援認定者では「介護に専念したかったから」が最も多く、次いで「労働時間を調整することが難しかったから」となっており、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者ではこれらに加えて、「自身の健康状態が悪化したから」と回答した割合が高くなっています。

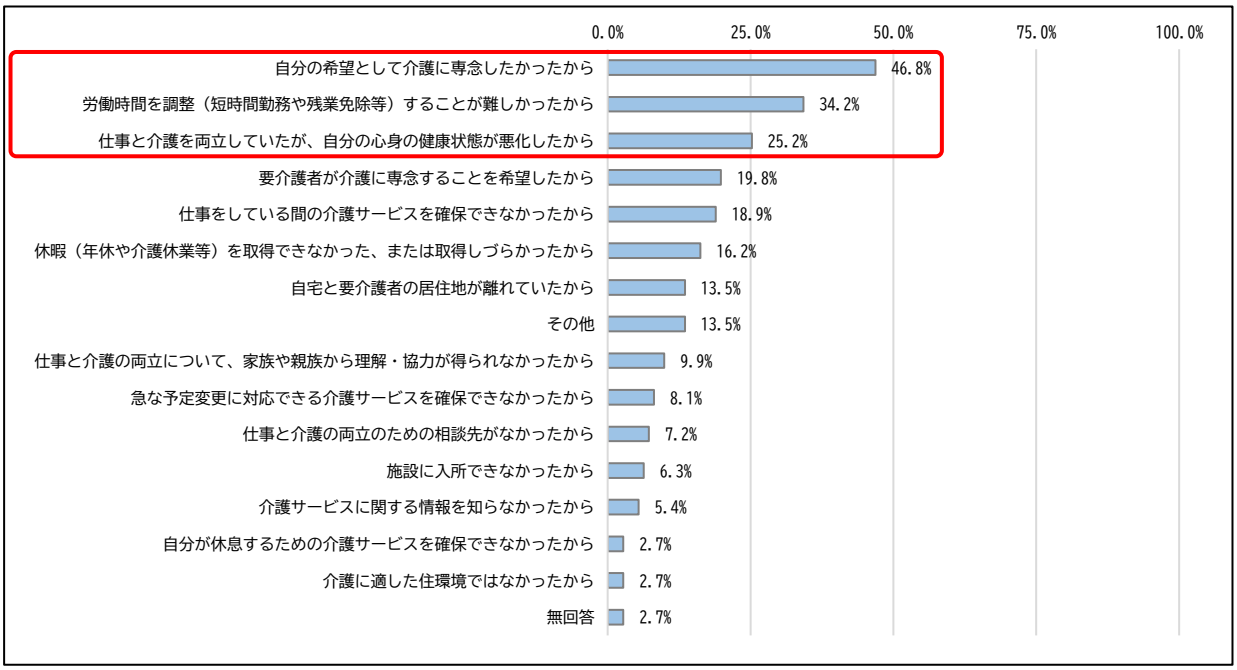
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=49）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=153）



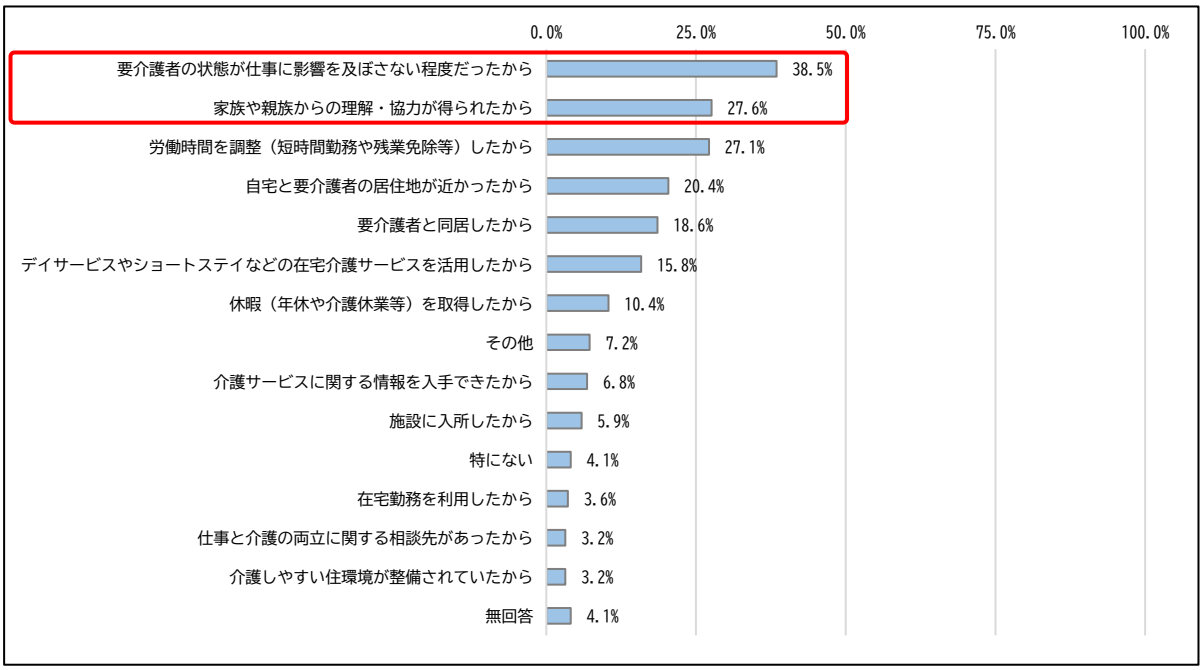
■　「重度」要介護認定者調査（n=111）



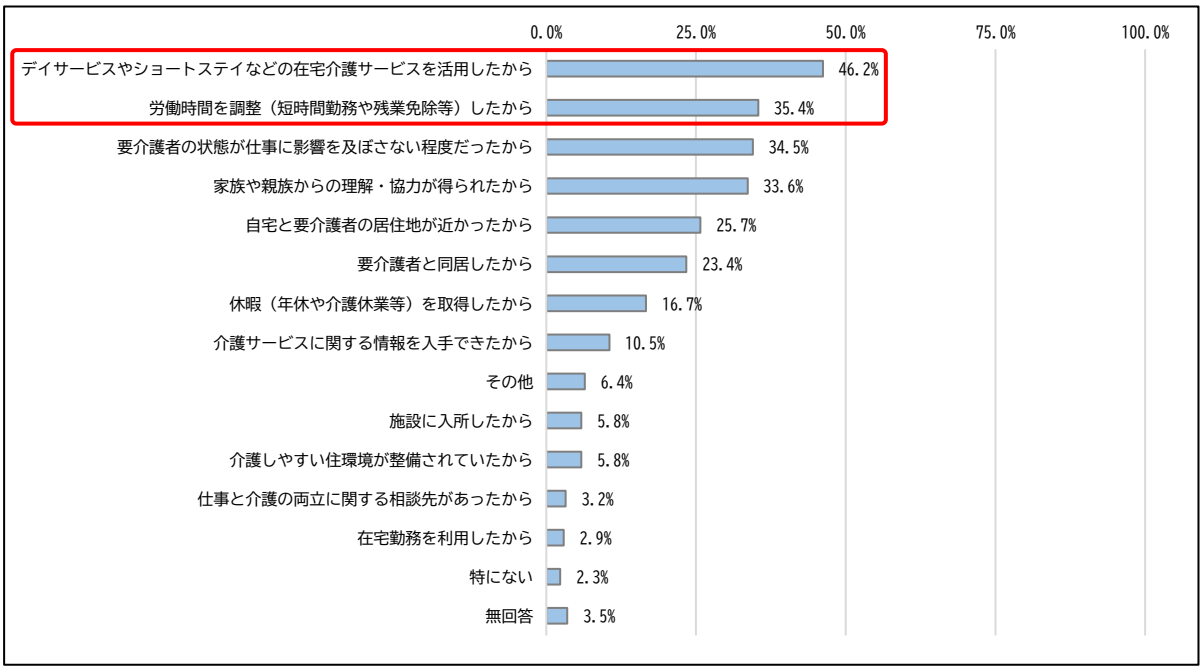
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

介護のために仕事を辞めないで続けられている理由について、事業対象者・要支援認定者では「仕事に影響を及ぼさない程度だった」が最も多く、次いで「家族や親族からの理解・協力が得られたから」となっている一方、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから」が最も多く、次いで「労働時間を調整したから」となっています。

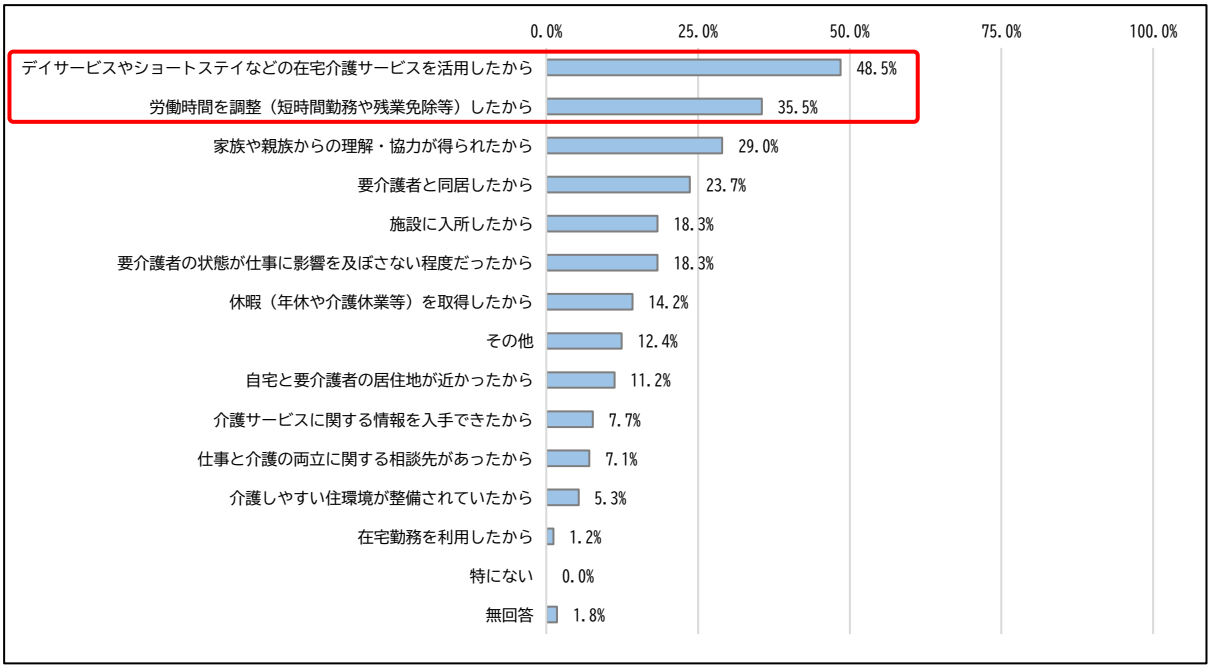
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=221）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=342）



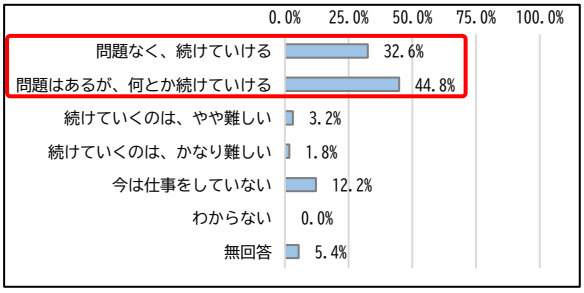
■　「重度」要介護認定者調査（n=169）



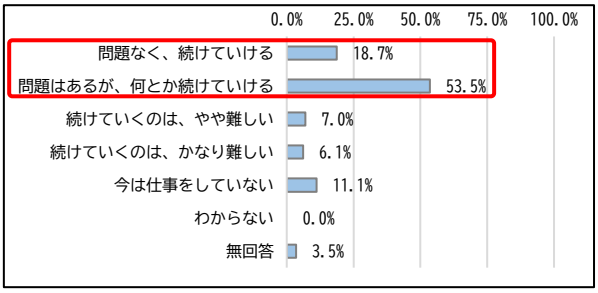
介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。
今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つの番号に○）

介護のために、今後も仕事を辞めないで続けられるかについて、「続けていける」と回答した割合は、事業対象者・要支援認定者では 77.4%、「軽度」要介護認定者では 72.2%、「重度」要介護認定者では 69.2%となっています。

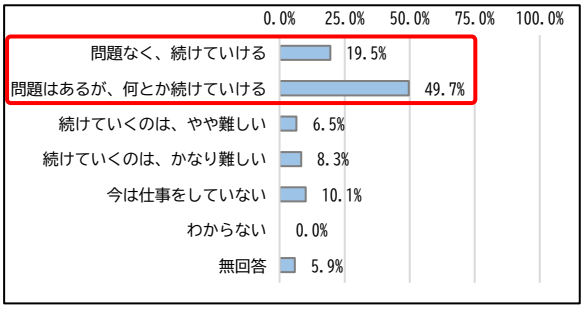
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=221）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=342）



■　「重度」要介護認定者調査（n=169）

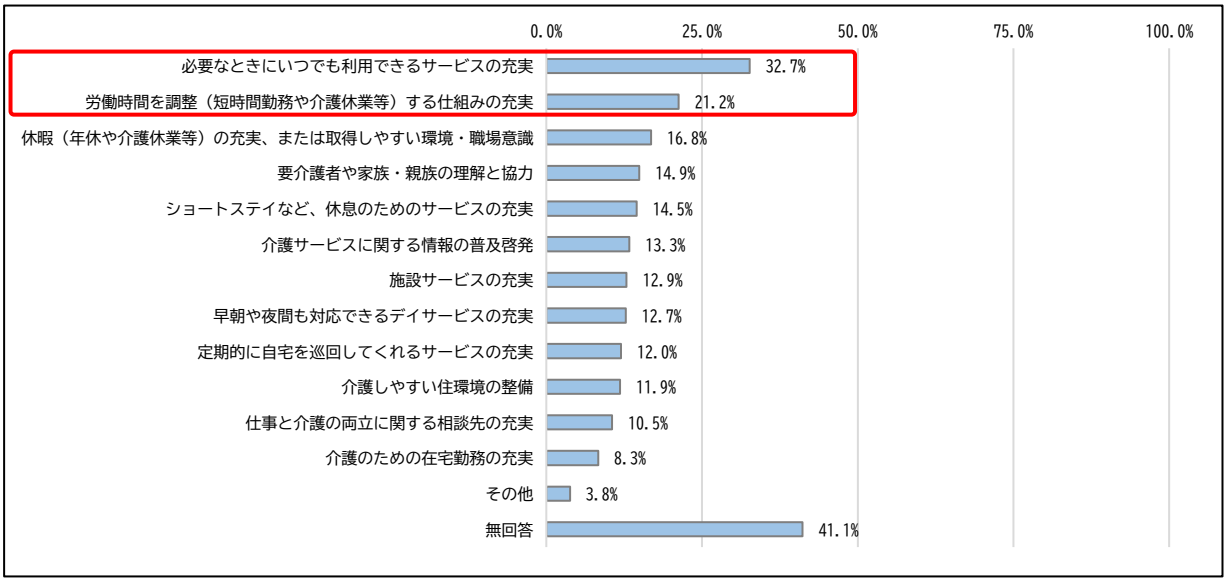


介護のために仕事を辞めないで続けている（続けた）と回答した方のみ、お答えください。

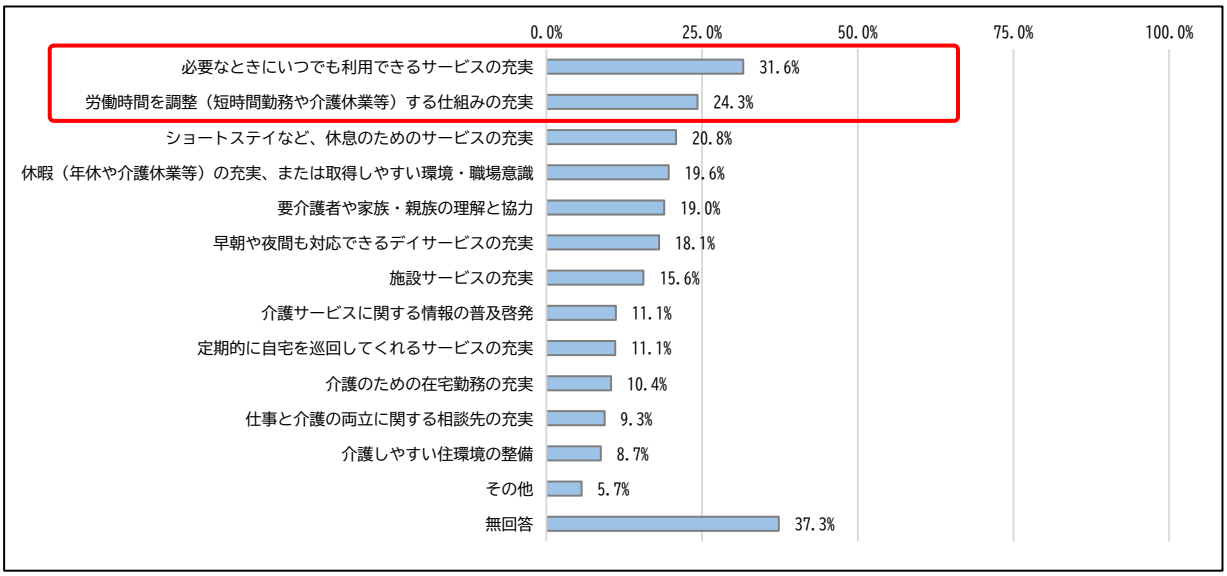
どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後も仕事を辞めないで続けられるための支援について、「必要な時にいつでも利用できるサービスの充実」が最も多くなっており、事業対象者・要支援認定者、「軽度」要介護認定者では次いで「労働時間を調整する仕組みの充実」となっており、「重度」要介護認定者では「早朝や夜間も対応できるデイサービスの充実」「ショートステイなど、休息のためのサービスの充実」が高くなっており、介護サービスの充実、レスパイトサービスの充実を求める意見が多くなっています。

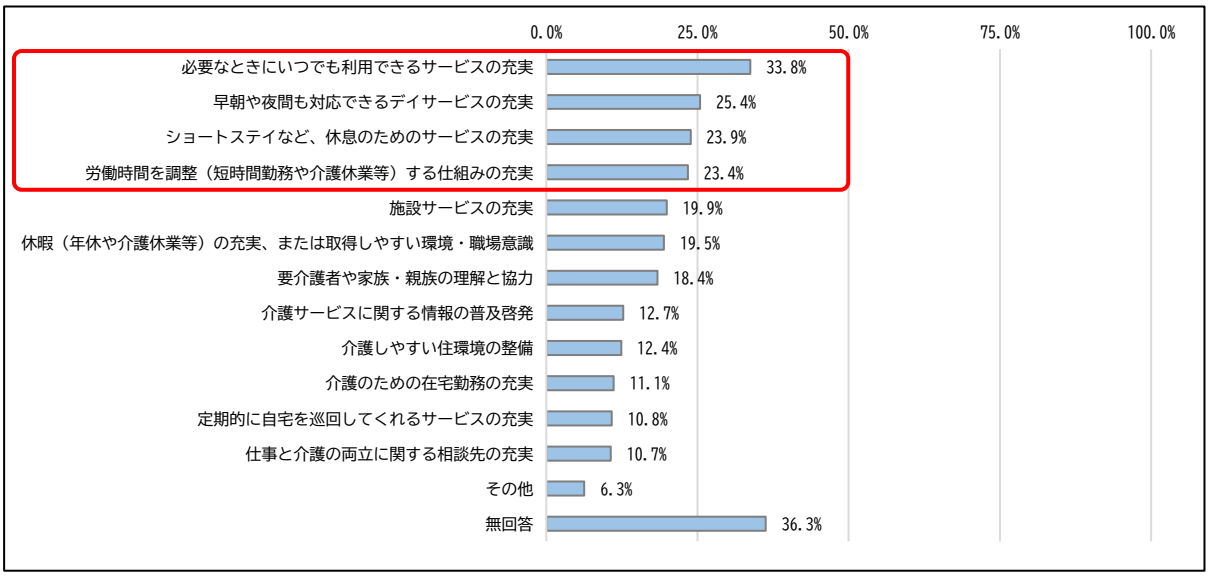
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

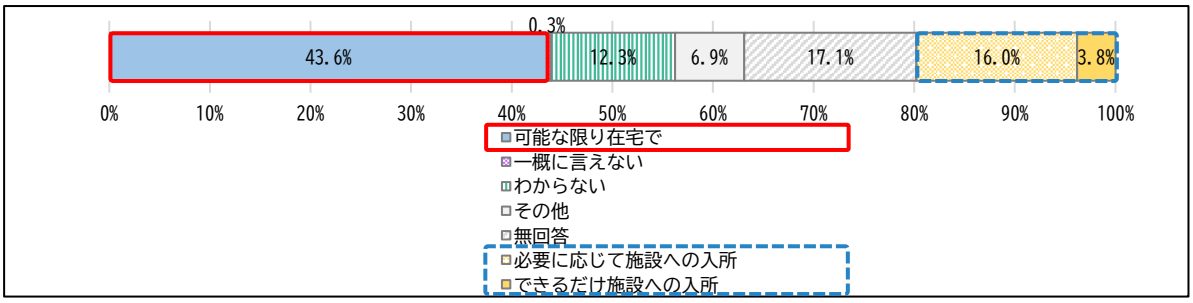


（４）今後の介護の方法

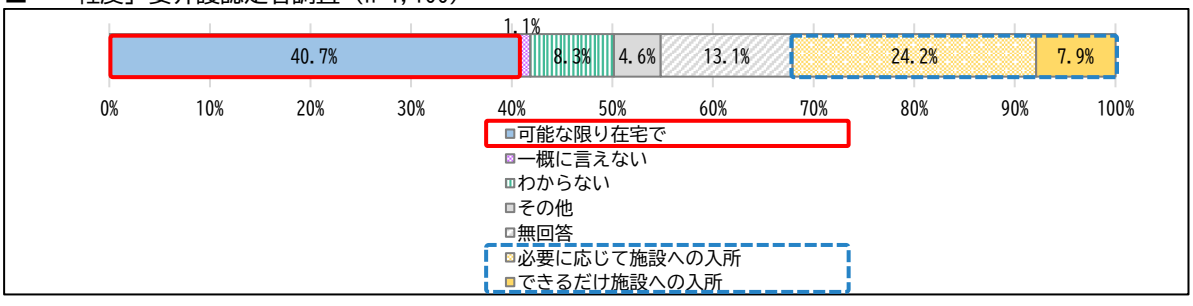
今後の介護の方法はどのように考えていますか。（１つの番号に○）

今後の介護の方法をどのように考えているかについて、事業対象者・要支援認定者では「できる限り在宅で」が 43.6%となっており、施設への入所については 19.8%となっています。「軽度」要介護認定者では「できる限り在宅で」が 40.7%、施設への入所については 32.1%、「重度」要介護認定者「できる限り在宅で」が 41.8%、施設への入所については 32.0%となっており、要介護状態になることで、施設への入所を考える傾向が高くなっています。

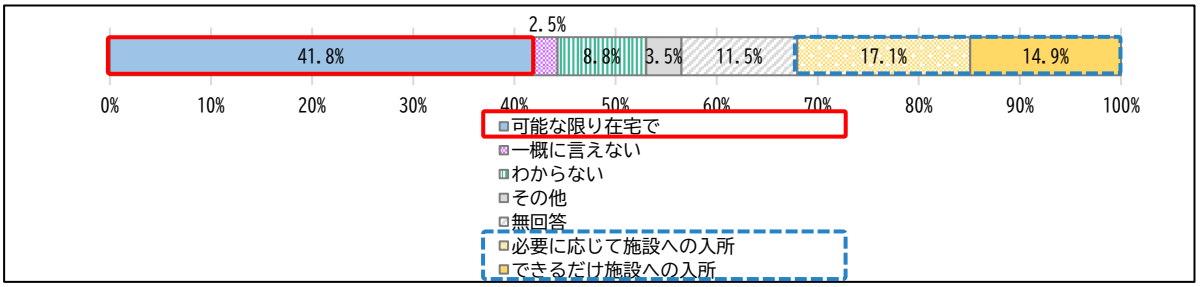
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

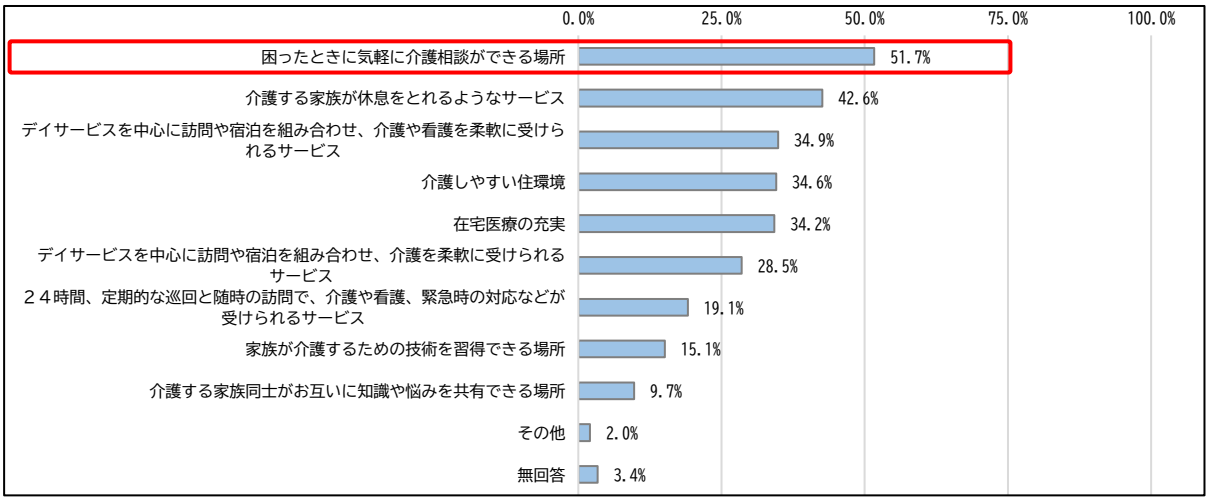


今後も可能な限り在宅で介護をしていくと回答した方のみ、お答えください。

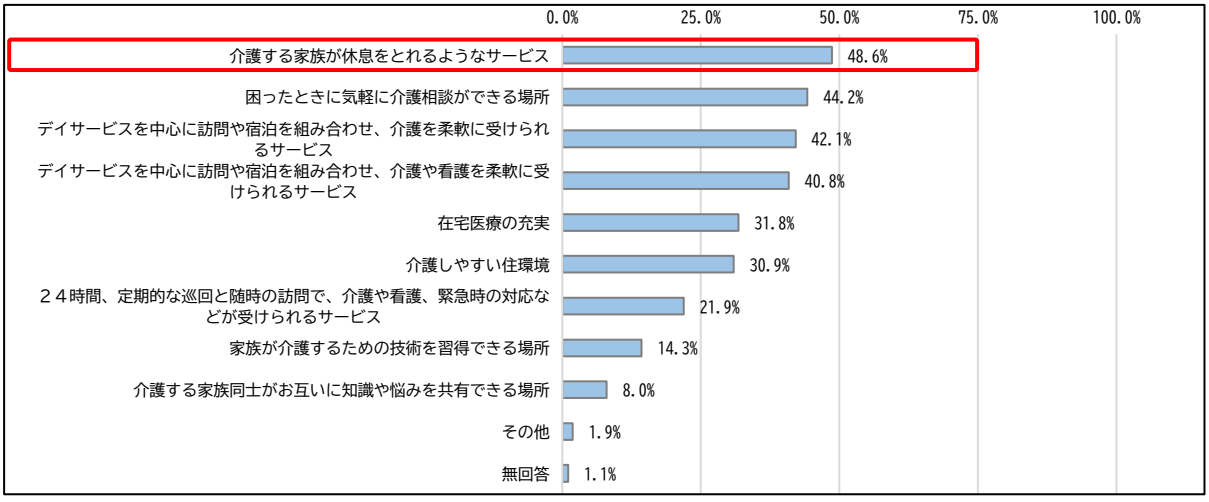
可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後も可能な限り在宅で介護を続けていくために必要なこととして、事業対象者・要支援認定者では「困ったときに気軽に介護相談ができる場所」が最も多く 51.7%となっており、「軽度」要介護認定者、「重度」要介護認定者では「介護する家族が休息をとれるようなサービス」が最も多くなっています。

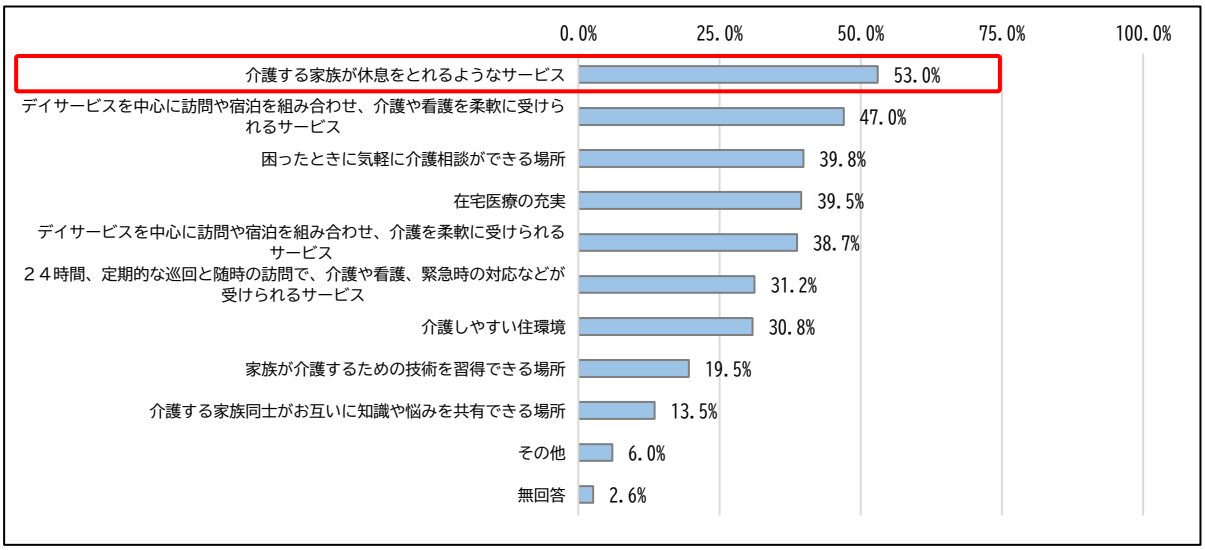
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=298）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=475）



■　「重度」要介護認定者調査（n=266）

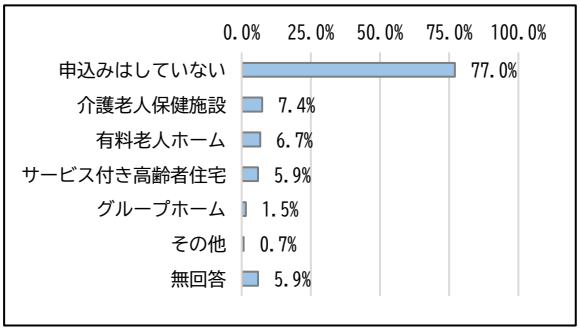


今後の介護について施設の入所を考えていると回答した方のみ、お答えください。

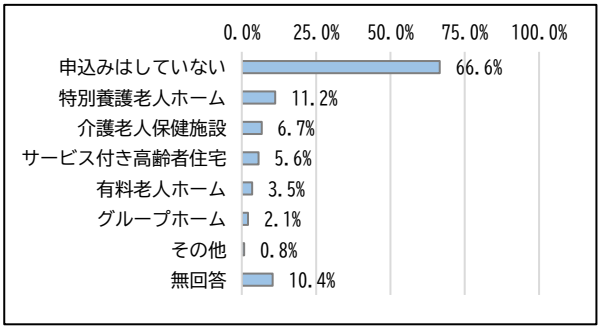
既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後の介護について施設への入所を考えている方が、施設への入所申込みを行っている状況については以下の通りとなっています。

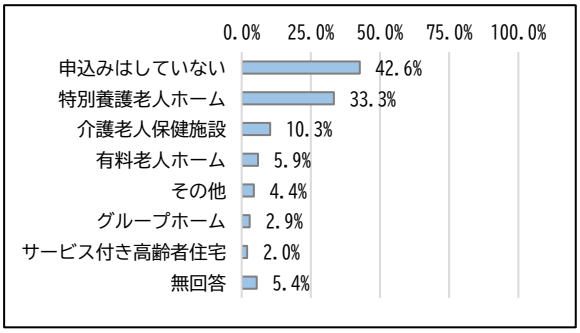
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=135）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=374）



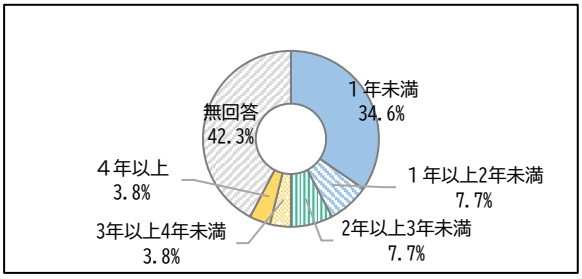
■　「重度」要介護認定者調査（n=204）



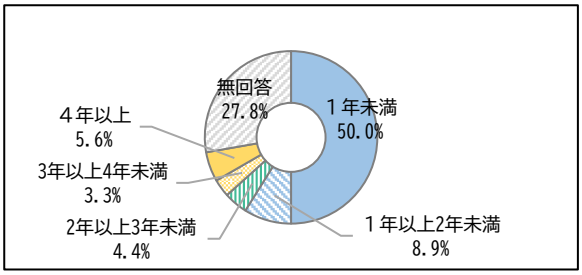
既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください
最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。

既に施設への入所申込みをしている方の申込経過期間について、いずれも「1 年未満」が最も多くなっています。

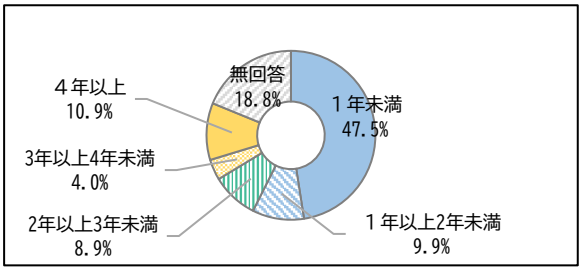
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=26）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=90）



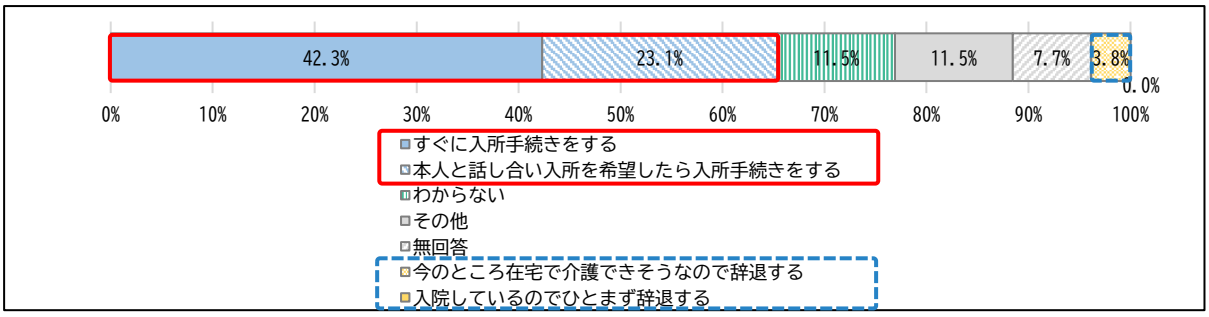
■　「重度」要介護認定者調査（n=101）



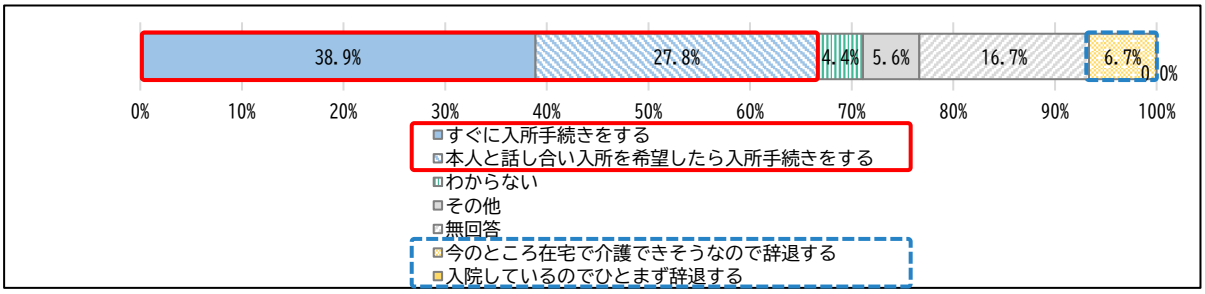
既に申込みをしている施設があると回答した方のみ、お答えください
施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（１つの番号に○）

申込んでいる施設より入所許可の連絡があった場合、「すぐに入所手続きを行う」「本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする」と回答した割合は、事業対象者・要支援認定者では 65.4%、「軽度」要介護認定者では 66.7%、「重度」要介護認定者では 66.3%となっています。

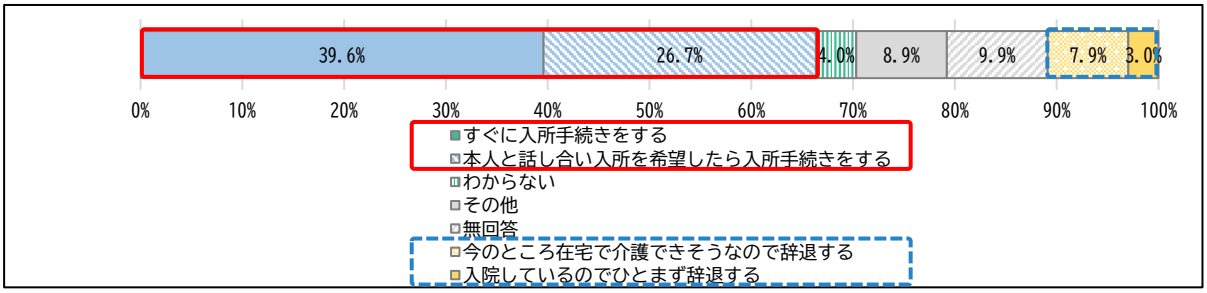
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=26）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=90）



■　「重度」要介護認定者調査（n=101）

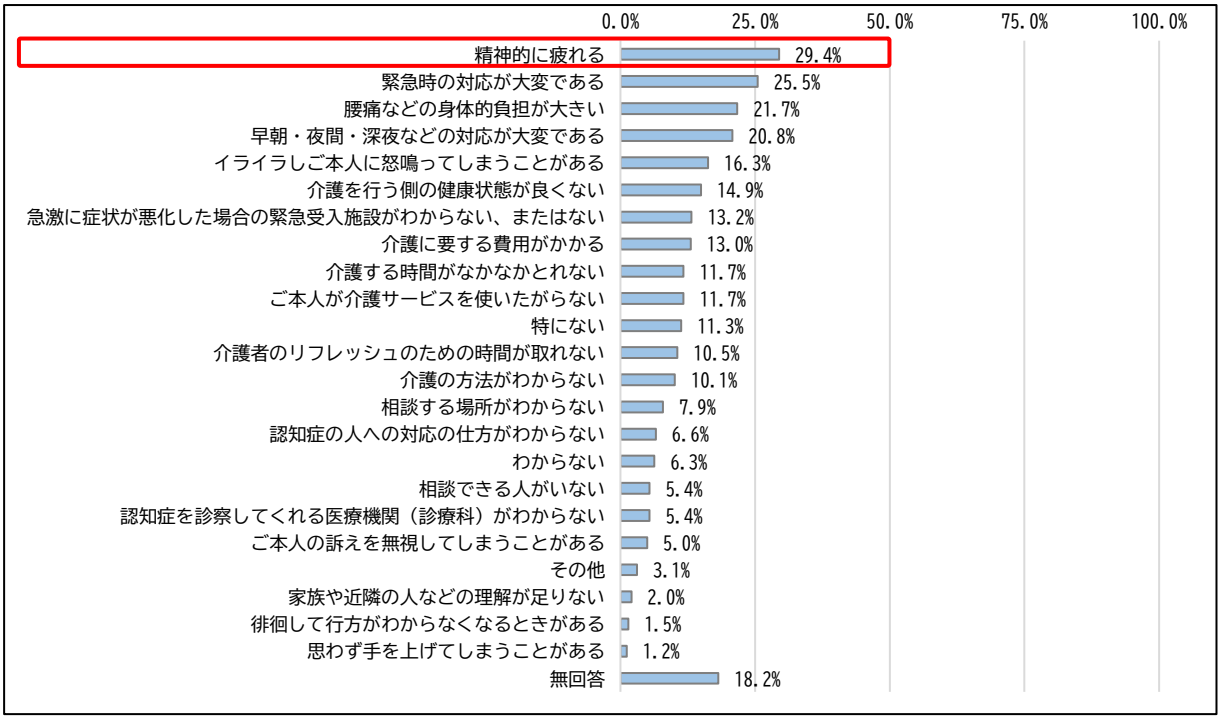


（５）介護における悩み

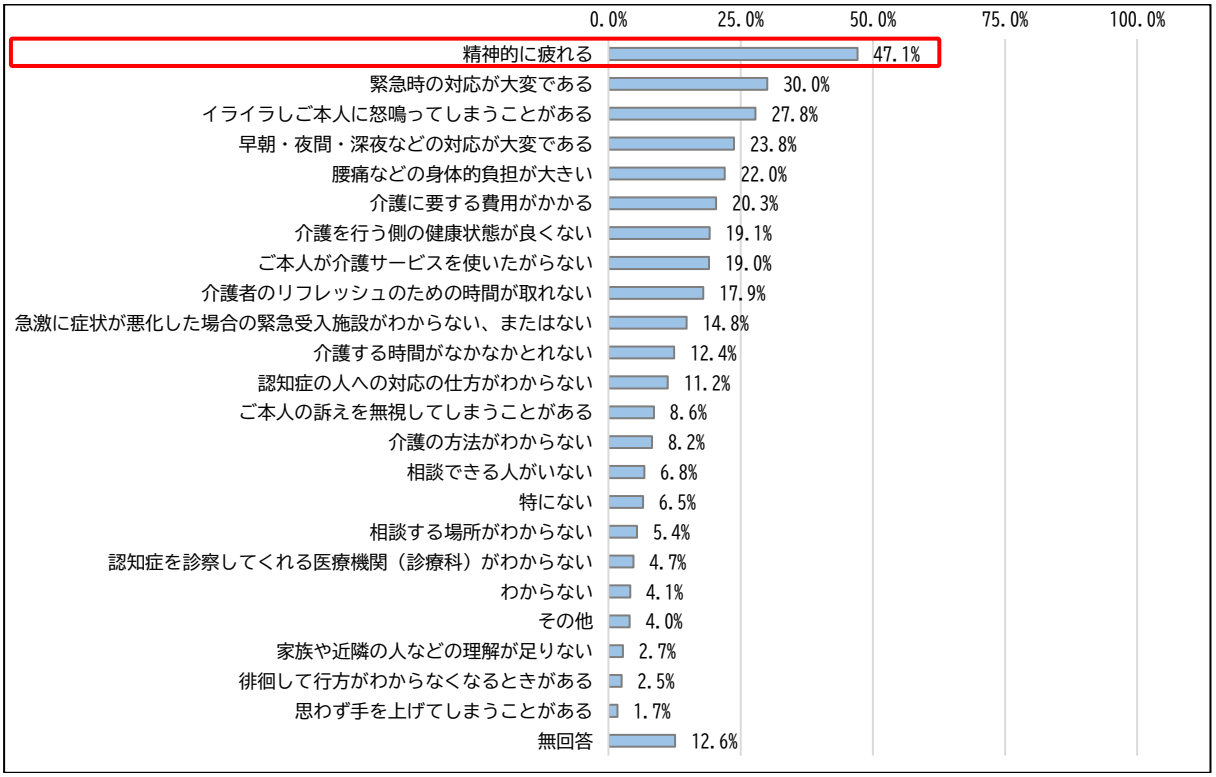
あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

今後介護を行う上で、困ることや悩むことについて「精神的に疲れる」と回答した割合が最も高く事業対象者・要支援認定者では 29.4%、「軽度」要介護認定者では 47.1%、「重度」要介護認定者では 48.4%となっています。

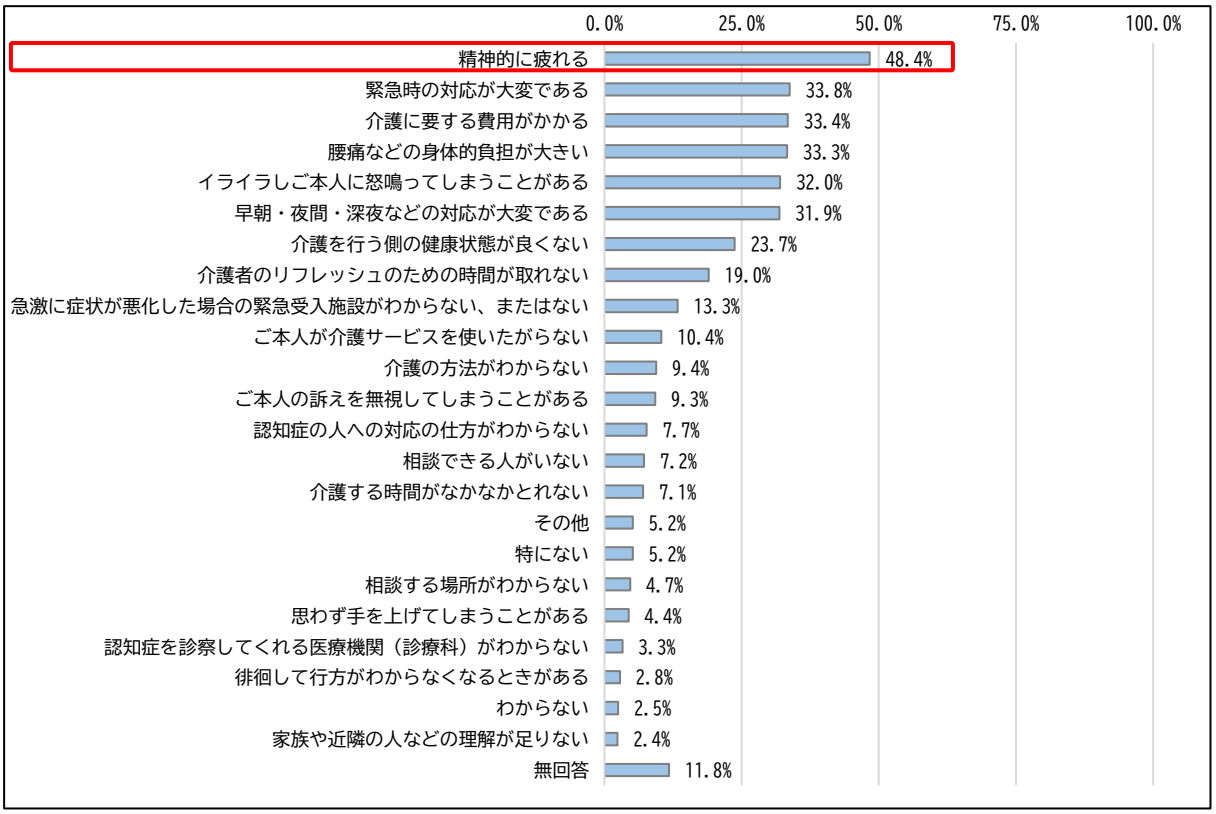
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=101）

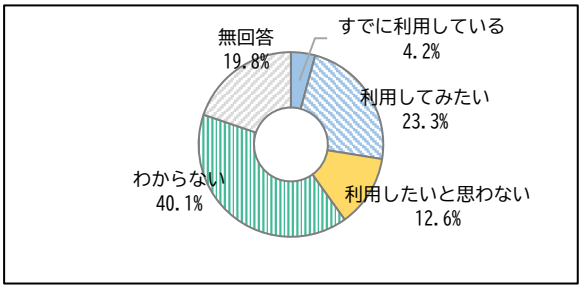


（６）在宅医療

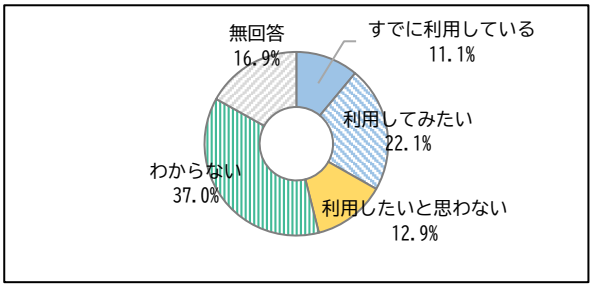
在宅医療を利用してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

在宅医療を「すでに利用している」「利用してみたい」と回答した割合について、事業対象者・要支援認定者では 27.5%、「軽度」要介護認定者では 33.2%、「重度」要介護認定者では 45.9%となっています。

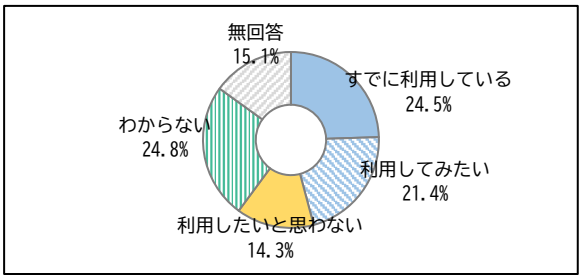
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

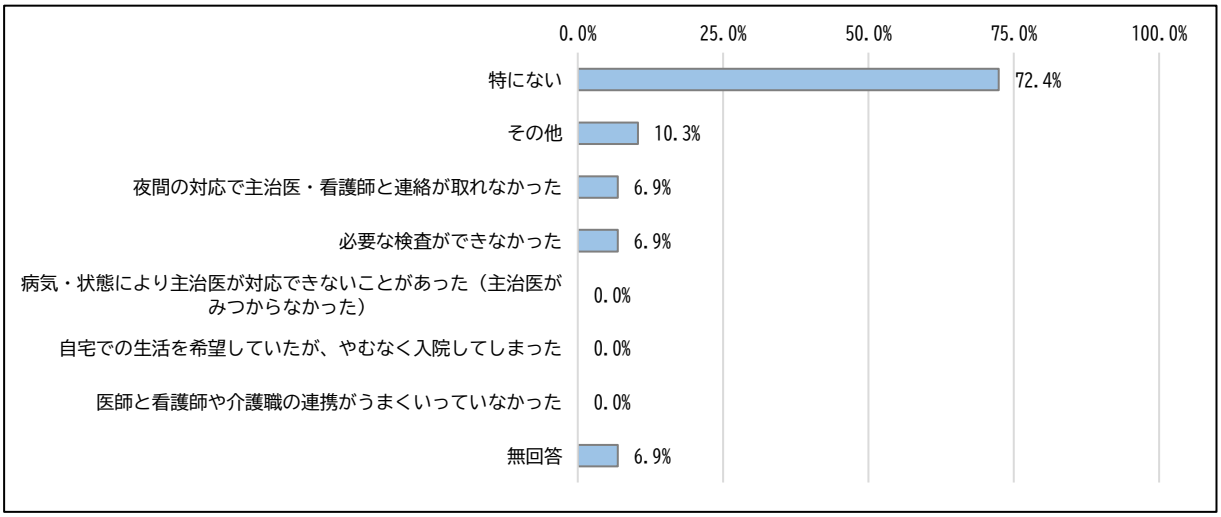


すでに在宅医療を利用していると回答した方のみ、お答えください。

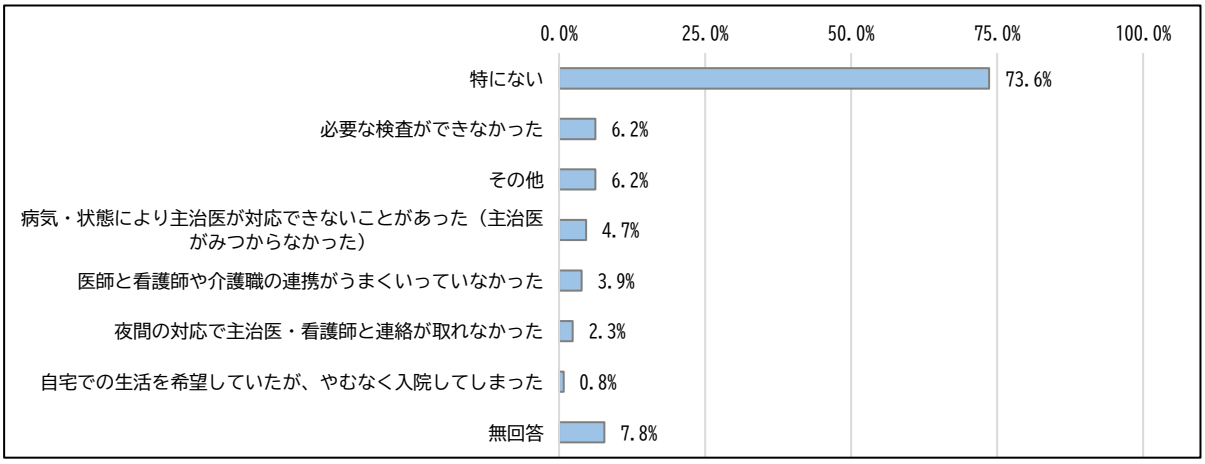
在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

在宅医療を利用している方が、在宅医療で対応できず困ったことについて、「特にない」と回答した割合が高く、約７割となっています。

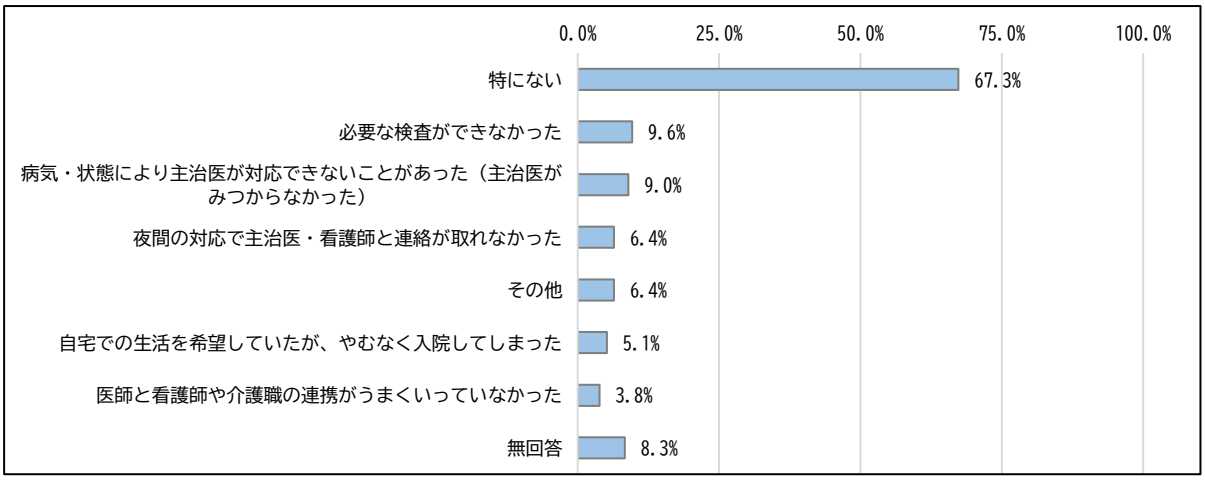
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=29）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=129）



■　「重度」要介護認定者調査（n=156）

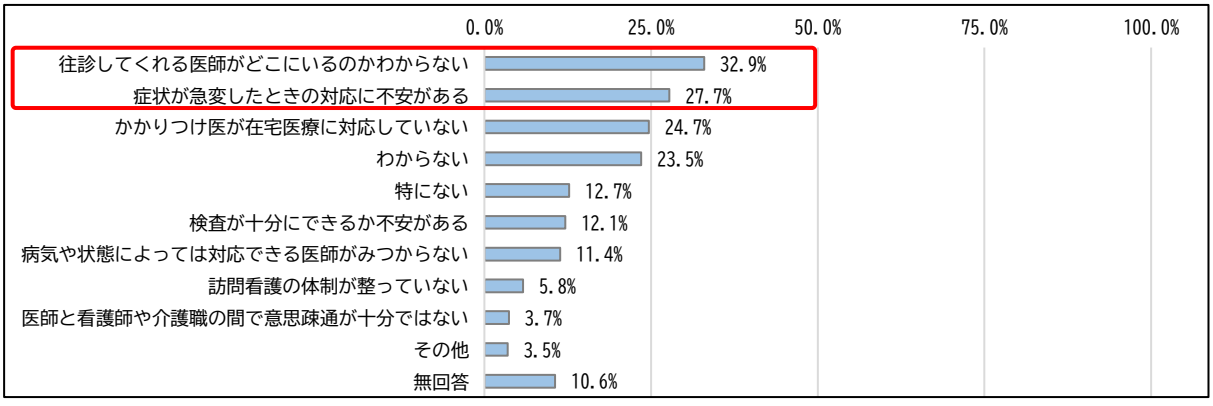


在宅医療を利用していないと回答した方のみ、お答えください。

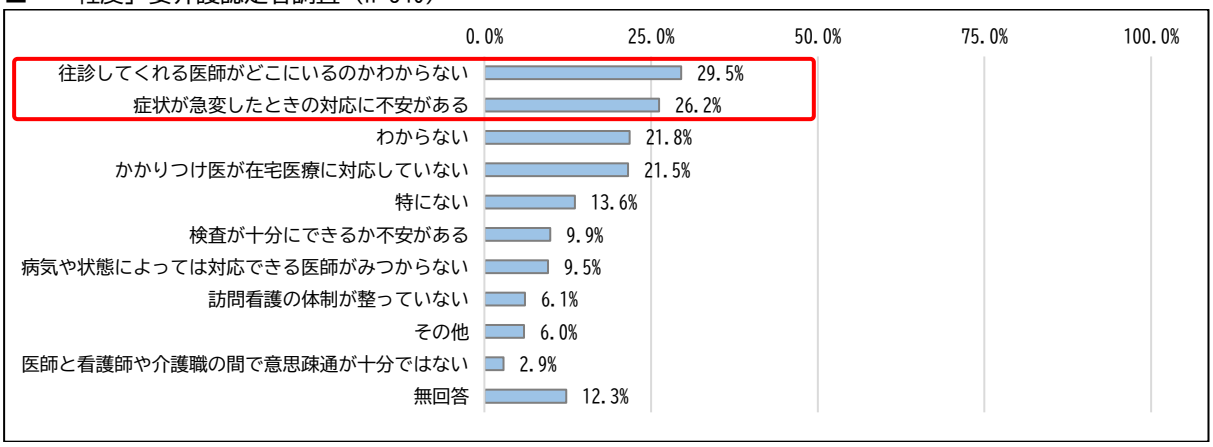
在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか（あてはまるすべての番号に○）

　在宅医療を利用していない方が在宅医療を利用するとしたら不安に思うこととして、「往診してくれる医師がどこにいるかわからない」「症状が急変したときの対応に不安がある」と回答した割合が高くなっています。

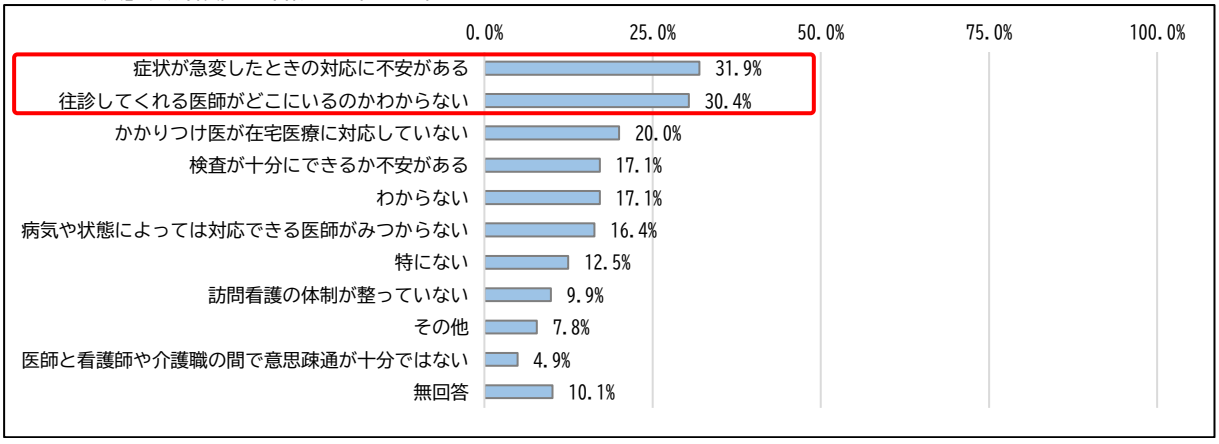
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=519）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=840）



■　「重度」要介護認定者調査（n=385）

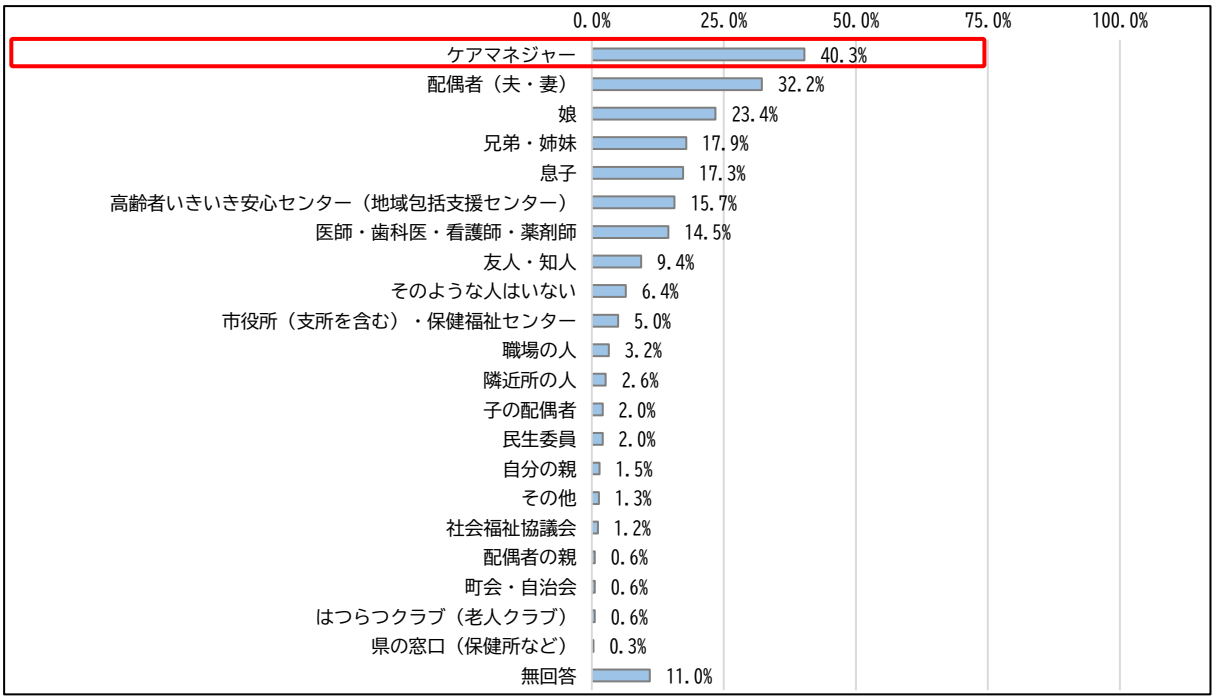


（７）介護に関する相談先

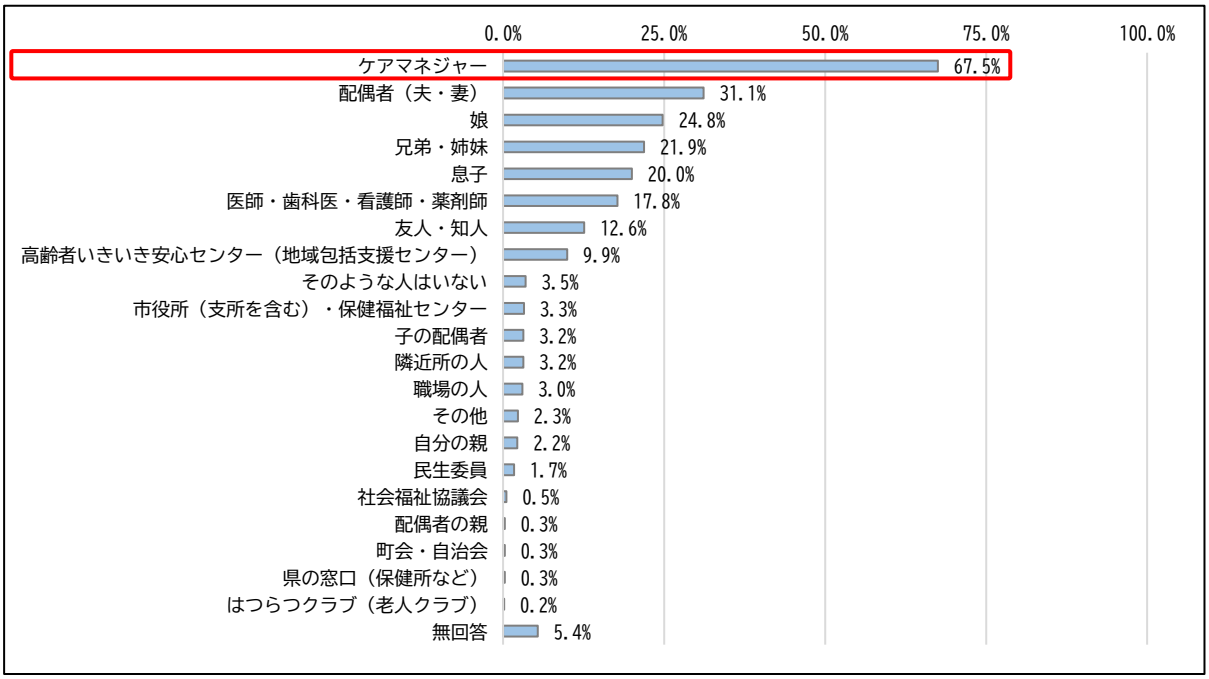
あなた（主な介護者）は、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。（あてはまるすべての番号に○）

介護に関する相談相手として、「ケアマネジャー」が最も多く、事業対象者・要支援認定者では 40.3%、「軽度」要介護認定者では 67.5%、「重度」要介護認定者では 74.7%となっています。

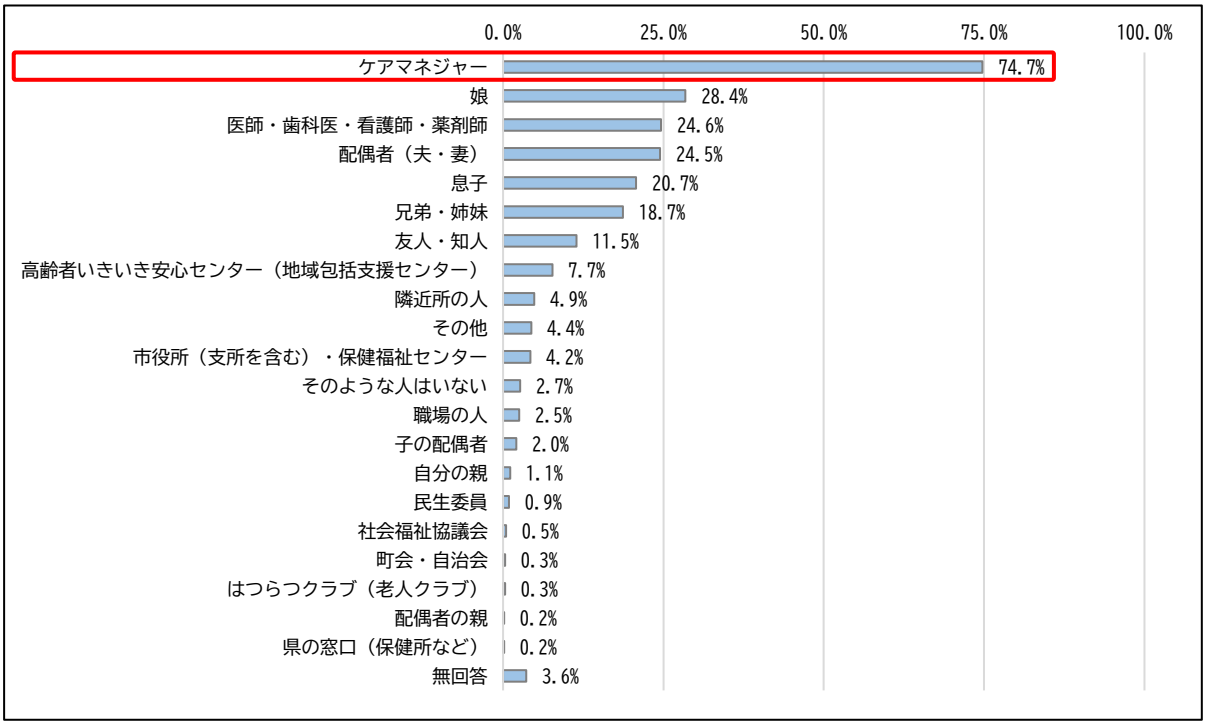
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）

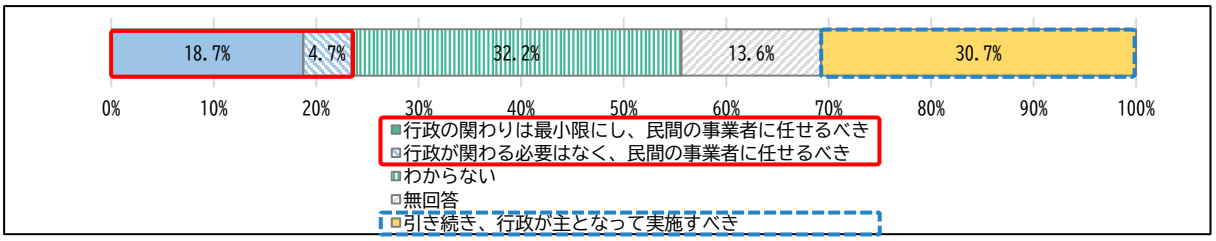


（８）配食サービス

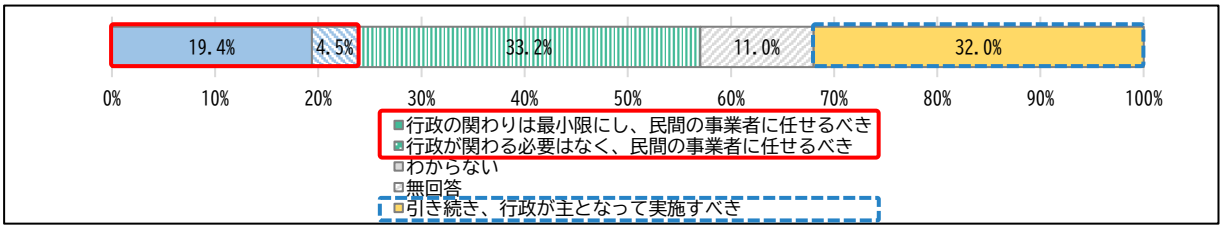
松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

配食サービスについて、「民間の事業者に任せるべき」と回答した割合と、「引き続き、行政が主となって実施すべき」と回答した割合について拮抗しています。

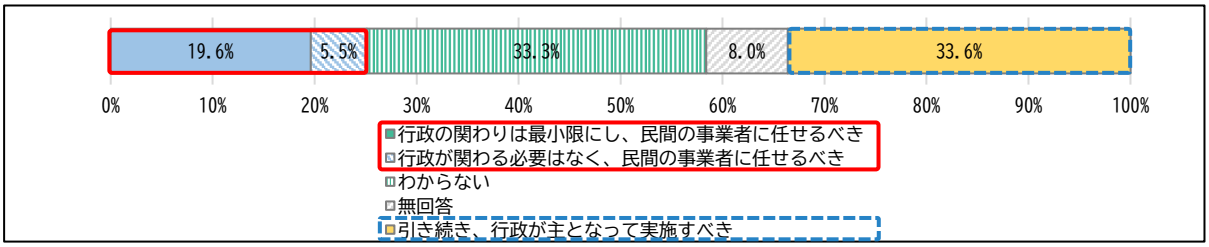
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

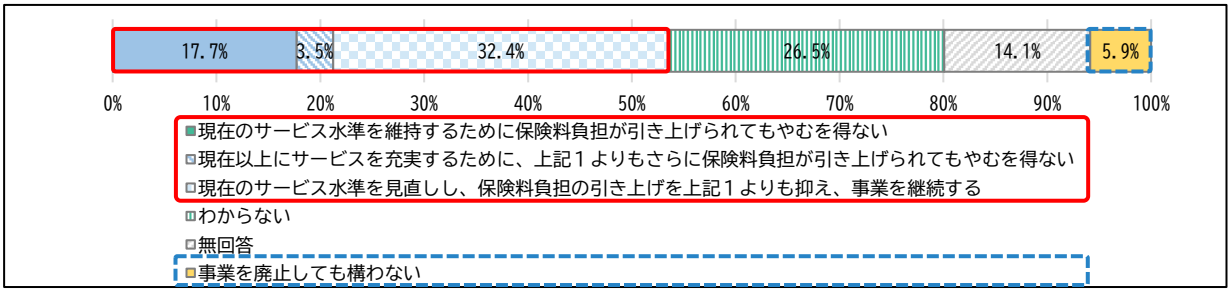


（９）紙おむつ支給事業

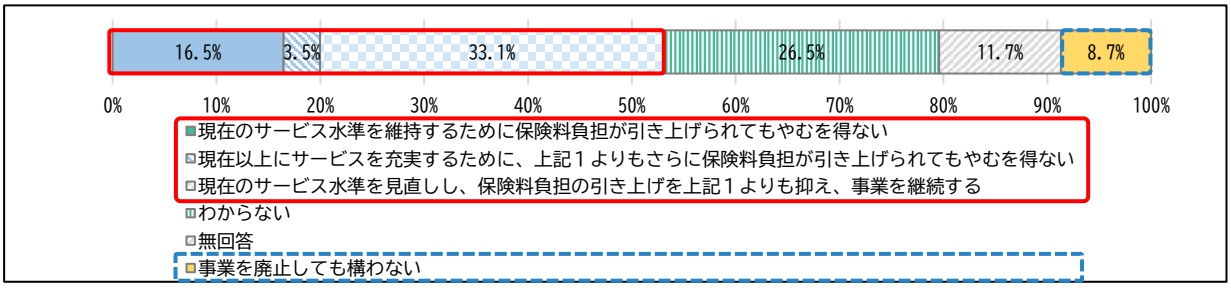
松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

紙おむつを支給する事業について、「現在のサービス水準を見直し事業を継続する」と回答した割合が最も高く、次いで「現在のサービス水準を維持するため保険料が引き上げられてもやむを得ない」となっており、事業の継続を要望する割合が高くなっています。

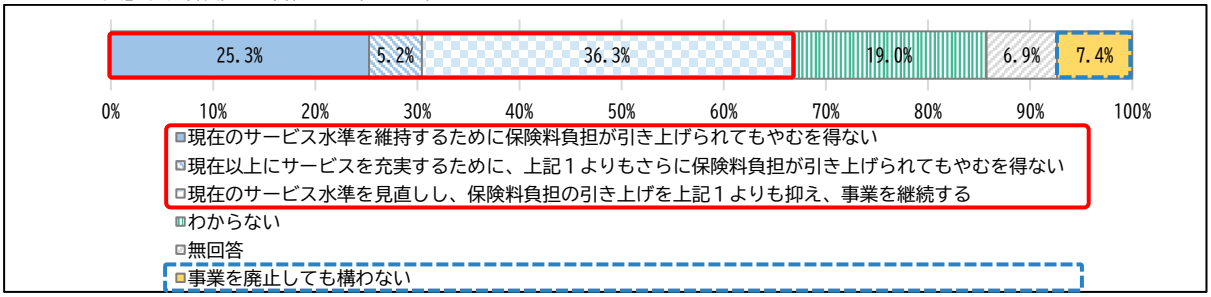
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=768）

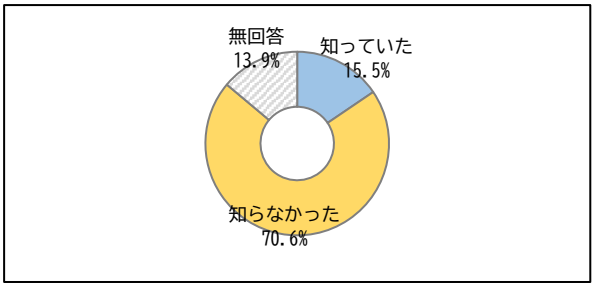


（10）家族介護に関する講座

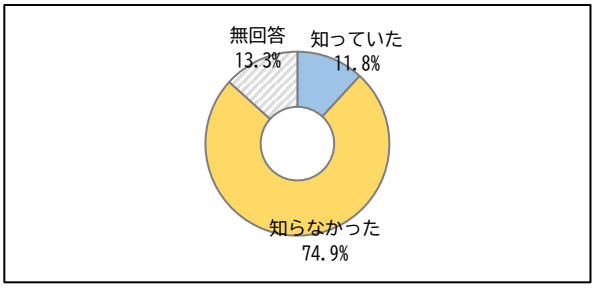
松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。（どちらかに○）

はじめての介護講座」など家族介護に関する講座についての認知度は、約 15%程度となっています。

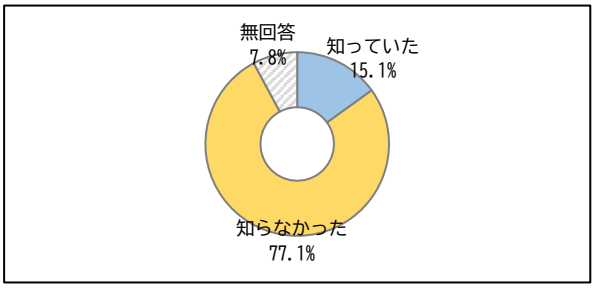
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



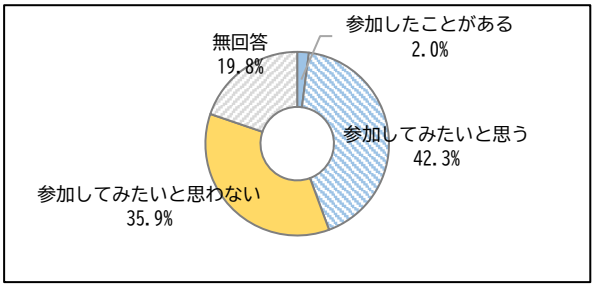
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



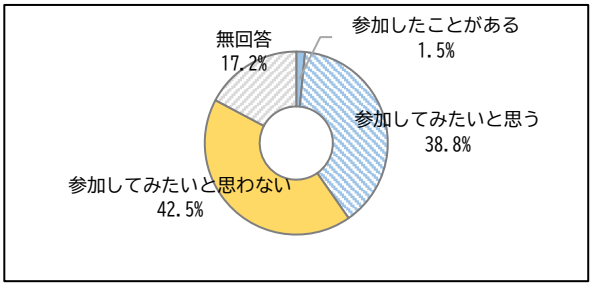
家族介護に関する講座について参加してみたいと思いますか。（１つに○）

家族介護に関する講座についての参加意向は、約４割程度となっています。

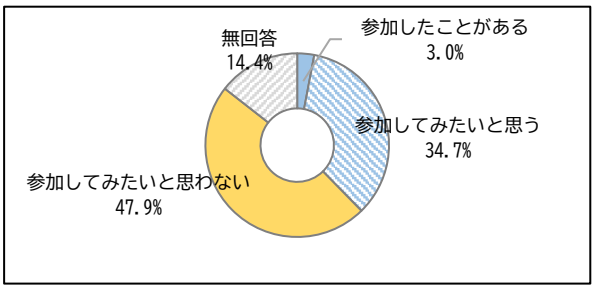
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



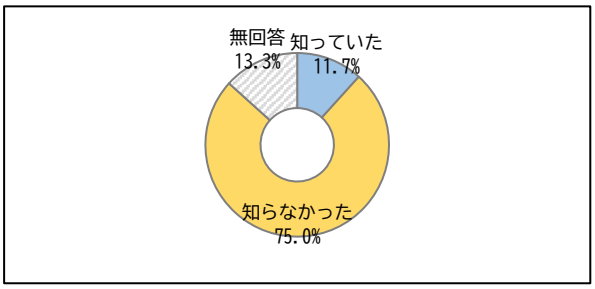
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



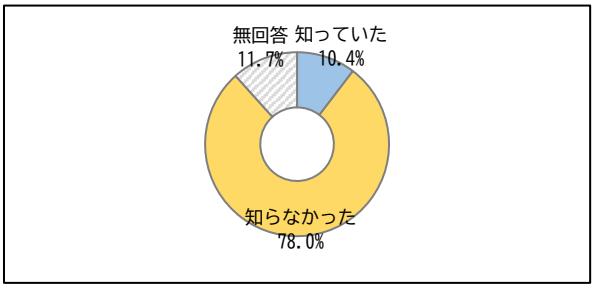
「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。（どちらかに○）

「介護者のつどい」の認知度については、約 10%程度となっています。

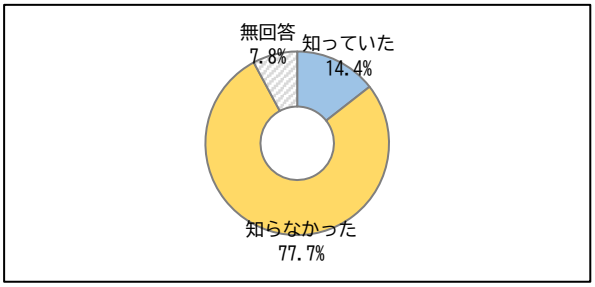
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



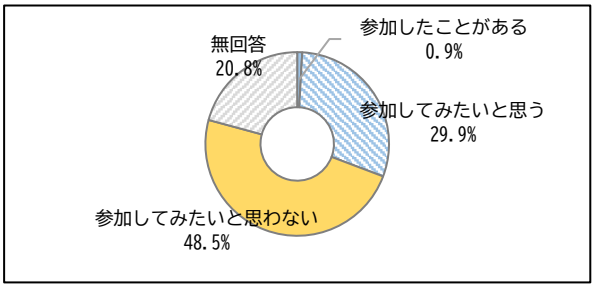
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



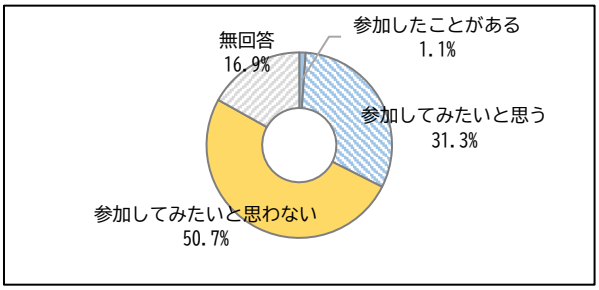
「介護者のつどい」について参加してみたいと思いますか。（１つに○）

「介護者のつどい」への参加意向については、約３割程度となっています。

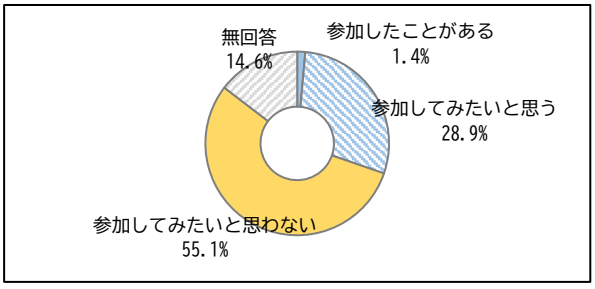
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



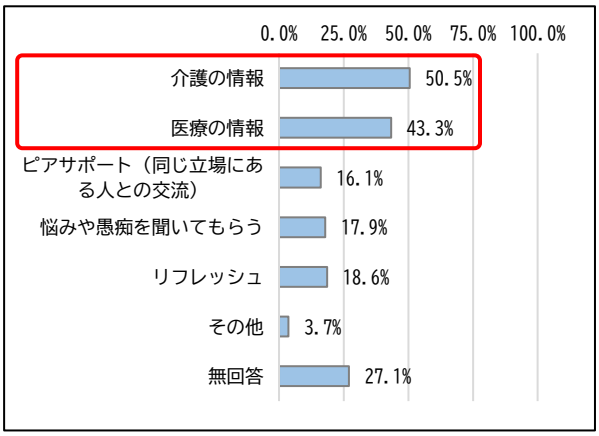
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



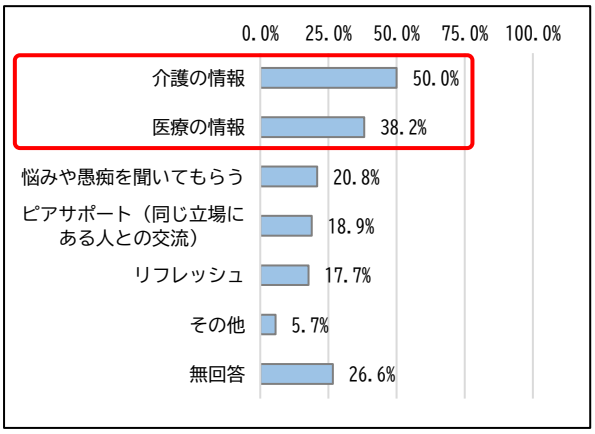
「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。（あてはまるすべての番号に○）

「介護者のつどい」に期待することとして「介護の情報」や「医療の情報」などが多くなっており、情報提供の場としての役割が求められています。

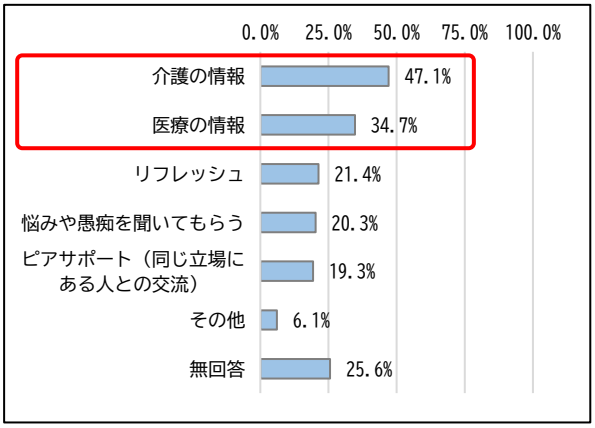
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）



■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



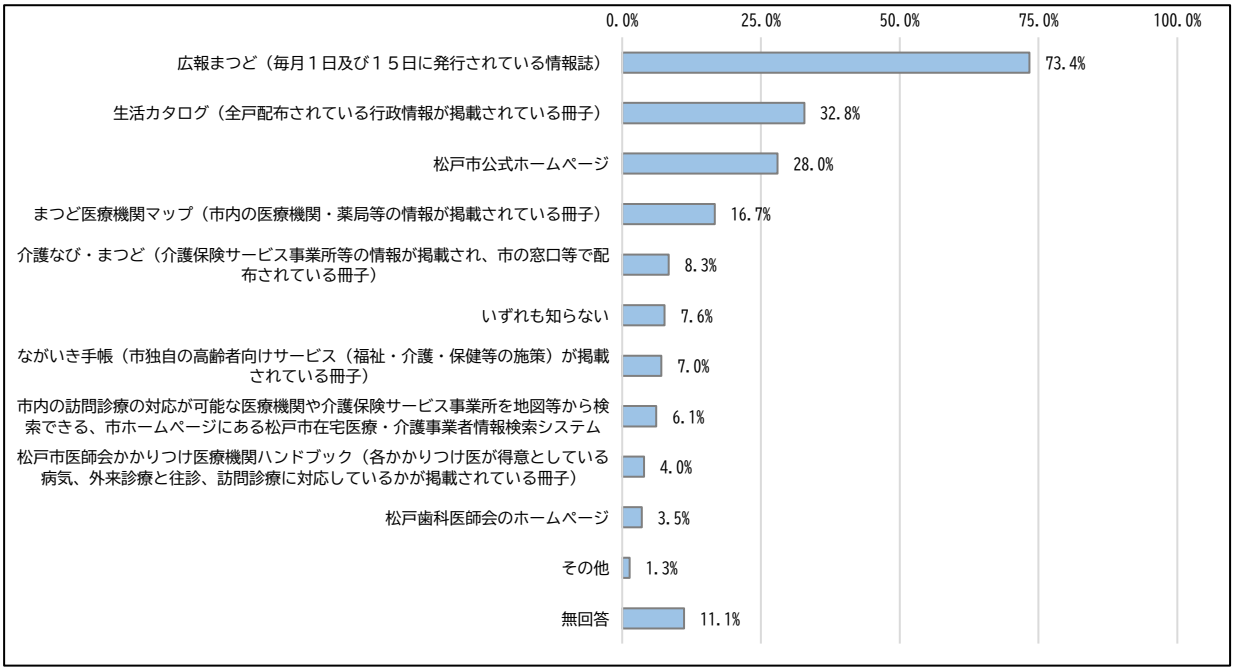
■　「重度」要介護認定者調査（n=637）



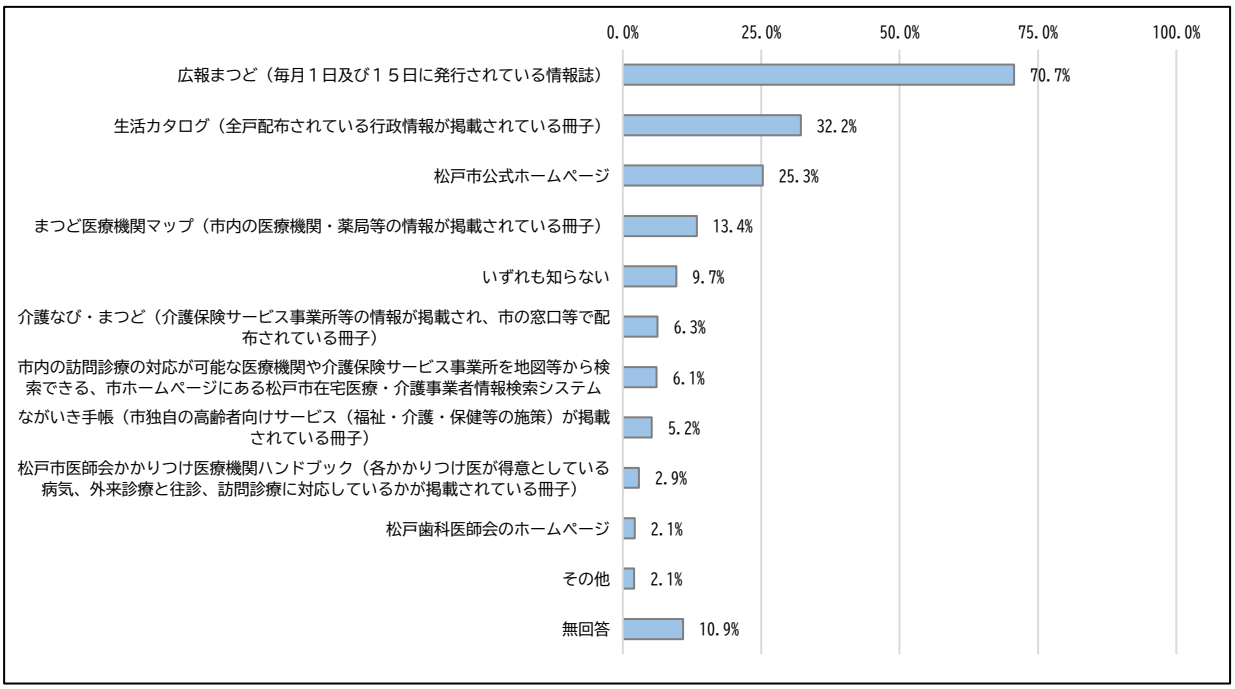
（11）高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段

高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として「広報まつど」が最も多く、７割以上となっており、次いで「生活カタログ」となっています。

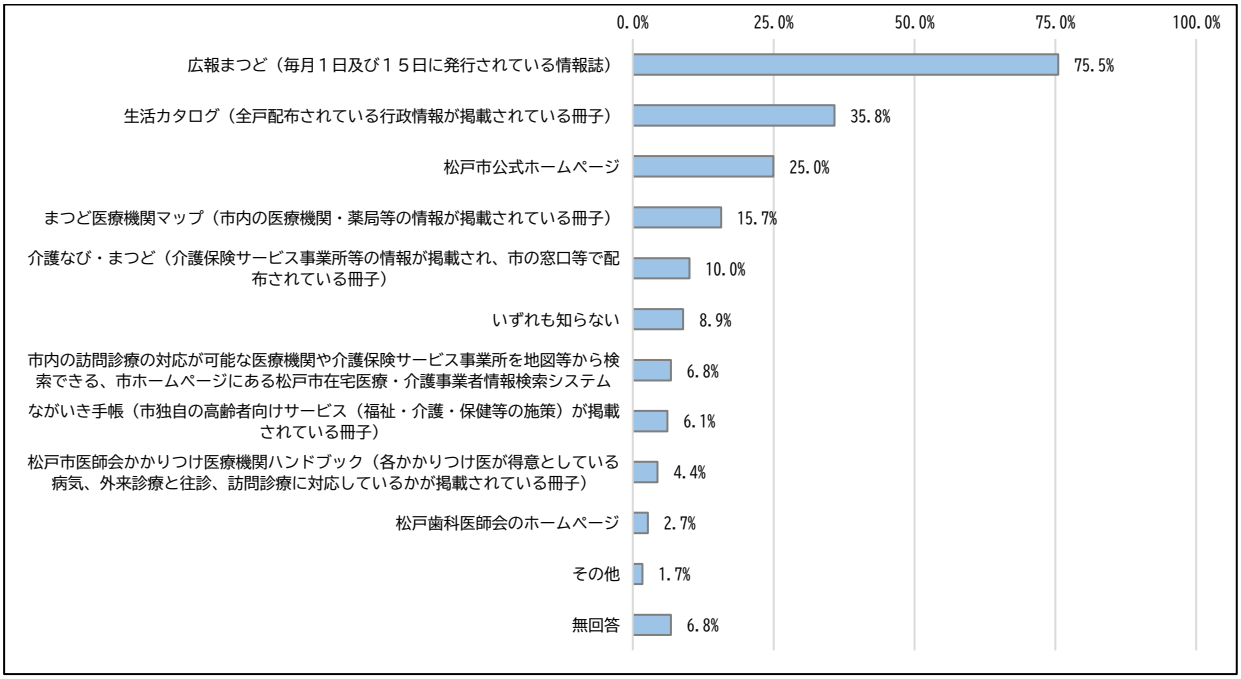
■　事業対象者・要支援認定者調査（n=683）

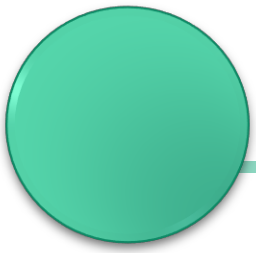


■　「軽度」要介護認定者調査（n=1,166）



■　「重度」要介護認定者調査（n=637）





アンケート調査票

① ― （A）本庁

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査



～　ご協力のお願い　～

日頃より、市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」を目指し、平成 30 年度から令和２年度までを期間とした「いきいき安心プランⅦまつど」（第８期松戸市高齢者保健福祉計画・第７期松戸市介護保険事業計画）を策定し、様々な高齢者支援施策・介護保険事業を実施しています。

この調査は、高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくりがより一層推進されるよう、次期計画となる「いきいき安心プランⅧまつど」（令和３年度から令和５年度まで）を策定するため、40 歳から 64 歳までの方を無作為に 3,000 名抽出させていただいて、年齢に伴う心身の状況や高齢者支援施策に関するお考えなどをお答えいただくものとなります。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただくものであり、統計的に処理しますので回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

ご多忙のことと存じますが、***本市がより一層「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまち」となるためにも、ぜひ回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。***

令和元年 12 月

松戸市長　**本郷谷　健次**

～　ご記入にあたって　～

1. この調査は、**封筒のあて名のご本人**がお答えください。
   なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお気持ちに代わって記入してください。
2. 令和元年 11 月１日現在で抽出しておりますので、対象者に変動があった場合にはご容赦ください。
3. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。
   ○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
   「その他」を選択した場合は、（　　）の中に具体的な内容をご記入ください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を同封の返信用封筒に入れて**令和２年１月 17 日（金）までに**郵便ポストへご投函ください。（切手不要）
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
   なお、**土・日・祝日及び令和元年 12 月 28 日（土）から令和２年１月５日（日）までは閉庁しております**のでご了承願います。

【お問合せ先】松戸市役所　高齢者支援課
電話：047-366-7346（直通）　FAX：047-366-0991
E-mail：mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp

この調査票を記入されるのはどなたですか。（１つの番号に○）

1．あて名のご本人が記入
2．ご家族が記入　⇒　あて名のご本人からみた続柄：（　　）
3．その他（　　）

これ以降の「あなた」は、ご本人（あて名の方）についてうかがいます。

問１　あなたご自身についてうかがいます。

（１）令和元年 11 月１日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

満　［　　］　歳

（２）あなたの性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（３）あなたの職業をお答えください。（１つの番号に○）

1．会社員　　4．パート・アルバイト　　7．その他（　　）
2．公務員　　5．専業主婦・専業主夫
3．自営業　　6．無職

問２　あなたのご家族や生活状況についてうかがいます。

（１）家族構成をお教えください。（１つの番号に○）

1．１人暮らし　　4．息子・娘との２世帯
2．夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）　　5．その他（３世帯を含む）
3．夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）

（２）あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（１つの番号に○）

1．趣味の用事のときだけ出かける　⇒ ①へ
2．近所のコンビニなどには出かける　⇒ ①へ
3．自室からは出るが、家からは出ない　⇒ ①へ
4．自室からほとんど出ない　⇒ ①へ
5．該当する方はいない　⇒ （３）へ

◎下記①②は、（２）で「１」～「４」（いる）と回答した方のみ、お答えください。

①その期間は下記のうちどれですか（あてはまる番号すべてに○）

1．３か月未満　　4．１年～３年未満　　7．10 年以上
2．３か月～６か月未満　　5．３年～５年未満
3．６か月～１年未満　　6．５年～10 年未満

②その方の年齢はいくつですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．20 歳未満　　3．40 歳～64 歳　　5．75 歳以上
2．20 歳～39 歳　　4．65 歳～74 歳

（3）世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成 30 年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

1．50 万円未満	6．250～300 万円未満	11．700～800 万円未満
2．50～100 万円未満	7．300～400 万円未満	12．800～900 万円未満
3．100～150 万円未満	8．400～500 万円未満	13．900～1000 万円未満
4．150～200 万円未満	9．500～600 万円未満	14．1000～1200 万円未満
5．200～250 万円未満	10．600～700 万円未満	15．1200 万円以上

（4）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つの番号に○）

1．大変苦しい	4．ややゆとりがある
2．やや苦しい	5．大変ゆとりがある
3．ふつう	

（5）あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（１つの番号に○）

1．持家（一戸建て）	5．民間賃貸住宅（集合住宅）
2．持家（集合住宅）	6．借家
3．公営賃貸住宅	7．その他（　　）
4．民間賃貸住宅（一戸建て）	

（6）ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代のひきこもりの子を 80 代の親が面倒見るケースが増えているという社会問題が 8050 問題と呼ばれています。ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．ひきこもり傾向の方	4．知的障害をお持ちの方	7．該当する方はいない
2．身体に障害をお持ちの方	5．医療的なケアを要する方	
3．精神的に障害をお持ちの方	6．その他支援を要する方	

問３　あなたの身体状況についてうかがいます。

（1）あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）

身長 [　　] cm　　体重 [　　] kg

（2）この６ヶ月間で２～３ｋｇ以上の体重減少がありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（3）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つの番号に○）

1．とてもよい	3．あまりよくない
2．まあよい	4．よくない

（4）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．ない	11．外傷（転倒・骨折等）
2．高血圧	12．がん（悪性新生物）
3．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13．血液・免疫の病気
4．心臓病	14．うつ病
5．糖尿病	15．認知症（アルツハイマー病等）
6．高脂血症（脂質異常）	16．パーキンソン病
7．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17．目の病気
8．胃腸・肝臓・胆のうの病気	18．耳の病気
9．腎臓・前立腺の病気	19．その他（　　）
10．筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	

（5）あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（6）あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（7）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（１つの番号に○）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

1．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用　→ ①へ
2．自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし　→（8）へ
3．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用　→ ①へ
4．自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし　→（8）へ

◎下記①は、（7）で「1」「3」（入れ歯の方）と回答した方のみ、お答えください。

①毎日入れ歯の手入れをしていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（8）噛み合わせは良いですか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

問４　食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

（1）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（2）お茶や汁物等でむせることがありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（3）口の渇きが気になりますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（4）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（5）お酒は飲みますか。（１つの番号に○）

1．ほぼ毎日飲む　2．時々飲む　3．ほとんど飲まない　4．もともと飲まない

（6）タバコは吸っていますか。（１つの番号に○）

1．ほぼ毎日吸っている　2．時々吸っている　3．吸っていたがやめた　4．もともと吸っていない

（7）どなたかと食事をともにする機会はありますか。（１つの番号に○）

1．毎日ある　3．月に何度かある　5．ほとんどない
2．週に何度かある　4．年に何度かある

問５　毎日の生活についてうかがいます。

（1）生きがいはありますか。（１つに○）

1．はい　→ ①へ　　2．思いつかない　→（2）へ

◎下記①は、（1）で「1」（はい）と回答した方のみ、お答えください。

①「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．働くこと（自営・家事等も含む）
2．家族の世話や介護
3．ご近所や友達とのつきあい
4．スポーツ・レクリエーション
5．学習や教養を高めること・趣味の活動
6．町会・自治会の活動
7．はつらつクラブ（老人クラブ）の活動
8．ボランティア活動
9．おしゃれや服装のこと
10．家族との団らん
11．テレビやラジオの視聴
12．信仰に関すること
13．旅行や買い物などの外出
14．食事をすること
15．その他（　　）

（2）あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください）。（１つの点数に○）

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

（3）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（4）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（5）フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

問６　地域での活動についてうかがいます。

（1）あなたは、町会または自治会に加入していますか。（１つの番号に○）

1．はい　　2．いいえ　　3．わからない

（2）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～④それぞれに回答してください。（①～④それぞれ１つの番号に○）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6

（3）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．是非参加したい　　3．参加したくない
2．参加してもよい　　4．既に参加している

（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．是非参加したい　→ ①へ　　3．参加したくない　→ 問7へ
2．参加してもよい　→ ①へ　　4．既に参加している　→ 問7へ

◎下記①は、（4）で「1」「2」（是非参加したい・参加してもよい）と回答した方のみ、お答えください。

①活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．グループの運営の仕方がわからない
2．グループを運営する場所がない
3．時間的余裕がない
4．魅力的なグループがない
5．行ける範囲にグループが存在しない
6．どこにグループがあるのかわからない
7．身体的理由から外出が困難
8．活動に馴染める自信がない
9．特にない

問7　たすけあいについてうかがいます。

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（2）反対にあなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．自治会・町内会・老人クラブ	5．地域包括支援センター・役所・役場
2．社会福祉協議会・民生委員	6．その他（　　）
3．ケアマネジャー	7．そのような人はいない
4．医師・歯科医師・看護師	

（6）あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合い活動として、自分ができる範囲で何か協力することはできますか。（1つの番号に○）

1．はい	2．いいえ	3．わからない

（7）あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力することができることはどんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．車両などによる送迎	4．認知機能の低下を補うサポート
2．歩行の不安を補う見守り・介助	5．その他（　　）
3．歩行器・車椅子使用による付添・介助	6．協力できない

（8）あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。（1つの番号に○）

1．はい　→（9）へ　　2．いいえ　→ ①へ　　3．どちらともいえない→（9）へ

◎下記①は、（8）で「2」（いいえ）と回答した方のみ、お答えください。

①協力できない理由は何ですか。（1つの番号に○）

1．自分に手助けが必要だから	3．家族で精一杯だから
2．自分で精一杯だから	4．その他（　　）

（9）「地域共生社会」という言葉・内容を知っていますか。（1つの番号に○）

1．名称も内容も知っている　→ ①へ　　3．名称も内容も知らない　→ 問8へ

2．名称は知っているが、内容は知らない　→ 問8へ

◎下記①は、（9）で「1」（名称も内容も知っている）と回答した方のみ、お答えください。

①地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．困っている人への声かけ	6．趣味や特技を活かした社会貢献
2．町会・自治会等への参加・協力	7．話し相手になること
3．家事支援（ゴミ出し・草取りなど）	8．その他（　　）
4．地域の安否確認や見守り活動	9．わからない
5．子育て支援	

問8　住んでいる地域についてうかがいます。

（1）あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（1つの番号に○）

1．とても愛着がある	3．どちらともいえない	5．全く愛着がない
2．まあまあ愛着がある	4．あまり愛着がない	

（2）あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。（1つの番号に○）

1．互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2．日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3．あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4．つきあいは全くしていない

（3）あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。（1つの番号に○）

1．避難場所・経路を把握している	3．どちらも把握していない
2．避難場所は把握しているが、経路は把握していない	

（4）避難するにあたり不安はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．避難場所がわからない	6．医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
2．避難場所への移動手段がない	7．ペットを連れて避難できるか不安
3．避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない	8．その他（　　）
4．避難場所での生活が不安	9．不安はない
5．持病があるので不安	

（5）最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。（1つの番号に○）

（※）かかりつけ医とは？
身近で安心して幅広く何でも相談に応じ、病状によっては適切な医療機関を紹介してくれる医師のことです。

1．松戸市内にある → ②へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある → ①へ
3．柏市・流山市にある → ①へ
4．我孫子市・野田市にある → ①へ
5．その他千葉県内にある → ①へ
6．千葉県外（都内など）にある → ①へ
7．かかりつけ医療機関はない → （6）へ

◎下記①は、（5）で「2」～「6」（松戸市以外）と回答した方のみ、お答えください。

①市外の医療機関にかかる理由はなんですか。（1つの番号に○）

1．昔からかかっているから
2．専門医が市内にいないから
3．距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4．開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5．混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6．家族が同じ医療機関にかかっているから
7．勤務場所に近いから
8．その他（　　）

◎下記②は、（5）で「1」～「6」（かかりつけ医療機関がある）と回答した方のみ、お答えください。

②医療機関は以下のどれにあたりますか。（1つの番号に○）

1．多数の診療科のある病院　2．その他の診療所や医院　3．分からない

（6）最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。（1つの番号に○）

1．松戸市内にいる
2．市川市・鎌ケ谷市にいる
3．柏市・流山市にいる
4．我孫子市・野田市にいる
5．その他千葉県内にいる
6．千葉県外（都内など）にいる
7．かかりつけ歯科医はいない

（7）かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．松戸市内にある → ①へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある → ①へ
3．柏市・流山市にある → ①へ
4．我孫子市・野田市にある → ①へ
5．その他千葉県内にある → ①へ
6．千葉県外（都内など）にある → ①へ
7．かかりつけ薬局（調剤薬局）はない → （問9）へ

◎下記①～②は、（7）で「1」～「6」（かかりつけ薬局がある）と回答した方のみ、お答えください。

①それは何か所くらいですか。（1つの番号に○）

1．1か所　2．2か所～4か所　3．5か所以上

②その際、お薬手帳は持参していますか。（1つの番号に○）

1．いつも持参している
2．持参していることが多い
3．持参していることが少ない
4．持参していない・持っていない

問9　認知症に関することについてうかがいます。

（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（3）認知症は誰でもなる可能性がある病気と知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（4）認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．医師の診察を受けている
2．服薬している
3．認知機能低下予防の脳トレを行っている
4．禁煙している
5．アルコール量の調整をしている
6．体重を気にしている
7．食事に気をつけている
8．適度な睡眠を取るようにしている
9．適度に運動するようにしている
10．口腔内を清潔に保つようにしている
11．社会参加を行うようにしている
12．趣味などの活動に参加するようにしている
13．その他（　　）
14．特に意識していることはない

（5）認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1．駅の近く
2．市民センター等身近な公共施設
3．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
4．近くの喫茶店
5．自治会館
6．神社
7．近所の民家
8．参加したいと思わない

（6）松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症講演会
2．認知症サポーター養成講座
3．オレンジ声かけ隊
4．オレンジ協力員
5．認知症コーディネーター
6．認知症ガイドブック（ケアパス）
7．認知症初期集中支援チーム
8．まつど認知症予防プロジェクト
9．認知症カフェ
10．介護者のつどい
11．いきいきメール
12．高齢者の見守りシール
13．認知症簡易チェック
14．プラチナカフェ
15．その他（　　）
16．いずれも知らない

（7）松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2．認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3．「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4．認知症サポーター（認知症の方や家族を見守る人）など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5．徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6．成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7．認知症の本人のつどい（当事者ミーティング）
8．就労など若年性認知症の方への支援
9．認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10．認知症についての相談場所の周知
11．わからない

問 10　介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

（1）以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容について知っていましたか（どちらかに○）		介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか（どちらかに○）	
① 小規模多機能型居宅介護（※1）	知っていた	知らなかった	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護（※2）	知っていた	知らなかった	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護（※3）	知っていた	知らなかった	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（※1）　小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

（※2）　看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。

（※3）　定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

（2）あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（1 つの番号に○）

1．自宅で家族中心に介護を受けたい　→①へ
2．自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい　→①へ
3．家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい　→①へ
4．ケア付き高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい　→③へ
5．特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい　→③へ
6．その他（　　）　→（3）へ
7．わからない　→（3）へ

◎下記①～②は、（2）で「1」～「3」（自宅で介護を）と回答した方のみ、お答えください。

①あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（1 つの番号に○）

1．在宅で十分な介護が受けられると思うから
2．現在の住まいで生活を続けたいから
3．施設で他人の世話になるのはいやだから
4．他人との共同生活はしたくないから
5．施設では自由な生活ができないから
6．施設に入るだけの経済的余裕がないから
7．施設を利用することに抵抗を感じるから
8．具体的に施設を知らず、不安だから
9．その他（　　）
10．わからない

②その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（1 つの番号に○）

1．家族だけに介護されたい
2．家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3．ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4．ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5．その他（　　）
6．わからない

◎下記③は、（2）で「4」「5」（外部の介護を受けたい）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（1 つの番号に○）

1．家族がいないから
2．家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3．家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4．家族に負担をかけたくないから
5．専門的な介護が受けられるから
6．緊急時に対応の面で安心だから
7．在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8．介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9．その他（　　）
10．わからない

（3）今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。（1 つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記 1 よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
3．保険料負担の引上げを上記 1 よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4．保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5．わからない

問 11　権利擁護・成年後見人制度についてうかがいます。

（1）あなたが、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）	4．高齢者虐待の通報・相談窓口	7．いずれも知らない
2．成年後見制度	5．法テラス	
3．市民後見人の活動	6．クーリングオフ制度	

（2）あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（3）あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（4）あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

開催されていることを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（5）虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2．地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3．虐待の通報先の広報
4．児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5．市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6．虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7．その他（　　）

（6）成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていましたか。また、必要になったときに利用したいですか。

成年後見制度を知っていましたか（どちらかに○）		必要になったときに成年後見制度を利用したいですか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	利用している	今後利用したい	利用する予定はない

（7）「市民後見協力員」（専門協力員（弁護士、司法書士、社会福祉士など）とペアを組んで、法人後見をボランティアで活動いただく方）について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。この制度について、知っていましたか。また講座に参加してみたいと思いますか。

制度について知っていましたか（どちらかに○）		講座に参加してみたいと思いますか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

問 12　市の高齢者施策についてうかがいます。

（1）福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また利用してみたいと思いますか。

名称や内容を知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（2）高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．名称は知っている
2．どこにあるか知っている
3．日常生活圏域ごとに一箇所あること
4．介護に関する相談窓口であること
5．健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6．認知症に関する相談窓口であること
7．権利擁護に関する相談窓口であること
8．成年後見人に関する相談窓口であること
9．総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10．要支援１・２と認定された方への支援を行うところであること
11．いずれも知らない

（3）松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。（どちらかの番号に○）

1．知っていた	2．知らなかった

（4）松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

講座を知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（5）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月１日及び１５日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

問 13　介護に関することについてうかがいます。

（1）以下の名称について知っていましたか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容を知っていますか（1つに○）		
① ケアラー（※1）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
② ヤングケア（※2）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
③ ダブルケア（※3）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった

（※1）ケアラーとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。

（※2）ヤングケアとは？
18 歳未満の子どもが、大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている状態のことをいいます。

（※3）ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

（2）男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．男性介護者が集える会合の場
2．男性介護者が地域とつながることのできる環境
3．男性介護者向けの研修会・講習会
4．その他（　　）

（3）介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．多くの人に感謝される尊敬できる職種
2．高齢化により今後需要が伸びていく
3．専門的な介護技術を要する
4．人や社会の役に立ち働きがいがある
5．何歳になっても続けることができる
6．家庭生活と両立できる
7．夜勤が多くて大変そう
8．給与など雇用面での待遇が悪そう
9．体力的、精神的にきつそう

問 14　近親者（家族）に対する介護の実施状況についてうかがいます。

（1）あなたは今（過去に）介護をしていますか。（1つの番号に○）

1．している　→以下へ
2．過去にしていた　→以下へ
3．したことがない　→アンケートは以上となります。19 ページの自由記載欄にお進みください

◎下記からは、現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。

①その方（要介護者）はどなたですか。（1つの番号に○）

1．自分の親
2．配偶者の親
3．配偶者
4．兄弟・姉妹
5．その他（　　）

②その方（要介護者）はどこで生活していますか（生活していましたか）。（1つの番号に○）

1．自宅（あなたと同居）
2．自宅（あなたとは別居）
3．施設
4．病院

③介護の期間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（1つの番号に○）

1．1年未満
2．1年以上～3年未満
3．3年以上～5年未満
4．5年以上

④1日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（1つの番号に○）

1．必要な時に手を貸す程度
2．2～3時間程度
3．半日程度
4．ほぼ終日

⑤1週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（1つの番号に○）

1．1日未満
2．1～2日程度
3．3～4日程度
4．ほぼ毎日

⑥介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（1つの番号に○）

1．30分未満
2．30分以上1時間未満
3．1時間以上2時間未満
4．2時間以上

⑦その方の（要介護者）介護にあたり協力者はいますか（いましたか）。あなたから見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者
2．娘
3．息子
4．自分の兄弟・姉妹
5．配偶者の兄弟・姉妹
6．親
7．その他（　　）
8．いない

（2）あなたは、（1）－①でお答えいただいた以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（1つの番号に○）

1．介護のみしている（していた）
2．子育てのみしている（していた）
3．どちらもしている（していた）
4．どちらもしていない（していなかった）

（３）あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。
（１つの番号に○）

１．辞めた →①へ	５．転職した →①へ
２．辞めることを検討している →（４）へ	６．転職を検討している →（４）へ
３．辞めないつもり（辞めなかった） →②へ	７．仕事をしていない（していなかった）
４．労働時間を調整して続けている（続けた） →②へ	→（４）へ

◎下記①は、（３）で「１」「５」（辞めた、転職した）と回答した方のみ、お答えください。

①仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分の希望として介護に専念したかったから
2．要介護者が介護に専念することを希望したから
3．仕事と介護の両立について、家族や親族から理解・協力が得られなかったから
4．自宅と要介護者の居住地が離れていたから
5．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）することが難しかったから
6．休暇（年休や介護休業等）を取得できなかった、または取得しづらかったから
7．仕事と介護の両立のための相談先がなかったから
8．介護サービスに関する情報を知らなかったから
9．仕事をしている間の介護サービスを確保できなかったから
10．自分が休息するための介護サービスを確保できなかったから
11．急な予定変更に対応できる介護サービスを確保できなかったから
12．仕事と介護を両立していたが、自分の心身の健康状態が悪化したから
13．施設に入所できなかったから
14．介護に適した住環境ではなかったから
15．その他（　　）

◎下記②～③は、（３）で「３」「４」（辞めないで続けている（続けた））と回答した方のみ、お答えください。

②仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．家族や親族からの理解・協力が得られたから
2．自宅と要介護者の居住地が近かったから
3．要介護者と同居したから
4．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）したから
5．休暇（年休や介護休業等）を取得したから
6．在宅勤務を利用したから
7．仕事と介護の両立に関する相談先があったから
8．介護サービスに関する情報を入手できたから
9．デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから
10．施設に入所したから
11．介護しやすい住環境が整備されていたから
12．要介護者の状態が仕事に影響を及ぼさない程度だったから
13．特にない
14．その他（　　）

③今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つの番号に○）

１．問題なく、続けていける	４．続けていくのは、かなり難しい
２．問題はあるが、何とか続けていける	５．今は仕事をしていない
３．続けていくのは、やや難しい	６．わからない

（４）どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．労働時間を調整（短時間勤務や介護休業等）する仕組みの充実
2．介護のための在宅勤務の充実
3．休暇（年休や介護休業等）の充実、または取得しやすい環境・職場意識
4．仕事と介護の両立に関する相談先の充実
5．介護サービスに関する情報の普及啓発
6．早朝や夜間も対応できるデイサービスの充実
7．ショートステイなど、休息のためのサービスの充実
8．必要なときにいつでも利用できるサービスの充実
9．定期的に自宅を巡回してくれるサービスの充実
10．施設サービスの充実
11．介護しやすい住環境の整備
12．要介護者や家族・親族の理解と協力
13．その他（　　）

◎下記（５）は現在介護をしている方のみ、お答えください。

（５）今後の介護の方法はどのように考えていますか。（１つの番号に○）

１．可能な限り在宅で →①	３．できるだけ施設への入所→②	５．わからない
２．必要に応じて施設への入所→②	４．一概に言えない	６．その他（　　）

◎下記①は、（５）で「１」（可能な限り在宅で）と回答した方のみ、お答えください。

①可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護する家族が休息をとれるようなサービス
2．介護しやすい住環境
3．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護を柔軟に受けられるサービス
4．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス
5．２４時間、定期的な巡回と随時の訪問で、介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス
6．困ったときに気軽に介護相談ができる場所
7．介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できる場所
8．家族が介護するための技術を習得できる場所
9．在宅医療の充実
10．その他（　　）

◎下記②は、（５）で「２」「３」（施設への入所）と回答したの方のみ、お答えください。

②既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

１．特別養護老人ホーム→③へ	４．サービス付き高齢者住宅 →③へ	７．申込みはしていない ⇒自由記載欄へ
２．介護老人保健施設 →③へ	５．有料老人ホーム →③へ	
３．グループホーム →③へ	６．その他（　　） →③へ	

◎下記③～④は、②で「１」～「６」と回答したの方のみ、お答えください。

③最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。（１つの番号に○）

１．１年未満	３．２年以上３年未満	５．４年以上
２．１年以上２年未満	４．３年以上４年未満	

④施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（１つの番号に○）

１．すぐに入所手続きをする
２．本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする
３．今のところ在宅で介護できそうなので辞退する
４．入院しているのでひとまず辞退する
５．わからない
６．その他（　　）

質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月１７日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

19

② ― （A）本庁

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査



～　ご協力のお願い　～

日頃より、市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」を目指し、平成 30 年度から令和２年度までを期間とした「いきいき安心プランⅥまつど」（第８期松戸市高齢者保健福祉計画・第７期松戸市介護保険事業計画）を策定し、様々な高齢者支援施策・介護保険事業を実施しています。

この調査は、高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくりがより一層推進されるよう、次期計画となる「いきいき安心プランⅦまつど」（令和３年度から令和５年度まで）を策定するため、65 歳以上の方から無作為に 10,500 名抽出させていただいて、年齢に伴う心身の状況や高齢者支援施策に関するお考えなどをお答えいただくものとなります。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただくものであり、統計的に処理しますので回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

ご多忙のことと存じますが、***本市がより一層「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまち」となるためにも、ぜひ回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。***

令和元年 12 月

松戸市長　**本郷谷　健次**

～　ご記入にあたって　～

1. この調査は、**封筒のあて名のご本人**がお答えください。
   なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお気持ちに代わって記入してください。
2. 令和元年 11 月１日現在で抽出しておりますので、対象者に変動があった場合にはご容赦ください。
3. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。
   ○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
   「その他」を選択した場合は、（　　）の中に具体的な内容をご記入ください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を同封の返信用封筒に入れて**令和２年１月 17 日（金）までに**郵便ポストへご投函ください。（切手不要）
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
   なお、**土・日・祝日及び令和元年 12 月 28 日（土）から令和２年１月５日（日）までは閉庁しております**のでご了承願います。

【お問合せ先】松戸市役所　高齢者支援課
電話：047-366-7346（直通）　　FAX：047-366-0991
E-mail：mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp

この調査票を記入されるのはどなたですか。（１つの番号に○）

1．あて名のご本人が記入
2．ご家族が記入　⇒　あて名のご本人からみた続柄：（　　）
3．その他（　　）

これ以降の「あなた」は、ご本人（あて名の方）についてうかがいます。

問１　あなたご自身についてうかがいます。

（１）令和元年 11 月１日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

満　［　　］　歳

（２）あなたの性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（３）あなたの職業をお答えください。（１つの番号に○）

1．会社員　　4．パート・アルバイト　　7．その他（　　）
2．公務員　　5．専業主婦・専業主夫
3．自営業　　6．無職

問２　あなたのご家族や生活状況についてうかがいます。

（１）家族構成をお教えください。（１つの番号に○）

1．１人暮らし　　4．息子・娘との２世帯
2．夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）　　5．その他（３世帯を含む）
3．夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）

（２）あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（１つの番号に○）

1．趣味の用事のときだけ出かける　⇒ ①へ
2．近所のコンビニなどには出かける　⇒ ①へ
3．自室からは出るが、家からは出ない　⇒ ①へ
4．自室からほとんど出ない　⇒ ①へ
5．該当する方はいない　⇒ （３）へ

◎下記①②は、（２）で「1」～「4」（いる）と回答した方のみ、お答えください。

①その期間は下記のうちどれですか（あてはまる番号すべてに○）

1．３か月未満　　4．１年～３年未満　　7．10 年以上
2．３か月～６か月未満　　5．３年～５年未満
3．６か月～１年未満　　6．５年～10 年未満

②その方の年齢はいくつですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．20 歳未満　　3．40 歳～64 歳　　5．75 歳以上
2．20 歳～39 歳　　4．65 歳～74 歳

（3）世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成 30 年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

1．50 万円未満	6．250～300 万円未満	11．700～800 万円未満
2．50～100 万円未満	7．300～400 万円未満	12．800～900 万円未満
3．100～150 万円未満	8．400～500 万円未満	13．900～1000 万円未満
4．150～200 万円未満	9．500～600 万円未満	14．1000～1200 万円未満
5．200～250 万円未満	10．600～700 万円未満	15．1200 万円以上

（4）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つの番号に○）

1．大変苦しい	4．ややゆとりがある
2．やや苦しい	5．大変ゆとりがある
3．ふつう	

（5）あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（１つの番号に○）

1．持家（一戸建て）	5．民間賃貸住宅（集合住宅）
2．持家（集合住宅）	6．借家
3．公営賃貸住宅	7．その他（　　）
4．民間賃貸住宅（一戸建て）	

（6）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つの番号に○）

1．介護・介助は必要ない	→（7）へ
2．何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	→①へ
3．現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）	→①②へ

◎下記①は、（6）で「2」「3」（介護・介助が必要）と回答した方のみ、お答えください。

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	9．腎 疾患（透析）
2．心臓病	10．視覚・聴覚障害
3．がん（悪性 新生物）	11．骨折・転倒
4．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	12．脊椎損傷
5．関節 の病気（リウマチ等）	13．高齢による衰弱
6．認知症（アルツハイマー病等）	14．その他（　　）
7．パーキンソン 病	15．不明
8．糖尿病	

◎下記②は、（6）で「3」（現在、何らかの介護・介助を受けている）と回答した方のみ、お答えください。

②主にどなたの介護・介助を受けていますか。（１つの番号に○）

1．配偶者（夫・妻）	4．子の配偶者	7．介護サービスのヘルパー
2．息子	5．孫	8．その他（　　）
3．娘	6．兄弟・姉妹	

（7）ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代のひきこもりの子を 80 代の親が面倒見るケースが増えているという社会問題が 8050 問題と呼ばれています。ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．ひきこもり傾向の方	4．知的障害をお持ちの方	7．該当する方はいない
2．身体に障害をお持ちの方	5．医療的なケアを要する方	
3．精神的に障害をお持ちの方	6．その他支援を要する方	

問３　あなたの身体状況についてうかがいます。

（1）あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）

身長　　cm　　体重　　kg

（2）この６ヶ月間で2～3ｋｇ以上の体重減少がありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（3）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つの番号に○）

1．とてもよい	3．あまりよくない
2．まあよい	4．よくない

（4）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．ない	11．外傷（転倒・骨折等）
2．高血圧	12．がん（悪性新生物）
3．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13．血液・免疫の病気
4．心臓病	14．うつ病
5．糖尿病	15．認知症（アルツハイマー病等）
6．高脂血症（脂質異常）	16．パーキンソン病
7．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17．目の病気
8．胃腸・肝臓・胆のうの病気	18．耳の病気
9．腎臓・前立腺の病気	19．その他（　　）
10．筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	

（5）あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドックを受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（6）あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（7）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（1つの番号に○）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）

1．自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用　→ ①へ
2．自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし　→（8）へ
3．自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用　→ ①へ
4．自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし　→（8）へ

◎下記①は、（7）で「1」「3」（入れ歯の方）と回答した方のみ、お答えください。

①毎日入れ歯の手入れをしていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（8）噛み合わせは良いですか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

問4　食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

（1）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（2）お茶や汁物等でむせることがありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（3）口の渇きが気になりますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（4）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（5）お酒は飲みますか。（1つの番号に○）

1．ほぼ毎日飲む　2．時々飲む　3．ほとんど飲まない　4．もともと飲まない

（6）タバコは吸っていますか。（1つの番号に○）

1．ほぼ毎日吸っている　2．時々吸っている　3．吸っていたがやめた　4．もともと吸っていない

（7）どなたかと食事をともにする機会はありますか。（1つの番号に○）

1．毎日ある　3．月に何度かある　5．ほとんどない
2．週に何度かある　4．年に何度かある

問5　からだを動かすことについてうかがいます。

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（1つの番号に○）

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つの番号に○）

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（3）15 分位続けて歩いていますか。（1つの番号に○）

1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つの番号に○）

1．何度もある　2．1度ある　3．ない

（5）転倒に対する不安は大きいですか。（1つの番号に○）

1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

（6）週に1回以上は外出していますか。（1つの番号に○）

1．ほとんど外出しない　2．週1回　3．週2～4回　4．週5回以上

（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つの番号に○）

1．とても減っている　2．減っている　3．あまり減っていない　4．減っていない

（8）外出を控えていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→①へ　2．いいえ　→（9）へ

◎下記①～②は、（8）で「1」（外出を控えている）と回答した方のみ、お答えください。

①外出を控えている理由は次のどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．病気　6．目の障害
2．障害（脳卒中の後遺症など）　7．外での楽しみがない
3．足腰などの痛み　8．経済的な理由で出られない
4．トイレの心配（尿もれなど）　9．交通手段がない
5．耳の障害（聞こえの問題など）　10．その他（　　）

②どのような支援があれば外出できますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．車両などによる送迎　4．認知機能の低下を補うサポート
2．歩行の不安を補う見守り・介助　5．その他（　　）
3．歩行器・車椅子使用による付添・介助　6．支援は必要としない

（9）外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．徒歩	6．電車	11．歩行器・シルバーカー
2．自転車	7．路線バス	12．タクシー
3．バイク	8．病院や施設のバス	13．その他（　　）
4．自動車（自分で運転）	9．車いす	
5．自動車（人に乗せてもらう）	10．電動車いす（カート）	

問6　毎日の生活についてうかがいます。

（1）物忘れが多いと感じますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（3）今日が何月何日かわからない時がありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（4）バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）（どちらかの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（5）自動車と運転免許について、あてはまるものはどれですか。（１つの番号に○）

1．免許を所持していて、自動車を運転している
2．免許を所持しているが、自動車を運転していない
3．免許を所持しているが、返納する予定である
4．免許を所持していたが、もう返納/失効した
5．免許を所持したことはない

（6）自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（7）自分で食事の用意をしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（8）自分で請求書の支払いをしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（9）自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（10）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（11）新聞を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（12）本や雑誌を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（13）健康についての記事や番組に関心がありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（14）友人の家を訪ねていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（15）家族や友人の相談にのっていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（16）病人を見舞うことができますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（17）若い人に自分から話しかけることがありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（18）趣味はありますか。（どちらかの番号に○）　（　　）内に具体的に記入

1．はい→（　　）　　2．思いつかない

（19）ペットを飼っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→①へ　　2．いいえ　→（20）へ

◎下記①は、（19）で「1」（ペットを飼っている）と回答した方のみ、お答えください。

①ペットを飼っていて困ることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．旅行	5．自分以外に世話する人がいない
2．入院・入所	6．その他（　　）
3．日常の世話	7．困っていない
4．緊急時	

（20）生きがいはありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→①へ　　2．思いつかない　→（21）へ

◎下記①は、（20）で「1」（はい）と回答した方のみ、お答えください。

①「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．働くこと（自営・家事等も含む）	9．おしゃれや服装のこと
2．家族の世話や介護	10．家族との団らん
3．ご近所や友達とのつきあい	11．テレビやラジオの視聴
4．スポーツ・レクリエーション	12．信仰に関すること
5．学習や教養を高めること・趣味の活動	13．旅行や買い物などの外出
6．町会・自治会の活動	14．食事をすること
7．はつらつクラブ（老人クラブ）の活動	15．その他（　　）
8．ボランティア活動	

（21）あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、点数をつけてください）。（1つの点数に○）

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

（22）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（23）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（24）普段の生活に困っていることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．家の中の修理	5．買い物	9．通院
2．電球の交換	6．ごみ出し	10．食事の準備・調理・後片付け
3．掃除	7．庭の草むしり	11．困っていない
4．洗濯	8．外出	

（25）あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配食	5．ごみ出し	9．サロンなどの定期的な通いの場
2．調理	6．外出同行（通院、買い物など）	10．その他（　　）
3．掃除・洗濯	7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）	11．利用していない
4．買い物（宅配は含まない）	8．見守り・声かけ	

（26）フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

問7　地域での活動についてうかがいます。

（1）あなたは、町会または自治会に加入していますか。（1つの番号に○）

1．はい　　2．いいえ　　3．わからない

（2）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑧それぞれに回答してください。（①～⑧それぞれ1つの番号に○）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥はつらつクラブ（老人クラブ）	1	2	3	4	5	6
⑦町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

（3）会・グループに1つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．活動場所が近くにないから	6．興味がないから
2．足が悪く、行く手段がないから	7．利用料の負担が大きいから
3．何をやっているかわからないから	8．その他（　　）
4．参加するきっかけがないから	9．わからない
5．他者と付き合う自信がないから	

（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1．是非参加したい	3．参加したくない
2．参加してもよい	4．既に参加している

（5）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1．是非参加したい　→ ①へ	3．参加したくない　→ 問8へ
2．参加してもよい　→ ①へ	4．既に参加している　→ 問8へ

◎下記①は、（5）で「1」「2」（是非参加したい・参加してもよい）と回答した方のみ、お答えください。

①活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．グループの運営の仕方がわからない	6．どこにグループがあるのかわからない
2．グループを運営する場所がない	7．身体的理由から外出が困難
3．時間的余裕がない	8．活動に馴染める自信がない
4．魅力的なグループがない	9．特にない
5．行ける範囲にグループが存在しない	

問8　たすけあいについてうかがいます。

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（2）反対にあなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（5）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．自治会・町内会・老人クラブ	5．地域包括支援センター・役所・役場
2．社会福祉協議会・民生委員	6．その他（　　）
3．ケアマネジャー	7．そのような人はいない
4．医師・歯科医師・看護師	

（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つの番号に○）

1．毎日ある	3．月に何度かある	5．ほとんどない
2．週に何度かある	4．年に何度かある	

（7）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。（1つの番号に○）

1．0人（いない）	3．3～5人	5．10人以上
2．1～2人	4．6～9人	

（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．近所・同じ地域の人	5．趣味や関心が同じ友人
2．幼なじみ	6．ボランティア等の活動での友人
3．学生時代の友人	7．その他（　　）
4．仕事での同僚・元同僚	8．いない

（9）あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合い活動として、自分ができる範囲で何か協力することはできますか。（1つの番号に○）

1．はい	2．いいえ	3．わからない

（10）あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力することができることはどんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．車両などによる送迎	4．認知機能の低下を補うサポート
2．歩行の不安を補う見守り・介助	5．その他（　　）
3．歩行器・車椅子使用による付添・介助	6．協力できない

（11）あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。（1つの番号に○）

1．はい　→（12）へ　　2．いいえ　→ ①へ　　3．どちらともいえない　→（12）へ

◎下記①は、（11）で「2」（いいえ）と回答した方のみ、お答えください。

①協力できない理由は何ですか。（1つの番号に○）

1．自分に手助けが必要だから	3．家族で精一杯だから
2．自分で精一杯だから	4．その他（　　）

（12）「地域共生社会」という言葉・内容を知っていますか。（1つの番号に○）

1．名称も内容も知っている　→ ①へ　　3．名称も内容も知らない　→ 問9へ

2．名称は知っているが、内容は知らない　→ 問9へ

◎下記①は、（12）で「1」（名称も内容も知っている）と回答した方のみ、お答えください。

①地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．困っている人への声かけ	6．趣味や特技を活かした社会貢献
2．町会・自治会等への参加・協力	7．話し相手になること
3．家事支援（ゴミ出し・草取りなど）	8．その他（　　）
4．地域の安否確認や見守り活動	9．わからない
5．子育て支援	

問９　住んでいる地域についてうかがいます。

（１）あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（１つの番号に○）

1．とても愛着がある　3．どちらともいえない　5．全く愛着がない
2．まあまあ愛着がある　4．あまり愛着がない

（２）あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。（１つの番号に○）

1．互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2．日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3．あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4．つきあいは全くしていない

（３）あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。（１つの番号に○）

1．避難場所・経路を把握している　3．どちらも把握していない
2．避難場所は把握しているが、経路は把握していない

（４）避難するにあたり不安はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．避難場所がわからない　6．医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
2．避難場所への移動手段がない　7．ペットを連れて避難できるか不安
3．避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない　8．その他（　　）
4．避難場所での生活が不安　9．不安はない
5．持病があるので不安

（５）最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。（１つの番号に○）

（※）かかりつけ医とは？
身近で安心して幅広く何でも相談に応じ、病状によっては適切な医療機関を紹介してくれる医師のことです。

1．松戸市内にある　→ ②へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある　→ ①へ
3．柏市・流山市にある　→ ①へ
4．我孫子市・野田市にある　→ ①へ
5．その他千葉県内にある　→ ①へ
6．千葉県外（都内など）にある　→ ①へ
7．かかりつけ医療機関はない　→（６）へ

◎下記①は、（５）で「２」～「６」（松戸市以外）と回答した方のみ、お答えください。

①市外の医療機関にかかる理由はなんですか。（１つの番号に○）

1．昔からかかっているから
2．専門医が市内にいないから
3．距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4．開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5．混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6．家族が同じ医療機関にかかっているから
7．勤務場所に近いから
8．その他（　　）

◎下記②は、（５）で「１」～「６」（かかりつけ医療機関がある）と回答した方のみ、お答えください。

②医療機関は以下のどれにあたりますか。（１つの番号に○）

1．多数の診療科のある病院　2．その他の診療所や医院　3．分からない

（６）最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。（１つの番号に○）

1．松戸市内にいる　4．我孫子市・野田市にいる　7．かかりつけ歯科医はいない
2．市川市・鎌ケ谷市にいる　5．その他千葉県内にいる
3．柏市・流山市にいる　6．千葉県外（都内など）にいる

（７）かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．松戸市内にある　→ ①へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある　→ ①へ
3．柏市・流山市にある　→ ①へ
4．我孫子市・野田市にある　→ ①へ
5．その他千葉県内にある　→ ①へ
6．千葉県外（都内など）にある　→ ①へ
7．かかりつけ薬局（調剤薬局）はない　→（８）へ

◎下記①～②は、（７）で「１」～「６」（かかりつけ薬局がある）と回答した方のみ、お答えください。

①それは何か所くらいですか。（１つの番号に○）

1．１か所　2．２か所～４か所　3．５か所以上

②その際、お薬手帳は持参していますか。（１つの番号に○）

1．いつも持参している　3．持参していることが少ない
2．持参していることが多い　4．持参していない・持っていない

（８）高齢者が元気に暮らしていくために、企業やお店などが社会貢献としてどのようなサービスを実施していたら利用したいと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．健康・医療・栄養などの情報提供
2．体操や趣味活動などができる教室
3．ライフプラン相談（終活セミナーなど）
4．体操や趣味活動などのための活動場所の提供
5．買い物支援（無料配送、割引など）
6．その他（　　）

問 10　認知症に関することについてうかがいます。

（１）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（２）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（３）認知症は誰でもなる可能性がある病気と知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（4）認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．医師の診察を受けている	8．適度な睡眠を取るようにしている
2．服薬している	9．適度に運動するようにしている
3．認知機能低下予防の脳トレを行っている	10．口腔内を清潔に保つようにしている
4．禁煙している	11．社会参加を行うようにしている
5．アルコール量の調整をしている	12．趣味などの活動に参加するようにしている
6．体重を気にしている	13．その他（　　）
7．食事に気をつけている	14．特に意識していることはない

（5）認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．駅の近く	4．近くの喫茶店	7．近所の民家
2．市民センター等身近な公共施設	5．自治会館	8．参加したいと思わない
3．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）	6．神社	

（6）松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症講演会	7．認知症初期集中支援チーム	13．認知症簡易チェック
2．認知症サポーター養成講座	8．まつど認知症予防プロジェクト	14．プラチナカフェ
3．オレンジ声かけ隊	9．認知症カフェ	15．その他（　　）
4．オレンジ協力員	10．介護者のつどい	16．いずれも知らない
5．認知症コーディネーター	11．いきいきメール	
6．認知症ガイドブック（ケアパス）	12．高齢者の見守りシール	

（7）松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2．認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3．「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4．認知症サポーター（認知症の方や家族を見守る人）など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5．徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6．成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7．認知症の本人のつどい（当事者ミーティング）
8．就労など若年性認知症の方への支援
9．認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10．認知症についての相談場所の周知
11．わからない

問 11　介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

（1）介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（２５項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていましたか。（どちらかの番号に○）

1．知っていた	2．知らなかった

（2）以下のサービスについて利用したことがありますか。また、名称や内容を知っていましたか。①～③それぞれに回答してください。

	利用したことがありますか（どちらかに○）		名称を知っていましたか（どちらかに○）		内容を知っていましたか（どちらかに○）	
① 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）（※1）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった
② 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）（※2）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった
③ 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）（※3）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった

（※1）訪問型元気応援サービス（生活支援コース）とは？
介護保険の範囲内で、調理、清掃、買い物などの生活支援を、専門ヘルパーより低い負担で受けられるサービスです。
（※2）訪問型元気応援サービス（困りごとコース）とは？
介護者本人以外の居室などの掃除や、通院の付き添いなどを、地域の社会貢献意欲の高い方が中心となって提供するサービスです。
（※3）短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）とは？
生活機能の低下がみられる方にリハビリなどの専門家が集中的にかかわり、最大６カ月程度で機能の改善を目指すサービスです。

（3）以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容について知っていましたか（どちらかに○）		介護が必要になった場合、利用してみたいと思いますか（どちらかに○）	
① 小規模多機能型居宅介護（※1）	知っていた	知らなかった	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護（※2）	知っていた	知らなかった	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護（※3）	知っていた	知らなかった	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（※1）　小規模多機能居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。
（※2）　看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。
（※3）　定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

（4）あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．自宅で家族中心に介護を受けたい　→①へ
2．自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい　→①へ
3．家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい　→①へ
4．ケア付き高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい　→③へ
5．特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい　→③へ
6．その他（　　）　→（5）へ
7．わからない　→（5）へ

◎下記①～②は、（４）で「１」～「３」（自宅で介護を）と回答した方のみ、お答えください。

①あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

1．在宅で十分な介護が受けられると思うから	6．施設に入るだけの経済的余裕がないから
2．現在の住まいで生活を続けたいから	7．施設を利用することに抵抗を感じるから
3．施設で他人の世話になるのはいやだから	8．具体的に施設を知らず、不安だから
4．他人との共同生活はしたくないから	9．その他（　　）
5．施設では自由な生活ができないから	10．わからない

②その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（１つの番号に○）

1．家族だけに介護されたい
2．家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3．ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4．ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5．その他（　　）
6．わからない

◎下記③は、（４）で「４」「５」（外部の介護を受けたい）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

1．家族がいないから
2．家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3．家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4．家族に負担をかけたくないから
5．専門的な介護が受けられるから
6．緊急時に対応の面で安心だから
7．在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8．介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9．その他（　　）
10．わからない

（５）今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
3．保険料負担の引上げを上記１よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4．保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5．わからない

問 12　権利擁護・成年後見人制度についてうかがいます。

（１）あなたが、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）	4．高齢者虐待の通報・相談窓口	7．いずれも知らない
2．成年後見制度	5．法テラス	
3．市民後見人の活動	6．クーリングオフ制度	

（２）あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（３）あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（４）あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

開催されていることを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（５）虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2．地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3．虐待の通報先の広報
4．児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5．市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6．虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7．その他（　　）

（６）成年後見制度（障害や加齢などにより判断能力が十分でない人の権利を守る制度）を知っていましたか。また、必要になったときに利用したいですか。

成年後見制度を知っていましたか（どちらかに○）		必要になったときに成年後見制度を利用したいですか（１つに○）			
知っていた	知らなかった	利用している	今後利用したい	利用する予定はない	

（７）「市民後見協力員」（専門協力員（弁護士、司法書士、社会福祉士など）とペアを組んで、法人後見をボランティアで活動いただく方）について、現在、松戸市で養成講座を実施しております。この制度について、知っていましたか。また講座に参加してみたいと思いますか。

制度について知っていましたか（どちらかに○）		講座に参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

問 13　市の高齢者施策についてうかがいます。

（1）福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また利用してみたいと思いますか。

名称や内容を知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（2）高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．名称は知っている
2．どこにあるか知っている
3．日常生活圏域ごとに一箇所あること
4．介護に関する相談窓口であること
5．健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6．認知症に関する相談窓口であること
7．権利擁護に関する相談窓口であること
8．成年後見人に関する相談窓口であること
9．総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10．要支援１・２と認定された方への支援を行うところであること
11．いずれも知らない

（3）松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。（どちらかの番号に○）

1．知っていた　　2．知らなかった

（4）松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（1つの番号に○）

1．行政の関わりは最小限にし、民間の事業者に任せるべき
2．行政が関わる必要はなく、民間の事業者に任せるべき
3．引き続き、行政が主となって実施すべき
4．わからない

（5）松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（1つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記1よりもさらに保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
3．現在のサービス水準を見直しし、保険料負担の引き上げを上記1よりも抑え、事業を継続する
4．事業を廃止しても構わない
5．わからない

※紙おむつ支給事業
対　　象：要介護3～5の認定を受けている方を在宅で介護している世帯
給付内容：紙おむつを要件により月に1～2パック支給

（6）松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

講座を知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（7）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月1日及び15日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

問 14　介護に関することについてうかがいます。

（1）以下の名称について知っていましたか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容を知っていますか（1つに○）		
① ケアラー（※1）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
② ヤングケア（※2）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
③ ダブルケア（※3）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった

（※1）ケアラーとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。
（※2）ヤングケアとは？
18 歳未満の子どもが、大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている状態のことをいいます。
（※3）ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

（2）男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．男性介護者が集える会合の場
2．男性介護者が地域とつながることのできる環境
3．男性介護者向けの研修会・講習会
4．その他（　　）

（３）介護職のイメージとしてもっているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

１．多くの人に感謝される尊敬できる職種	６．家庭生活と両立できる
２．高齢化により今後需要が伸びていく	７．夜勤が多くて大変そう
３．専門的な介護技術を要する	８．給与など雇用面での待遇が悪そう
４．人や社会の役に立ち働きがいがある	９．体力的、精神的にきつそう
５．何歳になっても続けることができる	

問 15　近親者（家族）に対する介護の実施状況についてうかがいます。

（１）あなたは今（過去に）介護をしていますか。（１つの番号に○）

１．している　→以下へ　　２．過去にしていた　→以下へ　　３．したことがない

アンケートは以上となります。
２４ページの自由記載欄にお進みください

◎下記からは、現在介護をしている人、もしくは直近に介護をした人についてお答えください。

①その方（要介護者）はどなたですか。（１つの番号に○）

１．自分の親	３．配偶者	５．その他（　　）
２．配偶者の親	４．兄弟・姉妹	

②その方（要介護者）はどこで生活していますか（生活していましたか）。（１つの番号に○）

１．自宅（あなたと同居）　２．自宅（あなたとは別居）　３．施設　４．病院

③介護の期間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１．１年未満　２．１年以上～３年未満　３．３年以上～５年未満　４．５年以上

④１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１．必要な時に手を貸す程度　２．２～３時間程度　３．半日程度　４．ほぼ終日

⑤１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１．１日未満　２．１～２日程度　３．３～４日程度　４．ほぼ毎日

⑥介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか（どの程度でしたか）。（１つの番号に○）

１．３０分未満　２．３０分以上１時間未満　３．１時間以上２時間未満　４．２時間以上

⑦その方の（要介護者）介護にあたり協力者はいますか（いましたか）。あなたから見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

１．配偶者	４．自分の兄弟・姉妹	７．その他（　　）
２．娘	５．配偶者の兄弟・姉妹	８．いない
３．息子	６．親	

（２）あなたは、（１）－①でお答えいただいた以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（１つの番号に○）

１．介護のみしている（していた）	３．どちらもしている（していた）
２．子育てのみしている（していた）	４．どちらもしていない（していなかった）

（３）あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（１つの番号に○）

１．辞めた　→①へ	５．転職した　→①へ
２．辞めることを検討している　→（４）へ	６．転職を検討している　→（４）へ
３．辞めないつもり（辞めなかった）　→②へ	７．仕事をしていない（していなかった）　→（４）へ
４．労働時間を調整して続けている（続けた）→②へ	

◎下記①は、（３）で「１」「５」（辞めた、転職した）と回答した方のみ、お答えください。

①仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

１．自分の希望として介護に専念したかったから
２．要介護者が介護に専念することを希望したから
３．仕事と介護の両立について、家族や親族から理解・協力が得られなかったから
４．自宅と要介護者の居住地が離れていたから
５．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）することが難しかったから
６．休暇（年休や介護休業等）を取得できなかった、または取得しづらかったから
７．仕事と介護の両立のための相談先がなかったから
８．介護サービスに関する情報を知らなかったから
９．仕事をしている間の介護サービスを確保できなかったから
10．自分が休息するための介護サービスを確保できなかったから
11．急な予定変更に対応できる介護サービスを確保できなかったから
12．仕事と介護を両立していたが、自分の心身の健康状態が悪化したから
13．施設に入所できなかったから
14．介護に適した住環境ではなかったから
15．その他（　　）

◎下記②～③は、（３）で「３」「４」（辞めないで続けている（続けた））と回答した方のみ、お答えください。

②仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

１．家族や親族からの理解・協力が得られたから
２．自宅と要介護者の居住地が近かったから
３．要介護者と同居したから
４．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）したから
５．休暇（年休や介護休業等）を取得したから
６．在宅勤務を利用したから
７．仕事と介護の両立に関する相談先があったから
８．介護サービスに関する情報を入手できたから
９．デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから
10．施設に入所したから
11．介護しやすい住環境が整備されていたから
12．要介護者の状態が仕事に影響を及ぼさない程度だったから
13．特にない
14．その他（　　）

③今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つの番号に○）

１．問題なく、続けていける	４．続けていくのは、かなり難しい
２．問題はあるが、何とか続けていける	５．今は仕事をしていない
３．続けていくのは、やや難しい	６．わからない

（４）どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

１．労働時間を調整（短時間勤務や介護休業等）する仕組みの充実
２．介護のための在宅勤務の充実
３．休暇（年休や介護休業等）の充実、または取得しやすい環境・職場意識
４．仕事と介護の両立に関する相談先の充実
５．介護サービスに関する情報の普及啓発
６．早朝や夜間も対応できるデイサービスの充実
７．ショートステイなど、休息のためのサービスの充実
８．必要なときにいつでも利用できるサービスの充実
９．定期的に自宅を巡回してくれるサービスの充実
10．施設サービスの充実
11．介護しやすい住環境の整備
12．要介護者や家族・親族の理解と協力
13．その他（　　）

◎下記（５）は現在介護をしている方のみ、お答えください。

（５）今後の介護の方法はどのように考えていますか。（１つの番号に○）

１．可能な限り在宅で　→①	３．できるだけ施設への入所→②	５．わからない
２．必要に応じて施設への入所→②	４．一概に言えない	６．その他（　　）

◎下記①は、（５）で「１」（可能な限り在宅で）と回答した方のみ、お答えください。

①可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

１．介護する家族が休息をとれるようなサービス
２．介護しやすい住環境
３．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護を柔軟に受けられるサービス
４．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス
５．２４時間、定期的な巡回と随時の訪問で、介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス
６．困ったときに気軽に介護相談ができる場所
７．介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できる場所
８．家族が介護するための技術を習得できる場所
９．在宅医療の充実
１０．その他（　　）

◎下記②は、（５）で「２」「３」（施設への入所）と回答したの方のみ、お答えください。

②既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

１．特別養護老人ホーム→③へ	４．サービス付き高齢者住宅 →③へ	７．申込みはしていない ⇒自由記載欄へ
２．介護老人保健施設 →③へ	５．有料老人ホーム →③へ	
３．グループホーム →③へ	６．その他（　　） →③へ	

◎下記③～④は、②で「１」～「６」と回答したの方のみ、お答えください。

③最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。（１つの番号に○）

１．１年未満	３．２年以上３年未満	５．４年以上
２．１年以上２年未満	４．３年以上４年未満	

④施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（１つの番号に○）

１．すぐに入所手続きをする
２．本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする
３．今のところ在宅で介護できそうなので辞退する
４．入院しているのでひとまず辞退する
５．わからない
６．その他（　　）

質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月１７日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

③ ― （A）本庁

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査



～　ご協力のお願い　～

日頃より、市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」を目指し、平成 30 年度から令和２年度までを期間とした「いきいき安心プランⅥまつど」（第８期松戸市高齢者保健福祉計画・第７期松戸市介護保険事業計画）を策定し、様々な高齢者支援施策・介護保険事業を実施しています。

この調査は、高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくりがより一層推進されるよう、次期計画となる「いきいき安心プランⅦまつど」（令和３年度から令和５年度まで）を策定するため、事業対象者特定を受けている方及び要支援認定を受けている方から無作為に 3,000 名抽出させていただいて、年齢に伴う心身の状況や高齢者支援施策に関するお考えなどをお答えいただくものとなります。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただくものであり、統計的に処理しますので回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

ご多忙のことと存じますが、***本市がより一層「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまち」となるためにも、ぜひ回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。***

令和元年 12 月
松戸市長　**本郷谷　健次**

～　ご記入にあたって　～

1. この調査は、**封筒のあて名のご本人**がお答えください。
   なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお気持ちに代わって記入してください。
2. 令和元年 11 月 1 日現在で抽出しておりますので、対象者に変動があった場合にはご容赦ください。
3. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。
   ○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
   「その他」を選択した場合は、（　　）の中に具体的な内容をご記入ください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を同封の返信用封筒に入れて**令和２年１月 17 日（金）までに**郵便ポストへご投函ください。（切手不要）
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
   なお、**土・日・祝日及び令和元年 12 月 28 日（土）から令和２年１月５日（日）までは閉庁しておりますので**ご了承願います。

【お問合せ先】松戸市役所　高齢者支援課
電話：047-366-7346（直通）　FAX：047-366-0991
E-mail：mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp

この調査票を記入されるのはどなたですか。（１つの番号に○）

1．あて名のご本人が記入
2．ご家族が記入　⇒　あて名のご本人からみた続柄：（　　）
3．その他（　　）

これ以降の「あなた」は、ご本人（あて名の方）についてうかがいます。

問１　あなたご自身についてうかがいます。

（１）令和元年 11 月１日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

満　　歳

（２）あなたの性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（３）あなたの要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれですか。（１つの番号に○）

1．事業対象者	4．要介護１	7．要介護４
2．要支援１	5．要介護２	8．要介護５
3．要支援２	6．要介護３	9．わからない

（４）一年前の要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれでしたか。（１つの番号に○）

1．要介護（支援）状態ではなかった	5．要介護１	8．要介護４
2．事業対象者	6．要介護２	9．要介護５
3．要支援１	7．要介護３	10．わからない
4．要支援２		

問２　あなたのご家族や生活状況についてうかがいます。

（１）家族構成をお教えください。（１つの番号に○）

1．１人暮らし	4．息子・娘との２世帯
2．夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）	5．その他（3 世帯を含む）
3．夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）	

（２）あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（１つの番号に○）

1．趣味の用事のときだけ出かける　⇒ ①へ
2．近所のコンビニなどには出かける　⇒ ①へ
3．自室からは出るが、家からは出ない　⇒ ①へ
4．自室からほとんど出ない　⇒ ①へ
5．該当する方はいない　⇒ （３）へ

◎下記①②は、（２）で「１」～「４」（いる）と回答した方のみ、お答えください。

①その期間は下記のうちどれですか（あてはまる番号すべてに○）

1．３か月未満	4．１年～３年未満	7．10 年以上
2．３か月～６か月未満	5．３年～５年未満	
3．６か月～１年未満	6．５年～10 年未満	

②その方の年齢はいくつですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．20 歳未満	3．40 歳～64 歳	5．75 歳以上
2．20 歳～39 歳	4．65 歳～74 歳	

（3）世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成 30 年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

1．50 万円未満	6．250～300 万円未満	11．700～800 万円未満
2．50～100 万円未満	7．300～400 万円未満	12．800～900 万円未満
3．100～150 万円未満	8．400～500 万円未満	13．900～1000 万円未満
4．150～200 万円未満	9．500～600 万円未満	14．1000～1200 万円未満
5．200～250 万円未満	10．600～700 万円未満	15．1200 万円以上

（4）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つの番号に○）

1．大変苦しい	4．ややゆとりがある
2．やや苦しい	5．大変ゆとりがある
3．ふつう	

（5）あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（１つの番号に○）

1．持家（一戸建て）	5．民間賃貸住宅（集合住宅）
2．持家（集合住宅）	6．借家
3．公営賃貸住宅	7．その他（　　）
4．民間賃貸住宅（一戸建て）	

（6）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つの番号に○）

1．介護・介助は必要ない	→（7）へ
2．何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	→①へ
3．現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）	→①②へ

◎下記①は、（6）で「2」「3」（介護・介助が必要）と回答した方のみ、お答えください。

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	9．腎 疾患（透析）
2．心臓病	10．視覚・聴覚障害
3．がん（悪性 新生物）	11．骨折・転倒
4．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	12．脊椎損傷
5．関節 の病気（リウマチ等）	13．高齢による衰弱
6．認知症（アルツハイマー病等）	14．その他（　　）
7．パーキンソン 病	15．不明
8．糖尿病	

◎下記②は、（6）で「3」（現在、何らかの介護・介助を受けている）と回答した方のみ、お答えください。

②主にどなたの介護・介助を受けていますか。（１つの番号に○）

1．配偶者（夫・妻）	4．子の配偶者	7．介護サービスのヘルパー
2．息子	5．孫	8．その他（　　）
3．娘	6．兄弟・姉妹	

（7）ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代のひきこもりの子を 80 代の親が面倒見るケースが増えているという社会問題が 8050 問題と呼ばれています。ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．ひきこもり傾向の方	4．知的障害をお持ちの方	7．該当する方はいない
2．身体に障害をお持ちの方	5．医療的なケアを要する方	
3．精神的に障害をお持ちの方	6．その他支援を要する方	

問３　あなたの身体状況についてうかがいます。

（1）あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）

身長　　cm　　体重　　kg

（2）この６ヶ月間で２～３ｋｇ以上の体重減少がありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（3）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つの番号に○）

1．とてもよい	3．あまりよくない
2．まあよい	4．よくない

（4）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．ない	11．外傷（転倒・骨折等）
2．高血圧	12．がん（悪性新生物）
3．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13．血液・免疫の病気
4．心臓病	14．うつ病
5．糖尿病	15．認知症（アルツハイマー病等）
6．高脂血症（脂質異常）	16．パーキンソン病
7．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17．目の病気
8．胃腸・肝臓・胆のうの病気	18．耳の病気
9．腎臓・前立腺の病気	19．その他（　　）
10．筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	

（5）あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドッグを受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（6）あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（7）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（1つの番号に○）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1．自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用　→①へ
2．自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし　→（8）へ
3．自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用　→①へ
4．自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし　→（8）へ

◎下記①は、（7）で「1」「3」（入れ歯の方）と回答した方のみ、お答えください。

①毎日入れ歯の手入れをしていますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（8）噛み合わせは良いですか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

問4　食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

（1）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（2）お茶や汁物等でむせることがありますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（3）口の渇きが気になりますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（4）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（5）お酒は飲みますか。（1つの番号に○）
1．ほぼ毎日飲む　2．時々飲む　3．ほとんど飲まない　4．もともと飲まない

（6）タバコは吸っていますか。（1つの番号に○）
1．ほぼ毎日吸っている　2．時々吸っている　3．吸っていたがやめた　4．もともと吸っていない

（7）どなたかと食事をともにする機会はありますか。（1つの番号に○）
1．毎日ある　3．月に何度かある　5．ほとんどない
2．週に何度かある　4．年に何度かある

問5　からだを動かすことについてうかがいます。

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（3）15分位続けて歩いていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つの番号に○）
1．何度もある　2．1度ある　3．ない

（5）転倒に対する不安は大きいですか。（1つの番号に○）
1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

（6）週に1回以上は外出していますか。（1つの番号に○）
1．ほとんど外出しない　2．週1回　3．週2～4回　4．週5回以上

（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つの番号に○）
1．とても減っている　2．減っている　3．あまり減っていない　4．減っていない

（8）外出を控えていますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　→①へ　2．いいえ　→（9）へ

◎下記①～②は、（8）で「1」（外出を控えている）と回答した方のみ、お答えください。

①外出を控えている理由は次のどれですか。（あてはまるすべての番号に○）
1．病気
2．障害（脳卒中の後遺症など）
3．足腰などの痛み
4．トイレの心配（尿もれなど）
5．耳の障害（聞こえの問題など）
6．目の障害
7．外での楽しみがない
8．経済的な理由で出られない
9．交通手段がない
10．その他（　　）

②どのような支援があれば外出できますか。（あてはまるすべての番号に○）
1．車両などによる送迎
2．歩行の不安を補う見守り・介助
3．歩行器・車椅子使用による付添・介助
4．認知機能の低下を補うサポート
5．その他（　　）
6．支援は必要としない

（9）外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）
1．徒歩
2．自転車
3．バイク
4．自動車（自分で運転）
5．自動車（人に乗せてもらう）
6．電車
7．路線バス
8．病院や施設のバス
9．車いす
10．電動車いす（カート）
11．歩行器・シルバーカー
12．タクシー
13．その他（　　）

問6　毎日の生活についてうかがいます。

（1）物忘れが多いと感じますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（3）今日が何月何日かわからない時がありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（4）バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）（どちらかの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（5）自動車と運転免許について、あてはまるものはどれですか。（１つの番号に○）

1．免許を所持していて、自動車を運転している
2．免許を所持しているが、自動車を運転していない
3．免許を所持しているが、返納する予定である
4．免許を所持していたが、もう返納/失効した
5．免許を所持したことはない

（6）自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（7）自分で食事の用意をしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（8）自分で請求書の支払いをしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（9）自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（10）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（11）新聞を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（12）本や雑誌を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（13）健康についての記事や番組に関心がありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（14）友人の家を訪ねていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（15）家族や友人の相談にのっていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（16）病人を見舞うことができますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（17）若い人に自分から話しかけることがありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（18）趣味はありますか。（どちらかの番号に○）　（　　）内に具体的に記入

1．はい→（　　）　　2．思いつかない

（19）ペットを飼っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→①へ　　2．いいえ　→（20）へ

◎下記①は、（19）で「1」（ペットを飼っている）と回答した方のみ、お答えください。

①ペットを飼っていて困ることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．旅行
2．入院・入所
3．日常の世話
4．緊急時
5．自分以外に世話する人がいない
6．その他（　　）
7．困っていない

（20）生きがいはありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→①へ　　2．思いつかない　→（21）へ

◎下記①は、（20）で「1」（はい）と回答した方のみ、お答えください。

①「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．働くこと（自営・家事等も含む）
2．家族の世話や介護
3．ご近所や友達とのつきあい
4．スポーツ・レクリエーション
5．学習や教養を高めること・趣味の活動
6．町会・自治会の活動
7．はつらつクラブ（老人クラブ）の活動
8．ボランティア活動
9．おしゃれや服装のこと
10．家族との団らん
11．テレビやラジオの視聴
12．信仰に関すること
13．旅行や買い物などの外出
14．食事をすること
15．その他（　　）

（21）あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、点数をつけてください）。（１つの点数に○）

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

（22）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（23）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（24）普段の生活に困っていることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．家の中の修理	5．買い物	9．通院
2．電球の交換	6．ごみ出し	10．食事の準備・調理・後始末
3．掃除	7．庭の草むしり	11．困っていない
4．洗濯	8．外出	

（25）あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配食	5．ごみ出し	9．サロンなどの定期的な通いの場
2．調理	6．外出同行（通院、買い物など）	10．その他（　　）
3．掃除・洗濯	7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）	11．利用していない
4．買い物（宅配は含まない）	8．見守り・声かけ	

（26）フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

問７　地域での活動についてうかがいます。

（1）あなたは、町会または自治会に加入していますか。（１つの番号に○）

1．はい	2．いいえ	3．わからない

（2）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑧それぞれに回答してください。（①～⑧それぞれ１つの番号に○）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥はつらつクラブ（老人クラブ）	1	2	3	4	5	6
⑦町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

（3）会・グループに１つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．活動場所が近くにないから	6．興味がないから
2．足が悪く、行く手段がないから	7．利用料の負担が大きいから
3．何をやっているかわからないから	8．その他（　　）
4．参加するきっかけがないから	9．わからない
5．他者と付き合う自信がないから	

（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．是非参加したい	3．参加したくない
2．参加してもよい	4．既に参加している

（5）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．是非参加したい　→ ①へ	3．参加したくない　→ 問8へ
2．参加してもよい　→ ①へ	4．既に参加している　→ 問8へ

◎下記①は、（5）で「1」「2」（是非参加したい・参加してもよい）と回答した方のみ、お答えください。

①活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．グループの運営の仕方がわからない	6．どこにグループがあるのかわからない
2．グループを運営する場所がない	7．身体的理由から外出が困難
3．時間的余裕がない	8．活動に馴染める自信がない
4．魅力的なグループがない	9．特にない
5．行ける範囲にグループが存在しない	

問８　たすけあいについてうかがいます。

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（2）反対にあなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（5）家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
（あてはまるすべての番号に○）

1．自治会・町内会・老人クラブ	5．地域包括支援センター・役所・役場
2．社会福祉協議会・民生委員	6．その他（　　）
3．ケアマネジャー	7．そのような人はいない
4．医師・歯科医師・看護師	

（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つの番号に○）

1．毎日ある	3．月に何度かある	5．ほとんどない
2．週に何度かある	4．年に何度かある	

（7）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。（1つの番号に○）

1．0人（いない）	3．3～5人	5．10人以上
2．1～2人	4．6～9人	

（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．近所・同じ地域の人	5．趣味や関心が同じ友人
2．幼なじみ	6．ボランティア等の活動での友人
3．学生時代の友人	7．その他（　　）
4．仕事での同僚・元同僚	8．いない

（9）あなたは、近隣で困っている高齢者がいた場合、地域の支え合い活動として、自分ができる範囲で何か協力することはできますか。（1つの番号に○）

1．はい	2．いいえ	3．わからない

（10）あなたは、近隣で外出の際に支援を必要とする高齢者がいた場合、自分ができる範囲で協力することができることはどんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．車両などによる送迎	4．認知機能の低下を補うサポート
2．歩行の不安を補う見守り・介助	5．その他（　　）
3．歩行器・車椅子使用による付添・介助	6．協力できない

（11）あなたは、災害などが起こったときに、手助けがないと避難ができない方から支援を求められた場合、協力できますか。（1つの番号に○）

1．はい　→（12）へ　　2．いいえ　→ ①へ　　3．どちらともいえない　→（12）へ

◎下記①は、（11）で「2」（いいえ）と回答した方のみ、お答えください。

①協力できない理由は何ですか。（1つの番号に○）

1．自分に手助けが必要だから	3．家族で精一杯だから
2．自分で精一杯だから	4．その他（　　）

（12）「地域共生社会」という言葉・内容を知っていますか。（1つの番号に○）

1．名称も内容も知っている　→ ①へ　　3．名称も内容も知らない　→ 問9へ

2．名称は知っているが、内容は知らない　→ 問9へ

◎下記①は、（12）で「1」（名称も内容も知っている）と回答した方のみ、お答えください。

①地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。
（あてはまるすべての番号に○）

1．困っている人への声かけ	6．趣味や特技を活かした社会貢献
2．町会・自治会等への参加・協力	7．話し相手になること
3．家事支援（ゴミ出し・草取りなど）	8．その他（　　）
4．地域の安否確認や見守り活動	9．わからない
5．子育て支援	

問9　住んでいる地域についてうかがいます。

（1）あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（1つの番号に○）

1．とても愛着がある	3．どちらともいえない	5．全く愛着がない
2．まあまあ愛着がある	4．あまり愛着がない	

（2）あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。（1つの番号に○）

1．互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2．日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3．あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4．つきあいは全くしていない

（3）あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。（1つの番号に○）

1．避難場所・経路を把握している	3．どちらも把握していない
2．避難場所は把握しているが、経路は把握していない	

（4）避難するにあたり不安はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．避難場所がわからない	6．医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
2．避難場所への移動手段がない	7．ペットを連れて避難できるか不安
3．避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない	8．その他（　　）
4．避難場所での生活が不安	9．不安はない
5．持病があるので不安	

（5）最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。（1つの番号に○）

（※）かかりつけ医とは？
身近で安心して幅広く何でも相談に応じ、病状によっては適切な医療機関を紹介してくれる医師のことです。

1．松戸市内にある　→ ②へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある　→ ①へ
3．柏市・流山市にある　→ ①へ
4．我孫子市・野田市にある　→ ①へ
5．その他千葉県内にある　→ ①へ
6．千葉県外（都内など）にある　→ ①へ
7．かかりつけ医療機関はない　→（6）へ

◎下記①は、（5）で「2」～「6」（松戸市以外）と回答した方のみ、お答えください。

①市外の医療機関にかかる理由はなんですか。（1つの番号に○）

1．昔からかかっているから
2．専門医が市内にいないから
3．距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4．開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5．混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6．家族が同じ医療機関にかかっているから
7．勤務場所に近いから
8．その他（　　）

◎下記②は、（5）で「1」～「6」（かかりつけ医療機関がある）と回答した方のみ、お答えください。

②医療機関は以下のどれにあたりますか。（1つの番号に○）

1．多数の診療科のある病院　2．その他の診療所や医院　3．分からない

（6）最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。（1つの番号に○）

1．松戸市内にいる　4．我孫子市・野田市にいる　7．かかりつけ歯科医はいない
2．市川市・鎌ケ谷市にいる　5．その他千葉県内にいる
3．柏市・流山市にいる　6．千葉県外（都内など）にいる

（7）かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．松戸市内にある　→ ①へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある　→ ①へ
3．柏市・流山市にある　→ ①へ
4．我孫子市・野田市にある　→ ①へ
5．その他千葉県内にある　→ ①へ
6．千葉県外（都内など）にある　→ ①へ
7．かかりつけ薬局（調剤薬局）はない　→（問10）へ

◎下記①～②は、（7）で「1」～「6」（かかりつけ薬局がある）と回答した方のみ、お答えください。

①それは何か所くらいですか。（1つの番号に○）

1．1か所　2．2か所～4か所　3．5か所以上

②その際、お薬手帳は持参していますか。（1つの番号に○）

1．いつも持参している　3．持参していることが少ない
2．持参していることが多い　4．持参していない・持っていない

問10　認知症に関することについてうかがいます。

（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　2．いいえ

（3）認知症発症遅延（予防）について意識していることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．医師の診察を受けている
2．服薬している
3．認知機能低下予防の脳トレを行っている
4．禁煙している
5．アルコール量の調整をしている
6．体重を気にしている
7．食事に気をつけている
8．適度な睡眠を取るようにしている
9．適度に運動するようにしている
10．口腔内を清潔に保つようにしている
11．社会参加を行うようにしている
12．趣味などの活動に参加するようにしている
13．その他（　　）
14．特に意識していることはない

（4）認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1．駅の近く
2．市民センター等身近な公共施設
3．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
4．近くの喫茶店
5．自治会館
6．神社
7．近所の民家
8．参加したいと思わない

（5）松戸市が行っている認知症対策について、知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症講演会
2．認知症サポーター養成講座
3．オレンジ声かけ隊
4．オレンジ協力員
5．認知症コーディネーター
6．認知症ガイドブック（ケアパス）
7．認知症初期集中支援チーム
8．まつど認知症予防プロジェクト
9．認知症カフェ
10．介護者のつどい
11．いきいきメール
12．高齢者の見守りシール
13．認知症簡易チェック
14．プラチナカフェ
15．その他（　　）
16．いずれも知らない

（6）松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2．認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3．「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4．認知症サポーター（認知症の方や家族を見守る人）など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5．徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6．成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7．認知症の本人のつどい（当事者ミーティング）
8．就労など若年性認知症の方への支援
9．認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10．認知症についての相談場所の周知
11．わからない

問 11　介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

（1）介護保険の要介護（要支援）認定を受けなくても、基本チェックリスト（25項目）により事業対象者として特定された場合は、市で実施している通所型サービスや訪問型サービス等を利用できることを知っていましたか。（どちらかの番号に○）

1．知っていた　　2．知らなかった

（2）以下のサービスについて利用したことがありますか。また、名称や内容を知っていましたか。
①～③それぞれに回答してください。

	利用したことがありますか（どちらかに○）		名称を知っていましたか（どちらかに○）		内容を知っていましたか（どちらかに○）	
① 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）（※1）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった
② 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）（※2）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった
③ 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）（※3）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった

（※1）訪問型元気応援サービス（生活支援コース）とは？
介護保険の範囲内で、調理、清掃、買い物などの生活支援を、専門ヘルパーより低い負担で受けられるサービスです。
（※2）訪問型元気応援サービス（困りごとコース）とは？
介護者本人以外の居室などの掃除や、通院の付き添いなどを、地域の社会貢献意欲の高い方が中心となって提供するサービスです。
（※3）短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）とは？
生活機能の低下がみられる方にリハビリなどの専門家が集中的にかかわり、最大6カ月程度で機能の改善を目指すサービスです。

（3）あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。（どちらかの番号に○）

1．利用している　→①へ　　2．利用していない　→③へ

◎下記①～②は、（3）で「1」（利用している）と回答した方のみ、お答えください。

①次のような在宅サービスを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．訪問型サービス（制度改正前のホームヘルプサービスに相当）
2．通所型サービス（制度改正前のデイサービスに相当）
3．訪問看護
4．訪問入浴介護
5．通所リハビリテーション（デイケア）
6．訪問リハビリテーション
7．短期入所（ショートステイ）
8．認知症対応型通所介護
9．訪問診療（医師の訪問）
10．訪問診療（歯科医師の訪問）
11．小規模多機能型居宅介護
12．医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
13．歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導（居宅療養管理指導）
14．薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
15．福祉用具貸与
16．福祉用具購入
17．住宅改修
18．訪問型元気応援サービス（生活支援コース・困りごとコース）
19．通所型短期集中予防サービス
20．通所型元気応援くらぶ（住民主体の通いの場）
21．その他（　　）

②介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分で身の回りのことができるようになった
2．意欲が出てきた
3．体調が良くなった
4．精神的ストレスが減った
5．家族に対する気兼ねが減った
6．外出する機会が増えた
7．自分で身の回りのことをしなくなった
8．意欲がなくなった
9．精神的ストレスが増えた
10．家族に対する気兼ねが増えた
11．外出する機会が減った
12．その他（　　）
13．特に変化はない

◎下記③は、（3）で「2」（利用していない）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分でまだできるから
2．利用したいサービスがないから
3．病院に入院しているから
4．家族等の介護で十分だから
5．他人に介護されるのが嫌だから
6．利用料の負担が大きいから
7．介護保険以外のサービスを利用しているから
8．その他（　　）
9．特にない
10．わからない

（4）以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。
①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容について知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（1つに○）		
① 小規模多機能型居宅介護（※1）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護（※2）	知っていた	知らなかった	－	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護（※3）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（※1）　小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。
（※2）　看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。
（※3）　定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

（５）あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．自宅で家族中心に介護を受けたい　→①へ
2．自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい　→①へ
3．家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい　→①へ
4．ケア付き高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい　→③へ
5．特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい　→③へ
6．その他（　　）　→（６）へ
7．わからない　→（６）へ

◎下記①～②は、（５）で「１」～「３」（自宅で介護を）と回答した方のみ、お答えください。

①あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

1．在宅で十分な介護が受けられると思うから
2．現在の住まいで生活を続けたいから
3．施設で他人の世話になるのはいやだから
4．他人との共同生活はしたくないから
5．施設では自由な生活ができないから
6．施設に入るだけの経済的余裕がないから
7．施設を利用することに抵抗を感じるから
8．具体的に施設を知らず、不安だから
9．その他（　　）
10．わからない

②その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（１つの番号に○）

1．家族だけに介護されたい
2．家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3．ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4．ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5．その他（　　）
6．わからない

◎下記③は、（５）で「４」「５」（外部の介護を受けたい）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（１つの番号に○）

1．家族がいないから
2．家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3．家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4．家族に負担をかけたくないから
5．専門的な介護が受けられるから
6．緊急時に対応の面で安心だから
7．在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8．介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9．その他（　　）
10．わからない

（６）今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
3．保険料負担の引上げを上記１よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4．保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5．わからない

問 12　権利擁護・成年後見人制度についてうかがいます。

（１）あなたが、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
2．成年後見制度
3．市民後見人の活動
4．松戸市高齢者虐待の通報・相談窓口
5．法テラス
6．クーリングオフ制度
7．いずれも知らない

（２）あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（３）あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（４）あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

開催されていることを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（５）虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2．地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3．虐待の通報先の広報
4．児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5．市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6．虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7．その他（　　）

問 13　市の高齢者施策についてうかがいます。

（1）福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また利用してみたいと思いますか。

名称や内容を知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（1つに○）		
知っていた	知らなかった	利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（2）高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．名称は知っている
2．どこにあるか知っている
3．日常生活圏域ごとに一箇所あること
4．介護に関する相談窓口であること
5．健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6．認知症に関する相談窓口であること
7．権利擁護に関する相談窓口であること
8．成年後見人に関する相談窓口であること
9．総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10．要支援１・２と認定された方への支援を行うところであること
11．いずれも知らない

（3）松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。（どちらかの番号に○）

1．知っていた　　2．知らなかった

（4）松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（1つの番号に○）

1．行政の関わりは最小限にし、民間の事業者に任せるべき
2．行政が関わる必要はなく、民間の事業者に任せるべき
3．引き続き、行政が主となって実施すべき
4．わからない

（5）松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（1つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記1よりもさらに保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
3．現在のサービス水準を見直しし、保険料負担の引き上げを上記1よりも抑え、事業を継続する
4．事業を廃止しても構わない
5．わからない

※紙おむつ支給事業
対　　象：要介護3～5の認定を受けている方を在宅で介護している世帯
給付内容：紙おむつを要件により月に1～2パック支給

（6）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月1日及び15日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

問 14　介護に関することについてうかがいます。

（1）以下の名称について知っていましたか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容を知っていますか（1つに○）		
① ケアラー（※1）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
② ヤングケア（※2）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
③ ダブルケア（※3）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった

（※1）ケアラーとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。
（※2）ヤングケアとは？
18歳未満の子どもが、大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている状態のことをいいます。
（※3）ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

（2）男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．男性介護者が集える会合の場
2．男性介護者が地域とつながることのできる環境
3．男性介護者向けの研修会・講習会
4．その他（　　）

ご本人（あて名の方）への質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

次のページの質問からは、あなたの生活を支えていらっしゃる近親者の方に回答していただく質問になりますので、お渡しいただければ幸いです。

なお、近親者の方がいらっしゃらない場合、以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月１７日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

ここからは、ご本人（あて名の方）の近親者（家族等）の方が回答してください。

問 15　ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況についてうかがいます。

（1）ご本人（あて名の方）を主に介護している方（以下「主な介護者」といいます。）は、ご本人から見てどなたですか。（１つに○）

1．配偶者	5．兄弟・姉妹	9．その他（　　）
2．娘	6．孫	10．介護はしていない
3．息子	7．親	↓
4．子の配偶者	8．配偶者の親	アンケートは以上となります。 28 ページの自由記載欄にお進みください

（2）令和元年 11 月１日現在のあなた（主な介護者）の年齢を記入してください。（数字を記入）

満　　歳

（3）あなた（主な介護者）の性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（4）あなた（主な介護者）の職業をお答えください。（１つの番号に○）

1．会社員	4．パート・アルバイト	7．その他（　　）
2．公務員	5．専業主婦・専業主夫	
3．自営業	6．無職	

（5）現在、あなた（主な介護者）が行っている介護等についてお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

1．屋内の移乗・移動	9．認知症状への対応
2．外出の付き添い、送迎等	10．衣服の着脱
3．入浴・洗身	11．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
4．日中の排泄	12．その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
5．夜間の排泄	13．医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
6．食事の準備（調理等）	14．金銭管理や生活面に必要な手続き
7．食事の介助（食べる時）	15．その他（　　）
8．服薬	16．わからない

（6）ご本人（あて名の方）はどちらにいらっしゃいますか。（１つの番号に○）

1．自宅（２世帯を含む同居）　2．自宅（別居）　3．病院　4．施設

（7）介護の期間はどの程度ですか。（１つの番号に○）

1．１年未満　2．１年以上～３年未満　3．３年以上～５年未満　4．５年以上

（8）１日あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（１つの番号に○）

1．必要な時に手を貸す程度　2．2～3時間程度　3．半日程度　4．ほぼ終日

（9）１週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（１つの番号に○）

１．１日未満　２．１～２日程度　３．３～４日程度　４．ほぼ毎日

（10）介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか。（１つの番号に○）

１．３０分未満　２．３０分以上１時間未満　３．１時間以上２時間未満　４．２時間以上

（11）ご本人（あて名の方）の介護にあたり協力者はいますか。あなた（主介護者）から見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

１．配偶者　４．自分の兄弟・姉妹　７．その他（　　）
２．娘　５．配偶者の兄弟・姉妹　８．いない
３．息子　６．親

（12）あなた（主介護者）は、ご本人（あて名の方）以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（１つの番号に○）

１．介護のみしている（していた）　３．どちらもしている（していた）
２．子育てのみしている（していた）　４．どちらもしていない（していなかった）

（13）あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（１つの番号に○）

１．辞めた　→①へ
２．辞めることを検討している　→（14）へ
３．辞めないつもり（辞めなかった）　→②へ
４．労働時間を調整して続けている（続けた）→②へ
５．転職した　→①へ
６．転職を検討している　→（14）へ
７．仕事をしていない（していなかった）　→（14）へ

◎下記①は、（13）で「１」「５」（辞めた、転職した）と回答した方のみ、お答えください。

①仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

１．自分の希望として介護に専念したかったから
２．要介護者が介護に専念することを希望したから
３．仕事と介護の両立について、家族や親族から理解・協力が得られなかったから
４．自宅と要介護者の居住地が離れていたから
５．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）することが難しかったから
６．休暇（年休や介護休業等）を取得できなかった、または取得しづらかったから
７．仕事と介護の両立のための相談先がなかったから
８．介護サービスに関する情報を知らなかったから
９．仕事をしている間の介護サービスを確保できなかったから
10．自分が休息するための介護サービスを確保できなかったから
11．急な予定変更に対応できる介護サービスを確保できなかったから
12．仕事と介護を両立していたが、自分の心身の健康状態が悪化したから
13．施設に入所できなかったから
14．介護に適した住環境ではなかったから
15．その他（　　）

◎下記②～③は、（13）で「３」「４」（辞めないで続けている（続けた））と回答した方のみ、お答えください。

②仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

１．家族や親族からの理解・協力が得られたから
２．自宅と要介護者の居住地が近かったから
３．要介護者と同居したから
４．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）したから
５．休暇（年休や介護休業等）を取得したから
６．在宅勤務を利用したから
７．仕事と介護の両立に関する相談先があったから
８．介護サービスに関する情報を入手できたから
９．デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから
10．施設に入所したから
11．介護しやすい住環境が整備されていたから
12．要介護者の状態が仕事に影響を及ぼさない程度だったから
13．特にない
14．その他（　　）

③今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（１つの番号に○）

１．問題なく、続けていける　４．続けていくのは、かなり難しい
２．問題はあるが、何とか続けていける　５．わからない
３．続けていくのは、やや難しい

（14）どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

１．労働時間を調整（短時間勤務や介護休業等）する仕組みの充実
２．介護のための在宅勤務の充実
３．休暇（年休や介護休業等）の充実、または取得しやすい環境・職場意識
４．仕事と介護の両立に関する相談先の充実
５．介護サービスに関する情報の普及啓発
６．早朝や夜間も対応できるデイサービスの充実
７．ショートステイなど、休息のためのサービスの充実
８．必要なときにいつでも利用できるサービスの充実
９．定期的に自宅を巡回してくれるサービスの充実
10．施設サービスの充実
11．介護しやすい住環境の整備
12．要介護者や家族・親族の理解と協力
13．その他（　　）

（15）今後の介護の方法はどのように考えていますか。（１つの番号に○）

1．可能な限り在宅で　→①へ　　3．できるだけ施設への入所→②へ　　5．一概に言えない
2．必要に応じて施設への入所→②へ　　4．その他（　　）　　6．わからない

◎下記①は、（15）で「1」（可能な限り在宅で）と回答した方のみ、お答えください。

①可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護する家族が休息をとれるようなサービス
2．介護しやすい住環境
3．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護を柔軟に受けられるサービス
4．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス
5．２４時間、定期的な巡回と随時の訪問で、介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス
6．困ったときに気軽に介護相談ができる場所
7．介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できる場所
8．家族が介護するための技術を習得できる場所
9．在宅医療の充実
10．その他（　　）

◎下記②は、（15）で「2」「3」（施設への入所）と回答した方のみ、お答えください。

②既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護老人保健施設　→③へ　　4．有料老人ホーム　→③へ
2．グループホーム　→③へ　　5．その他（　　）→③へ
3．サービス付き高齢者住宅　→③へ　　6．申込みはしていない　⇒（16）へ

◎下記③～④は、②で「1」～「5」と回答したの方のみ、お答えください。

③最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。（１つの番号に○）

1．１年未満　　3．２年以上３年未満　　5．４年以上
2．１年以上２年未満　　4．３年以上４年未満

④施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（１つの番号に○）

1．すぐに入所手続きをする
2．本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする
3．今のところ在宅で介護できそうなので辞退する
4．入院しているのでひとまず辞退する
5．わからない
6．その他（　　）

（16）あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護する時間がなかなかとれない
2．相談できる人がいない
3．相談する場所がわからない
4．介護の方法がわからない
5．早朝・夜間・深夜などの対応が大変である
6．緊急時の対応が大変である
7．腰痛などの身体的負担が大きい
8．介護を行う側の健康状態が良くない
9．精神的に疲れる
10．介護者のリフレッシュのための時間が取れない
11．家族や近隣の人などの理解が足りない
12．ご本人が介護サービスを使いたがらない
13．イライラしご本人に怒鳴ってしまうことがある
14．思わず手を上げてしまうことがある
15．ご本人の訴えを無視してしまうことがある
16．介護に要する費用がかかる
17．認知症を診察してくれる医療機関（診療科）がわからない
18．認知症の人への対応の仕方がわからない
19．急激に症状が悪化した場合の緊急受入施設がわからない、またはない
20．徘徊して行方がわからなくなるときがある
21．その他（　　）
22．特にない
23．わからない

（17）在宅医療を利用してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．すでに利用している　→①へ　　3．利用したいと思わない　→②へ
2．利用してみたい　→②へ　　4．わからない　→②へ

◎下記①は、（17）で「1」（すでに利用している）と回答した方のみ、お答えください。

①在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．病気・状態により主治医が対応できないことがあった（主治医がみつからなかった）
2．夜間の対応で主治医・看護師と連絡が取れなかった
3．自宅での生活を希望していたが、やむなく入院してしまった
4．医師と看護師や介護職の連携がうまくいっていなかった
5．必要な検査ができなかった
6．特にない
7．その他（　　）

◎下記②は、（17）で「2」～「4」（利用していない）と回答した方のみ、お答えください。

②在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか（あてはまるすべての番号に○）

1．往診してくれる医師がどこにいるのかわからない
2．かかりつけ医が在宅医療に対応していない
3．訪問看護の体制が整っていない
4．症状が急変したときの対応に不安がある
5．検査が十分にできるか不安がある
6．病気や状態によっては対応できる医師がみつからない
7．医師と看護師や介護職の間で意思疎通が十分ではない
8．特にない
9．わからない
10．その他（　　）

（18）あなた（主な介護者）は、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者（夫・妻）	12．民生委員
2．娘	13．町会・自治会
3．息子	14．はつらつクラブ（老人クラブ）
4．兄弟・姉妹	15．社会福祉協議会
5．自分の親	16．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
6．配偶者の親	17．ケアマネジャー
7．子の配偶者	18．市役所（支所を含む）・保健福祉センター
8．友人・知人	19．県の窓口（保健所など）
9．職場の人	20．その他（　　）
10．隣近所の人	21．そのような人はいない
11．医師・歯科医・看護師・薬剤師	

（19）松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．行政の関わりは最小限にし、民間の事業者に任せるべき
2．行政が関わる必要はなく、民間の事業者に任せるべき
3．引き続き、行政が主となって実施すべき
4．わからない

（20）松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
3．現在のサービス水準を見直しし、保険料負担の引き上げを上記１よりも抑え、事業を継続する
4．事業を廃止しても構わない
5．わからない

※紙おむつ支給事業
対　　象：要介護３～５の認定を受けている方を在宅で介護している世帯
給付内容：紙おむつを要件により月に１～２パック支給

（21）松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

講座を知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（22）「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

介護者のつどいを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（23）「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護の情報	4．悩みや愚痴を聞いてもらう
2．医療の情報	5．リフレッシュ
3．ピアサポート（同じ立場にある人との交流）	6．その他（　　）

（24）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月１日及び１５日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月１７日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

④ ― （A）本庁

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査



～　ご協力のお願い　～

日頃より、市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」を目指し、平成 30 年度から令和２年度までを期間とした「いきいき安心プランⅦまつど」（第８期松戸市高齢者保健福祉計画・第７期松戸市介護保険事業計画）を策定し、様々な高齢者支援施策・介護保険事業を実施しています。

この調査は、高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくりがより一層推進されるよう、次期計画となる「いきいき安心プランⅧまつど」（令和３年度から令和５年度まで）を策定するため、要介護認定を受けている方から無作為に 3,900 名抽出させていただいて、年齢に伴う心身の状況や高齢者支援施策に関するお考えなどをお答えいただくものとなります。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただくものであり、統計的に処理しますので回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

ご多忙のことと存じますが、***本市がより一層「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまち」となるためにも、ぜひ回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。***

令和元年 12 月

松戸市長　**本郷谷　健次**

～　ご記入にあたって　～

1. この調査は、**封筒のあて名のご本人**がお答えください。
   なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお気持ちに代わって記入してください。
2. 令和元年 11 月 1 日現在で抽出しておりますので、対象者に変動があった場合にはご容赦ください。
3. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。
   ○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
   「その他」を選択した場合は、（　　）の中に具体的な内容をご記入ください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を同封の返信用封筒に入れて**令和２年１月 17 日（金）までに**郵便ポストへご投函ください。（切手不要）
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
   なお、**土・日・祝日及び令和元年 12 月 28 日（土）から令和２年１月５日（日）までは閉庁しておりますの**でご了承願います。

【お問合せ先】松戸市役所　高齢者支援課
電話：047-366-7346（直通）　FAX：047-366-0991
E-mail：mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp

この調査票を記入されるのはどなたですか。（１つの番号に○）

1．あて名のご本人が記入
2．ご家族が記入　⇒　あて名のご本人からみた続柄：（　　）
3．その他（　　）

これ以降の「あなた」は、ご本人（あて名の方）についてうかがいます。

問１　あなたご自身についてうかがいます。

（１）令和元年 11 月１日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

満 [　　] 歳

（２）あなたの性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（３）あなたの要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれですか。（１つの番号に○）

1．事業対象者	4．要介護１	7．要介護４
2．要支援１	5．要介護２	8．要介護５
3．要支援２	6．要介護３	9．わからない

（４）一年前の要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれでしたか。（１つの番号に○）

1．要介護（支援）状態ではなかった	5．要介護１	8．要介護４
2．事業対象者	6．要介護２	9．要介護５
3．要支援１	7．要介護３	10．わからない
4．要支援２		

問２　あなたのご家族や生活状況についてうかがいます。

（１）家族構成をお教えください。（１つの番号に○）

1．１人暮らし	4．息子・娘との２世帯
2．夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）	5．その他（３世帯を含む）
3．夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）	

（２）あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（１つの番号に○）

1．趣味の用事のときだけ出かける　⇒ ①へ	4．自室からほとんど出ない　⇒ ①へ
2．近所のコンビニなどには出かける　⇒ ①へ	5．該当する方はいない　⇒ （３）へ
3．自室からは出るが、家からは出ない　⇒ ①へ	

◎下記①②は、（２）で「１」～「４」（いる）と回答した方のみ、お答えください。

①その期間は下記のうちどれですか（あてはまる番号すべてに○）

1．３か月未満	4．１年～３年未満	7．10 年以上
2．３か月～６か月未満	5．３年～５年未満	
3．６か月～１年未満	6．５年～10 年未満	

②その方の年齢はいくつですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．20 歳未満	3．40 歳～64 歳	5．75 歳以上
2．20 歳～39 歳	4．65 歳～74 歳	

（3）世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成 30 年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

1．50 万円未満	6．250～300 万円未満	11．700～800 万円未満
2．50～100 万円未満	7．300～400 万円未満	12．800～900 万円未満
3．100～150 万円未満	8．400～500 万円未満	13．900～1000 万円未満
4．150～200 万円未満	9．500～600 万円未満	14．1000～1200 万円未満
5．200～250 万円未満	10．600～700 万円未満	15．1200 万円以上

（4）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つの番号に○）

1．大変苦しい	4．ややゆとりがある
2．やや苦しい	5．大変ゆとりがある
3．ふつう	

（5）あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（１つの番号に○）

1．持家（一戸建て）	5．民間賃貸住宅（集合住宅）
2．持家（集合住宅）	6．借家
3．公営賃貸住宅	7．その他（　　）
4．民間賃貸住宅（一戸建て）	

（6）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つの番号に○）

1．介護・介助は必要ない　→（7）へ
2．何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない　→①へ
3．現在、何らかの介護・介助を受けている　→①②へ
（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）

◎下記①は、（6）で「2」「3」（介護・介助が必要）と回答した方のみ、お答えください。

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	9．腎 疾患（透析）
2．心臓病	10．視覚・聴覚障害
3．がん（悪性 新生物）	11．骨折・転倒
4．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	12．脊椎損傷
5．関節 の病気（リウマチ等）	13．高齢による衰弱
6．認知症（アルツハイマー病等）	14．その他（　　）
7．パーキンソン 病	15．不明
8．糖尿病	

◎下記②は、（6）で「3」（現在、何らかの介護・介助を受けている）と回答した方のみ、お答えください。

②主にどなたの介護・介助を受けていますか。（１つの番号に○）

1．配偶者（夫・妻）	4．子の配偶者	7．介護サービスのヘルパー
2．息子	5．孫	8．その他（　　）
3．娘	6．兄弟・姉妹	

（7）ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代のひきこもりの子を 80 代の親が面倒見るケースが増えているという社会問題が 8050 問題と呼ばれています。ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．ひきこもり傾向の方	4．知的障害をお持ちの方	7．該当する方はいない
2．身体に障害をお持ちの方	5．医療的なケアを要する方	
3．精神的に障害をお持ちの方	6．その他支援を要する方	

問３　あなたの身体状況についてうかがいます。

（1）あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）

身長　　cm　　体重　　kg

（2）この６ヶ月間で２～３ｋｇ以上の体重減少がありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（3）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つの番号に○）

1．とてもよい	3．あまりよくない
2．まあよい	4．よくない

（4）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．ない	11．外傷（転倒・骨折等）
2．高血圧	12．がん（悪性新生物）
3．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13．血液・免疫の病気
4．心臓病	14．うつ病
5．糖尿病	15．認知症（アルツハイマー病等）
6．高脂血症（脂質異常）	16．パーキンソン病
7．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17．目の病気
8．胃腸・肝臓・胆のうの病気	18．耳の病気
9．腎臓・前立腺の病気	19．その他（　　）
10．筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	

（5）あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドッグを受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（6）あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（7）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（1つの番号に○）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1．自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用　→①へ
2．自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし　→（8）へ
3．自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用　→①へ
4．自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし　→（8）へ

◎下記①は、（7）で「1」「3」（入れ歯の方）と回答した方のみ、お答えください。

①毎日入れ歯の手入れをしていますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（8）噛み合わせは良いですか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

問4　食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

（1）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（2）お茶や汁物等でむせることがありますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（3）口の渇きが気になりますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（4）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（5）お酒は飲みますか。（1つの番号に○）
1．ほぼ毎日飲む　2．時々飲む　3．ほとんど飲まない　4．もともと飲まない

（6）タバコは吸っていますか。（1つの番号に○）
1．ほぼ毎日吸っている　2．時々吸っている　3．吸っていたがやめた　4．もともと吸っていない

（7）どなたかと食事をともにする機会はありますか。（1つの番号に○）
1．毎日ある　3．月に何度かある　5．ほとんどない
2．週に何度かある　4．年に何度かある

問5　からだを動かすことについてうかがいます。

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（3）15分位続けて歩いていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（4）過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つの番号に○）
1．何度もある　2．1度ある　3．ない

（5）転倒に対する不安は大きいですか。（1つの番号に○）
1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

（6）週に1回以上は外出していますか。（1つの番号に○）
1．ほとんど外出しない　2．週1回　3．週2～4回　4．週5回以上

（7）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つの番号に○）
1．とても減っている　2．減っている　3．あまり減っていない　4．減っていない

（8）外出を控えていますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　→①へ　2．いいえ　→（9）へ

◎下記①～②は、（8）で「1」（外出を控えている）と回答した方のみ、お答えください。

①外出を控えている理由は次のどれですか。（あてはまるすべての番号に○）
1．病気
2．障害（脳卒中の後遺症など）
3．足腰などの痛み
4．トイレの心配（尿もれなど）
5．耳の障害（聞こえの問題など）
6．目の障害
7．外での楽しみがない
8．経済的な理由で出られない
9．交通手段がない
10．その他（　　）

②どのような支援があれば外出できますか。（あてはまるすべての番号に○）
1．車両などによる送迎
2．歩行の不安を補う見守り・介助
3．歩行器・車椅子使用による付添・介助
4．認知機能の低下を補うサポート
5．その他（　　）
6．支援は必要としない

（9）外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）
1．徒歩
2．自転車
3．バイク
4．自動車（自分で運転）
5．自動車（人に乗せてもらう）
6．電車
7．路線バス
8．病院や施設のバス
9．車いす
10．電動車いす（カート）
11．歩行器・シルバーカー
12．タクシー
13．その他（　　）

問6　毎日の生活についてうかがいます。

（1）物忘れが多いと感じますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（2）自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（3）今日が何月何日かわからない時がありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（4）バスや電車を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）（どちらかの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（5）自動車と運転免許について、あてはまるものはどれですか。（１つの番号に○）

1．免許を所持していて、自動車を運転している
2．免許を所持しているが、自動車を運転していない
3．免許を所持しているが、返納する予定である
4．免許を所持していたが、もう返納/失効した
5．免許を所持したことはない

（6）自分で食品・日用品の買い物をしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（7）自分で食事の用意をしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（8）自分で請求書の支払いをしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（9）自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つの番号に○）

1．できるし、している　　2．できるけど、していない　　3．できない

（10）年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（11）新聞を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（12）本や雑誌を読んでいますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（13）健康についての記事や番組に関心がありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（14）友人の家を訪ねていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（15）家族や友人の相談にのっていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（16）病人を見舞うことができますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（17）若い人に自分から話しかけることがありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（18）趣味はありますか。（どちらかの番号に○）　（　　）内に具体的に記入

1．はい→（　　）　　2．思いつかない

（19）ペットを飼っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→①へ　　2．いいえ　→（20）へ

◎下記①は、（19）で「1」（ペットを飼っている）と回答した方のみ、お答えください。

①ペットを飼っていて困ることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．旅行
2．入院・入所
3．日常の世話
4．緊急時
5．自分以外に世話する人がいない
6．その他（　　）
7．困っていない

（20）生きがいはありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→①へ　　2．思いつかない　→（21）へ

◎下記①は、（20）で「1」（はい）と回答した方のみ、お答えください。

①「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．働くこと（自営・家事等も含む）
2．家族の世話や介護
3．ご近所や友達とのつきあい
4．スポーツ・レクリエーション
5．学習や教養を高めること・趣味の活動
6．町会・自治会の活動
7．はつらつクラブ（老人クラブ）の活動
8．ボランティア活動
9．おしゃれや服装のこと
10．家族との団らん
11．テレビやラジオの視聴
12．信仰に関すること
13．旅行や買い物などの外出
14．食事をすること
15．その他（　　）

（21）あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を 10 点として、点数をつけてください）。（１つの点数に○）

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

（22）この１か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（23）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（24）普段の生活に困っていることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．家の中の修理	5．買い物	9．通院
2．電球の交換	6．ごみ出し	10．食事の準備・調理・後始末
3．掃除	7．庭の草むしり	11．困っていない
4．洗濯	8．外出	

（25）あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配食	5．ごみ出し	9．サロンなどの定期的な通いの場
2．調理	6．外出同行（通院、買い物など）	10．その他（　　）
3．掃除・洗濯	7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）	11．利用していない
4．買い物（宅配は含まない）	8．見守り・声かけ	

（26）フレイル（加齢により心身の活力が落ち、介護が必要になる前の状態）について知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

問７　地域での活動についてうかがいます。

（1）あなたは、町会または自治会に加入していますか。（１つの番号に○）

1．はい	2．いいえ	3．わからない

（2）以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑧それぞれに回答してください。（①～⑧それぞれ１つの番号に○）

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤元気応援くらぶなど介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥はつらつクラブ（老人クラブ）	1	2	3	4	5	6
⑦町会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

（3）会・グループに１つも参加していない場合はその理由を、いずれかに参加している場合は一般的に高齢者が参加しない理由として考えられるものを教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．活動場所が近くにないから	6．興味がないから
2．足が悪く、行く手段がないから	7．利用料の負担が大きいから
3．何をやっているかわからないから	8．その他（　　）
4．参加するきっかけがないから	9．わからない
5．他者と付き合う自信がないから	

（4）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．是非参加したい	3．参加したくない
2．参加してもよい	4．既に参加している

（5）地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．是非参加したい　→ ①へ	3．参加したくない　→ 問8へ
2．参加してもよい　→ ①へ	4．既に参加している　→ 問8へ

◎下記①は、（5）で「1」「2」（是非参加したい・参加してもよい）と回答した方のみ、お答えください。

①活動やグループを企画・運営（お世話役）として参加したいと思った際、不安に思うことはなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．グループの運営の仕方がわからない	6．どこにグループがあるのかわからない
2．グループを運営する場所がない	7．身体的理由から外出が困難
3．時間的余裕がない	8．活動に馴染める自信がない
4．魅力的なグループがない	9．特にない
5．行ける範囲にグループが存在しない	

問８　たすけあいについてうかがいます。

（1）あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（2）反対にあなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（3）あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（4）反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．兄弟姉妹・親戚・親・孫	7．その他（　　）
2．同居の子ども	5．近隣	8．そのような人はいない
3．別居の子ども	6．友人	

（5）家族や友人･知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
（あてはまるすべての番号に○）

1．自治会・町内会・老人クラブ	5．地域包括支援センター・役所・役場
2．社会福祉協議会・民生委員	6．その他（　　）
3．ケアマネジャー	7．そのような人はいない
4．医師・歯科医師・看護師	

（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つの番号に○）

1．毎日ある	3．月に何度かある	5．ほとんどない
2．週に何度かある	4．年に何度かある	

（7）この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えてください。（1つの番号に○）

1．0人（いない）	3．3～5人	5．10人以上
2．1～2人	4．6～9人	

（8）よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．近所・同じ地域の人	5．趣味や関心が同じ友人
2．幼なじみ	6．ボランティア等の活動での友人
3．学生時代の友人	7．その他（　　）
4．仕事での同僚・元同僚	8．いない

（9）「地域共生社会」という言葉・内容を知っていますか。（1つの番号に○）

1．名称も内容も知っている　→ ①へ
2．名称は知っているが、内容は知らない　→問9へ
3．名称も内容も知らない→問9へ

◎下記①は、（9）で「1」（名称も内容も知っている）と回答した方のみ、お答えください。

①地域共生社会の構築に向けて自分自身は、どのような事であれば行う事ができますか。
（あてはまるすべての番号に○）

1．困っている人への声かけ	6．趣味や特技を活かした社会貢献
2．町会・自治会等への参加・協力	7．話し相手になること
3．家事支援（ゴミ出し・草取りなど）	8．その他（　　）
4．地域の安否確認や見守り活動	9．わからない
5．子育て支援	

問9　住んでいる地域についてうかがいます。

（1）あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（1つの番号に○）

1．とても愛着がある	3．どちらともいえない	5．全く愛着がない
2．まあまあ愛着がある	4．あまり愛着がない	

（2）あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。（1つの番号に○）

1．互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2．日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3．あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4．つきあいは全くしていない

（3）あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。（1つの番号に○）

1．避難場所・経路を把握している	3．どちらも把握していない
2．避難場所は把握しているが、経路は把握していない	

（4）避難するにあたり不安はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．避難場所がわからない	6．医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
2．避難場所への移動手段がない	7．ペットを連れて避難できるか不安
3．避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない	8．その他（　　）
4．避難場所での生活が不安	9．不安はない
5．持病があるので不安	

（5）最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。（1つの番号に○）

（※）かかりつけ医とは？
身近で安心して幅広く何でも相談に応じ、病状によっては適切な医療機関を紹介してくれる医師のことです。

1．松戸市内にある	→ ②へ	4．我孫子市・野田市にある	→ ①へ	7．かかりつけ医療機関はない	→ （6）へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある	→ ①へ	5．その他千葉県内にある	→ ①へ		
3．柏市・流山市にある	→ ①へ	6．千葉県外（都内など）にある	→ ①へ		

◎下記①は、（5）で「2」～「6」（松戸市以外）と回答した方のみ、お答えください。

①市外の医療機関にかかる理由はなんですか。（1つの番号に○）

1．昔からかかっているから
2．専門医が市内にいないから
3．距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4．開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5．混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6．家族が同じ医療機関にかかっているから
7．勤務場所に近いから
8．その他（　　）

◎下記②は、（5）で「1」～「6」（かかりつけ医療機関がある）と回答した方のみ、お答えください。

②医療機関は以下のどれにあたりますか。（1つの番号に○）

1．多数の診療科のある病院　2．その他の診療所や医院　3．分からない

（6）最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。（1つの番号に○）

1．松戸市内にいる　4．我孫子市・野田市にいる　7．かかりつけ歯科医はいない
2．市川市・鎌ケ谷市にいる　5．その他千葉県内にいる
3．柏市・流山市にいる　6．千葉県外（都内など）にいる

（7）かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．松戸市内にある → ①へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある → ①へ
3．柏市・流山市にある → ①へ
4．我孫子市・野田市にある → ①へ
5．その他千葉県内にある → ①へ
6．千葉県外（都内など）にある → ①へ
7．かかりつけ薬局（調剤薬局）はない → （問10）へ

◎下記①～②は、（7）で「1」～「6」（かかりつけ薬局がある）と回答した方のみ、お答えください。

①それは何か所くらいですか。（1つの番号に○）

1．1か所　2．2か所～4か所　3．5か所以上

②その際、お薬手帳は持参していますか。（1つの番号に○）

1．いつも持参している　3．持参していることが少ない
2．持参していることが多い　4．持参していない・持っていない

問10　認知症に関することについてうかがいます。

（1）認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。（1つの番号に○）

1．駅の近く　4．近くの喫茶店　7．近所の民家
2．市民センター等身近な公共施設　5．自治会館　8．参加したいと思わない
3．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）　6．神社

（2）松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2．認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3．「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4．認知症サポーター（認知症の方や家族を見守る人）など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5．徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6．成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7．認知症の本人のつどい（当事者ミーティング）
8．就労など若年性認知症の方への支援
9．認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10．認知症についての相談場所の周知
11．わからない

問11　介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

（1）以下のサービスについて利用したことがありますか。また、名称や内容を知っていましたか。①～③それぞれに回答してください。

	利用したことがありますか（どちらかに○）		名称を知っていましたか（どちらかに○）		内容を知っていましたか（どちらかに○）	
① 訪問型元気応援サービス（生活支援コース）（※1）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった
② 訪問型元気応援サービス（困りごとコース）（※2）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった
③ 短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）（※3）	利用したことがある（利用している）	利用したことがない	知っていた	知らなかった	知っていた	知らなかった

（※1）訪問型元気応援サービス（生活支援コース）とは？
介護保険の範囲内で、調理、清掃、買い物などの生活支援を、専門ヘルパーより低い負担で受けられるサービスです。

（※2）訪問型元気応援サービス（困りごとコース）とは？
介護者本人以外の居室などの掃除や、通院の付き添いなどを、地域の社会貢献意欲の高い方が中心となって提供するサービスです。

（※3）短期集中予防サービス（いきいきトレーニング）とは？
生活機能の低下がみられる方にリハビリなどの専門家が集中的にかかわり、最大6カ月程度で機能の改善を目指すサービスです。

（2）あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。（どちらかの番号に○）

1．利用している → ①へ　2．利用していない → ③へ

◎下記①～②は、（2）で「1」（利用している）と回答した方のみ、お答えください。

①次のような在宅サービスを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．訪問型サービス（制度改正前のホームヘルプサービスに相当）
2．通所型サービス（制度改正前のデイサービスに相当）
3．訪問看護
4．訪問入浴介護
5．通所リハビリテーション（デイケア）
6．訪問リハビリテーション
7．短期入所（ショートステイ）
8．認知症対応型通所介護
9．訪問診療（医師の訪問）
10．訪問診療（歯科医師の訪問）
11．小規模多機能型居宅介護
12．医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
13．歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導（居宅療養管理指導）
14．薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
15．福祉用具貸与
16．福祉用具購入
17．住宅改修
18．訪問型元気応援サービス（生活支援コース・困りごとコース）
19．通所型短期集中予防サービス
20．通所型元気応援くらぶ（住民主体の通いの場）
21．その他（　　）

②介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分で身の回りのことができるようになった	8．意欲がなくなった
2．意欲が出てきた	9．精神的ストレスが増えた
3．体調が良くなった	10．家族に対する気兼ねが増えた
4．精神的ストレスが減った	11．外出する機会が減った
5．家族に対する気兼ねが減った	12．その他（　　）
6．外出する機会が増えた	13．特に変化はない
7．自分で身の回りのことをしなくなった	

◎下記③は、（2）で「2」（利用していない）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分でまだできるから	6．利用料の負担が大きいから
2．利用したいサービスがないから	7．介護保険以外のサービスを利用しているから
3．病院に入院しているから	8．その他（　　）
4．家族等の介護で十分だから	9．特にない
5．他人に介護されるのが嫌だから	10．わからない

（3）以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容について知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（1つに○）		
	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
① 小規模多機能型居宅介護（※1）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護（※2）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護（※3）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（※1）　小規模多機能居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

（※2）　看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。

（※3）　定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

（4）あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（1つの番号に○）

1．自宅で家族中心に介護を受けたい	→①へ
2．自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい	→①へ
3．家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい	→①へ
4．ケア付き高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい	→③へ
5．特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい	→③へ
6．その他（　　）	→（5）へ
7．わからない	→（5）へ

◎下記①～②は、（4）で「1」～「3」（自宅で介護を）と回答した方のみ、お答えください。

①あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（1つの番号に○）

1．在宅で十分な介護が受けられると思うから	6．施設に入るだけの経済的余裕がないから
2．現在の住まいで生活を続けたいから	7．施設を利用することに抵抗を感じるから
3．施設で他人の世話になるのはいやだから	8．具体的に施設を知らず、不安だから
4．他人との共同生活はしたくないから	9．その他（　　）
5．施設では自由な生活ができないから	10．わからない

②その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（1つの番号に○）

1．家族だけに介護されたい
2．家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3．ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4．ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5．その他（　　）
6．わからない

◎下記③は、（4）で「4」「5」（外部の介護を受けたい）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（1つの番号に○）

1．家族がいないから
2．家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3．家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4．家族に負担をかけたくないから
5．専門的な介護が受けられるから
6．緊急時に対応の面で安心だから
7．在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8．介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9．その他（　　）
10．わからない

（5）今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
3．保険料負担の引上げを上記１よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4．保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5．わからない

問 12　権利擁護・成年後見人制度についてうかがいます。

（1）あなたが、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
2．成年後見制度
3．市民後見人の活動
4．松戸市高齢者虐待の通報・相談窓口
5．法テラス
6．クーリングオフ制度
7．いずれも知らない

（2）あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（3）あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（4）あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

開催されていることを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（5）虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2．地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3．虐待の通報先の広報
4．児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5．市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6．虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7．その他（　　）

問 13　市の高齢者施策についてうかがいます。

（1）福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また利用してみたいと思いますか。

名称や内容を知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（2）高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．名称は知っている
2．どこにあるか知っている
3．日常生活圏域ごとに一箇所あること
4．介護に関する相談窓口であること
5．健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6．認知症に関する相談窓口であること
7．権利擁護に関する相談窓口であること
8．成年後見人に関する相談窓口であること
9．総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10．要支援１・２と認定された方への支援を行うところであること
11．いずれも知らない

（3）松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。（どちらかの番号に○）

1．知っていた　　2．知らなかった

（4）松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．行政の関わりは最小限にし、民間の事業者に任せるべき
2．行政が関わる必要はなく、民間の事業者に任せるべき
3．引き続き、行政が主となって実施すべき
4．わからない

（5）松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
3．現在のサービス水準を見直しし、保険料負担の引き上げを上記１よりも抑え、事業を継続する
4．事業を廃止しても構わない
5．わからない

※紙おむつ支給事業
対　　象：要介護３～５の認定を受けている方を在宅で介護している世帯
給付内容：紙おむつを要件により月に１～２パック支給

（6）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月１日及び１５日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

問 14　介護に関することについてうかがいます。

（1）以下の名称について知っていましたか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容を知っていますか（１つに○）		
① ケアラー（※1）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
② ヤングケア（※2）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
③ ダブルケア（※3）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった

（※1）ケアラーとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。
（※2）ヤングケアとは？
18 歳未満の子どもが、大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている状態のことをいいます。
（※3）ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

（2）男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．男性介護者が集える会合の場
2．男性介護者が地域とつながることのできる環境
3．男性介護者向けの研修会・講習会
4．その他（　　）

ご本人（あて名の方）への質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

次のページの質問からは、あなたの生活を支えていらっしゃる近親者の方に回答していただく質問になりますので、お渡しいただければ幸いです。

なお、近親者の方がいらっしゃらない場合、以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月 17 日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

ここからは、ご本人（あて名の方）の近親者（家族等）の方が回答してください。

問 15　ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況についてうかがいます。

（1）ご本人（あて名の方）を主に介護している方（以下「主な介護者」といいます。）は、ご本人から見てどなたですか。（1つに○）

1．配偶者	5．兄弟・姉妹	9．その他（　　）
2．娘	6．孫	10．介護はしていない
3．息子	7．親	アンケートは以上となります。 27ページの自由記載欄にお進みください
4．子の配偶者	8．配偶者の親	

（2）令和元年 11 月1日現在のあなた（主な介護者）の年齢を記入してください。（数字を記入）

満　　歳

（3）あなた（主な介護者）の性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（4）あなた（主な介護者）の職業をお答えください。（1つの番号に○）

1．会社員	4．パート・アルバイト	7．その他（　　）
2．公務員	5．専業主婦・専業主夫	
3．自営業	6．無職	

（5）現在、あなた（主な介護者）が行っている介護等についてお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

1．屋内の移乗・移動	9．認知症状への対応
2．外出の付き添い、送迎等	10．衣服の着脱
3．入浴・洗身	11．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
4．日中の排泄	12．その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
5．夜間の排泄	13．医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
6．食事の準備（調理等）	14．金銭管理や生活面に必要な手続き
7．食事の介助（食べる時）	15．その他（　　）
8．服薬	16．わからない

（6）ご本人（あて名の方）はどちらにいらっしゃいますか。（1つの番号に○）

1．自宅（2 世帯を含む同居）　2．自宅（別居）　3．病院　4．施設

（7）介護の期間はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．1年未満　2．1年以上～3年未満　3．3年以上～5年未満　4．5年以上

（8）1日あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．必要な時に手を貸す程度　2．2～3時間程度　3．半日程度　4．ほぼ終日

（9）1週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．1日未満　2．1～2日程度　3．3～4日程度　4．ほぼ毎日

（10）介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．30分未満　2．30分以上1時間未満　3．1時間以上2時間未満　4．2時間以上

（11）ご本人（あて名の方）の介護にあたり協力者はいますか。あなた（主介護者）から見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．自分の兄弟・姉妹	7．その他（　　）
2．娘	5．配偶者の兄弟・姉妹	8．いない
3．息子	6．親	

（12）あなた（主介護者）は、ご本人（あて名の方）以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（1つの番号に○）

1．介護のみしている（していた）	3．どちらもしている（していた）
2．子育てのみしている（していた）	4．どちらもしていない（していなかった）

（13）あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（1つの番号に○）

1．辞めた　→①へ	5．転職した　→①へ
2．辞めることを検討している　→（14）へ	6．転職を検討している　→（14）へ
3．辞めないつもり（辞めなかった）　→②へ	7．仕事をしていない（していなかった） →（14）へ
4．労働時間を調整して続けている（続けた）→②へ	

◎下記①は、（13）で「1」「5」（辞めた、転職した）と回答した方のみ、お答えください。

①仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分の希望として介護に専念したかったから
2．要介護者が介護に専念することを希望したから
3．仕事と介護の両立について、家族や親族から理解・協力が得られなかったから
4．自宅と要介護者の居住地が離れていたから
5．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）することが難しかったから
6．休暇（年休や介護休業等）を取得できなかった、または取得しづらかったから
7．仕事と介護の両立のための相談先がなかったから
8．介護サービスに関する情報を知らなかったから
9．仕事をしている間の介護サービスを確保できなかったから
10．自分が休息するための介護サービスを確保できなかったから
11．急な予定変更に対応できる介護サービスを確保できなかったから
12．仕事と介護を両立していたが、自分の心身の健康状態が悪化したから
13．施設に入所できなかったから
14．介護に適した住環境ではなかったから
15．その他（　　）

◎下記②～③は、（13）で「3」「4」（辞めないで続けている（続けた））と回答した方のみ、お答えください。

②仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．家族や親族からの理解・協力が得られたから
2．自宅と要介護者の居住地が近かったから
3．要介護者と同居したから
4．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）したから
5．休暇（年休や介護休業等）を取得したから
6．在宅勤務を利用したから
7．仕事と介護の両立に関する相談先があったから
8．介護サービスに関する情報を入手できたから
9．デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから
10．施設に入所したから
11．介護しやすい住環境が整備されていたから
12．要介護者の状態が仕事に影響を及ぼさない程度だったから
13．特にない
14．その他（　　）

③今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つの番号に○）

1．問題なく、続けていける
2．問題はあるが、何とか続けていける
3．続けていくのは、やや難しい
4．続けていくのは、かなり難しい
5．わからない

（14）どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．労働時間を調整（短時間勤務や介護休業等）する仕組みの充実
2．介護のための在宅勤務の充実
3．休暇（年休や介護休業等）の充実、または取得しやすい環境・職場意識
4．仕事と介護の両立に関する相談先の充実
5．介護サービスに関する情報の普及啓発
6．早朝や夜間も対応できるデイサービスの充実
7．ショートステイなど、休息のためのサービスの充実
8．必要なときにいつでも利用できるサービスの充実
9．定期的に自宅を巡回してくれるサービスの充実
10．施設サービスの充実
11．介護しやすい住環境の整備
12．要介護者や家族・親族の理解と協力
13．その他（　　）

（15）今後の介護の方法はどのように考えていますか。（1つの番号に○）

1．可能な限り在宅で　→①へ
2．必要に応じて施設への入所→②へ
3．できるだけ施設への入所→②へ
4．その他（　　）
5．一概に言えない
6．わからない

◎下記①は、（15）で「1」（可能な限り在宅で）と回答した方のみ、お答えください。

①可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護する家族が休息をとれるようなサービス
2．介護しやすい住環境
3．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護を柔軟に受けられるサービス
4．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス
5．24時間、定期的な巡回と随時の訪問で、介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス
6．困ったときに気軽に介護相談ができる場所
7．介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できる場所
8．家族が介護するための技術を習得できる場所
9．在宅医療の充実
10．その他（　　）

◎下記②は、（15）で「2」「3」（施設への入所）と回答したの方のみ、お答えください。

②既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．特別養護老人ホーム→③へ
2．介護老人保健施設　→③へ
3．グループホーム　→③へ
4．サービス付き高齢者住宅→③へ
5．有料老人ホーム　→③へ
6．その他（　　）→③へ
7．申込みはしていない　→（16）へ

◎下記③～④は、②で「1」～「6」と回答したの方のみ、お答えください。

③最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。（1つの番号に○）

1．1年未満
2．1年以上2年未満
3．2年以上3年未満
4．3年以上4年未満
5．4年以上

④施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（1つの番号に○）

1．すぐに入所手続きをする
2．本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする
3．今のところ在宅で介護できそうなので辞退する
4．入院しているのでひとまず辞退する
5．わからない
6．その他（　　）

（16）あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護する時間がなかなかとれない	13．イライラしご本人に怒鳴ってしまうことがある
2．相談できる人がいない	14．思わず手を上げてしまうことがある
3．相談する場所がわからない	15．ご本人の訴えを無視してしまうことがある
4．介護の方法がわからない	16．介護に要する費用がかかる
5．早朝・夜間・深夜などの対応が大変である	17．認知症を診察してくれる医療機関（診療科）がわからない
6．緊急時の対応が大変である	18．認知症の人への対応の仕方がわからない
7．腰痛などの身体的負担が大きい	19．急激に症状が悪化した場合の緊急受入施設がわからない、またはない
8．介護を行う側の健康状態が良くない	20．徘徊して行方がわからなくなるときがある
9．精神的に疲れる	21．その他（　　）
10．介護者のリフレッシュのための時間が取れない	22．特にない
11．家族や近隣の人などの理解が足りない	23．わからない
12．ご本人が介護サービスを使いたがらない	

（17）在宅医療を利用してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．すでに利用している	→①へ	3．利用したいと思わない	→②へ
2．利用してみたい	→②へ	4．わからない	→②へ

◎下記①は、（17）で「1」（すでに利用している）と回答した方のみ、お答えください。

①在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．病気・状態により主治医が対応できないことがあった（主治医がみつからなかった）
2．夜間の対応で主治医・看護師と連絡が取れなかった
3．自宅での生活を希望していたが、やむなく入院してしまった
4．医師と看護師や介護職の連携がうまくいっていなかった
5．必要な検査ができなかった
6．特にない
7．その他（　　）

◎下記②は、（17）で「2」～「4」（利用していない）と回答した方のみ、お答えください。

②在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか（あてはまるすべての番号に○）

1．往診してくれる医師がどこにいるのかわからない	6．病気や状態によっては対応できる医師がみつからない
2．かかりつけ医が在宅医療に対応していない	7．医師と看護師や介護職の間で意思疎通が十分ではない
3．訪問看護の体制が整っていない	8．特にない
4．症状が急変したときの対応に不安がある	9．わからない
5．検査が十分にできるか不安がある	10．その他（　　）

（18）あなた（主な介護者）は、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者（夫・妻）	12．民生委員
2．娘	13．町会・自治会
3．息子	14．はつらつクラブ（老人クラブ）
4．兄弟・姉妹	15．社会福祉協議会
5．自分の親	16．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
6．配偶者の親	17．ケアマネジャー
7．子の配偶者	18．市役所（支所を含む）・保健福祉センター
8．友人・知人	19．県の窓口（保健所など）
9．職場の人	20．その他（　　）
10．隣近所の人	21．そのような人はいない
11．医師・歯科医・看護師・薬剤師	

（19）松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．行政の関わりは最小限にし、民間の事業者に任せるべき
2．行政が関わる必要はなく、民間の事業者に任せるべき
3．引き続き、行政が主となって実施すべき
4．わからない

（20）松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
3．現在のサービス水準を見直しし、保険料負担の引き上げを上記１よりも抑え、事業を継続する
4．事業を廃止しても構わない
5．わからない

※紙おむつ支給事業
対　　象：要介護３～５の認定を受けている方を在宅で介護している世帯
給付内容：紙おむつを要件により月に１～２パック支給

（21）松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

講座を知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（22）「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

介護者のつどいを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（23）「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護の情報
2．医療の情報
3．ピアサポート（同じ立場にある人との交流）
4．悩みや愚痴を聞いてもらう
5．リフレッシュ
6．その他（　　）

（24）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月１日及び１５日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月１７日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

⑤ ― （A）本庁

松戸市高齢者保健福祉・介護保険事業に関するアンケート調査



～　ご協力のお願い　～

日頃より、市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
本市では「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくり」を目指し、平成 30 年度から令和２年度までを期間とした「いきいき安心プランⅦまつど」（第８期松戸市高齢者保健福祉計画・第７期松戸市介護保険事業計画）を策定し、様々な高齢者支援施策・介護保険事業を実施しています。

この調査は、高齢者がいつまでも元気に暮らせるまちづくりがより一層推進されるよう、次期計画となる「いきいき安心プランⅧまつど」（令和３年度から令和５年度まで）を策定するため、要介護認定を受けている方から無作為に 2,100 名抽出させていただいて、年齢に伴う心身の状況や高齢者支援施策に関するお考えなどをお答えいただくものとなります。

なお、ご回答いただいた調査内容は、市の高齢者支援施策・介護保険事業施策の検討にのみ利用させていただくものであり、統計的に処理しますので回答者個人が特定されたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

ご多忙のことと存じますが、***本市がより一層「高齢者がいつまでも元気に暮らせるまち」となるためにも、ぜひ回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。***

令和元年 12 月

松戸市長　**本郷谷　健次**

～　ご記入にあたって　～

1. この調査は、**封筒のあて名のご本人**がお答えください。
   なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人のお気持ちに代わって記入してください。
2. 令和元年 11 月 1 日現在で抽出しておりますので、対象者に変動があった場合にはご容赦ください。
3. ご回答は、あてはまる番号に○をつける場合と言葉や数字を記入する場合があります。
   ○の数は質問によって異なりますのでご注意ください。
   「その他」を選択した場合は、（　　）の中に具体的な内容をご記入ください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、質問文をお読みいただき、ご記入ください。
5. ご記入が済みましたら、お手数ですが、アンケート票を同封の返信用封筒に入れて**令和２年１月 17 日（金）までに**郵便ポストへご投函ください。（切手不要）
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
   なお、**土・日・祝日及び令和元年 12 月 28 日（土）から令和２年１月５日（日）までは閉庁しておりますので**ご了承願います。

【お問合せ先】松戸市役所　高齢者支援課
電話：047-366-7346（直通）　　FAX：047-366-0991
E-mail：mckoureisha@city.matsudo.chiba.jp

この調査票を記入されるのはどなたですか。（１つの番号に○）

1．あて名のご本人が記入
2．ご家族が記入　⇒　あて名のご本人からみた続柄：（　　）
3．その他（　　）

これ以降の「あなた」は、ご本人（あて名の方）についてうかがいます。

問１　あなたご自身についてうかがいます。

（１）令和元年 11 月１日現在のあなたの年齢を記入してください。（数字を記入）

満　　歳

（２）あなたの性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（３）あなたの要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれですか。（１つの番号に○）

1．事業対象者	4．要介護１	7．要介護４
2．要支援１	5．要介護２	8．要介護５
3．要支援２	6．要介護３	9．わからない

（４）一年前の要介護（支援）等状態区分は、次のうちどれでしたか。（１つの番号に○）

1．要介護（支援）状態ではなかった	5．要介護１	8．要介護４
2．事業対象者	6．要介護２	9．要介護５
3．要支援１	7．要介護３	10．わからない
4．要支援２		

問２　あなたのご家族や生活状況についてうかがいます。

（１）家族構成をお教えください。（１つの番号に○）

1．１人暮らし	4．息子・娘との２世帯
2．夫婦２人暮らし（配偶者 65 歳以上）	5．その他（３世帯を含む）
3．夫婦２人暮らし（配偶者 64 歳以下）	

（２）あなたもしくは家族の中に下記の状態に該当する方はいますか。（１つの番号に○）

1．趣味の用事のときだけ出かける　⇒ ①へ	4．自室からほとんど出ない　⇒ ①へ
2．近所のコンビニなどには出かける　⇒ ①へ	5．該当する方はいない　⇒ （３）へ
3．自室からは出るが、家からは出ない　⇒ ①へ	

◎下記①②は、（２）で「１」～「４」（いる）と回答した方のみ、お答えください。

①その期間は下記のうちどれですか（あてはまる番号すべてに○）

1．３か月未満	4．１年～３年未満	7．10 年以上
2．３か月～６か月未満	5．３年～５年未満	
3．６か月～１年未満	6．５年～10 年未満	

②その方の年齢はいくつですか。（あてはまる番号すべてに○）

1．20 歳未満	3．40 歳～64 歳	5．75 歳以上
2．20 歳～39 歳	4．65 歳～74 歳	

（3）世帯全体の合計収入額（年金を含み、税引き前の金額）は、平成 30 年の１年間で、次のうちのどれにあてはまりますか。（１つの番号に○）

1．50 万円未満	6．250～300 万円未満	11．700～800 万円未満
2．50～100 万円未満	7．300～400 万円未満	12．800～900 万円未満
3．100～150 万円未満	8．400～500 万円未満	13．900～1000 万円未満
4．150～200 万円未満	9．500～600 万円未満	14．1000～1200 万円未満
5．200～250 万円未満	10．600～700 万円未満	15．1200 万円以上

（4）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（１つの番号に○）

1．大変苦しい	4．ややゆとりがある
2．やや苦しい	5．大変ゆとりがある
3．ふつう	

（5）あなたが住んでいる住宅の種類はどれですか。（１つの番号に○）

1．持家（一戸建て）	5．民間賃貸住宅（集合住宅）
2．持家（集合住宅）	6．借家
3．公営賃貸住宅	7．その他（　　）
4．民間賃貸住宅（一戸建て）	

（6）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つの番号に○）

1．介護・介助は必要ない	→（7）へ
2．何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない	→①へ
3．現在、何らかの介護・介助を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護・介助を受けている場合も含む）	→①②へ

◎下記①は、（6）で「2」「3」（介護・介助が必要）と回答した方のみ、お答えください。

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	9．腎 疾患（透析）
2．心臓病	10．視覚・聴覚障害
3．がん（悪性 新生物）	11．骨折・転倒
4．呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	12．脊椎損傷
5．関節 の病気（リウマチ等）	13．高齢による衰弱
6．認知症（アルツハイマー病等）	14．その他（　　）
7．パーキンソン 病	15．不明
8．糖尿病	

◎下記②は、（6）で「3」（現在、何らかの介護・介助を受けている）と回答した方のみ、お答えください。

②主にどなたの介護・介助を受けていますか。（１つの番号に○）

1．配偶者（夫・妻）	4．子の配偶者	7．介護サービスのヘルパー
2．息子	5．孫	8．その他（　　）
3．娘	6．兄弟・姉妹	

（7）ひきこもりの子をもつ家庭が高齢化し、50 代のひきこもりの子を 80 代の親が面倒見るケースが増えているという社会問題が 8050 問題と呼ばれています。ひきこもりをはじめ、身体障害、精神障害、知的障害、医療的ケア児・者を含めて、支援を要する次のような方があなたの家族にいますか。（あてはまる番号すべてに○）

1．ひきこもり傾向の方	4．知的障害をお持ちの方	7．該当する方はいない
2．身体に障害をお持ちの方	5．医療的なケアを要する方	
3．精神的に障害をお持ちの方	6．その他支援を要する方	

問３　あなたの身体状況についてうかがいます。

（1）あなたの現在の身長と体重を記入してください。（おおよその数字を記入）

身長　　cm　　体重　　kg

（2）この６ヶ月間で2～3ｋｇ以上の体重減少がありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい	2．いいえ

（3）現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つの番号に○）

1．とてもよい	3．あまりよくない
2．まあよい	4．よくない

（4）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．ない	11．外傷（転倒・骨折等）
2．高血圧	12．がん（悪性新生物）
3．脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	13．血液・免疫の病気
4．心臓病	14．うつ病
5．糖尿病	15．認知症（アルツハイマー病等）
6．高脂血症（脂質異常）	16．パーキンソン病
7．呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	17．目の病気
8．胃腸・肝臓・胆のうの病気	18．耳の病気
9．腎臓・前立腺の病気	19．その他（　　）
10．筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）	

（5）あなたは今までに、職場や保健センター・医療機関などで、健診や人間ドッグを受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（6）あなたは今までに、歯科の治療、または歯科健診を受けましたか。（１つの番号に○）

1．１年以内に受けた	3．４年以上前に受けた
2．１年～４年前に受けた	4．受けていない

（7）歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。（1つの番号に○）
（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1．自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用　→①へ
2．自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし　→（8）へ
3．自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用　→①へ
4．自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし　→（8）へ

◎下記①は、（7）で「1」「3」（入れ歯の方）と回答した方のみ、お答えください。

①毎日入れ歯の手入れをしていますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（8）噛み合わせは良いですか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

問4　食事・飲酒・喫煙についてうかがいます。

（1）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（2）お茶や汁物等でむせることがありますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（3）口の渇きが気になりますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（4）歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　2．いいえ

（5）お酒は飲みますか。（1つの番号に○）
1．ほぼ毎日飲む　2．時々飲む　3．ほとんど飲まない　4．もともと飲まない

（6）タバコは吸っていますか。（1つの番号に○）
1．ほぼ毎日吸っている　2．時々吸っている　3．吸っていたがやめた　4．もともと吸っていない

（7）どなたかと食事をともにする機会はありますか。（1つの番号に○）
1．毎日ある　3．月に何度かある　5．ほとんどない
2．週に何度かある　4．年に何度かある

問5　からだを動かすことについてうかがいます。

（1）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つの番号に○）
1．できるし、している　2．できるけどしていない　3．できない

（3）過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つの番号に○）
1．何度もある　2．1度ある　3．ない

（4）転倒に対する不安は大きいですか。（1つの番号に○）
1．とても不安である　2．やや不安である　3．あまり不安でない　4．不安でない

（5）週に1回以上は外出していますか。（1つの番号に○）
1．ほとんど外出しない　2．週1回　3．週2～4回　4．週5回以上

（6）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つの番号に○）
1．とても減っている　2．減っている　3．あまり減っていない　4．減っていない

（7）外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．徒歩	6．電車	11．歩行器・シルバーカー
2．自転車	7．路線バス	12．タクシー
3．バイク	8．病院や施設のバス	13．その他（　　）
4．自動車（自分で運転）	9．車いす	
5．自動車（人に乗せてもらう）	10．電動車いす（カート）	

問6　毎日の生活についてうかがいます。

（1）趣味はありますか。（どちらかの番号に○）　（　　）内に具体的に記入
1．はい→（　　）　2．思いつかない

（2）ペットを飼っていますか。（どちらかの番号に○）
1．はい　→①へ　2．いいえ　→（3）へ

◎下記①は、（2）で「1」（ペットを飼っている）と回答した方のみ、お答えください。

①ペットを飼っていて困ることはありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．旅行	5．自分以外に世話する人がいない
2．入院・入所	6．その他（　　）
3．日常の世話	7．困っていない
4．緊急時	

（3）生きがいはありますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　→ ①へ　　2．思いつかない　→（4）へ

◎下記①は、（3）で「1」（はい）と回答した方のみ、お答えください。

①「生きがい」を感じていることは、どんなことですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．働くこと（自営・家事等も含む）
2．家族の世話や介護
3．ご近所や友達とのつきあい
4．スポーツ・レクリエーション
5．学習や教養を高めること・趣味の活動
6．町会・自治会の活動
7．はつらつクラブ（老人クラブ）の活動
8．ボランティア活動
9．おしゃれや服装のこと
10．家族との団らん
11．テレビやラジオの視聴
12．信仰に関すること
13．旅行や買い物などの外出
14．食事をすること
15．その他（　　）

（4）あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、点数をつけてください）。（1つの点数に○）

とても不幸										とても幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点

（5）この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（6）この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（7）あなたは、普段の生活で介護保険以外のサービスなどを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配食
2．調理
3．掃除・洗濯
4．買い物（宅配は含まない）
5．ごみ出し
6．外出同行（通院、買い物など）
7．移送サービス（介護・福祉タクシー等）
8．見守り・声かけ
9．サロンなどの定期的な通いの場
10．その他（　　）
11．利用していない

問7　地域での活動についてうかがいます。

（1）あなたは、町会または自治会に加入していますか。（1つの番号に○）

1．はい　　2．いいえ　　3．わからない

（2）町会・自治会にどのくらいの頻度で参加していますか。（1つの番号に○）

週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
1	2	3	4	5	6

問8　たすけあいについてうかがいます。

（1）家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．自治会・町内会・老人クラブ
2．社会福祉協議会・民生委員
3．ケアマネジャー
4．医師・歯科医師・看護師
5．地域包括支援センター・役所・役場
6．その他（　　）
7．そのような人はいない

問9　住んでいる地域についてうかがいます。

（1）あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。（1つの番号に○）

1．とても愛着がある
2．まあまあ愛着がある
3．どちらともいえない
4．あまり愛着がない
5．全く愛着がない

（2）あなたは、ご近所とどのようなおつきあいをしていますか。（1つの番号に○）

1．互いに相談したり日用品の貸し借りをしたりするなど、生活面で協力しあっている人もいる
2．日常的に立ち話をする程度のつきあいはしている
3．あいさつ程度の最小限のつきあいしかしていない
4．つきあいは全くしていない

（3）あなたは、地域の避難場所・経路を把握していますか。（1つの番号に○）

1．避難場所・経路を把握している
2．避難場所は把握しているが、経路は把握していない
3．どちらも把握していない

（4）避難するにあたり不安はありますか（あてはまるすべての番号に○）

1．避難場所がわからない
2．避難場所への移動手段がない
3．避難場所への移動にあたり協力を得られる人がいない
4．避難場所での生活が不安
5．持病があるので不安
6．医療的な処置や介護を必要とする家族がいるので不安
7．ペットを連れて避難できるか不安
8．その他（　　）
9．不安はない

（５）最も頼りにしているかかりつけ医療機関（※）はどこにありますか。（１つの番号に○）

（※）かかりつけ医とは？
身近で安心して幅広く何でも相談に応じ、病状によっては適切な医療機関を紹介してくれる医師のことです。

1．松戸市内にある　→ ②へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある → ①へ
3．柏市・流山市にある → ①へ
4．我孫子市・野田市にある → ①へ
5．その他千葉県内にある → ①へ
6．千葉県外（都内など）にある → ①へ
7．かかりつけ医療機関はない → （６）へ

◎下記①は、（５）で「２」～「６」（松戸市以外）と回答した方のみ、お答えください。

①市外の医療機関にかかる理由はなんですか。（１つの番号に○）

1．昔からかかっているから
2．専門医が市内にいないから
3．距離的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
4．開院時間的に市外の医療機関の方がかかりやすいから
5．混雑具合により市外の医療機関の方がかかりやすいから
6．家族が同じ医療機関にかかっているから
7．勤務場所に近いから
8．その他（　　）

◎下記②は、（５）で「１」～「６」（かかりつけ医療機関がある）と回答した方のみ、お答えください。

②医療機関は以下のどれにあたりますか。（１つの番号に○）

1．多数の診療科のある病院　2．その他の診療所や医院　3．分からない

（６）最も頼りにしているかかりつけ歯科医はどこにいますか。（１つの番号に○）

1．松戸市内にいる　4．我孫子市・野田市にいる　7．かかりつけ歯科医はいない
2．市川市・鎌ケ谷市にいる　5．その他千葉県内にいる
3．柏市・流山市にいる　6．千葉県外（都内など）にいる

（７）かかりつけ（いつも利用する）薬局（調剤薬局）はどこにありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．松戸市内にある　→ ①へ
2．市川市・鎌ケ谷市にある → ①へ
3．柏市・流山市にある → ①へ
4．我孫子市・野田市にある → ①へ
5．その他千葉県内にある → ①へ
6．千葉県外（都内など）にある → ①へ
7．かかりつけ薬局（調剤薬局）はない → （問 10）へ

◎下記①～②は、（７）で「１」～「６」（かかりつけ薬局がある）と回答した方のみ、お答えください。

①それは何か所くらいですか。（１つの番号に○）

1．１か所　2．２か所～４か所　3．５か所以上

②その際、お薬手帳は持参していますか。（１つの番号に○）

1．いつも持参している　3．持参していることが少ない
2．持参していることが多い　4．持参していない・持っていない

問 10　認知症に関することについてうかがいます。

（１）認知症カフェ（お茶をしながら会話を楽しんだりレクリエーションを行ったり、介護の相談も行え、認知症の方や介護されているご家族、地域の方など誰でも参加できるつどいの場）がどこにあれば参加してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．駅の近く　4．近くの喫茶店　7．近所の民家
2．市民センター等身近な公共施設　5．自治会館　8．参加したいと思わない
3．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）　6．神社

（２）松戸市が行っている認知症対策について、より充実させたほうがいいと思うものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．認知症予防教室の開催など、自らが認知症を予防できる取組み
2．認知症の早期発見・早期診療の仕組みづくり
3．「介護者のつどい」など、介護している家族の支援
4．認知症サポーター（認知症の方や家族を見守る人）など、近隣住民など身近な人が認知症の人や家族を支援するやさしい地域づくり
5．徘徊症状のある高齢者の安全を見守る仕組み
6．成年後見制度や虐待防止など、権利を守る対策
7．認知症の本人のつどい（当事者ミーティング）
8．就労など若年性認知症の方への支援
9．認知症の方の社会参加支援や活躍できる場の創設
10．認知症についての相談場所の周知
11．わからない

問 11　介護予防・日常生活支援総合事業・介護保険サービスについてうかがいます。

（１）あなたは、介護保険サービス等を利用していますか。（どちらかの番号に○）

1．利用している　→①へ　2．利用していない　→③へ

◎下記①～②は、（１）で「１」（利用している）と回答した方のみ、お答えください。

①次のような在宅サービスを利用していますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．訪問型サービス（制度改正前のホームヘルプサービスに相当）
2．通所型サービス（制度改正前のデイサービスに相当）
3．訪問看護
4．訪問入浴介護
5．通所リハビリテーション（デイケア）
6．訪問リハビリテーション
7．短期入所（ショートステイ）
8．認知症対応型通所介護
9．訪問診療（医師の訪問）
10．訪問診療（歯科医師の訪問）
11．小規模多機能型居宅介護
12．医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
13．歯科医師や歯科衛生士による療養上の指導（居宅療養管理指導）
14．薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）
15．福祉用具貸与
16．福祉用具購入
17．住宅改修
18．訪問型元気応援サービス（生活支援コース・困りごとコース）
19．通所型短期集中予防サービス
20．通所型元気応援くらぶ（住民主体の通いの場）
21．その他（　　）

②介護保険サービス等を利用したことにより、あなたの生活に具体的にどのような変化がありましたか。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分で身の回りのことができるようになった	8．意欲がなくなった
2．意欲が出てきた	9．精神的ストレスが増えた
3．体調が良くなった	10．家族に対する気兼ねが増えた
4．精神的ストレスが減った	11．外出する機会が減った
5．家族に対する気兼ねが減った	12．その他（　　）
6．外出する機会が増えた	13．特に変化はない
7．自分で身の回りのことをしなくなった	

◎下記③は、（1）で「2」（利用していない）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたがどのサービスも利用していない理由を教えてください。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分でまだできるから	6．利用料の負担が大きいから
2．利用したいサービスがないから	7．介護保険以外のサービスを利用しているから
3．病院に入院しているから	8．その他（　　）
4．家族等の介護で十分だから	9．特にない
5．他人に介護されるのが嫌だから	10．わからない

（2）以下の介護保険サービスについて知っていましたか。また、利用してみたいと思いますか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容について知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（1つに○）		
	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
① 小規模多機能型居宅介護（※1）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
② 看護小規模多機能型居宅介護（※2）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護・看護（※3）	知っていた	知らなかった	すでに利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（※1）　小規模多機能居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組合せ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活上の支援や機能訓練を行う介護保険サービスです。

（※2）　看護小規模多機能型居宅介護とは？
利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問（介護）」に加えて、看護師などによる「訪問（看護）」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることができる介護保険サービスです。

（※3）　定期巡回・随時対応型訪問介護・看護とは？
定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要なタイミングで柔軟に提供するサービスです。訪問介護員（ホームヘルパー）だけでなく看護師なども連携し、介護と看護の一体的なサービスの提供を受けることもできる介護保険サービスです。

（3）あなたご自身が寝たきりや認知症になり、介護が必要になった場合に、どこでどのような介護を受けたいと思いますか。（1つの番号に○）

1．自宅で家族中心に介護を受けたい	→①へ
2．自宅で家族と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい	→①へ
3．家族に頼らずに生活できる介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい	→①へ
4．ケア付き高齢者住宅などに住み替えて介護を受けたい	→③へ
5．特別養護老人ホーム等の施設で介護を受けたい	→③へ
6．その他（　　）	→（4）へ
7．わからない	→（4）へ

◎下記①～②は、（3）で「1」～「3」（自宅で介護を）と回答した方のみ、お答えください。

①あなたが在宅での介護を選択する理由を教えてください。（1つの番号に○）

1．在宅で十分な介護が受けられると思うから	6．施設に入るだけの経済的余裕がないから
2．現在の住まいで生活を続けたいから	7．施設を利用することに抵抗を感じるから
3．施設で他人の世話になるのはいやだから	8．具体的に施設を知らず、不安だから
4．他人との共同生活はしたくないから	9．その他（　　）
5．施設では自由な生活ができないから	10．わからない

②その際に、あなたはどのような介護を受けたいですか。（1つの番号に○）

1．家族だけに介護されたい
2．家族の介護を中心に、ホームヘルパーなどの外部の介護も利用したい
3．ホームヘルパーなどの外部の介護を中心に、家族による介護も受けたい
4．ホームヘルパーなどの外部の介護だけを受けたい
5．その他（　　）
6．わからない

◎下記③は、（3）で「4」「5」（外部の介護を受けたい）と回答した方のみ、お答えください。

③あなたが、施設入所を選択する理由を教えてください。（1つの番号に○）

1．家族がいないから
2．家族は仕事をしているなど、介護の時間が十分にとれないから
3．家族は高齢や体が弱いなど、十分な介護ができないから
4．家族に負担をかけたくないから
5．専門的な介護が受けられるから
6．緊急時に対応の面で安心だから
7．在宅で受けられる介護サービスでは不十分だから
8．介護のための部屋がない、入浴しにくいなどの住宅の構造に問題があるから
9．その他（　　）
10．わからない

（4）今後、現役世代が減少する一方で、サービス利用対象者が増加することにより、現在のサービス水準を維持していくためには、保険料負担が大きく増加します。介護サービスと、サービスを支える保険料負担について、あなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために必要な保険料引上げであれば、やむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引上げられてもやむを得ない
3．保険料負担の引上げを上記１よりも抑えるため、介護に関する希望を可能な限り実現しつつ、費用負担を軽減する対策も講じる
4．保険料を現状程度に維持することが重要であり、利用できるサービスが削減されても構わない
5．わからない

問 12　権利擁護・成年後見人制度についてうかがいます。

（1）あなたが、高齢者が安心して暮らせるための権利擁護の制度や仕組みについて知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）
2．成年後見制度
3．市民後見人の活動
4．松戸市高齢者虐待の通報・相談窓口
5．法テラス
6．クーリングオフ制度
7．いずれも知らない

（2）あなたは、高齢者虐待を発見した場合、通報する（努力）義務があることを知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（3）あなたは、高齢者虐待を発見した場合の通報先を知っていますか。（どちらかの番号に○）

1．はい　　2．いいえ

（4）あなたは、高齢者虐待の防止に関する講演会や勉強会が開催されていることを知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

開催されていることを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（5）虐待の防止を推進するためにどんな取組が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．虐待についての市民向け講演会などの啓発活動
2．地域における声かけ、見守りなどの虐待防止に資する取組
3．虐待の通報先の広報
4．児童虐待や障害者虐待の防止と連携した取組
5．市が虐待を無くしていくという姿勢や取組を明確に示す
6．虐待防止に関わる市や事業所職員の人材育成
7．その他（　　）

問 13　市の高齢者施策についてうかがいます。

（1）福祉まるごと相談窓口（介護・育児・障害・就労等の複合的な困りごとについて相談を受ける窓口）について知っていましたか。また利用してみたいと思いますか。

名称や内容を知っていましたか（どちらかに○）		利用してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	利用している	利用してみたいと思う	利用してみたいと思わない

（2）高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）について知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．名称は知っている
2．どこにあるか知っている
3．日常生活圏域ごとに一箇所あること
4．介護に関する相談窓口であること
5．健康・医療・福祉に関する相談窓口であること
6．認知症に関する相談窓口であること
7．権利擁護に関する相談窓口であること
8．成年後見人に関する相談窓口であること
9．総合事業対象者に特定された方への支援を行うところであること
10．要支援１・２と認定された方への支援を行うところであること
11．いずれも知らない

（3）松戸市では、在宅医療（医師等が通院の難しい方の自宅等を訪問して診療等を行う）と介護の連携の推進に取り組んでいます。在宅医療について知っていましたか。（どちらかの番号に○）

1．知っていた　　2．知らなかった

（4）松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．行政の関わりは最小限にし、民間の事業者に任せるべき
2．行政が関わる必要はなく、民間の事業者に任せるべき
3．引き続き、行政が主となって実施すべき
4．わからない

（5）松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
3．現在のサービス水準を見直しし、保険料負担の引き上げを上記１よりも抑え、事業を継続する
4．事業を廃止しても構わない
5．わからない

※紙おむつ支給事業
対　　象：要介護３～５の認定を受けている方を在宅で介護している世帯
給付内容：紙おむつを要件により月に１～２パック支給

（6）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月１日及び１５日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

問 14　介護に関することについてうかがいます。

（1）以下の名称について知っていましたか。①～③それぞれに回答してください。

	名称や内容を知っていますか（１つに○）		
① ケアラー（※1）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
② ヤングケア（※2）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった
③ ダブルケア（※3）	名称も内容も知っていた	名称は知っていたが内容は知らなかった	知らなかった

（※1）ケアラーとは？
介護・看病・療育・世話等、ケアの必要な家族や近親者・友人・知人などを無償でケアする人たちのことをいいます。
（※2）ヤングケアとは？
18 歳未満の子どもが、大人が担うようなケアの責任を引き受け、家事や家族の世話等を行っている状態のことをいいます。
（※3）ダブルケアとは？
育児と介護の同時進行状態や複数のケアやその中で複合的な課題を抱えている状態のことをいいます。

（2）男性介護者の支援を充実させるためにはどんな取り組みが必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．男性介護者が集える会合の場
2．男性介護者が地域とつながることのできる環境
3．男性介護者向けの研修会・講習会
4．その他（　　）

ご本人（あて名の方）への質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

次のページの質問からは、あなたの生活を支えていらっしゃる近親者の方に回答していただく質問になりますので、お渡しいただければ幸いです。

なお、近親者の方がいらっしゃらない場合、以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月 17 日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

ここからは、ご本人（あて名の方）の近親者（家族等）の方が回答してください。

問 15　ご本人（あて名の方）に対する介護の実施状況についてうかがいます。

（1）ご本人（あて名の方）を主に介護している方（以下「主な介護者」といいます。）は、ご本人から見てどなたですか。（1つに○）

1．配偶者	5．兄弟・姉妹	9．その他（　　）
2．娘	6．孫	10．介護はしていない
3．息子	7．親	アンケートは以上となります。 23ページの自由記載欄にお進みください
4．子の配偶者	8．配偶者の親	

（2）令和元年 11 月1日現在のあなた（主な介護者）の年齢を記入してください。（数字を記入）

満　　歳

（3）あなた（主な介護者）の性別をお答えください。（どちらかの番号に○）

1．男性　　2．女性

（4）あなた（主な介護者）の職業をお答えください。（1つの番号に○）

1．会社員	4．パート・アルバイト	7．その他（　　）
2．公務員	5．専業主婦・専業主夫	
3．自営業	6．無職	

（5）現在、あなた（主な介護者）が行っている介護等についてお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

1．屋内の移乗・移動	9．認知症状への対応
2．外出の付き添い、送迎等	10．衣服の着脱
3．入浴・洗身	11．身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
4．日中の排泄	12．その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
5．夜間の排泄	13．医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
6．食事の準備（調理等）	14．金銭管理や生活面に必要な手続き
7．食事の介助（食べる時）	15．その他（　　）
8．服薬	16．わからない

（6）ご本人（あて名の方）はどちらにいらっしゃいますか。（1つの番号に○）

1．自宅（2 世帯を含む同居）　2．自宅（別居）　3．病院　4．施設

（7）介護の期間はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．1年未満　2．1年以上～3年未満　3．3年以上～5年未満　4．5年以上

（8）1日あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．必要な時に手を貸す程度　2．2～3時間程度　3．半日程度　4．ほぼ終日

（9）1週間あたりの介護の頻度はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．1日未満　2．1～2日程度　3．3～4日程度　4．ほぼ毎日

（10）介護のために要する片道の移動時間はどの程度ですか。（1つの番号に○）

1．30分未満　2．30分以上1時間未満　3．1時間以上2時間未満　4．2時間以上

（11）ご本人（あて名の方）の介護にあたり協力者はいますか。あなた（主介護者）から見た続柄でお答えください。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者	4．自分の兄弟・姉妹	7．その他（　　）
2．娘	5．配偶者の兄弟・姉妹	8．いない
3．息子	6．親	

（12）あなた（主介護者）は、ご本人（あて名の方）以外の方を、同時期に介護や子育てしていますか（していましたか）。（1つの番号に○）

1．介護のみしている（していた）	3．どちらもしている（していた）
2．子育てのみしている（していた）	4．どちらもしていない（していなかった）

（13）あなた（主な介護者）は介護のために（当時していた）仕事をどのように対応しましたか。（1つの番号に○）

1．辞めた　→①へ	5．転職した　→①へ
2．辞めることを検討している　→（14）へ	6．転職を検討している　→（14）へ
3．辞めないつもり（辞めなかった）　→②へ	7．仕事をしていない（していなかった） →（14）へ
4．労働時間を調整して続けている（続けた）→②へ	

◎下記①は、（13）で「1」「5」（辞めた、転職した）と回答した方のみ、お答えください。

①仕事を辞めることになった理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．自分の希望として介護に専念したかったから
2．要介護者が介護に専念することを希望したから
3．仕事と介護の両立について、家族や親族から理解・協力が得られなかったから
4．自宅と要介護者の居住地が離れていたから
5．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）することが難しかったから
6．休暇（年休や介護休業等）を取得できなかった、または取得しづらかったから
7．仕事と介護の両立のための相談先がなかったから
8．介護サービスに関する情報を知らなかったから
9．仕事をしている間の介護サービスを確保できなかったから
10．自分が休息するための介護サービスを確保できなかったから
11．急な予定変更に対応できる介護サービスを確保できなかったから
12．仕事と介護を両立していたが、自分の心身の健康状態が悪化したから
13．施設に入所できなかったから
14．介護に適した住環境ではなかったから
15．その他（　　）

◎下記②～③は、（13）で「3」「4」（辞めないで続けている（続けた））と回答した方のみ、お答えください。

②仕事を続けていられた理由は何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．家族や親族からの理解・協力が得られたから
2．自宅と要介護者の居住地が近かったから
3．要介護者と同居したから
4．労働時間を調整（短時間勤務や残業免除等）したから
5．休暇（年休や介護休業等）を取得したから
6．在宅勤務を利用したから
7．仕事と介護の両立に関する相談先があったから
8．介護サービスに関する情報を入手できたから
9．デイサービスやショートステイなどの在宅介護サービスを活用したから
10．施設に入所したから
11．介護しやすい住環境が整備されていたから
12．要介護者の状態が仕事に影響を及ぼさない程度だったから
13．特にない
14．その他（　　）

③今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つの番号に○）

1．問題なく、続けていける
2．問題はあるが、何とか続けていける
3．続けていくのは、やや難しい
4．続けていくのは、かなり難しい
5．わからない

（14）どのような支援があれば仕事と介護の両立ができると思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．労働時間を調整（短時間勤務や介護休業等）する仕組みの充実
2．介護のための在宅勤務の充実
3．休暇（年休や介護休業等）の充実、または取得しやすい環境・職場意識
4．仕事と介護の両立に関する相談先の充実
5．介護サービスに関する情報の普及啓発
6．早朝や夜間も対応できるデイサービスの充実
7．ショートステイなど、休息のためのサービスの充実
8．必要なときにいつでも利用できるサービスの充実
9．定期的に自宅を巡回してくれるサービスの充実
10．施設サービスの充実
11．介護しやすい住環境の整備
12．要介護者や家族・親族の理解と協力
13．その他（　　）

（15）今後の介護の方法はどのように考えていますか。（1つの番号に○）

1．可能な限り在宅で　→①へ
2．必要に応じて施設への入所→②へ
3．できるだけ施設への入所→②へ
4．その他（　　）
5．一概に言えない
6．わからない

◎下記①は、（15）で「1」（可能な限り在宅で）と回答した方のみ、お答えください。

①可能な限り在宅で介護していくためには何が必要だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護する家族が休息をとれるようなサービス
2．介護しやすい住環境
3．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護を柔軟に受けられるサービス
4．デイサービスを中心に訪問や宿泊を組み合わせ、介護や看護を柔軟に受けられるサービス
5．24時間、定期的な巡回と随時の訪問で、介護や看護、緊急時の対応などが受けられるサービス
6．困ったときに気軽に介護相談ができる場所
7．介護する家族同士がお互いに知識や悩みを共有できる場所
8．家族が介護するための技術を習得できる場所
9．在宅医療の充実
10．その他（　　）

◎下記②は、（15）で「2」「3」（施設への入所）と回答したの方のみ、お答えください。

②既に申込みをしている施設はありますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．特別養護老人ホーム→③へ
2．介護老人保健施設　→③へ
3．グループホーム　→③へ
4．サービス付き高齢者住宅→③へ
5．有料老人ホーム　→③へ
6．その他（　　）→③へ
7．申込みはしていない　→（16）へ

◎下記③～④は、②で「1」～「6」と回答したの方のみ、お答えください。

③最初に申込みをしてからどのくらいの期間が経ちましたか。（1つの番号に○）

1．1年未満
2．1年以上2年未満
3．2年以上3年未満
4．3年以上4年未満
5．4年以上

④施設より入所許可の連絡があったらあなたはどうしますか。（1つの番号に○）

1．すぐに入所手続きをする
2．本人と話し合い入所を希望したら入所手続きをする
3．今のところ在宅で介護できそうなので辞退する
4．入院しているのでひとまず辞退する
5．わからない
6．その他（　　）

（16）あなた（主な介護者）が現在もしくは今後介護を行う上で、困ることや悩むことは何だと思いますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護する時間がなかなかとれない	13．イライラしご本人に怒鳴ってしまうことがある
2．相談できる人がいない	14．思わず手を上げてしまうことがある
3．相談する場所がわからない	15．ご本人の訴えを無視してしまうことがある
4．介護の方法がわからない	16．介護に要する費用がかかる
5．早朝・夜間・深夜などの対応が大変である	17．認知症を診察してくれる医療機関（診療科）がわからない
6．緊急時の対応が大変である	18．認知症の人への対応の仕方がわからない
7．腰痛などの身体的負担が大きい	19．急激に症状が悪化した場合の緊急受入施設がわからない、またはない
8．介護を行う側の健康状態が良くない	20．徘徊して行方がわからなくなるときがある
9．精神的に疲れる	21．その他（　　）
10．介護者のリフレッシュのための時間が取れない	22．特にない
11．家族や近隣の人などの理解が足りない	23．わからない
12．ご本人が介護サービスを使いたがらない	

（17）在宅医療を利用してみたいと思いますか。（１つの番号に○）

1．すでに利用している	→①へ	3．利用したいと思わない	→②へ
2．利用してみたい	→②へ	4．わからない	→②へ

◎下記①は、（17）で「1」（すでに利用している）と回答した方のみ、お答えください。

①在宅医療で対応できず困ったことは何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．病気・状態により主治医が対応できないことがあった（主治医がみつからなかった）
2．夜間の対応で主治医・看護師と連絡が取れなかった
3．自宅での生活を希望していたが、やむなく入院してしまった
4．医師と看護師や介護職の連携がうまくいっていなかった
5．必要な検査ができなかった
6．特にない
7．その他（　　）

◎下記②は、（17）で「2」～「4」（利用していない）と回答した方のみ、お答えください。

②在宅医療を利用するとしたら不安を感じることがありますか（あてはまるすべての番号に○）

1．往診してくれる医師がどこにいるのかわからない	6．病気や状態によっては対応できる医師がみつからない
2．かかりつけ医が在宅医療に対応していない	7．医師と看護師や介護職の間で意思疎通が十分ではない
3．訪問看護の体制が整っていない	8．特にない
4．症状が急変したときの対応に不安がある	9．わからない
5．検査が十分にできるか不安がある	10．その他（　　）

（18）あなた（主な介護者）は、介護について誰に相談していますか、または相談していましたか。（あてはまるすべての番号に○）

1．配偶者（夫・妻）	12．民生委員
2．娘	13．町会・自治会
3．息子	14．はつらつクラブ（老人クラブ）
4．兄弟・姉妹	15．社会福祉協議会
5．自分の親	16．高齢者いきいき安心センター（地域包括支援センター）
6．配偶者の親	17．ケアマネジャー
7．子の配偶者	18．市役所（支所を含む）・保健福祉センター
8．友人・知人	19．県の窓口（保健所など）
9．職場の人	20．その他（　　）
10．隣近所の人	21．そのような人はいない
11．医師・歯科医・看護師・薬剤師	

（19）松戸市では、買物・食事の用意が困難な高齢者に食事を届け、安否確認をする配食サービスを介護保険料の一部を財源として事業者に委託して実施しておりますが、民間の配食サービス事業者が増えていることもあり利用者数は減少傾向です。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．行政の関わりは最小限にし、民間の事業者に任せるべき
2．行政が関わる必要はなく、民間の事業者に任せるべき
3．引き続き、行政が主となって実施すべき
4．わからない

（20）松戸市では、在宅で介護をしている家族を支援するため、紙おむつを支給する事業を実施していますが、高齢者数の増加等により給付費も増え、その財源の一部である介護保険料も引き上げていくことが見込まれます。今後の事業のあり方についてあなたはどう考えますか。（１つの番号に○）

1．現在のサービス水準を維持するために保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
2．現在以上にサービスを充実するために、上記１よりもさらに保険料負担が引き上げられてもやむを得ない
3．現在のサービス水準を見直しし、保険料負担の引き上げを上記１よりも抑え、事業を継続する
4．事業を廃止しても構わない
5．わからない

※紙おむつ支給事業
対　　象：要介護３～５の認定を受けている方を在宅で介護している世帯
給付内容：紙おむつを要件により月に１～２パック支給

（21）松戸市では「はじめての介護講座」など家族介護に関する講座を開催しています。家族介護に関する講座について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

講座を知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（22）「介護者のつどい」は市内各地にある介護をしている人が交流する場となります。「介護者のつどい」について知っていましたか。また参加してみたいと思いますか。

介護者のつどいを知っていましたか（どちらかに○）		参加してみたいと思いますか（１つに○）		
知っていた	知らなかった	参加したことがある	参加してみたいと思う	参加してみたいと思わない

（23）「介護者のつどい」にはどのようなことを望みますか。（あてはまるすべての番号に○）

1．介護の情報
2．医療の情報
3．ピアサポート（同じ立場にある人との交流）
4．悩みや愚痴を聞いてもらう
5．リフレッシュ
6．その他（　　）

（24）松戸市の高齢者向けのサービスや医療機関等の情報を収集するための手段として、次のうち知っているものはどれですか。（あてはまるすべての番号に○）

1．広報まつど（毎月１日及び１５日に発行されている情報誌）
2．松戸市公式ホームページ
3．市内の訪問診療の対応が可能な医療機関や介護保険サービス事業所を地図等から検索できる、市ホームページにある松戸市在宅医療・介護事業者情報検索システム
4．介護なび・まつど（介護保険サービス事業所等の情報が掲載され、市の窓口等で配布されている冊子）
5．生活カタログ（全戸配布されている行政情報が掲載されている冊子）
6．ながいき手帳（市独自の高齢者向けサービス（福祉・介護・保健等の施策）が掲載されている冊子）
7．まつど医療機関マップ（市内の医療機関・薬局等の情報が掲載されている冊子）
8．松戸市医師会かかりつけ医療機関ハンドブック（各かかりつけ医が得意としている病気、外来診療と往診、訪問診療に対応しているかが掲載されている冊子）
9．松戸歯科医師会のホームページ
10．その他（　　）
11．いずれも知らない

質問は以上です。
高齢者保健福祉や介護保険に関してご意見がございましたらご自由にご記入ください。

＜自由記載欄＞

以上でアンケート調査は終了です。
記入したアンケート調査票を、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、
令和２年１月１７日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

ご協力いただきありがとうございました。

いきいき安心プランⅦまつど
（第９期松戸市高齢者保健福祉計画・第８期松戸市介護保険事業計画）
策定のためのアンケート調査報告書

（市民アンケート調査　単純集計編）



松戸市あんしん一声運動
オレンジ声かけ隊長
ゆーかりくん

令和３年３月

発　　行　松戸市
〒２７１－８５８８
千葉県松戸市根本３８７番地の５
ＴＥＬ　０４７－３６６－１１１１（代表）

編　　集　松戸市　福祉長寿部　高齢者支援課・介護保険課